

新潟医療福祉大学

年 報

2023（令和5）年度

Annual Report 2023

Niigata University of Health and Welfare

はじめに

学長 西澤 正豊

2023度の年報が完成しました。作成にご尽力をいただきました関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

年報は、新潟医療福祉大学がこの1年間の活動を振り返り、さまざまな課題を整理して、大学の取り組みに対する客観的な評価を加え、対応策を立案・実行して、諸課題の解決を目指すというサイクルを回す上で、極めて重要な基礎資料となります。学内の皆様は、本年報を大学ホームページからダウンロードし、ぜひ有効に活用してください。

皆様の自己点検と評価の結果は、そのまま教員業績評価の基礎資料ともなります。現在、教員の人事考課のあり方を検討していますので、本年報を皆様のエンゲージメントを高めるための資料としても活用したいと考えています。

新潟医療福祉大学は、2030年に向けて持続可能な発展を遂げるために、2021年度から新たな10年間の長期目標・計画、その前半5年間の中期目標・計画、さらにその前半3年間のアクションプランを策定し、実行してきました。2023年度末をもって最初のアクションプラン3年間が終了しましたので、その進捗状況を評価するとともに、前期中期目標・計画の後半2年間のアクションプランを策定し、2024年度より実行に移したところです。引き続き、次の中期目標・計画の見直しと3年間のアクションプランの策定にも着手しなければなりません。

アクションプランを計画通り達成するためには、皆様一人一人の活動に加えて、学内外の同僚とのチームとしての連携・協働が不可欠です。皆様一人一人と、チームによる活発な教育・研究・社会連携・地域貢献・国際交流活動により、本学の将来計画が着実に達成されますよう、ご協力を何卒宜しくお願いいたします。

目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念	1
2) 教育内容の特色等	2
3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」	2
2. 沿革	3
3. 組織	
1) 組織図	9
2) 役職者	10
3) 教員数	12
4. 学年暦	13
5. 管理運営	
1) 総務会	27
2) 大学院委員会	31
3) 合同教授会	33
4) 研究科委員会	35
5) 各種委員会活動	36
(1) 学長直轄委員会	36
ア 将来計画機構	36
イ 危機管理委員会	36
ウ 教員選考委員会	36
エ 人権委員会	36
オ 個人情報保護委員会	37
カ 安全衛生委員会	38
キ 自己点検・評価委員会	39
ク 外部評価準備委員会	39
ケ PCR検査センター運営委員会	39
コ 研究施設企画委員会	39
① 事業戦略推進部	39
ア 入試委員会	39
イ 広報委員会	40
ウ 大学院入試広報委員会	41
エ IR戦略委員会	41
② 国際交流推進部	42
オ 国際交流センター運営委員会	42

(2) 教育・学生支援機構運営委員会	45
① 学生支援推進部	46
ア 健康管理センター運営委員会	46
イ 図書館・学習支援センター運営委員会	47
ウ 就職センター運営委員会	48
エ 教職支援センター運営委員会	49
オ 学生委員会	50
カ 交通安全委員会	50
キ 国家試験・資格試験対策委員会	50
② 教育開発推進部	51
ア 教務委員会	51
イ FD・SD推進委員会	53
ウ 新潟連携教育研究センター運営委員会	54
エ 高等教育推進センター運営委員会	55
オ 中央教育センター運営委員会	56
(3) 研究・産官学連携推進機構運営委員会	57
① 研究・産学官連携推進部	57
ア 科研費対策委員会	57
イ プロジェクト研究センター運営委員会	58
② 研究・産学官連携支援部	58
ア 学術委員会	58
イ 倫理審査委員会	58
ウ 遺伝子組換え実験安全委員会	59
エ 動物実験委員会	59
オ 毒物・劇物管理委員会	60
カ 利益相反マネジメント委員会	60
キ 知的財産委員会	61
ク URA推進室会議	61
③ 大学院教育研究支援部	61
ア 大学院教務委員会	61
イ 大学院教育研究環境委員会	62
(4) 社会連携・同窓会推進機構運営委員会	62
① 社会連携推進部	62
ア 社会連携推進センター運営委員会	62
② 同窓会・生涯学習推進部	63
イ 同窓会・生涯学習連携推進委員会	63

③ 同窓会・生涯学習推進部	63
ウ ボランティアセンター運営委員会	63
(5) アスレティックデパートメント推進機構運営委員会	64
① 強化指定クラブ運営部	64
ア 強化指定クラブ運営委員会	65
② アスレティックデパートメント推進部	65
ア アスレティックデパートメント推進委員会	65
6. 大学情報の公開と広報	
1) 公開講座等	67
2) 広報活動	67
7. 研究活動	
1) 学長	68
2) リハビリテーション学部	69
(1) 理学療法学科	69
(2) 作業療法学科	137
(3) 言語聴覚学科	147
(4) 義肢装具自立支援学科	157
(5) 鍼灸健康学科	176
3) 医療技術学部	189
(1) 臨床技術学科	189
(2) 視機能科学科	208
(3) 救急救命学科	216
(4) 診療放射線学科	222
4) 健康科学部	237
(1) 健康栄養学科	237
(2) 健康スポーツ学科	249
5) 看護学部	315
(1) 看護学科	315
6) 社会福祉学部	337
(1) 社会福祉学科	337
(2) 新設学科設置室	350
7) 医療経営管理学部	353
(1) 医療情報管理学科	353
8) 教育・学生支援機構	362
9) 社会連携・同窓会推進機構	366
10) プロジェクト研究センター	371

(1) 言語発達支援センター	371
(2) 医療経済・QOL研究センター	371
(3) ロコモティブ症候群予防研究センター	373
(4) シティズンシップ教育実践研究センター	377
(5) スポーツカウンセリング研究センター	382
(6) アスリートサポート研究センター	383
(7) 身体教育研究センター	394
(8) 栄養科学研究センター	402
(9) 脳卒中リハビリテーション研究センター	405
(10) 次世代デジタルリハビリテーション研究センター	406
(11) 3D技術研究開発センター	408
(12) 生物医科学分析研究センター	409
11) 運動機能医科学研究所	412
12) 自然人類学研究所	442
13) 学内における研究助成金の採択状況	448
(1) 研究奨励金 採択一覧表	448
(2) 学長裁量研究費 採択一覧表	450
(3) 研究科長裁量研究費 採択一覧表	450
(4) 外部資金獲得奨励金 採択一覧表	451
14) 外部資金の獲得状況	455
(1) 文部科学省及び日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表	455
(2) 厚生労働省科学研究費補助金 採択一覧表	461
(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧	462
15) 新潟医療福祉学会	463
8. 図書館	
1) 蔵書数	464
2) 年間受入数	464
3) 利用状況	464
4) データ推移	464
9. 学生関係	
1) 収容定員	465
2) 入試広報活動	466
3) 入学者選抜方法	467
4) 入学者選抜試験結果	468
5) 在籍学生数	469
6) 異動学生数	470

7) 学生生活	472
(1) 学生生活に関する指導	472
(2) オリエンテーション	472
(3) 健康診断	472
(4) 心理相談	472
(5) 奨学金制度	472
(6) 学生寮	473
(7) 学友会	473
(8) 大学祭	474
(9) クラブ活動	474
(10) 学生表彰	476
(11) 海外研修	482
(12) 学習支援センター	488
8) 強化指定クラブ成績	489
9) 国家試験・資格試験結果	492
10) 就職状況	492
10. その他	
1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園	494
2) 新潟医療福祉大学附属PCR検査センター	494
3) 新潟医療福祉大学附属鍼灸センター	495

1. 大学の基本理念

1) 基本理念

開設時の学則で示された建学の精神は「本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、広く保健・医療・福祉に関する専門の学芸を教授研究し、豊かな人間性と高潔な倫理性を涵養し、保健・医療・福祉に関する指導的人材の養成を目指し、もって学術文化の発展に寄与し、人類の福祉の向上に貢献することを目的とする」である（2001年）。

この学則に基づき、大学の基本理念を次の3項目とする。なお2005年に健康スポーツ学科が開設されたので、以下の文章では「保健医療福祉スポーツ」と表記する。

(1) 優れたQOLサポーターを育成する大学

- ①保健医療福祉スポーツ分野の高度専門職者を育成する。
- ②保健医療福祉スポーツ分野の諸専門領域を横断的、融合的に理解する人材を育成する。
- ③対象者を全人的に理解し、支援する人材を育成する。

本学では全学科における人材育成の教育理念・目標の核心を、「対象者のQOL向上を考え、QOL向上のため支援を実践する人材育成」と設定し、上記①～③を実践する。教育課程の最初には専門分化でなく、保健医療福祉スポーツの分野を広く統合して考えられる人材育成を基本的目標とし、その上で高度に分化した専門職育成を行う。以上をまとめて、“優れたQOLサポーターの育成”としている。

(2) 地域社会のニーズに応える大学

- ①大学の教育研究情報の積極的公開・提供
- ②地域の関連専門職団体や関係機関と連携して行う研究会の開催、研究会への協力
- ③情報通信ネットワークによる保健医療福祉スポーツ施設、在宅介護支援機関等への支援
- ④社会人等特別入学試験、科目等履修生制、聴講生制度
- ⑤公開講座（エクステンションプログラム）開講
 - ア. 保健医療福祉スポーツ専門職・小中高教員向けのセミナー・研究会の開催
 - イ. 高校生など対象の夏季特別プログラムの実施
 - ウ. 市民公開講座、市民参加交流講座の開催

⑥社会的貢献－教職員・学生のボランティア活動の積極的推進

保健医療福祉スポーツサービスは、行政機関や各種施設の職員、家族・親族、ボランティア団体、住民など多様な人々によって担われる。保健医療福祉スポーツ分野の大学である本学が、専門的学術情報を中心として地域の連携拠点として機能することにより、多様な活動を有機的に結び付け、より一層地域全体としてサービス水準の向上を図れるものと考ええる。

また、本学学生のみならず、広く社会人に対して門戸を開き、更に地域の保健医療福祉スポーツ水準向上のため、関係機関や行政と密接に連携をとりつつ可能な限り地域住民の保健医療福祉スポーツ活動に寄与するよう努める。

(3) 国際社会に貢献する大学

- ①人的交流－教員の交流・留学生の受入れや学生の派遣
- ②日本周辺諸国との保健医療福祉スポーツ分野における交流のシンポジウム・ワークショップなどの開催

保健医療福祉スポーツ分野でも「発信」型の国際交流が望まれる。中国、韓国、台湾、東南アジア諸国では、程度の差はあれ、工業化、都市化、核家族化、長寿化、伝統的な家族意識の崩壊などの諸要因によって、一人暮らしや老夫婦だけの高齢者世帯が増え、健康問題、保健医療問題、介護問題などの生活問題を抱えはじめている。このような変化はまさしく我が国が辿った過程であり、その先には保健医療福祉制度の見直しや、高度専門職者育成など諸課題が生じることが予測される。

我が国が周辺諸国から期待されている役割を果たす意味からも、これらの課題に取り組み、我々の高齢社会に於ける経験に基づく有用な情報を積極的に発信し、国際的に貢献するよう努める。

2) 教育内容の特色等

本学は教育理念と教育目標を基本理念とは別に定めているのが特徴であるが、基本理念（1）の具体概念と考えられる（再出）。教育理念（目的）は「医療福祉分野に対する社会的要請に応えるべく、豊かな人間性と高潔な倫理性に立脚し、高度な専門性に加えて他の専門領域をも横断的・融合的に理解し、研究し、実践し、教育する人材を養成する」、教育目標は「保健医療福祉スポーツの4分野を統合的に考え、他のスタッフと協力しながらQOL（＝いかによく生きるか）を総合的に考え、豊かなコミュニケーションで対象者のQOLを支える「優れたQOLサポーター」を育成する」である。

上記の目的・目標を達成するため、それぞれの学科におけるカリキュラムは、その名称が示す内容の国家資格等の受験資格を取得することができるように設定し、育成する“人材像”は次の通りである。

- ①対象者のQOL（生活の質、生きる質、健康の質）を自ら考え、その向上を実践する人材
- ②多様な価値観に寛容であり、対話ができる人材
- ③保健医療福祉スポーツ分野の複数の職種の人たちとチームアプローチができる人材
- ④教養的知識と専門的知識・技能をバランス良く身につけている人材
- ⑤保健医療福祉スポーツおよび一般社会における情報化に対応できる人材
- ⑥異文化理解・コミュニケーションの手段として外国語を使い、自ら発信できる人材

3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」

「優れたQOLサポーター」とは、保健医療福祉スポーツ分野を総合的に捉え、他分野のスタッフと協力しながら、対象者のQOL（＝いかによく生きるか）をいつも考え、その人を全人的に支える人材を意味する（再出）。

本学では「優れた」を満たす要件として、次の5項目を設定した（2010年）。

- ①科学的知識と技術を活用する力（Science & Art）
- ②チームワークとリーダーシップ（Teamwork & Leadership）
- ③対象者を支援する力（Empowerment）
- ④問題を解決する力（Problem-solving）
- ⑤自己実現意欲（Self-realization）

「5つの要件」を表す英語の頭文字を取ってSTEPSとまとめている。なお保健医療福祉スポーツ分野でエンパワメント（Empowerment）は、「対象者自身が自分らしく生きる力（自己決断力）および権利（自己決定権）」を意味するので、上記③を厳密に表現すれば「対象者のエンパワメントを支援する力」となることを付記する。

2. 沿革

年	月	事 項
1996年 (平成8年)	4月	大学設立構想検討開始
1997年 (平成9年)	1月	大学設置準備室設置
1999年 (平成11年)	6月	財団法人新潟医療福祉大学設立準備財団設立許可（文部省）
2000年 (平成12年)	12月 12月 12月 12月 12月	新潟医療福祉大学 設置認可（文部省） 学校法人新潟総合学園 設立認可（文部省） 理学療法学科 理学療法士学校の指定 作業療法学科 作業療法士学校の指定 言語聴覚学科 言語聴覚士学校の指定
2001年 (平成13年)	2月 3月 4月 4月 4月	校地・校舎 竣工 健康栄養学科 管理栄養士養成施設・栄養士養成施設の指定 新潟医療福祉大学開学（2学部5学科設置） ・医療技術学部 理学療法学科（入学定員40名）、作業療法学科（入学定員40名）、 言語聴覚学科（入学定員40名）、健康栄養学科（入学定員40名） ・社会福祉学部 社会福祉学科（入学定員100名） 新潟医療福祉大学竣工・開学式典 新潟医療福祉大学 第1回入学式
2002年 (平成14年)	4月 9月	新潟医療福祉大学 第2回入学式 第2厚生棟 竣工
2003年 (平成15年)	4月	新潟医療福祉大学 第3回入学式
2004年 (平成16年)	4月 11月	新潟医療福祉大学 第4回入学式 新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科（修士課程：保健学専攻・社会福祉学専攻）の設置認可
2005年 (平成17年)	1月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 9月	第3研究棟、体育棟、第2実験実習棟 竣工 新潟医療福祉大学 第1回卒業式 健康栄養学科（栄養教諭一種免許）教員免許課程の認定 健康スポーツ学科（中・高教諭一種免許（保健体育））教員免許課程の認定 大学院医療福祉学研究科設置 保健学専攻、社会福祉学専攻開設（入学定員40名） 医療技術学部健康スポーツ学科開設（入学定員60名） 医療技術学部理学療法学科入学定員増（入学定員80名） 新潟医療福祉大学 第5回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第1回入学式 ハルビン医科大学第一臨床医学院（中国）との学術交流協定の締結 看護学科 保健師学校・助産師学校・看護師学校の指定

2006年 (平成18年)	2月	サザンクイーンズランド大学（オーストラリア）との研究協力についての覚書の締結
	3月	新潟医療福祉大学 第2回卒業式
	3月	看護学科（養護教諭一種免許）教員免許課程の認定
	3月	社会福祉学部社会福祉学科 介護福祉士学校の指定
	3月	第4研究棟 竣工
	4月	医療技術学部看護学科開設（入学定員80名）
	4月	社会福祉学部社会福祉学科介護福祉コース開設 入学定員増（入学定員120名）
	4月	新潟医療福祉大学 第6回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第2回入学式
	6月	ハッサン大学（アメリカ）との学術交流協定の締結
	9月	義肢装具自立支援学科 義肢装具士学校の指定
	9月	ハバロフスク極東総合医科大学（ロシア）との学術交流協定の締結
2007年 (平成19年)	3月	新潟医療福祉大学 第3回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第1回修了式（学位記授与式）
	3月	第5研究棟 竣工
	3月	財団法人日本高等教育評価機構から大学評価基準適合認定を受ける ※認定期間 平成18年4月1日～平成24年3月31日
	4月	第3厚生棟 竣工
	4月	大学院医療福祉学専攻（博士後期課程）開設（入学定員3名）
	4月	大学院健康科学専攻（修士課程）開設（入学定員10名） ※入学定員の変更 保健学専攻20名，社会福祉学専攻10名
	4月	2学部より3学部（医療技術学部・健康科学部・社会福祉学部）へ改組
	4月	健康科学部健康栄養学科（入学定員40名），健康スポーツ学科（入学定員100名）， 看護学科（入学定員80名）開設 ※医療技術学部健康栄養学科，健康スポーツ学科，看護学科 募集停止
	4月	医療技術学部義肢装具自立支援学科（入学定員40名）開設
	4月	東京キャンパス（東京都千代田区丸の内）の開設
	4月	新潟医療福祉大学 第7回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第3回入学式
	5月	カリフォルニア州立大学フレズノ校（アメリカ）との学術交流協定の締結 大学院健康科学専攻健康スポーツ学分野（中・高教諭専修免許（保健体育））
	12月	教員免許課程の認定
2008年 (平成20年)	3月	新潟医療福祉大学 第4回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第2回修了式（学位記授与式）
	4月	新潟医療福祉大学 第8回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第4回入学式
2009年 (平成21年)	3月	新潟医療福祉大学 第5回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第3回修了式（学位記授与式）
	4月	新潟医療福祉大学 第9回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第5回入学式
	5月	第3体育館棟 竣工
	7月	「QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発の実践」が，文部科学省平成21年度戦略的大学連携支援事業として採択

	7月	国立シリントン・リハビリテーションセンター（タイ）との学術交流協定の締結（義肢装具自立支援学科）
	9月	キングストン大学（イギリス）およびロンドン大学セントジョージ校（イギリス）の健康社会福祉科学学部との国際交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国の4カ国から8名の参加
2010年 （平成22年）	3月	新潟医療福祉大学 第6回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第4回修了式（学位記授与式）
	3月	第3厚生棟改修 竣工
	3月	新潟市北区との包括連携協定の締結
	4月	医療経営管理学部医療情報管理学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第10回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第6回入学式
	8月	弘光科技大学（台湾）との学術交流協定の締結
	8月	アンヘレス大学財団（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の4カ国から5名の参加
	11月	運動機能医科学研究所 開設
2011年 （平成23年）	3月	新潟医療福祉大学 第7回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第5回修了式（学位記授与式）
	3月	第6研究・実習棟 竣工
	4月	医療技術学部臨床技術学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第11回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第7回入学式
	8月	ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部臨床技術学科（アメリカ）との学術交流協定の締結（臨床技術学科）
	10月	サント・トーマス大学（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の5カ国から10名の参加
	10月	『新潟医療福祉大学』開学10周年記念式典開催
	12月	イーストアングリア大学看護・助産学校（イギリス）との学術交流協定の締結
2012年 （平成24年）	3月	新潟医療福祉大学 第8回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第6回修了式（学位記授与式）
	4月	新潟医療福祉大学 第12回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第8回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・マーシャル諸島共和国・キリバス共和国・ツバル・パラオ共和国の6カ国から7名の参加
2013年 （平成25年）	3月	新潟医療福祉大学 第9回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第7回修了式（学位記授与式）
	3月	第7研究・実習棟 竣工
	3月	硬式野球グラウンド 竣工
	3月	五泉市との包括連携協定の締結

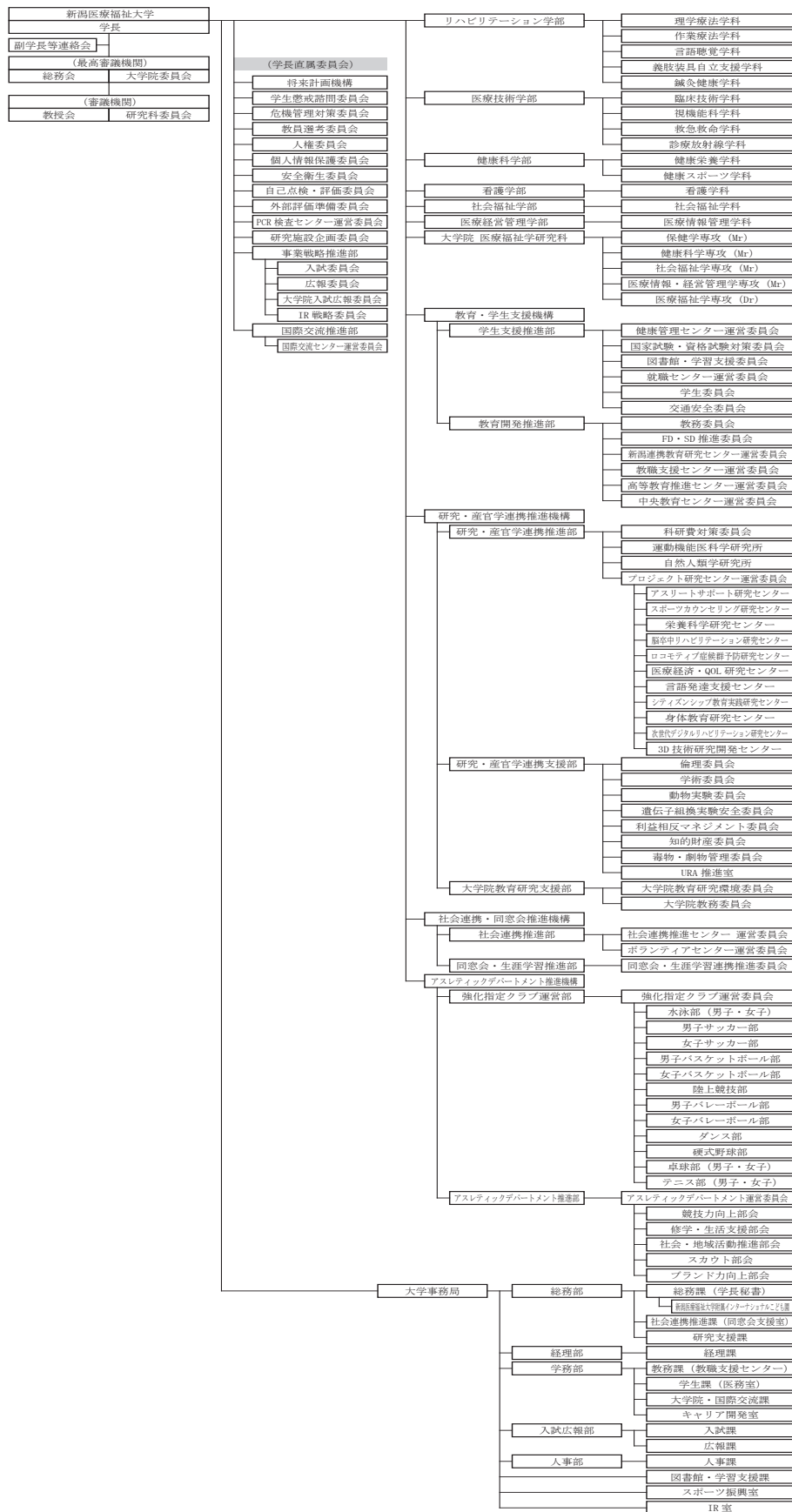
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増（入学定員160名）
	4月	新潟医療福祉大学 第13回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第9回入学式
	5月	陸上競技グラウンド，テニスコート 竣工
	8月	台北榮民總醫院（台湾）との学術交流締結
	9月	視機能科学科 視能訓練士学校の指定
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2014年 （平成26年）	1月	2013年度私立大学等改革総合支援事業タイプ2に選定
	3月	新潟医療福祉大学 第10回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第8回修了式（学位記授与式）
	3月	第8研究・実習棟 竣工
	3月	屋内走路，屋内野球練習場 竣工
	3月	公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において適合認定を受ける ※認定期間 平成25年4月1日～平成32年3月31日
	4月	医療技術学部視機能科学科（入学定員50名）開設
	4月	大学院修士課程医療情報・経営管理学専攻（入学定員4名）開設 ※入学定員の変更 保健学専攻18名，社会福祉学専攻8名
	4月	新潟医療福祉大学 第14回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第10回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修【フェーズⅡ】の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2015年 （平成27年）	1月	クラブハウス 竣工
	1月	2014年度私立大学等改革総合支援事業タイプ2に選定
	2月	マヒドン大学（タイ）との学術交流協定の締結
	3月	新潟医療福祉大学 第11回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第9回修了式（学位記授与式）
	3月	新潟県社会福祉協議会との包括連携協定の締結
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増（入学定員200名）
	4月	新潟医療福祉大学 第15回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第11回入学式
	4月	クイーンズ大学（カナダ）との学術交流協定の締結（作業療法学科）
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防コース研修の実施 タイから14名の参加
	10月	新潟市社会福祉協議会との包括連携協定の締結
2016年 （平成28年）	3月	新潟医療福祉大学 第12回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第10回修了式（学位記授与式）
	3月	第2講義棟，第4体育館棟 竣工
	4月	医療技術学部理学療法学科 入学定員増（入学定員120名）
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増（入学定員8名）
	4月	新潟医療福祉大学 第16回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第12回入学式
2017年 （平成29年）	3月	新潟医療福祉大学 第13回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第11回修了式（学位記授与式）
	4月	第9研究・実習棟 竣工

	4月 4月 4月 11月	医療技術学部救急救命学科（入学定員55名）開設 新潟医療福祉大学 第17回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第13回入学式 「リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合による先端的研究拠点－Sports & Health for All in Niigata－」が文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業として採択
2018年 (平成30年)	3月 3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 4月 6月	新潟医療福祉大学 第14回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第12回修了式（学位記授与式） 第4研究・実習棟増築改修 竣工 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園 竣工 学生寮「N-Village 伍桃」第1期工事（13棟311室，共用棟）竣工 リハビリテーション学部理学療法学科（入学定員120名）開設 リハビリテーション学部作業療法学科（入学定員 50名）開設 リハビリテーション学部言語聴覚学科（入学定員 40名）開設 リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科（入学定員 40名）開設 医療技術学部臨床技術学科 入学定員増（入学定員100名） 医療技術学部診療放射線学科（入学定員90名）開設 看護学部看護学科（入学定員107名）開設 大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増（入学定員10名） 新潟医療福祉大学 第18回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第14回入学式 スポーツ庁「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業」に採択
2019年 (平成31年)	3月 3月 3月 3月 4月 4月	学生寮「N-Village 伍桃」第2期工事（13棟295室）竣工 新潟医療福祉大学 第15回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第13回修了式（学位記授与式） 2019年度スポーツ庁大学スポーツ振興推進事業に採択 新潟医療福祉大学 第19回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第15回入学式
2020年 (令和2年)	3月 3月 3月 4月 4月 5月	新潟医療福祉大学 第16回卒業式（コロナウイルス感染拡大により学位記授与のみ） 新潟医療福祉大学大学院 第14回修了式（同上） 2020年度スポーツ庁大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業に採択 新潟医療福祉大学 第20回入学式（オンライン） 新潟医療福祉大学大学院 第16回入学式（オンライン） 2020年度スポーツ庁女性アスリートの育成・支援プロジェクト事業に採択
2021年 (令和3年)	3月 3月 3月 4月 4月 4月 5月 10月 10月	新潟医療福祉大学 第17回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第15回修了式（学位記授与式） 福井県鯖江市との包括連携協定の締結 健康科学部健康スポーツ学科入学定員増（入学定員250名） 新潟医療福祉大学 第21回入学式（オンライン） 新潟医療福祉大学大学院 第17回入学式（オンライン） 2021年度スポーツ庁女性アスリートの育成・支援プロジェクト事業に採択 北側トレーニングセンター 竣工 屋内投てき場 竣工

2022年 (令和4年)	1月	自然人類学研究所 開設
	3月	新潟医療福祉大学 第18回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第16回修了式（学位記授与式）
	4月	新潟医療福祉大学 第22回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第18回入学式
	8月	令和4年度スポーツ庁委託事業「女性アスリートの課題解決実践型プログラム」採択
2023年 (令和5年)	3月	文部科学省 令和4年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ2「特色ある高度な研究の展開」、タイプ3「地域社会への貢献（地域連携型）」選定
	3月	新潟医療福祉大学 第19回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第17回修了式（学位記授与式）
	3月	第11研究・実習棟（U棟） 竣工（附属鍼灸センター設置）
	4月	リハビリテーション学部鍼灸健康学科（入学定員40名） 開設
	4月	大学院修士課程 入学定員増（入学定員55名） （保健学専攻自然人類学分野，保健学専攻リハビリテーション栄養コース，健康科学専攻にスポーツ栄養学コースを新たに設置し，医療福祉学研究科5専攻15分野）
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増（入学定員20名）
	4月	新潟医療福祉大学 第23回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第19回入学式
2024年 (令和6年)	2月	文部科学省 令和5年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ2「特色ある高度な研究の展開」、タイプ3「地域社会の発展への貢献（地域連携型）」選定
	3月	UNIVAS AWARDS 2023-2024にてMS&AD賞（安全確保に関する優秀取組賞）受賞 主催：一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）
	3月	学生寮「N-Village 伍桃 NEXT-I」（1棟83室） 竣工
	3月	新潟医療福祉大学 第20回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第18回修了式（学位記授与式）
	3月	高大医連携事業：新潟県厚生農業協同組合連合会（JA新潟厚生連）および日本赤十字社長岡赤十字病院とパートナーシップ協定締結
	3月	高大医連携事業：医療専攻を有する高等学校を含む新潟県内外5校と高大連携協定の締結（新潟県立小出高等学校，新潟県立三条東高等学校，新潟県立新潟西高等学校，新潟県立新潟東高等学校，藤村女子高等学校（東京））

3. 組織

1) 組織図



2) 役職者

(1) 新潟医療福祉大学

学 長	西澤正豊
副学長	大山峰生
副学長	大西秀明
副学長	西原康行
リハビリテーション学部長	大西秀明
医療技術学部長	笠原敏文
健康科学部長	西原康行
看護学部長	宇田優子
社会福祉学部長	渡邊敏文
医療経営管理学部長	柴山純一
リハビリテーション学部	
理学療法学科長	椿 淳裕
作業療法学科長	能村友紀
言語聴覚学科長	大石如香
義肢装具自立支援学科長	佐藤成登志
鍼灸健康学科長	粕谷大智
医療技術学部	
臨床技術学科長	渡邊博昭
視機能科学科長	前田史篤
救急救命学科長	竹井 豊
臨床放射線学科	児玉直樹
健康科学部	
健康栄養学科長	永井 徹
健康スポーツ学科長	佐藤敏郎
看護学部	
看護学科長	宇田優子
社会福祉学部	
社会福祉学科長	佐藤 洋
医療経営管理学部	
医療情報管理学科長	柴山純一
教育・学生支援機構長	大山峰生
研究・産官学連携推進機構長	大西秀明
社会連携・同窓会推進機構長	西原康行
アスレティックデパートメント推進機構長	西原康行
学生部長	相馬俊雄
図書館長	竹井 豊
大学事務局長	小野哲之

(2) 新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科

研究科長	佐藤大輔
修士課程	
保健学専攻長	久保雅義
健康科学専攻長	佐藤大輔
社会福祉学専攻長	寺田貴美代
医療情報・経営管理学専攻長	木下直彦
保健学専攻	
理学療法学分野長	久保雅義
作業療法学分野長	能村友紀
言語聴覚学分野長	吉岡 豊
義肢装具自立支援学分野長	阿部 薫
医療技術安全管理学分野長	藤井 豊
視覚科学分野長	増田 修
救急救命学分野	竹井 豊
放射線情報学分野	笠井 聡
自然人類学分野長	奈良貴史
健康科学専攻	
健康栄養学分野長	稲葉洋美
健康スポーツ学分野長	山代幸哉
看護学分野長	杉本 洋
社会福祉学専攻	
保健医療福祉政策・計画・運営分野長	寺田貴美代
保健医療福祉マネジメント学分野長	松本京介
医療情報・経営管理学専攻	
医療情報・経営管理学分野長	木下直彦
博士後期課程	
医療福祉学専攻長	児玉直樹

3) 教員数 (2023年5月1日現在)

(1) 教員数

学部専任教員数 295名

(注1) 学長・副学長を含む。

(注2) 兼担大学院担当者 (○合, 合) 修士課程126名 博士後期課程62名含む

(2) 学部別教員数

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
リハビリテーション学部	(1)	30	8	27	14	3	82
医療技術学部		23	10	13	14	4	64
健康科学部		17	10	20	14	2	63
看護学部		7	5	6	11	10	39
社会福祉学部		11	3	4	4	2	24
医療経営管理学部		7	2	2	5	1	17
教育・学生支援機構		0	2	1	0	0	3
社会連携・同窓会推進機構		1	1	0	0	0	2
合 計	(1)	96	41	73	62	22	294

(3) 学科別教員数 (注3)

学科	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
理学療法学科	(1)	12	1	13	9	2	37
作業療法学科		4	1	3	2	0	10
言語聴覚学科		5	4	2	1	1	13
義肢装具自立支援学科		5	0	7	1	0	13
鍼灸健康学科		4	2	2	1	0	9
臨床技術学科		8	6	3	5	4	26
視機能科学科		6	0	1	3	0	10
救急救命学科		4	0	5	2	0	11
診療放射線学科		5	4	4	4	0	17
健康栄養学科		6	2	4	4	1	17
健康スポーツ学科		11	8	16	10	1	46
看護学科		7	5	6	11	10	39
社会福祉学科		11	3	4	4	2	24
医療情報管理学科		7	2	2	5	1	17
教育・学生支援機構		0	2	1	0	0	3
社会連携・同窓会推進機構		1	1	0	0	0	2
計	(1)	96	41	73	62	22	294

(注3) リハビリテーション学部：理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 義肢装具自立支援学科
鍼灸健康学科

医療技術学部：臨床技術学科 視機能科学科 救急救命学科 診療放射線学科

健康科学部：健康栄養学科 健康スポーツ学科

看護学部：看護学科

社会福祉学部：社会福祉学科

医療経営管理学部：医療情報管理学科

4. 学年暦

- 4月 2日(日) ・学生寮「N-Village 伍桃」入寮式・オリエンテーション(WEB形式)実施
3日(月) ・新任教員辞令交付式(対面形式)実施
交付者／新任教員30名, 昇任教員18名, 管理職教員12名
・新任教職員事務局オリエンテーション(WEB形式)実施
参加者／新任教職員74名
内容／大学概要説明, 各種事務手続き説明, 学会への入会案内など
・新入生オリエンテーション＜全体＞①(WEB形式)実施
対象／全新生と3年次編入生
内容／大学での修学および学生生活に関する動画視聴
4日(火) ・新入生オリエンテーション＜全体＞②(対面形式)実施
対象／全新生と3年次編入生
内容／大学生活・健康診断, 学友会の紹介, 各種入学書類の回収など
・新任教員FD研修(WEB形式)実施
対象／計48名
内容／「本学の教育理念及び教育特徴の理解」のためのセミナー開催
4日(火)～9日(日)
・第99回日本選手権水泳競技大会出場
結果／水沼尚輝(職員) 男子100mバタフライ2位
(水沼尚輝選手は世界水泳選手権2023福岡大会内定)
山崎光(職員) 女子50m背泳ぎ2位
5日(水) ・新入生オリエンテーション＜学科別＞②(対面形式)実施
対象／全新生と3年次編入生
内容／学科からの説明
5日(水)～9日(日)
・履修登録期間(前期・後期)
7日(金) ・2023年度入学式挙行
会場／朱鷺メッセ
入学者数／学部生1,197名, 大学院生90名 計1,287名
来場者数／2,402名
※動画によるライブ配信を実施 ライブ視聴162名
アーカイブ再生 1,777再生
8日(土) ・新入生歓迎会(桃迎会)開催(対面方式)
内容／学友会主催のクラブ・サークル活動を紹介
参加者／新入生約600名
9日(日) ・鍼灸健康学科開設記念披露会実施
10日(月) ・前期授業開始
授業形式／講義・実習とも対面方式で実施
20日(木) ・新任職員SD研修会実施
内容／「新潟医療福祉大学の職員になるということ」など
参加者／新任事務局職員21名
21日(金)～23日(日)
・2023日本学生陸上競技個人選手権大会出場
結果／北原博企(健康スポーツ学科3年) 男子円盤投げ優勝

- 木村玲奈（理学療法学科4年）女子やり投げ3位
- 22日（土）・医療機関業界・職種研究会（対面型）開催
参加者／臨床技術学科57名，診療放射線学科75名 合計132名
参加企業／4病院，1施設，1企業
- 26日（水）・2025年度卒業予定者向けプレ就職ガイダンス実施
内容／キャリアシュミレーションプログラム（グループワーク）
参加者／3年生 85名
・第53回危機管理対策委員会開催
内容／・5月8日以降の大学方針を決定
・行動制限レベルは原則0（感染防御対策のうえ通常）とする
- 27日（木）・世界水泳選手権2023福岡大会の日本代表スタッフに2名選出
日本代表コーチ 下山好充先生（健康スポーツ学科教授，水泳部監督）
日本代表トレーナー 松浦由生子先生（健康スポーツ学科講師）
- 29日（土）～5月7日（日）
・5月オープンキャンパス（WEB形式）開催
参加者／受付実数408名（前年658名）
- 5月 7日（日）・第102回全日本サッカー選手権大会（天皇杯）新潟県代表決定戦出場
結果／新潟医療福祉大学 2－1 新潟医療福祉大学FC
※新潟医療福祉大学が優勝し，県代表として天皇杯への出場が決定
（新潟医療福祉大学としては7年連続の出場）
- 10日（水）・新潟医療福祉大学附属鍼灸センター開所
- 12日（金）・スポーツ庁委託事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業」採択
事業規模／3年間（1,650万×3年）
内容／新潟医療福祉大学アスリートサポート研究センターと新潟リハビリテーション病院スポーツ医学総合診療センターを中心機関として，新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターなどと連携・協働することで，「新潟スポーツ医・科学コンソーシアム」を形成し，トップアスリートの育成を目指したスポーツ医・科学支援提供体制の構築などを図る．これらの取り組みを通じて得られたノウハウ等を隣接県に横展開することで，「北信越スポーツ医・科学コンソーシアム」の形成を目指す．
- 13日（土）～14日（日）（陸上競技部）第97回北信越学生陸上競技対抗選手権
結果／・男子トラック優勝，男子フィールド優勝
・女子トラック優勝，女子フィールド優勝
（男女とも総合優勝）
・北原博企（健康スポーツ学科4年）最優秀賞
- 19日（金）・春の職員会開催（対面方式）
内容／2023年度方針と目標の発表
対象／事務局全職員
- 21日（日）・第102回全日本サッカー選手権大会（天皇杯）出場
結果／1回戦敗退
新潟医療福祉大学 1－2 FC岐阜（J3・岐阜県代表）
- 22日（月）・女子硬式野球部創部（2024年4月）・監督就任記者発表会実施
- 27日（土）・医療福祉等求人説明会開催
- 29日（月）・北陸圏人会開催 参加者／23名
- 30日（火）・福島県人会開催 参加者／29名

- 6月 1日（木） ・新潟市北区観光レポーター情報発信事業をスタート
 内容／新潟市北区からの事業委託として、本学生がSNSを活用して、北区の観光情報や飲食店情報、イベント等、魅力を発信する。
 事業委託期間：2023年6月1日～2024年3月31日
- 6月 1日（木）～4日（日）
- ・第107回日本陸上競技選手権大会出場
 結果／入賞1種目1名
 女子ハンマー投 6位 エバサカテレサ（大学院修士課程1年）
 - ・第39回U20日本陸上競技選手権大会出場
 結果／入賞2種目2名
 男子砲丸投 優勝 渡辺豹牙（健康スポーツ学科1年）
 女子やり投 4位 根本穂波（健康スポーツ学科1年）
- 3日（土）～11日（日）
- ・6月オープンキャンパス（WEB形式）※4日（日）来場型同時開催
 参加者／1,170名（前年949名）
 ※4日（日）来場型の参加者は771名（前年181名）
- 7日（水） ・「夢を語る会」（1年生）実施
- 10日（土） ・日本語表現法プレイスメントテスト（1年生）実施
- 14日（水） ・学生表彰式開催
 内容／2022年度の活動で優秀な成績や実績を収めた学生を表彰
 対象／14名（社会活動優秀者1名、課外活動優秀者13名）
- 17日（土） ・創立記念日
- 18日（日） ・島見浜海岸清掃ボランティア活動
 （学生寮主催・新潟北ライオンズクラブ共同実施）
 参加者／寮生25名 教職員7名 ライオンズクラブ19名
- 22日（木） ・強化指定クラブ女性アスリート対象セミナー実施
 内容／アスリート向けの美容とセルフケアについて
 講師／鍼灸健康学科 高野道代講師
 参加者／学生33名 強化部コーチ2名
- ・新潟アルビレックスBBラビッツ選手の「眼の精密検査」を実施
 内容／女性アスリート育成・支援策として、視機能科学科教員、学生が選手の動体視力や視野など、スポーツビジョンの評価を行う
- 23日（金） ・高校教員対象オープンキャンパス（来場型）実施
 参加者／27校29名参加（昨年は来場型実施なし）
 ※WEB形式は7月末まで実施中
- 24日（土） ・業界・職種研究会実施
 参加企業／9社 参加者／155名
- ・第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会出場
 結果／優勝（5大会連続） NUHW 3－0 金沢学院大学
 ※8月開催の第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントに北信越地区代表として出場決定
- 26日（月） ・2023年度名誉教授称号授与式実施
 内容／今年度名誉教授として称号授与が決定した4名の名誉教授に称号記を授与
- ・大学院オープンキャンパス「教えて！大学院」（オンライン開催）実施
 内容／健康スポーツ分野、看護分野について

- 参加者／76名（前年12名）
- 7月 6日（木）・第25回アジア陸上競技選手権大会激励会実施
 内容／走高跳日本代表選手として出場を決めた長谷川直人選手（本学卒，陸上競技部，アルビレックスRC所属，本学学務部教務課に勤務）の激励会を学内で実施
- 8日（土）～17日（日）
 ・7月オープンキャンパス（WEB形式）※9日（日）来場型同時開催
 参加者／1,259名（前年1,034名）
 ※9日（日）の来場型の参加者は663名
- 8日（土）・男子サッカー部 全国社会人サッカー選手権北信越大会出場
 結果／新潟医療福祉大学（3rd）1－1（PK 4－2）福井ユナイテッドFC
 ※新潟医療福祉大学（3rd）は第59回全国社会人サッカー選手権出場決定
- 15日（土）・陸上競技部 全日本大学駅伝北信越選考会出場
 結果／男子総合3位 女子総合1位
 ※女子は第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会12年連続12回目の出場が決定
- 15日（土）・16日（日）
 ・陸上競技部 第77回新潟県陸上競技選手権大会出場
 結果／女子ハンマー投げ 優勝 エバサカテサ（大学院1年）
 ※大会新記録・新潟県新記録
 男子三段跳 優勝 泉井陸（健康スポーツ4年）
 男子円盤投 優勝 北原博企（健康スポーツ3年）
 女子100mH 優勝 笠原理湖（大学院2年）
 女子円盤投 優勝 浅妻ひなた（健康スポーツ2年）
- 17日（月）・授業実施日
- 19日（水）・薬物乱用防止講演会実施
 内容／「薬物依存症の息子を抱えて」
 講師／新潟県薬物依存症者を抱える家族の会
 小西 憲氏，小西 美代子氏
 参加者／1年生1,195名
- ・令和5年度科学研究費学内説明会実施
 参加者／161名（NUHW152名，JIGYO 4名，NAFU 5名）
- 23日（日）～30日（日）
 ・水泳部 世界水泳選手権2023福岡大会出場
 結果／水沼尚輝（職員）が日本代表選手として出場
 男子50mバタフライ 予選33位
 男子100mバタフライ 予選19位
 男子4×100mメドレーリレー 6位
 その他／日本代表コーチとして下山好充教授（健康スポーツ学科）と日本代表トレーナーとして松浦由生子講師（健康スポーツ学科）が参加
- 28日（火）・キッズオープンキャンパス開催
 主 催／豊栄地区公民館・新潟医療福祉大学（共催）
 内 容／施設見学，実習施設体験など
 参加者／小学生（4年生から6年生）27名，引率4名
- 29日（水）・医療福祉施設求人説明会開催
 参加者／173名
 参加施設／77施設（全て病院）

- 30日（日） ・ 大学院夏のオープンキャンパス開催
参加者／36名（前年／32名）
- 31日（月）～8月7日（月）
・ 学部／大学院前期定期試験実施
- 8月 1日（土） ・ 強化指定クラブコンプライアンス研修会実施
内 容／スポーツ現場におけるコンプライアンス
講 師／UNIVAS（大学スポーツ協会）法務部長中山祥氏（弁護士）
参加者／強化指定クラブ監督・コーチ 17名
- 5日（土）、6日（日）
・ 8月オープンキャンパス（来場型）開催
参加者／1,939名（前年実施なし）
- 5日（土）～13日（土）
・ 8月WEBオープンキャンパス開催
参加者／828名（前年／3,224名）
- 8日（火） ・ 高大連携プログラム「チーム医療体験会」開催
参加者／新潟県内高校生55名 高校教員3名
内 容／PBLプログラムを通して多職種連携の重要性について学ぶ
- 7日（水）～10日（土）
・ ダンス部 全日本高校・大学ダンスフェスティバル出場（神戸）
結果／審査員賞受賞
- 10日（土）～15日（火）
・ 大学休業期間
- 16日（水）～18日（金）
・ 学部／大学院前期追試験、再試験実施
- 20日（日） ・ 世界陸上競技選手権大会（ブダペスト）出場
結果／長谷川直人（卒業生、新潟アルビレックスRC所属）が日本代表選手して男子走高跳びに出場、18位。
- 21日（月）～25日（金）
・ 視機能科学科「夏休みの自由研究」開催
内 容／実験や工作を通じて、視覚や光の不思議について学ぶ
参加者／3歳から12歳児、保護者79名
- 24日（木） ・ スポーツに関わる職場見学会開催
内 容／新潟アルビレックスBBにてトレーナー（鍼灸師）見学、田村義肢製作所にてスポーツシューズインソール製作体験
参加者／高校生7名
- 26日（土）、27日（日）
・ 水泳部 日本学生選手権水泳競技大会（OWS）出場
結果／団体 男子総合3位、女子総合5位
男子10キロ 優勝 本山 空（健康スポーツ3年）
3位 筒井大介（健康スポーツ4年）
男子5キロ 優勝 本山 空（健康スポーツ3年）
8位 筒井大介（健康スポーツ4年）
女子10キロ 2位 永尾美友（健康スポーツ3年）
4位 八木紀香（社会福祉4年）
- 28日（月） ・ 第5回教えて！大学院（WEB形式）開催

参加者／30名（前年／38名）

28日（月）～9月 1日（金）

・連携総合ゼミ実施

参加者／本学，新潟薬科大学，日本歯科大学新潟短期大学，アンヘレス大学（フィリピン）サント・トマス大学（フィリピン），中山医科大学（台湾），ハイズオン医療技術大学（ベトナム）計110名

内 容／他学科の学生，他大学の学生とチームを結成して，具体的な症例をもとにグループワークを通じて患者や対象者への支援策を検討し，発表を通して多職種への理解を深めることを目的とする．今年度は12の仮想症例による支援策が発表された．

30日（水）・学部9月卒業判定会議実施

結果／16名の9月卒業を認定

（作業療法学科5名，言語聴覚学科1名，義肢装具自立支援学科1名，視機能科学科1名，診療放射線学科2名，健康スポーツ学科4名，看護学科2名）

9月 1日（金）・学部9月卒業発表

・NSGグループ病院新人看護師研修実施

参加者／15名（新潟リハビリテーション病院7名，新発田リハビリテーション病院4名，中条中央病院2名，新潟脳外科病院2名）

内容／本学メディカルシミュレーション教育センターにて，高性能シミュレータを用いたシミュレーション研修（脳梗塞を事例）を実施．

5日（火）・大学院9月修了判定会議

結果／3名の9月修了を認定（博士後期課程2名，修士課程1名）

6日（水）・男子サッカー部 第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント出場

結果／準々決勝敗退（ベスト8）

新潟医療福祉大学 0－1 順天堂大学（関東地区代表）

8日（金）・大学院9月修了者発表

9日（土）～18日（金）

・9月WEBオープンキャンパス開催

参加者／676名（前年／798名）

11日（月）～15日（金）

・連携基礎ゼミ（実践行動学Ⅱ）実施

14日（木）～17日（日）

・第92回日本学生陸上競技対校選手権大会出場

結果／田中廉治郎（救急救命学科4年）男子十種競技3位

木村玲奈（理学療法学科4年）女子やり投3位

14日（木）～19日（火）

・令和5年度北信越大学対抗テニス王座決定試合出場

結果／男子団体 優勝（全日本大学対応王座決定試合出場決定）

女子団体 2位

15日（金）・秋の職員会開催（SD）研修

内容／学内美化活動「清掃中～クリーンコミュニケーション」

対象／全職員112名

20日（水）・9月卒業式，修了式挙行（本学にて）

卒業生／15名（作業療法学科5名・言語聴覚学科1名・義肢装具自立支援学科1名・視機能科学科1名・診療放射線学科2名・健康スポーツ学科3名・看護学科2名）

- 修了生／3名(修士課程保健学専攻理学療法分野1名・博士後期課程医療福祉学専攻2名)
- 23日(土) ・総合型選抜入試(A方式主体性一次, B方式基礎教養)実施
志願者数／925名(前年／918名)
- 23日(土)～10月8日(日)
・第19回アジア競技大会中国・杭州出場
結果／水沼尚輝(本学職員)水泳男子バタフライ4位
- 24日(日) ・医福大スポーツあそびの日開催(初開催)
内容／強化指定クラブ部員による運動プログラムの考案, 地域の幼児から小学生を対象にスポーツ指導を行う.
会場／新潟医療福祉大学北側スポーツ施設
参加者／210名の幼児, 児童, 保護者
- 25日(月) ・後期授業開始
・第6回教えて!大学院開催
参加者／19名(前年／16名)
- 28日(木) ・シニアオープンキャンパス開催
内容／健康講話, 鍼灸センター紹介, 学内見学, 学食体験
参加者／とよさか中高年教養大学受講者49名
- 10月 7日(土)～15日(日)
・WEBオープンキャンパス実施
参加者／406名(前年／699名)
- 8日(日) ・オープンキャンパス(来場型)実施
参加者／401名(前年／171名)
- 8日(日), 9日(月)
・第23回大学祭「伍桃祭」開催
2023年度テーマ／燈(ともしび)
来場者／3,149名(前年／2,135名)
- 8日(日)～15日(日)
・第32回全日本大学女子サッカー選手権大会北信越大会出場
結果／優勝(12年連続12回目のインカレ出場決定)
- 14日(土) ・総合型選抜入試(A方式主体性二次)実施
志願者数／358名(前年／356名)
- 16日(月) ・「第34回緑の環境プラン大賞」出場
結果／ポケットガーデン部門 国土交通大臣賞受賞
受賞団体／社会福祉学科原口ゼミ
受賞作品名／病院を公共の癒しの場に～花の40mリハビリロード～
- 19日(木)～22日(日)
・第57回北信越大学バスケットボール選手権大会出場
結果／男子バスケットボール部 優勝(インカレ出場決定)
女子バスケットボール部 優勝(インカレ出場決定)
- 21日(土) ・大学院第一次入学選考試験
志願者数／50名(前年／39名)
- 21日(土)・22日(日)
・第65回日本選手権(25m)水泳競技大会出場
結果／早坂亮(健康スポーツ学科1年)男子100m背泳ぎ3位
- 24日(火) ・第7回教えて!大学院開催

- 参加者／8名（前年実施なし）
- 26日（木）・27日（金）
- ・第1回東アジアU20選手権大会出場
 - 結果／渡辺豹牙（健康スポーツ学科1年）陸上男子砲丸投2位
- 28日（土）～11月5日（日）
- ・保護者会（WEB形式）開催 ※4日（土）来場形式
 - 内容／後援会長挨拶，学長挨拶，大学運営報告，学科長メッセージ，学科の取組などを動画にて紹介
 - 来場者／50名（前年／94名）
 - 動画再生回数／5,301回（前年／4,051回）
- 28日（土）～11月12日（日）
- ・11月オープンキャンパス（WEB型）開催
 - 参加者／540名（前年／523名）
- 28日（土）
- ・第22回 新潟医療福祉学会学術集会開催
 - 内容／多職種協働による産学連携と地域連携
 - 特別講演／矢野昌平氏（長岡工業高等専門学校電気電子システム工学科研究推進教授）
 - シンポジウム／
 - 座長／西原康行先生（新潟医療副大学副学長）
 - 椿淳裕先生（新潟医療福祉大学理学療法学科長・教授）
 - 笠井聡先生（新潟医療福祉大学診療放射線学科教授）
 - 石井雅子先生（新潟医療福祉大学社会連携推進センター長）
 - 渡辺敏文先生（新潟医療福祉大学社会福祉学部長・教授）
- 29日（日）
- ・全日本大学女子駅伝対校選手権大会出場
 - 結果／24位（出場26校）
- 30日（火）
- ・社会福祉学部心理健康学科（2024年4月開設，定員80名）
 - 設置認可書並びに寄附行為変更認可書受領（文部科学省）
- 11月 1日（水）
- ・一般社団法人大学スポーツ協会安全安心認証（UNIVAS SSC制度）第15号認証会員に認定
 - 制度の内容／一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）が，安全で安心な大学スポーツ活動を実現するための環境整備に向け，日本初の大学スポーツにおける安全安心認証の制度として構築．UNIVASが策定した「安全安心ガイドライン」で推進すべき13項目を「評価項目」として設定し，一定の基準を達成するとUNIVAS SSC（安全安心認証）が付与されます．
- 3日（木）
- ・授業実施日
- 3日（木）～12日（日）
- ・11月WEBオープンキャンパス開催
- 4日（土）
- ・後援会役員会開催
 - 内容／学長挨拶，大学運営報告，意見交換
 - 参加者／役員9名
- 4日（土），5日（日）
- ・第71回秋季北信越大学バレーボール選手権大会（女子）出場
 - 結果／準優勝 インカレ出場決定
- 5日（日），12日（日），18日（土）
- ・関甲新学生野球連盟オータムカップ出場
 - 結果／Aチーム2位 Bチーム2位

- 10日（金） ・「スポーツ・健康まちづくりデザイン学生コンペティション2023」
決勝大会出場
結果／優秀賞受賞
主催／スポーツ庁
内容／スポーツの力を活用した地域の諸課題の解決のための継続的な取り組みに関する
アイデアコンペ
受賞団体／健康スポーツ学科山本ゼミ
- 10日（金）～12日（日）
・第71回秋季北信越学生卓球選手権大会出場
結果／男子団体 2部リーグ 優勝
男子1部2部入れ替え戦
新潟医療福祉大学4－0 富山大学 1部昇格
女子団体 1部リーグ 3位
- 11日（土） ・新潟医療福祉大学同窓会第11回連携研修会開催
内容／災害における多職種連携
参加者／同窓生、事務局 44名参加
- 11日（土）12日（日）
・第6回日本社会人選手権水泳競技大会出場
結果／水沼尚輝（職員）男子100mバタフライ 優勝
男子50mバタフライ 2位
山崎光（職員）女子50m背泳ぎ 優勝
- 18日（土） ・「にいがた食と農の未来ビジョンコンテスト2023」決勝大会出場
結果／準グランプリ受賞
主催／公益財団法人食の新潟国際賞財団
受賞団体／健康栄養学科4年（スズキ・スムージー）
受賞テーマ／ナトカリ・スムージー
※その他、食の新潟国際賞財団特別賞を健康栄養学科4年（元気の源 だいずんずん）
が受賞
- 19日（土） ・学校推薦型選抜入試（指定校）実施
・総合型選抜C方式入試（スポーツ前期）
志願者数／413名（前年／289名）
- 23日（水） ・授業実施日
- 25日（土） ・学校推薦型選抜入試（公募前期）、総合型選抜D方式入試（基礎学力）
社会人特別入試実施
志願者数／323名（前年／306名）
- 28日（火） ・第70回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会出場
結果／1回戦敗退
新潟医療福祉大学0－3 岐阜協立大学
- 27日（月） ・第8回教えて！大学院開催
参加者／24名（前年開催なし）
- 30日（木）～12月3日（日）
・水泳ジャパンオープン2023出場
結果／水沼尚輝（職員）男子50mバタフライ 2位
- 12月 2日（土） ・学内企業説明会開催
参加企業／50社

- 参加者／学生 161 名
- 2 日（土）～10 日（日）
- ・WEB オープンキャンパス開催
- 参加者／373 名（前年／585 名）
- 2 日（土）～17 日（日）
- ・第 75 回全日本大学バスケットボール選手権大会出場
- 結果／男子バスケットボール部 グループステージ敗退
女子バスケットボール部 グループステージ敗退
- 9 日（土）
- ・大学院修士第 2 次入試，大学院博士第 1 次入試
- 志願者／26 名（前年／36 名）
- 9 日（土），10 日（日）
- ・第 42 回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール出場
- 結果／群舞部門 優秀群舞賞 総合 2 位
Duo なまはげ賞 総合 3 位
- 10 日（日）
- ・第 72 回全日本大学サッカー選手権大会出場
- 結果／2 回戦敗退 新潟医療福祉大学 1 - 2 流通経済大学
- 12 日（火）
- ・2023 年度挨拶・マナー活動優秀作品授賞式開催
- 主催／学生委員会
- 受賞作品／挨拶促進優秀賞 「笑顔の挨拶 医福の誇り」
マナー向上優秀賞 「チェックしよう 送信前の その言葉」
- 16 日（土）
- ・学校推薦型選抜入試（公募後期），総合型選抜 C 方式入試（スポーツ後期），
総合型選抜入試（面接試験重視型）
- 志願者数／17 名（前年／16 名）
- 16 日（土），17 日（日）
- ・第 54 回北信越学生卓球新人選手権大会出場
- 結果／男子ダブルス 準優勝
- 20 日（水）
- ・ハラスメント防止セミナー開催（オンライン形式）
- 対象／全教職員
- 22 日（金）
- ・メンタルヘルス講習会開催（オンライン形式）
- 対象／全教職員
- 23 日（土）
- ・全日本大学女子サッカー選手権出場
- 結果／1 回戦敗退 新潟医療福祉大学 2 - 3 大阪体育大学
- 25 日（月）
- ・年内授業最終日
 - ・第 9 回教えて！大学院開催
- 参加者／2 名（前年開催なし）
- 26 日（火）～1 月 3 日（水）
- ・大学休業日
- 1 月 1 日（月）～8 日（月）
- ・WEB オープンキャンパス
- 4 日（木）
- ・授業再開
- 6 日（土），7 日（日）
- ・能登半島地震におけるボランティア活動実施
- 内 容／新潟市西区で液状化における水・砂の撤去作業
- 参加者／学生，教職員 66 名
- 12 日（金）
- ・大学閉鎖日

- 13日(土), 14日(日)
- ・大学入学共通テスト(試験会場)実施
- 15日(月)～21日(日)
- ・WEBオープンキャンパス実施
参加者／524名(前年／661名)
- 17日(水)
- ・バイオ技術者認定試験(中級)最優秀賞受賞
2023年12月に実施された「バイオ技術者認定試験(中級)」において最高得点をマークした学生2名が全体の上位1%(19名)に入り最優秀賞を受賞
受賞者／兵頭 彩乃(臨床技術学科3年)
細川 上(臨床技術学科3年)
- 22日(月)
- ・第10回教えて!大学院開催
参加者／10名(昨年開催なし)
- 23日(火)～29日(月)
- ・学部／大学院後期定期試験実施
- 2月 1日(水)～2日(木)
- ・一般選抜試験(前期)実施
志願者／987件(前年／1,148件)
 - ・大学入学共通テスト利用選抜(前期)実施
志願者／772件(前年／912件)
 - ・UNIVAS AWARD2023-24受賞
結果／優秀賞3名1団体, 入賞2名1団体
【優秀賞】・マン・オブ・ザ・イヤー
田中 慶治郎(救急救命学科4年・陸上競技部)
・ウーマン・オブ・ザ・イヤー
木村 玲奈(理学療法学科4年・陸上競技部)
・サポーティングスタッフ・オブ・ザ・イヤー
山崎 碧月(健康スポーツ学科・硬式野球部)
・MS & AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」
新潟医療福祉大学アスリートサポート
※最優秀賞は3月11日(月)開催UNIVAS AWARD2023-24において選出される
【入賞】・ルーキー・オブ・ザ・イヤー
高松 勇吹(健康スポーツ学科1年・テニス部)
・コーチ・オブ・ザ・イヤー
伊藤篤司(女子バスケットボール部ディレクター／
新潟アルビレックスBBラビッツHC)
・スポーツ統括部局／SA賞
新潟医療福祉大学スポーツ振興室
- 3日(土)
- ・精神保健福祉士国家試験受験(社会福祉学科)
- 4日(日)
- ・社会福祉士国家試験受験(社会福祉学科)
- 5日(月)～7日(水)
- ・学部／大学院後期追試験, 再試験実施
- 5日(月)
- ・強化指定クラブ「リーダーズミーティング・コンプライアンス研修」開催
内容／リーダー哲学に関するセミナー, 各部の運営方法に関する意見交換, 大学部活動での不祥事事例紹介など
参加者／リーダーズミーティング 各クラブから代表学生計46名

コンプライアンス研修 各クラブ2年生計175名

- 7日(水) ・文部科学省 私立大学改革総合支援事業
 タイプ2(特色ある高度な研究の展開)選定(特別補助交付約2,500万)
 タイプ3(地域社会の発展への貢献)選定(特別補助交付約600万)
- 8日(木) ・助産師国家試験受験(看護学科)
 ・古泉財団研究助成金採択
 自然科学分野 1件採択(昨年1件)
 社会科学分野 3件採択(昨年2件)
- 9日(金) ・保健師国家試験受験(看護学科)
- 10日(土)～3月3日(日)
 ・WEBオープンキャンパス実施
 参加者/172名(前年/178名)
- 10日(土) ・看護師国家試験受験(看護学科)
 ・大学院第三次入学選考試験実施
 志願者/6件(前年/4件)
 ・あなたのための健康講座(北区自治協議会主催)開催
 内容/新潟医療福祉大学学生と一緒に健康チェック
 会場/第6研究・実習棟(N棟)
 参加者/北区地域住民の方約30人
- 14日(水) ・臨床検査技師国家試験受験(臨床技術学科)
 ・南浜小学校キャリア教育学習in新潟医療福祉大学開催
 内容/大学施設見学, 見学体験, 学食体験など
 参加者/南浜小学校5・6年生19名 引率教員3名 計22名
- 15日(木) ・視能訓練士国家試験受験(視機能科学科)
 ・診療放射線技師国家試験受験(診療放射線学科)
 ・新潟市北区「ひと・まち」づくり推進事業 連携地域交流会開催
 内容/連携事業各種報告・振り返り, 講演会
 参加者/北区長, 区役所職員, 各自治会役員, コミュニティ協議会, 小中学校関係者等
 96名参加
- 17日(土) ・言語聴覚士国家試験受験(言語聴覚学科)
- 18日(日) ・理学療法士国家試験受験(理学療法学科)
 ・作業療法士国家試験受験(作業療法学科)
- 19日(月) ・学部卒業判定会議
 結果/卒業対象者1,058名のうち1,040名の卒業者を認定
 内訳/理学療法学科 119名
 作業療法学科 39名
 言語聴覚学科 36名
 義肢装具自立支援学科 42名
 臨床技術学科 93名
 救急救命学科 51名
 診療放射線学科 90名
 健康栄養学科 40名
 健康スポーツ学科 196名
 看護学科 101名
 社会福祉学科 124名

医療情報管理学科 84名

- ・長岡赤十字病院看護職説明会（日赤の日）開催
参加者／看護学科学生 7 名
- 20 日（火）・大学院修了判定会議
結果／修士課程 対象者 54 名のうち 50 名の修了を認定
博士後期課程 対象者 9 名のうち 8 名の修了を認定
- 21 日（水）・学部卒業生発表
- 22 日（木）・義肢装具士国家試験受験（義肢装具自立支援学科）
- 26 日（月）・大学院修了者発表
・新 4 年生オリエンテーション
・第 11 回教えて！大学院開催
参加者／17 名（昨年開催なし）
- 29 日（木）・一般選抜試験（後期）実施
志願者／44 件（前年／44 件）
・大学入学共通テスト利用選抜（後期）実施
志願者／33 件（前年／49 件）
- 3 月 1 日（金）・大学休業日
・「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」シンポジウム開催
内容／立命館大学主催、日本体育大学・本学共催によるスポーツ庁委託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクトでの取り組み状況と成果の報告と今後の課題についての議論など
- 3 日（日）・臨床工学技士国家試験受験（臨床技術学科）
・管理栄養士国家試験受験（健康栄養学科）
- 4 日（月）～8 日（木）
・連携総合ゼミ（3 年生）実施
- 6 日（水）・新潟県厚生農業協同組合連合会とのパートナーシップ協定締結式開催
会場／新潟医療福祉大学 管理棟 2 階 会議室
出席者／新潟県厚生農業協同組合連合会 塚田芳久 代表理事理事長
岡裕一 人事部部長
新潟医療福祉大学 西澤正豊 学長
新潟総合学園 小野哲之 常務理事
協定内容／JA 新潟厚生連と本学双方が有する資源を有効活用することにより、教育、人材育成、学術研究、社会貢献、高大医連携プロジェクトの推進など将来的課題に対応するパートナーシップ協定
- 9 日（土）・大学院第四次入学選考試験
志願者／5 件（前年／12 件）
※ 2024 年度大学院入学者選抜試験出願結果
総出願件数／87 件（昨年／91 件）
- 11 日（月）・UNIVAS AWARDS 2023－24 最優秀賞受賞
受賞部門／MS & AD 賞（安全確保に関する優秀取組賞）
受賞団体／新潟医療福祉大学アスリートサポート研究センター
※上記最優秀賞の他、以下の部門で優秀賞受賞
・マン・オブ・ザ・イヤー 陸上競技部 田中康治郎（救急救命学科 4 年）
・ウーマン・オブ・ザ・イヤー 陸上競技部 木村玲奈（救急救命学科 4 年）
・サポーターオブ・ザ・イヤー 硬式野球部 山崎碧月（健康スポーツ学科 4 年）

- 14日（木） ・ 総合型選抜（面接試験重視型）追加募集 実施
 志願者／1件（前年実施なし）
 ※2024年度入学者選抜試験出願結果
 総出願件数／3,514件（前年／3,980件）
- 15日（金） ・ 大学休業日
- 17日（土）～24日（日）
 ・ 水泳国際大会代表選考会出場（東京アクアティクスセンター）
 結果／男子100mバタフライ水沼尚輝選手がパリオリンピック大会日本代表選手に内定
 （東京2020大会に続いて2大会連続の出場）
 男子100mバタフライ 2位 水沼尚輝（職員）
 男子50mバタフライ 優勝 水沼尚輝（職員）
 女子50mバタフライ 4位 津田萌咲（医福大SC）
 女子50m背泳ぎ 6位 山崎 光（職員）
- 19日（火） ・ 2023年度卒業式・大学院修了式
 会 場／朱鷺メッセ
 卒業生数／学部生1,042名 修了生58名 合計1,100名
 来場者数／2,129名（卒業生・保護者・来賓・教職員）
- 20日（水） ・ 高大連携プログラム「2023年度第2回チーム医療体験会」開催
 参加者／24名
- 24日（日） ・ オープンキャンパス（来場型）開催
 参加者／473名（前年／542名）
 ・ 大学院春のオープンキャンパス（来場型）開催
 参加者／7名（前年／23名）
 ・ 後援会役員会開催
 参加者／後援会役員8名，学長，大学事務局8名
 内 容／・2023年度事業報告
 ・2023年度後援会収支決算書（案）について
 ・2024年度後援会収支予算書（案）について
 ・2024年度後援会役員（案）について
- 25日（月） ・ 新3年生オリエンテーション実施
- 26日（火） ・ 新2年生オリエンテーション実施
 ・ 長岡赤十字病院とのパートナーシップ協定締結式開催
 会場／長岡赤十字病院 第一会議室
 出席者／長岡赤十字病院 川嶋禎之 院長
 藤田信也 副院長
 新潟医療福祉大学 西澤正豊 学長
 新潟総合学園 小野哲之 常務理事
 協定内容／長岡赤十字病院と本学双方が有する資源を有効活用することにより，教育，
 人材育成，学術研究，社会貢献，高大医連携プロジェクトの推進など将来的
 課題に対応するパートナーシップ協定
- 29日（金） ・ 高大連携協定合同協定調印式開催
 小出高校，三条東高校，新潟西高校，新潟東高校，藤村女子高校の5校と高大連携協定
 を締結．本学にて合同の協定調印式を開催（藤村女子高はオンライン参加）
 ・ 強化指定クラブ対象キャリアガイダンス実施
 対象／強化指定クラブ新2年生

5. 管理運営

1) 総務会

総務会構成員

西澤正豊学長，大山峰生教育担当副学長，大西秀明研究・産官学連携担当副学長兼リハビリテーション学部長，西原康行社会連携担当副学長兼同窓会・生涯学習担当副学長兼健康科学部長，佐藤大輔医療福祉学研究科長，笠原敏文医療技術学部長，宇田優子看護学部長兼看護学科長，渡邊敏文社会福祉学部長，柴山純一医療経営管理學部長兼医療情報管理学科長，椿 淳裕理学療法学科長，能村友紀作業療法学科長，大石如香言語聴覚学科長，佐藤成登志義肢装具自立支援学科長，粕谷大智鍼灸健康学科長，渡邊博昭臨床技術学科長，前田史篤視機能科学科長，竹井 豊救急救命学科長，児玉直樹診療放射線学科長，永井 徹健康栄養学科長，佐藤敏郎健康スポーツ学科長，佐藤 洋社会福祉学科長，山本裕二心理健康学科準備室長，※小野哲之法人常務理事兼法人事務局長兼大学事務局長，森常不法人事務局次長，

（事務局）牧浦秀紀法人企画部部長，片岡 昇総務部長，斎藤佳昭経理部長，本間智之人事部長，木原亨学務部長，樋山耕一入試広報部長，渋谷友之総務部総務課長，大竹 宏総務部社会連携推進課長兼研究支援課長，吉田俊雄学務部教務課長，風間篤史学務部学生課長，中田香織学務部キャリア開発室長，権瓶一葉学務部大学院・国際交流課長，笹川克己入試広報部広報課長兼IR室長，山口和朗入試広報部入試課長，船山 諭人事部人事課長，船山澄子図書館・学習支援課長，南 俊之スポーツ振興室長

※新学科設置によるオブザーバーとしての参加

主な審議事項および決定事項等

（1）方針・計画について

- ・ 心理健康学科（仮称）設置にかかる寄附行為変更認可申請の審議継続について
- ・ 心理健康学科（仮称）設置にかかる寄附行為変更認可申請意見書への回答状況について
- ・ 心理健康学科の設置認可について
- ・ 2025年度 健康栄養学科定員増の承認
- ・ 健康データサイエンス学科（仮称）の設置企画を進めること
- ・ 2024年度サッカーグラウンドの設置について
- ・ 2023年度アクションプラン変更点の承認
- ・ 将来計画（2021-2030年度）に対する自己点検報告（2021-2023年度）の承認
- ・ 次期将来計画の承認

（2）学則・規程について

- ・ 新潟医療福祉大学ボランティアセンター規程の制定の承認
- ・ 新潟医療福祉大学社会連携推進センター規程の改正について
- ・ 新潟医療福祉大学社会連携・同窓会推進機構規程の改定の承認
- ・ 中央教育センター規程の制定の承認
- ・ 中央教育センター運営委員会規程の制定の承認
- ・ 非常勤教育職員選考細則の改定の承認
- ・ 連携総合ゼミの履修登録及び取消に関する内規の改定の承認
- ・ 障がいのある学生支援に関する規程の改定の承認
- ・ 転部転科制度の承認
- ・ 転部転科の取り扱いに関する規程の改正の承認
- ・ 特待生規程改正の承認
- ・ 新潟医療福祉大学ティーチングアシスタント取扱規程の改定の承認
- ・ 2024年度社会福祉学部の名称変更に伴う学則変更の承認
- ・ 新潟医療福祉大学における研究設備の共同利用に関する規程の制定の承認
- ・ 新潟医療福祉大学研究設備の共同利用ガイドラインの制定の承認

- ・新潟連携教育研究センター規程の改正の承認
 - ・新潟医療福祉大学事務組織規程の改正の承認
 - ・図書館資料除籍規程の改訂の承認
 - ・2025年度健康栄養学科収容定員増に伴う学則変更の承認
 - ・強化指定クラブ規約変更の承認
 - ・2024年度カリキュラム変更に伴う学則変更届出の報告
- (3) 制度・組織・人事・業績・評価について
- ・リサーチ・アシスタントの採用の承認
 - ・教員選考委員会設置の承認
 - ・教員選考委員会審査結果の承認
 - ・2022年度 of 国家試験・資格試験結果に関する表彰について
 - ・業績評価スケジュールについて
 - ・教員業績評価のフィードバックについて
 - ・派遣契約について
 - ・臨床教授等候補者選考委員会の設置の承認
 - ・客員教授の称号付与の承認
 - ・臨床教授等の称号付与審査結果の承認
 - ・名誉教授称号付与の承認
 - ・名誉教授授与式について
 - ・教職員納涼会について
 - ・教職員忘年会について
 - ・2023年度再任審査の承認
 - ・2024年度 辞令交付式について
 - ・2024年度年間予定表について
 - ・2023年度 個人情報保護監査の結果と注意喚起について
 - ・2024年度 新潟医療福祉大学及び大学院 辞令交付式について
 - ・心の健康づくり推進計画における教職員メンタルヘルス支援体制の承認
 - ・新任教職員事務局オリエンテーションについて
 - ・後援会役員会について
 - ・最終講義について
 - ・新潟医療福祉学会について
 - ・教職員海外出張報告
 - ・2023年度防災訓練について
 - ・備品シールの取扱について
 - ・2022年度年報の発刊について
 - ・火元責任者の更新について
 - ・緊急連絡体制について
 - ・夏季休暇中の連絡体制について
 - ・年末年始の学内施設使用について
 - ・令和6年能登半島地震の状況について
 - ・「MyiD」の導入について
 - ・インターナショナルこども園運営状況報告
 - ・附属鍼灸センターのグランドオープンについて
 - ・山梨県警からの感謝状について
 - ・20周年記念誌の配布について

(4) 教育について

- ・ 2023年度学年進行の捉え方の承認
- ・ 転部転科制度の承認
- ・ 教育・学生支援機構運営委員会報告
- ・ ティーチングアシスタント審査結果の承認
- ・ 2023年度ティーチングアシスタント審査結果（追加分）について
- ・ 2023年度ティーチングアシスタント公募結果（追加分）の承認
- ・ Advanced TA（ATA）制度の承認
- ・ 2024年度TA・ATA公募の承認
- ・ 国家試験対策（AT, CT, SW）結果と次年度対策について
- ・ 2022年度教育の重要課題の結果分析と2023年度教育の重要課題について
- ・ 2023年度全学・学部・学科の新アドミッションポリシーの承認
- ・ 進級制度の承認
- ・ 国家試験・資格試験月次報告について
- ・ スクーリング出欠と成績・学籍異動との関連性について
- ・ 2023年度卒業判定会議日程について
- ・ 2023年度9月卒業判定会議の開催について
- ・ 2024年度 作業療法学科のカリキュラム変更の承認
- ・ 2024年度 義肢装具自立支援学科のカリキュラム変更の承認
- ・ 2024年度 視機能科学科のカリキュラム変更の承認
- ・ 2024年度 健康スポーツ学科のカリキュラム変更の承認
- ・ 2024年度 医療情報管理学科のカリキュラム変更の承認
- ・ 2025年度 健康栄養学科のカリキュラム変更の承認
- ・ 2024年度全学共通カリキュラムの変更について
- ・ 各種コンペティション出場について
- ・ 卒業判定除外基準に基づく卒業率の共有方法について
- ・ 2024年度 学事歴（第1案）について
- ・ 国家試験・資格試験報告
- ・ 国家試験・資格試験結果および模試試験結果の提供依頼について
- ・ 就職活動状況報告
- ・ 4月就職活動状況報告・定着度調査報告

(5) 学生について

- ・ 2023年度入学式について
- ・ 2024年度入学式・卒業式の日程について
- ・ 9月卒業式・修了式について
- ・ 卒業式・修了式報告および2024年度入学式について
- ・ 新入生アンケート実施について
- ・ 2022年度対面授業アンケート・メディア授業アンケートの結果について
- ・ 2023年度新入生対応について
- ・ 2022年度卒業時アンケート結果について
- ・ 2024年度新入生オリエンテーションについて
- ・ カーシェアリングサービスについて
- ・ 学生寮の状況について
- ・ 2023年度伍桃祭について
- ・ 新潟医療福祉学会学術集会について

- ・学籍異動状況報告
 - ・学生懲戒諮問委員会設置の承認
 - ・学生懲戒諮問委員会答申の承認
 - ・学内における迷惑行為等に関する注意喚起について
 - ・学費未納者の状況確認等の依頼について
 - ・薬物乱用防止講演会実施について
 - ・2023年度定着度調査，意識・満足度調査報告について
 - ・2023年度学生表彰について
 - ・卒業判定会議日程について
 - ・卒業判定除外基準に基づく卒業率の共有方法について
 - ・保護者会について
- (6) 研究・産官学連携について
- ・研究・産官学連携機構運営委員会報告
 - ・研究奨励金・学長裁量研究費応募要項の承認
 - ・2023年度研究奨励金等の申請数について
 - ・研究奨励金審査結果の承認
 - ・研究科長裁量研究費応募要項の承認
 - ・共同研究・共同利用募集要項の承認
 - ・共同研究・共同利用研究費審査結果の承認
 - ・新規プロジェクト研究センター設置の承認
 - ・研究費の概要の承認
 - ・研究費の不正使用及び研究不正行為に関する啓発について
 - ・令和6年度科研費審査結果について
 - ・2023年度科研費審査報告
 - ・Sports & Health先端科学研究費応募要項の承認
 - ・Sports & Health先端科学研究費審査結果の承認
 - ・外部資金獲得奨励金募集の承認
 - ・外部資金獲得奨励金審査結果の承認
 - ・各学科学部生の研究倫理教育取組状況について
 - ・研究の国際化，オープン化に伴う新たなリスクに対するチェックリストの承認
- (7) 入学選考試験について
- ・2023年度（2024年度入試）第2次合否判定会議開催日程について
 - ・2023年度高校教員対象イベントについて
 - ・2023年度（2024年度入試）第2次合否判定会議開催日程について
 - ・2024年度入学者選抜試験概要案の承認
 - ・2024年度入学者選抜入学者目標数の承認
 - ・2024年度入学者選抜試験概要（追加実施案）の承認
 - ・2024年度入学者選抜試験出願結果報告について
 - ・転部転科選考試験の承認
- (8) 国際交流について
- ・国際交流 VISION2030 の承認
 - ・国際交流推進部報告
- (9) 社会連携・同窓会連携推進について
- ・社会連携・同窓会推進機構運営委員会報告
 - ・『キッズオープンキャンパス in 新潟医療福祉大学』実施報告について

- ・JA新潟厚生連とのパートナーシップ協定について
- ・高大連携プロジェクトについて
- (10) 強化スポーツについて
 - ・アスレティックデパートメント推進機構運営委員会報告
 - ・UNIVAS AWARDS 受賞について
- (11) 事業戦略について
 - ・事業戦略推進部報告
 - ・IR戦略委員会・IR室 2022年度総括と2023年度メインタスクについて
 - ・IR戦略委員会・IR室 2023第二四半期報告
 - ・IR情報の公表について
 - ・AIを用いた退学者予測・国家試験資格試験不合格者予測結果について
 - ・AIによる国家試験資格試験合格予測および学籍異動予測について
 - ・新潟医療福祉大学ファクトブック項目について
 - ・オープンキャンパス動員報告
 - ・オープンキャンパス実施概要報告
 - ・オープンキャンパスと出願との関連性
 - ・パブリシティー掲載報告
 - ・チーム医療体験会申込状況報告
 - ・チーム医療体験会実施概要報告
 - ・チーム医療体験会開催報告
- (12) 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・危機管理対策委員会報告
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る各種対応状況報告
 - ・学内PCR検査センター実績について
 - ・PCR検査申請状況報告
 - ・対面授業ガイドラインについて
 - ・学生寮状況について

2) 大学院委員会

大学院委員会構成員

西澤正豊学長、佐藤大輔研究科長兼健康科学専攻長（議長）、大山峰生教育担当副学長、大西秀明研究・産官学連携担当副学長、西原康行社会連携担当副学長兼同窓会・生涯学習担当副学長、児玉直樹医療福祉学専攻長、久保雅義保健学専攻長兼理学療法学分野長、寺田貴美代社会福祉学専攻長兼保健医療福祉政策・計画・運営分野長、木下直彦医療情報・経営管理学専攻長兼医療情報・経営管理学分野長、能村友紀作業療法学分野長、吉岡豊言語聴覚学分野長、阿部薫義肢装具自立支援学分野長、藤井豊医療技術安全管理学分野長、増田修視覚科学分野長、竹井豊救急救命学分野長、笠井聡放射線情報学分野長、奈良貴史自然人類学分野長、稲葉洋美健康栄養学分野長、山代幸哉健康スポーツ学分野長、杉本洋看護学分野長、松本京介保健医療福祉マネジメント学分野長、小野哲之法人常務理事兼大学事務局長

主な審議事項および報告事項等

- (1) 方針、計画等について
 - ・2022年度の課題と取組み・KPI目標値について
 - ・内部質保証における大学院アセスメントプランの実施について
 - ・医療福祉学研究科の3つの方針策定について
 - ・2023年度大学院定員増について
 - ・2022年度卒業式・修了式の実施方針について

- ・2023年度大学院学事暦について
- (2) 学則, 規程, 内規等の改定について
 - ・新潟医療福祉大学大学院学則の改正について
 - ・新潟医療福祉大学大学院入学者選抜方法等に関する規程の改正について
 - ・新潟医療福祉大学における研究活動に係る不正行為の防止および対応に関する規程の制定について
 - ・新潟医療福祉大学研究奨励金規程の改正について
 - ・新潟医療福祉大学学長裁量研究費規程の改正について
 - ・新潟医療福祉大学大学院研究科長裁量研究費規程の制定について
 - ・研究奨励金の審査及び評価に関する取扱内規の改正について
 - ・研究成果の報告及び公表等に関する取扱内規の改正について
 - ・新潟医療福祉大学共同研究・共同利用研究費規程の制定について
 - ・共同研究・共同利用研究費の審査及び評価に関する取扱内規の制定について
 - ・第1段審査(書面審査)の手引きの改正について
 - ・新潟医療福祉大学研究員受入規程の制定について
 - ・修士課程学費減免特待生規程ならびに選考に係る取扱い内規の改正について
 - ・JASSO 修士課程返還免除内定制度学内選考に関する規程の改訂について
- (3) 組織・人事等について
 - ・大学院担当教員資格審査委員会設置について
 - ・大学院担当教員資格審査結果について
 - ・臨床教授等候補者選考委員会設置について
 - ・臨床教授等の称号付与審査結果について
 - ・2023年度大学院組織体制案について
 - ・2023年度大学院辞令交付式について
- (4) 研究について
 - ・大学院生の研究活動による個人研究費の使用について
 - ・研究科長裁量研究費, 研究奨励金, 学長裁量研究費の募集と採択結果の承認について
 - ・外部資金獲得奨励金の募集と採択結果の承認について
 - ・Sports&Health 先端科学研究費の募集と採択結果の承認について
 - ・科研費申請件数, 採択件数, 獲得状況について
- (5) 国際交流, 留学生について
 - ・私費外国人留学生授業料減免申請について
 - ・国費外国人留学生(研究留学生)の推薦と採用結果報告について
- (6) 学生について
 - ・大学院学生表彰者の選出について
 - ・学籍異動報告について
 - ・JASSO 修士課程返還免除内定制度の開始について
 - ・ティーチング・アシスタントの募集と採用について
 - ・リサーチ・アシスタントの募集と採用について
 - ・ティーチング・アシスタント授業計画について
 - ・ティーチング・アシスタントの役割拡大とアドバンスト・ティーチング・アシスタント制度について
 - ・2022年度対面授業ガイドラインについて
- (7) カリキュラム・論文審査・教育について
 - ・大学院FD・SD「ティーチング・アシスタントFD研修」の開催について
 - ・大学院FD・SD「複数教員での指導体制と学位審査までのプロセス」の開催について
 - ・大学院教職課程理念および3つの方針策定と自己評価について

- ・論文審査スケジュールの確認について
 - ・修士課程、博士後期課程の中間発表会・研究報告会の開催について
 - ・修士、博士後期課程の学位論文審査委員会の設置、審査日程、副審査委員の推薦について
 - ・学位論文ループリックによる研究報告会について
 - ・2023年度大学院修了判定会議について
- (8) 学生募集、入学者選抜試験について
- ・2023年度修士課程・博士後期課程入試結果について
 - ・修士課程保健学専攻自然人類学分野説明会の開催について
 - ・修士課程保健学専攻理学療法学分野リハビリテーション栄養分野説明会の開催について
 - ・修士課程健康科学専攻スポーツ栄養学コース説明会の開催について
 - ・学内推薦入試学科長推薦書の様式変更について
 - ・2024年度大学院入試日程について
 - ・2024年度大学院入学者選抜試験に係る変更点について
 - ・2024年度大学院入学者選抜試験博士後期課程追加募集の実施について
 - ・大学院オープンキャンパスおよび「教えて！大学院」の開催、実施報告について
 - ・大学院出願状況について
- (9) その他
- ・新型コロナウイルスに係わる大学の方針について
 - ・大学院生の新型コロナウイルスワクチン接種状況について
 - ・PCR検査センターの開所について
 - ・新型コロナウイルス感染・接種報告書の改定について
 - ・新潟医療福祉学会学術集会の開催について
 - ・新入生オリエンテーションについて
 - ・2023年度修了判定会議、修了発表について
 - ・2023年度修了式、2024年度入学式について
 - ・危機管理対策委員会報告について
 - ・名誉教授称号授与式の開催について
 - ・防災・避難訓練の実施について
 - ・非常勤講師給与支払い業務の段階的見直しについて

3) 合同教授会

合同教授会構成員

学長、副学長、学部長、学科長、教授、准教授、講師、その他陪席：助教、助手、事務局

主な審議事項および報告事項等

- ・学長直轄委員会報告
- ・教育・学生支援機構内委員会報告
- ・研究・産官学連携推進機構内委員会報告
- ・社会連携・同窓会生涯学習推進機構内委員会報告
- ・アスレティックデパートメント推進機構報告
- ・入学者確定報告
- ・学籍異動状況報告
- ・国家試験対策事例報告
- ・強化指定クラブ戦績等報告
- ・2023年度研究奨励金・学長裁量研究費について
- ・2023年度研究科長裁量研究費について

- ・ 2023 年度 Sports & Health 先端科学研究費について
- ・ 2023 年度共同研究・共同利用について
- ・ 学生懲戒諮問委員会答申について
- ・ 心理健康学科設置に係る寄附行為変更認可申請の継続審査について
- ・ 2024 年度作業療法学科のカリキュラム変更について
- ・ 2024 年度義肢装具自立支援学科のカリキュラム変更について
- ・ 2024 年度視機能科学科のカリキュラム変更について
- ・ 2024 年度健康スポーツ学科のカリキュラム変更について
- ・ 健康栄養学科の 2025 年度カリキュラム変更について
- ・ 医療情報管理学科の 2024 年度カリキュラム変更について
- ・ 転部転科試験について
- ・ 2024 年度総合型選抜 A 方式・B 方式/看護 3 年次編入選抜結果報告
- ・ 2024 年度入学者選抜試験（12 月入試）結果報告
- ・ 2024 年度総合型選抜 C・D 方式/学校推薦型等 選抜結果報告
- ・ 2023 年度後期入学研究生志願者について
- ・ 2023 年度後期入学聴講生志願者について
- ・ 2023 年度 9 月卒業判定会議報告
- ・ 9 月卒業判定会議日程について
- ・ 9 月卒業式日程について
- ・ 9 月卒業式・修了式実施報告
- ・ 卒業判定会議について
- ・ 2024 年度入学式、卒業式修了式の日程について
- ・ 2023 年度卒業式修了式について
- ・ 2023 年度卒業式・修了式報告および 2024 年度入学式について
- ・ 2024 年度入学式について
- ・ 2023 年度名誉教授称号授与式について
- ・ 最終講義について
- ・ 第 23 回新潟医療福祉学会学術集会について
- ・ 2024 年度新入生オリエンテーションについて
- ・ 社会福祉学科 4 年生（公財）都市緑化機構主催
- ・ 「第 34 回緑の環境プラン大賞」国土交通大臣賞受賞報告
- ・ 「にいがた食と農の未来学生ビジョンコンテスト 2023」準グランプリ・特別賞受賞
- ・ スポーツ庁主催「スポーツ・健康まちづくりデザイン学生コンペティション 2023」優秀賞受賞報告
- ・ 公益財団法人都市緑化機構主催「第 34 回緑の環境プラン大賞」国土交通大臣賞受賞
- ・ 公益財団法人食の新潟国際賞財団
- ・ 2023 年度第二回「高校生対象チーム医療体験会」開催報告
- ・ 新入生アンケートについて
- ・ 2022 年度卒業時アンケート結果について
- ・ 2024 年度年間スケジュールについて報告
- ・ 2024 年度学事暦（第 1 案）について
- ・ 2022 年度年報刊行報告
- ・ 教職員納涼会について
- ・ 教職員忘年会について
- ・ ハラスメント行為等の注意喚起について
- ・ カーシェアリングサービスについて

- ・学生の安否確認用アプリ（MyiD）の導入について
- ・MyiD導入について
- ・ChatGPT等の生成AI利用に関する本学の方針と留意事項について
- ・備品シールの取扱について
- ・2023年度防災・避難訓練について
- ・2023年度防災・避難訓練結果報告について
- ・能登半島地震対応状況について
- ・年末年始の施設使用について

4) 研究科委員会

研究科委員会構成員

西澤正豊学長，佐藤大輔研究科長，小野哲之事務局長，大学院担当専任教員，その他陪席：事務局
主な審議事項および報告事項等

- ・2022年度の大学院総括と2023年度の展望について
- ・2023年度大学院学生募集結果・入学者数について
- ・アドバンスド・ティーチング・アシスタント制度の導入について
- ・危機管理対策委員会報告について
- ・学部生向け大学院説明会「教えて！大学院」について
- ・大学院のオープンキャンパス（夏・秋・冬・春）について
- ・在学生・修了生アンケートの結果およびTA，ATAハンドブックに基づく研修実施について
- ・学籍異動申請について
- ・学籍異動月次報告について
- ・研究倫理教育の受講スケジュールについて
- ・在学時長期履修申請について
- ・新潟医療福祉大学大学院研究生継続志願について
- ・医療福祉学研究科と国際交流推進部合同のワーキンググループ設置について
- ・学習・学生生活調査の結果報告について
- ・新潟医療福祉大学大学院研究生入学志願について
- ・2024年度大学院入試出願希望情報について
- ・2023年度9月修了判定会議日程について
- ・長期履修申請について
- ・第23回新潟医療福祉学会学術集会について
- ・2024年度大学院入試修士課程第1次出願状況について
- ・2023年度防災避難訓練実施について
- ・研究インテグリティについて
- ・在学期間短縮申請について
- ・長期履修期間短縮申請について
- ・2024年度入学式，2023年度卒業式・修了式日程について
- ・大学院学生表彰審査会設置および学生表彰スケジュールについて
- ・2023年度卒業式・修了式について
- ・能登半島地震対応状況について
- ・入学時長期履修者申請について
- ・2024年度入学式について

5) 各種委員会活動

(1) 学長直轄委員会

ア 将来計画機構

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大西秀明（副学長，委員長，機構長），西澤正豊（学長），大山峰生（副学長），西原康行（副学長），佐藤大輔（研究科長），宇田優子（NR），渡邊敏文・佐藤 洋（SW），柴山純一（HI），椿 淳裕・古西 勇（PT），能村友紀（OT），大石如香（ST），佐藤成登志（AT），粕谷大智（AP），渡邊博昭（CT），前田史篤（CO），竹井 豊（EM），笠原敏文・児玉直樹（RT），永井 徹（HN），佐藤敏郎（HS），小野哲之（法人事務局），片岡 昇（事務局）

②会議開催回数 1回（専門委員会・メール開催）

③特記事項

- 1) 将来計画中期目標・中期計画（2021-2025年度）アクションプラン（2024-2025年度）を策定した。

イ 危機管理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西澤正豊（学長，委員長），大山峰生（副学長），大西秀明（副学長），西原康行（副学長），佐藤大輔（研究科長），相馬俊雄・古西 勇（PT），埴 晴雄（HS），小野哲之（大学事務局）

②会議開催回数 1回

③特記事項（必要に応じて実施した事項）

- 1) 新型コロナウイルスに対応する大学方針について
- 2) 行動制限レベルについて

ウ 教員選考委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大山峰生（OT，副学長，委員長），大西秀明（PT，副学長，委員長），椿 淳裕（PT），能村友紀（OT），大石如香（ST），佐藤成登志（AT），粕谷大智（AP），渡邊博昭（CT），前田史篤（CO），竹井 豊（EM），児玉直樹（RT），永井 徹（HN），佐藤敏郎（HS），宇田優子（NR），佐藤 洋（SW），山本裕二（PS），柴山純一（HI），船山 諭（事務局）

②会議開催回数 69回（採用45回，昇任24回）

③審議事項および決定事項

- 1) 各学科長の内申のつど総務会にて教員選考委員会の設置を決定した。
- 2) 教員選考委員会は，委員長に加え，該当学科長ならびに他学科の学科長の3名で構成した。
- 3) 教員選考委員に人事課長がオブザーバーとして加わり教員選考委員会を開催した。
- 4) 教員選考委員会では履歴書，教育研究業績書，抱負を記載した書類をもとに審査した。
- 5) 審査にあたっては学科における面接結果や模擬授業ならびに法人による面接結果を参考にした。
- 6) 審査にあたっては教育面の意欲と教育・研究実績を特に参照した。
- 7) 委員会出席者全員の合意で評価を決定し，報告書を作成，総務会に報告した。

④特記事項

- ・助教以上の職位の採用ならびに昇任については，法人職員同席のもとで学科における模擬授業（ミニレクチャー）を課し，助手についてはプレゼンテーションを課した。

エ 人権委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

河野聖夫（SW，委員長），奈良貴史（PT，副委員長），澤田純明（PT），伊関浩克（OT），佐藤克郎

(ST), 田中惣治 (AT), 久保亜抄子 (AP), 丸野 透 (CT, 副委員長), 多々良俊哉 (CO), 大松健太郎 (EM), 橋本 薫 (RT), 川上心也 (HN), 上田純平 (HS), 外間直樹 (NR), 寺島和浩 (HI), 渋谷友之 (総務課), 波間早苗 (医務室), 伊藤 求 (キャリア), 船山 諭 (人事課, 事務担当), 中村 泉 (人事課, 事務担当)

ハラスメント調査委員会委員候補者: 犬飼康人 (PT), 五十嵐紀子 (OT), 石本 豪 (ST), 佐藤成登志 (AT), 粕谷大智 (AP), 齊藤大造 (CT), 生方北斗 (CO), 安達哲浩 (EM), 関本道治 (RT), 中村純子 (HN), 杵渕洋美 (HS), 下山博子 (NR), 渡辺 恵 (SW), 築取 萌 (HI), 菅原直実 (事務局)

②会議開催 委員会14回 (定例12回, 臨時2回), 案件対応会議7回, ハラスメント調査委員会1件

③審議事項および決定事項等

1) 教職員のためのハラスメント相談対応マニュアル等の作成・点検と周知

ハラスメント相談対応マニュアルの改訂にむけて「ハラスメントの防止および対策等に関する規則」, 「ハラスメントの防止および対策等に関するガイドライン」の修正要否の検討をおこなった。

2) ハラスメント防止のための意識向上FDセミナーの実施

対象: 全教職員

日程: 2023年12月20日

テーマ: 医療系大学におけるハラスメントの防止ーハラスメントにならない指導と職場環境ー

講師: NPO アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH)

代表理事 御興久美子 先生

3) 1年生に対するDate DV防止セミナーを対面で実施

対象: 全学科1年生

日程: 2023年6月13日, 14日, 16日, 21日 (2回) 計5回

テーマおよび内容: デートDV防止セミナー

講師: 新潟市市民生活部男女共同参画課, NPO 法人「女のスペース・にいがた」

4) ハラスメント相談窓口の学生への周知として, 標語の選出を実施

全学生向けに標語の投票依頼を周知し, 実施

5) ハラスメント防止に向けた対策の点検と強化

学生向けアンケート (悩み事アンケート) を9月20日から10月3日の期間で実施し, 相談窓口の周知, 学科等の課題把握と改善に向けた取り組みを進めた。

6) ハラスメント等相談案件15件に対応した。

オ 個人情報保護委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

鈴木一恵 (HN, 委員長), 寺島和浩 (HI, 副委員長), 佐伯史子 (PT), 伊関浩克 (OT), 佐藤克郎 (ST), 田中惣治 (AT), 江川雅人 (AP), 丸野 透 (CT), 多々良俊哉 (CO), 大松健太郎 (EM), 橋本 薫 (RT), 川上心也 (HN), 上田純平 (HS), 外間直樹 (NR), 河野聖夫 (SW), 野口正信 (事務局), 船山 諭 (事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

1) 新入生に対して, 個人情報保護取扱文書の回収を行った。

2) 以下4事業の計画に従いワーキング・グループ (WG) を設けて実施した。

・個人情報保護監査の実施と是正の対応

・教育プログラムの立案と実施

・情報セキュリティ対策のためのFD

・規程改定に伴う運用の検討

- 3) 外部監査を含む個人情報保護監査3カ年計画を策定し、3年目の個人情報保護監査を実施した。
- 4) 前年度に引き続きe-Campus版個人情報保護教育プログラムを行った。設問方法や問題等の検討を行い2023年度版として実施した。
- 5) 情報セキュリティ・コンサルティング会社に依頼し、標的型攻撃メール訓練およびこの訓練を踏まえたアーカイブ形式のFDを実施した。
- 6) メールの誤送信防止を目的としたガイドライン、および事故（インシデント）発生時における対応のフローチャートを作成のうえ周知し、事故の予防と速やかな対応に向けた体制の整備を行った。

カ 安全衛生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

下山博子（NR，委員長），遠藤和男（HN，学校医），萩原康雄（PT），間宮靖幸（OT），石本 豪（ST），佐藤未希（AT），金子聡一郎（AP），塙 晴雄・森田邦恵（CT），戸田春男（CO），江部克也（EM），吉田秀義（RT），大森 豪・菅原大志（HS），原口彩子（SW），井上弘樹（HI），小野哲之（事務局），波間早苗（事務局），南雲優美（事務局），藤岡まさみ（事務局），本間 葵（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 推進体制が異議なく合意された。
- 2) 心の健康づくり推進計画（案）が承認された。
- 3) 心の健康問題に係る研修会を管理職対象と全教職員対象の計2回開催することが承認された。
- 4) 相談窓口・相談体制について、引き続き私学事業団健康相談ダイヤルを活用することとし、学内教職員への案内・情報提供を行うことが確認された。
- 5) 「学校法人新潟総合学園 2023年度ストレスチェック実施計画」（案）が承認された。

④特記事項

- 1) 実施計画に基づき、9月～3月にストレスチェックならびに面接指導が実施された。
- 2) ストレスチェックの実施に伴う確認ならびに課題の共有を適宜に実施した。
- 3) 管理職研修会を実施した。

日程：2023年9月21日～2023年10月26日（オンデマンド）

テーマ：「職場のメンタルヘルス～ハラスメント対策を中心に」

講師：医療法人崇徳会「こころのクリニック ウィズ」院長 後藤 雅博 先生

参加者数：38名

アンケート回収：38名分（97%が研修内容について「非常に参考になった」「参考になった」と回答）

- 4) 教職員研修会を実施した。

日程：2023年12月22日（ライブ配信）

2024年1月4日～2024年1月31日（オンデマンド）

テーマ：「男性にも知ってほしい働く女性のメンタルヘルスケア：知識を深め、理解を広げる」

講師：「広尾レディース」院長 宗田 聡 先生

参加者数：251名

アンケート回収：251名分（95%が研修内容について「非常に参考になった」「参考になった」と回答）

- 5) 学内の個別巡視と合わせて、安全衛生委員による学内一斉巡視が2023年9月に実施された。巡視の結果内容は、事務局（総務課）へ提出の上でさらなる安全確保を要請し、安全確認の実施および改善ならびに検討がなされた旨が報告された。

キ 自己点検・評価委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

古西 勇（PT，委員長），大山峰生（副学長），大西秀明（副学長），西原康行（副学長），佐藤大輔（研究科長），相馬俊雄（PT），吉田重和（HS），寺田貴美代（SW），片岡 昇（法人総務部），渋谷友之，真藤高明，駒沢 猛（事務局）

②会議開催回数 5回

③特記事項

- 1) 将来計画アクションプラン（2023年度）評価者について審議し，決定した。
- 2) 将来計画アクションプラン（2023年度）の自己点検・評価を実施した。

ク 外部評価準備委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大山峰生（委員長），大西秀明・古西 勇・相馬俊雄（PT），小野哲之（大学事務局），片岡 昇（事務局）

②会議開催回数 なし

ケ PCR検査センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

高野 操（CT，委員長），川村宏樹（CT，副委員長），塙 晴雄（HS），芳賀千紗（CT），片岡 昇（事務局），渋谷友之（事務局），野口正信（事務局）

②会議開催回数 2回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 検査員交代に伴う検査体制の再確認，情報共有について協議し，承認した。
- 2) 附属PCR検査センター利用ガイドラインについて協議し，承認した。

④特記事項

- 1) 年度内検査結果は下記の通りであった。

検査数：146件

陰性数：138件

陽性数：8件（陽性率 5.80%）

コ 研究施設企画委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大西秀明（PT，委員長），佐藤大輔（HS），椿 淳裕（PT），児玉直樹（RT），江玉睦明（PT），田口 徹（PT），牧浦秀樹（事務局），大竹 宏（事務局），大森由理（事務局）

②会議開催回数 1回

③審議事項および決定事項等

- 1) 「健康共創科学研究所 Co-RISE（仮称）」の構想について
「健康共創科学研究所 Co-RISE（仮称）」の構想について，情報共有がなされた。

① 事業戦略推進部

ア 入試委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

椿 淳裕（PT，委員長），笠井 聡（RT，副委員長），江玉睦明・太田大樹（PT），圓純一郎・安中裕紀（OT），今村 徹・大湊 麗（ST），前田 雄・田山文子（AT），粕谷大智・福田晋平（AP），小野 等・仙波妙子（CT），戸田春男・志賀木綿子（CO），川上一岳・大松健太郎（EM），

甲斐千遥 (RT), 澁谷顕一・星野美美 (HN), 下門洋文・馬場康博 (HS), 下山博子・丸山幸恵 (NR), 大屋未輝・國兼明嗣 (SW), 山本裕二 (PS), 井上弘樹・波多野誠 (HI), 山口和朗・渡辺一朋・二見ミラノ・小杉春花・近藤 道 (事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 入試委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 入試委員会年間計画を審議し、決定した。
- 3) 2024年度選抜区分別入学者目標数について審議し、決定した。
- 4) 入試問題作問部会・入試問題検討部会の担当者を決定した。
- 5) 各学科における指定高等学校について審議し、承認した。
- 6) 入学者選抜における県外試験会場の外部委託について審議し、決定した。
- 7) 入学者選抜に必要な学科教員の必要見込教員数について決定した。
- 8) 学生募集要項および出願書類の書式等について審議し、決定した。
- 9) 2023年度総合型・学校推薦型選抜等と学力の3要素の整合性について審議し、決定した。
- 10) 総合型・学校推薦型・社会人等特別および3年次編入学選抜の可否判定配点について審議し、決定した。
- 11) 可否判定資料の見直しについて審議し、決定した。
- 12) 総合型・学校推薦型・社会人等特別および3年次編入学選抜の実施概要について審議し、決定した。
- 13) 試験問題印刷工程・採点業務立会担当者の選出について審議し、決定した。
- 14) 大学入学共通テスト新潟医療福祉大学試験場の実施概要について審議し、決定した。
- 15) 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜の可否判定における優先科目設定を審議し、決定した。
- 16) 一般選抜の実施概要について審議し、決定した。
- 17) 総合型選抜A方式・B方式に対する委員会総括を行い、入試問題作問部会総括会議へ意見・要望等を提案した。
- 18) 2025年度入学者選抜試験日程について審議し、決定した。
- 19) 2025年度入試概要について審議し、決定した。(その後、総務会承認を以って最終決定した。)

④特記事項

- 1) 高校教員対象イベントの開催について審議し、決定した。
- 2) 新設学科の追加に伴い特待生規程の改正について審議し、決定した。
- 3) 新設学科設置認可時期の確定に伴い2024年度入試概要について再審議し、決定した。
- 4) 総合型選抜追加実施における入試概要について審議し、決定した。
- 5) 2025年度入学者選抜における新制度の導入等について審議し、決定した。
- 6) 2025年度入学者選抜における情報科目の取り扱いについて審議し、決定した。
- 7) 能登半島地震発生に伴う被災者入学検定料免除措置について審議し、決定した。
- 8) 入学者選抜における生成AI利用への対応について審議し、決定した。

イ 広報委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

稲葉洋美 (HN, 委員長), 熊崎 昌 (HS, 副委員長), 犬飼康人・平林怜 (PT), 藤目智博・伊関浩克 (OT), 吉岡 豊・田村俊暁 (ST), 佐藤未希・郷貴博 (AT), 江川雅人・金子聡一郎 (AP), 佐々木一真・涌井杏奈 (CT), 金子 弘・生方北斗 (CO), 安達哲浩・尾崎あかね (EM), 前島 偉・櫻井典子 (RT), 宮本真菜 (HN), 藤本知臣 (HS), 井澤玲奈・佐藤郁美 (NR), 渡邊恵司・荒川大靖 (SW), 柴山純一・眞田悠希 (HI), 笹川克己・鈴木亜弥・曾我洸樹・齋藤大将・石津汐梨 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 稲葉委員長より、健康スポーツ学科の熊崎昌講師が副委員長に指名され、決定した。
- 2) 各月の来場型およびWEBオープンキャンパスの内容について審議し、決定した。
- 3) 部会（オープンキャンパス部会、高校訪問部会、出張講義・来学部会、情報発信部会）の設置について審議し、決定した。
- 4) 学生広報スタッフの起用について審議し、決定した。
- 5) 2024年度大学パンフレットの全面改訂および制作スケジュールの前倒し等について審議し、決定した。
- 6) 2024年度出張講義一覧冊子の内容について審議し、決定した。
- 7) 2024年度オープンキャンパス開催日程について審議し、決定した。
- 8) 教職員による高校訪問方針について審議し、決定した。

ウ 大学院入試広報委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

前田史篤（CO，委員長），木下直彦（HI，副委員長），八坂敏一（PT），能登真一（OT），吉岡 豊（ST），阿部 薫（AT），藤井 豊（CT），川上一岳（EM），前島 偉（RT），澤田純明（PA），稲葉洋美（HN），藤本知臣（HS），天賀谷隆（NR），國兼明嗣（SW），権瓶一葉・五十嵐香（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院入試広報委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 大学院入試広報委員会年間計画を審議し、決定した。
- 3) 2024年度大学院入学者選抜試験に係る変更案について審議し、決定した。
- 4) 2024年度大学院入学者選抜試験実施概要案を審議し、決定した。

④特記事項

- 1) 学部生向け大学院説明会「教えて！大学院」を計12回開催した。
- 2) 大学院オープンキャンパスを計4回開催した。
- 3) 大学院入試を完全オンライン型で実施した。
- 4) 大学院入試事前採点説明会をオンライン型で実施した。
- 5) 新入生を対象に大学院入試・広報活動に関するアンケート調査を実施した。
- 6) 本学主催イベントを記録した動画を大学院ホームページに公開した。
- 7) 本学教員紹介を企画し、SNSに公開した。
- 8) 本学3分野の院生紹介動画を制作し、SNSに公開した。

エ IR戦略委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤大輔（HS，委員長），高橋良光（CT），村田憲章（CO），森清友亮（HS），平井克之（HI），笹川克己・真藤高明・村山萌子・長谷川陽一（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) IR情報データベースへのアクセス権限を委員全員に付与することが決定した。
- 2) IR業務について、各機構を通して進めることを確認した。
- 3) 国家試験・資格試験不合格予測結果について教育・学生支援機構に共有した。
- 4) 学籍異動予測結果について教育・学生支援機構に共有した。
- 5) 大学ウェブサイトにて、ファクトブックを公開した。

- 6) FD・SD推進委員会との共催セミナーについて審議し、決定した。
7) IRセミナーを東北工業大学と北海道大学との共催で実施することが決定した。

② 国際交流推進部

オ 国際交流センター運営委員会

＜国際交流専門委員会＞

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

久保雅義（PT，委員長），増田 修（CO，副委員長），菊元孝則（PT），圓純一郎（OT），栞原 桂（ST），神田 賢（AT），津田篤太郎（AP），涌井杏奈（CT），大和田均（EM），石風呂実（RT），田村典子（HN），濱野礼奈（HS），佐藤真由美（NR），板垣直子（SW），高野晃輔（HI），石上和男（HI；オブザーバー），今井理恵（教育・学生支援機構；オブザーバー），権瓶一葉・嵐田浩吉・渡邊佳奈（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

1) 国際交流提携

すべての学科が何らかの形で海外の大学や機関と提携することを目標に掲げ，2023年度においては12カ国・地域の22大学3機関と交流協定を締結している。

番号	提携先	国・地域名	都市	開始年	終了年
1	国立極東医科大学	ロシア	ハバロフスク市	2006	2026
2	カリフォルニア州立大学フレズノ校	アメリカ	フレズノ市	2007	2023
3	アンヘレス大学財団	フィリピン	アンヘレス市	2010	2025
4	ハワイ大学マノア校ジョン・A. バーンズ医学部臨床技術学科	アメリカ	ホノルル市	2011	2026
5	サント・トーマス大学＜教育＞	フィリピン	マニラ市	2011	2027
	サント・トーマス大学＜研究＞	フィリピン	マニラ市	2017	2027
6	イーストアングリア大学看護・助産学校	イギリス	ノーリッジ市	2011	2029
7	マヒドン大学（義肢）	タイ	バンコク	2015	2025
	マヒドン大学（放射線）	タイ	バンコク	2018	2027
8	京畿大学校	韓国	水原市	2015	2026
9	ホンバン国際大学	ベトナム	ホーチミン市	2016	2024
10	国立陽明交通大学	台湾	台北市	2016	2026
11	ハイズオン医療技術大学	ベトナム	ハイズオン市	2017	2027
12	中山医学大学	台湾	台中市	2017	2027
13	釜山カトリック大学校	韓国	釜山市	2018	2024
14	サイバージャヤ医学大学	マレーシア	セランゴール州	2019	2024
15	太平洋国立大学	ロシア	ハバロフスク市	2019	2024
16	弘光科技大学	台湾	台中市	2019	2024
17	輔英科技大学	台湾	高雄市	2019	2024
18	ペラデニア大学	スリランカ	キャンディ市	2021	2026
19	ハサヌディン大学（看護）	インドネシア	マカッサル市	2022	2027
	ハサヌディン大学（運動機能医科学）	インドネシア	マカッサル市	2023	2028
20	仁済大学校	韓国	金海市	2023	2028
21	ケベック大学トロワ・リヴィエール校	カナダ	トロワ・リヴィエール市	2023	2028
22	ジェンバー大学	インドネシア	ジェンバー市	2024	2029
23	国立シリントン・リハビリテーションセンター	タイ	バンコク	2012	2025
24	台北榮民総医院	台湾	台北市	2013	2028
25	フィリピン脳性麻痺のための法人（PCPI）	フィリピン	マカティ市	2018	2023

2) 部会活動

・国際交流活動部会（増田，圓，大和田，鷺見）

コロナ禍が空けたことにより，本年度より国際交流事業を再開することができた。2023年度は国際交流事業として13件の事業を実施し，年間予算5,200,000円に対し，計4,498,631円を執行した。

番号	学科	国・大学等	期間	人数	執行額	事業形態
1	放射線	タイ・マヒドン大学	4/17-5/14	学生 4 (招聘)	400,000	学術交流協定事業・一学科単独事業
2	作業	韓国・仁済大学校	8/30-9/2	教員 2 (渡航)	336,528	学術交流協定締結事業・一学科単独事業
3	看護	インドネシア・ハサヌディン大学, ジェンバー大学	9/2-9/15	教員 2 (渡航)	400,000	学術交流協定締結事業・一学科単独事業
4	看護	インドネシア・ハサヌディン大学	9/4-9/14	教員 2 (渡航)	400,000	学術交流協定事業・一学科単独事業
5	義肢	台湾・台北榮民総医院	9/7-9/10	教員 3 (渡航)	330,000	学術交流協定事業・一学科単独事業
6	国際交流センター	六日町・冬の英語キャンプ	2/21-2/23	教員 2 (派遣)	259,217	国際交流事業・国際交流センター
7	国際交流センター	台湾・国立陽明交通大学	2/24-3/2	教員 1 (渡航)	200,000	学術交流協定事業・国際交流センター
8	国際交流センター	マレーシア・国立脳卒中協会	2/25-3/25	教員 2 (渡航)	300,000	国際交流事業・国際交流センター
9	国際交流センター	フィリピン・アンヘレス大学	3/2-3/24	教員 2 (渡航)	272,886	学術交流協定事業・国際交流センター
10	国際交流センター	パナマ・国立リハビリテーション医学研究所, パナマ大学	3/3-3/11	教員 1 (渡航)	400,000	国際交流事業・国際交流センター
11	健康栄養学科	台湾・弘光科技大学, 輔英科技大学	3/25-3/29	教員 5 (招聘)	400,000	国際交流事業・一学科単独事業
12	国際交流センター	パナマ・国立リハビリテーション医学研究所	通年	教員 4 (招聘)	400,000	国際交流事業・国際交流センター
13	国際交流センター	カナダ・ケベック大学等	後期・	教員 5 (招聘)	400,000	学術交流協定事業・国際交流センター

・海外研修および留学支援部会（菊元，久保，田村，濱野，高野，津田）

コロナ禍が空けたことにより，本年度は海外研修を本格的に再開することができた．2023年度は英語等短期研修助成制度に対し15件の申請があり，制度にもとづき，98名の学生に助成を行った．予算8,000,000円に対し，計6,710,000円を助成金として執行した．

番号	対象	国・地域名	期間	参加学生数（+引率／教員）
1	理学療法学科	フィリピン	8/27-9/13	7（+引率2）
2	全学科	マレーシア	8/31-9/15	6（+引率2）
3	救急救命学科	アメリカ	9/2-9/6	14（+引率2）
4	臨床技術学科	アメリカ	9/12-9/22	10（+引率2）
5	救急救命学科	オーストラリア	11/16-11/21	1（+引率2）
6	全学科	韓国	2/16-2/29	5
7	全学科	台湾	2/24-3/2	3（+引率1）
8	看護学科	インドネシア	2/25-3/4	8（+引率2）
9	全学科	マレーシア	2/25-3/24	9（+引率2）
10	義肢装具自立支援学科	タイ	3/2-3/9	5（+引率2）
11	診療放射線学科	タイ	3/3-3/17	4（+引率2）
12	臨床技術学科	台湾	3/8-3/15	2（+引率2）
13	作業療法学科	台湾	3/10-3/16	14（+引率2）
14	看護学科	アメリカ	3/26-4/4	4（+引率2）
15	理学療法学科	アメリカ	4/1-4/9	6（+引率2）

・オンライン企画部会（神田，涌井，大和田，鷺見）

2020年より開催しているオンライン企画「グローバルキャリア支援Meeting」を，本年度も実施した．本企画は海外で就業あるいは修学の経験を有する専門職の方を講師に招いて，学生とオンラインでミーティングを行っていただくことで，学生のグローバル意識の向上を目指したもの

である。元来コロナ禍で実施できなかった海外研修の代替企画であったが、海外研修が本格的に再開した今年度も7回開催し、一部対面形式を取り入れたことにより、参加者は昨年度を大幅に超える566名（昨年比約1.7はま倍）を数えた。なお、講師料については英語等短期研修助成制度を利用し、合計105,000円を執行した。

回	実施日	講師（敬称略）	参加者数	講師料
1	7月4日（火）	岡村正嗣（シャリテ・ベルリン医科大学シャリテ保健研究所客員研究員）	130 （対面）	PT学科負担
2	7月28日（金）	ガテラ・ルダシングワ・エマニュエル、ルダシングワ・真美（ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト）	156（内対面106）	15,000
3	12月2日（土）	曾根あずさ（新潟大学医歯学総合病院・管理栄養士）	21	15,000
4	12月11日（月）	佐藤結香（株式会社ワールドロード・臨床工学技士）	95	15,000
5	12月11日（月）	田中紗和子（JICA海外協力隊経験者・作業療法士）	128（内対面80）	15,000
6	12月18日（月）	村上育子（アクデニズ大学健康科学部教員）	18	15,000
7	1月19日（金）	Tran Thi Thanh Huyen（東京健康科学大学ベトナム臨床検査学科講師）	18	15,000

・国際貢献部会（久保，神田，田村，佐藤）

昨年度に引き続き、「さくらサイエンス招へいプログラム」（国立研究開発法人科学技術振興機構）に採択され、11月にパナマの国立リハビリテーション医学研究所から研究者4名を招へいし、同プログラムを実施することができた。同プログラムを実施するにあたっては、西澤学長をはじめ本学の代表者がカルロス・ペレス駐日パナマ大使とオンラインで面談し、同大使から謝意を表されたことは特筆に値する。また、2020年から実施してきたベトナム・ハイズオン医療技術大学をカウンターパートとするJICA草の根技術協力事業を、無事終了することができた。

・広報部会（鷺見，圓，栗原，板垣）

英語版ホームページの改修作業を行い、SNSを活用した広報活動の検討を行った。

・国際交流締結部会プロジェクトチーム（久保，増田，菊元）

既存の学術交流協定締結校との締結内容を点検し、協定の更新を行った。また、新たに韓国・仁済大学校，カナダ・ケベック大学トロワ・リヴィエール校，インドネシア・ジェンバー大学との交流協定を締結した。

3) その他の活動

・JASSO「2024年度海外留学支援制度」協定派遣に1件，採択された。

・新潟県「令和5年度東南アジアにおける出前講座事業補助金」に申請し，補助金の交付を受けた。交付により，職員1名とベトナム人大学院生2名がベトナムの大学2校を訪問し，留学生獲得活動を行った。

・新潟日米協会のイベントへの学生の参加を促進した。

・FD委員会との共催で英語FD: Presentationの部およびSmall Talkの部を実施した。

<留学生専門委員会>

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

久保雅義（PT，委員長），増田 修（CO），神田 賢（AT），田村典子（HN），佐藤真由美（NR），高野晃輔（HI），権瓶一葉・嵐田浩吉・渡邊佳奈（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等（活動内容を含む）

・留学生募集のための活動と調査

アクセス日本留学フェア日本語教育機関教員向け進学説明会（東京，5月）への参加，アクセス日

- 本留学フェア外国人学生のための進学説明会（東京，9月・11月・1月）への参加，JASSO外国人学生のための進学説明会（東京6月，大阪7月）への参加，ライセンスアカデミー日本留学フェア（大学院進学フェア）（東京，6月・9月）への参加，東京を中心とした日本語学校訪問（5月・6月・8月・11月・1月），Japan Study Support（JPSS）における大学紹介ページの公開，留学生募集リーフレットの作成，進研アドによる留学生募集の個別セミナー受講，等を行った。
- ・留学生募集および受入れのための海外提携校との連携
2024年度大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）として，協定校のベトナム・ハイズオン医療技術大学から1名，インドネシア・ハサヌディン大学から1名，を文部科学省に推薦した。また，10月には新潟県の「東南アジアにおける出前講座事業補助金」の交付を受け，ハイズオン医療技術大学を訪問することができた。
 - ・留学生の受入れ体制の整備と留学生支援
外国人留学生サポーター制度を運用し，また留学生のための日本語講座を実施した。
 - ・留学生のためのイベント開催
4月に留学生新入生履修登録説明会と留学生親睦会を開催した。さらに，5月には新潟市内のバスツアーを，12月には妻有地方へのバスツアーを実施し，留学生の本学に対する満足度向上を図った。
 - ・日本人学生との交流
本年度より，留学生が講師となり，学習支援センターで日本人学生に英会話を指導している。また，伍桃祭では，日本人学生の協力を得ながら，留学生が模擬店を出店した。

（2）教育・学生支援機構運営委員会

①委員名簿

大山峰生（OT，機構長），相馬俊雄（PT），吉田重和（HS），木原 亨（事務局），吉田俊雄（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項及び決定事項等

- 1）中央教育センター運営委員会の規程について審議し，承認した。
- 2）新入生アンケート内容について審議し，承認した。
- 3）進級制度（学年進行の捉え方）について審議し，承認した。
- 4）転部転科制度について審議し，承認した。
- 5）全学・学部・学科のアドミッション・ポリシー（AP学科）について審議し，承認した。
- 6）2023年度 対面授業実施ガイドライン【授業対応編】について審議し，承認した。
- 7）2022年度 卒業時アンケート結果について審議し，承認した。
- 8）転部転科制度について審議し，承認した。
- 9）定期試験要綱等の改訂について審議し，承認した。
- 10）国家試験・資格試験対策委員会規程（内規）の変更について審議し，承認した。
- 11）障がいのある学生支援に関する規程について審議し，承認した。
- 12）転部転科の取り扱いに関する規程について審議し，承認した。
- 13）2022年度 of 国家試験・資格試験結果に関する表彰および2023年度以降の表彰対象について審議し，承認した。
- 14）要支援対象者基準について審議し，承認した。
- 15）作業療法学科の卒業要件単位数上限について審議し，承認した。
- 16）「共通科目」に対する認識の共有について審議し，承認した。
- 17）国際交流演習Ⅰ・Ⅱの科目について審議し，承認した。
- 18）卒業時アンケートの実施時期について審議し，承認した。
- 19）医療情報管理学科の重点資格試験について審議し，承認した。

- 20) 2024年度 健康スポーツ学科のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 21) 転部転科試験概要について審議し、承認した。
- 22) 基礎教養科目群・保健医療福祉教養科目群・保健医療福祉連携科目群の在り方について審議し、承認した。
- 23) 共通科目の運用体制の検討について審議し、承認した。
- 24) 病院・施設・一般企業の意識・満足度調査結果の活用について審議し、承認した。
- 25) 既卒生の国家試験受験意思の状況把握について審議し、承認した。
- 26) 2024年度 作業療法学科のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 27) 2024年度 義肢装具自立支援学科のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 28) 2024年度 視機能科学科のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 29) 図書館資料除籍規定の改定について審議し、承認した。
- 30) 総務会時の学籍異動報告方法について審議し、承認した。
- 31) 2025年度 健康栄養学科のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 32) 2024年度 医療情報管理学科のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 33) 各種コンペティション出場について審議し、承認した。
- 34) 2024年度 メディア授業単位数の上限管理について審議し、承認した。
- 35) 卒業判定除外基準に基づく卒業率の共有方法について審議し、承認した。
- 36) 2023年度 学科表彰基準（国家試験・退学抑止実績）について審議し、承認した。
- 37) 2024年度・2025年度 アクションプランについて審議し、承認した。
- 38) STEPSの英語表記について審議し、承認した。
- 39) 2024年度 生成AI利用に関する本学の方針と留意事項について審議し、承認した。
- 40) 自然災害等に伴う休講措置とメディア形式への切り替えに関する取扱要項について審議し、承認した。
- 41) 共通科目の運営組織体制に関する細則について審議し、承認した。

① 学生支援推進部

ア 健康管理センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

埴 晴雄（CT，委員長），遠藤和男（HN，副委員長），萩原康雄（PT），間宮靖幸（OT），石本 豪（ST），佐藤未希（AT），（CT），森田邦恵（CT），戸田春男（CO），江部克也（EM），吉田秀義（RT），大森 豪（HS），菅原大志（HS），寺尾幸子（HN），和田直子（NR），原口彩子（SW），井上弘樹（HI），金子聡一郎（AP），波間早苗（医務室）・笠原陽子（医務室），内山朱李（医務室），中山あかね（事務局）・馬場誠也（事務局）・本間 葵（事務局）・石山ゆかり（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等，

- 1) 新入生の健康状況の把握については，個人情報保護に留意し，学生記録票の身体状況記入欄を用いて各学科および体育教員，メンタルヘルス支援室と情報共有を行った。場合によっては健康状況の詳細を把握する必要があるため，学生記録票に病歴の記載がある場合には，中学・高校の学生生活管理指導表の写しなどの提出を求めた。
- 2) インフルエンザ流行防止のための予防喚起と，ワクチン予防接種を行い，発生状況の把握を行った。接種人数は学生，教職員で938名であり，前年度より多かった。今期の感染は学生教職員合わせて280名だった。
- 3) インフルエンザ感染後の文部科学省による登校基準改訂により「発熱後5日間は自宅で休養，安静」から「発症した後5日を経過し，かつ，解熱した後2日を経過するまで」であることを再度周知した。

- 4) 寮生の発熱に対し、医師によるオンライン相談を実施し処方を行った。
- 5) 熱中症の予防について学生へ呼びかけ、各棟にポスター掲示を行った。対策として医務室に経口補水液を準備した。
- 6) ノロウィルス予防対策として各棟のトイレに手洗い奨励のポスターを掲示した。ノロウィルスの発生の報告はなかった。
- 7) 学生委員会と共催で薬物乱用防止講演会を開催した。
- 8) 学生心理相談は臨床心理士と精神科医で行っている。相談者の希望に合わせ、対面相談の他遠隔相談（電話相談やZoomでの相談）を実施した。
- 9) 健康診断担当者の選出を各学科長あてに依頼し、担当者に業務内容を周知した。
- 10) 医療技術学部救急救命学科と共催で心肺蘇生講習プログラムをオンデマンドで実施した。
- 11) メンタルヘルス支援室が新入生を対象にUPI・PHQ-9検査を実施した。
- 12) 教職員を対象にエビペンの使用方法の動画視聴をオンデマンドで実施した。

イ 図書館・学習支援センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

竹井 豊（EM，委員長，図書館長），田村典子（HN，副委員長），小島 翔・高林知也（PT），高橋里奈（OT），伊藤さゆり（ST），神田 賢（AT），木村啓作（AP），大山富三（CT），金子 弘・生方北斗（CO），長谷川晃（RT），三瀬貴生・森下義隆（HS），中澤紀代子（NR），佐久間由紀・渡辺 恵（SW），坂井さなえ（HI），船山澄子・中村委代・佐藤真由子・齋藤寛子（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 心理学文献データベース「PsycINFO，PsycARTICLES」のトライアルを実施した。
- 2) iThenticate，SPORTSDiscus，CHNALの講習会を実施した。
- 3) 全学科を対象に学習支援に関する要望をヒアリングした。国試がある学科では基礎教養科目，専門基礎科目への支援，国試がない学科ではパソコン操作に関する支援の要望が多かった。そのほか，メンタル面の不調で登校できない学生へのオンラインでの学修支援や居場所の提供について要望があった。
- 4) 重複本726冊，退任教員の不明本215冊，汚破損により修理不能な書籍4冊，経年や改訂により保存対象外の書籍46冊を除籍した。
- 5) 非来館型サービスの充実を目的に，学科図書費の29%を電子ブックの購入に充てた。
- 6) 次年度の雑誌契約を審議し次の通り承認した。パッケージ系電子ジャーナルは6種を継続，データベースは12種を継続，1種の購読を中止した。洋雑誌は33誌を継続，2誌を購読中止，2誌を新規で契約した。和雑誌は276誌を継続，6誌を購読中止，2誌を新規に契約した。
- 7) 統計ソフト「SPSS」の継続運用について，調査・検討を行った。
- 8) 教員に統計の支援に関するアンケートを実施し，若手教員を対象にした初心者向け統計セミナーの開催を検討した。
- 9) 教員の査読済論文19本を本学機関リポジトリで公開した。またOA方針策定後に機関リポジトリで公開をした査読済論文の掲載誌名のリストおよび登録に関するQ&Aを作成し，公開した。
- 10) 「図書館収書方針」「図書館資料選定基準」を策定し，それに伴い「図書館資料除籍規程」「寄贈資料受入選択に関するガイドライン」の修正を審議し承認した。
- 11) 基礎ゼミの図書館ガイダンス・ツアーを見直し，クイズ形式で利用方法を紹介する企画などを検討した。オンデマンドのガイダンス動画を改修した。
- 12) 学科図書費の予算配分についてアンケートを実施し，当面予算配分は変更せず経過をみることにした。
- 13) 全学科1年生対象の「解剖学・生理学基礎セミナー」を実施，12学科からのべ203名が受講した。

- 14) 学習支援ピアサポーター制度細則の変更を審議し承認した。応募条件を「GPA3.0以上もしくは学科教員からの推薦」に、募集時期を後期に変更した。2024年度以降、対面研修の講師は学習支援センターの院生講師が務める。
- 15) 学習支援ピアサポーターの募集と研修を行い、14学科97名を任命した。1年生を対象に定期テスト相談WEEKと科目別サポートを開催し、計64名が利用した。
- 16) 7学科を対象に学習支援センター利用推奨制度を実施した。
- 17) 2024年度入学生を対象に「スタートダッシュセミナー」を実施した。Remedial Coursesでの学習動画の公開と、学習支援ピアサポーターによるオンライン個別相談会を行った。
- 18) 図書館および学習支援センター活動の認知度向上を目的に、食堂や学バスおよび図書館棟入口での案内掲示を行った。
- 19) ボランティアマッチングサイトを通じて学生ボランティア5名を採用し、Instagramで広報活動を行った。
- 20) 2023年度新入生を対象に履修登録サポートデスクを実施した。在学生89名がボランティアスタッフとして参加し、新入生386名が利用した。
- 21) 図書館と学習支援センターに関する認知度アンケートを実施した。

ウ 就職センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

永井 徹（HN，委員長），高橋英明（PT，副委員長），藤目智博（OT），佐藤卓也（ST），前田 雄（AT），高野道代（AP），齋藤大造（CT），前田史篤・小林昭子（CO），安達哲浩（EM），安達登志樹（RT），小林志郎・山本悦史（HS），佐藤真由美（NR），青木 茂（SW），市川明弘（HI），中田香織（事務局），伊藤 求（事務局）

②会議開催回数

就職センター運営委員会会議12回，クラウド型ポートフォリオのワーキンググループ会議1回
キャリア教育部会会議8回

③審議事項および決定事項等

- 1) 副委員長の選出。
- 2) 就職対策年間スケジュール（各学科と全体）の確定。
- 3) 将来計画・アクションプラン（2023年度）の振り返り。
- 4) 実践行動学パート3の企画，実施。
- 5) 医療機関業界・職種研究会（4月22日）の企画・対面形式による準備・実施。
（臨床技術学科，診療放射線学科が担当）医療関連6施設，学生132名の参加。
- 6) 業界・職種研究会（6月24日）の企画，実施方法検討，対面形式による準備・実施
（医療情報管理学科を主幹に健康スポーツ学科が担当，義肢装具自立支援学科・社会福祉学科任意参加）。
企業9社，学生155名の参加。
- 7) 医療福祉施設求人説明会（7月29日）の案内先および実施方法検討，オンラインライブ形式での実施。
（作業療法学科を主幹に理学療法学科，言語聴覚学科が担当）。
医療関連76施設，学生173名の参加。
- 8) 保護者会（11月4日）における就職関係資料の準備・提供。
- 9) 学内企業等説明会（12月2日）の案内先および実施方法検討，対面形式による準備・実施
（健康スポーツ学科を主幹に義肢装具自立支援学科，健康栄養学科，医療情報管理学科が担当）。
企業50社，学生161名の参加。
- 10) 教育基盤の確立と学生支援体制の強化のもと，学生のモチベーション維持・向上のため国家試

験前の就職内定を重視，国試前後については時期に応じた未内定学生への支援を実施。

11) 各学科会議における就職指導状況の月次評価を共有，効果的な就職対策の検討・協議。

12) 2024年度の医療業界・機関業界・職種研究会，医療福祉施設求人説明会，業界・仕事研究会（名称変更），QOLサポーターとの集い及び学内企業等説明会の日程を決定し，学事歴に掲載。

④特記事項

キャリア支援中期計画実行について

- ・卒業生の定着度調査の回答率を上げ，分析結果を各学科と共有，総務会で報告。
- ・就職センター専用ホームページをリニューアル。
- ・低学年次キャリア教育の新規取り組みに向け，キャリア教育部会を発足。
- ・1年生とOBOGとの交流の場としてQOLサポーターとの集いを2024年度に実施決定。
- ・就活イベントの運営に携わる学生スタッフ組織（キャリアサポートスタッフ）を発足。

エ 教職支援センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

脇野哲郎（HS，委員長，センター長），森泉哲也（HN，副委員長）・片山直幸（HN），若月弘久・久保 晃・佐藤裕紀・杵渕洋美・針谷美智子・高田大輔・上田純平（HS），丸山幸恵・小林房代（NR），菅原直実・阿部つばさ（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 教職支援センター運営委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 教職支援センター運営委員会年間計画を審議し，決定した。
- 3) 教職支援センター指導体制について審議し，承認した。
- 4) 2022年度卒業時アンケート結果について検討した。
- 5) 教員採用試験合格者目標値を設定し，決定した。
- 6) 学内教員による教員採用試験対策学内講座について審議し，決定した。
- 7) 外部業者による教員採用試験対策学内講座について審議し，決定した。
- 8) 外部業者による教員採用試験対策学内模試について審議し，決定した。
- 9) 教職支援センター利用ガイドラインについて確認した。
- 10) 教員採用試験人物評価試験対策について審議し，決定した。
- 11) 次年度予算案を審議し，決定した。
- 12) 教職課程自己点検・自己評価作業を実施し，「教職課程自己点検・評価報告書」を刊行した。
- 13) 新潟医療福祉大学将来計画について，教職支援センター運営委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプランの実施状況について確認した。

④特記事項

- 1) 2022年度教職支援センター年報第6号を刊行した。また，新潟医療福祉大学・事業創造大学院大学機関リポジトリに登録した。
- 2) 教職支援センターニューズレター第11号・第12号を刊行した。
- 3) 教員採用試験対策オリエンテーションを実施した。
- 4) 教員採用試験「合格者の声を聴く会」を実施した。
- 5) 「現職教員の声を聴く会」を実施した。
- 6) 「新潟県・新潟市教員採用選考検査説明会」ならびに「教員採用試験結団式」を実施した。
- 7) 新潟市教育委員会・新潟県内私立大学との「教員養成連絡協議会」を実施した。（参加機関：新潟市教育委員会・敬和学園大学・新潟青陵大学・新潟薬科大学・新潟経営大学・新潟工科大学・新潟医療福祉大学）
- 8) 「学習ボランティア体験を語る会」を実施した。

- 9) 3学科連携「教職実践演習」を実施した。
- 10) 教員採用試験出願書類作成指導会を実施した。

オ 学生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

相馬俊雄（PT，委員長），岩森 大（HN，副委員長），関根千恵（PT），安中裕紀（OT），今井信行（ST），佐藤成登志（AT），阿部拓也（CT），福田晋平（AP），生方北斗（CO），田中耕一・岩崎 隆（EM），大野 健（RT），針谷美智子・松浦由生子（HS），栗原弥生（NR），渡辺洋子・青木 茂（SW），築取 萌（HI），風間篤史・倉部崇史・中山あかね（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 学生委員による構内の巡視を兼ね美化運動を実施した。さらに学内外での事件・事故および地域からの苦情等については，全学生への注意喚起および該当学生に対する個別指導等を行い再発防止に努めた。
- 2) 日本学生支援機構奨学金の利用者数について情報共有を行った。
- 3) 保護者会について全体会をWEB形式，個別相談を対面形式により企画・運営を実施した。
- 4) 薬物乱用防止に関する学生への指導として，講演会等を実施した。
- 5) 学生生活アンケートを実施し，集計結果を関係各署に情報共有することで学生生活の向上に努めた。
- 6) 学生の挨拶，マナー向上の啓発を目的に，挨拶促進・マナー向上標語の公募を行い，優秀作品2作品に対し，表彰を実施した。
- 7) 学長表彰，学生表彰に係る学生委員会の推薦候補者について審議した。
- 8) 学友会の学生と共同でクラブ・サークル紹介（冊子）の作成，全県人会の開催促進に取り組んだ。桃迎会（クラブ・サークルの勧誘会）や伍桃祭（大学祭）など学友会活動の継続と活性化に取り組んだ。

カ 交通安全委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

青木 茂（SW，委員長），岩森 大（HN，副委員長），関根千恵（PT），安中裕紀（OT），今井信行（ST），佐藤成登志・田山文子（AT），福田晋平（AP），阿部拓也（CT），生方北斗（CO），岩崎 隆・田中耕一（EM），大野 健（RT），針谷美智子・松浦由生子（HS），栗原弥生（NR），渡辺洋子（SW），築取 萌（HI），風間篤史・倉部崇史・中山あかね・吉田千晃（事務局）・駒沢 猛（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 過去の本学交通事故件数や危険個所を集約し，全学生を対象に交通安全講習会を実施した。
- 2) 教職員対象の交通安全講習会の企画と実施運営を行い，教職員には雪道運転の注意点をテーマとし，交通安全の意識向上に努めた。
- 3) 学生の車両登録を促進することで，学内駐車場の安全管理に努めた。
- 4) 学内周辺の危険個所を調査し，検討および改善に努めた。
- 5) 「交通安全無事故の誓い」を運営し，過去の過ちを繰り返さぬよう，学生・教職員の交通安全に対する意識付けに努めた。

キ 国家試験・資格試験対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

川村宏樹（CT，委員長），山口典子（NR，副委員長），相馬俊雄・玉越敬悟（PT），藤目智博（OT），

内山 信・佐藤卓也・田村俊暁（ST）、須田裕紀（AT）、福田晋平・村越祐介（AP）、増子弘明（CT）、村田憲章・多々良俊哉（CO）、大松健太郎・尾崎あかね（EM）、吉田宜清（RT）、鈴木一恵・中村純子・片山直幸（HN）、脇野哲郎・森下義隆（HS）、原口彩子（SW）、坂井さなえ（HI）、吉田俊雄（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 国家試験・資格試験対策委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 前年度の分析と今年度目標について、確認した。
- 3) 国家試験・資格試験対策委員会規程（内規）について審議し、決定した。
- 4) 試験対策費予算案分について審議し、決定した。
- 5) 9月卒業生の扱いについて、確認した。
- 6) 前年度卒業生アンケート結果と改善について、確認した。
- 7) 各学科の模擬試験実施予定を取り纏め、実施教室を決定した。
- 8) 既卒生のサポートについて、確認した。
- 9) 保護者会で配布する国家試験・資格試験対策概要（冊子）の発行について審議し、決定した。
- 10) 卒業時アンケートについて審議し、決定した。
- 11) 大学閉鎖期間（年末年始）の対策予定および自習室開放について、確認した。
- 12) 毎月の指導状況および強化メンバー対策状況について、確認した。
- 13) 毎月の国家試験・資格試験同等基準の模試の結果について、確認した。
- 14) 国家試験・資格試験結果の取り纏めについて、確認した。

④特記事項

- 1) 事務局から、国家試験・資格試験の受験生に対し、応援のメッセージと粗品を進呈した。
- 2) 6つの国家試験（理学療法士・視能訓練士・救急救命士・助産師・精神保健福祉士・介護福祉士）において合格率100%を達成した。

②教育開発推進部

ア 教務委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山崎貴子（HN，委員長）、古西 勇（PT，副委員長）、増田 修（CO，副委員長）、齊藤 慧・北谷亮輔（PT）、高橋里奈・間宮靖幸（OT）、佐藤卓也・内山 信・千葉寛之（ST）、村山 稔・神田 賢（AT）、高野道代・木村啓作（AP）、高橋良光・中山憲司（CT）、志賀木綿子（CO）、高橋 司・尾崎あかね（EM）、吉田皓文・関本道治（RT）、竹内瑞希・川上心也（HN）、佐藤晶子・奈良梨央・柴田篤志（HS）、杉本 洋・渡邊千春・杉田洋子（NR）、國兼明嗣・渡辺 恵・小出 直（SW）、谷賢太郎・高野晃輔（HI）、山崎由美子（心理健康学科設置準備室・オブザーバー）、豊田典子（中央教育センター・オブザーバー）、村山萌子・渡辺珠希・前田 充（事務局）

②会議開催回数 13回（うち1回メール審議）

③審議事項および決定事項等

- 1) 委員会規程第6条第3項に基づき、副委員長の指名を承認した。
- 2) 委員会規程第9条に基づき、教育の質マネジメント・学内授業推進専門部会、単位認定・編入学・転部転科等専門部会、学外実習専門部会を置き、部会員の選任および部会長の委嘱を承認した。
- 3) 履修登録願に関する申請・審議手順の改定について審議し、承認した。
- 4) 履修登録願の申請に基づく履修登録について審議し、承認した（計19名）。
- 5) 非常勤講師の新規任用について審議し、承認した（計20名）。
- 6) 転部転科者の既修得単位認定について審議し、承認した（計10名）。

- 7) 第1年次入学者の既修得単位認定について審議し、承認した(計4名)。
- 8) 2023年度入学者の出欠状況確認指標科目を学科ごとに決定した。
- 9) 定期試験実施要綱とその付録資料について審議し、承認した。
- 10) 生成AIに関する定期試験での注意喚起内容について審議し、承認した。
- 11) 追試験の申請フローの改定について審議し、承認した。
- 12) 定期試験結果の発表フローの改定について審議し、承認した。
- 13) 定期試験時の指定座席を周知する方法の改定について審議し、承認した。
- 14) 作業療法学科の2024年度カリキュラム変更について審議し、承認した。
- 15) 義肢装具自立支援学科の2024年度カリキュラム変更について審議し、承認した。
- 16) 視機能科学科の2024年度カリキュラム変更について審議し、承認した。
- 17) 健康スポーツ学科の2024年度カリキュラム変更について審議し、承認した。
- 18) 医療情報管理学科の2024年度カリキュラム変更について審議し、承認した。
- 19) 健康栄養学科の定員増計画に係る2025年度カリキュラム変更について審議し、承認した。
- 20) 基礎教養科目群、保健医療福祉教養科目群、保健医療福祉連携科目群における科目の2024年度新設および廃止等について審議し、承認した。
- 21) 保健医療福祉教養科目群の2024年度開講計画(クラスサイズ等)について審議し、承認した。
- 22) 2024年度シラバス様式の改定およびシラバス作成マニュアルについて審議し、承認した。
- 23) 臨床技術学科の科目開講時期変更(8件)について審議し、承認した。
- 24) 救急救命学科の科目開講時期変更(1件)について審議し、承認した。
- 25) 健康スポーツ学科の科目開講時期変更(1件)について審議し、承認した。
- 26) 2024年度「神経科学」および「臨床神経学」の担当教員変更について審議し、承認した。
- 27) 学外実習に係る後援会援助金の分配案について審議し、承認した。
- 28) 2024年度研究生・科目等履修生・聴講生募集概要について審議し、承認した。
- 29) 「自然災害時等に伴う休講措置に関する取扱要項」の改正について審議し、承認した。
- 30) 海外・語学研修参加による単位認定フローについて審議し、承認した。
- 31) アクションプラン達成度の自己点検・自己評価結果について審議し、承認した。
- 32) 第3年次編入学者の既修得単位認定について審議し、承認した(計1名)。

④特記事項

- 1) 卒業時アンケート結果について確認した。
- 2) 保健医療福祉教養科目群の抽選の結果について確認した。
- 3) 保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群単位の学生の履修・修得状況について確認した。
- 4) 9月卒業申請者について確認した。
- 5) カリキュラム改定に関わる指針に基づき、各学科のカリキュラム改定予定を調査した。
- 6) 文部科学省への実習施設変更承認申請について対応した。
- 7) 一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)からの依頼に基づく授業目的公衆送信の利用報告について対応した(健康科学部)。
- 8) 修学支援新制度に係る「実務経験のある教員等による授業科目」を確認した。
- 9) 定期試験実施本部体制を構築し、不正行為等発生時の対応を確認した。
- 10) 1年次対象の薬物乱用防止講演会の場で、定期試験に関して注意喚起した。
- 11) 要支援対象者基準を策定し、要支援対象者を抽出した。
- 12) 成績不合格者、成績未確定科目について確認した。
- 13) 成績評価に対する異議申立に関する対応について確認した。
- 14) 「スマホ出席」をトライアル導入した。
- 15) 「スマホ出席」に関するアンケート調査を行い、結果を確認した。

- 16) 「シラバス第三者チェック機能」を導入した。
- 17) 次年度シラバスを点検した。
- 18) 次年度カリキュラム表を作成した。
- 19) 次年度カリキュラムにおけるメディア授業単位数を管理した。
- 20) 時間割を作成した。
- 21) 非常勤講師の次年度担当内諾確認作業を実施した。
- 22) 次年度学事暦案を確認した。
- 23) 教科書販売に係る対応をした。
- 24) 授業用 Teams の利用を希望する授業を調査し、チームの作成対応をした。
- 25) 2024 年度「国際保健の世界」担当教員を公募し、開講に向けた調整を行った。
- 26) 2024 年度「地域連携学」の変更内容、抽選対応等について確認した。
- 27) 卒業判定会議に委員（各学科 1 名）を派遣した。
- 28) 卒業見込判定結果および卒業判定結果について確認した。
- 29) 学業成績優秀による学生表彰候補者を推薦した。
- 30) 卒業時アンケート実施要綱を確認し、回答収集に協力した。
- 31) 学外実習中の事故報告について共有した。
- 32) 実習着を着用した状態での学生の外出について事例を共有し、注意喚起した。
- 33) 学外実習先への自家用車通学について事例を共有し、注意喚起した。
- 34) 新潟リハビリテーション病院での PCR 検査の受付終了について情報共有した。
- 35) 学外実習費の当年度決算見込および次年度予算案を作成した。
- 36) 学外実習に係る後援会援助金の使途報告を作成した。
- 37) 非常勤教育職員選考細則の改正について確認した。
- 38) 非常勤講師の任用審査時の履歴書記入例を作成した。
- 39) 非常勤講師のメール等アカウントの要否を確認し、整理した。
- 40) 研究プロジェクト演習（UROP）を運営した。
- 41) 研究プロジェクト演習（UROP）担当学科の役割を明文化した。
- 42) 学生健康診断の日程調整に協力した。
- 43) 2024・2025 年度アクションプランについて検討した。

イ FD・SD 推進委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

杉崎弘周（HS，委員長），寺田貴美代（SW，副委員長），徳永亮太（PT），伊関浩克（OT），
谷 麻美（ST），村山 稔（AT），金子聡一郎（AP），齋藤 憲（CT），戸田春男（CO），高橋 司
（EM），吉田皓文（RT），寺尾幸子（HN），秋山隆之（HS），和田直子（NR），塚本徹雄（HI），
駒形高広・阿部つばさ・木原 亨・中村 泉・児玉祐哉・今野元稀・中山あかね・渡邊宰子・
佐藤真由子・阿部尚美・小杉春花（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項及び決定事項等

- 1) FD・SD 推進委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) FD・SD 推進委員会規程について審議し、承認した。
- 3) FD・SD 推進委員会部会構成および部会担当者を決定した。
- 4) FD・SD 推進委員会年間計画を審議し、決定した。
- 5) 学生による授業評価要綱について審議し、承認した。

④特記事項

- 1) 新任教員セミナーを実施した。

- 2) 新任職員SD研修会を実施した。
- 3) 春の職員会を実施した。
- 4) メンタルヘルス支援室との共催でランチョンセミナー「どうする？先生 Part.2 ～学生に診断名を告げられたら～」を実施した。
- 5) TOEIC IPテスト（オンライン）を計4回実施した。
- 6) 中央教育センター、メンタルヘルス支援室、図書館・学習支援委員会との共催でランチョンセミナー「シェアかふえ」を計8回実施した。
- 7) 科研費対策委員会、事務局研究支援課との共催で科研費学内説明会を実施した。
- 8) 研究・産官学連携推進部会との共催でランチョンセミナー「AIを味方にした英語論文作成」を実施した。
- 9) ランチョンセミナー「本学の連携教育の位置づけ～連携基礎ゼミの目的と実例～」を実施した。
- 10) 秋の職員会を実施した。
- 11) ランチョンセミナー「大学教育現場における生成AI活用について」を実施した。
- 12) 大学院教育研究環境委員会との共催でランチョンセミナー大学院FD「院生アンケート結果からみたメディア授業の活用方法」を実施した。
- 13) ランチョンセミナー「本学女子バスケットボール部と新潟アルビレックスBBラビッツとの連携における可能性と課題について」を実施した。
- 14) 国家試験・資格試験対策委員会、図書館・学習支援委員会、IR戦略委員会との共催でランチョンセミナー「GPAトレンドからみた資格試験の可否」を実施した。
- 15) 春の教員英語研修を実施した。
- 16) 新潟医療人育成センター 高橋昌センター長 特別公演「わずかな知識を一步前に出る勇気ー一心に火をつける心肺蘇生教育 新潟PUSHの挑戦」を実施した。
- 17) ボランティアセンターとの共催でランチョンセミナー「ITを活用した新しいボランティアの考え方 Be My EyesでQOLサポート」を実施した。
- 18) 健康管理センター運営委員会、安全衛生委員会が主催した「教職員対象メンタルヘルス講習会」の運営に協力した。
- 19) 各種セミナーはアーカイブコンテンツとしてFD・SD推進委員会Webサイトで公開した。
- 20) FD・SDセミナー年間予定表を作成し、共有した。

ウ 新潟連携教育研究センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

藤井 豊（CT，委員長），村田憲章（CO，副委員長），井上達朗・田宮 創（PT），間宮靖幸（OT），
 栗原 桂・千葉寛之（ST），佐藤成登志・東江由紀夫（AT），高野道代（AP），森田邦恵（CT），
 小林昭子（CO），高橋 司（EM），鷺見和幸・甲斐千遥（RT），遠藤和男・中村純子（HN），
 若月弘久・池田恵子（HS），山田真衣・小栗妙子（NR），渡邊 豊・松本京介（SW），谷賢太郎（HI），
 渡辺珠希・滝沢美希（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 連携総合ゼミ実行部会，連携基礎ゼミ実行部会，連携科目対応部会，連携教育研究部会の部員を選出し，承認した。
- 2) 連携総合ゼミを対面で実施することについて審議し，承認した。
- 3) 連携総合ゼミの他大学学生・海外学生の受入について審議し，承認した。
- 4) 連携総合ゼミの企画・準備スケジュールおよび各担当の割り振りについて審議し，決定した。
- 5) 連携総合ゼミの学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し，承認した。
- 6) 連携総合ゼミの各事例への学生・教員配置について審議し，承認した。

- 7) 連携総合ゼミの開会式、発表会、修了式の内容について審議し、承認した。
- 8) 連携総合ゼミの大学院留学生による海外学生サポート謝礼の導入について審議し、承認した。
- 9) 2024年度連携総合ゼミの日程について審議し、前期開講日程を2024年8月26日（月）～30日（金）、後期開講日程を2025年3月3日（月）、5日（水）～7日（金）に決定した。
- 10) 連携基礎ゼミを対面で実施することについて審議し、承認した。
- 11) 連携基礎ゼミの学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し、承認した。
- 12) 連携基礎ゼミのゼミ分けについて審議し、承認した。
- 13) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートについて審議し、承認した。
- 14) 連携基礎ゼミにおける実践行動学partⅡの取扱いについて審議し、連携基礎ゼミの評価内を含めることを承認した。
- 15) 連携科目の授業計画について審議し、承認した。
- 16) 2024年度保健医療福祉連携学の担当教員を非常勤から学内教員に変更する計画について審議し、承認した。
- 17) 2024年度連携科目の授業計画について審議し、承認した。

④特記事項

- 1) 連携教育協力教員の募集を行った。
- 2) 連携総合ゼミ期間中の開会式、発表会、修了式等の運営（オンライン含む）を行った。
- 3) 連携総合ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し、結果の集計と考察を行った。
- 4) 連携総合ゼミの実施報告書を作成した。
- 5) 連携基礎ゼミオリエンテーション、最終発表会の実施方法についてとりまとめを行った。
- 6) 連携基礎ゼミグループワークテーマについてとりまとめを行った。
- 7) 連携基礎ゼミに向けたFDとしてFD・SD推進委員会とセミナーを共同開催した。
- 8) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し、結果の集計と考察を行った。
- 9) 連携基礎ゼミの発表スライドデータを収集した。
- 10) 保健医療福祉連携学をオンデマンド型で実施した。
- 11) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部必修）をオンデマンド型と同時双方向型のハイブリット形式で実施した。
- 12) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部を除き選択）をオンデマンド型で実施した。
- 13) 地域連携学を対面形式で実施した。
- 14) 新3年生・新4年生オリエンテーションで2024年度連携総合ゼミの周知活動を行った。
- 15) 第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会を含む、連携教育に関連する勉強会やシンポジウムなどについて情報発信を行った。

エ 高等教育推進センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

吉田重和（HS，委員長），岩森 大（HN，副委員長），奈良貴史・宮口翔太・長坂和明（PT），馬場広子（OT，アドバイザー），今西里佳・高橋里奈（OT），内山 信・榎原 桂（ST），東江由起夫（10月～）・田山文子（AT），江川雅人（AP），牧口智夫・仙波妙子（CT），戸田春男（CO），江部克也（EM），長谷川晃（RT），佐藤裕紀（HS），石塚敏子・山田真衣（NR），渡邊 豊・荒川大靖（SW），石浦章一（HI，アドバイザー），寺島和浩・木下直彦（HI），吉田俊雄・駒形高広・渡辺珠希（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 高等教育推進センター運営委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 高等教育推進センター運営委員会各専門部会（教育システム改革部会，共通科目部会，ICT教育

推進部会、初年次教育推進部会）の担当者と部会長を決定した。

- 3) 委員会規定について確認した。
- 4) 自己点検評価（ドメイン2）の達成状況について確認した。
- 5) アクションプランの策定について検討し、確認した。
- 6) 中央教育センター運営委員会と共通科目部会との関連性、連携体制について確認した。
- 7) 3ポリシーの見直しについて検討し、修正・集約・確認した。
- 8) カリキュラム概念図を作成・修正し、確認した。
- 9) 少人数指導教育の実施状況調査を実施し、調査結果を報告した。
- 10) 習熟度試験の実施状況調査を実施し、調査結果を報告した。
- 11) アセスメントプラン、ナンパリング、カリキュラムツリーについて検討した。
- 12) カリキュラムマップについて検討し、作成した。
- 13) 学修ポートフォリオの活用を含む、DP達成度評価の実施について検討した。
- 14) カリキュラム評価アンケートの在り方、見直しについて検討し、確認した。
- 15) 大学教員としてのミニマム・リクワイアメントについて検討し、作成した。
- 16) 保健医療福祉教養科目群に関する課題点、改善案について検討した。
- 17) 第二外国語科目の運用の在り方、見直しについて、確認した。
- 18) 共通科目の出席率、課題提出率データを収集し、現状と課題点について検討した。
- 19) ICTを活用した教育基盤の在り方について検討した。
- 20) ICT教育に関連する生成AI活用について情報収集、情報共有を実施した。
- 21) データサイエンス教育に関するWGにて、認定制度の申請を見据えた取組みを検討・確認した。
- 22) 入学前教育（入学前課題、Webスクーリング）について検討、審議、実施した。
- 23) 入学前課題「BasicStudy Camp」「Remedial Courses」「学問サキドリプログラム」「スタディサプリ」「学科独自の課題」について検討、審議、実施した。
- 24) Webスクーリングのプログラムについて検討、審議、実施した。
- 25) 初年次教育に関する見直し、改善に向けた検討、審議をした。
- 26) 基礎ゼミの実施内容について報告した。
- 27) 基礎ゼミ改善について検討、審議、実施した。
- 28) 基礎ゼミ評価の見直し、共通ルーブリックについて検討し、作成した。
- 29) 実践行動学担当者、新規担当者のための講習会について確認した。
- 30) 理数系プレテストの実施について検討、審議、実施した。
- 31) 補習教育「Remedial Courses」の運営方法を検討、審議、実施した。
- 32) 日本語プレテストについて検討、審議、実施した。
- 33) 「私の夢」作文、「夢を語る会」の実施について、検討し、確認をした。
- 34) 新入生アンケートの実施について、確認し、実施をした。

オ 中央教育センター運営委員会

①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

五十嵐紀子（中央教育、委員長）、吉田重和（HS、副委員長）、奈良貴史（PT）、豊田典子（中央教育）、内山 信（ST）、今井理恵（中央教育）、亀岡雅紀（HS）、吉田俊雄（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新潟医療福祉大学中央教育センター規程について審議し、承認した。
- 2) センター規程に基づき、五十嵐センター長より、豊田委員が副センター長に指名され、承認した。
- 3) 新潟医療福祉大学中央教育センター運営委員会規程について審議し、承認した。
- 4) 委員会規程に基づき、五十嵐委員長より、吉田委員（HS）が副委員長に指名され、承認した。

- 5) 委員会の体制づくりの方針について、高等教育推進センター運営委員会の共通科目部会を当委員会に移行する期間の暫定措置として、当年度は英語教育を中心とした語学教育部門のみでの運営とし、英語に限定し様々な角度から検討し、学科や諸委員会等との連携を進めることを確認した。
- 6) 総務会にて、中央教育センター規程が承認され、センター規程がある場合は、委員会項目も含めて作成するという統一ルールが設定されたため、当センターにおいても、センター規程のみとすることを確認した。
- 7) 今後、中央教育センターの部門が増えていくことを想定し、部門の活動について毎回報告することを定着させる旨が提案され、確認した。

④特記事項

- 1) 非常勤講師の労働条件について、トラブルが起きないように特に、選択科目である第二外国語の開講・閉講の判断について明文化しておく必要があるという議論について共有した。どの非常勤科目でも同様の問題は起こりうることであるため、今後は議論の対象を広げることも検討する可能性があることを確認した。
- 2) 教育・学生支援機構の確認を経て、2024年度の英語プレイスメントテストはCASECによるオンライン試験を採用することに決定したことを確認した。
- 3) セブ島研修、韓国研修の視察を行い、両研修とも語学学習だけでなく現地での諸活動は有意義なものであり、単位認定に値することを確認した。
- 4) 中央教育センターの扱う業務や立ち位置はまだ流動的ではあるが、学科を横断した様々な課題の共有や活動の展開などを通して、共学組織としての連携を強化する役割があることを確認した。

(3) 研究・産官学連携推進機構運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大西秀明（PT，委員長），佐藤大輔（HS），椿 淳裕（PT），児玉直樹（RT），江玉陸明（PT），大竹 宏（事務局），大森由理（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 私立大学等総合改革支援事業タイプ2継続選定に向けた取り組み
- 2) URA推進に向けたFD／SDの実施について
- 3) 研究インテグリティの確保について
- 4) 新潟医療福祉大学における研究設備の共同利用に関する規程及び新潟医療福祉大学における研究設備の共同利用ガイドラインの整備
- 5) 知財ポリシー，利益相反ポリシーの制定
- 6) 公私立大学実験動物施設協議会の入会について
- 7) 研究奨励金等合議審査
- 8) 私立大学環境保全協議会入会
- 9) RA協議会加入
- 10) 2023年度アクションプラン自己点検評価について
- 11) 2024・2025年度アクションプランについて

① 研究・産学官連携推進部

ア 科研費対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大鶴直史（PT，委員長），能登真一（OT），田村俊暁（ST），須田裕紀（AT），木村啓作（AP），高橋良光（CT），村田憲章（CO），稲葉英夫（EM），大野 健（RT），増田紘之（HN），越中敬一（HS），和田直子（NR），松本京介（SW），平井克之（HI）

事務局 大竹宏, 大森由理

②会議開催回数 4回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2023年度科研費対策の結果と評価
- 2) 2024年度科研費申請率および採択率の目標設定
- 3) 2023年度研究奨励金申請状況について
- 4) 科研費サポートデスクについて
- 5) 科研費学内説明会の実施について
- 6) 学部生の研究倫理教育について

イ プロジェクト研究センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

椿 淳裕（PT，委員長），吉岡 豊（ST），能登真一（OT），佐藤成登志（PT），西原康行（HS），
山崎史恵（HS），大森 豪（HS），犬飼康人（PT），稲葉洋美（HN），大鶴直史（PT），東江由起夫
（AT），中山憲司（CT）

②会議開催回数 2回

③審議事項および決定事項等

- 1) プロジェクト研究センターの定期活動報告について
- 2) 看護実践研究センター設置について

② 研究・産学官連携支援部

ア 学術委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

委員長：竹井委員長（EM，委員長），澁谷委員（HN，副委員長），佐宗委員（PT），今村委員（ST），
田中委員（AT），津田委員（AP），齋藤委員（CT），金子委員（CO），渡辺委員（SW），花村委員（RT），
瀧口委員（OT），越智委員（HS），山口委員（NR），稲葉委員（EM），阿部（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新潟医療福祉学会誌編集内規について，留意事項の説明を実施.
- 2) 2022年度対象者の学会賞表彰式についての実施報告.
- 3) 第23回新潟医療福祉学会学術集会進捗報告がされた
ポスター作成とHP作成. 演題募集は7月10日（水）～を予定.
- 4) 著者からの異議申し立てに対する対応について審議のうえ承認された.
- 5) 第23回総会の議案書（案）ならびに役割分担確定者について承認された.
- 6) 第23回新潟医療福祉学会総会について，当日の進行表に従い，各担当と進行の確認がなされた.
- 6) 第23回新潟医療福祉学会学術集会の報告がなされた.（総数184名）
- 7) 第24回新潟医療福祉学会学術集会開催日程について，2024年10月26日（土）で承認された.
- 8) 2023年度学会賞選考リストについて，事務局より学会賞の選考スケジュールの説明と各委員へ
論文選考の依頼がなされた.
- 9) 2023年度学会賞候補者の選定について（会頭賞・奨励賞）3月中に会頭の承認を得て決定するこ
とが報告された.
- 10) 学術委員会規程の見直し案についての審議がなされた.

イ 倫理審査委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山崎史恵 (HS, 委員長), 芝田純也 (PT), 笠井 聡 (RT), 渡邊 豊 (SW), 高野義隆 (新潟リハビリテーション病院), 立石 学 (新発田リハビリテーション病院/県立吉田病院), 本間 葵, 南雲優美 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2023年度の申請件数は238件(受付番号19017~19255)だった。
- 2) 2023年度の学外学識経験者について, 新潟リハビリテーション病院の高野義隆先生, 新発田リハビリテーション病院の立石学先生を倫理審査委員に委嘱した。
- 3) 個人情報関連規定の改定及び, 生命・医学系倫理指針の一部改定に伴い, 2023年7月から申請書が新書式となった。

ウ 遺伝子組換え実験安全委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

田口 徹 (PT, 委員長), 川村宏樹 (CT, 副委員長), 太田大樹 (PT), 八坂敏一・田村典子 (HN), 塙 晴雄 (HS), 坂田衣里 (事務局)

②会議開催回数 4回(メール審議を含む)

③審議事項および決定事項等

- 1) 1件の遺伝子組換え実験計画書について審議し, 1件を承認した。
- 2) 1件の遺伝子組換え実験室設置について審議し, 1件を承認した。
- 3) 学内オートクレープの年次自主点検を実施した。

エ 動物実験委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

田口 徹 (PT, 委員長), 久保亜抄子 (AP, 副委員長), 徳永亮太 (PT), 太田大樹 (PT), 藤井 豊 (CT), 増田紘之 (HN), 越智元太 (HS), 坂田省吾 (心理健康学科設置準備室), 山崎由美子 (心理健康学科設置準備室), 大森由理 (事務局)

②会議開催回数 11回(メール審議を含む)

③審議事項および決定事項等

- 1) 実験終了予定を過ぎた動物実験計画について, 適切な終了報告実施を通知し, 適切な実験計画の管理を行った。
- 2) 動物実験実施者へ実験環境改善に向けた意見や要望を聴取し, 回答を行った。
- 3) 47件の動物実験計画書について審議・再審議し, 47件を承認した。
- 4) 実験実習棟(G棟)飼養保管施設の微生物モニタリング(マウス・ラット)を2回実施し, 結果が全て陰性であったことを報告した。
- 5) 動物飼育数管理シートを作成し, 試験的な運用を開始した。
- 6) 動物実験に関する情報公開を大学ホームページに掲載した。
- 7) 外部検証受検準備として, 公私立大学実験動物施設協議会(以下, 公私動協)へ入会した。
- 8) 動物実験計画書の申請について動物実験実施者からの提出締切日を設定することを審議し, 承認した。
- 9) 動物実験実施者(教員および学生)119名を対象に, 2023年度動物実験教育訓練講習会について検討し, 実施した。
- 10) 公益社団法人日本実験動物学会(以下, 日本実験動物学会)主催第18回実験動物管理者等研修会へ, 事務局が参加した。
- 11) 公私動協主催「動物実験委員会の教育訓練2023」へ田口委員長, 久保副委員長, 山崎委員が参加した。

- 12) 2024年1月23日に日本実験動物学会主催の「動物実験の外部検証の実施準備に向けた事前説明会・個別相談会」へ田口委員長、久保副委員長、事務局がオンラインにて参加した。
- 13) 公私動協支援担当者の指導のもと、動物実験実施規程、動物実験委員会規程、各飼養保管施設マニュアル等の見直しと改定について審議した。
- 14) 公私動協支援担当者の指導のもと、不足している申請様式について新規策定を行った。
- 15) 外部検証受検に向けた準備の一環として、実験実習棟（G棟）飼養保管施設にオートクレーブ2台を設置した。また運用に伴い簡易マニュアルについて作成し審議され、承認した。
- 16) 動物実験の組織体制図を作成、審議し、承認した。
- 17) 飼養保管施設ごとに、管理者ならびに実験動物管理者を設置することについて審議し、承認した。
- 18) 2023年度（第13回）実験動物慰霊祭について検討し、2023年12月14日（木）に執り行った。動物実験に関わる教職員および学生67名が参加した。

④特記事項

- 1) 令和6年能登半島地震の対応について、発生後の飼養保管施設を地震発生同日および翌日に委員が確認を行い、飼養保管施設ならびに飼養している実験動物に異常がないことを確認した。
- 2) 第11研究・実習棟（U棟）に、新たにマーモセット・デグーの飼養保管施設をそれぞれ設置し、飼養保管を開始させた。

オ 毒物・劇物管理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

中山憲司（CT，委員長），田口 徹（PT，副委員長），太田大樹（PT），齋藤大造（CT），山崎貴子（HN），越中敬一（HS），花村健次（RT），久保亜抄子（AP），前田 雄（AT），瀬戸川純一（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 化学物質管理システムを全学的に導入した。
- 2) 教職員を対象とした特殊健康診断を実施した。
- 3) 排水検査を実施した。
- 4) 薬品保管庫を固定し、転倒防止措置を講じた。
- 5) 教員と学生を対象とした「化学物質取扱講習会」を開催し、理解度確認テストを実施した。
- 6) 改修が必要なドラフトチャンバー等の局所排気装置を精査し、修繕について審議した。
- 7) 全学的な試薬の棚卸を実施し、184種の所持者不明試薬を一斉廃棄した。
- 8) 特定化学物質・がん原性物質の作業記録簿を作成し、記録簿の30年間保管を開始した。
- 9) 厚生労働省「化学物質管理に係わる無料相談・訪問支援事業」を活用し、労働安全衛生コンサルタントによる学内講演会を開催した。
- 10) 私立大学環境保全協議会に加入した。
- 11) 職場環境測定の実施について審議した。
- 12) 化学物質管理者、保護具着用管理責任者の選任について審議した。

カ 利益相反マネジメント委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

児玉直樹（RT，委員長），大西秀明（PT），大鶴直史（PT），吉岡 豊（ST），越智元太（HS），大竹 宏（事務局）

②会議開催回数 1回

③審議事項および決定事項等

- 1) 利益相反ポリシーについて
- 2) 利益相反に関する自己申告書の提出について

キ 知的財産委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

児玉直樹（RT，委員長），大西秀明（PT），大鶴直史（PT），越智元太（HS），瀬戸川純一（事務局）

②会議開催回数 1回

③審議事項および決定事項等

- 1）本学の知的財産ポリシー策定に関して審議した。

ク URA推進室会議

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

江玉睦明（PT，室長），藤井 豊（CT），山代幸哉（HS），佐藤郁美（NR），大竹 宏（事務局），大森由理（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1）令和6年度科研費申請者の分析
- 2）URA等の研究マネジメント人材育成に係るFD／SDの実施
令和5年7月5日（水） 講師 田中有理（東京都立大学 総合研究推進機構）
- 3）次年度URA等の研究マネジメント人材育成に係るFD／SDの計画・検討
- 4）研究者のマッチングを目的とした「ケン活サイト」活性化検討

③ 大学院教育研究支援部

ア 大学院教務委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

能村友紀（OT，委員長），木下直彦（HI，副委員長），齊藤 慧（PT），今村 徹（ST），阿部 薫（AT），藤井 豊（CT），増田 修（CO），竹井 豊（EM），関本道治（RT），萩原康雄（PA），田村典子（HN），下門洋文（HS），杉本 洋（NR），大屋未貴（SW），権瓶一葉・五十嵐香（事務局）

②会議開催回数 13回（うち3回メール審議）

③審議事項および決定事項等

- 1）研究報告会および論文中間発表会の開催要領について審議し，承認した。
- 2）研究報告会および論文中間発表会の実施報告書について審議し，承認した。
- 3）在学期間短縮申請者の研究報告会実施時期について審議し，承認した。
- 4）博士後期課程の在学期間短縮申請の規程の改訂について審議し，承認した。
- 5）9月修了および3月修了者の論文審査スケジュールについて審議し，承認した。
- 6）9月修了および3月修了者の論文審査会をオンラインで開催することについて審議し，承認した。
- 7）9月修了および3月修了申請者の論文提出の電子化について審議し，承認した。
- 8）9月修了および3月修了申請者の論文審査会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施することについて審議し，承認した。
- 9）論文提出書類の一部を大学院教務委員会が確認する作業について審議し，承認した。
- 10）論文等採用証明届および参考論文採用届の改訂版について審議し，承認した。
- 11）学位論文等提出許可書の改訂版について審議し，承認した。
- 12）学位論文作成および学位論文審査における生成AI利用に関する注意事項について審議し，承認した。
- 13）DPルーブリックの実施について審議し，承認した。
- 14）共通科目の授業情報のTeams一元管理導入について審議し，承認した。
- 15）理学療法学分野のカリキュラム変更について審議し，承認した。

④特記事項

- 1) DPルーブリックを到達度評価として院生および教員に実施した。
- 2) 大学院のカリキュラムツリーおよびカリキュラムマップを公表した。

イ 大学院教育研究環境委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山代幸哉（HS，委員長），寺田貴美代（SW，副委員長），江玉睦明（PT），阿部 薫（AT），
杉本 洋（NR），木下直彦（HI），権瓶一葉・嵐田浩吉・五十嵐香（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院教育研究環境委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 学籍異動対策アンケートについて審議し，承認した。
- 3) 在学生・修了生アンケートの作成・実施について審議し，決定した。
- 4) 教育研究環境委員会主催のメディア授業FDの実施について審議し，承認した。
- 5) 内部質保証システム体系・組織図と大学院アセスメントプランの位置づけについて審議した。
- 6) ポートフォリオ，在学生・修了生アンケート，大学院での学びに関するアンケートの実施について審議し，承認した。
- 7) 大学院生（修士課程）向けデータ入力版履歴書について審議した。

④特記事項

- 1) ティーチング・アシスタント研修を実施した。
- 2) メディア授業FDを実施した。
- 3) 新入生アンケート，学修・学生生活調査，修了生・在学生アンケートを実施した。

（4）社会連携・同窓会推進機構運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（HS），佐藤成登志（PT），佐々木俊太郎（事務局），オブザーバー 東江由起夫（AT），
大竹 宏（事務局），事務 渡邊裕子（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 私立大学改革総合支援事業タイプ3維持のための現状評価
- 2) 社会連携・地域貢献に関するガバナンスの整備
- 3) 新潟市北区との連携強化に向けた実務者会議の定期実施
- 4) ラグーナスクエア（旧中常楼）の活用について検討
- 5) ラグーナスクエア利用ガイドの策定
- 6) ボランティアセンター規程の制定
- 7) ボランティアネットワークの稼働開始
- 8) 同窓会ネットワーク強化策の検討
- 9) 同窓会20周年記念行事の準備

① 社会連携推進部

ア 社会連携推進センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤成登志（AT，社会連携推進部長），石井雅子（社会連携・同窓会推進機構，委員長），井上達朗（PT），安中裕紀（OT），伊藤さゆり（ST），東江由紀夫（AT），村越祐介（AP），横山 貴（CT），
増田 修（CO），田中耕一（EM），石風呂実（RT），宮本真菜（HN），杵渕洋美（HS），井澤玲奈（NR），

渡邊恵司 (SW), 波多野誠 (HI), 佐々木俊太郎 (社会連携支援コーディネーター, 事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 社会連携実践演習Ⅰ・Ⅱ科目の単位化と学生の活動支援.
- 2) 新潟市北区との協働・連携としての「地域連携プラットフォーム」の継続推進.
- 3) 新潟医療福祉大学オンラインセミナー継続の検討.
- 4) 各学科の社会連携・地域貢献活動の報告徹底と実績把握に努める.
- 5) とよさか中高年教養大学「健康長寿学」の開講による地域交流を継続的に推進する.
- 6) 機構運営規程の改訂に伴った社会連携推進センター運営規程の改訂

④特記事項

- 1) 社会連携実践演習科目の単位認定に伴う活動認定と, ボランティアネットワークシステムとの連携を構築した
- 2) 北区大学連携「ひと・まち」づくり連携事業の推進 (最終年度)

② 同窓会・生涯学習推進部

イ 同窓会・生涯学習連携推進委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

西原康行 (HS, 委員長), 横田裕丈 (PT), 伊関浩克 (OT), 大湊 麗 (ST), 郷 貴博 (AT), 津田篤太郎 (AP), 阿部拓也 (CT), 多々良俊哉 (CO), 安達哲浩 (EM), 櫻井典子 (RT), 星野英美 (HN), 鵜瀬亮一 (HS), 小林房代 (NR), 荒川大靖 (SW), 高野晃輔 (HI) 佐々木俊太郎・渡邊裕子 (同窓会支援室, 事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項

- 1) 同窓会・生涯学習の推進に関する使命 (ミッション) および同窓会ネットワークを構築するための具体的方策について検討した.
- 2) 同窓会本部の活動・事業について情報共有を行った.
- 3) 大学と同窓会員のネットワークを強化するために, 同窓会サポーターを中心に, 同窓会員へ情報登録依頼を行った.
- 4) 連携総合ゼミへ同窓生を派遣し, 各テーマに即したアドバイスをを行うことで在学生支援に努めた.
- 5) 同窓会委員によって, 今年度卒業生の中から同窓会新役員を選出し, 決定した.
- 6) 同窓会役員と共同で, 同窓会役員人事の再構成に取り組んだ.

④特記事項

- 1) 初代会長である齊藤公二氏が顧問に就任した.
- 2) 第19回同窓会総会にて, 学科同窓会の活動を活発化させるため, 新潟医療福祉大学同窓会親和交流事業助成金運用規程の改定について審議し, 決定した.
- 3) 6学科において, 学科同窓会が開催された.

③ 同窓会・生涯学習推進部

ウ ボランティアセンター運営委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

佐近慎平 (社会連携・同窓会推進機構, 委員長), 東江由起夫 (AT, 副委員長), 杵渕洋美 (HS), 佐々木俊太郎 (社会連携支援コーディネーター, 事務局)

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項

- 1) 今年度より同窓会・社会連携推進機構に設置されたボランティアセンターとして, センター及び

運営委員会の規定の策定とボランティアセンターとしての役割を確認決定した。

- 2) ボランティア活動等社会連携・地域貢献活動が効率的に行われるように、マッチングシステムソフトの開発を行い、ボランティアネットワークシステムを構築し運用を開始した。
- 3) ボランティアネットワークの運用に伴い、システムの改修・改善を開発業者と適宜行った。
- 4) 社会連携実践演習科目の単位取得に向けた認定活動として、ボランティア活動を明確化した。
- 5) ボランティア活動等の社会貢献活動が、学生表彰の推薦に繋がるよう評価基準の構築を検討した。
- 6) ボランティアセンター設置の検討。

④特記事項

- 1) ボランティアネットワークシステムの運用開始（10月～）
- 2) ボランティアセンターをC棟2階（C201）に設置

（5）アスレティックデパートメント推進機構運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（副学長，機構長），佐藤敏郎（HS学科長），伊藤篤司（HS，アスレティックデパートメント推進部長），小野哲之（大学事務局長），南 俊之・梨本理沙・中川達貴・西海幸頼・漆原大夢（スポーツ振興室）

②会議開催回数 12回

③審議事項及び承認事項等

- 1) 強化指定クラブ新入生オリエンテーションの内容について審議し，承認した。
- 2) 監督・コーチ対象コンプライアンス研修会の内容について審議し，承認した。
- 3) 各強化指定クラブにおいてアップルスポートカレッジのインターンシップ生を受け入れることについて審議し，承認した。
- 4) UNIVAS Safety and Security Certification制度申請認証に向けた準備の実施について審議し，承認した。
- 5) アスリートサポート研究センターと連携した各強化指定クラブ生の傷害調査の実施について審議し，承認した。
- 6) UNIVAS AWARDS 2023-2024に7部門で応募することについて審議し，承認した。
- 7) 強化指定クラブのコンプライアンス研修・リーダーズミーティングの内容について審議し，承認した。
- 8) 強化指定クラブ新2年生を対象としたキャリアガイダンスの内容について審議し，承認した。
- 9) 第2回女性アスリートセミナーの内容について審議し，承認した。
- 10) 2024年度の強化指定クラブ体制について審議し，承認した。
- 11) マルコ株式会社から女子バレーボール部へのスポンサー依頼を受け入れることについて審議し，承認した。
- 12) 次年度のAD体制について審議し，承認した。

④特記事項

- 1) 8月1日（火）に監督・コーチ対象コンプライアンス研修会を実施し，17名の監督コーチが参加したことを報告した。
- 2) 9月24日（日）にスポーツイベント「医福大スポーツあそびの日」を実施し，保護者・子ども約210名が参加したことを報告した。
- 3) UNIVASより「UNIVAS Safety and Security Certification」制度の第15号会員として認証されたことを報告した。
- 4) UNIVAS AWARDS 2023-2024において，過去最多の4部門で優秀賞を受賞し，MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」で本学初となる最優秀賞を受賞したことを報告した。

① 強化指定クラブ運営部

ア 強化指定クラブ運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（HS 学科長，委員長），下山好充（HS，水泳部監督），小林志郎（HS，陸上競技部監督），佐熊裕和（HS，男子サッカー部監督），前田信弘（女子サッカー部監督），若月弘久（HS，男子バスケットボール部監督），小林真里奈（HS，女子バスケットボール部監督），濱野礼奈（HS，女子バレーボール部監督），鵜瀬亮一（HS，硬式野球部監督），池田恵子（HS，ダンス部監督），品田松寿（卓球部監督），久保 晃（HS，男子バレーボール部監督），西海幸頼（スポーツ振興室，テニス部監督），南 俊之・梨本梨沙・中川達貴・漆原大夢（スポーツ振興室）

②会議開催回数 6回

③審議事項及び決定事項等

- 1) 強化指定クラブの新体制について説明した。
- 2) 2022年度強化指定クラブ所属学生の就職状況について報告した。
- 3) 2022年度総括・2023年度目標，各部の取組等について共有した。
- 4) 2022年度監査に係る部費の提出書類について再確認を行い，共有した。
- 5) 監督・コーチコンプライアンス研修会の日時・内容について共有した。
- 6) 各強化指定クラブの学生募集（スカウティング）の目標について共有した。
- 7) UNIVASより「UNIVAS Safety and Security Certification」制度の第15号会員として認証されたことを共有した。
- 8) 9月24日（日）の「医福大スポーツあそびの日」に向け，各クラブから参加学生の募集を依頼した。
- 9) アスリートサポート研究センターと連携し，全強化指定クラブ生の傷害調査を実施することについて説明した。

④特記事項

- 1) 新入生オリエンテーションを5月15日（月）・17日（水）に実施したことを報告した。
- 2) UNIVAS AWARDS 2023-2024で4部門が優秀賞を受賞（①マン・オブ・ザ・イヤー・②ウーマン・オブ・ザ・イヤー③サポーティング・スタッフ・オブ・ザ・イヤー④MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」）し，MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」で最優秀賞を獲得したことを報告した。
- 3) 強化指定クラブ監督・コーチ対象コンプライアンス研修会を8月1日（火）に実施した。

② アスレティックデパートメント推進部

ア アスレティックデパートメント推進委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

伊藤篤司（HS，委員長），鵜瀬亮一（HS，選手強化支援部会長），馬場康博（HS，修学・生活支援部会長），佐近慎平（社会連携・同窓会推進機構，社会・地域活動推進部会長），小林志郎（HS，スカウト部会長），南 俊之（スポーツ振興室，ブランド力向上部会長），西海幸頼・梨本梨沙・中川達貴・漆原大夢（スポーツ振興室）

②会議開催回数 12回

③審議事項及び決定事項等

- 1) 選手強化支援部会において4月13日（木）・5月11日（木）に新入生部活相談会を実施した。
- 2) 選手強化支援部会において6月22日（木）に新潟アルビレックスBBラビッツと視機能科学科による眼の精密検査を実施した。
- 3) 選手強化支援部会において地域連携，子どもの体力増進，外遊びの機会提供を目的とした医福大スポーツあそびの日を企画した。

- 4) 修学・学修支援部会においてUNIVAS AWARDS2023－2024に推薦する学内候補者選考を実施した。
- 5) 修学・生活支援部会において強化指定クラブ生DP達成度の評価方法について検討した。
- 6) 修学・生活支援部会において強化指定クラブ新2年生を対象としたキャリア支援ガイダンスをスポーツ振興室と連携して実施した。
- 7) 社会・地域活動推進部会において強化指定クラブ生に対して、ボランティアセンターに登録してもらい、希望する学生がボランティア活動に参加するしきみを構築することを報告した。
- 8) 社会・地域活動推進部会において男子サッカー部から約70名の部員が献血に参加協力することを報告した。
- 9) スカウト部会においてスカウティングで成果をあげている監督、コーチへヒアリングを実施し情報共有した。
- 10) スカウト部会において留学生のスカウティング方法について他大学から情報を集めていることを報告した。
- 11) ブランド力向上部会においてエンブレムに関して現状複数の候補が挙がり、決定に向けてのステップを検討していることを報告した。
- 12) ブランド力向上部会においてエンブレムのブランディングに向けた長期的な取り組みについて検討した。

④特記事項

- 1) UNIVAS AWARDS 2023-2024で4部門が優秀賞に受賞（①マン・オブ・ザ・イヤー・②ウーマン・オブ・ザ・イヤー③サポーティング・スタッフ・オブ・ザ・イヤー④MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」）し、MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」で最優秀賞を獲得したことを報告した。
- 2) ブランド力向上部会においてエンブレムを作成し、「新潟医療福祉大学アスレティックデパートメント」のシンボルマークとして活用していくことが決定した。

6. 大学情報の公開と広報

1) 公開講座等

全て中止.

2) 広報活動

(1) オープンキャンパス・個別相談会の実施

- ・来場型オープンキャンパス年間5回開催
- ・WEBオープンキャンパス年間11回開催

(2) 各種広報物の作成

- ・大学案内パンフレット
- ・入試関連（入試ガイド，入試問題集，入試リーフレット等）
- ・高大連携関連（出張講義・講演一覧等）
- ・資格・職業理解関連（職業&資格ガイドBOOK，リーフレット等）
- ・オープンキャンパス関連（案内リーフレット，DM等）

(3) ホームページ・SNSの管理・運営

- ・学部学科情報，強化指定クラブ情報，オープンキャンパス等の大学情報の発信
- ・アドミッションポリシー，入学者選抜試験概要等の入試情報の発信
- ・教育研究上の目的，授業科目等の教育情報公開に係る情報発信
- ・大学トピックス&ニュース掲載 年間397本
- ・レスポンス化の推進およびUIUX改善によるユーザビリティ向上，SEO施策の実施
- ・公式SNS（Instagram，Facebook，X，TikTok，YouTube，LINE）による情報発信
- ・大学公式アプリのリニューアル，情報発信だけでなくOCにおける地図アプリとして活用
- ・ブログ（学科・強化指定クラブ）による情報発信
- ・WEB広告出稿（Google，Yahoo，Instagram，Facebook，TikTok，YouTube，LINE）

(4) メディア広報

- ・パブリシティ掲載（TV，新聞等） 年間1,543件掲載

(5) 進路相談会等への参加

- ・会場ガイダンス 80会場
- ・高校内ガイダンス 265校
- ・資料参加（会場・高校） 58件
- ・高校出張講義 講座 120講座
- ・大学見学 38団体

(6) 高校教諭対象説明会の実施

- ・来場型：2023年6月23日（金），参加27校29名
- ・WEB型：2023年6月12日（月）～7月31日（月），参加55校64名

(7) 大学広報誌の発行（QOLサポーター新潟）

- ・2023年4月7日 第60号 発行
- ・2023年9月29日 第61号 発行

(8) その他

- ・高校訪問活動，コンソーシアム新潟への参加

7. 研究活動

1) 学長

氏名：西澤 正豊

1 研究題目 難病・認知症の地域包括支援

2 論文

1. Saito R, Hara N, Tada M, Wakabayashi M, Miyashita A, Nishizawa M, Onodera O, Ikeuchi T, Kakita A: SYNE1- ataxia: clinicopathologic features of an autopsied patient with novel compound heterozygous mutations. J Neurolpathol Exp Neurol, 2023 nlac120, <https://doi.org/10.1093/jnen/nlac120> (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 西澤正豊. 認知症ケアにおける多職種協働, 第12回日本認知症予防学会特別講演(新潟市), 2023.9.15.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経学会(名誉会員, 専門医, 指導医), 内科学会(名誉会員, 認定内科医, 指導医), 神経免疫学会(名誉会員), 小脳学会(名誉会員), 認知症学会(代議員, 指導医), 神経化学学会(功労会員), 神経感染症学会(功労会員), 日本難病ネットワーク学会(顧問), 日本難病センター研究会(副会長), 新潟医療福祉学会(会頭), American Academy of Neurology (Active Corresponding Member)

2) 学会等でのその他の活動

1. 第5回日本在宅医療連合学会, シンポジウム「災害と在宅医療」, 座長, 新潟市, 2023.6.24.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2023年新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー, 「認知症は予防できるか」, 新潟医療福祉大学主催, 新潟市北区民, 新潟医療福祉大学オンライン, 2023.8.10.

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業(プログラム・オフィサー), 新潟市難病対策地域協議会(会長), 新潟県難病医療連絡協議会(会長), 加茂市「認知症とともに生きる笑顔あふれるまち加茂基本条例」制定委員会(会長)

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

NPO法人新潟難病医療ネットワーク(理事長), 日本多発性硬化症協会(顧問), 日本脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会(顧問)

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部, 医学入門2023「新潟水俣病の58年」, 2023.10.23.

7 学内委員会活動 総務会(議長), 大学院委員会, 合同教授会, 大学院研究科委員会, 危機管理対策委員会(委員長)

2) リハビリテーション学部

(1) 理学療法学科

氏名：大西 秀明

1 研究題目 知覚学習・運動学習に関する研究

2 論文

1. Sasaki R, Kojima S, Otsuru N, Yokota H, Saito K, Shirozu H, Onishi H. Beta resting-state functional connectivity predicts somatosensory spatial acuity. *Cerebral Cortex*. 2023, 8; 33(16): 9514-9523. (査読あり)
2. Saito K, Koike K, Takeuchi K, Otsuru N, Onishi H. Effect on tactile spatial discrimination performance of transcranial electrical stimulation over the left dorsolateral prefrontal cortex. *Behavioural Brain Research*. 2023, 24; 452: 114600. (査読あり)
3. Shibata S, Takahashi H, Miida Y, Mima T, Onishi H. Priming effects of transcutaneous vagus nerve stimulation on the neuromodulation induced by transcranial static magnetic field stimulation in human motor cortex. *Clinical Neurophysiology*. 2023, 154: 194-197. (査読あり)
4. Kitatani R, Honda K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Prism adaptation during balance standing enhances the transfer after-effect on standing postural displacement. *Neuroscience Letters*. 2023, 814: 137470. (査読あり)
5. Takahashi H, Inukai Y, Miyaguchi S, Otsuru N, Kawakami S, Onishi H. Effects of noisy galvanic vestibular stimulation on functional reach test. *Neuroscience Letters*. 2023, 27; 810: 137336. (査読あり)
6. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial alternating current stimulation does not affect microscale learning. *Behavioural Brain Research*. 2024, 29; 459: 114770. (査読あり)
7. Ikarashi H, Otsuru N, Gomez-Tames J, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. *European Journal of Pain*. 2024 (in press) doi: 10.1002/ejp.2249. (査読あり)
8. Sakurai N, Nagasaka K, Sasaki K, Yuguchi Y, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. The relaxation effect of autonomous sensory meridian response depends on personal preference. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2023, 5;17:1249176. (査読あり)
9. Maruyama Y, Kojima S, Onishi H. Discrimination of the Moving Direction is Improved Depending on the Pattern of the Mechanical Tactile Stimulation Intervention *BMC neuroscience*. 2024, 5; 25(1): 15. (査読あり)
10. Hirabayashi R, Edama M, Takeda M, Yamada Y, Yokota H, Sekine C, Onishi H. Participant attention on the intervention target during repetitive passive movement improved spinal reciprocal inhibition enhancement and joint movement function. *Eur J Med Res*. 2023, 12; 28(1): 428. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 大西秀明. 経頭蓋電流刺激による感覚運動機能の変調. 第14回ニューロリハビリテーション学会学術集会 (福岡), 2023.4.8. 【シンポジウム】
2. 大西秀明. 感覚運動パフォーマンスと脳機能・構造の特徴. 第27回福井県理学療法学術大会 (福井), 2023.5.20-5.21. 【特別講演】
3. 大西秀明. 臨床実習を考える. 第58回日本理学療法学術研修大会 (東京), 2023.5.27-5.28. 【シンポジウム】
4. 大西秀明. 体性感覚パフォーマンスと脳構造・機能との関係. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (福岡), 2023.11.30-12.2. 【教育講演】
5. 大西秀明. 2040年を展望した職域拡大のためのグランドデザイン. 第6回日本理学療法管理学会. 第9

- 回日本神経・心理領域理学療法研究会 合同学術大会 2023 (埼玉), 2023.11.11. 【シンポジウム】
6. Kitatani R, Otsuru N, Inukai Y, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Shibata S, Onishi H. Influence of postural control difficulty on changes in visuospatial attention after leftward prism adaptation. The International Society of Posture and Gait Research World Congress 2023 (ハイブリッド), 2023.7.9-7.13.
 7. Shibata S, Takahashi H, Miida Y, Mima T, Onishi H. Priming effects of transcutaneous vagus nerve stimulation on the inhibitory effects of transcranial static magnetic field stimulation on the human primary motor cortex. 第46回日本神経科学大会 (仙台市), 2023.8.1-8.4.
 8. 小島翔, 長坂和明, 椿淳裕, 紙谷貴裕, 大西秀明. 脳卒中患者に対する経頭蓋直流電流刺激効果と脳灰白質容積との関連. リハビリテーション医療DX研究会 第1回学術集会 (沖縄県), 2023.4.22-4.23.
 9. 北谷亮輔, 古山達郎, 大鶴直史, 大西秀明. 後頭頂葉と小脳への経頭蓋直流電気刺激が左プリズム適応による姿勢変位に与える領域特異的效果. 第21回日本神経理学療法学会学術大会 (横浜市), 2023.9.9-9.10.
 10. 長尾彩音, 長坂和明, 小川有生人, 大西秀明. 脳梁膨大後部皮質から前頭前野領域への神経回路に対する電気生理学的研究. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (千葉市), 2023.10.21.
 11. 小川有生人, 長坂和明, 鈴木孝昇, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 脳幹部出血が機械刺激および寒冷刺激に対する逃避行動へ与える影響 - 新規脳卒中後疼痛モデル動物の確立に向けて. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (千葉市), 2023.10.21.
 12. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核への持続的な電気刺激が一次体性感覚野における神経応答へ与える影響. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (千葉市), 2023.10.21.
 13. 丸山雄基, 芝田純也, 小島翔, 美馬達哉, 大西秀明. 経頭蓋交流電気刺激のリズムに同期させた正中神経刺激介入が体性感覚機能および皮質興奮性に及ぼす影響. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (福岡市), 2023.11.30-12.2.
 14. 星春輝, 芝田純也, 美馬達哉, 大西秀明. 高強度の反復的な随意運動が皮質筋コヒーレンスに及ぼす影響. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (福岡市), 2023.11.30-12.2.
 15. 高橋ひろな, 犬飼康人, 長坂和明, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 立位安定性に関連する構造学的特徴を有する脳領域の検討: Voxel-based morphometry (VBM), を用いた研究 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (福岡市), 2023.11.30-12.2.
 16. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 飯室幸士, 井上創太, 大西秀明. 下行性疼痛抑制の性差と心理特性との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
 17. 井上創太, 大鶴直史, 原正之, 五十嵐眸実, 飯室幸士, 大西秀明. バーチャルリアリティを用いた自己心拍情報の提示は健常者における触覚情報の優先度を高めるか? 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
 18. 飯室幸士, 大鶴直史, 五十嵐眸実, 井上創太, 大西秀明. 心拍変動に関連する脳内神経基盤の検討 - MEGを用いた解析 -. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
 19. 池田彩華, 大鶴直史, 五十嵐眸実, 飯室幸士, 井上創太, 大西秀明. MEG解析における内受容関連領域の興奮抑制バランスと不安との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
 20. 片桐里央, 大鶴直史, 五十嵐眸実, 飯室幸士, 井上創太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が痛み知覚に及ぼす効果の検討. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
 21. 田村沙智, 大鶴直史, 井上創太, 原正之, 五十嵐眸実, 飯室幸士, 大西秀明. バーチャルリアリティによる運動主体感の操作が運動・痛み知覚に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
 22. 齊藤慧, 大鶴直史, 立石魁人, 紅林竜司, 大西秀明. 触覚の知覚学習が α 帯域の安静時脳律動にもたらす効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.

23. 平賀大河, 齊藤慧, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋直流電気刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果について. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
24. 関根悠介, 齊藤慧, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋ランダムノイズ刺激が触覚方位弁別能力と手指巧緻動作にもたらす効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
25. 長尾彩音, 長坂和明, 鈴木孝昇, 小川有生人, 大西秀明. 一次運動野への異なる周波数の電気刺激が一次体性感覚野の神経活動に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
26. 小川有生人, 長坂和明, 鈴木孝昇, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 脳幹部出血が機械刺激および寒冷刺激に対する逃避行動へ与える影響-新規脳卒中後疼痛モデル動物の確立に向けて-. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
27. 安達航希, 長坂和明, 長尾彩音, 鈴木孝昇, 大鶴直史, 大西秀明. 中脳腹側被蓋野の一過性の電気刺激が一次体性感覚野の活動に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
28. 渡辺佳音, 長坂和明, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体の事前損傷が脳卒中後疼痛の発症に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
29. 井上歩実, 長坂和明, 宮口翔太, 櫻井典子, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 小脳と前頭前野への経頭蓋交流電気刺激が後部島皮質の活動に与える影響: 機能的磁気共鳴画像法を用いた検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
30. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 右前頭-後頭葉への経頭蓋交流電流刺激が空間性注意に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
31. 山本峻平, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が運動学習に与える効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
32. 川上紗輝, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 運動学習が課題中の瞳孔径に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
33. 齋藤大河, 小島翔, 星春輝, 大西秀明. 制御方法の異なる運動練習が短潜時求心性抑制に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
34. 稲村日香里, 小島翔, 星春輝, 大西秀明. 視覚情報に関連付けられた感覚経験が主観的な体性感覚強度に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
35. 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. テクスチャーの異なる Active Touch 介入が皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
36. 高橋ひろな, 犬飼康人, 長坂和明, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. ロンベルグ比に関連する構造学的特徴を有する脳領域の検討 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
37. 小野優翔, 犬飼康人, 高橋ひろな, 川上紗輝, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への陰極経頭蓋直流電流刺激が前庭脊髄機能に及ぼす影響 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
38. 廣瀬貴喜, 犬飼康人, 高橋ひろな, 小野優翔, 齊藤慧, 大鶴直史, 大西秀明. 足底への高周波反復感覚刺激が姿勢制御に即時的効果の検証 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
39. 武田真桜, 犬飼康人, 高橋ひろな, 小野優翔, 齊藤慧, 大鶴直史, 大西秀明. 足底への高周波反復感覚刺激が片脚立位時の重心動揺に与える刺激後効果の検証 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
40. 齊藤慧, 平賀大河, 犬飼康人, 大西秀明. 足底への末梢電気刺激が脳律動活動に及ぼす影響. 日本物理療法合同学術大会2024 (奈良市), 2024.1.26-1.27.
41. 平賀大河, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 足底への末梢電気刺激が感覚機能にもたらす効果について. 日本物理療法合同学術大会2024 (奈良市), 2024.1.26-1.27.

4 学会活動

- 1) 所属学会 全国大学理学療法学会 (理事長), 日本基礎理学療法学会 (副理事長), 日本生体磁気学会 (評議員), 日本臨床神経生理学 (代議員), 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会,

日本体力医学会, 新潟医療福祉学会, 日本末梢磁気刺激研究会 (理事), 新潟県理学療法士会, 新潟スポーツ傷害フォーラム (幹事)

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本理学療法士協会 (協力学術団体), 「理学療法学」査読員
2. 日本理学療法士協会 (協力学術団体) Physical Therapy Research, 査読員
3. 日本基礎理学療法学会 (協力学術団体), 理学療法と非侵襲的脳刺激に関する委員会・委員 (活動機関: 2022.4.1-2023.3.31)
4. 「理学療法学教育」査読員 (活動機関: 2023.4.1-2024.3.31)

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和5年度日本理学療法士教員協議会, 主催 (企画・運営, 報告書作成), Web開催, 2024.1.27 (活動期間: 2023.9-2024.3.31)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2023年度, 科研費・基盤研究 (B), 脳卒中後疼痛の発症を予測する神経活動バイオマーカーの確立と新たな治療戦略の創出 (分担), 代表: 長坂和明
2. 2023年度, 科研費・基盤研究 (C), 知覚学習効果を向上させる新たな介入戦略の創出 (分担), 代表: 斎藤慧
3. 2023年度, 科研費・基盤研究 (C), 動的バランス機能を向上させるニューロモデュレーション技術の開発 (分担), 代表: 犬飼康人
4. 2023年度, 厚生労働行政推進調査事業費 (障害者政策総合研究事業) 「支援機器の開発・普及のためのモデル拠点構築に資する研究」 (分担), 代表: 亀山仁彦
5. 2022年度, 科研費・基盤研究 (B), 慢性疼痛における治療非反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略 (分担), 代表: 大鶴直史
6. 2022年度, 科研費・基盤研究 (C), 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発 (分担), 代表: 平林怜
7. 2022年度, 科研費・基盤研究 (C), 触圧覚刺激による一次運動野興奮性変動の神経基盤の解明 (分担), 代表: 山本智章
8. 2021年度, 科研費・基盤研究 (B), 皮質-基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発 (分担), 代表: 佐藤大輔
9. 2021年度, 科研費・基盤研究 (B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開 (分担), 代表: 小島翔
10. 2021年度, 科研費・基盤研究 (C), マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案 (分担), 代表: 宮口翔太
11. 2020年度, 科研費・挑戦的研究 (開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化 (代表)
12. 2020年度, 科研費・基盤研究 (B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微少循環の評価法の開発と検証 (分担), 代表: 椿淳裕
13. 2019年度, 科研費・基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して- (代表)

7 学内委員会活動 研究・産官学連携推進機構 (機構長), 将来計画機構 (機構長), 自己点検・評価委員会 (委員), 学部評価準備委員会 (委員), 利益相反マネジメント委員会 (委員), 知的財産委員会 (委員), 運動機能医科学研究所 (所員, 運営委員)

氏名：樫 淳裕

1 研究題目 運動時の脳活動と循環反応に関する研究, 大脳皮質の微小循環の非侵襲的測定, 急性期のリスク管理

2 論文

1. Takeda T, Tsubaki A, Ikeda Y, Kato R, Kojima S, Makita S. Impact of raising the upper extremity siding cardiac implantable electrical devices on postoperative safety. *Journal of Arrhythmia*. 2023; 39(4): 586-595 (review)
2. Kojima S, Usui N, Shigetake M, Uehata A, Inatsu A, Ando S, Matsuzawa R, Suzuki Y, Nakata J, Tsuchiya T, Hisadome H, Mawatari T, Tsubaki A. Association of intramuscular and abdominal fat measured by computed tomography with mortality in hemodialysis patients. *Nephrology Dialysis Transplantation*. 2024; 39: 286-296 (review)
3. Kojima S, Usui N, Uehata A, Hisadome H, Inatsu A, Tsuchiya T, Mawatari T, Tsubaki A. Relationships between frailty and exercise capacity in patients undergoing hemodialysis: a cross-sectional study. *Geriatrics & Gerontology International*. 2023; 23: 795-802 (review)
4. Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Sugahara T, Narita I. Low muscle strength and physical function, but not muscle mass, contribute to falls in hemodialysis patients. *Clinical and Experimental Nephrology*. 2024; 28: 67-74 (review)
5. Hitosugi N, Hotta K, Taketa Y, Takamizawa R, Fujii Y, Ikegami R, Tamiya H, Inoue T, Tsubaki A. The Effect of Sepsis and Reactive Oxygen Species on Skeletal Muscle Interstitial Oxygen Pressure During Contractions. *Microcirculation*. 2024; 31: e12833. (review)
6. Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Murayama T, Narita I. Protein Intake and its Relationship with Frailty in Chronic Kidney Disease. *Clinical and Experimental Nephrology*. (in press) (review)
7. Tsubaki A, Tamiya H, Baba H, Miyajima T, Morishita S. Repeated acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation changes. *SPIE proceeding*. 2024 doi:10.1117/12.3003451

3 報告書

1. 樫淳裕. 科研費基盤研究B, 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 令和2～5年度, 研究代表者
2. 樫淳裕. 株式会社ベネクス共同研究, 遠赤外線素材 (DPV576) を含有する繊維製衣類の使用における安静時組織血流量, 血圧および体温変化に関する研究, 2022～2023年度, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. Tsubaki A. Application of near-infrared spectroscopy in exercise rehabilitation. *International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023*. Tokyo. 2023.9.27-10.1. 【特別講演】
2. Tsubaki A, Tamiya H, Baba H, Miyajima T, Morishita S. Repeated acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation changes. *SPIE BIOS 2024*, San Francisco, 2024.1.27-1.28.
3. Kojima H, Tokuda S, Baba H, Inoue T, Tamiya H, Ikegam R, Takamizawa R, Tsubaki A. The impact of acute blood pressure decreases and repetition on mean arterial pressure and cerebral oxygenated hemoglobin. *International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023*. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
4. Tamiya H, Hoshiai M, Abe T, Watanabe H, Fujii Y, Tsubaki A. Prolonged sitting decreases oxygen extraction in the gastrocnemius muscle in healthy young men. *International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023*. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
5. L. Washizawa, Iwata K, Takimoto R, Inagaki Y, Maekawa Y, Sato D, Ikuta T, Takahashi T, Sasaki Y, Kouhara N, Tsubaki A. Cerebral oxygenation changes in the prefrontal cortex during cardiopulmonary exercise testing in patients following cardiovascular surgery. *International Society*

- on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
6. Maekawa Y, Iwata K, Inagaki Y, Takahashi T, Yamada K, Kohara N, Tsubaki A. Effects of head elevation on cerebral oxygen dynamics in acute cerebral infarction. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 7. Takahashi T, Iwata K, Yamada K, Maekawa Y, Inagaki Y, Takahara N, Kohara N, Tsubaki A. Utilization of a Wearable Near-infrared Spectroscopy Imaging Device in the Rehabilitation of Patients with Acute Stroke. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 8. Imai R, Abe T, Yamaguchi S, Kimura S, Tsubaki A. Relationship between regional cerebral oxygen saturation and percutaneous oxygen saturation at initial mobilization in patients with acute heart failure. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 9. Kubota M, Konnai T, Takami Y, Tsubaki A, Nagamune K. Differences in brain activity during real and virtual reality motor tasks in normal healthy participants. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 10. Hashimoto N, Takada Y, Kubota M, Tsubaki A. Changes in Clinical Findings and Cerebral Oxygen Dynamics in Patients after a Subdural Hematoma Removal Surgery. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 11. Uchiyama I, Tsubaki A, Inoue T, Ozawa T, Ozawa Y, Arayama Y, Hirata M, Zenba Y, Sato R, Shimoda N, Suzuki R. Effects of type 2 diabetes mellitus on prefrontal hemodynamics during the postural alteration in patients with acute cerebral infarction. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 12. Takada Y, Hashimoto N, Kubota M, Tsubaki A. Cerebral hemodynamics measured by wearable near-infrared spectroscopy during bedside mobilization in a patient with chronic heart failure hospitalized for acute exacerbation: a case report. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 13. Sato D, Morishita S, Hotta K, Ito Y, Shirayama A, Kojima S, Tsubaki A. Supine cycling exercise causes hyperoxic changes in the prefrontal cortex in healthy male volunteers: Near-Infrared Spectroscopy Vector Analysis. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 14. W. Qin, Kojima S, D. Qu, Tsubaki A. The relationship between left and right prefrontal cortex differences during 40-minute moderate-intensity exercise and cognitive function. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. Tokyo. 2023.9.27-10.1.
 15. 椿淳裕. 循環器疾患の脳と運動療法で期待される効果. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 横浜市. 2023.7.15-7.16. 【教育講演】
 16. 小島将, 臼井直人, 椿淳裕. 慢性腎臓病患者に対するリハビリテーション. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 横浜市. 2023.7.15-7.16. 【教育講演】
 17. 椿淳裕. リハビリテーションにおける脳循環モニタリングとしての利用に向けた取り組み. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会. 東京都. 2024.3.2.
 18. 椿淳裕. 近赤外線分光法(NIRS)のリハビリテーション分野における研究および臨床応用の可能性. 第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会. 新潟市. 2024.3.16-3.17. 【シンポジウム】
 19. 鷲澤玲央, 岩田健太郎, 滝本龍矢, 稲垣優太, 前川侑宏, 佐藤大地, 生田智也, 高橋朋弥, 佐々木勇人, 村井亮介, 北井豪, 古川裕, 幸原伸夫, 椿淳裕. 心大血管外科手術後患者の心肺運動負荷試験における前頭前野での酸素化ヘモグロビン変化. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 横浜市. 2023.7.15-7.16.
 20. 堀田一樹, 高見澤怜, 一杉直樹, 椿淳裕. 骨格筋の微小循環障害と理学療法. 第29回日本心臓リハビリ

テーション学会学術集会. 横浜市. 2023.7.15-7.16.

21. 今井遼太, 阿部貴文, 山口征吾, 木村新平, 若杉崇幸, 田中和世, 榎淳裕. 急性期心不全患者における初回離床時の局所脳酸素飽和度と転帰の予備的検討. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 横浜市. 2023.7.15-7.16.
22. 馬場啓貴, 松橋日和, 宮嶋大貴, 中田舞絢, 渡邊博昭, 阿部拓也, 田宮創, 井上達朗, 池上諒, 堀田一樹, 榎淳裕. 急峻に生じた血圧の低下幅と脳循環変動との関係: 内頸動脈と大脳皮質微小循環での検討. 日本呼吸・循環器合同学療法学会学術大会2023. 東京都. 2023.9.2-9.3.
23. 高見澤怜, 田宮創, 藤井豊, 一杉直樹, 松橋日和, 榎淳裕. 遠赤外線素材(CPV576)を含有数r繊維製衣類は安静座位による足背部皮膚温度の低下を抑制する. 日本呼吸・循環器合同学療法学会学術大会2023. 東京都. 2023.9.2-9.3.
24. 榎淳裕, 岩田健太郎, 小澤哲也, 田村由馬, 井上達朗, 田宮創, 久保雅義, 大西秀明. レジデント制度を有する病院と連携した大学院教育での急性期における高度専門職業人の育成. 第6回日本理学療法管理学会学術大会, 埼玉県. 2023.11.11-11.12.
25. 佐藤隆一, 小澤哲也, 小澤祐治, 大山由廉, 霜田直史, 武井章哲, 井上達朗, 榎淳裕. 公的病院におけるレジデント制度の導入までの経緯について. 第6回日本理学療法管理学会学術大会, 埼玉県. 2023.11.11-11.12.
26. 小澤哲也, 佐藤隆一, 大山由廉, 小澤祐治, 高島将, 井上達朗, 榎淳裕, 霜田直史. Multimorbidityに対応できる理学療法士育成を目的としたレジデント制度の効果と課題. 第6回日本理学療法管理学会学術大会, 埼玉県. 2023.11.11-11.12.
27. 梨本智史, 藤木伸也, 榎淳裕, 猪又孝元. 近赤外線分光法を用いた立ち座り運動時の脳血流変化 - 健常例での検討 -. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会. 東京都. 2024.3.2.
28. 前川侑宏, 岩田健太郎, 山田莞爾, 高橋朋弥, 稲垣優太, 幸原伸夫, 榎淳裕. 急性期脳梗塞患者を対象とした安静時における病巣半球の脳酸素飽和度に影響する因子の検討. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会. 東京都. 2024.3.2.
29. 橋本直之, 高田勇, 久保田雅史, 榎淳裕. 脳卒中患者を対象とした初期離床時の組織酸素飽和度と機能予後について~パイロットスタディー~. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会. 東京都. 2024.3.2.
30. 今井遼太, 榎淳裕, 阿部貴文, 山口征吾. 72時間以内の初回離床ができないICU入室患者は局所脳酸素飽和度が低い. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会. 東京都. 2024.3.2.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会(代議員), 日本心臓リハビリテーション学会, 日本腎臓リハビリテーション学会, 日本体力医学会, 日本糖尿病学会, 日本光脳機能イメージング学会(評議員), 日本基礎理学療法学会(評議員), 日本呼吸理学療法学会(評議員), 日本循環器理学療法学会(評議員), 日本糖尿病理学療法学会, 日本生理学会, 日本運動生理学会, 日本臨床神経生理学会, 日本臨床生理学会, 日本心不全学会, 日本高血圧学会, 日本睡眠学会, 日本抗加齢医学会, 日本微小循環学会, 新潟医療福祉学会, The European College of Sport Science, International Society on Oxygen Transport to Tissue, International Society of Physical Medicine and Rehabilitation, International Society for Cerebral Blood Flow and Metabolism, European Respiratory Society, European Association for the Study of Diabetes, European Association of Preventive Cardiology, The Physiological Society, American Physiological Society, American Heart Association
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 理学療法学, 査読委員
 2. Physical Therapy Research, 査読委員
 3. Frontier in Human Neuroscience, Review board
 4. Frontier in Physiology, Review board

5. International Journal of Environmental Research and Public Health, Topic Editor
 6. Philippine Journal of Allied Health Sciences, International reviewer
 7. 日本光脳機能イメージング学会, 評議員
 8. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 代議員
 9. 日本基礎理学療法学会, 評議員
 10. 日本循環器理学療法学会, 評議員
 11. 日本呼吸理学療法学会, 評議員
 12. 医用近赤外線分光法研究会, 世話人
 13. 日本循環器理学療法学会, 機関誌編集委員会委員
 14. 日本循環器理学療法学会, 教育委員会委員
 15. 日本循環器理学療法学会誌, 査読員
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第3回領域別研修会（心血管理学療法）「循環器理学療法の意義」, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2024.2.18.
 2. 第3回領域別研修会（心血管理学療法）「運動処方の基本」, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2024.2.18.
 - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
新潟市健康づくり推進委員会（委員）
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020-2023年度, 基盤研究B：酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 研究代表者
 2. 2021-2023年度, 基盤研究C：血液がん患者の免疫活性に特化した運動療法プログラムの開発と検証, 研究分担者
 3. 2022-2023年度, 株式会社ベネクス, 共同研究, 遠赤外線素材（DPV576）を含有する繊維製衣類の使用における安静時組織血流量, 血圧および体温変化に関する研究, 研究代表
- 8 学内委員会活動 入試委員会（委員長）, 研究・産官学連携推進機構, 研究・産官学連携推進部（部長）, プロジェクト研究センター運営委員会（委員長）, 運動機能医科学研究所, 脳卒中リハビリテーション研究センター

氏名：久保 雅義

- 1 研究題目 身体運動解析
- 2 論文
 1. Watanabe T, Takabayashi T, Kikumoto T, Kikuchi Y, Suzuki S, Hiratsuka S, Kubo M. Differences in abductor hallucis activity during running in individuals with chronic ankle instability and copers. *Gait & Posture* 2024 Feb;108:22-27. doi: 10.1016/j.gaitpost.2023.11.005. Epub 2023 Nov 12. (査読有り)
 2. 緒方嵩人, 高林知也, 遠間悠貴, 菊元孝則, 久保雅義. 立位ストリームライン姿勢における上部・中部・下部胸椎角度と腰椎角度の関連性 立位ストリームライン姿勢における上部・中部・下部胸椎角度と腰椎角度の関連性 水泳水中運動科学 202326巻1号27-33 (査読有り)
 3. Ma Roxanne Fernandez 1, Josie Athens 2, Carlos Balsalobre-Fernandez 3, Kubo M 4, Kim Hébert-Losier, Concurrent Validity and reliability of a mobile iOS application used to assess calf raise test kinematics, *Musculoskelet Sci Pract.* 2023 Feb;63:102711. doi: 10.1016/j.msksp.2022.102711. Epub 2022 Dec 20 (査読有り)

3 学会等研究発表

1. 鈴木駿佑, 菊元孝則, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 足関節の客観的構造評価と荷重時における最大背屈角度の関係性の検証第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (パシフィコ横浜ノース), 2023.11.11-11.12.
2. Thiet V L, Kikuchi Y, Takabayashi T, Kikumoto T, Kubo M. Kinematics and activation of hamstring muscles during acceleration phase of sprinting in soccer players: A biomechanical investigation XXIX Congres of International/Japan Society of Biomechanics (fukuoka), 2023.7.31-8.3.
3. 緒方嵩人, 高林知也, 菊元孝則, 江玉睦明, 久保雅義. 立位および腹臥位ストリームライン姿勢における脊柱角度の違い第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (パシフィコ横浜ノース), 2023.11.11-11.12.

4 学会活動

- 1) 所属学会 バイオメカニズム学会, 日本臨床スポーツ医学会, グローバル人材育成教育学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Physical Therapy in Sports 査読
 2. Gait & Posture 査読
 3. Journal of Biomechanics 査読

5 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟医療通訳センター・研修会・スタッフ・新潟市・クロスパル・6.10. (半日)
 2. 新潟医療通訳センター・研修会・スタッフ・新潟市・クロスパル・11.26. (半日)
 3. 新潟医療通訳センター・オンライン研修会・オーガナイザ・週一回・45分・年間36回

6 学内委員会活動 国際交流センター (委員長)

氏名: 奈良 貴史

1 研究題目 人類進化学・骨考古学

2 著書

1. 奈良貴史, 佐伯史子, 古澤妥史. 【附編】焼人骨について. 土橋遺跡. 阿賀野市教育委員会; 2023: 1-37.
2. 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史. 植栗山根A遺跡: 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団; 2023: 153-160.
3. 平慶子, 佐伯史子, 奈良貴史. 神奈川県逗子市 埋蔵文化財緊急調査報告書18 - 令和2年度 - : 逗子市教育委員会; 2024: 111-126.
4. 平慶子, 奈良貴史, 加藤学, 石川智紀. 季刊考古学 164: 雄山閣出版; 2023: 97-98.
5. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 中野遺跡第122地点: 埼玉県志木市教育委員会; 2023: 76-79.

3 学会等研究発表

1. 萩原康雄, 奈良貴史. 同一家系の江戸時代人骨群に認めた脊柱・胸郭の骨形態異常. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇・日本), 2024.3.21-3.23.
2. 松田和也, 萩原康雄, 奈良貴史. 江戸時代集団のシュモール結節. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇・日本), 2024.3.21-3.23.
3. 佐伯史子, 萩原康雄, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 奈良貴史, 米田穰, 遠部慎, 西本志保子, 小林謙一. 愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した2体の中・近世人骨. 第77回日本人類学会大会 (仙台・日本), 2023.10.7-10.9.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本人類学会・日本解剖学会・日本考古学協会
- 2) 学術集会の主催

1. 日本人類学会, 第77回日本人類学会大会, 大会顧問(奈良貴史)・実行副委員長(澤田純明)・実行委員(萩原康雄・佐伯史子・佐宗亜衣子), 仙台, 2023.10.7-10.9.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 研修会・第9回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー, 講師 奈良貴史・澤田純明・萩原康雄・佐宗亜衣子 事務局 澤田純明・萩原康雄・佐伯史子・佐宗亜衣子, 自然人類学研究所, 医療関係者・考古学関係者・警察関係者・他, 新潟医療福祉大学, 2023.8.18-8.22.
2. 一般公開シンポジウム・長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 主催・事務局・趣旨説明 奈良貴史, 自然人類学研究所・長岡市立科学博物館, 一般市民, 長岡市, 2024.3.9-3.10.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報デジタルプラス, 葬送の縄文人...焼いた人骨を規則的に並べた珍しい墓, 新潟医療福祉大学で11月26日一般公開 村上市・上野遺跡で発掘, 2023.11.24.
2. テレビ, NHK, 新潟ニュース, 縄文後期に焼いた人骨をまとめて意図的に埋葬 新潟 村上, 2023.11.
3. 新聞, 読売新聞, 長岡藩主らの復顔ずらり 新潟医福大研究チーム 6, 7日に一般公開, 2023.5.3.
4. 新聞, 新潟日報, 殿様一行お出ましじゃ 牧野家の歴々顔復元完了 長岡できょう, あす一般公開 藩主や正室ら骨格基に模型, 2023.5.6.
5. 新聞, 新潟経済新聞, 歴代牧野家トノ 尊顔が復元される 6日から長岡まちなかキャンパスで展示, 2023.5.6.
6. 新聞, 毎日新聞, 長岡藩主の殿様 高い鼻に細い顎 牧野家ら11人 頭蓋骨から復元, 2023.5.7.
7. 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その1, 2023.5.23.
8. 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その2, 2023.5.25.
9. 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その3, 2023.5.27.
10. 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その4, 2023.6.1.
11. 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その5, 2023.6.6.
12. 新聞, 新潟日報, 長岡・牧野家「養子関係」5代と8代 実の父子の確率高く 新潟医福大など研究グループ 遺骨の遺伝子, 配列が類似, 2024.3.7.
13. 新聞, 読売新聞, 8代長岡藩主 5代の実子か 新潟医福大 復顔模型 一般公開へ, 2024.3.8.
14. テレビ, NST新潟総合テレビ, 新潟ニュース, 殿様大集合!? 最新技術で「歴代長岡藩主」の顔を復元!「縦長で鼻筋が通っている」, 2023.5.2.
15. テレビ, BSN新潟放送, TBS NEWS DIG, 殿様 全員集合!! 長岡藩主『牧野家』歴代の“御尊顔”を復元, 2023.5.2.
16. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJにいがた, 牧野の殿様はみんな面長? 遺骨をもとに歴代長岡藩主と正室の顔を復元, 2023.5.2.
17. テレビ, フジテレビ, イット!, <気になるギモン>殿様の顔を3Dで再現・子孫が対面“共通点”は, 2023.5.3.
18. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJにいがた, 国内では初めて 牧野家歴代藩主に新たな血縁関係判明, 2024.3.6.
19. テレビ, NST新潟総合テレビ, 新潟ニュース, 江戸時代に“ほっそり顔”が急増! 遺骨分析プロジェクトで判明 長岡藩・牧野家の殿様は“魚好き”!?, 2024.3.6.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度，科研費基盤研究（B），長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討，奈良貴史，研究代表者
2. 受託研究 新潟県埋蔵文化財調査事業団 上野遺跡出土人骨分析
3. 受託研究 群馬県埋蔵文化財調査事業団 西上之宮・南蛇井北原田・原田橋詰遺跡出土人骨分析
4. 受託研究 仙台市教育委員会 羽黒前遺跡遺跡出土人骨分析

7 学内委員会活動 人権委員会，高等教育推進センター，自然人類学研究所（所長）

氏名：相馬 俊雄

1 研究題目 身体運動およびバランス機能に関するバイオメカニクス研究，中枢神経疾患の下肢装具歩行に関する研究

2 学会等研究発表

1. 梅木伽那，松下依莉，大島涼，寺島琢馬，相馬俊雄，古西勇，瀧口徹：パラグアイ共和国における子供の過体重の要因分析と対策について－学校教育での改善を目指して－，第23回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2024.10.28.
2. 渡辺洋子，櫻井典子，宅井さやか，関根千恵，相馬俊雄，渡邊敏文：多職種協働をめざす実習教育の今日的課題－文献レビューによる予備的考察，第23回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2024.10.28.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会，日本基礎理学療法学会，日本運動器理学療法学会，日本神経理学療法学会，日本支援工理学療法学会，日本バイオメカニクス学会，日本義肢装具学会，日本臨床神経生理学学会，日本生体磁気学会，日本体力医学会，日本生理人類学会，日本リハビリテーション工学会，日本運動療法学会，臨床歩行分析研究会，日本肘関節研究会，新潟県理学療法士会，新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第28回日本基礎理学療法学会，演題査読委員
2. 基礎理学療法学会誌，論文査読委員
3. 日本生理人類学会誌（英文誌），論文査読委員
4. 日本生理人類学会誌（邦文誌），論文査読委員
5. 日本リハビリテーション工学雑誌，論文査読委員
6. 第10回日本運動器理学療法学会学術大会，演題査読委員
7. 第12回日本支援工理学療法学会，演題査読委員
8. 新潟県理学療法士会，理学療法新潟，論文査読委員
9. 新潟医療福祉学会誌（英文誌），論文査読委員
10. 新潟医療福祉学会誌（邦文誌），論文査読委員

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度，科研費基盤研究（C），脳卒中片麻痺者における歩行支援ロボットの立脚支持と遊脚誘導機構の解明，研究代表者
2. 2023年度，科研費基盤研究（B），乳児に行う新たな胸骨圧迫－その効果と実践性の解明－，研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校，リハビリテーション医学，2023.4.1-2024.3.31.
2. 国際メディカル専門学校，運動学，2023.4.1-2024.3.31.

5 学内委員会活動 学生部長，学生委員会（委員長），学生支援推進部（部長），懲戒諮問委員会（委員長），教育・学生支援機構，国家試験・資格試験対策委員会，自己点検・評価委員会，運動機能医科学研究所

氏名：田口 徹

- 1 研究題目 遅発性筋痛の神経・分子機構解明，線維筋痛症の病態機構解明，筋・筋膜性疼痛の病態機構解明，不活動性疼痛の病態機構解明，触覚の神経生理学的研究，痛みと免疫に関する研究，筋痛・筋損傷に対する理学療法効果の実証，気圧変動による慢性痛増悪機構解明
- 2 論文
 1. Nasu T, Kainuma R, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Increased nociceptive behaviors and formalin-induced spinal c-Fos expression in a rat repeated cold stress-induced fibromyalgia model. Neuroscience Research (JCR). 2023 ; 198: 30-38. (査読あり)
 2. Mizumura K, Taguchi T. Neurochemical mechanism of muscular pain: Insight from the study on delayed onset muscle soreness. Journal of Physiological Sciences (JCR). 2023 ; 74(1): 4. (査読あり)
 3. Ota H, Oi R, Katanosaka K, Mizumura K, Taguchi T. Expression profiles of Tmem120A/TACAN in rat skeletal muscle subjected to exercise and inflammation. Pain Research (JCR). 2024 ; 39(1): 35-39. (査読あり)
 4. 田口徹. ファイザー製薬グラント報告書. 慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築, 2019-2023, 研究代表者 (査読なし)
 5. 田口徹. 小林製薬共同研究報告書. 電気生理学的手法を用いた筋痙攣モデルの作製と漢方薬の評価, 2023, 研究代表者 (査読なし)
- 3 報告書
 1. 田口徹. 基盤研究 (B), ストレス誘発性疼痛の中樞機構解明と理学療法効果の実証, 研究成果報告書, 2022-2024 研究代表者
 2. 田口徹. 挑戦的研究 (萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 研究成果報告書, 2022-2024, 研究分担者
 3. 田口徹. 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション—次世代感覚運動学習法の創出を目指して—, 研究成果報告書, 2019-2023, 研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. 田口徹. 運動器疼痛の発生源としての「筋膜」の役割. 第60回日本リハビリテーション医学会 (福岡), 2023.6.29-7.2. 【シンポジウム】
 2. 田口徹. 筋・筋膜性疼痛の生理と病態. 第57回日本ペインクリニック学会 (佐賀), 2023.7.13-7.15. 【教育講演】
 3. Taguchi T, Hoheisel U, Treede R-D, Mense S. Distinct spinal projection patterns of nociceptive input arising from low back and limb muscles in rats. 46th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Sendai), 2023.8.1-8.4.
 4. Ota H, Tsuboshima K, Yokota I, Okada K, Hanamatsu H, Furukawa J-I, Kanagawa M, Katanosaka K, Taguchi T. Intramuscularly injected hyaluronan attenuates the development of muscular mechanical hypersensitivity induced by lengthening contractions in rats. 46th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Sendai), 2023.8.1-8.4.
 5. 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. ヒト外耳への機械刺激により生じる感覚の精神物理学的測定. 第7回基礎理学療法学若手研究者ネットワークシンポジウム (仙台), 2023.8.26-8.27.
 6. 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋におけるRNAシーケンス解析. 第7回基礎理学療法学若手研究者ネットワークシンポジウム (仙台), 2023.8.26-8.27.
 7. 本間茂太郎, 太田大樹, 田口徹, 中山憲司. 遅発性筋痛時の脂質の代謝変化—質量分析技術の理学療法分野への活用—. 第23回新潟医療福祉学会 (新潟), 2023.10.28.
 8. 田口徹, 太田大樹. 高ナトリウム溶液投与による局所誘発筋電図の記録. 第23回新潟医療福祉学会 (新潟), 2023.10.28.
 9. 田口徹, Ulrich HOHEISEL, Siegfried MENSE. 多裂筋と腓腹筋から脊髄後角表層へ投射する侵害受

容様式の差異. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.

10. 田口徹, 藤谷駿介, 佐藤圭悟, 太田大樹. マッサージの揉み返しを生じる圧刺激条件の探索. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.
11. 田口徹, 佐藤圭悟, 藤谷駿介, 明博瑛, 太田大樹. 外耳への圧刺激に伴う関連痛領域の変化. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.
12. 野原菜々子, 野村成美, 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳への圧刺激により生じる自覚的感覚強度の性差. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.
13. 野村成美, 野原菜々子, 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳への圧刺激が重心動揺に及ぼす影響. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.
14. 野村成美*, 野原菜々子*, 太田大樹, 高橋ひろな, 犬飼康人, 田口徹. 全身振動刺激が重心動揺に及ぼす急性効果. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.
15. 太田大樹, 田口徹. 炎症性/非炎症性筋痛モデルラットの後根神経節におけるTmem120AおよびTmem120Bの発現定量. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.
16. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の筋で発現増大する新規遺伝子の探索. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.
17. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の筋膜で発現変動した新規遺伝子および反応系. 第23回新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.28.
18. 田口徹. 理学療法士が知っておきたい運動器疼痛の基礎・臨床. 第28回日本基礎理学療法学会(広島), 2023.12.2-12.3. 【シンポジウム】
19. 田口徹, 太田大樹, 植田愛美, 赤木淳二. ラットにおける筋痙攣モデル作製の試み. 第28回日本基礎理学療法学会(広島), 2023.12.2-12.3.
20. 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. ヒト外耳への定量的圧刺激にともなう刺激検出閾値と自覚的感覚強度. 第28回日本基礎理学療法学会(広島), 2023.12.2-12.3.
21. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットを用いた網羅的遺伝子解析. 第28回日本基礎理学療法学会(広島), 2023.12.2-12.3.
22. 田口徹, 歌大介. モデル動物を用いた痛覚変調性疼痛の脊髓機構の探索. 第45回日本疼痛学会(福島), 2023.12.8-12.9. 【シンポジウム】
23. 田口徹. 慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築. ファイザー製薬・国際疼痛学会・日本疼痛学会共催「日本における疼痛治療の抜本的改革を支援する教育プログラム」最終報告会(東京), 2023.12.10.
24. 太田大樹, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋膜で検出された発現変動遺伝子. 第8回若手による骨格筋細胞研究会(東京), 2024.2.22-2.23.
25. Taguchi T, Ota H, Ueda M, Akagi J. Trial to develop a rat model of muscle cramps/spasms using infusion of hypertonic saline. 第101回日本生理学会(小倉), 2024.3.28-3.30.
26. Ota H, Katanosaka K, Taguchi T. Different gene expression profile in the skeletal muscle and fascia. 第101回日本生理学会(小倉), 2024.3.28-3.30.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(会員), 日本生理学会(評議員), 日本疼痛学会(代議員), 日本基礎理学療法学会(評議員), 日本神経科学学会(会員), 日本線維筋痛症学会(会員), 日本筋学会(会員), 日本体力医学会(会員), 若手による骨格筋細胞研究会(会員), 日本理学療法士協会(会員), 新潟県理学療法士会(会員), 日本運動器疼痛学会(会員), 国際疼痛学会(会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Antioxidants, 査読, 2023.4.1.
 2. Frontiers in Pain Research, 査読, 2023.4.3.
 3. Molecular Pain, 査読, 2023.4.3.

4. European Journal of Pain, 査読, 2023.4.4.
 5. Mini-Reviews in Medicinal Chemistry, 査読, 2023.4.6.
 6. Annals of Musculoskeletal Medicine, 査読, 2023.4.11.
 7. Reviews on Recent Clinical Trials, 査読, 2023.4.19.
 8. Entropy, 査読, 2023.4.19.
 9. European Journal of Pharmacology, 査読, 2023.4.21.
 10. Journal of Pain Research, 査読, 2023.5.24.
 11. Pharmaceuticals, 査読, 2023.6.2.
 12. Scientific Reports, 査読, 2023.6.21.
 13. Biology, 査読, 2023.7.3.
 14. Biomedicines, 査読, 2023.7.8.
 15. International Medical Case Reports Journal, 査読, 2023.7.18.
 16. Pharmaceutics, 査読, 2023.7.22.
 17. Brain Sciences, 査読, 2023.8.2.
 18. Muscles, 査読, 2023.8.2.
 19. Reviews on Recent Clinical Trials, 査読, 2023.8.7.
 20. Journal of Pain Research, 査読, 2023.8.15.
 21. Bioengineering, 査読, 2023.8.19.
 22. European Journal of Pharmacology, 査読, 2023.9.1.
 23. PLoS One, 査読, 2023.9.8.
 24. International Journal of Molecular Sciences, 査読, 2023.9.15.
 25. Journal of Pain Research, 査読, 2023.9.23.
 26. Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology, 査読, 2023.10.26.
 27. Journal of Pain Research, 査読, 2023.10.26.
 28. Medicina, 査読, 2023.12.20.
 29. Recent Advances in Inflammation & Allergy Drug Discovery, 査読, 2023.12.20.
 30. Journal of Pain Research, 査読, 2023.12.20.
 31. Journal of Inflammation Research, 査読, 2024.1.3.
 32. Sports, 査読, 2024.1.6.
 33. Eur J Neurosci, 査読, 2024.1.15.
 34. Current Diabetes Reviews, 査読, 2024.1.26.
 35. Journal of Pain Research, 査読, 2024.1.31.
 36. Biomedicines, 査読, 2024.2.1.
 37. Frontiers in Pain Research, Review Editor, 2023.4.1-2024.3.31.
 38. 第60回日本リハビリテーション医学会, 座長, 2023.7.1.
 39. 第28回日本基礎理学療法学会, 演題査読委員, 2023.12.2-12.3.
 40. 第45回日本疼痛学会, 演題査読委員, 2023.12.8-12.9.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2022, 基盤研究（B）, ストレス誘発性疼痛の中枢機構解明と理学療法効果の実証, 研究代表者
 2. 2022, 小林製薬との共同研究費, 電気生理学的手法を用いた筋痙攣モデルの作製と漢方薬の評価, 研究代表者
 3. 2019, ファイザー製薬グラント, 慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築, 研究代表者
 4. 2022, 挑戦的研究（萌芽）, 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 研究

分担者

5. 2020, 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
6. 2023, 理学療法にかかわる研究助成, 遅発性筋痛の発症強度と予後予測を可能にするバイオマーカー脂質の同定, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 小林製薬株式会社, 研究コンサルティング, 2023.1.1-12.31.

- 7 学内委員会活動 動物実験委員会 (委員長), 遺伝子組換え実験安全委員会 (委員長), 毒劇物管理委員会 (副委員長), 研究施設企画委員会 (委員), 運動機能医科学研究所 (研究員), 生物医科学分析研究センター (研究員)

氏名 : 江玉 睦明

- 1 研究題目 機能解剖学に関する研究 (機能解剖学), スポーツ傷害に関する研究 (スポーツ科学)

2 著書

1. 江玉睦明 (分担). 「筋損傷へのエコー活用術」日本医事新報社「大腿四頭筋の正常構造と機能」188-194. 2023.
2. 江玉睦明 (分担). 「筋損傷へのエコー活用術」日本医事新報社「下腿三頭筋の正常構造と機能」227-234. 2023.
3. 江玉睦明 (分担). 『整形外科医のための足のスポーツ診療のすべて』日本医事新報社「足部・足関節の解剖」2-19. 2023.
4. 江玉睦明 (分担). 「あしのスポーツ診療のすべて」日本医事新報社「足部・足関節の解剖」2-19. 2023.
5. 江玉睦明 (分担). 『AT専門基礎科目テキスト 第1巻』「運動器の機能と構造」4. 下腿部・足関節・足部. 文光堂. 212-223. 2024.

3 論文

1. Saito R, Shagawa M, Sugimoto Y, Hirai T, Kato K, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Edama M* (共同筆頭著者). Changes in the Mechanical Properties of the Thigh and Lower Leg Muscle-tendon Units during the Early Follicular and Early Luteal Phases. *Frontiers in Sports and Active Living (JCR)*. 2024 Mar 26;6:1323598. doi: 10.3389/fspor.2024.1323598.
2. Hirai T, Edama M (責任著者), Togashi R, Osanami H, Saito R, Kato K, Shagawa M, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Anatomical study of type classification and surface area of attachment sites for tibialis anterior tendon. *BMC Musculoskelet Disord (JCR)*. 2023 Aug 3;24(1):631. doi: 10.1186/s12891-023-06753-8.
3. Osanami H, Akuzawa H, Sakamoto K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Edama M (責任著者). Validation of anterior ankle soft tissue dynamics and shear modulus for anterior ankle impingement syndrome after ankle fracture surgery. *Sci Rep (JCR)*. 2024 Mar 11;14(1):5863. doi: 10.1038/s41598-024-56671-5.
4. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Arch height flexibility is associated with plantar fascia tension during running. *Gait Posture*. 2023 Dec 17;108:270-274. doi: 10.1016/j.gaitpost.2023.12.012 (JCR).
5. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Effect of change in patellofemoral joint contact area by the decrease in vastus medialis muscle activation on joint stress. *J Appl Biomech (JCR)*. 2018 Feb 1;34(1):82-87. doi: 10.1123/jab.2017-0074.
6. Hirabayashi R, Edama M, Takeda M, Yamada Y, Yokota H, Sekine C, Onishi H. Participant attention on the intervention target during repetitive passive movement improved spinal reciprocal inhibition

- enhancement and joint movement function. *Eur J Med Res (JCR)*. 2023 Oct 12;28(1):428. doi: 10.1186/s40001-023-01418-7.
7. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekikne C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Transcutaneous Auricular Vagus Nerve Stimulation at Left Cymba Concha Induced Parasympathetic Activation modulates experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex. *Eur J Neurosci*. 2024 Mar 12. doi: 10.1111/ejn.16305 (JCR).
 8. Sekine C, Hayashi H, Hirabayashi R, Yokota H, Saisu K, Takabayashi T, Edama M. Comparison of trunk muscle activity while lifting objects of expected and unexpected weight with and without low back pain. *Isokinetics and Exercise Science (JCR)*. 2023 (in press)
 9. Kudo S, Aoyagi T, Kobayashi T, Koshino Y, Edama M. Ultrasound Imaging of Subtalar Joint Instability for Chronic Ankle Instability. *Healthcare (JCR)*. 2023, 11(15), 2227; <https://doi.org/10.3390/healthcare11152227>.
 10. Sekine C, Yamamoto M, Hirabayashi R, Yokota H, Edama M. Comparison of trunk muscle activity during lumbar stabilization exercises on stable and unstable surfaces. *J Back Musculoskelet Rehabil*. 2023 Dec 22. doi: 10.3233/BMR-230297 (JCR).
 11. Ishigaki T, Akuzawa H, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Edama M. Elbow valgus stress during towel drills in college baseball players. *J Shoulder Elbow Surg (JCR)*. 2023 Oct 19: S1058-2746(23)00742-5. doi: 10.1016/j.jse.2023.09.017.
 12. Koshino Y, Takabayashi T, Akuzawa H, T, Numasawa S, Kobayashi T, Kudo S, Hikita Y, Akiyoshi N, Edama M. Differences and relationships between weightbearing and non-weightbearing dorsiflexion range of motion in foot and ankle injuries. *J Orthop Surg Res (JCR)*. 2024 Feb 3;19(1):115. doi: 10.1186/s13018-024-04599-x.
 13. Mochizuki T, Ushiki T, Suzuki K, Sato M, Ishiguro H, Suwabe T, Edama M, Omori G, Yamamoto N, Kawase T. Characterization of Leukocyte- and Platelet-Rich Plasma Derived from Female Collage Athletes: a Cross-Sectional Cohort Study Focusing on Growth Factor, Inflammatory Cytokines, and Anti-Inflammatory Cytokine Levels. *Int J Mol Sci (JCR)*. 2023 Sep 2;24(17):13592. doi: 10.3390/ijms241713592.
 14. Matsuura Y, Fujimoto T, Koizumi K, Mise T, Edama M, Shimoyama Y. Posterior deltoid shoulder tightness and greater contralateral lower limb muscle strength are associated with swimmers' shoulder pain. *J Sci Med Sport (JCR)*. 2023 Oct 5: S1440-2440(23)00420-6. doi: 10.1016/j.jsams.2023.09.019.
 15. Mochizuki T, Ushiki T, Suzuki K, Sato M, Ishiguro H, Suwabe T, Watanabe S, Edama M, Omori G, Yamamoto, N, Kawase T*. Elevated IL-18 and comparable IL-1 receptor antagonist levels are characteristic features of L-PRP in young female athletes compared to their male athletic counterparts. *Int J Mol Sci (JCR)*. 2023 Dec 14;24(24):17487. doi: 10.3390/ijms242417487.
 16. Inaba H, Hoshino F, Edama M, Omori G. Snack and Nutrient Intake Status of Top-Level Female University Athletes: A Cross-Sectional Study. *Healthcare (JCR)*. 2024, 12(4), 468; <https://doi.org/10.3390/healthcare12040468>.
 17. Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Akuzawa H, Ishigaki T, Kikumoto T, Edama M. Comparison of trunk muscle thickness and brightness in collegiate female athletes with and without a history of low back pain. *Isokinetics and Exercise Science (JCR)*. 2023 (in press)
 18. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 平林怜, 大森豪. 大学女性アスリートの補食摂取頻度と月経状態および栄養素等摂取状況に関する報告. 新潟栄養・食生活学会雑誌 vol.24 P13-19 2024.
 19. 江玉睦明, 大森豪. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト（女性アスリートの課題解決型実践プログラム）」2023年度研究成果報告書.

20. 江玉睦明, 大森豪. スポーツ庁委託事業「地域のスポーツ医科学支援体制構築事業」2023年度研究成果報告書.

4 報告書

1. 江玉睦明. 挑戦的研究(萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究代表者.
2. 江玉睦明. 基盤研究B, アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究代表者.
3. 江玉睦明. 国際共同研究加速基金(海外連携研究), 腱障害の病態解明と病態別治療プログラムの確立, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究代表者.
4. 平林怜, 小島翔, 江玉睦明, 宮口翔太, 大西秀明. 基盤研究C, 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究分担者.
5. 東江由起夫, 花房昭彦, 須田裕紀, 江玉睦明, 山本紳一郎. 基盤研究C, 3Dスキャナ・3Dプリンタを導入した脳卒中片麻痺者の短下肢装具の実用化研究, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究分担者.
6. 久保雅義, 高林知也, 須田裕紀, 江玉睦明, 基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究分担者.

5 学会等研究発表

1. 江玉睦明, 高林知也, 長南晴樹, 坂本航大. 前脛骨筋腱の付着部と付着部表面積の検討. 第48回日本足の外科学会(大阪), 2023.10.26-10.27.
2. 江玉睦明. 理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する取り組みについて. 第34回日本整形外科超音波学会(東京), 2023.7.8-7.9. 【シンポジウム2 理学療法における超音波の活用】.
3. 江玉睦明. 理学療法士の適切なエコー活用に関し. 第50回日本肩関節学会学術集会・第20回日本肩の運動機能研究会(東京), 2023.10.13. 【シンポジウム 肩疾患リハビリテーションにおける超音波の活用】.
4. 江玉睦明, 高野倅, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 高林知也, 大森豪. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2023.11.11-11.12.
5. 江玉睦明, 大森豪. 地域における女性アスリート支援～新潟県における取り組み～. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2023.11.11-11.12. 【シンポジウム】.
6. 江玉睦明. 機能解剖学的視点から見た腱障害の予防理学療法. 第10回日本予防理学療法/第6回日本産業理学療法学術大会(函館), 2023.10.28. 【オーガナイズドセッション】.
7. 江玉睦明. 「機能解剖学からひも解く運動器疾患の評価と治療」. 第30回群馬県理学療法士学会(高崎), 2023.10.29. 【基調講演】.
8. 江玉睦明, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 佐藤昇. 異なる股関節屈位における大腿直筋起始腱の伸長量の違いについて. 第129回日本解剖学会学術集会(沖縄), 2024.3.21-3.23.
9. 長南晴樹, 阿久澤弘, 坂本航大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 江玉睦明. 足関節前方軟部組織の動態および組織弾性の検証. 第4回足の構造と機能研究会学術集会(新潟), 2023.5.27-5.28.
10. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 扁平足の足部評価方法の現状と今後の展望【シンポジウム】. 第4回足の構造と機能研究会学術集会(新潟), 2023.5.27-5.28.
11. 阿久澤弘, 森戸剛史, 押川智貴, 江玉睦明, 金岡恒治. 足部アーチ保持に関わる足部内在筋と外在筋の歩行時筋活動. 第4回足の構造と機能研究会学術集会(新潟), 2023.5.27-5.28. 【シンポジウム】.
12. 坂本航大, 長南晴樹, 江玉睦明. 第一足根中足関節関節面の形状と関節変性の関係. 第48回日本足の外科学会(大阪), 2023.10.26-10.27.
13. 高林知也, 江玉睦明. Foot posture indexの各項目スコアとランニング中の足部内モーメントの関連. 第48回日本足の外科学会(大阪), 2023.10.26-10.27.
14. 工藤慎太郎, 片山将, 金子史弥, 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 小林匠, 江玉睦明. 荷重位背屈制限を

- 有する慢性足関節不安定症の距舟関節可動性. 第48回日本足の外科学会（大阪），2023.10.26-10.27.
15. 越野裕太，高林知也，阿久澤弘，小林匠，工藤慎太郎，江玉睦明，足部・足関節運動器疾患による足関節背屈可動域制限は非荷重位に比べ荷重位でより検出できる. 第48回日本足の外科学会（大阪），2023.10.26-10.27.
 16. 阿久澤弘，江玉睦明，熊井司，金岡恒治. 足趾屈曲に対する足底方形筋の機能検証. 第48回日本足の外科学会（大阪），2023.10.26-10.27.
 17. 越野裕太，高林知也，阿久澤弘，溝田丈士，沼澤俊，小林匠，工藤慎太郎，疋田佳希，秋吉直樹，江玉睦明，足部・足関節運動器疾患に対する足関節背屈可動域測定方法の検討－測定方法間の違いと相関性の検討－. 第10回日本スポーツ理学療法学会（埼玉）
 18. 高林知也，江玉睦明，稲井卓真，久保雅義. 扁平足アライメントはランニング中の足関節・ショパール関節・リスフラン関節の内がえしモーメントと関連する. 第10回日本スポーツ理学療法学会（埼玉），2024.1.6-1.7.
 19. 石垣智恒，石田知也，井野拓実，奥貫拓実，江玉睦明，アキレス腱の柔軟性はジャンプ着地バイオメカニクスと関連するか. 第10回日本スポーツ理学療法学会（埼玉），2024.1.6-1.7.
 20. 関根千恵，江玉睦明，阿久澤弘，横田裕丈，平林怜，石垣智恒，菊元孝則，松浦由生子，大森豪. 女性アスリートにおける仙腸関節障害の頻度. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 21. 坂本航大，江玉睦明，横田裕丈，平林怜，石垣智恒，阿久澤弘，関根千恵，長南晴樹，影山幾男. 第一足根中足靱帯の形態学的特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 22. 石垣智恒，阿久澤弘，関根千恵，横田裕丈，平林怜，江玉睦明，大森豪. シャドーピッチングにおける肘外反ストレス. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 23. 土方啓生，山本智章，望月友晴，江玉睦明，大森豪. 女性アスリートにおける血中ビタミンD充足状況. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 24. 稲葉洋美，星野美美，江玉睦明，大森豪. 大学女性アスリートの補食摂取習慣. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 25. 平林怜，阿部明日香，横田裕丈，関根千恵，阿久澤弘，石垣智信，大森豪，江玉睦明，咬合強度と咬合バランスが着地動作に及ぼす影響. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 26. 横田裕丈，江玉睦明，高杉梨紗，平林怜，関根千恵，阿久澤弘，石垣智信，大森豪. アスリートとノンアスリートにおける音楽聴取に対する運動パフォーマンスの変化と自律神経活動との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 27. 三瀬貴生，松浦由生子，熊崎昌，森清友亮，江玉睦明，大森豪. 成長期競泳選手における外傷・障害調査～性別・パフォーマンスにおける比較～. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 28. 松浦由生子，藤本知臣，三瀬貴生，江玉睦明，下山好充，熊崎昌，森清友亮，大森豪. 剪断波エラストグラフィを用いた肩関節周囲筋弾性率とスイマーズショルダー発生との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 29. 阿久澤弘，石垣智恒，平林怜，横田裕丈，関根千恵，坂本航大，江玉睦明，大森豪. 第5中足骨に皮質骨肥厚を認める男子サッカー選手の足部の形態的特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 30. 熊崎昌，平林怜，江玉睦明，三瀬貴生，松浦由生子，大森豪. 大学サッカー競技における頭部・顔面外傷発生状況の特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 31. 星野美美，稲葉洋美，江玉睦明，大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠・栄養素等摂取状況に関する実態調査. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 32. 塙晴雄，江玉睦明，稲葉洋美，阿久澤弘，小林志郎，伊藤篤司，小林真里奈，濱野礼奈，松浦由生子，菊元孝則，大島めぐみ，大森豪. 本学強化クラブ女子部員の貧血，鉄欠乏と鉄代謝調節ホルモンヘプシジン

- の検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
33. 緒方嵩人, 高林知也, 菊元孝則, 江玉睦明, 久保雅義. 立位および腹臥位ストリームライン姿勢における脊柱角度の違い. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
 34. 鈴木駿佑, 菊元孝則, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 足関節の客観的構造評価と荷重時における最大背屈角度の関係性の検証. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
 35. 高野倅, 白井竜来, 田中悠大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係～アスリートと非アスリートの比較～. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 36. 白井竜来, 田中悠大, 高野倅, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 異なる股関節股位における大腿直筋起始腱の伸長量の違いについて. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 37. 山波克彰, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. 低強度の経皮的迷走神経刺激がワーキングメモリーに与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 38. 若松優希, 平林怜, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 坂本航大, 江玉睦明. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 39. 山田開太, 平林怜, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 坂本航大, 江玉睦明. 経皮的脊髄直流電気刺激が脊髄興奮性に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 40. 富樫茉央, 平林怜, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 坂本航大, 江玉睦明. 高頻度で反復したストレッチングは柔軟性や筋力を向上させた. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 41. 望月信吾, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が運動耐容能および心拍回復過程 (HRR) に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 42. 三浦里香, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が筋疲労後の筋発揮効率 (RFD) に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 43. 宮城良汰, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. tDCSとtVNSの同時適用による皮質脊髄路の興奮性への影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
 44. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Omori G. Sleep Quality and Eating Habits of Japanese Female Athletes at University. The 19th International Congress of Nutrition and Dietetics (カナダ トロント), 2024.6.12-6.14.
 45. 平林怜, 山田勇輝, 須貝菜央, 吉川悠人, 森山華帆, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 左右均衡な咬合は跳躍パフォーマンスを向上させる. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
 46. 須貝菜央, 平林怜, 森山華帆, 吉川悠人, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 咬合強度が単純反応時間・選択反応時間に及ぼす影響. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
 47. 吉川悠人, 平林怜, 森山華帆, 須貝菜央, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 咬合強度の変化がヘディングパフォーマンスに及ぼす影響. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
 48. 森山華帆, 平林怜, 須貝菜央, 吉川悠人, 岡田芳幸, 江玉睦明. 咬合強度の変化がサッカーのシュートパフォーマンスに及ぼす影響. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
 49. 齊藤瑞貴, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. 異なる刺激様式による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会（会員）、日本臨床スポーツ医学会（正会員）、日本膝関節学会（会員）、日本スポーツ整形外科学会（会員）、日本足の外科学会（会員）、日本解剖学会（会員）、新潟スポーツ傷害フォーラム（理事）、新潟スポーツ理学療法研究会（副代表）、足の構造と機能研究会（会長）、体表解剖学研究会（講師）、新潟スポーツ医・科学コンソーシアム（副会長）
- 2) 学術集会の主催
 1. 第4回足の構造と機能研究会学術大会、大会長、新潟、2023.5.27-5.28.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会 プログラム委員
 2. 第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会 実行委員
 3. SJMSS-O-276-23 【査読】
 4. Clinical anatomy CA-23-0495 【査読】
 5. JFAR-D-23-00059 【査読】
 6. JANAT-2024-0097 【査読】
 7. Journal of Physical Therapy Science # JPTS-2023-147 【査読】
 8. Journal of clinical medicine Topic Editor 【査読】
 9. 第10回日本スポーツ理学療法学会 一般演題 査読 2023.7.10.
 10. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 一般演題 査読 2023.8.13.
 11. 日本理学療法学会連合 2023年度研究助成 査読 2023.9.23.
 12. 日本理学療法士協会専門理学療法士 口頭試問試験官 2023.12.17.
 13. 第4回足の構造と機能研究会 学術集会（新潟）. 特別講演Ⅰ 座長. 2023.5.27-5.28.
 14. 第4回足の構造と機能研究会 学術集会（新潟）. 特別講演Ⅱ 座長. 2023.5.27-5.28.
 15. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会. ランチョンセミナー3「足関節における評価と理学療法」. 座長. 2024.1.6.
 16. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会. 若手シンポジウム5 U39. 座長. 2023.12.2.
 17. 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフシンポジウム「新潟県のスポーツ医科学支援を考える」. 企画・運営. 2023.12.23.
 18. 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフシンポジウム「新潟県のスポーツ医科学支援を考える 第2部、第3部」. 座長. 2023.12.23.

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. セラピストフォーライフ研修会「膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学①」、講師、理学療法士、WEB開催、2023.5.17.
 2. アレックスメディカルグループ研修会「新潟における女性アスリート支援」講師、理学療法士、アスレティックトレーナー、WEB開催、2023.5.21.
 3. セラピストフォーライフ研修会「膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学②」、講師、理学療法士、WEB開催、2023.6.17.
 4. 山梨県士会学術研修会「足部・足関節の機能解剖と理学療法」、講師、理学療法士、WEB開催、2023.6.18.
 5. 第34回神丹栗研究会オンライン「足部・足関節・下腿の機能解剖学的視点からひも解く関節可動域制限と筋力低下の原因とアプローチ方法について」講師、理学療法士・医師、WEB開催、2023.6.24.
 6. 新潟スポーツ救護セミナー2023, 新潟リハビリテーション病院, 企画・運営, 看護師, 2023.7.15.
 7. セラピストフォーライフ研修会「肘関節の屈曲制限に対する機能解剖学」、講師、理学療法士、WEB開催、2023.7.22.
 8. The 4th NeuroMusculoskeletal Ultrasound Online Meeting of SMAP「膝外側部痛の治療戦略（解

- 剖)」講師，医師，理学療法士，東京（WEB同時開催），2023.8.11.
9. セラピストフォーライフ研修会「肉眼解剖・機能解剖学的視点から紐解く足関節可動域制限の評価と運動療法～拘縮要因の理解を中心に～」，講師，理学療法士，WEB開催，2023.8.19.
 10. 広島国際大学大学院勉強会「アキレス腱障害について」，講師，理学療法士，WEB開催，2023.9.3.
 11. スポラボ「肉眼解剖学的視点から紐解く足関節可動域制限」，講師，理学療法士，WEB開催，2023.9.8.
 12. PHI Pilates Japan FESTA 2023「機能解剖学的視点からひも解く膝関節可動域制限」，講師，スポーツ愛好家，ピラティス講師，理学療法士，WEB開催，2023.10.1.
 13. 中之島E1グランプリ，審査員，医師，理学療法士，WEB開催，2023.10.8.
 14. 第13回中之島運動器セミナー「筋損傷と解剖－下肢－」，医師，理学療法士，WEB開催，2023.10.8.
 15. 第3回 CLAI研究会「足部・足関節の不安定を探る～解剖学的視点から～」，医師，理学療法士，ハイブリット開催（横浜），2023.11.12.
 16. JA相模原協同病院 院内勉強会「アキレス腱障害のシン解剖学」「肘内側側副靱帯のシン解剖学」，医師，理学療法士，対面（神奈川），2023.11.22.
 17. スポーツ医・科学サポート研究会 第2回研究会「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業の取り組み及び事例紹介」医師，医療関係者，行政，Web，2023.12.9.
 18. 第11回青少年野球フェスタ2023，企画・運営，医師，理学療法士，選手，指導者，保護者，新潟（対面），2023.12.10.
 19. 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフシンポジウム「新潟県のスポーツ医科学支援を考える」，企画・運営，医師，医療関係者，選手，行政，保護者，学生，対面（新潟），2023.12.23.
 20. スポラボ「アキレス腱障害の発生メカニズムについて～解剖学的・生体力学的知見から～」，講師，理学療法士，WEB開催，2024.1.19.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. 毎日新聞，「女性アスリート支援へ」2023.7.20.
 2. 毎日新聞（Webサイト），「月経不順や貧血は仕方ない？女性アスリートの健康を守るには」2023.7.20.
 3. 日刊スポーツ，「アルビチア初受診，女性アスリート検診」2024.1.14.
 4. Yahoo!ニュース，「アルビチア初受診，女性アスリート検診」2024.1.14.
 5. 読売新聞，「トップ選手医科学で支える」2023.12.24.
 6. 新潟日報，「トップアスリート県内で育成するには」2023.12.24.
 7. UX，新潟スポーツ医科学コンソーシアム2023.12.23.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 令和5年度第54回春季北信越大学女子バレーボール選手権大会，メディカルサポート 2023.5.19-5.20.
 2. 令和5年度第54回春季北信越大学男子バレーボール選手権大会，メディカルサポート 2023.5.19-5.20.
 3. 令和5年度第54回秋季北信越大学女子バレーボール選手権大会，メディカルサポート 2023.11.4-11.5.
 4. 令和5年度第54回秋季北信越大学男子バレーボール選手権大会，メディカルサポート 2023.11.4-11.5.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
1. スポーツ庁 健康スポーツ課技術審査委員会（技術審査専門員）
 2. 日本スポーツ振興センター 女性アスリート支援ネットワーク有識者委員会（委員）
- 5) 職能団体（協会，士会等）の委員
- （公社）日本理学療法士協会 運動器分野問題作成部会（部員），（公社）日本理学療法士協会 専門理学

療法士口頭試問（審査員），（公社）日本理学療法士協会「理学療法学」（機関紙 査読委員），（公社）日本理学療法士協会「令和5年度 Sports in Life推進プロジェクト総合事業における調査研究事業」連携協力団体（担当委員），（一社）日本理学療法学会連合 理学療法にかかわる研究助成（審査委員），（一社）日本スポーツ理学療法学会（評議員），（一社）日本スポーツ理学療法学会 情報戦略・IR委員会（委員），（一社）日本基礎理学療法学会（評議員），（一社）日本基礎理学療法学会「理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する検討委員会」（委員長），（一社）日本基礎理学療法学会・（一社）日本スポーツ理学療法学会・（一社）日本運動器理学療法学会・（一社）日本物理療法学会「理学療法士の超音波画像診断装置の使用についての合同委員会」（委員），（一社）日本基礎理学療法学会 人体解剖学実習検討委員会（委員），（一社）日本基礎理学療法学会学術誌「基礎理学療法学」（機関紙 査読委員），（一社）体表解剖学研究会（講師），（一社）新潟県サッカー協会（医科学委員），足の構造と機能研究会（会長），新潟スポーツ理学療法研究会（副会長），新潟スポーツ障害フォーラム（理事），新潟リハビリテーション病院スポーツ医学総合診療センター拡大運営委員会（委員），新潟スポーツ医・科学コンソーシアム（副会長），新潟スポーツ医・科学コンソーシアム（チーフアドミニストレーター）

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

- 2023年度，スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト（女性アスリートの課題解決型実践プログラム）」，産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成，研究代表者。
- 2023年度，スポーツ庁委託事業「地域のスポーツ医科学支援体制構築事業」，研究代表者。
- 2023年度，科学研究費 挑戦的研究（萌芽），筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発，研究代表者。
- 2023年度，科学研究費，基盤研究B，アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発，研究代表者。
- 2023年度，科学研究費，国際共同研究加速基金（海外連携研究），腱障害の病態解明と病態別治療プログラムの確立，研究代表者。
- 2023年度，共同研究，株式会社ワコール，研究代表者。

2) 受賞，学位取得，資格取得

日本スポーツ歯科医学会第34回学術大会 研究奨励賞（共同），MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組」最優秀賞（アスリートサポート研究センター）

3) 学外兼務講師等

- 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター非常勤勤務（スポーツ外来），2022.4-2023.3.
- 日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第一講座 聴講生，2022.4-2023.3.
- 新潟大学医学部解剖学第一講座 客員研究員，2022.4-2023.3.

9 学内委員会活動 ・研究・産官学連携推進機構（運営委員），URA推進（室長），研究施設企画委員会（委員），大学院研究環境委員会（委員），入試委員会（委員），小論文策本部会（部会長），科研費対策委員会（サポートディスク担当），アスリートサポート研究センター（副センター長），運動機能医科学研究所（所員），アルビレックス新潟・アルビレックス新潟レディース・新潟リハビリテーション病院連携協定事業（メンバー）

氏名：芝田 純也

1 研究題目 非侵襲的脳刺激，経頭蓋静磁場刺激，経頭蓋磁気刺激，経頭蓋電気刺激，脳可塑性，脳卒中リハビリテーション

2 論文

- (* 共同筆頭著者) Yukawa Y*, Shibata S*, Koganemaru S, Minakuchi M, Shimomura R, Nakamura K, Mima T. Low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation can alleviate spasticity and induce functional recovery in patients with severe chronic stroke: A prospective, non-controlled, pilot study. Heliyon. 2023; 9: 1-8 <review>

2. Shibata S, Koganemaru S, Mima T. Non-invasive Brain Stimulation in Post-stroke Dysphagia Rehabilitation: A Narrative Review of Meta-analyses in 2022. *Progress in Rehabilitation Medicine*. 2023; 8: 1-10 <review>
3. (* 共同筆頭著者) Shimomura R*, Shibata S*, Koganemaru S, Minakuchi M, Ichimura S, Itoh A, Shimotake K, Mima T. Transcranial static magnetic field stimulation (tSMS) can induce functional recovery in patients with subacute stroke. *Brain Stimulation*. 2023; 16: 933-935 <review>
4. Shibata S, Takahashi H, Miida Y, Mima T, Onishi H. Priming effects of transcutaneous vagus nerve stimulation on the neuromodulation induced by transcranial static magnetic field stimulation in human motor cortex. *Clinical Neurophysiology*. 2023; 154: 194-197 <review>
5. Matsumoto T, Watanabe T, Ito K, Horinouchi T, Shibata S, Kurumadani H, Sunagawa T, Mima T, Kirimoto H. Effect of transcranial static magnetic stimulation over unilateral or bilateral motor association cortex on performance of simple and choice reaction time tasks. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2023; 17: 1-10 <review>
6. (* 共同筆頭著者) Adya saran Sinha*, Shibata S*, Takamatsu Y*, Akita T, Fukuda A, Mima T. Static magnetic field stimulation enhances shunting inhibition via a SLC26 family Cl⁻ channel, inducing intrinsic plasticity. *Journal of Neuroscience*. 2024; 44: 1-12 <review>
7. Tomita N, Katayama H, Kurihara Y, Takahashi T, Shibata S, Mima T, Osu R, Kumano H. Tackling Social Anxiety with Targeted Brain Stimulation: Investigating the Effects of Transcranial Static Magnetic Field Stimulation on Self-Focused Attention. *Frontiers in Behavioral Neuroscience*. 2024; 18: 1-13 <review>
- 3 学会等研究発表
 1. Shibata S, Takahashi H, Miida Y, Mima T, Onishi H. ヒト一次運動野に対する経頭蓋静磁場刺激と経皮的迷走神経刺激の併用効果. 第46回日本神経科学大会（仙台），2023.8.1-8.4.
 2. 芝田純也. 症例研究の質を高める ～N-of-1 研究～. 第21回日本神経理学療法学会学術大会（横浜），2023.9.9-9.10. 【教育講演】
 3. 芝田純也. tSMSの作用機序と安全性および深部刺激への挑戦—開発後12年間の集積知—. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（博多），2023.11.30-12.2. 【シンポジウム】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本脳神経外科学会，日本脳神経外科コンgres，日本脳卒中学会，日本臨床神経生理学会，日本神経科学学会，日本基礎理学療法学会，日本脳神経血管内治療学会，Motor Control 研究会，日本リハビリテーション医学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
京都大学臨床研究審査委員会技術専門員，岡山大学博士課程学生外部審査委員
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度，若手研究，シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用，研究代表者
 2. 2022年度，基盤B，静磁場刺激を在宅ニューロリハに応用するために必要な基礎データの構築，分担研究者
 3. 2023年度，基盤A，クローズドループ刺激による非侵襲的Deep Brain リハビリテーションの創生，分担研究者
 4. 2023年度，第4回岡井治特別研究助成，経頭蓋静磁場刺激が有する脳内ネットワーク調節作用の神経生理学的解明，研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等

1. 愛媛大学, 脳神経外科学, 2023.6.20.
- 7 学内委員会活動 倫理審査委員会 (委員), 運動機能医科学研究所 (所員), 次世代デジタルリハビリテーション研究センター (副センター長)

氏名：八坂 敏一

- 1 研究題目 痛み・痒みに関わる脊髄後角局所神経回路に関する研究
- 2 報告書
 1. 八坂敏一, 栗原崇, 小林希実子. 基盤研究 (C), ミクログリアはニューロンに接触して何をしているのか?—疼痛モデルによる解析—, 研究成果報告書, 2018-2022, 研究代表者
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生理学会 (評議員), 日本神経科学会, 日本疼痛学会 (代議員), 日本運動器疼痛学会, 日本薬理学会, Society for Neuroscience, International Association for the Study of Pain, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. Scientific Reports (Nature 姉妹紙) Editorial Board Member
 2. Frontiers in Neuroanatomy Editorial Board Member
 3. Frontiers in Pain Research / Pain Research Methods Editorial Board Member
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究 (S), 神経障害性疼痛に直結する神経回路動作異常メカニズムの解明と創薬への応用, 研究分担者
 2. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄後角モジュールの同定, 研究代表者
 3. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 代謝伝達物質としての乳酸から見えてきた, 活動筋—交感神経フィードバック神経回路, 研究分担者
 4. 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 慢性腰痛による下行性疼痛制御系の変調機構と運動療法の効果, 研究分担者
- 5 学内委員会活動 大学院入試広報委員会, 運動機能医科学研究所

氏名：大鶴 直史

- 1 研究題目 痛み, 内受容感覚の脳内情報処理に関する研究
- 2 論文
 1. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekikne C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of transcutaneous auricular vagus nerve stimulation at left cymba concha on experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex, and correlation with parasympathetic activity. Eur J Neurosci (JCR). 2024, in press (査読あり)
 2. Nishimoto H, Kodera S, Otsuru N, Hirata A. Individual and group-level optimization of electric field in deep brain region during multichannel transcranial electrical stimulation. Front Neurosci (JCR). 2024; 18: 1332135. (査読あり)
 3. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial alternating current stimulation does not affect microscale learning. Behav Brain Res (JCR). 2024; 459: 114770. (査読あり)
 4. Ikarashi H, Otsuru N, Gomez-Tames J, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. Eur J Pain (JCR). 2024, in press (査読あり)

5. Kitatani R, Honda K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Prism adaptation during balance standing enhances the transfer after-effect on standing postural displacement. *Neurosci Lett (JCR)*. 2023; 814: 137470. (査読あり)
6. Saito K, Koike K, Takeuchi K, Otsuru N, Onishi H. The effects of transcranial electrical stimulation of the left dorsolateral prefrontal cortex on tactile spatial discrimination performance. *Behav Brain Res (JCR)*. 2023; 452: 114600. (査読あり)
7. Sasaki R, Kojima S, Otsuru N, Yokota H, Saito K, Shirozu H, Onishi H. Beta resting-state functional connectivity predicts tactile spatial acuity. *Cereb Cortex (JCR)*. 2023; 33(16): 9514-9523. (査読あり)
8. Takahashi H, Inukai Y, Miyaguchi S, Otsuru N, Kawakami S, Onishi H. Effects of noisy galvanic vestibular stimulation on functional reach test. *Neurosci Lett (JCR)*. 2023; 810: 137336. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 北谷亮輔, 古山達郎, 大鶴直史, 大西秀明. 後頭頂葉と小脳への経頭蓋直流電気刺激が左プリズム適応による姿勢変位に与える領域特異の効果. 第21回日本神経理学療法学会学術大会, 2023.9.9-9.10.
2. 小川有生人, 長坂和明, 鈴木孝昇, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 脳幹部出血が機械刺激および寒冷刺激に対する逃避行動へ与える影響 –新規脳卒中後疼痛モデル動物の確立に向けて–. 第29回脳機能とりハビリテーション研究会学術集会, 2023.10.21.
3. 小川有生人, 長坂和明, 鈴木孝昇, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 脳幹部出血が機械刺激および寒冷刺激に対する逃避行動へ与える影響 –新規脳卒中後疼痛モデル動物の確立に向けて–. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
4. 安達航希, 長坂和明, 長尾彩音, 鈴木孝昇, 大鶴直史, 大西秀明. 中脳腹側被蓋野の一過性の電気刺激が一次体性感覚野の活動に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
5. 渡辺佳音, 長坂和明, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体の事前損傷が脳卒中後疼痛の発症に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
6. 井上歩実, 長坂和明, 宮口翔太, 櫻井典子, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 小脳と前頭前野への経頭蓋交流電気刺激が後部島皮質の活動に与える影響: 機能的磁気共鳴画像法を用いた検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
7. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 右前頭 – 後頭葉への経頭蓋交流電流刺激が空間性注意に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
8. 山本峻平, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が運動学習に与える効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
9. 高橋ひろな, 犬飼康人, 長坂和明, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 立位安定性に関連する構造学的特徴を有する脳領域の検討 – Voxel morphometry (VBM) を用いた研究 –. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 2023.11.30-12.2.
10. 高橋ひろな, 犬飼康人, 長坂和明, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. ロンベルグ比に関連する構造学的特徴を有する脳領域の検討. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
11. 小野優翔, 犬飼康人, 高橋ひろな, 川上紗輝, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への陰極経頭蓋直流刺激が立位重心動揺に与える効果と前庭脊髄機能との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
12. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 飯室幸士, 井上創太, 大西秀明. 下行性疼痛抑制の性差と心理特性との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
13. 井上創太, 大鶴直史, 原正之, 五十嵐眸実, 飯室幸士, 大西秀明. バーチャルリアリティを用いた自己心拍情報の提示は健常者における触覚情報の優先度を高めるか?. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
14. 飯室幸士, 大鶴直史, 五十嵐眸実, 井上創太, 大西秀明. 心拍変動に関連する脳内神経基盤の検討 – MEGを用いた解析 –. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 全国理学療法学会 (庶務), 日本運動器疼痛学会 (代議員), 日本ペインリハビリテーション学会 (代議員), 日本生体磁気学会 (理事)
- 2) 学術集会の主催
 1. 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, プログラム編成委員, 2023.12.2-12.3.
 2. 日本理学療法士教員協議会, 運営, ウェビナー, 2024.1.27.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. Frontiers in human neuroscience 誌, review editor
 2. Frontiers in Physiology 誌, review editor
 3. Frontiers in Pain Research 誌, review editor
 4. 日本理学療法士協会, 「理学療法学」査読委員
 5. 日本基礎理学療法学会雑誌, 査読委員
 6. 日本運動器疼痛学会誌, 査読
 7. 第16回日本運動器疼痛学会, 演題査読
 8. 第28回ペインリハビリテーション学会, 演題査読
 9. 第28回ペインリハビリテーション学会, 座長
 10. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 座長
 11. Neurobiology of pain, 査読
 12. Brain stimulation, 査読
 13. Frontiers in human neuroscience, 査読
 14. Journal of Pain, 査読
 15. Journal of Affected Disorders, 査読
 16. Journal of Affected Disorders, 査読 (同雑誌2本目)
 17. 日本生体磁気学会, 選挙制度委員会委員長
 18. 日本運動器疼痛学会, いきいきリハビリノート改訂第5版, 改訂委員

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 慢性疼痛患者に対する認知行動療法, 講師, 日本臨床神経生理学会, 医療従事者, 福岡, 2023.11.30-12.2.
 2. 第11回日本運動器理学療法学会学術大会, 痛みと脳と情動とを考え, 講師, 日本運動器理学療法学会, PT, 福岡, 2023.10.13-10.15.
 3. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 痛みと心の変容 (慢性疼痛に対する認知行動療法), 講師, 日本基礎理学療法学会, PT, 広島, 2023.12.2-12.3.
 4. Dynamics and Design Conference 2023, VRによる身体認知変容, 講師, 日本機械学会, 研究者, 愛知, 2023.8.27-8.29.
 5. 厚生労働省慢性疼痛体制構築モデル事業 新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, オンライン, 2022.7.31.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟地方裁判所委員会, 裁判所におけるデジタル化についての議論, 委員, 新潟地方裁判所, 2023.10.4.
 2. 新潟県慢性疼痛診療体制構築モデル事業キックオフミーティング, 委員, web, 2023.5.30.
 3. 新潟地方裁判所委員会, 変化に対応できる職場づくりについての議論, 委員, 新潟地方裁判所, 2024.2.7.
- 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデルワーキンググループ（診療コーディネーター）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度，科学研究費補助金 基盤研究（B），慢性疼痛における治療非反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略，研究代表者
2. 2022年度，科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽），不安定状態の脳内ネットワーク操作による恐怖記憶消去への挑戦，研究代表者
3. 2022年度，科学研究費補助金 基盤研究（A），内受容感覚を利用した身体感覚の自然な“脱着”，研究分担者
4. 2022年度，科学研究費補助金 挑戦的研究（開拓），運動感覚変化による着身体・脱身体現象の誘発とリハビリ応用，研究分担者
5. 2022年度，科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽），慢性疼痛に対する簡易型オンライン集団CBTの開発ならびに治療同盟に関する検証，研究分担者
6. 2021年度，科学研究費補助金 基盤研究（B），情動触に影響する生理・神経科学的個人差の検討，研究分担者
7. 2021年度，科学研究費補助金 基盤研究（B），脳内ネットワークモジュールの相互作用を標的とした新たな神経リハビリテーション戦略，研究分担者
8. 2023年度，科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽），内受容感覚の操作により知覚力は高まるのか，研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医歯学総合病院非常勤理学療法士

7 学内委員会活動 科研費対策委員会（委員長），利益相反マネジメント委員会，知的財産委員会，運動機能医科学研究所（副所長），次世代デジタルリハビリテーション研究センター（センター長）

氏名：澤田 純明

- 1 研究題目 東アジアの狩猟採集集団および初期農耕集団に関する人類学的研究，東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応を解明する人類学および動物考古学的研究，日本列島の土器出現期人類集団に関する人類学的研究，日本列島の更新世洞窟遺跡から出土した動物化石の動物考古学的研究，考古遺跡から出土した微細骨片の骨組織形態学的研究

2 著書

1. 澤田純明；福井洞窟ミュージアム・東南アジア考古学会編. MUSEUM BOOKLET 東南アジアの洞窟遺跡. 1版. 東京：雄山閣；2023：1-128.
2. 澤田純明；中村慎一監修. 東アジア考古科学の新展開. 1版. 東京：雄山閣；2024：1-200.

3 論文

1. Sawada J, Sun G, Huang W, Kubota S, Saeki F, Okazaki K, Yoneda M, Nakamura S. Paleopathological characteristics of Neolithic early rice farmers in the lower reaches of the Yangtze river. *Frontiers in Earth Science (JCR)*. 2023; 11: 1-9. (review)
2. 鹿又喜隆，青木飛楠子，永瀬史人，澤田純明，佐伯史子，児玉大成. 青森県山野峠遺跡出土の土器棺等の再検討. *Bulletin of the Tohoku University Museum*. 2024; 23: 35-52. (査読あり)
3. 佐伯史子，澤田純明. 下里見天神前遺跡から出土した中近世のウマについて. 下里見天神前遺跡（発掘調査報告書）. 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団. 2023; 211-214.
4. 澤田純明，佐伯史子，奈良貴史. 出土焼骨分析／植栗山根A遺跡から出土した縄文時代の動物骨. 植栗山根A遺跡（発掘調査報告書）. 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団. 2023; 153-160.
5. 澤田純明. 第4地点出土動物骨の同定. 大和田カミ遺跡群 発掘調査報告書 1（発掘調査報告書）. 新座市教育委員会. 2023; 829-830.

6. 辰巳晃司, 澤田純明. 富山市中富居遺跡から出土した焼人骨の人類学的報告. 富山市中富居遺跡発掘調査報告書 (発掘調査報告書). 富山市教育委員会埋蔵文化財センター. 2023; 50-53.
 7. 筑前滉太, 矢吹周平, 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史. 道正遺跡出土の焼骨片について. 道正遺跡第2・3・4次調査 岡崎遺跡第4・5次調査 (発掘調査報告書). 新潟市文化財センター. 2024; 146-151.
 8. 澤田純明, 佐伯史子. 福山城下町遺跡から出土した人骨について. 松前町 福山城下町遺跡 (2) (発掘調査報告書). 北海道埋蔵文化財センター. 2024; 1-6.
- 4 学会等研究発表
1. 澤田純明. ストレスマーカーから探る古代の人々の健康状態. 第18回人類学関連学会協議会 合同公開シンポジウム (福岡市・日本), 2023.6.18. 【シンポジウム】
 2. 澤田純明. 後期更新世における人類の動物資源利用: ホアビニアンと日本列島. 第21回日本旧石器学会 (東京・日本), 2023.6.24-6.25. 【シンポジウム】
 3. 澤田純明, 米田穰, 長井謙治. 山形県北町遺跡から出土した縄文草創期焼骨片の組織学的種同定. 日本動物考古学会第10回大会 (札幌・日本), 2023.7.1-7.2.
 4. Sawada J, Uzawa K, Toizumi T, Saeki F, Yanagita Y, Yoneda M. Nondestructive histomorphological species identification of burned bone fragments from the Late Pleistocene using high-resolution X-ray CT at SPring-8 in Japan. ICAZ 2023 (14th International Council for Archaeozoology Conference) (Cairns, Queensland, Australia), 2023.8.7-8.12.
 5. 澤田純明. ベトナム北部Phung Quyen岩陰遺跡の発掘調査 (予報). 第77回日本人類学会大会 (仙台・日本), 2023.10.7-10.9.
 6. 澤田純明, グエン アイン トゥアン. ホアビニアンの動物利用: フンクウェン岩陰の調査成果より. 東南アジア考古学会2023年度研究大会 (東京・日本), 2023.12.16-12.17.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本人類学会 (代議員), 日本解剖学会, 日本動物考古学会, 東南アジア考古学会 (運営委員), 人類形態科学研究会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本人類学会, 第90回日本人類学会大会, 実行副委員長, 仙台, 2023.10.7-10.9.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本人類学会学術雑誌「Anthropological Science (Japanese Series)」編集委員
 2. 日本動物考古学会学術雑誌「動物考古学」編集委員
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第9回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー, 事務局長, 医療関係者・考古学関係者・警察関係者・他, 新潟医療福祉大学, 2023.8.18-8.22.
 2. 第9回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー, 脊柱と胸郭, 講師, 自然人類学研究所, 医療関係者・考古学関係者・警察関係者・他, 新潟医療福祉大学, 2023.8.20.
 3. 第9回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー, 人骨と動物骨, 講師, 自然人類学研究所, 医療関係者・考古学関係者・警察関係者・他, 新潟医療福祉大学, 2023.8.21.
 4. 特別講演会 東南アジアの洞窟遺跡 - 海外の視点から佐世保の洞窟を探る -, ベトナムの洞窟遺跡 - ハンチャー洞窟とフンクウェン岩陰 -, 講師, 佐世保市教育委員会・東南アジア考古学会, 一般市民, 福井洞窟ミュージアム, 2023.11.11.
 5. 2023年度岩宿大学, 動物骨から見る岩宿時代の環境適応, 講師, 岩宿博物館, 一般市民, 群馬県みどり市岩宿博物館, 2023.11.24.
 6. 「旧石器時代の人類」展 文化講座1 骨学セミナー沖縄版, 遺跡出土骨片のミクロ解剖学からわかること, 講師, 沖縄県立博物館・美術館, 一般市民, 沖縄県立博物館・美術館, 2023.12.16.
 - 2) 社会活動への参加協力

1. 佐世保市教育委員会・東南アジア考古学会，企画展「東南アジアの洞窟遺跡 洞窟から探る人類史」の展示協力，長崎県佐世保市福井洞窟ミュージアム，2023.10.27-2024.1.28.
 2. 沖縄県立博物館・美術館，特別展「旧石器時代の人類－海を越えた最初の人々－」の展示協力，沖縄県那覇市沖縄県立博物館・美術館，2023.12.12-2024.2.12.
 3. 群馬県立歴史博物館，破損した人骨製品（文化財登録資料）の修復，事前指導および修復作業，群馬県立歴史博物館，2023.4.22-5.8.
 4. 富山市埋蔵文化財センター・毛野考古学研究所，遺跡出土骨の鑑定，新潟，2023.6.1-6.30.
 5. 北海道埋蔵文化財センター，遺跡出土骨の鑑定，札幌・新潟，2023.6.1-8.31.
 6. 群馬県埋蔵文化財調査事業団，遺跡出土骨の鑑定，新潟，2024.1.10-2.28.
 7. 山梨県警察本部，捜査協力・法医鑑定業務に対する感謝状，2024.2.20.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023年度，挑戦的研究（萌芽），縄文時代人は何歳まで生きたのか？高分解能CTを用いた骨組織学的年齢推定法の開拓，研究代表者
 2. 2020年度，科研費基盤研究（B），日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する，研究代表者
 3. 2020年度，国際共同研究加速基金，東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明，研究代表者
 4. 2022年度，科研費基盤研究（B），受傷人骨の骨科学分析による縄文終末期の埋葬原理と社会変容の解明，研究分担者
 5. 2021年度，科研費基盤研究（B），日本列島に棲息したオオヤマネコに関する学際的調査・研究，研究分担者
 6. 2020年度，学術変革領域研究（A），同位体比分析から見たヒトとモノの動態復元，研究分担者
 7. 2023年度，受託研究費，毛野考古学研究所，研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 慶應義塾大学文学部（非常勤講師），民族学考古学特殊講義，2023.4.1-2024.3.31.
 2. 新潟大学大学院医歯学総合研究科法医学分野（非常勤講師），死因究明学II，2024.1.26.
- 8 学内委員会活動 人権委員会，大学院入試広報委員会，自然人類学研究所

氏名：犬飼 康人

- 1 研究題目 非侵襲的脳刺激法を用いたリハビリテーション介入手法の開発，脳卒中リハビリテーションに関する研究
- 2 論文
 1. Takahashi H, Inukai Y, Miyaguchi S, Otsuru N, Kawakami S, Onishi H. Effects of noisy galvanic vestibular stimulation on functional reach test. *Neurosci Lett*. 2023; 810: 137336.
 2. Kitatani R, Honda K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Prism adaptation during balance standing enhances the transfer after-effect on standing postural displacement. *Neurosci Lett*. 2023; 814: 137470.
 3. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial alternating current stimulation does not affect microscale learning. *Behav Brain Res*. 2024; 459: 114770.
- 3 学会等研究発表
 1. 犬飼康人，運動を発現する神経メカニズム，第21回日本神経理学療法学会学術大会（横浜），2023.9.28. 【教育講演】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本臨床神経生理学学会，全国理学療法教育学会（総務），日本基礎理学療法

学会，日本神経理学療法学会（代議員），日本リハビリテーション医学会，新潟県理学療法士会（理事）

2) 学術集会の主催

1. 第60回日本理学療法学会学術研修大会，準備委員会（財務部長），2025.5.31-6.1.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本神経理学療法学会，神経理学療法学，査読，2023.5.2.
2. 日本神経理学療法学会，神経理学療法学，査読，2023.7.6.
3. 日本神経理学療法学会，神経理学療法学，査読，2023.9.28.
4. 日本神経理学療法学会，神経理学療法学，査読，2024.2.19.
5. 日本神経理学療法学会，神経理学療法学，査読，2024.3.26.
6. 日本理学療法学会連合，理学療法学，査読，2023.4.17.
7. 日本理学療法学会連合，理学療法学，査読，2023.10.17.
8. 日本理学療法学会連合，理学療法学，査読，2023.2.12.
9. 第20回日本神経理学療法学会学術大会，演題査読，2022.9.28.
10. 第20回日本神経理学療法学会学術大会，演題査読，2022.9.28.
11. 第20回日本神経理学療法学会学術大会，演題査読，2022.9.28.
12. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会，演題査読，2023.10.24.
13. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会，演題査読，2023.10.24.
14. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会，演題査読，2023.10.24.
15. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会，座長，2023.12.2.
16. 第29回新潟県理学療法学会学術大会，座長，2024.2.24.
17. 第29回新潟県理学療法学会学術大会，学術局，2024.2.24-2.25.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー，脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の基礎と臨床応用，主催・講師，医療従事者，オンライン開催，2023.7.29.
2. 新潟県理学療法士会主催オンラインセミナー，運動麻痺・痙縮の改善を目的とした脳卒中患者に対する電気刺激療法（基礎編），講師，医療従事者，オンライン開催，2024.3.2.
3. 神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部地域連携講演会，脳卒中患者のバランス障害に対する理学療法，講師，2024.2.19.
4. 大阪府理学療法士会生涯学習センター第5回生涯学習研修集会，脳卒中のバランス障害，講師，医療従事者，オンライン開催，2023.9.30.

2) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本理学療法士協会（「理学療法学」査読委員），日本理学療法学会連合（「Physical Therapy Research」査読委員），全国理学療法教育学会（事務局），日本神経理学療法学会（代議員），日本神経理学療法学会（「神経理学療法学」副編集委員長），新潟県理学療法士会（理事），日本理学療法士協会（「第60回日本理学療法学会学術研修大会」準備委員）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023-2025年度，科研費基盤（C），動的バランス機能を向上させるニューロモデュレーション技術の開発（研究代表者）

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科，リハビリテーション医学，2023.10.3-10.17.

7 学内委員会活動 広報委員会，運動機能医科学研究所，脳卒中リハビリテーション研究センター（センター長）

氏名：菊元 孝則

- 1 研究題目 膝前十字靱帯損傷予防への科学的基礎、バスケットボール選手の運動機能に関する研究、慢性足関節不安定症が膝関節のバイオメカニクスに与える影響

2 論文

1. Kikumoto K, Kobayashi M, Omori G, Kubo M. Single-legged landing behavior of high school basketball players with chronic ankle instability. Journal of Bodywork and Movement Therapies (JCR). 2024; Volume39: 454-462
2. 緒方嵩人, 高林知也, 遠間悠貴, 菊元孝則, 久保雅義. 立位ストリームライン姿勢における上部・中部・下部胸椎角度と腰椎角度の関連性. 水泳水中運動科学. 2023
3. Nishino K, Suzuki H, Tanaka M, Kikumoto T, Omori G. single-leg medial drop landing with trunk lean includes improper body mechanics related to anterior cruciate ligament injury risk: A comparison of body mechanics between successful trials and failed trials in the drop landing test among female basketball athletes. Clinical Biomechanics (JCR). 2023; 104: 105942.
4. Ishiyama H, Takabayashi T, Hiratsuka S, Ito W, Kikumoto T, Kubo M. Effect of Arch Height Flexibility in Individuals With Flatfoot on Abductor Hallucis Muscle Activity and Medial Longitudinal Arch Angle During Short Foot Exercises. The Journal of Foot and Ankle Surgery. (JCR). 2023; 62(1): 168-172.

3 報告書

1. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 大森豪. 科研費 研究基盤 (C), 大規模調査による慢性足関節不安定症のタイプ分類と再発リスク因子の解明, 報告書, 2022-2025, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 菊元孝則, 高林知也, 久保雅義. 運動連鎖の遮断による慢性足関節不安定症における運動行動障害の検証. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (埼玉県), 2024.1.6-1.7.
2. 菊元孝則, 高林知也, 久保雅義. バスケットボール競技における1-2次予防の取り組みから考察する0次予防. 第10回日本予防理学療法学会学術大会 (北海道), 2023.10.28-10.29.
3. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 若月弘久, 小林真里奈, 大森豪. 慢性足関節不安定症を有する選手における足関節外側側副靱帯再損傷因子の検証. 第34回日本臨床スポーツ医学会 (神奈川県), 2023.11.11-11.12.
4. Hiratsuka S, Takabayashi T, Suzuki S, Watanabe T, Kikumoto T, Kubo M. Relationship between arch height flexibility and lower limb alignment in knee flexion position during standing in individuals with flatfoot. The 13th Asia Conference on Kinesiology. 2023.8.24-8.25.
5. 鈴木駿佑, 菊元孝則, 高林知也, 江玉陸明, 久保雅義. 足関節の客観的構造評価と荷重時における最大背屈角度の関係性の検証. 第34回日本臨床スポーツ医学会 (神奈川県), 2023.11.11-11.12.
6. 関根千恵, 江玉陸明, 阿久澤弘, 横田裕丈, 平林怜, 石垣智恒, 菊元孝則, 松浦由生子, 大森豪. 女性アスリートにおける仙腸関節障害の頻度. 第34回日本臨床スポーツ医学会 (神奈川県), 2023.11.11-11.12.
7. 平塚栞, 高林知也, 鈴木駿佑, 菊元孝則, 久保雅義. 扁平足者の足部アーチ柔軟性がランニング時の下肢関節運動に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島県), 2023.12.2-12.3.
8. 鈴木駿佑, 菊元孝則, 平塚栞, 遠間悠貴, 緒方嵩人, 高林知也, 久保雅義. 超音波画像診断装置による構造的評価に着目した慢性足関節不安定症の選定基準の再考. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (埼玉県), 2024.1.6-1.7.
9. 平塚栞, 高林知也, 鈴木駿佑, 菊元孝則, 久保雅義. 荷重によって変化する足長は足部アーチ柔軟性の指標となるか?. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (埼玉県), 2024.1.6-1.7.
10. 緒方嵩人, 高林知也, 遠間悠貴, 菊元孝則, 平塚栞, 久保雅義. 立位ストリームラインにおける上部・中部・下部胸椎角度と上部・下部腰椎角度の関連性. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (埼玉県), 2024.1.6-1.7.

11. 西口ほのか, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ランニング時の足部接地パターンの違いが足底O膜張力に与える影響について. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (埼玉県), 2024.1.6-1.7.
12. 長島萌, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ダンサーのアラベスクにおける上部・中部・下部胸椎と上部・下部腰椎の関連性. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (埼玉県), 2024.1.6-1.7.
13. 島谷美海花, 菊元孝則, 鈴木駿佑, 高林知也, 久保雅義. 大腿部皮下脂肪厚の違いによる膝前十字靭帯用装具の効果検証. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (埼玉県), 2024.1.6-1.7.
14. 赤塚和真, 菊元孝則, 入岡拓郎, 清水瑠衣, 渡部裕之. 片脚立ち上がり動作を用いた運動機能レベルの客観的指標の構築に向けた検証. 第11回日本運動器理学療法学会学術大会 (福岡県), 2023.10.13-10.15.
15. 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ArchHeight Flexibilityはランニング時の母趾外転筋活動と関連する. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (埼玉県), 2024.1.6-1.7.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本スポーツ理学療法学会 (国際委員会 国際資格検討部会 部会長), 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本バスケットボール学会, 日本体育学会, 日本アスレティックトレーニング学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Journal of Clinical Medicine, 査読 (JCM-2462118)
 2. Foot & Ankle International, 査読 (FAI-23-0741)
 3. Journal of Foot and Ankle Research, 査読 (JFAR-D-23-00123)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, 新潟市中体連部活動指導者研修会, 講師, 新潟市体育連盟, 中学生部活動指導者, 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター, 2023.6.2.
2. Perspective2023, Sports Biomechanics, 講師, University of Santo Tomas, University of Santo Tomas College of Rehabilitation Sciences students, 2024.1.27-1.28.
3. 新潟県バスケットボール協会セミナー, スポーツ医科学委員会オンライン研修会, 講師, 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, バスケットボール指導者, オンライン開催, 2023.7.26.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本スポーツ理学療法学会国際委員会 国際認定資格検討部会, 部会長, 新潟市など, 2023.4.1-2024.3.31.
2. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会, 副委員長, 新潟市など, 2023.4.1-2024.3.31.
3. 新潟県高等学校体育連盟, 高校総体バスケットボール大会メディカルサポート, 上越市・リージョンプラザ上越, 2023.6.3-6.4.
4. 新潟県高等学校体育連盟, 北信越総体バスケットボールメディカルサポート, 金沢市・いしかわ総合スポーツセンター, 2023.6.17-6.18.
5. 開志国際高等学校 男子バスケットボール部, 2023 高等学校総合体育大会総体バスケットボールメディカルサポート, 北海道・札幌市, 2023.7.25-7.30.
6. 開志国際高等学校 男子バスケットボール部, 第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会 SoftBank ウインターカップ2023, メディカルサポート, 東京体育館, 2022.12.24-12.29.
7. 新潟県バスケットボール協会, 第52回BSN杯新潟県高等学校バスケットボール大会メディカルサポート, 新潟市・新潟市東総合スポーツセンター, 2024.1.26-1.28.
8. 新潟県バスケットボール協会, 第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会新潟県予選会メディカルサポート, 長岡市・長岡市市民体育館, 2023.11.3-11.5.
9. J Sports, スプリングマッチ2024メディカルサポート, 新発田市・新発田市カルチャーセンター, 2024.3.29-3.30.

10. 胎内市バスケットボール連盟, 第3回胎内カップバスケットボールフェスティバルメディカルサポート, 胎内市・ぶれすぽ胎内, 2023.10.7-10.8.
11. 一般財団法人 新潟県バスケットボール協会, 新潟県成年国体男子チーム メディカルサポート, 新潟県・リージョンプラザ上越, 2023.8.25-8.27.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
一般財団法人 新潟県バスケットボール協会 (スポーツ医科学委員会 副委員長)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 科研費 研究基盤(C), 大規模調査による慢性足関節不安定症のタイプ分類と再発リスク因子の解明, 菊元孝則, 研究代表者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 男子バスケットボール部, 全日本大学バスケットボール新人大会, バスケットボール, 国立代々木競技場第二体育館, 2023.7.10-7.16. (メディカルサポート)
 2. 女子バスケットボール部, 全日本大学バスケットボール新人大会, バスケットボール, 国立代々木競技場第二体育館, 2023.7.10-7.16. (メディカルサポート)
 3. 男子バスケットボール部, 第75回 全日本大学バスケットボール選手権大会, バスケットボール, 大田区総合体育館, 2023.12.2-12.17. (メディカルサポート)
 4. 女子バスケットボール部, 第75回 全日本大学バスケットボール選手権大会, バスケットボール, 大田区総合体育館, 2023.12.2-12.17. (メディカルサポート)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学, 健康スポーツ科学講義, 毎週月曜日, 2023.10.9-2024.2.19.
 2. 開志国際高等学校, 男子バスケットボール部メディカルサポート, 2023.4.1-2024.3.31.
- 8 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会(海外研修および留学支援部会部会長)・アスリートサポート研究センター(研究員)

氏名：高橋 英明

- 1 研究題目 腱-骨移行部(Enthesis)に関する研究, 変性性膝関節症に関する研究, 骨格筋に関する研究, 糖尿病の骨脆弱性に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本骨代謝学会, 日本物理療学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会, 理学療法士, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2023.8.24-8.25.
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2022年度, 科研費基盤研究(C), Spring-8を利用したアキレス腱付着部の3次元構造変化とその力学的特性の解明
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科(昼間部), リハビリテーション医学, 2023.4.11-9.26.
 2. 国際メディカル専門学校鍼灸学科(夜間部), リハビリテーション医学, 2023.4.11-9.26.
- 5 学内委員会活動 就職センター運営委員会(副委員長), 運動機能医科学研究所

氏名：齊藤 慧

1 研究題目 体性感覚機能に関する研究（神経生理学）

2 論文

1. Saito K, Koike K, Takeuchi K, Otsuru N, Onishi H. The effects of transcranial electrical stimulation of the left dorsolateral prefrontal cortex on tactile spatial discrimination performance. Behav Brain Res. 2023 Aug 24; 452: 114600.
2. Sasaki R, Kojima S, Otsuru N, Yokota H, Saito K, Shirozu H, Onishi H. Beta resting-state functional connectivity predicts tactile spatial acuity. Cereb Cortex. 2023 Aug 8; 33(16): 9514-9523.
3. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekikne C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of transcutaneous auricular vagus nerve stimulation at left cymba concha on experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex, and correlation with parasympathetic activity. Eur J Neurosci. 2024 May; 59(10): 2826-2835.

3 報告書

1. 齊藤慧. 基盤研究（C）, 知覚学習効果を向上させる新たな介入戦略の創出, 研究実施状況報告書, 2023年～2025年, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 齊藤慧, 大鶴直史, 立石魁人, 紅林竜司, 大西秀明. 触覚の知覚学習が α 帯域の安静時脳律動にもたらす効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（広島市）, 2023.12.2-12.3.
2. 平賀大河, 齊藤慧, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋直流電気刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果について. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（広島市）, 2023.12.2-12.3.
3. 関根悠介, 齊藤慧, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋ランダムノイズ刺激が触覚方位弁別能力と手指巧緻動作にもたらす効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（広島市）, 2023.12.2-12.3.
4. 齊藤慧, 平賀大河, 犬飼康人, 大西秀明. 足底への末梢電気刺激が脳律動活動に及ぼす影響. 日本物理療法合同学術大会2024, 2024.1.26-1.27.
5. 平賀大河, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 足底への末梢電気刺激が感覚機能にもたらす効果について. 日本物理療法合同学術大会2024, 2024.1.26-1.27.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 日本物理療法学会, 全国大学理学療法学教育学会, 日本神経科学学会, 日本リハビリテーション医療デジタルトランスフォーメーション研究会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 全国大学理学療法学教育学会, 2023年度日本理学療法士教員協議会, 準備委員（講師・司会者との連絡業務）, 2023.1.

3) 学会等でのその他の活動

1. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 査読
2. 日本物理療法合同学術大会2024, 査読
3. 日本物理療法合同学術大会2024, ポスター演題3, 座長, 奈良, 2024.1.26-1.27.
4. Brain and Behavior, 査読
5. European Journal of Neuroscience, 査読

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 臨床実習指導者講習会, 人間関係論・ハラスメントの防止について・臨床実習の到達目標と修了基準・臨床実習における学生評価・臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案・臨床実習指導者およびプログラムの評価, ファシリテーター, 日本理学療法士協会, 理学療法士・作業療法士, 新潟医療福祉大学, 2023.8.24-8.25.

2. 臨床実習指導者講習会，人間関係論・ハラスメントの防止について・臨床実習の到達目標と修了基準・臨床実習における学生評価・臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案・臨床実習指導者およびプログラムの評価，ファシリテーター，日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会，理学療法士・作業療法士，オンライン，2023.12.9-12.10.
3. 新潟脳外科病院院内講習会，電気刺激療法が運動麻痺・痙縮にもたらす効果と効果的な刺激方法，講師，新潟脳外科病院リハビリテーション科，新潟脳外科病院，2023.6.9.
4. 新潟脳外科病院院内講習会，脳卒中後の感覚機能障がいについて，講師，新潟脳外科病院リハビリテーション科，新潟脳外科病院，2023.7.28.
5. 新潟脳外科病院院内講習会，脳卒中後の感覚機能障がいについて，講師，新潟脳外科病院リハビリテーション科，新潟脳外科病院，2023.9.19.
6. 新潟脳外科病院院内講習会，文献抄読：A novel form of transcutaneous electrical nerve stimulation for the reduction of dysesthesias caused by spinal nerve dysfunction: A case series，講師，新潟脳外科病院リハビリテーション科，新潟脳外科病院，2023.12.20.
7. 新潟県士会領域別研修会（神経系），運動麻痺・痙縮の改善を目的とした脳卒中患者に対する電気刺激療法，講師，理学療法士・作業療法士，新潟，2024.3.2.

2) 社会活動への参加協力

1. 全国大学理学療法学会，令和4年度第1回理事会，学会事務局担当（書記），WEB開催，2023.10.19.
2. 全国大学理学療法学会，令和4年度定時総会，総会運営・事業報告，WEB開催，2023.11.24.
3. 全国大学理学療法学会，令和4年度臨時理事会，学会事務局担当（書記），WEB開催，2023.11.24.
4. 全国大学理学療法学会，令和4年度第1回理事会，学会事務局担当（書記），WEB開催，2024.3.25.
5. 日本理学療法士協会，臨床実習指導者講習会意見交換会，東京，2023.11.3.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県理学療法士会（学術部員），全国大学理学療法学会（事務局員，庶務）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度，科研費基盤研究（C），知覚学習効果を向上させる新たな介入戦略の創出，研究代表者

8 学内委員会活動 運動機能医科学研究所，SHAINプロジェクト，教務委員会，大学院教務委員会

氏名：玉越 敬悟

1 研究題目 脳卒中後の運動療法による運動機能の回復機序および脳内改善メカニズムに関する研究

2 論文

1. 公益財団法人臨床研究奨励基金・コメディカル研究助成・報告書
2. 大和証券ヘルス財団・調査研究助成・報告書
3. 日本理学療法連合・理学療法に関わる助成金・報告書

3 学会等研究発表

1. 玉越敬悟，齊藤愛海，渡辺朱音，本山雅大，有岡航. Alteration of inflammatory factor expression by very early rehabilitation in rats with cortical infarction. 第66回日本神経化学学会大会（神戸），2023.7.6-7.8.
2. 玉越敬悟，齊藤愛海，渡辺朱音，本山雅大，有岡航. Alteration of inflammatory factor expression by very early rehabilitation in rats with cortical infarction. 第46回日本神経科学学会大会（仙台），2023.8.1-8.4.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経科学会, 日本神経化学会, 日本生理学会, 日本脳循環代謝学会, Society for neuroscience
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第3回基礎理学療法ワークショップ (日本基礎理学療法学会主催), 企画・運営, 2023.9.25.
 2. 第4回基礎理学療法ワークショップ (日本基礎理学療法学会主催), 企画・運営・座長, 2023.11.20.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本理学療法士協会・第424回臨床実習指導者講習会, 講師, 新潟・新潟医療福祉大学, 2023.8.24-8.25.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 - 一般社団法人日本基礎理学療法学会・教育部会 (部会員)
- 6 学内委員会活動 運動機能医科学研究所 (研究員), SHAINプロジェクト (神経・筋・骨組織研究メンバー)

氏名：井上 達朗

- 1 研究題目 高齢者のサルコペニア, フレイル, 栄養障害に関する臨床研究
- 2 著書
 1. 井上達朗. 基本統計量・統計, 感度・特異度. 2023年. PTスタートガイド 基礎理学療法概論 改訂第2版. メジカルビュー. P100-107
 2. 井上達朗. 疾患と栄養. 2023年. Crosslink basic リハビリテーションテキスト 栄養学・生化学. メジカルビュー. P75-82
- 3 論文
 1. Inoue T, Momosaki R, Shimizu A, Maeda K. Hospitalization-associated disability prediction using Hospital Frailty Risk Score in older patients undergoing pancreatectomy European Geriatric Medicine. 2024. 査読あり
 2. Amakasu K, Inoue T (cores), Watanabe Y, Low Phase Angle: A Predictor of Functional Status and Discharge Disposition in Acute Stroke Older Patients. Clinical Nutrition ESPEN. 2024. 査読あり
 3. Kakiuchi M, Inoue T (cores), Kobayashi H, Ebina A, Nakano G, Takehi T, Tanaka T, Nishihara. M Sarcopenia assessed using a questionnaire can predict in-hospital mortality in older patients with pulmonary tuberculosis. Clinical Nutrition ESPEN 2024. 査読あり
 4. Ueshima J, Inoue T, Saino Y, Kobayashi H, Murotani K, Mori N, Maeda K. Diagnosis and prevalence of cachexia in Asians: A scoping review. Nutrition. 2024. 査読あり
 5. Nozoe M, Inoue T, Ogino T, Okuda K, Yamamoto K. The added value of frailty assessment as the premorbid stroke status on activities of daily living in patients with acute stroke, stratified by stroke severity. The Journal of nutrition, health and aging 2024. 査読あり
 6. Suzuki M, Nagano A, Ueshima J, Saino Y, Kawase F, Kobayashi H, Murotani K, Inoue T, Nagami S, Maeda K. Prevalence of dysphagia in patients after orthopedic surgery. Archives of Gerontology and Geriatrics. 2023. 査読あり
 7. Ishida Y, Maeda K, Murotani K, Shimizu A, Ueshima J, Nagano A, Inoue T, Mori N. Predicting mortality risks in patients with heart failure using body mass index and weight loss at admission. Annals of Geriatric Medicine and Research. 2023. 査読あり
 8. Ogino T, Nozoe M, Inoue T, Ishida M, Yamamoto K. Impact of possible sarcopenia on functional prognosis in patients with acute stroke with premorbid disability. Geriatrics & Gerontology International. 2024. 査読あり
 9. Ogawa M, Okamura M, Inoue T, Sato Y, Momosaki R, Maeda K. Relationship between nutritional status and clinical outcomes among older individuals using long-term care services: A systematic

review and meta-analysis Clinical Nutrition ESPEN. 2024. 査読あり

10. Hitosugi N, Hotta K, Taketa Y, Takamizawa R, Fujii Y, Ikegami R, Tamiya H, Inoue T, Tsubaki A. The effect of sepsis and reactive oxygen species on skeletal muscle interstitial oxygen pressure during contractions. Microcirculation. 2024. 査読あり
 11. Saino Y, Kawase F, Nagano A, Ueshima J, Kobayashi H, Murotani K, Inoue T, Nagami S, Suzuki M, Maeda K. Diagnosis and prevalence of sarcopenic obesity in patients with colorectal cancer: A scoping review. Clinical Nutrition. 2024. 1595-1601. 査読あり
 12. Ishida Y, Maeda K, Murotani K, Shimizu A, Ueshima J, Nagano A, Sono N, Inoue T, Mori N. Association of body mass index and weight change with death in patients with advanced cancer. Nutrition. 2023. 査読あり
 13. Ishida Y, Keisuke Maeda, Murotani K, Shimizu A, Ueshima J, Nagano A, Sono N, Inoue T, Mori N. Body mass index and weight change are associated with mortality in chronic kidney disease: A retrospective cohort study using a Japanese medical claims database. Nutrition. 2024. 査読あり
 14. 井上達朗. 整形外科（骨折）. リハビリテーション栄養. 8巻 1号 P21-26
 15. 井上達朗. フレイルに対する栄養介入の効果は？. 日本医事新報. p50-50
 16. 森下元賀, 井上達朗. 嚥下障害を有する患者の栄養と活動の理解に基づく理学療法実践. 理学療法. 40巻. 6号. p492-500
 17. 井上達朗. 高齢入院患者に対する栄養サポートチームにおける理学療法士の役割. 日本老年療学会誌. 2巻. p1-6
 18. 井上達朗, 堀田一樹. フレイルの早期検知を目的としたAIによるセンシングデータ解析・行動分析技術を用いた歩行速度のモニタリングについて. システム／制御／情報. 67巻. 5号. p29-33
 19. 井上達朗. 科研費若手研究. 報告書. 代表
- 4 学会等研究発表
1. Inoue T, Okamura M, Ogawa M, Sato Y, Momosaki R, Maeda K. Effects of nutritional issues on adverse outcomes in older adults with disabilities: A systematic review and meta-analysis. The 45th European Society for Parental and Enteral Nutrition congress. 2023.9.16. France
 2. Inoue T, Ueshima J, Kawase F, Kobayashi H, Nagano A, Murotani K, Saino Y, Maeda K. A systematic review investigating the trajectories of sarcopenia prevalence and diagnostic criteria. 9th Asian Conference for Frailty and Sarcopenia. 2023.10.27. Singapore
 3. 井上達朗. デジタルを使用したフレイル予防の取り組み. 第13回日本リハビリテーション栄養学会学術集会. 2024.3.2. 【シンポジウム】. 三重
 4. 井上達朗. リハビリテーションからみた三位一体. 第13回日本リハビリテーション栄養学会学術集会. 2024.3.2. 【シンポジウム】. 三重
 5. 井上達朗. 脳卒中関連サルコペニアの有病割合と診断基準: システマティックレビュー. 文部科学省科学研究費助成事業 学術変革領域研究【学術研究支援基盤形成】. コホート・生体試料支援プラットフォーム若手支援研究成果発表会. 2024.2.20. 口述. 東京
 6. 井上達朗. 英語論文執筆のTips -心は熱く、頭はクールに-. 第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会. 2024.2.15-2.16. 【ワークショップ】. 神奈川
 7. 井上達朗. リハビリテーションと栄養. 第10回日本サルコペニア・フレイル学会. 2023.11.4-11.5. 【シンポジウム】. 東京
 8. 井上達朗, 堀田一樹, 児玉直樹, 櫻井典子, 和泉徹, 神谷健太郎, 椿淳裕, 藤田卓仙, 宮田裕章. 母指球筋に着目した骨格筋量指標の開発-3T高解像度MRIによる妥当性検証と地域在住中高齢者への応用-. 第2回日本老年療学会学術大会. 2023.9.1-9.2. 口述. 鹿児島
 9. 井上達朗. フレイル・サルコペニア高齢者に対する運動介入のcurrent topics. 第12回日本認知症予防学会学術集会. 2023.9.15-9.17. 【教育講演】. 新潟

10. 井上達朗. 栄養・嚥下理学療法確立への標準ステップー共存共栄へ向けてー. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 【大会長講演】. 新潟
11. 井上達朗. 入院高齢者のサルコペニアは予防・改善し得るのか?. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 【シンポジウム】. 新潟
12. 井上達朗. 新潟で取り組むフレイル予防プロジェクト. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 【シンポジウム】. 新潟
13. 井上達朗. がん理学療法と栄養問題ーオーバービューー. 第6回 日本がん・リンパ浮腫理学療法学会学術大会. 2023.10.14-10.15. 【教育講演】. 新潟
14. 大舘隼, 井上達朗, 飯塚裕介, 鈴木康史, 上中梨帆, 甘粕康太, 前川健一郎, 田村由馬, 渡邊由佳. パーキンソン病患者における運動療法が食後の血圧に及ぼす影響の検討ー予備的研究ー. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. U30セレクション. 新潟
15. 前川健一郎, 西脇寿弥, 八木拓磨, 甘粕康太, 大舘隼, 沖山努, 井上達朗. 回復期リハ病棟における大腿骨近位部骨折患者の入院時身体活動量は退院時ADLを予測できる. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 口述. 新潟
16. 内山祈, 井上達朗, 小澤哲也, 大山由廉, 長田きらら, 中山滋, 佐藤隆一, 霜田直史, 轟木絢貴, 野寄浩司. 頸椎除圧固定術後の嚥下障害に対する2週間の嚥下リハビリテーションの効果について. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 口述. 新潟
17. 甘粕康太, 井上達朗, 宮村伸, 佐藤卓也, 大舘隼, 前川健一郎, 渡部裕美子. 急性期脳卒中患者におけるPhase angleで定義したサルコペニアが退院時の機能的転帰および転帰先に与える影響. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 口述. 新潟
18. 甘粕康太, 井上達朗, 熊倉ひとみ, 朝妻えり子, 長谷川靖, 宮村伸, 渡部裕美子. 嚥下障害を呈す外来心不全患者に対し多職種介入が誤嚥性肺炎再発予防に有効であった一症例. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 口述. 新潟
19. 原卓也, 井上達朗, 堀田一樹, 和泉徹, 神谷健太郎, 椿淳裕, 藤田卓仙, 宮田裕章. 新たな骨格筋量指標の開発を目的とした母指球筋indexの提案とカットオフ値の算出. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. セレクション口述. 新潟
20. 田中希弥, 井上達朗, 堀田一樹, 和泉徹, 神谷健太郎, 椿淳裕, 藤田卓仙, 宮田裕章. 地域在住中高齢者の骨格筋量指標 Sonographic Thigh Adjustment Ratio (STAR) のカットオフ値算出と妥当性の検討. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. U30セレクション. 新潟
21. 酒井悠生, 井上達朗, 堀田一樹, 和泉徹, 神谷健太郎, 椿淳裕, 藤田卓仙, 宮田裕章. 母指球筋に着目した新たな骨格筋量指標の開発ー地域在住中高齢者を対象とした横断研究ー. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 口述. 新潟
22. 垣内優芳, 井上達朗, 小林光, 海老名葵, 中野元, 笕哲也, 田中利明, 西原賢在. 高齢肺結核患者における入院中死亡を予測する因子. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. セレクション口述. 新潟
23. 小澤哲也, 出岡有希, 佐藤彩葉, 平田萌々花, 佐藤滉晴, 内山祈, 善波雄一郎, 匹野晴香, 佐藤隆一, 井上達朗, 霜田直史, 成毛崇, 弓削大. 高齢心不全患者においてbody mass index低値と運動習慣がないことは予後を悪化させる. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 口述. 新潟
24. 藤川孝, 近藤心, 斎藤貴, 井上達朗, 三栖翔吾, 大竹康平, 小野玲. 気管竜骨レベルで評価した骨格筋量によるサルコペニアが特発性肺疾患患者の長期予後へ与える影響. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 口述. 新潟
25. 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 岡村正嗣, 白土健吾, 白井信行, 平山昌男, 平郡康則, 谷宮尚樹, 岡田梨沙, 井上茂樹. 血液透析患者における悪液質の有症率およびQOLの関連. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会. 2023.9.17-9.18. 口述. 新潟
26. 清水昭雄, 井上達朗, 前田圭介. 回復期病棟入院高齢者のオステオサルコペニアは機能的転帰と関連しな

- かった。第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会。2023.9.17-9.18。口述。新潟
27. 近藤心, 井上達朗, 齊藤貴, 松田拓, 梅村公子, 佐藤紀, 兼松康久, 小野玲, 秋末敏宏, 高木康志, 松浦哲也。急性期脳梗塞患者のサルコペニアが1年後の機能予後に及ぼす影響: 前向きコホート研究。第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会。2023.9.17-9.18。口述。新潟
 28. Okamura M, Shirado K, Shirai N, Yagi T, Inoue T, Ogawa M, Erin Stella Sullivan, Stephan von Haehling, Jochen Springer, Stefan D. Anker, Momosaki R. Combined nutritional and exercise interventions for cachexia in chronic diseases: a systematic review. 16th International Conference on Sarcopenia, Cachexia and Wasting Disorders. 2023.6.17. Sewden
 29. Saino Y, Kawase F, Nagano A, Ueshima J, Kobayashi H, Murotani K, Inoue T, Nagami S, Suzuki M, Maeda K. Prevalence and Diagnostic criteria of sarcopenic obesity in colorectal cancer: A scoping review. 9th Asian Conference for Frailty and Sarcopenia. 2023.10.27. Singapore
 30. Ueshima J, Inoue T, Saino Y, Kobayashi H, Murotani K, Kawase F, Suzuki M, Nagano A, Nagami S, Maeda K. Identifying diagnostic criteria and prevalence of cachexia in Asians: a scoping review. 9th Asian Conference for Frailty and Sarcopenia. 2023.10.27. Singapore
 31. Uchiyama I, Tsubaki A, Inoue T, Ozawa T, Ozawa Y, Arayama Y, Hirata M, Zenba Y, Sato R, Shimoda N, Suzuki R. Effects of type 2 diabetes mellitus on prefrontal hemodynamics during the postural alteration in patients with acute cerebral infarction. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023. 2023.9.27-10.1. Tokyo

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養・嚥下理学療法学会（理事），日本老年療法学会（理事，広報委員長），日本臨床栄養代謝学会（学術評議員，関東甲信越ブロック世話人），日本リハビリテーション栄養学会（理事，学術雑誌編集委員，教育委員会委員，論文賞選考委員会委員，理学療法士部会役員），日本骨粗鬆学会（骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員），日本転倒予防学会（学術委員），日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本サルコペニア・フレイル学会，日本老年医学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，大会長，新潟，2023.9.17-9.18，2022.4.1-活動
 2. 第13回日本リハビリテーション栄養学会，準備委員，三重，2024.3.2，2022.4.1-活動
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本栄養・嚥下理学療法学会 理事
 2. 日本理学療法学会連合 国際委員会委員
 3. 日本老年療法学会 理事，広報委員長
 4. 日本臨床栄養代謝学会 学術評議員，関東甲信越ブロック世話人
 5. 日本リハビリテーション栄養学会 理事，学術雑誌編集委員，教育委員，論文賞選考委員，理学療法士部会 役員
 6. 日本骨粗鬆学会 骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員
 7. 日本転倒予防学会（学術委員）
 8. サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン ガイドライン作成委員
 9. 生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドライン ガイドライン作成委員
 10. サルコペニア・フレイル栄養管理ガイドライン ガイドライン作成委員
 11. リハビリテーション栄養ガイドライン2024 ガイドライン作成委員
 12. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会 大会長
 13. 日本理学療法士協会 理学療法にかかわる研究助成 審査委員
 14. The Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 査読

15. Progress in Rehabilitation Medicine 査読
16. Geriatrics & Gerontology International 査読
17. European Geriatric Medicine 査読
18. Clinical Nutrition 査読
19. Clinical Nutrition ESPEN 査読
20. Journal of General and Family Medicine 査読
21. Nutrition 査読
22. Archives of Gerontology and Geriatrics 査読
23. 学会誌JSPEN, 査読
24. リハビリテーション栄養, 査読
25. 第2回日本老年療法学会学術集会 シンポジウム 座長
26. 第2回日本老年療法学会学術集会 演題査読
27. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会 シンポジウム 座長
28. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会 ランチョンセミナー 座長
29. 第13回日本リハビリテーション栄養学会学術集会 シンポジウム 座長
30. 第13回日本リハビリテーション栄養学会学術集会 演題査読

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県理学療法士会 第114回研修会, 「理学療法に必要な栄養問題の知識とリハビリテーション栄養の基礎」, 講師, 新潟県理学療法士会, 専門職, 新潟, 2023.6.25.
2. 山形栄養とリハビリテーションの研究会, 要介護高齢者のリハビリテーションと栄養, 講師, 山形栄養とリハビリテーションの研究会, 専門職, 山形, 2023.12.1.
3. リハ栄養推進協議会, フレイル・要介護高齢者の栄養理学療法, 講師, クリニコリハ栄養フォーラム 2023, 専門職, 東京, 2023.7.30.
4. 新潟県理学療法士会 第7回領域別研修会 (心管理理学療法), 栄養からみた循環器理学療法, 講師, 新潟県理学療法士会, 専門職, 新潟, 2024.2.18.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報3/4朝刊 健康いきいきコーナー

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県健康づくり財団, 慶応義塾大学, 北里大学, 新潟医療福祉大学, 東京大学, トキめき会 (地域住民の身体機能・認知機能の測定). 佐渡市総合体育館, 2023.12.8-12.9.
2. 新潟医療福祉大学理学療法学科学生4名, 健康栄養学科10名, 村上市介護予防事業, 村上公民館, 2023.3.12.

4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

魚沼市におけるデータを活用したフレイル予防モデル事業 ワーキンググループ委員, 新潟県フレイル克服プロジェクト 委員

5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本栄養・嚥下理学療法学会 (理事, 国際委員), 日本老年療法学会 (理事, 広報委員長), 日本臨床栄養代謝学会 (学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人), 日本リハビリテーション栄養学会 (学術雑誌編集委員, 教育委員会委員, 論文賞選考委員会委員, 理学療法士部役員), 日本骨粗鬆学会 (骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員), 日本転倒予防学会 (学術委員), 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本サルコペニア・フレイル学会, 日本老年医学会

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年度, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 母指球筋を用いた新たな筋量指標の開発

と疾患予後を予測する指標への応用，研究代表者

2. 2023年度，日本老年医学会 高齢者栄養研究助成，筋と骨の同時測定によるオステオサルコペニアの革新的評価法の開発と栄養学的バイオマーカーの解明による予防・介入戦略の検討，研究代表者
3. 2022年度，国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）令和4年度予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業ヘルスケア社会実装基盤整備事業，サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン開発研究，研究分担者
4. 2022年度，厚生労働省老健局 厚生労働科学研究費補助金（長寿政策研究事業），生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドラインおよびマニュアルの整備に資する研究，研究分担者

2) 受賞，学位取得，資格取得

1. 優秀演題賞，原卓也，井上達朗，堀田一樹，和泉徹，神谷健太郎，椿淳裕，藤田卓仙，宮田裕章，新たな骨格筋量指標の開発を目的とした母指球筋indexの提案とカットオフ値の算出，第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，2023.9.17-9.18，セレクション口述，新潟
2. 若手賞，田中希弥，井上達朗，堀田一樹，和泉徹，神谷健太郎，椿淳裕，藤田卓仙，宮田裕章，地域在住中高齢者の骨格筋量指標Sonographic Thigh Adjustment Ratio（STAR）のカットオフ値算出と妥当性の検討，第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，2023.9.17-9.18，U30セレクション，新潟
3. 大会長賞，垣内優芳，井上達朗，小林光，海老名葵，中野元，笥哲也，田中利明，西原賢在，高齢肺結核患者における入院中死亡を予測する因子，第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，2023.9.17-9.18，セレクション口述，新潟

3) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション病院 骨粗鬆リエゾン委員会 オブザーバー
2. 国立長寿医療研究センター 老年内科 外来研究員
3. 神戸大学大学院 保健学研究員

- 8 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会（委員），社会連携推進センター運営委員会（委員），運動機能医科学研究所（研究員），互助会（委員），納涼会幹事

氏名：小島 翔

- 1 研究題目 触覚刺激の刺激効果に関する研究，脳卒中患者に対する脳刺激介入の個人差に関する研究
- 2 論文

1. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekikne C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of transcutaneous auricular vagus nerve stimulation at left cymba concha on experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex, and correlation with parasympathetic activity. 2024; Eur J Neurosci. (JCR). (review)
2. Maruyama Y, Kojima S, Onishi H. Discrimination of the moving direction is improved depending on the pattern of the mechanical tactile stimulation intervention. 2024; 25(1): 15. BMC Neurosci. (JCR). (review)
3. Sasaki R, Kojima S, Otsuru N, Yokota H, Saito K, Shirozu H, Onishi H. Beta resting-state functional connectivity predicts tactile spatial acuity. 2023; 33(16): 9514-9523. Cereb Cortex.(JCR). (review)

3 学会等研究発表

1. 小島翔，長坂和明，椿淳裕，紙谷貴裕，大西秀明，脳卒中患者に対する経頭蓋直流電流刺激効果と脳灰白質容積との関連リハビリテーション医療DX研究会，第1回学術集会（石垣島），2023.4.22-4.23.
2. 渡邊拓，井上大聖，久保田雅史，松尾英明，山岸永典，前田康恵，松村真裕美，佐藤友理，小島翔，井川正道，坪川操，体性感覚機能および手指巧緻性低下を主症状とした急性期脳梗塞症例2例の体性感覚誘発電位の経時的変化，第21回日本神経理学療法学会学術大会（横浜），2023.9.9-9.10.

3. 丸山雄基, 芝田純也, 小島翔, 美馬達哉, 大西秀明. 経頭蓋交流電気刺激のリズムに同期させた正中神経刺激介入が体性感覚機能および皮質興奮性に及ぼす影響. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (福岡市), 2023.11.30-12.2.
 4. 星春輝, 芝田純也, 小島翔, 北谷亮輔, 美馬達哉, 大西秀明. 高強度の反復的な随意運動が皮質筋コヒーレンスに及ぼす影響. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (福岡市), 2023.11.30-12.2.
 5. 齋藤大河, 小島翔, 星春輝, 大西秀明. 制御方法の異なる運動練習が短潜時求心性抑制に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
 6. 稲村日香里, 小島翔, 星春輝, 大西秀明. 視覚情報に関連付けられた感覚経験が主観的な体性感覚強度に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
 7. 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. テクスチャーの異なる Active Touch 介入が皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床神経生理学会, 日本生体磁気学会, 全国大学理学療法学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第12回日本認知症予防学会学術集会, 運営, 報告書作成, 新潟市, 2023.9.15-9.18.
 2. 2023年度理学療法教員協議会, 運営, WEB開催, 2024.1.27.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本基礎理学療法学会, 第28回日本基礎理学療法学会学術集会, 座長, 広島市, 2023.12.2-12.3.
 2. 日本基礎理学療法学会, 第28回日本基礎理学療法学会学術集会, 演題査読, 広島市, 2023.12.2-12.3.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 臨床実習指導者講習会, 講師・ファシリテーター, 新潟医療福祉大学, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2023.8.24-8.25.
 2. 第8回領域別研修会 (神経系), 電気刺激療法により痙縮が軽減するメカニズムならび効果的な刺激方法, 講師, 新潟県理学療法士会, 医療従事者, WEB開催, 2024.3.2.
 3. 丸川病院院内勉強会, 経頭蓋直流電流刺激の効果と応用, 講師, 丸川病院, 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士, 入善町, 2024.7.20.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 研究分担者
 2. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開, 研究代表者
 3. 2019年度, 科研費基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
- 7 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会, 運動機能医科学研究所, 脳卒中リハビリテーション研究センター

氏名: 宮口 翔太

- 1 研究題目 経頭蓋電流刺激法が運動学習に与える効果に関する研究
- 2 論文
 1. Takahashi H, Inukai Y, Miyaguchi S, Otsuru N, Kawakami S, Onishi H. Effects of noisy galvanic vestibular stimulation on functional reach test. Neuroscience Letters. 27(810). 2023. (査読あり)
 2. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial alternating current stimulation

does not affect microscale learning. Behavioural Brain Research. 459. 2024. (査読あり)

3. Ikarashi H, Otsuru N, Gomez-Tames J, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. European Journal of Pain. 00:1-11. 2024. (査読あり)
4. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekine C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of transcutaneous auricular vagus nerve stimulation at left cyma concha on experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex, and correlation with parasympathetic activity. European Journal of Neuroscience. 1-10. 2024. (査読あり)

3 報告書

1. 宮口翔太. 基盤研究 C, マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 右前頭-後頭葉への経頭蓋交流電流刺激が空間性注意に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
2. 山本峻平, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が運動学習に与える効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
3. 小野優翔, 犬飼康人, 高橋ひろな, 川上紗輝, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への陰極経頭蓋直流電流刺激が立位重心動揺に与える効果と前庭脊髄機能との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
4. 井上歩実, 長坂和明, 宮口翔太, 櫻井典子, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 小脳と前頭前野への経頭蓋交流電気刺激が後部島皮質の活動に与える影響: 機能的磁気共鳴画像法を用いた検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
5. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 神居寧, 高橋ひろな, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 運動学習が瞳孔径および脳活動に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法士学会, 日本臨床神経生理学会, 日本理学療法教育学会 (庶務)

6 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県理学療法士会, 理学療法講習会第二回領域別研修会 (運動器), 運営委員 (受付, 会場係), 新潟市, 2024.3.16-3.17.
2. 全国大学理学療法教育学会, 令和5年度定時総会 (オンライン) 2023.11.24.

2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県理学療法士会 (学術部員), 日本理学療法士協会 認定・専門理学療法士制度委員会 (班員)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案, 研究代表者
2. 2019年度, 科学研究費補助金基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者

- 8 学内委員会活動 高等教育推進センター (初年次教育推進部会), 運動機能医科学研究所, SHAIN プロジェクト (基礎的研究メンバー)

氏名：高林 知也

1 研究題目 ランニング障害に関する研究, 足部バイオメカニクスに関する研究, シミュレーションに関する研究

2 著書

1. 高林知也. ランニング障害－医科学から考える－長距離ランニングのバイオメカニクス. 臨床スポーツ医学. 東京：文光堂；2023：1094-1097.
2. 高林知也. 関節間トレードオフ. 理学療法ジャーナル. 東京：医学書院；2023：542-547.
3. 稲井卓真, 高林知也. 変形性股関節症の危険因子と歩行特徴. 東京：整形外科. 2023：606-608.

3 論文

1. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Effect of change in patellofemoral joint contact area by the decrease in vastus medialis muscle activation on joint stress. Acta of Bioneengineering and Biomechanics (JCR). 2023; 25(2): 41-47 (review)
2. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Arch height flexibility is associated with plantar fascia tension during running. Gait & Postures (JCR). 2023; 108: 270-274 (review)
3. Takahashi M, Takabayashi T (責任著者), Kamijo H, Kikumoto T, Kubo M. Effect of repetitive loading from 5 km of running on plantar pressure in healthy young participants. Journal of the American Podiatric Medical Association (JCR). (In-press) (review)
4. Inai T, Takabayashi T. Lower-limb sagittal joint angles during gait can be predicted based on foot acceleration and angular velocity. PeerJ (JCR). 2023; 18(11): 1-16 (review)
5. Watanabe T, Takabayashi T, Kikumoto T, Kikuchi Y, Suzuki S, Hiratsuka S, Kubo M. Differences in abductor hallucis activity during running in individuals with chronic ankle instability and copers. Gait & Posture (JCR). 2024; 108: 22-27 (review)
6. Koshino Y, Takabayashi T, Akuzawa H, Mizota T, Numasawa S, Kobayashi T, Kudo S, Hikita Y, Akiyoshi N, Edama M. Differences and relationships between weightbearing and non-weightbearing dorsiflexion range of motion in foot and ankle injuries. Journal of Orthopaedic Surgery and Research (JCR). 2024; 19(115): 1-8 (review)
7. Kikumoto T, Suzuki S, Takabayashi T, Kubo M. Center of Pressure Deviation during Posture Transition in Athletes with Chronic Ankle Instability. International Journal of Environmental Research and Public Health. 2023; 20(8): 1-10 (review)

4 学会等研究発表

1. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 扁平足の足部評価方法の現状と今後の展望. 第4回足の構造と機能研究会学術集会 (新潟), 2024.5.27-5.28. (シンポジウム)
2. 高林知也, 江玉睦明. Foot posture indexの各項目スコアとランニング中の足部内モーメントの関連. 第48回日本足の外科学会 (大阪), 2024.10.26-10.27.
3. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. ランニング中の足部内バイオメカニクス. 第34回臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2024.11.11-11.12. (シンポジウム)
4. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 扁平足アライメントはランニング中の足関節・ショパール関節・リスフラン関節の内がえしモーメントと関連する. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (大宮), 2024.1.6-1.7.
5. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. Arch height flexibilityとランニング中の足底腱膜張力は関連する. 第36回ランニング学会大会 (Web), 2024.3.23. (シンポジウム)
6. 江玉睦明, 高林知也, 長南晴樹, 坂本航大. 前脛骨筋腱の付着部と付着部表面積の検討. 第48回日本足の外科学会 (大阪), 2024.10.26-10.27.
7. 平塚栞, 高林知也, 鈴木駿佑, 渡邊貴博, 菊元孝則, 久保雅義. 扁平足のタイプと膝関節屈曲角度の違いが静止立位時の下肢アライメントに与える影響. 第4回足の構造と機能研究会学術集会 (新潟),

2024.5.27-5.28.

8. 平塚栞, 高林知也, 鈴木駿佑, 菊元孝則, 久保雅義. 扁平足者の足部アーチ柔軟性がランニング時の下肢関節運動に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会(広島), 2024.12.2-12.23.
9. 平塚栞, 高林知也, 鈴木駿佑, 菊元孝則, 久保雅義. 荷重によって変化する足長は足部アーチ柔軟性の指標となるか?. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会(大宮), 2024.1.6-1.7.
10. 緒方嵩人, 高林知也, 遠間悠貴, 菊元孝則, 平塚栞, 久保雅義. 立位ストリームラインにおける上部・中部・下部胸椎角度と上部・下部腰椎角度の関連性. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会(大宮), 2024.1.6-1.7.
11. 西口はのか, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ランニング時の足部接地パターンの違いが足底O膜張力に与える影響について. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会(大宮), 2024.1.6-1.7.
12. 長島萌, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ダンサーのアラベスクにおける上部・中部・下部胸椎と上部・下部腰椎の関連性. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会(大宮), 2024.1.6-1.7.
13. 鈴木駿佑, 菊元孝則, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 足関節の客観的構造評価と荷重時における最大背屈角度の関係性の検証. 第34回臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2024.11.11-11.12.
14. 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ArchHeight Flexibilityはランニング時の母趾外転筋活動と関連する. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会(大宮), 2024.1.6-1.7.
15. 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 溝田丈士, 沼澤俊, 小林匠, 工藤慎太郎, 疋田佳希, 秋吉直樹, 江玉睦明. 足部・足関節運動器疾患に対する足関節背屈可動域測定方法の検討—測定方法間の違いと相関性の検討. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会(大宮), 2024.1.6-1.7.
16. 菊元孝則, 平塚栞, 遠間悠貴, 緒方嵩人, 高林知也, 久保雅義. 超音波画像診断装置による構造的評価に着目した慢性足関節不安定症の選定基準の再考. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会(大宮), 2024.1.6-1.7.
17. 菊元孝則, 鈴木駿佑, 高林知也, 久保雅義. 運動連鎖の遮断による慢性足関節不安定症における運動行動障害の検証
18. 江玉睦明, 高野倖, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 高林知也, 大森豪. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係. 第34回臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2024.11.11-11.12.
19. 工藤慎太郎, 片山将, 金子史弥, 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 小林匠, 江玉睦明. 荷重位背屈制限を有する慢性足関節不安定症における距舟関節の可動性. 第48回日本足の外科学会(大阪), 2024.10.26-10.27.
20. 坂本航大, 長南晴樹, 高林知也, 江玉睦明. 第一足根中足関節関節面の形状と関節変性の関係. 第48回日本足の外科学会(大阪), 2024.10.26-10.27.
21. 菊元孝則, 高林知也, 久保雅義. バスケットボール競技における1-2次予防の取り組みから考察する0次予防. 第10回日本予防理学療法学会学術大会(函館), 2023.10.28-10.29. (シンポジウム)
22. 緒方嵩人, 高林知也, 遠間悠貴, 菊元孝則, 平塚栞, 久保雅義. 立位および腹臥位ストリームラインにおける脊柱角度の違い. 第34回臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2024.11.11-11.12.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 足の構造と機能研究会(理事), 日本スポーツ理学療法学会(機関紙編集委員), 日本スポーツ理学療法学会(国際認定資格検討委員), 日本スポーツ理学療法学会(学術庶務委員), 日本基礎理学療法学会(超音波画像診断装置使用に関する検討委員), 日本臨床スポーツ医学会, 日本足の外科学会, 新潟スポーツ理学療法研究会, 全国大学理学療法学会, 新潟県士会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本理学療法士教員協議会, 運営, オンライン, 2024.1.27.
 2. 第4回足の構造と機能研究会学術集会, 運営, 新潟, 2023.5.27-5.28.

3) 学会等でのその他の活動

1. Gait & Posture, 査読
2. Journal of Sports Sciences, 査読
3. Journal of Biomechanics, 査読
4. スポーツ理学療法学, 査読
5. Scientific Reports, 査読
6. Journal of Biomechanics, 査読
7. Sensor, 査読
8. Journal of Biomechanics, 査読
9. Physical Therapy in Sports, 査読
10. Clinical Biomechanics, 査読
11. Medical Engineering & Physics, 査読
12. Applied Sciences, 査読
13. Journal of Biomechanics, 査読
14. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 研修会, 新潟県での理学療法士の学び方～理学療法士協会と生涯学習の話～, 事務局, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟医療福祉大学, 2023.6.1-7.5.
2. 研修会, 新潟県での理学療法士の学び方～理学療法士協会と生涯学習の話～, ファシリテーター・運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟医療福祉大学, 2023.6.1-7.5.
3. セミナー, 第24回足の病気の専門家webセミナー, 講師, 日本足の外科学会, 医師・理学療法士, Web, 2023.7.19.
4. 研修会, はじめてみよう!「症例・事例共有」座談会, 事務局, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟医療福祉大学, 2023.9.10-11.19.
5. 研修会, はじめてみよう!「症例・事例共有」座談会, 運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟医療福祉大学, 2023.11.19.
6. セミナー, 足部評価方法と足部バイオメカニクス, 講師, 新潟医療福祉大学同窓会, 理学療法士, Web, 2023.8.4.
7. 新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー, 講座講座3_足部とランニング障害の関係性について, 講師, 市民, 新潟市(オンライン), 2023.4.1-2024.3.31.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. NST, 八千代コスター, 3次元動作解析装置Viconとは, 2023.7.15.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本基礎理学療法学会, News記事作成(研究室紹介～バイオメカニクス研究を理学療法へ還元する～), 作成者, 理学療法士, 2024.2.27.

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県士会東ブロックネットワーク(事務局委員)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2023, 科研費基盤研究C, 情報を用いた筋骨格有限要素モデルによる扁平足のタイプ別での骨・軟部組織負荷, 研究代表者
2. 2023, 科研費基盤研究B, アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発, 研究分担者
3. 2021, 科研費基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明,

研究分担者

4. 2022, 科研費基盤研究C, 大規模調査による慢性足関節不安定症のタイプ分類と再発リスク因子の解明, 研究分担者
5. 2023, 科研費国際共同研究加速基金(腱障害の病態解明と病態別治療プログラムの確立, 研究分担者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
バイオメカニクス研究最優秀論文賞 (2023.9.5)
- 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション病院 (非常勤勤務), 理学療法士, 2016.6~ (現在)
 2. 二王子とっさか (非常勤勤務), 理学療法士, 2019.1~ (現在)
- 8 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会 (部会長), 運動機能医科学研究所 (所員)

氏名 : 長坂 和明

- 1 研究題目 神経損傷後の可塑性に関する研究, 病的疼痛に対する治療法研究

2 論文

1. Sakurai N, Nagasaka K, Sasaki K, Yuguchi Y, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. The relaxation effect of autonomous sensory meridian response depends on personal preference. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2023; 17: 1249176. (review)
2. Ikarashi H, Otsuru N, Gomez-Tames J, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. *European Journal of Pain*. 2024, in press (review)

3 報告書

1. 長坂和明. 若手研究, 島皮質の活動をリモート制御する大脳皮質電気刺激法の確立, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 小島翔, 長坂和明, 椿淳裕, 紙谷貴裕, 大西秀明. 脳卒中患者に対する経頭蓋直流電流刺激効果と脳灰白質容積との関連. リハビリテーション医療DX研究会 第1回学術集会 (石垣市), 2023.4.22-4.23.
2. Kitatani R, Otsuru N, Inukai Y, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Shibata S, Onishi H. Influence of postural control difficulty on changes in visuospatial attention after leftward prism adaptation. The International Society of Posture and Gait Research World Congress 2023 (ハイブリッド), 2023.7.9-7.13.
3. 長尾彩音, 長坂和明, 小川有生人, 大西秀明. 脳梁膨大後部皮質から前頭前野領域への神経回路に対する電気生理学的研究. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (千葉市), 2023.10.21.
4. 長坂和明, 松田圭司, 肥後範行. 低頻度および高頻度の反復経頭蓋磁気刺激が疼痛関連の脳活動に与える影響. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (千葉市), 2023.10.21.
5. 小川有生人, 長坂和明, 鈴木孝昇, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 脳幹部出血が機械刺激および寒冷刺激に対する逃避行動へ与える影響 -新規脳卒中後疼痛モデル動物の確立に向けて-. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (千葉市), 2023.10.21.
6. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核への持続的な電気刺激が一次体性感覚野における神経応答へ与える影響. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (千葉市), 2023.10.21.
7. 長尾彩音, 長坂和明, 鈴木孝昇, 小川有生人, 大西秀明. 一次運動野への異なる周波数の電気刺激が一次体性感覚野の神経活動に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
8. 小川有生人, 長坂和明, 鈴木孝昇, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 脳幹部出血が機械刺激および寒冷刺激に対する逃避行動へ与える影響 -新規脳卒中後疼痛モデル動物の確立に向けて-. 第28回日本基礎理学

療学会学術大会（広島市），2023.12.2-12.3.

9. 安達航希, 長坂和明, 長尾彩音, 鈴木孝昇, 大鶴直史, 大西秀明. 中脳腹側被蓋野の一過性の電気刺激が一次体性感覚野の活動に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（広島市），2023.12.2-12.3.
10. 渡辺佳音, 長坂和明, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体の事前損傷が脳卒中後疼痛の発症に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（広島市），2023.12.2-12.3.
11. 井上歩実, 長坂和明, 宮口翔太, 櫻井典子, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 小脳と前頭前野への経頭蓋交流電気刺激が後部島皮質の活動に与える影響：機能的磁気共鳴画像法を用いた検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（広島市），2023.12.2-12.3.
12. 高橋ひろな, 犬飼康人, 長坂和明, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 立位安定性に関連する構造学的特徴を有する脳領域の検討：Voxel-based morphometry（VBM）を用いた研究. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（福岡市），2023.11.30-12.2.
13. 高橋ひろな, 犬飼康人, 長坂和明, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. ロンベルグ比に関連する構造学的特徴を有する脳領域の検討. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（広島市），2023.12.2-12.3.
14. 長坂和明. 脳イメージング手法と組織学的手法を用いた脳卒中後の神経可塑性の理解－脳卒中サルモデルからの知見－, 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（福岡市），2023.11.30-12.2. 【教育講演】

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 新潟医療福祉学会, 脳機能とリハビリテーション研究会（理事）, 日本疼痛学会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経理学療法学会, 日本神経科学学会, 日本生理学会

2) 学術集会の主催

1. 脳機能とリハビリテーション研究会, 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 実行委員（副委員長）, 千葉市, 2023.10.21・2023.4.1-11.1.
2. 脳機能とリハビリテーション研究会, 第30回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 実行委員長（準備委員長）, 千葉市, 2024.11.30・2023.12.1-2024.3.31.

3) 学会等でのその他の活動

1. 理学療法学, 査読委員
2. 神経理学療法学, 査読委員
3. Journal of Rehabilitation Neurosciences, Editor
4. 全国大学理学療法教育学教育学会, 事務局（庶務）
5. 第12回日本認知症予防学会学術集会, 運営スタッフ, 新潟市, 2023.9.15-9.17.
6. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 総合司会, 千葉市, 2023.10.21.
7. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 座長, 千葉市, 2023.10.21.
8. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 演題査読, 千葉市, 2023.8.1-8.15.
9. Journal of Rehabilitation Neurosciences, 論文査読
10. 第28回日本基礎理学療法学会, 演題査読
11. Journal of pain research, 論文査読
12. 日本神経理学療法学会, 戦略的課題解決委員会, 「中枢性疼痛」班員

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 脳卒中リハビリテーション研究センターオンラインセミナー, 脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の基礎と臨床応用, 講師, 新潟医療福祉大学（脳卒中リハビリテーション研究センター主催）, リハビリテーションスタッフ・学生・大学院生, 2023.7.29.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度, 基盤研究B, 脳卒中後疼痛の発症を予測する神経活動バイオマーカーの確立と新たな治療戦略の創出, 研究代表者

2. 2021年度, 基盤研究B, 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開, 分担研究者
3. 2019年度, 基盤研究A, 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 分担研究者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

特許, 神経伝達物質の計測方法, 特許7450254号, 発明者, 山本慎也, 鈴木祥夫, 増田佳丈, 山根茂, 木村辰雄, 高島一郎, 長坂和明, 仲田真理子, 岡田智, チェビルギユ, 登録日2024.3.7.
- 8 学内委員会活動 高等教育推進センター委員会, 運動機能医科学研究所 (研究員)

氏名: 徳永 亮太

- 1 研究題目 慢性疼痛の脳内神経機序の解明, 侵害刺激時の脳血流・神経活動変化, 体性感覚刺激時の脳内セロトニン放出変化
- 2 論文
 1. Tokunaga R, Shibata H, Kurosawa M. Alteration of serotonin release response in the central nucleus of the amygdala to noxious and non-noxious mechanical stimulation in a neuropathic pain model rat. The Journal of Physiological Sciences (JCR) 2024 Mar 12; 74(1): 17 (review)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生理学会, 日本神経科学学会, 日本理学療法士協会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2023, 基盤研究C, 慢性腰痛による下行性疼痛制御系の変調機構と運動療法の効果, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. ケバック大学トロワリビエール校 兼任教授, 2022.9-2024.8.
- 5 学内委員会活動 FD・SD推進委員会, 動物実験委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 萩原 康雄

- 1 研究題目 先史時代集団の生活様式に関する研究, 遺跡出土人骨の古病理学的研究
- 2 論文
 1. Hagihara Y. Fibular diaphyseal curvature of the Jomon population. Anatomical Science International 98 (4), 2023: 548-557 (査読有)
- 3 報告書
 1. 萩原康雄. 若手研究, 再考: 海と山の縄文人ー四肢骨骨幹部から縄文人の生活様式を復元するー, 2019-2023, 代表
- 4 学会等研究発表
 1. 萩原康雄. 海の縄文人・山の縄文人. 第77回日本人類学会大会 (仙台・日本), 2023.10.7-10.9. 【シンポジウム】
 2. 萩原康雄. 相同モデルを用いた江戸時代の社会階層と下顎形態の関連性の検討. 第77回日本人類学会大会 (仙台・日本), 2023.10.7-10.9.
 3. 萩原康雄, 奈良貴史. 同一家系の江戸時代人骨群に認めた脊柱・胸郭の骨形態異常. 題129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇・日本), 2024.3.21-3.24.
 4. 松田和也, 萩原康雄, 奈良貴史. 江戸時代集団のシュモール結節. 題129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇・日本), 2024.3.21-3.24.
 5. 公開講座・長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 長岡藩牧野家の遺骨に認めた骨病変, 講師, 奈良貴史, 一般, 新潟, 2024.3.9-3.10. 【シンポジウム】

5 学会活動

1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本人類学会, 日本解剖学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第77回日本人類学会大会, 実行委員 (広報・会場運営), 仙台, 2023.10.7-10.9.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 講演会・夏季骨学セミナー, 下肢骨, 講師, 奈良貴史, 一般・研究者, 新潟, 2023.8.18-8.22.

2. 講演会・夏季骨学セミナー, 上肢骨, 講師, 奈良貴史, 一般・研究者, 新潟, 2023.8.18-8.22.

3. 講演会・豊栄中高年教養大学, 骨は語る～出土人骨から読み解く日本列島集団の形態・行動・病～, 一般, 新潟, 2023.5.26.

4. 講演会・考古科学セミナー, Measurements and analysis of the human skeletal morphology, 講師, 米田穰, 研究者・学生, アルマトイ, 2023.9.13.

5. 講演会・夏季骨学セミナー, 事務局, 奈良貴史, 一般・研究者, 新潟, 2023.8.18-8.22.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022, 若手研究, 骨形態から読み解く狩猟採集から農耕への生業転換に伴う日本列島集団の行動様式の変化, 萩原康雄, 代表

2. 2020, 学術変革領域研究 (A), 同位体比分析から見たヒトとモノの動態復元, 萩原康雄, 米田穰, 分担

8 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会・安全衛生委員会・大学院教務委員会・自然人類学研究所

氏名: 平林 怜

1 研究題目 脊髄相反性抑制増強法の開発, 咬合が運動機能に及ぼす影響に関する研究

2 論文

1. Hirabayashi R, Edama M, Takeda M, Yamada Y, Yokota H, Sekine C, Onishi H. Participant attention on the intervention target during repetitive passive movement improved spinal reciprocal inhibition enhancement and joint movement function. *European Journal of Medical Research (JCR)*. 2023 Oct 12; 28(1): 428. (査読あり)
2. Sakamoto K, Edama M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between first tarsometatarsal ligament morphology and its continuity with the fibularis longus and first tarsometatarsal joint degeneration. *Clin Anat (JCR)*. 2024 Apr 15. (査読あり)
3. Saito R, Shagawa M, Sugimoto Y, Hirai T, Kato K, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Edama M. Changes in the mechanical properties of the thigh and lower leg muscle-tendon units during the early follicular and early luteal phases. *Front Sports Act Living (JCR)*. 2024 Mar 26; 6: 1323598. (査読あり)
4. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekine C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of transcutaneous auricular vagus nerve stimulation at left cymba concha on experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex, and correlation with parasympathetic activity. *Eur J Neurosci (JCR)*. 2024 May; 59(10): 2826-2835. (査読あり)
5. Osanami H, Akuzawa H, Sakamoto K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Edama M. Validation of anterior ankle soft tissue dynamics and shear modulus for anterior ankle impingement syndrome after ankle fracture surgery. *Sci Rep (JCR)*. 2024 Mar 11; 14(1): 5863. (査読あり)
6. Sekine C, Yamamoto M, Hirabayashi R, Yokota H, Edama M. Comparison of trunk muscle activity

during lumbar stabilization exercises on stable and unstable surfaces. J Back Musculoskelet Rehabil (JCR). 2024; 37(3): 801-809. (査読あり)

7. Ishigaki T, Akuzawa H, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Edama M. Elbow valgus stress during towel drills in college baseball players. J Shoulder Elbow Surg (JCR). 2024 Apr; 33(4): 765-772. (査読あり)
8. Hirai T, Edama M, Togashi R, Osanami H, Saito R, Kato K, Shagawa M, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Anatomical study of type classification and surface area of attachment sites for tibialis anterior tendon. BMC Musculoskelet Disord (JCR). 2023 Aug 3; 24(1): 631. (査読あり)
9. Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Akuzawa H, Ishigaki T, Kikumoto T, Edama M. Comparison of trunk muscle thickness and brightness in collegiate female athletes with and without a history of low back pain. Isokinetics and Exercise Science (JCR). 2024 (in press) (査読あり)
10. Sekine C, Hayashi H, Hirabayashi R, Yokota H, Saisu K, Takabayashi T, Edama M. Comparison of trunk muscle activity while lifting objects of expected and unexpected weight with and without low back pain. Isokinetics and Exercise Science (JCR). 2023 (in press) (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 平林 脩, 阿部明日香, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 大森豪, 江玉睦明. 咬合強度と咬合バランスが着地動作に及ぼす影響. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
2. 平林 脩, 山田勇輝, 須貝菜央, 吉川悠人, 森山華帆, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 左右均衡な咬合は跳躍パフォーマンスを向上させる. 第34回日本スポーツ歯科医学会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
3. 吉川悠人, 平林 脩, 森山華帆, 須貝菜央, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 咬合強度の変化がヘディングパフォーマンスに及ぼす影響. 第34回日本スポーツ歯科医学会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
4. 森山華帆, 平林 脩, 須貝菜央, 吉川悠人, 岡田芳幸, 江玉睦明. 咬合強度の変化がサッカーのシュートパフォーマンスに及ぼす影響. 第34回日本スポーツ歯科医学会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
5. 須貝菜央, 平林 脩, 森山華帆, 吉川悠人, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 咬合強度が単純反応時間・選択反応時間に及ぼす影響. 第34回日本スポーツ歯科医学会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
6. 富樫菜央, 平林 脩, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 坂本航大, 江玉睦明. 高頻度で反復したストレッチングは柔軟性や筋力を向上させた. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
7. 山田開太, 平林 脩, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 坂本航大, 江玉睦明. 経皮的脊髄直電流電気刺激が脊髄興奮性に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
8. 若松優希, 平林 脩, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 坂本航大, 江玉睦明. ハムストリングスの動的ストレッチングが柔軟性と筋機能にもたらす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
9. 関根千恵, 江玉睦明, 阿久澤弘, 横田裕丈, 平林 脩, 石垣智恒, 菊元孝則, 松浦由生子, 大森豪. 女性アスリートにおける仙腸関節障害の頻度. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
10. 横田裕丈, 江玉睦明, 高杉梨紗, 平林 脩, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪. アスリートとノンアスリートにおける音楽聴取に対する運動パフォーマンスの変化と自律神経活動との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
11. 江玉睦明, 高野倅, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林 脩, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 高林知也, 大森豪. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
12. 江玉睦明, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林 脩, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 佐藤昇. 異なる股

関節肢位における大腿直筋起始腱の伸長量の違いについて. 第129回日本解剖学会学術集会(沖縄), 2024.3.21-3.23.

13. 長南晴樹, 阿久澤弘, 坂本航大, 横田裕丈, 平林愔, 関根千恵, 石垣智恒, 江玉睦明. 足関節前方軟部組織の動態および組織弾性の検証. 第4回足の構造と機能研究会学術集会(新潟), 2023.5.27-5.28.
14. 坂本航大, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林愔, 石垣智恒, 阿久澤弘, 関根千恵, 長南晴樹, 影山幾男. 第一足根中足靭帯の形態学的特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜), 2023.11.11-11.12.
15. 高野倅, 白井竜来, 田中悠大, 横田裕丈, 平林愔, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係~アスリートと非アスリートの比較~. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会(広島), 2023.12.2-12.3.
16. 白井竜来, 田中悠大, 高野倅, 横田裕丈, 平林愔, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 異なる股関節肢位における大腿直筋起始腱の伸長量の違いについて. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会(広島), 2023.12.2-12.3.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本体力医学会, 日本スポーツ歯科医学会, 日本物理療法学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 査読
 2. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 査読
 3. Sports, 査読
 4. Journal of Strength and Conditioning Research, 査読
 5. Sports Medicine and Health, 査読

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 指導者スキルアップ講座, 膝痛改善に向けた介入方法, 講師, 三条市体育文化会館, 理学療法士・健康運動士・アスレティックトレーナー, 三条市体育文化会館, 2024.2.3.
 2. 教育講習会, 痙攣改善の介入法, 講師, 相澤病院, リハビリ職, 相澤病院, 2023.7.21.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市, 2023.9.17.
 2. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 総理大臣杯全日本サッカートーナメント 北信越大会, 新潟市, 2022.7.3.

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2022-2024年度, 基盤研究(C), 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 研究代表者
 2. 2023-2024年度, デサントスポーツ助成, 研究代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
日本スポーツ歯科医学会第33回学術大会研究奨励賞(2023.11.18)
- 3) 学内部活動の実績
 1. 第51回 北信越大学サッカーリーグ1部 優勝(トレーナー)
 2. 第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会 優勝(トレーナー)
 3. 2022年度第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント ベスト8(トレーナー)
 4. 天皇杯JFA第103回全日本大学サッカー選手権大会 出場(トレーナー)
 5. 2023年度 第72回全日本大学サッカー選手権大会 出場(トレーナー)

7 学内委員会活動 アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, 広報委員会

氏名：横田 裕文

1 研究題目 経皮的迷走神経刺激，徒手療法が自律神経活動，痛み知覚，および運動機能に及ぼす影響の解明

2 論文

1. Sasaki R, Kojima S, Otsuru N, Yokota H, Saito K, Shirozu H, Onishi H. Beta resting-state functional connectivity predicts tactile spatial acuity. *Cerebral Cortex*. 2023; 33(16): 9514-9523 (review)
2. Sekine C, Hayashi H, Hirabayashi R, Yokota H, Saisu K, Takabayashi T, Edama M. Comparison of trunk muscle activity while lifting objects of expected and unexpected weight with and without low back pain. *Isokinetics and Exercise Science*. 2024; 32(1): 41-48 (review)
3. Hirai T, Edama M, Togashi R, Osanami H, Saito R, Kato K, Shagawa M, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Anatomical study of type classification and surface area of attachment sites for tibialis anterior tendon. *BMC Musculoskelet Disord*. 2023; 24(1): 631 (review)
4. Ishigaki T, Akuzawa H, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Edama M. Elbow valgus stress during towel drills in college baseball players. *J Shoulder Elbow Surg*. 2024; 33(1): 765-772 (review)
5. Hirabayashi R, Edama M, Takeda M, Yamada Y, Yokota H, Sekine C, Onishi H. Participant attention on the intervention target during repetitive passive movement improved spinal reciprocal inhibition enhancement and joint movement function. *Eur J Med Res*. 2023; 28(1): 428 (review)
6. Sekine C, Yamamoto M, Hirabayashi R, Yokota H, Edama M. Comparison of trunk muscle activity during lumbar stabilization exercises on stable and unstable surfaces. *J Back Musculoskelet Rehabil*. 2023; 12(22): (review)
7. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekine C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of transcutaneous auricular vagus nerve stimulation at left cymba concha on experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex, and correlation with parasympathetic activity. *Eur J Neurosci*. 2024; 3(12): (review)
8. Osanami H, Akuzawa H, Sakamoto K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Edama M. Validation of anterior ankle soft tissue dynamics and shear modulus for anterior ankle impingement syndrome after ankle fracture surgery. *Sci Rep*. 2024; 14(1): 5863 (review)
9. Saito R, Shagawa M, Sugimoto Y, Hirai T, Kato K, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Edama M. Changes in the mechanical properties of the thigh and lower leg muscle-tendon units during the early follicular and early luteal phases. *Front Sports Act Living*. 2024; 26(6): (review)
10. Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Akuzawa H, Ishigaki T, Kikumoto T, Edama M. Comparison of trunk muscle thickness and brightness in collegiate female athletes with and without a history of low back pain. *Isokinetics and Exercise Science*. 2024; (in press). (review)

3 学会等研究発表

1. 横田裕文，齊藤瑞貴，平林怜，関根千恵，阿久澤弘，石垣智恒，江玉睦明. 間欠刺激・連続刺激の違いによる経皮的迷走神経刺激（tVNS）が自律神経活動に及ぼす影響. 第76回日本自律神経学会総会（埼玉）
2. 横田裕文，江玉睦明，高杉梨紗，平林怜，関根千恵，阿久澤弘，石垣智恒，大森豪. アスリートとノンアスリートにおける音楽聴取が運動パフォーマンスに及ぼす影響の違いと自律神経活動との関連. 第31回日本臨床スポーツ医学会（横浜），2023.11.11-11.12.
3. 阿久澤弘，石垣智恒，平林怜，横田裕文，関根千恵，坂本航大，江玉睦明，大森豪. 第5中足骨に皮質骨肥厚を認める男子サッカー選手の足部の形態的特徴. 第31回日本臨床スポーツ医学会（横浜），2023.11.11-11.12.
4. 江玉睦明，高野倖，坂本航大，長南晴樹，横田裕文，平林怜，関根千恵，石垣智恒，阿久澤弘，高林知也，大森豪. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会（横浜），

2023.11.11-11.12.

5. 坂本航大, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林怜, 石垣智恒, 阿久澤弘, 関根千恵, 長南晴樹, 影山幾男. 第一足根中足靱帯の形態学的特徴. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
6. 石垣智恒, 阿久澤弘, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 江玉睦明, 大森豪. シャドーピッチングにおける肘外反ストレス. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
7. 関根千恵, 江玉睦明, 阿久澤弘, 横田裕丈, 平林怜, 石垣智恒, 菊元孝則, 松浦由生子, 大森豪. 女性アスリートにおける仙腸関節障害の頻度. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
8. 平林怜, 阿部明日香, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 咬合強度と咬合バランスが着地動作に及ぼす影響. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (横浜), 2023.11.11-11.12.
9. 望月慎吾, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が運動耐容能および心拍回復過程 (HRR) に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
10. 齊藤瑞貴, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 異なる刺激様式による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
11. 三浦里香, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が筋疲労後の筋発揮効率 (RFD) に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
12. 山波克彰, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 低強度の経皮的迷走神経刺激がワーキングメモリに与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.
13. 宮城良汰, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. tDCSとtVNSの同時適用による皮質脊髄路の興奮性への影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.2-12.3.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本運動器理学療法学会, 日本筋骨格系徒手理学療法研究会, 日本ウィメンズヘルス研究会
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟スポーツ医科学コンソーシアム キックオフシンポジウム, 受付・写真撮影, 新潟, 12.23.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第28回 日本基礎理学療法学会学術大会 演題査読
 2. 第11回 日本筋骨格系徒手理学療法研究会学術大会 演題査読

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 水泳トレーナー会議研修会, 「足関節の機能解剖とリハビリテーション」, 講師, 日本水泳トレーナー会議, 理学療法士, トレーナー等, 味の素ナショナルトレーニングセンター, 6.4.
 2. 日本アレルギーリハビリテーション協会主催研修会, 「ゾーンを語る会」, 講師, 日本アレルギーリハビリテーション協会, 理学療法士等, オンライン, 6.30.
 3. 徒手理学療法講習会, 「尾骨障害に対する評価と治療①」, 講師, こん整形外科, 理学療法士, こん整形外科, 6.12.
 4. 徒手理学療法講習会, 「尾骨障害に対する評価と治療②」, 講師, こん整形外科, 理学療法士, こん整形外科, 6.19.
 5. 徒手理学療法講習会, 「外側上顆炎に対する評価と治療①」, 講師, こん整形外科, 理学療法士, こん整形外科, 7.10.
 6. 徒手理学療法講習会, 「外側上顆炎に対する評価と治療②」, 講師, こん整形外科, 理学療法士, こん整形外科, 7.24.

7. 徒手理学療法講習会,「外側上顆炎に対する評価と治療③」,講師,こん整形外科,理学療法士,こん整形外科,12.23.
8. 徒手理学療法講習会,「浅筋膜に対する評価と治療」,講師,こん整形外科,理学療法士,こん整形外科,1.14.
9. 徒手理学療法講習会,「股関節前方インピンジメントに対する評価と治療①」,講師,こん整形外科,理学療法士,こん整形外科,1.26.
10. 徒手理学療法講習会,「股関節前方インピンジメントに対する評価と治療②」,講師,こん整形外科,理学療法士,こん整形外科,2.13.
11. 徒手理学療法講習会,「足関節可動域制限に対する評価と治療①」,講師,こん整形外科,理学療法士,こん整形外科,2.19.
12. 徒手理学療法講習会,「足関節可動域制限に対する評価と治療②」,講師,こん整形外科,理学療法士,こん整形外科,3.25.
- 2) 職能団体(協会,士会等)の委員
NPO法人IPA JAPAN(副代表)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2022年度,武田科学振興財団 医学系研究助成,「経頭蓋直流電流刺激(tDCS)と経皮的迷走神経刺激(tVNS)の同時適用による革新的な慢性疼痛治療法の開発」,横田裕丈.
 2. 2023年度,科研費若手研究,「脳刺激と迷走神経刺激の融合による効果的な筋発揮効率の改善手法の開発」,横田裕丈.
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部,2023日本学生陸上競技個人選手権大会,メディカルトレーナー,神奈川,2023.4.21-4.23.
 2. 陸上競技部,天皇賜盃第92回日本学生陸上競技対校選手権大会,メディカルトレーナー,埼玉,2023.9.14-9.17.
 3. 陸上競技部,第107回日本陸上競技選手権大会,メディカルトレーナー,大阪,2023.6.1-6.4.
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 特別養護老人ホーム,つきおかの里,2018.4-
 2. 国際メディカル専門学校,非常勤講師,運動学,2020.4-
 3. PhysioSquare Ginza,2022.6-
 4. 医療法人社団KOSMI こん整形外科,2023.3-
- 7 学内委員会活動 同窓会委員会,運動機能医科学研究所,アスリートサポート研究センター

氏名: 佐伯 史子

- 1 研究題目 古人骨の生活誌に関する研究(骨考古学),古人骨に観察される病変に関する研究(古病理学),古人骨の形態に関する研究(形質人類学)
- 2 著書
 1. 澤田純明,佐伯史子. 他27名の分担執筆. 東アジア考古科学の新展開. 1版. 東京:雄山閣;2024:1-200.
- 3 論文
 1. 鹿又喜隆,青木飛楠子,永瀬史人,澤田純明,佐伯史子,児玉大成. 青森県山野峠遺跡出土の土器棺等の再検討. Bulletin of the Tohoku University Museum. 2024; 23: 35-52. (査読あり)
 2. Sawada J, Sun G, Huang W, Kubota S, Saeki F, Okazaki K, Yoneda M, Nakamura S. Paleopathological characteristics of Neolithic early rice farmers in the lower reaches of the Yangtze river. Frontiers in Earth Science (JCR). 2023; 11: 1-9. (review)

3. 筑前滉太, 矢吹周平, 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史. 道正遺跡出土の焼骨片について. 道正遺跡第2・3・4次調査 岡崎遺跡第4・5次調査 (発掘調査報告書). 新潟市文化財センター. 2024; 146-151.
4. 澤田純明, 佐伯史子. 福山城下町遺跡から出土した人骨について. 松前町 福山城下町遺跡 (2) (発掘調査報告書). 北海道埋蔵文化財センター. 2024; 1-6.
5. 奈良貴史, 佐伯史子, 古澤采史. 附編 焼人骨について. 土橋遺跡 (発掘調査報告書). 2023; 附編 1-36
6. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 埼玉県志木市中野遺跡第122地点から出土した焼人骨の人類学的報告. 中野遺跡第122地点 埋蔵文化財発掘調査報告書. 2023; 76-79, 図版 18・19.
7. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 南蛇井北原田遺跡から出土した骨の人類学的報告. 南蛇井北原田遺跡; 蚊沼大神分遺跡: (一) 蚊沼川社会資本総合整備 (防災・安全) (5か年) 事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書. 2023; 423-426.
- 4 学会等研究発表
 1. 佐伯史子, 萩原康雄, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 奈良貴史, 米田穰, 遠部慎, 西本志保子, 小林謙一. 愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した2体の中・近世人骨. 第77回日本人類学会大会 (仙台市), 2023.10.7-10.9.
 2. Sawada J, Uzawa K, Toizumi T, Saeki F, Yanagita Y, Yoneda M. Nondestructive histomorphological species identification of burned bone fragments from the Late Pleistocene using high-resolution X-ray CT at SPring-8 in Japan. ICAZ 2023 (14th International Council for Archaeozoology Conference) (Cairns, Queensland, Australia), 2023.8.7-8.12.
 3. 谷川真由, 佐伯史子, 澤田純明. 江戸時代遺跡から出土した骨製サイコロの組織学的種同定. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇市), 2024.3.21-3.23.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本人類学会, 日本解剖学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本人類学会, 第90回日本人類学会大会, 実行委員, 仙台, 2023.10.7-10.9. (3日間)
- 6 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県阿賀野市土橋遺跡出土人骨の整理作業, 2023.4-7.
 2. 新潟県村上市上野遺跡出土人骨の整理作業, 2023.4- (継続中)
 3. 群馬県西上之宮遺跡出土骨の整理作業・鑑定業務, 2023.4-2024.3.
 4. 群馬県南蛇井北原田遺跡出土人骨の整理作業, 2023.4-12.
 5. 群馬県立歴史博物館, 破損した人骨製品 (文化財登録資料) の修復, 事前指導および修復作業, 群馬県立歴史博物館, 2023.4.22-5.8.
 6. 北海道福山城下町遺跡出土骨の整理作業・鑑定業務, 2023.5.1-8.31.
 7. 第9回夏期骨学セミナー, 事務局, 新潟医療福祉大学, 2023.8.18-8.22.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 解剖学的方法に基づく日本列島の各時代人類集団の正確な身長推定, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 個人情報保護委員会, 自然人類学研究所

氏名 : 太田 大樹

- 1 研究題目 骨格筋新規侵害受容器の形態分布の解析, 遅発性筋痛における機械受容チャネルの関与
- 2 論文
 1. Nasu T*, Kainuma R*, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Increased nociceptive behaviors and spinal c-Fos expression in the formalin test in a rat repeated cold stress model. Neurosci Res. 2023; 198: 30-

38. (review)

2. Ota H, Oi R, Katanosaka K, Mizumura K, Taguchi T. Expression profiles of Tmem120A/TACAN in rat skeletal muscle subjected to exercise and inflammation. Pain Research. 2024; 39(1): 35-39. (review)

3 報告書

1. 太田大樹. 基盤研究 (C), 遅発性筋痛における機械感受性イオンチャネルの役割の解明, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. Ota H, Tsuboshima K, Yokota I, Okada K, Hanamatsu H, Furukawa J, Kanagawa M, Katanosaka K, Taguchi T. ヒアルロン酸の筋内投与は伸張性収縮により生じる筋機械痛覚過敏の発症を抑制する. 第46回日本神経科学学会大会 (仙台), 2023.8.
2. 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋におけるRNAシーケンス解析. 第7回基礎理学療法学会若手研究者ネットワークシンポジウム (仙台), 2023.8.
3. 太田大樹. in vivo単一細径神経記録による骨格筋侵害受容線維の電気生理学的解析. 日本体力医学会特別大会-2023東京シンポジウム- (東京), 2023.9. 【シンポジウム】
4. 太田大樹, 田口徹. 炎症性/非炎症性筋痛モデルラットの後根神経節におけるTmem120AおよびTmem120B. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
5. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の筋で発現増大する新規遺伝子の探索. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
6. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の筋膜で発現変動した新規遺伝子および反応系. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
7. 野村成美, 野原菜々子, 太田大樹, 高橋ひろな, 犬飼康人, 田口徹. 全身振動刺激が重心動揺に及ぼす急性効果. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
8. 田口徹, 太田大樹. 高ナトリウム溶液投与による局所誘発筋電図の記録. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
9. 田口徹, 藤谷駿介, 佐藤圭悟, 太田大樹. マッサージの揉み返しを生じる圧刺激条件の探索. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
10. 田口徹, 佐藤圭悟, 藤谷駿介, 明博瑛, 太田大樹. 外耳への圧刺激に伴う関連痛領域の変化. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
11. 野原菜々子, 野村成美, 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳への圧刺激により生じる自覚的感覚強度の性差. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
12. 野村成美, 野原菜々子, 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳への圧刺激が重心動揺に及ぼす影響. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
13. 本間茂太郎, 太田大樹, 田口徹, 中山憲司. 遅発性筋痛時の脂質の代謝変化-質量分析技術の理学療法分野への活用-. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.
14. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットを用いた網羅的遺伝子解析. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.
15. 太田大樹. 遅発性筋痛のメカニズムとその予防. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12. 【シンポジウム】
16. 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. ヒト外耳への定量的圧刺激にともなう刺激検出閾値と自覚的感覚強度. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.
17. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットを用いた網羅的遺伝子解析. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.
18. 田口徹, 太田大樹, 植田愛美, 赤木淳二. ラットにおける筋痙攣モデル作製の試み. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島), 2023.12.
19. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋膜で検出された発現変動遺伝子.

第8回若手による骨格筋細胞研究会（東京），2024.2.

20. 太田大樹，片野坂公明，田口徹．骨格筋と筋膜における異なる遺伝子発現プロファイル．第101回日本生理学会大会（北九州），2024.3.

21. 田口徹，太田大樹，植田愛美，赤木淳二．高張食塩水投与による筋痙攣モデルラット作製の試み．第101回日本生理学会大会（北九州），2024.3.

5 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本筋学会，国際疼痛学会，日本運動器疼痛学会，日本理学療法士協会，日本疼痛学会，日本神経科学会，日本生理学会，日本体力医学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第28回日本基礎理学療法学会大会，演題査読，2023.8.

6 社会活動

1) 職能団体（協会，士会等）の委員

全国大学理学療法教育学会（経理課）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度，科研費基盤研究（C），遅発性筋痛の筋膜における発現変動因子の同定と機械痛覚過敏への関与解明，研究代表者

2. 2019年9月～2024年3月（継続），ファイザー製薬 学習と変革のための独立助成金：日本における疼痛治療の抜本的改革を支援する教育プログラム，慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築，プロジェクトメンバー

2) 受賞，学位取得，資格取得

日本生理学会認定生理学エディター取得（2024.1）

8 学内委員会活動 入試委員会，動物実験委員会，毒物・劇物管理委員会，遺伝子組換え実験安全委員会，運動機能医科学研究所

氏名：佐宗 亜衣子

1 研究題目 古人骨の口腔内古病理・健康指標にに関する研究，遺跡出土人骨群の形態学的研究，理化学分析と連携した古病理学的研究

2 論文

1. 米田穰，阿部芳郎，樋泉岳二，佐宗亜衣子．神奈川県夏島貝塚における土器付着炭化物と人骨の同位体分析からみた縄文時代早期の生業の地域性．駿台史学．2023；180：23-46.（査読あり）

3 学会等研究発表

1. 佐宗亜衣子，水野文月，植田信太郎．長岡藩牧野家の歯と顎骨にみられる病理痕と歯石について．日本考古学協会第88回総会（平塚市），2023.5.27-5.28.【シンポジウム】

2. 佐宗亜衣子，水嶋崇一郎．姥山貝塚B9号住居址出土人骨の古病理所見について．第77回日本人類学会大会（仙台市），2023.10.7-10.9.

3. 水嶋崇一郎，佐宗亜衣子．姥山貝塚B9号住居址出土人骨の形態特徴について．第77回日本人類学会大会（仙台市），2023.10.7-10.9.

4. 栗山佑基，水野文月，中伊津美，佐宗亜衣子，奈良貴史，舟橋京子，米元史織，松下真実，松下孝幸，山田孝，林美千子，黒崎久仁彦，植田信太郎，大橋順．江戸時代におけるヒト口腔内細菌叢の解析．第77回日本人類学会大会（仙台市），2023.10.7-10.9.

5. 佐伯史子，萩原康雄，澤田純明，佐宗亜衣子，奈良貴史，米田穰，遠部慎，西本志保子，小林謙一．愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した2体の中・近世人骨．第77回日本人類学会大会（仙台市），2023.10.7-10.9.

6. 佐宗亜衣子，安達登，平慶子，奈良貴史．神奈川県称名寺貝塚2号土壙墓人骨の性別判定：骨形態と

DNA分析. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会（那覇市），2024.3.21-3.23.

7. 川口颯斗, 佐宗亜衣子, 奈良貴史. 江戸時代人骨にみられる筋骨格ストレスマーカーと口腔状態の関係性. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会（那覇市），2024.3.21-3.23.
8. 佐宗亜衣子. 長岡藩牧野家の歯と顎骨にみられる病理と生活習慣の痕跡について. 「長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討 公開シンポジウム」（長岡市），2023.3.9-3.10. 【シンポジウム】
9. 佐宗亜衣子. 姥山B9号住居址人骨の埋葬状況. 「シンポジウム 姥山貝塚の5体の人骨の謎に迫る」（市川市），2023.3.10. 【シンポジウム】

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（理事），日本人類学会，American Association of Biological Anthropologists，日本解剖学会，日本考古学協会，日本古病理学研究会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本人類学会，第77回日本人類学会大会，大会実行委員，仙台市，2023.10.7-10.9・2023.3.-2024.1.
 2. 一般公開シンポジウム「姥山貝塚の5体の人骨の謎に迫る」，主催，市川市，2024.3.10・2023.4-2024.4.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会（Niigata Journal of Health and Welfare），編集委員
 2. Anatomical Science International，論文査読，1編
 3. Anatomical Science International，論文査読，1編
 4. Anthropological Science，論文査読，1編
 5. 総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター，三浦半島における先史時代人類の生業活動と古環境」プロジェクト，昆沙門洞穴人骨の調査，三浦市，2023.7-2024.3.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 骨学セミナー，運営，自然人類学研究所，一般市民，新潟医療福祉大学，2023.8.19-8.23.
 2. 骨学セミナー，講師，性別判定と年齢推定，自然人類学研究所，一般市民，新潟医療福祉大学，2023.8.19-8.23.
 3. 上野遺跡焼人骨集積土坑の公開，運営，新潟県教育委員会・自然人類学研究所，考古学関係者，新潟医療福祉大学，2023.6.18.
 4. 上野遺跡焼人骨集積土坑の一般公開，運営，新潟県教育委員会・自然人類学研究所，一般市民，新潟医療福祉大学，2023.11.26.
 5. 東京大学総合研究博物館公式Youtubeチャンネル，骨が語る「生と死」展：研究者インタビュー，研究紹介・展示解説，東京大学総合研究博物館，一般市民，Web，2023.12.11-
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 新聞，市川浦安よみうり，謎の縄文人骨 DNA分析の結果は？，2024.3.2.
 2. 新聞，朝日新聞（千葉版），5体の人骨 家族じゃなかった？ 姥山貝塚 最新の研究結果，シンポで，2024.3.7.
 3. 新聞，毎日新聞（千葉版），縄文住居跡の人骨 家族でない？，2024.3.8.
 4. 新聞，市川浦安よみうり，姥山貝塚5体の人骨 母子関係は否定，2024.3.16.
 5. 新聞，千葉日報，人骨5体「母子関係はなし」，2024.3.17.
 6. 新聞，東京新聞（千葉版），人骨5体 謎解明へ前進，2024.3.21.
 7. Web，毎日新聞，「異なる家族の形」？ 5体の人骨巡る姥山貝塚の謎，一部判明，2024.3.8.
 8. Web，朝日新聞DIGITAL，縄文のあの5人，家族ではなかった？ 市川・姥山貝塚10日シンポ，2024.3.7.
 9. Web，Yahoo!ニュース，「異なる家族の形」？ 5体の人骨巡る姥山貝塚の謎，一部判明，2024.3.8.
 10. Web，朝日新聞DIGITAL，DNA解析で家族説揺らぐ 姥山貝塚で発掘された縄文の人骨5体，

2024.3.11.

11. Web, 東京新聞デジタル, 人骨5体 謎解明へ前進, 2024.3.21.

3) 社会活動への参加協力

1. 公益法人福島県文化振興財団, 川俣町前田遺跡人骨の整理作業に関する指導・助言, 福島市, 2023.4.1-2024.3.31.
2. 奥松島縄文歴史資料館, 里浜貝塚出土人骨の現状調査, 東松島市, 2023.4.1-2024.3.31.
3. 東京大学総合研究博物館, 人骨の整備および資料報告出版に関する助言, 文京区, 2023.4.1-2024.3.31.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020, 基盤研究（B）, 縄文家族論の新展開：廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明, 佐宗亜衣子, 研究代表者
2. 2020, 基盤研究（B）, 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 佐宗亜衣子, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校看護学科, 解剖生理学I・II, 2023.4.1-9.30.
2. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校歯科衛生学科, 解剖・生理学, 2023.4.1-9.30.
3. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校歯科衛生学科, 国試対策（解剖生理学）, 2024.1.25.
4. 慶應義塾大学通信教育学部, 人類学, 2023.10.6-2024.1.17.

7 学内委員会活動 学術委員会, 英文誌編集委員, 自然人類学研究所

氏名：関根 千恵

1 研究題目 腰部障害に関する研究, 体幹筋機能に関する研究

2 論文

1. Sekine C, Hayashi H, Hirabayashi R, Yokota H, Saisu K, Takabayashi T, Edama M. Comparison of trunk muscle activity while lifting objects of expected and unexpected weight with and without low back pain. *Isokinetics and Exercise Science (JCR)*. 2024; 32(1): 41-48. (review)
2. Sekine C, Yamamoto M, Hirabayashi R, Yokota H, Edama M. Comparison of trunk muscle activity during lumbar stabilization exercises on stable and unstable surfaces. *Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation (JCR)*. 2024; 37(3): 801-809. (review)
3. Hirai T, Edama M, Togashi R, Osanami H, Saito R, Kato K, Shagawa M, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Anatomical study of type classification and surface area of attachment sites for tibialis anterior tendon. *BMC musculoskeletal disorders (JCR)*. 2023; 24(1): 631. (review)
4. Ishigaki T, Akuzawa H, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Edama M. Elbow valgus stress during towel drills in college baseball players. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery (JCR)*. 2024; 33(4): 765-772. (review)
5. Hirabayashi R, Edama M, Takeda M, Yamada Y, Yokota H, Sekine C, Onishi H. Participant attention on the intervention target during repetitive passive movement improved spinal reciprocal inhibition enhancement and joint. *European Journal of Medical Research (JCR)*. 2023; 28(1): 428. (review)
6. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekine C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of Transcutaneous Auricular Vagus Nerve Stimulation at Left Cymba Concha on Experimental Pain as Assessed with the Nociceptive Withdrawal Reflex, and Correlation with Parasympathetic Activity. *The European journal of neuroscience (JCR)*. 2024; 59(10): 2826-2835. (Short Communication) (review)
7. Osanami H, Akuzawa H, Sakamoto K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Edama M.

Validation of anterior ankle soft tissue dynamics and shear modulus for anterior ankle impingement syndrome after ankle fracture surgery. Scientific Reports (JCR). 2024; 14(1): 5863. (review)

8. Saito R, Shagawa M, Sugimoto Y, Hirai T, Kato K, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Edama M. Changes in the Mechanical Properties of the Thigh and Lower Leg Muscle-tendon Units during the Early Follicular and Early Luteal Phases. Frontiers in Sports and Active Living (JCR). 2024; 6: 1323598. (review)

3 報告書

1. 関根千恵. 若手研究, 競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明, 研究成果報告書, 2021-2022, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 関根千恵, 江玉睦明, 阿久澤弘, 横田裕丈, 平林怜, 石垣智恒, 菊元孝則, 松浦由生子, 大森豪. 女性アスリートにおける仙腸関節障害の頻度. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.12-11.13.
2. 横田裕丈, 江玉睦明, 高杉梨紗, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪. アスリートとノンアスリートにおける音楽聴取が運動パフォーマンスに及ぼす影響の違いと自律神経活動との関連. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.12-11.13.
3. 平林怜, 阿部明日香, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 咬合強度と咬合バランスが着地動作に及ぼす影響. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.12-11.13.
4. 石垣智恒, 阿久澤弘, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 江玉睦明, 大森豪. シャドーピッチングにおける肘外反ストレス. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.12-11.13.
5. 坂本航大, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林怜, 石垣智恒, 阿久澤弘, 関根千恵, 長南晴樹, 影山幾男. 第一足根中足靭帯の形態学的特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.12-11.13.
6. 江玉睦明, 高野倖, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 高林知也, 大森豪. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.12-11.13.
7. 阿久澤弘, 石垣智恒, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 坂本航大, 江玉睦明, 大森豪. 第5中足骨に皮質骨肥厚を認める男子サッカー選手の足部の形態的特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.12-11.13.
8. 若松優希, 平林怜, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 坂本航大, 江玉睦明. ハムストリングスの動的ストレッチが柔軟性と筋機能にもたらす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
9. 望月信吾, 横田裕丈, 平林玲, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が運動耐容能および心拍回復過程 (HRR) に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
10. 齊藤瑞貴, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. 異なる刺激様式による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
11. 三浦里香, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が筋疲労後の筋発揮効率 (RFD) に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
12. 白井竜来, 田中悠大, 高野倖, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 異なる股関節肢位における大腿直筋起始腱の伸長量の違いについて. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
13. 富樫茉央, 平林怜, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 坂本航大, 江玉睦明. 高頻度で反復したストレッチは柔軟性や筋力を向上させた. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.

島市), 2023.12.2-12.3.

14. 山波克彰, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. 低強度の経皮的迷走神経刺激がワーキングメモリーに与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
15. 宮城良汰, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 江玉睦明. tDCSとtVNSの同時適用による皮質脊髄路の興奮性への影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.
16. 高野倅, 白井竜来, 田中悠大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係～アスリートと非アスリートの比較～. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島市), 2023.12.2-12.3.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本体力医学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. The Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読, 2023年4月
 2. The Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読, 2023年8月
 3. The Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読, 2023年11月
 4. The Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読, 2024年3月
 5. 基礎理学療法学会, 査読
 6. 第28回日本基礎理学療法学会, 演題査読
 7. 日本スポーツ理学療法学会, 査読委員

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 科研費若手研究, 仙腸関節障害の発生に関わる仙腸関節の挙動と形態の解明, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
スポーツ理学療法認定理学療法士 (2023.4.1)
 - 3) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部, アスリートサポート, 2023.4-2024.3.
 2. 陸上競技部, 第41回全日本大学女子駅伝対校選手権, 宮城, トレーナー, 2023.10.29.
 - 4) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション病院 (非常勤勤務), 2023.4-2024.3.
- 7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, メンタルヘルス支援委員, 運動機能医科学研究所, アスリートサポート研究センター

氏名: 北谷 亮輔

- 1 研究題目 健常者や脳卒中後患者を対象とした歩行の神経制御に関する研究, 歩行や姿勢制御時における注意機能に関する研究
- 2 論文
 1. Kitatani R, Honda K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Prism adaptation during balance standing enhances the transfer after-effect on standing postural displacement. Neuroscience Letters (JCR). 2023; 814: 137470 (review)
- 3 学会等研究発表
 1. Kitatani R, Otsuru N, Inukai Y, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Shibata S, Onishi H. Influence of postural control difficulty on changes in visuospatial attention after leftward prism adaptation. International Society for Posture & Gait Research World Congress 2023 (Australia (Web)), 2023.7.9-7.13.
 2. 北谷亮輔, 古山達郎, 大鶴直史, 大西秀明. 後頭頂葉と小脳への経頭蓋直流電気刺激が左プリズム適応に

よる姿勢変位に与える領域特異的效果. 第21回日本神経理学療法学会学術大会（第58回日本理学療法学会学術大会）（神奈川），2023.9.9-9.10.

3. 北谷亮輔. 効率的な歩行適応方法の開発に向けた筋内・筋間コヒーレンス解析による神経生理学的検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会（第58回日本理学療法学会学術大会）（広島），2023.12.2-12.3. 【シンポジウム】
4. 安川麻衣子, 北谷亮輔, 西下智, 早川万紀子, 松本憲二, 坂本知三郎. 生活期脳卒中後患者における使用装具の適合評価～回復期リハ病棟における取り組み～. 第39回日本義肢装具学会学術大会（岡山），2023.10.28-10.29.
5. 星春輝, 芝田純也, 小島翔, 北谷亮輔, 美馬達哉, 大西秀明. 高強度の反復的な随意運動が皮質筋コヒーレンスに及ぼす影響. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（福岡），2023.11.30-12.2.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本理学療法士協会，日本基礎理学療法学会，日本神経理学療法学会，日本臨床神経生理学会，International Society of Posture and Gait Research，International Society of Electrophysiology and Kinesiology
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第21回日本神経理学療法学会学術大会，演題査読，2023.5.25-6.5.
 2. 日本基礎理学療法学会，学術誌「基礎理学療法学」，論文査読，2023.7.6-11.10.
 3. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会，演題査読，2023.8.6-8.21.
 4. 第21回日本神経理学療法学会学術大会，一般演題・脳損傷・歩行4，座長，神奈川，2023.9.9-9.10.（9.10）
 5. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会，一般演題・口述9 神経生理学，座長，広島，2023.12.2-12.3.（12.2）
 6. 日本神経理学療法学会，学術誌編集委員会（総務），2022.12.1から2024年定時社員総会
 7. 日本神経理学療法学会，戦略的課題解決委員会・脳卒中歩行障害班，2023.12.1から2024年定時社員総会
 8. 全国大学理学療法学会，庶務，2023.12.1から

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 病態理解に基づく脳卒中患者の歩行障害とリハビリテーション戦略，脳卒中患者における歩行の神経生理学的障害，講師，リハテックリンクス株式会社，理学療法士など，Web，2023.4.6.
2. 病態理解に基づく脳卒中患者の歩行障害とリハビリテーション戦略，脳卒中患者の歩行障害と評価戦略，司会（座長），リハテックリンクス株式会社，理学療法士など，Web，2023.4.25.
3. 第44回脳機能とリハビリテーション研究会 Web勉強会，空間性注意機能と姿勢制御－プリズム適応を用いた基礎的検討－，講師，脳機能とリハビリテーション研究会，理学療法士など，Web，2023.6.14.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，科研費若手研究，視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案，研究代表者

7 学内委員会活動 教務委員会，運動機能医科学研究所

氏名：田宮 創

- 1 研究題目 糖尿病性腎症の重症化予防に益する研究，座位行動の有害性を解明する基礎研究，ヒトの微小循環及び微小血管機能に関する基礎研究
- 2 著書

1. 田宮創, 星合愛. 糖尿病プラス. 20(5). 東京: メディカ出版: 2023: 656-662.

3 論文

1. Furuya T, Tamura Y, Tamiya H, Tsurumi T, Ogawa S, Kitahama S, Motoyama T, Nakatani Y, Yasu T. Relationship between Increased ba-PWV Values and Body Composition in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus. Dokkyo Medical Journal.2023; 2(1): 43-56. (review)
2. Hitosugi N, Hotta K, Taketa Y, Takamizawa R, Fujii Y, Ikegami R, Tamiya H, Inoue T, Tsubaki A. The effect of sepsis and reactive oxygen species on skeletal muscle interstitial oxygen pressure during contractions. Microcirculation. 2023; e12833: 1-9. (review)
3. Takahashi M, Tamura Y, Tsurumi T, Terashima M, Takahashi H, Tamiya H, Furuya T, Nakatani Y, Otani N, Yasu T. Skeletal Muscle Quality Assessment in Patients with Cardiac Disease Associated with Type 2 Diabetes Mellitus: A Pilot Study. Cureus Journal of Medical Science. 2024 Jan 8; 16(1): e51897. (review)
4. Tamiya H, Hoshiai M, Abe T, Watanabe H, Fujii Y, Tsubaki A. Prolonged Sitting Induces Elevated Blood Pressure in Healthy Young Men: A Randomized Crossover Trial. Cureus Journal of Medical Science. 2024 Feb 29; 16(2): e55224.(review)
5. Tsubaki A, Tamiya H, Baba H, Miyajima T, Morishita S. Repeated acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation changes. PROCEEDINGS OF THE SOCIETY OF PHOTO-OPTICAL INSTRUMENTATION ENGINEERS. 2024 Mar 12; 1283806 (review).
6. Shirai N, Usui N, Abe Y, Tamiya H, Amari T, Kojima S, Mikami K, Nagashima M, Shinozaki N, Shimano Y, Saitoh M. Relationship among Falls, Fear of Falling, and Physical Activity Level in Patients on Hemodialysis. Physical Therapy. (review), (in press).

4 報告書

1. 田宮創. 研究活動スタート支援, 座位時間の延長に伴う毛細血管および導管動脈の機能変化と機序解明, 研究成果報告書, 2021-2022, 研究代表者

5 学会等研究発表

1. 田宮創, 星合愛, 岡田明寿美, 齋藤優花, 長澤朋枝, 阿部拓也, 渡邊博昭, 堀田一樹, 池上諒, 井上達朗, 椿淳裕: 長時間の座位が健常若年者の腓腹筋の微小血管機能に及ぼす影響, 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 2023.7.15-7.16, 横浜
2. 馬場啓貴, 松橋日和, 宮嶋大貴, 中田舞絢, 渡邊博昭, 阿部拓也, 田宮創, 井上達朗, 池上諒, 堀田一樹, 椿淳裕: 反復する急性の血圧低下がもたらす内頸動脈血流量の変化, 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 2023.7.15-7.16, 横浜
3. 松橋日和, 越智元太, 馬場啓貴, 宮嶋大貴, 中田舞絢, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 堀田一樹, 秦偉翔, 高見澤怜, 一杉直樹, 椿淳裕: 音楽テンポと運動テンポの同調による脳酸素化動態への影響, 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 2023.7.15-7.16, 横浜
4. 田宮創: 長時間座位は健常若年男性における腓腹筋の酸素抽出を減少させる, 第7回 基礎理学療法学 若手研究者ネットワークシンポジウム 2023.8.26-8.27, 仙台, 【シンポジウム】
5. 馬場啓貴, 松橋日和, 宮嶋大貴, 中田舞絢, 渡邊博昭, 阿部拓也, 田宮創, 井上達朗, 池上諒, 堀田一樹, 椿淳裕: 反復する急性の血圧低下がもたらす内頸動脈の血流量の変化, 日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会 2023. 2023.9.2-9.3, 東京
6. Tamiya H, Hoshiai M, Abe T, Watanabe H, Fujii Y, Tsubaki A : Prolonged sitting decreases oxygen extraction in the gastrocnemius muscle in healthy young men. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023 2023.9.26-10.1, Tokyo (Japan).
7. Kojima H, Tokuda S, Baba H, Inoue T, Tamiya H, Takamizawa R, Tsubaki A: Impact of repeated acute blood pressure decreases on mean arterial pressure and cerebral oxygenated hemoglobin. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023 2023.9.26-10.1, Tokyo (Japan).

8. Tamiya H, Hoshiai M, Tsubaki A. Lower extremity exercise during prolonged sitting prevents impaired oxygen extraction in the gastrocnemius muscle: A randomized cross-over trial. The 49th meeting of Japanese society for microcirculation. 2024.2.22-2.23, Oomiya (Japan).

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本老年療法学会（評議員）、日本糖尿病理学療法学会（評議員）、新潟心臓リハビリテーション研究会（世話人）、日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会（世話人）、日本微小循環学会、日本腎臓リハビリテーション学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本体力医学会、新潟医療福祉学会、ISOTT
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本糖尿病理学療法学会、ガイドラインの作成及び学会の運営、ガイドライン作成委員、2022.4.1-現在まで。
 2. 日本老年療法学会、学会の運営・広報・ニュースレターの作成、広報委員、2022.4.1-現在まで。
 3. 第10回日本呼吸理学療法学会学術大会準備委員、学術大会の企画、準備委員、2022.4.1-現在まで。
 4. 新潟内部障害リサーチミーティング研究会、教育講演の企画、企画運営委員、2022.4.1-現在まで。
 5. 腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会、研修会企画、研修会企画班班長、2022.4.1-現在まで
 6. 日本糖尿病理学療法学会、査読委員、2021.4.1-現在まで
 7. Cureus Journal of Medical Science 誌, reviewer, 2023.2.1-現在まで
 8. 新潟心臓リハビリテーション研究会、世話人・教育講義担当、2022.2.1-現在まで

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県心臓リハビリテーションクラウドファンディング事業、教育講演、「心臓リハビリテーション各論」、主催者：新潟大学新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学分野、対象者：医療従事者、Web開催、2023.6.12.
 2. 腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会、教育講演、「座りすぎがもたらす身体への悪影響」、主催者：順天堂大学 保健医療学部理学療法学科 齋藤正和、対象者：医療従事者、Web開催、2023.7.25.
 3. 日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会、教育講演、「臨床実習制度の理念と概念」、主催者：日本理学療法士協会、対象者：医療従事者、新潟医療福祉大学、2023.8.24.
 4. 第11回新潟医療福祉大学同窓会オンラインミーティング、教育講演、「座りすぎが与える悪影響と臨床で身体活動量を上げるポイント」、主催者：新潟医療福祉大学、対象者：医療従事者、Web開催、2023.11.24.
 5. 日本糖尿病理学療法学会第4回サテライトカンファレンス、教育講演、「腎症の評価から糖尿病を捉える」、主催者：日本糖尿病理学療法学会、Web開催、2024.1.7.
 6. 日本糖尿病理学療法学会 イブニングセミナー 研究支援セミナー「基礎編」、教育講演、「概念枠組み（仮説、新規性、独創性、研究意義）」、主催者：日本糖尿病理学療法学会、Web開催、2024.2.5.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 全国リハビリテーション学校協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会・臨床実習指導者講習会、講習会参加者のグループディスカッションを円滑に進めるファシリテーター（理学療法士・作業療法士 約50名）、新潟市・新潟医療福祉大学、2023.8.24-8.25.
 2. 第9回日本糖尿病理学療法学会学術大会、演題査読、2023.6.21.
 3. 日本糖尿病理学療法学会雑誌、論文査読、2023.9.11.
 4. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 教育基礎講座座長「知って得する心臓リハビリに必要なフットケア」、横浜・パシフィコ横浜、2023.7.15.
 5. Cureus Journal of Medical Science 誌、論文査読2件、2024.2.15, 3.28.
- 3) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本老年療法学会（評議員・広報委員），日本糖尿病理学療法学会（評議員・ガイドライン作成委員），新潟県心臓リハビリテーション研究会（世話人），日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会（世話人），日本呼吸理学療法学会（第10回日本呼吸理学療法学会学術大会準備委員），腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会（研修会企画班班長），新潟内部障害リサーチミーティング研究会（企画運営委員）

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度，科研費若手研究，長時間座位がもたらす腎動脈の血流変動とその機序の解明，研究代表者（継続）

2) 受賞，学位取得，資格取得

第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会，優秀賞受賞（2023.7.20）

9 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員，運動機能医科学研究所，連携基礎ゼミ実行部会員

氏名：石垣 智恒

1 研究題目 腱の温度上昇に起因した腱エネルギー代謝機構の変化とその腱恒常性への影響，投球障害の予防とリハビリテーション

2 論文

1. Sakamoto K, Edama M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Akuzawa H, Toriumi T, Kageyama I. Relationship between first tarsometatarsal ligament morphology and its continuity with the fibularis longus and first tarsometatarsal joint degeneration, Clinical anatomy (review)(in press)
2. Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Akuzawa H, Ishigaki T, Kikumoto T, Edama M. Comparison of trunk muscle thickness and brightness in collegiate female athletes with and without a history of low back pain, Isokinetics and Exercise Science (review)(in press)
3. Osanami H, Akuzawa H, Sakamoto K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Edama M. Validation of anterior ankle soft tissue dynamics and shear modulus for anterior ankle impingement syndrome after ankle fracture surgery, Scientific reports 2024;14(1) 5863-5863 (review)
4. Saito R, Shagawa M, Sugimoto Y, Hirai T, Kato K, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H. Changes in the mechanical properties of the thigh and lower leg muscle-tendon units during the early follicular and early luteal phases, Frontiers in sports and active living 2024;6: 1323598-1323598 (review)
5. Ishigaki T, Akuzawa H, Sekine C, Yokata H, Hirabayashi R, Edama M. Elbow valgus stress during towel drills in college baseball players, Journal of Shoulder and Elbow Surgery, 2024; 33(4): 765-772 (review)
6. Hirai T, Edama M, Togashi R, Osanami H, Saito R, Kato K, Shagawa M, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Anatomical study of type classification and surface area of attachment sites for tibialis anterior tendon, BMC musculoskeletal disorders 2023; 24(1): 631-631 (review)

3 学会等研究発表

1. 石垣智恒，阿久澤弘，関根千恵，横田裕丈，平林怜，江玉睦明，大森豪，シャドーピッチングにおける肘外反ストレス，日本臨床スポーツ医学会・第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（神奈川・日本），2023.11.11-11.12.
2. 石垣智恒，石田知也，井野拓実，奥貫拓実，江玉睦明，アキレス腱の柔軟性はジャンプ着地バイオメカニクスと関連するか，日本スポーツ理学療法学会・第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会（埼玉・日本），2024.1.6-1.7.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 臨床スポーツ医学会, 日本基礎理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Journal of Athletic Training, 査読
 2. Shoulder and Elbow, 査読
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023年, 若手研究, 腱の温度上昇に起因した腱エネルギー代謝機構の変化とその腱恒常性への影響, 研究代表者
 2. 2023年, 国際共同研究加速基金, 腱障害の病態解明と病態別治療プログラムの確立, 研究分担者
 3. 2023年, 基盤研究B, アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟柔整専門学校, リハビリテーション医学, 1年間
- 6 学内委員会活動 アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所

氏名：星 春輝

- 1 研究題目 ヒトの随意運動と神経活動に関わる神経生理学研究, 非侵襲的刺激を用いた神経可塑性に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 星春輝, 芝田純也, 小島翔, 北谷亮輔, 美馬達哉, 大西秀明 他. 高強度の反復的な随意運動が皮質筋コヒーレンスに及ぼす影響. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（福岡市, 日本）, 2023.11.30-12.2.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本臨床神経性理学会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経理学療法学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本神経理学療法学会, 学術誌編集委員, 総務
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2024年度, 古川医療福祉設備振興財団助成金, 脊髄の神経活動を調節する非侵襲的刺激法の開発及び痙縮の改善を図る新規治療戦略の創出, 星春輝（代表）

氏名：五十嵐 眸実

- 1 研究題目 痛みの脳内情報処理に関する研究, 痛み緩和技術の開発
- 2 論文
 1. Ikarashi H, Otsuru N, Gomez-Tames J, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. European Journal of Pain. 2024; 00, 1-11.
- 3 学会等研究発表
 1. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 飯室幸士, 井上創太, 大西秀明. 下行性疼痛抑制の性差と心理特性との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会. 2023.12.2-12.3.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度, 研究活動スタート支援, 脳磁場計測を用いたtACSによる鎮痛効果の事前予測技術の開発,
研究代表者
- 6 学内委員会活動 運動機能医科学研究所

(2) 作業療法学科

氏名：大山 峰生

- 1 研究題目 手外科のリハビリテーションに関する研究と開発（手外科学），手および手指筋群の機能解析（運動学）
- 2 論文
 1. Koizumi H, Oyama M, Odagiri M, Shioda N, Fujime C, Kusano N. Impact of the contraction of medial forearm muscles during grip tasks in different forearm positions on medial support at the elbow joint. *Journal of Electromyography and Kinesiology*. 2023; 71, 102783.（査読あり）
- 3 学会等研究発表
 1. 小田桐正博，松澤翔太，塩田紀之，大山峰生，黒田拓馬，森谷浩治．玉井分類 zone4再接着における後療法および治療成績．第11回中部日本ハンドセラピー研究会（松本市），2024.1.27.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ハンドセラピー学会（理事長）（将来計画委員会委員長），日本手外科学会，日本肘関節学会，日本体力医学会，日本生体磁気学会，日本臨床神経生理学学会，日本作業療法士協会，日本保健医療福祉連携教育学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第38回東日本手外科研究会，座長，東京，2024.2.3.
 2. 日本ハンドセラピー学会，機関誌査読委員
 3. 日本ハンドセラピー学会，学会査読委員
 4. 日本作業療法士学会，学会査読委員
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本ハンドセラピー学会，応用実践研修会，講演，オンデイマンド，2023.9.9-9.30.
 2. 日本ハンドセラピー学会，応用実践研修会，事例検討講師，オンライン，2023.10.1.
 - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
日本ハンドセラピー学会（理事長），日本ハンドセラピー学会（将来計画委員会委員長），日本ハンドセラピー学会（認定資格審査委員）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 福島県立医科大学保健科学部，身体障害作業療法学演習Ⅰ，2023.11.17，11.24.
- 7 学内委員会活動 総務会，教育・学生支援機構（機構長）外部評価準備委員会（委員長），教員選考委員会（委員長），危機管理委員会，将来計画機構，自己点検・評価委員会．

氏名：能村 友紀

- 1 研究題目 認知機能低下抑制に関する研究
- 2 著書
 1. 15レクチャーシリーズ，作業療法テキスト 作業療法概論，中山書店，2023，121-128.
- 3 論文
 1. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Cognitive Function in Patients With Mild Idiopathic Pulmonary Fibrosis: A Case-Control Pilot Study. *Occupational Therapy In Health Care* 2024; 5: 1-15.（review）
 2. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Predictors of 2-Year Mortality in Patients Receiving Long-Term Oxygen Therapy: A Prospective Observational Study. *Journal of Palliative Medicine* 2024; 27(4): 495-502.（review）
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本作業療法士協会，新潟県作業療法士会，日本公衆衛生学会，日本認知症予防学会，日本臨

床神経生理学会, NPO 法人日本コクランセンター, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第58回日本作業療法学会演題査読, 演題査読委員

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度, 科研費基盤（C）, 経頭蓋交流電気刺激による大脳皮質活動の変調が宣言的記憶学習の促進に及ぼす影響, 研究代表者

6 学内委員会活動 大学院教務委員会（委員長）, 運動機能医科学研究所

氏名：能登 真一

1 研究題目 健康関連QOLの評価方法についての研究, 高次脳機能障害についての研究, 作業療法のアウトカム研究

2 著書

1. 能登真一. QOLの基礎知識, 健康関連QOLの評価尺度, 評価尺度の測定特性, インデックス型尺度. 能登真一編. QOL評価マニュアル. 東京. 医学書院; 1-30, 44-56, 275-281.
2. 能登真一. 評価学の基礎, 高次脳機能評価法. 能登真一, 山口昇, 玉垣努, 新宮尚人, 加藤寿宏, 勝山しおり編. 作業療法評価学第4版. 東京. 医学書院. 1-33, 418-440.

3 論文

1. Noto S, Murata T, Saito S, Watanabe T, Kobayashi M. Preferences for Rehabilitation in Persons with a History of Stroke: A Discrete Choice Experiment. Patient Preference and Adherence. 2023; 17: 1611-1620. (review)
2. Noto S. Perspectives on Aging and Quality of Life. Healthcare. 2023; 11(15): 2131. (review)
3. Kariya T, Noto S. Effect of Motivational Autonomy on Rehabilitation in Convalescent Stroke Patients. Asian Journal of Occupational Therapy. 2024; 20: 21-28. (review)
4. Narita A, Koto Y, Noto S, Okada M, Ono M, Baba T, Sagara R, Sakai N. Development and evaluation of a patient-reported outcome measure specific for Gaucher disease with or without neurological symptoms in Japan. Orphanet Journal of Rare Diseases. 2024; 19(1): 11. (review)
5. Kanegane H, Ishimura M, Kawai T, Okada S, Okamatsu N, Go M, Noto S. Patient-reported outcomes in patients with primary immunodeficiency diseases in Japan: baseline results from a prospective observational study. Frontiers in Immunology. 2023; 14: 1244250. (review)
6. Koto Y, Narita A, Noto S, Okada M, Ono M, Baba T, Sagara R, Sakai N. Burden of caregivers of patients with neuronopathic and non-neuronopathic Gaucher disease in Japan: A survey-based study. Molecular Genetics and Metabolism Reports. 2023; 36: 100994. (review)
7. 白岩健, 能登真一, 小林慎, 福田敬. CHEERS（Consolidated Health Economic Evaluation Reporting Standards）2022 詳細と解説—ISPOR（国際医薬経済・アウトカム研究学会）CHEERS II Good Practices タスクフォース報告書—. 保健医療科学. 2023; 72(4): 344-369.

4 報告書

1. 能登真一. Patient PreferenceとQOL値の最新状況. 厚生労働行政推進調査事業費補助金, 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における分析ガイドラインの改定に資する研究（主任研究者：福田敬）
2. 能登真一. 科研費挑戦的研究（萌芽）科研費研究成果報告書, AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発【代表】

5 学会等研究発表

1. Noto S, Shimosuma K, Saito S, Fukuda T, Shirowa T, Ishida H, Iwatani T, Saito S. Relationship between Health-State Utility Values, Self-Efficacy, and Health Locus of Control in the General Population. ISPOR 2023 (Boston). 7-10 May 2023.

2. Noto S, Shiroyiwa T, Murata T, Saito S. Feasibility and Validation of the Japanese Version of the EQ-HWB. ISPOR EUROPE (Copenhagen). 12-15 Nov 2023.
 3. Rendas-Baum R, Bjorner J, Preckler V, Matsuki T, Ho Y4, Molnar D, Noto S, Igarashi A. Estimating the Respiratory Syncytial Virus (RSV) Health Utility Values for Older Adults and their Caregivers in the Japanese population: a Time Trade-Off (TTO) study. ISPOR EUROPE (Copenhagen). 12-15 Nov 2023.
 4. Izumi R, Sano T, Nagayama H, Noto S. Elucidation of changes in health-related QOL and the MCID in cardiovascular diseases -Pilot study-. ISOQOL 30th Annual Conference (Calgary). 18-21 Oct. 2023.
 5. Narita A, Koto Y, Noto S, Okada M, Hamada A, Ono M, Sagara R, Sakai N. Development and evaluation of a patient-reported outcome measure specific for Gaucher disease with or without neurological symptoms in Japan. 日本小児神経学会 (岡山), 2023.5.27.
 6. Ono M, Koto Y, Narita A, Koto Y, Noto S, Okada M, Sagara R, Sakai N. Assessing the burden on caregivers of patients with Gaucher disease in Japan. 19th Annual WORLDSymposium (オランダ). 22-26 Feb, 2023.
 7. 能登真一, 村井千賀, 林玲子, 永田亮, 関山佑一. アルツハイマー病型認知症者の音声の特性についての研究 パイロットスタディ. 第57回日本作業療法学会 (沖縄), 2023.11.11.
 8. 渡邊貴博, 能登真一, 田畑智, 五十嵐文枝, 木村慎二. 脳腫瘍患者の健康関連QOLおよびADLに影響を与える因子の検討. 第57回日本作業療法学会 (沖縄), 2023.11.11.
 9. 泉良太, 佐野哲也, 能登真一, 長山洋史, 滝澤宏和. 回復期リハビリテーション病棟運動器疾患患者における健康関連QOLの変化と一致度の解明. 第57回日本作業療法学会 (沖縄), 2023.11.11.
 10. 成田綾, 古藤雄大, 能登真一, 岡田昌史, 浜田アナリッサ, 小野みどり, 相良利栄子, 酒井規夫. 日本人ゴーシェ病患者を対象としたPRO尺度の開発と日本人患者の評価結果. 第65回日本小児神経学会 (岡山), 2023.5.25.
 11. 能登真一. 作業療法と Well-Being -地域共生社会の実現に向けて- 作業療法と Well-Being に関連する QOL 評価. 第60回日本リハビリテーション医学会 (福岡), 2023.7.2. 【シンポジウム】
 12. 能登真一. QOL・PROを通じ見えてくる日本人の健康に関する価値観. 第45回日本血栓止血学会 (北九州), 2023.6.15. 【特別講演】
 13. 能登真一. 測定と解析の方法 - QOL研究特有の経時的な複数アウトカムの比較方法 -. 第11回QOL-PRO研究会学術集会 (京都), 2023.12.23. 【シンポジウム】
 14. 能登真一. アウトカムとしてのPRO・QOL測定の意義. 第64回日本先天代謝異常学会学術集会 (大阪), 2023.10.6. 【教育講演】
 15. 萩原康博, 和泉翔喜, 松山裕, 白岩健, 平成人, 川原拓也, 此村恵子, 能登真一, 福田敬, 下妻晃二郎. 先行するがん特異的プロファイル型健康関連QOL尺度が後続するEQ-5D-5Lへの回答に与える影響. 第11回QOL-PRO研究会学術集会 (京都), 2023.12.23.
 16. 能登真一. UtilityとQALYの基礎知識. 第20回QOL-PRO研究会セミナー (オンライン), 2023.3.20. 【シンポジウム】
- 6 学会活動
- 1) 所属学会 国際医薬経済・アウトカム研究学会 (ISPOR) 日本部会 (前期会長), 日本作業療法士協会 (理事・学術部長), QOL-PRO研究会 (理事), 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 医療経済学会, 日本公衆衛生学会, 作業療法教育研究学会, 医療経済研究機構, 新潟県作業療法士会, 日本衛生学会, 日本医療情報学会, 高次神経障害作業療法研究会, International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research, International Society for Quality of Life Research, 日本生命倫理学会, 日本医療・病院管理学会, 日本脊髄障害医学会, 日本リハビリテーション医学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療福祉連携教育学会
 - 2) 学術集会の主催

1. QOL-PRO 研究会, 第 11 回 QOL-PRO 研究会学術集会, 事務局長, 京都, 2023.12.23・2 か月
 2. QOL-PRO 研究会, 第 20 回 QOL-PRO 研究会セミナー, 事務局長, オンライン, 2023.3.20・2 か月
- 3) 学会等でのその他の活動
1. ISPOR Health Preference Research Special Interest Group member
 2. ISPOR Patient Preferences Task Force, Reviewer
 3. ISPOR Asia Consortium member
 4. Healthcare, Guest Editor
 5. Value in Health, Reviewer
 6. Quality of Life Research, Reviewer
 7. Journal of Patient-Reported Outcomes, Reviewer
 8. Vaccine: X, Reviewer
 9. Scientific Reports, Reviewer
 10. PharmacoEconomics, Reviewer
 11. BMC Public Health, Reviewer
 12. JMIR Research Protocols, Reviewer
 13. ISPOR Europe 2023 Research Abstract Reviewer
 14. ISPOR 2024 Research Abstract Reviewer
 15. 日本作業療法士協会, 学術誌副編集長
 16. 第 57 回日本作業療法学会, 査読
 17. ISPOR 日本部会, 第 18 回学術集会, 査読
 18. Niigata Journal of Health and Welfare, 編集委員
 19. Asian Journal of Occupational Therapy, Reviewer
 20. BMJ Open, Reviewer
- 7 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 全国リハビリテーション学校協会言語聴覚士部会研修会・リハビリテーション管理学, 全国の ST 養成校教員, オンデマンド, 2024.1.10.
 2. ゆうゆうの里講演会・認知症とは, 財団職員・入所者, 日本老人福祉財団, 大阪, 2023.10.5.
 3. ゆうゆうの里講演会・認知症とは, 財団職員・入所者, 日本老人福祉財団, 湯河原, 2023.10.19.
 4. ゆうゆうの里講演会・認知症とは, 財団職員・入所者, 日本老人福祉財団, 伊豆高原, 2023.11.30.
 - 2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 週刊医学界新聞: 第 3540 号 (医学書院), 寄稿 臨床で使える QOL 評価のポイント. 2023.11.6.
 - 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

厚生労働省・企画提案書審査委員会 (委員), 中医協費用対効果評価部会公的分析班 (班員)
 - 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本作業療法士協会 (理事, 学術部長, 研究倫理審査会委員長, 学術評議委員会設置検討委員会委員, 学術誌編集委員会委員, 学術委員会 ICF 小委員会委員, 災害対策本部会議委員)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021 年度, 科研費基盤研究 (B), 健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究, 研究代表者
 2. 2021 年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), AI ソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発, 研究代表者
 3. 2020 年度, 科研費基盤研究 (A), レセプトデータを基軸としたデータ駆動型臨床疫学研究の基盤開発, 研究分担者

4. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), リハビリテーション医療分野におけるナッジの解明; 使用状況と健康関連QOLについて, 研究分担者
5. 2023年度, 厚生労働行政推進調査事業費補助金, 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における分析ガイドラインの改定に資する研究, 研究分担者
6. 2023年度, クレコンメディカルアセスメント株式会社 研究寄付金, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 立命館大学 総合科学技術研究機構 医療経済評価・意思決定支援ユニット, 客員教授
- 9 学内委員会活動 医療経済・QOL研究センター (センター長)

氏名: 今西 里佳

- 1 研究題目 要介護高齢者の排尿実態研究 (泌尿器科学), 要介護高齢者の蓄尿障害に対する下部尿路リハビリテーション効果検証研究 (泌尿器科学, リハビリテーション科学)
- 2 著書
 1. 能登真一, 山口昇, 李範爽, 玉垣努, 濱口豊太, 今西里佳, 白濱勲二, 長山洋史, 笹田哲, 大庭潤平, 對間泰雄, 坂本安令, 谷村浩子, 森田千晶, 長谷川明洋, 高畑進一, 山口良樹, 生須義久, 成田雄一, 渡邊誠, 新宮尚人, 早坂友成, 奥原孝幸, 谷村厚子, 四本かやの, 巽絵里, 金子史子, 荊山和生, 大野宏明, 伊藤信寿, 加藤寿宏, 松島佳苗, 勝山しおり, 新井健五, 北上守俊. 標準作業療法学専門分野作業療法評価学. 第4版. 東京: 医学書院; 2024年: 178-187.
 2. 赤井畑秀則, 秋山佳之, 朝倉博孝, 井上倫恵, 今西里佳, 片岡政雄, 橋田岳也, 小島祥敬, 小柳礼恵, 後藤百万, 斎藤忠則, 榎原隆次, 鈴木康之, 関戸哲則, 帯刀朋代, 高崎良子, 高橋悟, 瀧本まどか, 武田正之, 田中純子, 谷口珠実, 丹波光子, 津畑亜紀子, 巴ひかる, 西井久枝, 西村かおる, 野崎祥子, 野宮正範, 秦淳也, 林暁, 平山千登勢, 福島正人, 福多史昌, 本間之夫, 舩森直哉, 松岡香菜子, 松本香好美, 松本成史, 三井貴彦, 山西友典, 横山修, 横山剛志, 吉澤剛, 吉田正貴, 吉田美香子. 改訂版下部尿路機能障害の治療とケア-病態の理解と実践に役立つ-. 大阪: メディカ出版; 2023年: 248-260.
- 3 論文
 1. 今西里佳, 長嶺ふじ子. 尿意および便意の認識. リハビリナース. 2024; 17 (2): 24-28.
- 4 学会等研究発表
 1. 今西里佳, 長嶺ふじ子. 作業療法士も関わる排泄リハビリテーションのための評価. 第57回日本作業療法学会 (那覇市), 2023.11.12.
 2. 中村真悠, 今西里佳, 中島ともみ. 排尿自立支援加算に携わる作業療法士の実状. 第57回日本作業療法学会 (那覇市), 2023.11.10-11.12.
 3. 今西里佳. よくわかるシリーズ下部尿路機能障害に対するリハビリテーション. 第14回日本腎臓リハビリテーション学会 (新潟市), 2024.3.17. 【教育講演】
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本老年泌尿器科学会 (理事), 日本老年泌尿器科学会 (評議員), 日本老年泌尿器科学会 (教育委員会委員), 日本排尿機能学会 (ダイバーシティ推進委員会委員), 新潟医療福祉学会, International Continence Society, 日本睡眠学会, 日本作業療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 日本転倒予防学会, 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 日本心臓リハビリテーション学会, 日本公衆衛生学会, 日本サルコペニア・フレイル学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第58回日本作業療法学会演題査読, 演題査読委員
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本コンチネンス協会主催第6回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー, セラピストによる排泄リハビリテーションの目的, 講師, 理学療法士・作業療法士, 2023.10.21.

2. 日本コンチネンス協会主催第6回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路症状評価法Ⅰ・Ⅱ，講師，理学療法士・作業療法士，2023.10.21.
3. 日本コンチネンス協会主催第6回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路リハビリテーション，講師，理学療法士・作業療法士，2023.10.21.
4. 日本コンチネンス協会主催第6回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，排泄環境整備，排泄動作練習のポイント，理学療法士・作業療法士，2023.10.22.
5. 新潟県作業療法士会 スキルアップ研修委員会，下部尿路機能障害に対する評価とアプローチ，講師，作業療法士，WEB，2023.11.23.
6. 日本コンチネンス協会主催第7回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，セラピストによる排泄リハビリテーションの目的，講師，理学療法士・作業療法士，2024.3.2.
7. 日本コンチネンス協会主催第7回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路症状評価法，講師，理学療法士・作業療法士，2024.3.2.
8. 日本コンチネンス協会主催第7回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路リハビリテーション，講師，理学療法士・作業療法士，2024.3.2.
9. 日本コンチネンス協会主催第7回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，排泄環境整備，排泄動作練習のポイント，講師，理学療法士・作業療法士，2024.3.3.
10. ウェルカルチャースクール骨盤底筋教室，適正水分量～生活習慣を見直しましょう～，講師，地域住民，WEB，2023.5.30.
11. 令和5年度坂井輪地区公民館主催事業坂井輪シニアカレッジ，転倒予防のための健康講話～夜のトイレのお悩みこれで解消～，講師，地域住民，新潟市，2023.6.2.
12. 琉球新報骨盤底筋教室，適正水分量～生活習慣を見直しましょう～，講師，地域住民，WEB，2023.6.15.
13. 琉球新報骨盤底筋教室，適正水分量～生活習慣を見直しましょう～，講師，地域住民，WEB，2023.8.31.
14. あいトピア自主事業特別講座，転倒予防のための健康講話～夜のトイレのお悩みこれで解消～，講師，地域住民，豊橋市，2023.9.1.
15. 令和5年度坂井輪地区公民館主催事業坂井輪シニアカレッジ，転倒予防のための健康講話～夜のトイレのお悩みこれで解消～，講師，地域住民，新潟市，2023.9.8.
16. 令和5年度はがらかサロン，『中高年のお悩みごとと解消』，講師，地域住民，新潟市，2023.10.5.
17. 牟呂地域福祉センター自主事業特別講座，転倒予防のための健康講話～夜のトイレのお悩みこれで解消～，講師，地域住民，豊橋市，2023.11.2.
18. ウェルカルチャースクール骨盤底筋教室，適正水分量～生活習慣を見直しましょう～，講師，地域住民，WEB，2023.11.28.
19. あいトピア自主事業特別講座，転倒予防のための健康講話～夜のトイレのお悩みこれで解消～，講師，地域住民，豊橋市，2023.12.7.
20. 令和5年度坂井輪地区公民館主催事業坂井輪シニアカレッジ，転倒予防のための健康講話～夜のトイレのお悩みこれで解消～，講師，地域住民，新潟市，2023.12.8.
21. ウェルカルチャースクール骨盤底筋教室，適正水分量～生活習慣を見直しましょう～，講師，地域住民，WEB，2024.3.5.
22. あいトピア自主事業特別講座，転倒予防のための健康講話～夜のトイレのお悩みこれで解消～，講師，地域住民，豊橋市，2024.3.7.
23. 令和5年度坂井輪地区公民館主催事業坂井輪シニアカレッジ，転倒予防のための健康講話～夜のトイレのお悩みこれで解消～，講師，地域住民，新潟市，2024.3.8.

2) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本コンチネンス協会（理事），日本コンチネンス協会（教育事業部教育委員），日本コンチネンス協会（セ

ラピストのための排泄リハビリテーションセミナー実行委員長)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 令和5年度，科研費基盤（C），地域在住高齢者の排泄改善プログラムの効果検証—介護予防・転倒予防を目指して—，研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 長野保健医療大学，評価学総論，2023.10.19.
2. 長野保健医療大学，日常生活活動学Ⅰ，2023.10.19.
3. 群馬大学，基礎作業療法学，2023.11.15.

氏名：圓 純一郎

- 1 研究題目 ハンセン病末梢神経障害の診断と神経筋再生治療法の開発に関する研究，ブルーリ潰瘍（M. ulcerans 感染症）における無痛性病態メカニズムの解明，ハンセン病神経障害への電気刺激による神経筋再生治療と評価システムの開発

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本ハンセン病学会（事務局長），日本作業療法士協会，新潟県作業療法士会，新潟医療福祉大学学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本医学会：日本医学会分科会 日本ハンセン病学会（日本医学会連絡委員）

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2023年度 とよさか中高年教養大学 科目「健康長寿学」：テーマ：「生活を豊かにする福祉道具」講師（9.28）

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度，科研費基盤研究（C），ハンセン病末梢神経障害の診断と神経筋再生治療法の開発に関する研究，研究代表者
2. 2019年度，科研費基盤研究（C），ハンセン病神経障害への電気刺激による神経筋再生治療と評価システムの開発，研究代表者
3. 2019年度，科研費基盤研究（C），ブルーリ潰瘍（M. ulcerans 感染症）における無痛性病態メカニズムの解明，研究分担者

5 学内委員会活動 入試委員会，国際交流センター運営委員会（広報部会長），運動機能医科学研究所

氏名：藤目 智博

- 1 研究題目 母指球筋群の筋活動特性について

2 論文

1. Koizumi H, Oyama M, Odagiri M, Shioda N, Fujime C, Kusano N. Impact of the contraction of medial forearm muscles during grip tasks in different forearm positions on medial support at the elbow joint. J Electromyogr Kinesiol. 2023 Aug; 71:

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本ハンドセラピー学会（理事），日本手外科学会，日本肘関節外科学会，日本作業療法研究学会，新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 第35回日本ハンドセラピー学会学術集会，座長，東京，2023.4.22.
2. 第58回日本作業療法学会，演題査読者，札幌，2024.11.9-11.10.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本ハンドセラピー学会主催「上肢複合組織損傷セミナー」, 講師, Web, 2023.10.23-11.19.

氏名：間宮 靖幸

- 1 研究題目 レビー小体型認知症（神経心理学）, 認知症性疾患（神経心理学）, 視覚性注意（行動神経学）
- 2 論文
 1. Watanabe H, Uchiyama M, Yokoi K, Mamiya Y, Narita W, Iizuka O, Baba T, Suzuki K, Mori E, Nishio Y. Behavioral and neural correlates of pareidolic illusions in dementia with Lewy bodies. Parkinsonism and Related Disorders, 113 (2023) 105513. (review)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本作業療法学会, 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 臨床実習指導者講習会, 講師, 作業療法士, オンライン, 2023.9.23-9.24.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 茶の間, 地域住民への相談・援助, 2023.7, 2024.1.
- 5 学内委員会活動 教務委員会（委員）, 新潟連携教育研究センター運営委員会（委員）, 健康管理センター運営委員会（委員）, 安全衛生委員会（委員）

氏名：高橋 里奈

- 1 研究題目 肘関節術後患者の関節可動域を早期に改善する筋電図バイオフィードバック療法の開発
- 2 論文
 1. 地曳真美, 高橋里奈, 田中龍一, 竹内怜生, 木村和正. 橈骨遠位端骨折術後患者の加速度計による上肢活動量計測の試み. 日本ハンドセラピー学会誌. 2023; 15 (4): 119-126. (査読あり)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本医療福祉学会, 日本作業療法学会, 日本ハンドセラピー学会, 日本手外科学会, 日本肩関節学会, 日本肘関節学会, 日本臨床神経生理学会, 新潟県作業療法士会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第35回日本ハンドセラピー学会学術集会, 座長, 東京都, 2023.4.23.
 2. 第35回日本ハンドセラピー学会学術集会, 当日運営委員, 東京, 2023.4.22.
 3. 2023年度 第4回ハンドセラピー全国研修会, 講師, オンライン, 2023.9.10.
 4. 日本ハンドセラピー学会, 論文査読
 5. 2023年度第1期SW-test講習会, 運営委員, 講師, オンライン, 2023.7.9, 7.23.
 6. 2023年度第2期SW-test講習会, 運営委員, 講師, オンライン, 2024.1.21, 1.28.
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費若手研究, 肘関節術後患者の関節可動域を早期に改善する筋電図バイオフィードバック療法の開発, 研究代表者
- 5 学内委員会活動 教務委員会, 高等教育推進センター委員会, 図書館・学習センター委員会

氏名：安中 裕紀

- 1 研究題目 慢性疾患の機能障害に関する研究, 脳活動に関する研究, VRgameに関する研究
- 2 論文
 1. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Predictors of 2-Year Mortality in Patients Receiving Long-Term Oxygen Therapy: A Prospective Observational Study. Journal of Palliative Medicine (JCR, IF:2.8).

2023 (online ahead).

2. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Cognitive Function in Patients With Mild Idiopathic Pulmonary Fibrosis: A Case-Control Pilot Study. Occupational Therapy In Health Care (JCR, IF:0.9). 2023 (Online ahead).
3. Hasegawa N, Annaka H. Long-term effect associated with seizures and dynamic effect associated with treatment on cognitive dysfunction of adult patients with focal epilepsy as evaluated by the Trail Making Test. Epileptic Disorders (JCR, IF:2.3). 2023 (Online ahead).

3 学会等研究発表

1. 安中裕紀, 能村友紀, 森山寛史. 修正 GAP モデル Stage1 の特発性肺線維症患者の認知機能障害: 健常群, Stage2・3 との比較検討. 第33回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (宮城), 2023.12.2.
2. 安中裕紀. 地域で暮らす難病と障害のある子どもの"進学・就労"を考える〜トランジションを迎える子どもたちへの支援〜. 第28回日本難病看護学会学術集会 (新潟), 2023.9.30.
3. 安中裕紀, 能村友紀, 森山寛史. 在宅酸素療法患者における生命予後因子の検討: 前向き観察研究. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (神奈川), 2023.7.16.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本作業療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 日本心臓リハビリテーション学会, Asian Pacific Society of Respiriology, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. いのち授業, 講師, 佐々木中学校, 佐々木中学校生徒, 新潟, 2023.11.15.
2. 生活行為向上マネジメント基礎研修, 講師, 新潟県作業療法士会, 作業療法士, 新潟, 2023.7.3.

2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. TV, ゆうなび, 「可能性のない人はこの世に一人もいない」筋ジストロフィーの YouTuber 中学校で『命の大切さ』の授業, 2023.11.15.

3) 社会活動への参加協力

1. 放課後デイサービスはる grow, 発達支援に関する助言, 助言者, 村上市, 2023.6.8.
2. 新発田市文化行政課文化芸術振興室, 中学生の陶芸指導の補助, 講師の補助, 新発田市, 2023.6.15.
3. 新発田市文化行政課文化芸術振興室, 中学生の陶芸指導の補助, 講師の補助, 新発田市, 2023.6.29.
4. 放課後デイサービスはる grow, 発達支援に関する助言, 助言者, 村上市, 2023.7.14.
5. 新潟市北区地域包括ケア推進課, 地域の茶の間事業, 講師, 新潟市, 2023.9.11.
6. 放課後デイサービスはる grow, 発達支援に関する助言, 助言者, 村上市, 2023.9.29.
7. 佐々木中学校, いのちの授業, 講師, 新発田市, 2023.11.15.
8. ハルガーデン, 発達支援に関する助言, 助言者, 2023.11.24.
9. 新潟市北区地域包括ケア推進課, 地域の茶の間事業, 講師, 新潟市, 2024.3.4.

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本作業療法士協会・演題審査委員, 新潟県作業療法士会・演題審査委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2024, 若手研究, てんかん患者に対するスマートフォンによる遠隔認知リハビリテーションの有効性の検証, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

優秀賞, 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (2023.7.16), 呼吸ケア指導士 (2023.4.1)

7 学内委員会活動 入試委員会, 学生委員会, 交通安全委員会, 社会連携推進委員会

氏名：伊関 浩克

- 1 研究題目 表面麻酔下での知覚教育訓練が中枢神経可塑性へ与える影響
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本手外科学会，新潟県作業療法士会，日本ハンドセラピー学会，日本肩関節学会，日本作業療法士協会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 中部ハンドセラピー研究会，実行委員，長野（松本市），2024.1.27.
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
認定作業療法士（2023.6）
- 4 学内委員会活動 人権委員会，個人情報保護委員会，広報委員会，FD・SD推進委員会，同窓会・生涯学習連携推進委員会

(3) 言語聴覚学科

氏名：大石 如香

- 1 研究題目 脳血管疾患による失語症および読み書き障害の研究, 脳血管疾患や変性性認知症における視覚認知障害および質感認知障害に関する研究
- 2 論文
 1. Oishi Y, Aruga K, Kurita K. Relationship between face recognition ability and anxiety tendencies in healthy young individuals: A prosopagnosia index and state-trait anxiety inventory study. Acta Psychologica (JCR), 245: 104237, 2024. (review)
 2. Oishi Y. Visual texture recognition in patients with cerebrovascular disease and dementia. Niigata Journal of Health and Welfare, 23(2) 33-44, 2024. (review)
- 3 報告書
 1. 大石如香, 今村徹, 鈴木匡子. 研究基盤 (C), 認知症早期診断のための質感認知障害と物体認知障害の関係性および神経基盤の解明. 研究実施報告書, 2021~2024 (研究代表者)
- 4 学会等研究発表
 1. 大石如香, 菅井努, 鈴木匡子. 左側頭極切除後に固有名詞に重度の失名辞を呈した脳腫瘍例. 第47回日本高次脳機能障害学会学術集会 (仙台), 2023.10.28-10.29.
 2. 上之山恵美, 近藤悟, 田村和子, 佐藤卓也, 大石如香. 新規の場所に限定された地誌的失見当を呈した右視床出血の一例. 第47回日本高次脳機能障害学会学術集会 (仙台), 2023.10.28-10.29.
 3. 菅歩実, 武石香里, 下村辰雄, 宮田美生, 大石如香. 非流暢な発話を呈したLogopenic型進行性失語の一例. 第47回日本神経心理学会学術集会 (高知), 2023.9.7-9.8.
 4. 佐藤卓也, 小池亮子, 鈴木貴広, 村山拓也, 大石如香. もやもや病で右下1/4盲を呈した自動車運転再開の一例. 第47回日本高次脳機能障害学会学術集会 (仙台), 2023.10.28-10.29.
 5. 上之山恵美, 田村和子, 近藤悟, 佐藤卓也, 大石如香. 右視床出血により地誌的失見当を呈した症例の検討. 第10回新潟県言語聴覚士会学術大会 (新潟), 2023.5.28.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本神経心理学会 (評議員), 日本言語聴覚士協会 (査読委員), 日本高次脳機能障害学会, 日本音声言語医学会, 日本ディサースリア臨床研究会, 日本認知神経心理学研究会, 新潟医療福祉学会, 日本色彩学会, International Colour Vision Society
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本高次脳機能障害学会代議員
 2. 日本神経心理学会評議員
 3. 新潟神経心理懇話会世話人
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2023年度 高次脳機能障害者支援普及事業 慈恵医科大学医学部リハビリテーション学講座主催 第17回区中央部高次脳機能障害合同研修会 講師, 2023.9.4.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 第47回日本高次脳機能障害学会学術集会, 一般演題 (ポスター) 座長, 仙台市. 2023.10.29.
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
一般社団法人言語聴覚士協会 学術誌編集委員会査読委員
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度 文部科学省科学研究補助金 基盤研究 (C), 認知症早期診断のための質感認知障害と物体認知障害の関係性および神経基盤の解明, 研究代表者
 2. 2021年度 文部科学省研究費補助金 学術変革領域研究「深奥質感」, 実世界の奥深い質感情報の分析

と生成，研究協力者

8 学内委員会活動 将来計画機構，教員選考委員会

氏名：今村 徹

報告事項なし

氏名：佐藤 克郎

- 1 研究題目 中耳における細菌感染症に関する基礎研究（耳鼻咽喉科学，細菌学，感染症学），頭頸部腫瘍に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，頭頸部外科学），音声障害に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，音声言語医学）
- 2 論文
 1. 佐藤克郎，五十嵐萌子．めまいに関する大学生の意識調査—大学学部教育における研究へのCOVID-19の影響と今後の展望—新潟市医師会報，2023；629：2-6（査読あり）
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（理事・評議員），日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（認定専門医・認定補聴器相談医・新潟県地方部会評議員・新潟県地方部会医事問題委員），日本気管食道科学会（認定専門医），日本頭頸部癌学会，日本頭頸部外科学会，日本音声言語医学会，日本喉頭科学会，日本耳科学会，日本聴覚医学会，耳鼻咽喉科臨床学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会，理事および評議員会，新潟市，2023.5.24.
 2. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会医事問題委員会，新潟市，2023.6.10.
 3. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会医事問題委員会，新潟市，2023.12.9.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. とよさか中高年教養大学「健康長寿学」，年齢と関連する耳鼻咽喉科疾患—耳鼻咽喉科学 総論・各論一，新潟市，2023.10.26.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会補聴器相談医としての患者対応，新潟県立吉田病院，2023.4-2024.3.
 - 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
公益財団法人国際耳鼻咽喉科振興会賛助員（教授職）
- 5 学内委員会活動 人権委員会，個人情報保護委員会

氏名：吉岡 豊

- 1 研究題目 言語発達障害児の語彙力に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 高橋奈奈，伊藤さゆり，吉岡豊．言語未獲得の先天性聴覚障害者の言語評価・訓練の経過．第24回日本言語聴覚学会（愛媛），2023.6.24.
 2. 谷麻美，大湊麗，吉岡豊．保護者の主訴と評価が異なった22例の検討．第24回日本言語聴覚学会（愛媛），2023.6.24.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本発達障害支援システム学会，日本音声言語医学学会，日本特殊教育学会，日本聴覚言語障害学会，日本言語聴覚士協会，日本聴覚医学会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会，日本口蓋裂学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 阿賀町役場，言葉の相談会，言語指導者，阿賀町津川・やまぶきの里，2023.4.1-2024.3.31（5.13，7.8，

9.9, 11.11, 1.6, 3.2)

- 5 学内委員会活動 広報委員会, 言語発達支援センター (センター長), 大学院入試広報委員会 (入試部会長), 同窓会・生涯学習推進委員会サポーター

氏名：今井 信行

- 1 研究題目 高齢者の口腔機能解析, 摂食嚥下障害における評価法・訓練法の開発
- 2 学会等研究発表
 1. 大橋知記, 石川千里, 小股整, 佐藤卓也, 今井信行, 食道拡張用バルーンカテーテルを使用した嚥下訓練の経験. 第10回一般社団法人新潟県言語聴覚士会学術大会 (新潟市), 2023.5.28.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本口腔外科学会, 日本口腔科学会, 日本口蓋裂学会, 日本歯科麻酔学会, 日本小児口腔外科学会, 日本音声言語医学会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本障害者歯科学会, 日本顎顔面補綴学会, 新潟歯学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 尾山愛広苑口腔機能維持管理会議, 入所者の口腔機能の問題解決のための助言・指導, 2023.4-2024.3. (月1回)
 2. 新潟市歯科医師会・北2班 夏の講演会, 新潟市歯科医師会会員対象学術講演, 主催, 新潟市, 2023.8.30.
 3. 新潟市歯科医師会・北2班 秋の講演会, 新潟市歯科医師会会員対象学術講演, 主催, 新潟市, 2023.11.17.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟市歯科医師会北2班班長
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション病院非常勤歯科医師, 歯科・歯科口腔外科, 2023.4-2024.3.
- 6 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名：石本 豪

- 1 研究題目 児童・青年に対する心理的支援に関する研究, 障害児の親に対する心理的支援に関する研究, 発達障害の大学生に対する就労支援に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 石本豪, 子どもの不登校を経験した母親の主観的QOLの変化. 日本学校メンタルヘルス学会第27回大会 (東京), 2023.3.16-3.17.
 2. 原口彩子, 石本豪, 大学生の自殺予防に対する「パパゲーノメール」の効果. 第45回全国大学メンタルヘルス学会総会 (札幌市), 2023.12.21-12.22.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本学生相談学会, 日本教育心理学会, 日本コミュニケーション障害学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市教育委員会スクールカウンセラー等活用事業, スクールカウンセラー, 新潟市内小・中学校, 2023.4.1-2024.3.31.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科研費基盤研究C, 自閉スペクトラム症の大学生に対する就労支援に関する仮説理論モデルの生成, 研究代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 - 第45回全国大学メンタルヘルス学会総会における発表(原口彩子, 石本豪. 大学生の自殺予防に対する「パ Pager ノメール」の効果)にて岡庭賞(学会賞)受賞. 2023.12.22.
- 6 学内委員会活動 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会, メンタルヘルス支援室, 言語発達支援センター

氏名: 内山 信

- 1 研究題目 レビー小体型認知症の錯視・幻視に関する研究, レビー小体型認知症の記憶障害に関する研究, パーキンソン病の認知機能障害に関する研究, 認知症患者の難聴に関する研究
- 2 著書
 1. 内山信, 今村徹; 池田学編. 講座 精神疾患の臨床 5 神経認知障害群. 1 版. 東京: 中山書店; 2023: 176-184.
- 3 論文
 1. Watanabe H, Uchiyama M, Yokoi K, Mamiya Y, Narita W, Iizuka O, Baba T, Suzuki K, Mori E, Nishio Y. Behavioral and neural correlates of pareidolic illusions in dementia with Lewy bodies. Parkinsonism & Related Disorders (JCR). 2023; 113. (review)
- 4 学会等研究発表
 1. 龍田栞, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. 立方体透視図における輪郭を構成しない線分の延長に関連する要因について. 第47回日本神経心理学会学術集会(高知市), 2023.9.7-9.8.
 2. 内山信, 坂口愛, 佐藤卓也, 今村徹. 認知症専門外来を受診した小脳性認知・情動症候群を呈した患者の臨床特徴. 第47回日本高次脳機能障害学会学術総会(仙台市), 2023.10.28-10.29.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本神経心理学会(評議員), 日本高次脳機能障害学会, 新潟神経心理懇話会(役員)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度. 基盤研究(c), 難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討, 研究代表者

氏名: 栗原 桂

- 1 研究題目 新潟県の新生児聴覚スクリーニング事業について(聴覚障害学), 人工内耳装用児のコミュニケーションの発達(聴覚障害学), 両側人工内耳装用児の療育支援(聴覚障害学), 片耳難聴児の支援と教育(聴覚障害学), 難聴の早期発見, 難聴児を取り巻く医療と教育の連携について(連携教育), 大学における連携教育の在り方について(連携教育), 医療現場における多職種連携について(連携教育), マイクロエスノグラフィ・ライフヒストリー(研究方法論)
- 2 報告書
 1. きこえエール新潟. 赤ちゃんのお耳のはなしー両耳難聴のことー. 2024年4月版. 新潟市: きこえエール新潟; 2024年3月30日発行: 1-21, きこえエール新潟相談支援課
 2. 栗原桂. 基盤研究(C)(一般), 新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査. 科学研究費助成事業実施状況報告書(令和4年度), 令和元年度~令和3年度, 栗原桂・泉修司・廣田栄子・石上和男
 3. 栗原桂. 基盤研究(C)(一般), 両側人工内耳装用乳幼児の言語発達を伸ばす取り組みーLENAシステムの活用. 科学研究費助成事業実施状況報告書(令和4年度), 令和4年度~令和6年度, 栗原桂
- 3 学会等研究発表

1. NHS受検児，合併症等でNHS未受検だが精密検査または二次聴力検査医療機関を受診した児について（新潟県）
 2. 国際交流部（栗原桂），協会企画5：多言語での音声言語と聴覚の評価：ユニバーサルに従事するSTの集い：補聴器・人工内耳，聞こえているかな？－どの言語でも便利に使えるLing6音について－2023.6.24. 日本言語聴覚士協会 at 愛媛県.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，American Audiology Society，American Cochlear Implant Alliance，日本言語聴覚士協会（国際部員），日本教育オーディオロジー研究協議会（北陸地区評議員），きこえエール新潟（理事・相談支援員），北陸教育オーディオロジー研究協議会（北陸地区代表），日本聴覚医学会，日本特殊教育学会，日本音声言語医学会，日本発達障害学会，日本コミュニケーション障害学会，ろう教育科学会，新潟県難聴児をもつ親の会.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー，講座12，お子さんが聞えないと言われたら：新生児聴覚スクリーニング検査について，栗原桂，市民，新潟市（オンライン），2023.4.1-2024.3.31.
 2. きこえエール新潟，勉強会，サイトメガロウイルス感染症について，講演，きこえエール新潟，教員，ST，耳鼻科医，2024.3.9.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 新聞，新潟日報，NPO法人きこえエール新潟設立5年：悩む家族に寄り添い続け，2023.2.16.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. きこえエール新潟，事業運営会議第76回～第86回，理事，ZOOM開催，4.1，4.29，5.21，7.16，8.20，9.17，11.12，12.17，1.28，2.23，3.24.
 2. きこえエール新潟，エールだより発行，相談支援課，第29号～第33号，6.25，8.21，12.20，3.18，8.20.
 3. きこえエール新潟，理事会開催，理事，第1回～第2回，新潟ふれ愛プラザ，4.29，6.11.
 4. きこえエール新潟，第6回通常総会・勉強会開催（オンデマンド配信），理事，新潟ふれ愛プラザ，6.11（6.23-7.23）.
 5. きこえエール新潟，勉強会・相談支援研修会，理事，第1回～第2回，新潟ふれ愛プラザ，10.1（10.15-11.15），3.9.
 - 4) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本言語聴覚士協会（国際部員），きこえエール新潟（理事）
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，基盤研究（C）（一般），新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査
 2. 2022年度，基盤研究（C）（一般），両側人工内耳装用乳幼児の言語発達を伸ばす取り組み－LENAシステムの活用
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医歯学総合病院頭頸部外科，小児難聴外来・人工内耳外来，客員研究員，毎週火曜日2015.5-現在
- 7 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会（広報部会員），新潟連携教育研究センター運営委員会（連携学対応部会長），高等教育推進センター運営委員会（初年次教育部会員）

氏名：佐藤 卓也

- 1 研究題目 高次脳機能障害の自動車運転再開支援，失語症者の自動車運転再開支援，自動車運転再開支援の連携

2 論文

1. 佐藤卓也. 自動車運転再開支援リハビリテーションの現状と実際－新潟リハビリテーション病院の取り組みと新潟県の現状－. 言語聴覚研究；20(2)：85-94, 2023. (協力学術団体) (査読なし)
2. 佐藤卓也. 高次脳機能障害者の自動車運転：運転行動上の特徴「失語症者の運転上の特徴」. 高次脳機能研究；43(2)：137-141, 2023. (学術協力団体) (査読なし)

3 学会等研究発表

1. 佐藤卓也, 小池亮子, 鈴木貴広, 村山拓也, 大石如香. もやもや病で右下1/4盲を呈した自動車運転再開の一例. 第47回日本高次脳機能障害学会学術総会 (仙台市), 2023.10.28-10.29.
2. 鎌田日南, 佐藤卓也, 今村徹. アルツハイマー病の日常生活機能障害 (functional impairment) に影響する要因：記憶障害の指標で重症度を統制した検討. 第47回日本神経心理学会学術集会 (高知市), 2023.9.7-9.8.
3. 大島愛, 佐藤卓也, 今村徹. 前頭側頭型認知症 (frontotemporal demetia:FTD) 患者の単語再認課題における虚再認：アルツハイマー病との比較検討. 第47回日本神経心理学会学術集会 (高知市), 2023.9.7-9.8.
4. 鈴木菜月, 佐藤卓也, 今村徹. 前頭側頭型認知症 (FTD) における脱抑制行動：Neuropsychiatric Inventory (NPI) は何を検出し, 何を検出できないのか. 第47回日本神経心理学会学術集会 (高知市), 2023.9.7-9.8.
5. 龍田栞, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. 立方体透視図における輪郭を構成しない線分の延長に関連する要因について. 第47回日本神経心理学会学術集会 (高知市), 2023.9.7-9.8.
6. 内山信, 坂口愛, 佐藤卓也, 今村徹. 認知症専門外来を受診した小脳性認知・情動症候群を呈した患者の臨床特徴. 第47回日本高次脳機能障害学会学術総会 (仙台市), 2023.10.28-10.29.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本神経心理学会, 日本安全運転医療学会 (理事・編集委員), 日本言語聴覚士協会, 新潟神経心理懇話会 (世話人), 障害と自動車運転に関する研究会 (世話人・代表事務局)

2) 学術集会の主催

1. 障害と自動車運転に関する研究会, 第20回障害と自動車運転に関する研究会, 代表事務局 (実行委員長), WEB, 2023.7.8.
2. 障害と自動車運転に関する研究会, 第21回障害と自動車運転に関する研究会, 代表事務局 (実行委員長), ハイブリッド, 2023.10.21.

3) 学会等でのその他の活動

1. 令和5年度第1回日本安全運転医療学会理事評議員総会. 理事参加. WEB. 2023.4.1.
2. 令和5年度第2回日本安全運転医療学会理事評議員総会. 理事参加. 千葉市. 2023.12.16.
3. 第7回日本安全運転医療学会学術集会. 一般演題口述1, 座長. 千葉市. 2023.12.16.
4. 日本安全運転医療学会, 編集委員会, 委員.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第3回滋賀県自動車運転と医療に関する協議会, 新潟県の自動車運転再開支援における各機関との連携, 特別講演講師, 滋賀県自動車運転と医療に関する協議会, 医療・警察・自動車教習所関係者, 滋賀県草津市, 2024.9.14.
2. 県民公開講座, 第1回新潟県言語聴覚士会県民フォーラム, 企画運営・相談対応, 一般, 新潟県言語聴覚士会, 新潟市メディアシップ, 2024.11.12.
3. 2023年度福島高次脳機能障害リハビリテーション講習会, 自動車運転再開リハビリテーションとは? 一歩広げるための支援と視点, 講演, リハビリ専門職, 福島高次脳機能障害リハビリテーション講習会, WEB, 2024.1.20.

4. 令和5年度第2回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議・シンポジウム，新潟県における高次脳機能障害者の自動車運転再開支援，講演，高次脳機能障害支援拠点に所属する支援コーディネーター等，WEB，2024.2.16.
5. 一般社団法人山梨県言語聴覚士会第3回学術講演会，失語症者の自動車運転再開支援リハビリテーション，講演，言語聴覚士，WEB，2024.3.14.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 有料動画サイト，gifted・発達障害支援者向けメディア インクルボックス（株式会社voice and peace），言語聴覚フォーラム@新潟，インタビュー対談，2024.12月掲載.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県高次脳機能障害相談支援センター，令和5年度高次脳機能障害当事者のつどい（新潟第1回目），当事者の交流・質問回答・情報提供・助言等，助言者，新潟県障害者リハビリテーションセンター，2023.9.19.
 2. 新潟県高次脳機能障害相談支援センター，令和5年度高次脳機能障害当事者のつどい（長岡第1回目），当事者の交流・質問回答・情報提供・助言等，助言者，長岡地域振興局，2023.10.24.
 3. 新潟県高次脳機能障害相談支援センター，令和5年度高次脳機能障害当事者のつどい（新潟第2回目），当事者の交流・質問回答・情報提供・助言等，助言者，新潟県障害者リハビリテーションセンター，2023.12.12.
 4. 新潟県高次脳機能障害相談支援センター，令和5年度高次脳機能障害当事者のつどい（長岡第2回目），当事者の交流・質問回答・情報提供・助言等，助言者，長岡地域振興局，2024.3.5.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会（副委員長），新潟県自立支援協議会（委員），新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（新潟県災害福祉支援チーム員）
- 5) 職能団体（協会，士会等）の委員

一般社団法人新潟県言語聴覚士会（会長・理事），新潟県リハビリテーション専門職協議会（副会長），新潟県地域包括ケア支援専門職協議会（委員），障害と自動車運転に関する研究会（世話人・代表事務局），新潟神経心理懇話会（世話人）
- 6 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会（委員），教務委員会（委員），教育の質マネジメント委員会（委員）就職センター運営委員会（委員）

氏名：田村 俊暁

- 1 研究題目 神経筋疾患患者の発声発語障害に関する研究（成人発声発語障害学），神経筋疾患患者の摂食嚥下障害に関する研究（嚥下障害学）
- 2 論文
 1. 田村俊暁，神経筋疾患に伴う発話障害における舌の筋力低下，新潟医療福祉学会誌，2024；23(3)：47-53
 2. 田村俊暁，進行性神経筋疾患に伴う嚥下障害を持つ人とのSTとしての関わり方，月刊難病と在宅ケア，2024；29(12)：20-23
- 3 学会等研究発表
 1. 田村俊暁，丸山航輝，渡辺慶大，Dysarthriaのある話者における第2フォルマント移動と自然度の関連，第24回日本言語聴覚学会（松山市），2023.6.23-6.24.
 2. Tanaka Y, Tamura T, Tsuboi T, Sato M, Tamakoshi D, Uematsu T, Hiraga K, Satake Y, Yokoi K, Hara K, Nanto T, Yamamoto M, Katsuno M. Task of screening test for early detection of dysarthria in Parkinson's disease: Reiwa pilot study. 32nd World Congress of the IALP 2023 (Auckland). 2023.8.20-8.24.
 3. 田村俊暁，進行性神経筋疾患に伴う嚥下障害を持つ人とのSTとしての関わり方，第29回日本摂食嚥下リ

ハビリテーション学会学術大会（横浜市），2023.9.2-9.3.【シンポジウム】

4. 田中康博，矢野実郎，南都智紀，田村俊暁，Nicole Etter，坪井崇，橋詰淳，佐藤茉紀，Aaron Ziegler，勝野雅史．高齢者向け声のQol評価の開発— Phase 1: Aging Voice Index (AVI) 日本語版の作成—．第68回日本音声言語医学会（倉敷市），2023.10.5-10.6.
5. 館幸枝，荏安誠，田村俊暁，佐藤剛史．構音評価のための課題文の作成（その1）：試作とその検証．第68回日本音声言語医学会（倉敷市），2023.10.5-10.6.
6. 田村俊暁，Ong Ying Qian，荏安誠，Chu Shin Ying．オーラル・ディアドコキネシスと使用言語：マレーシア・マンダリン人と日本人の比較．第68回日本音声言語医学会（倉敷市），2023.10.5-10.6.
7. 田村俊暁，荏安誠，丸山航輝，渡辺慶大．dysarthria話者での話速度による第2フォルマント移動率の違い：予備的検討．第68回日本音声言語医学会（倉敷市），2023.10.5-10.6.
8. Ying Qian Ong, Jaehoon Lee, Tamura T, Kariyasu M, Siaw Chui Chai, Shin Ying Chu. Oral Diadochokinetic Rates in Malaysian-Mandarin and Japanese Young Adults: Preliminary Findings. International Conference on Medical & Health Science (Toronto) 2024 2024.1.17.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本音声言語医学会，日本ディサースリア臨床研究会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本高次脳機能障害学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第1回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，コミュニケーション支援実習Ⅰ等，司会・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，長岡市，2023.8.20.
2. 第2回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，身体介助方法等，司会・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，新潟市，2023.8.27.
3. 第3回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，外出同行支援実習等，司会・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，長岡市，2023.9.10.
4. 第4回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会，派遣事業と意思疎通支援者の業務等，講師・実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，新潟市，2023.10.15.
5. 失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会オンデマンド配信，派遣事業と意思疎通支援者の業務，講師，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県民，オンデマンド，2022.12.4.
6. STudy.laboオンラインセミナー，Dysarthria臨床の基礎，講師，STudy.labo，言語聴覚士，オンライン，2023.5.18.
7. STudy.laboオンラインセミナー，Dysarthriaのことを田村先生に聞いてみよう，講師，STudy.labo，言語聴覚士，オンライン，2023.5.25.
8. 臨床に悩むPT・OT・STのためのオンラインセミナー，Dysarthriaの発話特徴抽出入門，講師，株式会社gene，リハビリ関連職種，オンデマンド，2024.3～公開

2) 社会活動への参加協力

1. 厚生労働省，失語症者向け意思疎通支援者養成事業，講師および県庁との連絡係，新潟市，2023.4.1-2024.3.31.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

一般社団法人日本言語聴覚士協会（わが国の言語聴覚療法のエビデンスWG委員）一般社団法人新潟県言語聴覚士会（理事），一般社団法人新潟県言語聴覚士会（財務部長），一般社団法人新潟県言語聴覚士会（失語症者向け意思疎通支援事業推進部長），一般社団法人日本言語聴覚士協会（国際部協力員）

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. かみやま親子歯科クリニック，言語聴覚士，2023.4-2024.3.

7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会，広報委員会，科研費対策委員会

氏名：大湊 麗

- 1 研究題目 口唇口蓋裂の言語管理に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 大湊麗，小野和宏，児玉泰光，結城龍太郎，永井孝弘，小林亮太，市川佳弥，丹原惇，佐藤真由美，濃野要，飯田明彦，若槻華子，宮田昌幸，小林正治，齋藤功，高木律男，富原圭。二段階口蓋形成手術法における軟口蓋形成術後の後方裂幅と乳歯列期咬合関係の関連。第47回日本口蓋裂学会総会・学術集会（東京），2023.5.
 2. 谷麻美，大湊麗，吉岡豊。保護者の主訴と評価が異なった22例の検討。第24回日本言語聴覚学会（愛媛），2023.6.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本口蓋裂学会（認定師認定委員），日本音声言語医学会，日本特殊教育学会，日本小児口腔外科学会，新潟歯学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本口蓋裂学会，口唇裂・口蓋裂認定師（音声言語分野）認定委員会，オンライン会議，2023.4-2024.3.
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 言語通級指導検討会，講師，南魚沼市立六日町小学校，2023.4.
 2. 言語通級指導検討会，講師，南魚沼市立城内小学校，2023.5.
 3. 言語通級指導検討会，講師，阿賀野市立水原小学校，2023.6.
 4. 言語通級指導検討会，講師，長岡市立新町小学校，2023.7.
 5. 言語通級指導検討会，講師，新潟市立白根小学校，2023.10.
 6. 言語通級指導検討会，講師，新潟市立万代長嶺小学校，2023.11.
 7. 言語通級指導検討会，講師，新潟市立鏡淵小学校，2024.1.
 8. 言語通級指導検討会，講師，新潟市立荻川小学校，2024.2.
 9. 新潟市教員委員会特別支援教育研修講座検討会，講師，新潟医療福祉大学，2024.3.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023年度。科研費基盤研究C，二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討：鼻腔共鳴の定量評価の確立，大湊麗。研究代表者。
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 第47回日本口蓋裂学会総会・学術集会，優秀論文賞，2023.5.
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学歯学部，非常勤講師，「口腔外科学Ⅰ」「チームアプローチによる口唇口蓋裂治療Ⅰ」「摂食嚥下機能評価支援学特論」，2023.4-2024.3.
 2. 新潟大学医歯学総合病院，2023.4-2024.3.
 3. 新潟県立精神医療センター，2023.4-2024.3.
- 6 学内委員会活動 言語発達支援センター

氏名：谷 麻美

- 1 研究題目 子どもの問題行動に関する研究，言語発達障害に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 谷麻美，吉岡豊。保護者の主訴と評価が異なった22例の検討。第23回日本言語聴覚学会，2023.6.24，愛媛
- 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本小児精神神経学会, 新潟医療福祉学会, 日本発達障害支援システム学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 夢ナビ, プレゼンター, リクルート, 高校生, 2023.7.16.
2. 出張講義, 言語聴覚士の仕事, 講師, 新潟西高校, 高校生, 2023.7.13.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. インターネット, インクルボックス, 言語聴覚士が足りない, 2023.12.25.

3) 社会活動への参加協力

1. 言語発達支援センター, 発達支援, 研究員, 新潟医療福祉大学, 2022年から現在
2. 新潟県言語聴覚士会 学校教育・発達支援連携委員会, 派遣員, 言語発達評価および通級担当教員への助言, 2023.10.25.

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本言語聴覚士協会, 新潟県言語聴覚士会, 子どもの発達支援を考えるSTの会

5 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

修士(医科学)(2024.3.25)

6 学内委員会活動 言語発達支援センター

(4) 義肢装具自立支援学科

氏名：佐藤 成登志

- 1 研究題目 腰痛・肩こりの理学療法に関する研究, ロコモ・フレイル予防に関する研究, 慢性腰痛および脊柱変形のある対象者に対する研究, 痛み・しびれ・麻痺に対する徒手的治疗の研究, 通いの場の現状および介入プログラムに関する研究, 職業性腰痛に関する研究
- 2 論文
 1. Sato N, Konish I, Kanda M, et al. Classification and comparison of the Physical Characteristics and Functions of various age groups of Community-dwelling elderly individuals participating in the Kayoi-no-ba program. J Phy. Ther. Sci. 36: 313-318, 2024 (review)
 2. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 渡邊慶, 佐藤成登志. 腰痛の有無における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時の変化－体幹伸展動作とこれだけ体操での比較－. Journal of Spine Research. 2023 ; 14 : 945-952 (査読あり)
 3. Kanda M, Suda H, Marda Y, Sato M, Sato N. Effects of remote classes on the physical health of university students during the COVID-19 pandemic. J Phy. Ther. Sci. 36: 151-154, 2024 (review)
- 3 報告書
 1. 佐藤成登志, 神田賢, 北村拓也. 基盤研究 (C), 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究成果報告書, 2023, 研究代表者
 2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業 2023年度報告書, 2023, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K. Short and medium term effects of exercise therapy for patients with adult spinal deformity. ISSLS9th (Melborn MCEC), 2023.5.5.
 2. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 成人脊柱変形患者に対する教育を加えた運動療法の短・中期効果. 第31回日本腰痛学会 (徳島), 2024.12.1.
 3. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K. Short and medium term effects of exercise therapy for patients with adult spinal deformity. ISSLS9th (Melborn MCEC), 2023.5.5.
 4. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 成人脊柱変形患者に対する教育を加えた運動療法の短・中期効果. 第31回日本腰痛学会 (徳島), 2024.12.1.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本理学療法士学会, 新潟県理学療法士学会 (理事・会長), 日本腰痛学会, 日本運動器疼痛学会, 理学療法科学学会, 日本MTA学会 (理事), 新潟医療福祉学会, 日本介護予防・健康づくり学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第29回新潟県理学療法学会学術大会, 学術活動, 組織代表, 上越市, 2024.2.24-2.25.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2024.3.16-3.17.
 2. 三重県理学療法士会研修会, 職業性腰痛の特徴と教育・管理, 講師, 三重県理学療法士会, 理学療法士, Web, 2023.7.30.
 3. 理学療法士の現状と展望等について, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2023.7.15.
 4. 健康講座 元気で過ごせるための予防法, 講師, 柏崎市茨目米峰会, 柏崎市茨目米峰会の会員, 柏崎市, 2023.8.6.
 5. 安全管理研修会 安心・安全に働くための転倒・腰痛予防の方法と実践, 講師, 水澤化学工業, 工業関係者, 胎内市, 2023.8.21.

6. 十日町シルバー人材センター 運動機能測定会, 測定者・講師, 十日町シルバー人材センター 会員, 十日町市, 2023.10.23.
7. 労働災害(転倒・腰痛)について, 講師, 医師会, 産業医, 燕市, 2023.10.25.
8. 安全管理研修会 安心・安全に働くための転倒・腰痛予防の方法と実践, 講師, (株)黒崎白土工業, 工業管理者, 新発田市, 2023.10.31.
9. ICTを活用した事業, ミニ講話(転倒・関節痛予防), 講師, 地域住民(胎内市笹口浜), 胎内市, 2023.11.7.
10. ICTを活用した事業, ミニ講話(転倒・関節痛予防), 講師, 地域住民(胎内市新栄町), 胎内市, 2023.11.10.
11. 健康講座 元気で過ごせるための予防法, 講師, 新潟市山潟包括支援センター, 地域住民, 新潟市, 2023.11.17.
12. 労働災害(転倒・腰痛)について, 講師, 医師会, 産業医, 長岡市, 2023.12.9.
13. ICTを活用した事業, ミニ講話(転倒・関節痛予防), 講師, 地域住民(胎内市新保町), 胎内市, 2023.12.22.
14. 就労支援事業:労働災害予防のためのセミナー, 安心・安全に働くための転倒予防の方法と実践, 講師, (株)東洋濾紙, 社員, 聖籠町, 2024.2.5.
15. 就労支援事業:運動機能測定会, 測定者・講師, 柏崎ウオロク店, 社員, 柏崎市, 2024.1.14.
16. 就労支援事業:運動機能測定会, 測定者・講師, 十日町イオン, 社員, 十日町市, 2024.2.6.
17. ICTを活用した事業, 調査・講師, 地域住民(胎内市新保町), 胎内市, 2024.2.16.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞掲載, 新潟日報, 腰痛, 2024.1.31.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. (公社)日本理学療法士協会・組織運営委員会, 組織運営, 県代表, web, 2023.4-2024.3. (2回)
 2. (公社)新潟県理学療法士会・総会, 会長, 新潟, 2023.6.25.
 3. (公社)新潟県理学療法士会・理事会, 会長, 新潟, 2023.4-2024.3. (6回)
 4. (公社)新潟県理学療法士会・関連会議, 会長, 新潟, 2023.4-2024.3. (22回)
 5. (公社)新潟県介護福祉士会・理事会, 外部理事, web, 2023.6.
 6. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議, 県代表, web, 2023.10-2024.2. (2回)
 7. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議, 会長, 新潟, 2023.4-2024.3. (8回)
 8. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議, 会長, 新潟, 2023.4-2024.3. (6回)
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟県高齢者保健福祉推進協議会(委員), 新潟県循環器病対策推進協議会(委員), 新潟市北区自治協議会(委員)
- 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員

(公社)新潟県理学療法士会(会長・理事), 新潟県リハビリテーション専門職協議会(副会長), 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会(会長), 新潟県介護福祉士会(外部理事), 日本マイチューニングアプローチ学会(理事・北陸支部長)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2022年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 研究代表者
 2. 2020年度(継続), 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 ロコモティブ症候群予防研究センター(センター長), 社会連携推進部長

氏名：江原 義弘

1 研究題目 身体運動における発生筋張力、関節間力、消費エネルギーの計算に関する研究

2 論文

1. 津留崎康平, 佐藤成登志, 神田賢, 佐藤未希, 藤原健司, 江原義弘, 切断から17年が経過した大腿切断者への歩行改善プログラム. 日本義肢装具学会誌. 2023; 39-(3): pp238-245, (査読あり)
2. 佐藤未希, 神田賢, 東江由起夫, 郷貴博, 江原義弘, 女性大腿切断者と健常女性の月経周期における断端周径変化量の評価. 新潟医療福祉会誌. 2023; 23 (2): p. 9-16. (査読あり)
3. Chien-Hung Lai, Wen-Chieh Yang, Ehara Y. Effects of anterior ankle-foot orthoses and modified custom-made hinged orthoses on the walking of patients with stroke. Niigata Journal of Health and Welfare. 2023; 23 (1): p. 8-17. (査読あり)
4. 江原義弘, 前田雄, 阿部薫, 須田裕紀. Grade Point Average 再考. 新潟医療福祉会誌. 2024; 23 (2) : 30-35. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 佐藤未希, 神田賢, 東江由起夫, 郷貴博, 江原義弘, 月経周期における女性大腿切断者と健常女性の大腿部周径変化量の比較. 第29回日本義肢装具士協会学術大会 (仙台), 2023.7.15-7.16.
2. Praewpipat Bongkoch, Ehara Y. The effect of manufacturing FDM-3D printing insole on fabrication time. 第29回日本義肢装具士協会学術大会 (仙台), 2023.7.15-7.16.
3. Sasaki H, Ehara Y. Factors preventing disabled people from playing Sports, 第29回日本義肢装具士協会学術大会 (仙台), 2023.7.15-7.16.
4. Chien-Hung Lai, Ehara Y. Effects of anterior ankle-foot orthoses and modified custom-made hinged orthoses on the walking of patients with stroke. 第39回日本義肢装具学会 (岡山), 2023.10.28-10.29.
5. 佐々木穂果, 江原義弘, 障がい者の運動実施率と障がい者スポーツ体験会との関係性. 第39回日本義肢装具学会 (岡山), 2023.10.28-10.29.
6. プラウピパット ボンコック, 江原義弘, 扁平足における, 従来型と3Dプリントでのインソールを使用した足の痛みのスケールとユーザー満足度の比較. 第39回日本義肢装具学会 (岡山), 2023.10.28-10.29.
7. 藤澤壮志, 阿部薫, 江原義弘, 内側縦アーチ挙上反応性が走行時の足関節底屈モーメントに与える影響. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2023.10.28.
8. 佐々木穂果, 江原義弘, 障がい者スポーツ体験会と運動実施率との関係性. 第28回 日本アダプテッド体育・スポーツ学会. 日本福祉大学美浜キャンパス (愛知県), 2023.12.3.
9. 藤澤壮志, 佐々木穂果, 江原義弘, 抱っこ歩行とおんぶ歩行ではどちらが腰部負担が大きいか. 第44回臨床歩行分析研究会定例会 (名古屋, ウィンクあいち), 2024.3.2-3.3.
10. 高松敏, 江原義弘, Bongkoch Praewpipat, 古田島隆之介, 藤澤壮志, 佐々木穂果. 静止立位時, 重心動揺の義足足部の効果の違い. 第44回臨床歩行分析研究会定例会 (名古屋, ウィンクあいち), 2024.3.2-3.3.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具学会 (評議員), バイオメカニズム学会 (会長), 臨床歩行分析研究会 (副会長), ISPO国際義肢装具士協会 (フェロー), 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本靴医学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Gait & Posture 誌, 編集委員

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第44回臨床歩行分析研究会定例会, 運動学VS運動力学 (特別講演), 臨床歩行分析研究会, 学会員, 名古屋, ウィンクあいち, 2024.3.2-3.3.
 2. 基礎バイオメカニクスセミナー (初級編) 講師, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催, 医療

従事者，オンライン，2023.7.7-7.9.

3. 基礎バイオメカニクスセミナー（中級編）講師，新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催，医療従事者，オンライン，2023.8.4-8.6.

6 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. VICONクラブ顧問

氏名：東江 由起夫

- 1 研究題目 1) 3Dデジタル機器を活用した義肢装具士養成教育プログラムの構築および実用化に向けた研究，2) 客観的機器を用いた義肢ソケット適合評価研究，3) 3D Scanner/3D Printerを活用した脳卒中片麻痺者の短下肢装具ならびに下肢切断者の義足ソケットの実用化に向けた研究など.

2 著書

1. 東江由起夫. 義肢装具士白書2022, 4章 職域の拡大「3 今後の職域拡大」: 株式会社アイパック; 2022.10.1: 112-117.

3 論文

1. 東江由起夫. 特集リハビリテーション関連職種の動向「義肢装具士の動向」. 総合リハビリテーション, 2023.12.10; 51巻 (12): 1301-1308.

4 学会等研究発表

1. 東江由起夫, 田山文子, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3Dプリンタ製大腿義足ソケット内壁面における3軸方向の接触圧の分析 静止立位時・荷重時・非荷重時・筋収縮時. 日本義肢装具士協会学術会 (セ (仙台市)), 2023.7.15-7.16.
2. 田山文子, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3Dプリンタ製大腿義足ソケットによるソケット内壁面圧の測定. 日本義肢装具士協会学術大会 (仙台市), 2023.7.15-7.16.
3. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄. 補装具製作における3D技術の運用に関する実態調査 (第1報) 3D技術の導入の実態. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山), 2023.10.28-10.29.
4. 岩村祥平, 山本紳一郎, 花房昭彦, 今信一郎, 田山文子, 東江由起夫, 大塚博. 大腿義足ソケットの製作のための動的シミュレーション～ソケット素材の違いによる有限要素解析～. LIFE2023 (柏崎市), 2023.9.20.
5. 花房昭彦, 大久保美里, 高木基樹, Shahrol Mohamaddan, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 東江由起夫, 前田雄. 動的有限要素法による人体モデルを用いた丹あk氏装具の評価. LIFE2023 (柏崎市), 2023.9.20.
6. 中村隆, 須田裕紀, 東江由起夫, 飛松好子. 補装具製作における3D技術の運用に関する実態調査 (第2報) 3D技術の導入効果と課題. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
7. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 3D-Scannerを用いたライナー式下腿義足ソケットと切断端の形状比較. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
8. 坂井一浩, 西嶋一智, 東江由起夫. 義肢装具の供給における多職種連携, および義肢装具士の臨床業務環境に関する調査. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
9. 大久保美里, 花房昭彦, 高木基樹, Shahrol Mohamaddan, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 東江由起夫, 前田雄. トポロジー最適化を適用した短下肢装具のトルク計測とシミュレーション結果の比較. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
10. 岩村祥平, 東江由起夫, 大塚博, 大西謙吾, 今信一郎, 田山文子, 花房昭彦, 山本紳一郎. 大腿義足ソケットの製作のための動的シミュレーション～断端軟組織の検討～. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
11. 塚越雄大, 花房昭彦, 高木基樹, Shahrol Mohamaddan, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 東江由起夫.

陽性モデルの3D スキャンによる下肢装具製作における修正量の定量化の試み、第39回日本義肢装具学会学術大会（岡山市）、2023.10.28-10.29.

12. 日下結莉乃，花房昭彦，高木基樹，山本紳一郎，Shahrol Mohamaddan，大塚博，東江由起夫，大腿義足静止立位時のアライメント変化時の床反力シミュレーション評価、第39回日本義肢装具学会学術大会（岡山市）、2023.10.28-10.29.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本義肢装具士協会（会長），日本義肢装具学会（理事），国際義肢装具協会（ISPO），日本リハビリテーション工学協会，臨床歩行分析研究会，日本生活支援工学会，臨床バイオメカニクス学会，新潟医療福祉学会，新潟県難病支援ネットワーク，日本義肢装具教育者連絡協議会
- 2) 学会等でのその他の活動
1. 日本義肢装具学会，用語委員会，担当理事，WEB，4回
 2. 義肢装具士協会，義肢装具士養成教育委員会，委員，WEB，3回
 3. 日本義肢装具士協会，義肢装具士専門技能コース大腿義足WG，WEB，4回
 4. 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会，合同シンポジウム12「義肢・装具供給における多職種連携の課題」，座長，福岡市，2023.7.2.
 5. 第29回日本義肢装具士協会学術大会，教育講演1「3D技術の義肢装具分野への応用」，講師，仙台市，2023.7.15.
 6. ライフサポート学会，LIFE2023，GS-4セッション「計測・制御，要素技術（3）」，座長，柏崎市，2023.9.19.
 7. 第39回日本義肢装具士協会学術大会，教育講演3「義肢装具製作現場におけるDXの現状」，講師，岡山市，2023.10.28.
 8. 第4回日本フットケア・足病医学会年次学術集会，補装具委員会企画「免荷療法に関する意識・実態態調査報告～免免荷療法の標準化を目指して～」，座長，2023.12.22.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和5年度 南日本支部研修セミナー，坐骨収納型ソケットの実技セミナー ライナー編ー正確な知識と技術を習得するためにー，講師，公益社団法人 日本義肢装具士協会，義肢装具士，熊本総合医療リハビリテーション学院，2023.9.16-9.18.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

義肢装具士国家試験委員会（委員）（厚生労働省主管 テクノエイド協会管理運営），新潟県更生相談所（判定アドバイザー）

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本義肢装具士協会・義肢装具士専門技能コース大腿義足WG

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度，科研費基盤C，3D スキャナ・3D プリンタを導入した脳卒中片麻痺者の短下肢装具の実用化研究，研究代表者
2. 2023年度，科研費基盤C，下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立，研究分担者
3. 2023年度，科研費基盤C，大腿義足歩行・走行時に生じる代償動作改善を目指した装着型機器の開発と評価，研究分担者
4. 2023年度，科研費基盤C，3D プリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究，研究分担者
5. 2023年度，ナプテスコ株式会社共同研究 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 研究分担者

6. 2023年度, ニッポー株式会社共同研究, 3D技術を活用した義肢装具製作支援システムに関する研究, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学大学院 自然科学研究科「人間支援科学特別講義Ⅱ」, 講師 2023.4-7.
- 8 学内委員会活動 3D技術研究開発センター (代表), 社会連携推進センター運営委員会 (副委員長), 新潟連携教育研究推進センター運営委員会, 高等教育推進センター運営委員会

氏名: 阿部 薫

- 1 研究題目 靴医学を基礎とした一般靴の開発・改良に関する研究 ―特に女性用靴・健康増進用靴・高齢者用靴に注目して―
- 2 論文
 1. Chien-Hung Lai, Hong-Ji Luo, Ehara Y, Abe K. Comparison of Gait in Above-Knee Amputees Between Carrying No Load and Different Loads on the Trunk. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 22(2): 80-88. (査読あり)
 2. 蓮野敢, 阿部薫, 岡部有純, 東海林藍. ヒール高変化による外側トップラインの位置変化の検討～3次元足型計測器を用いた解析～. 靴の医学. 2022; 36(2): 13-18. (査読あり)
 3. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 安松美咲, 東海林藍. フットプリントを用いた異なる扁平足判断基準間における互換性の検討. 靴の医学. 2022; 36(2): 86-90. (査読あり)
 4. 江原義弘, 前田雄, 阿部薫, 須田裕紀. Grade Point Average再考. 新潟医療福祉学会誌. 2023; 23(2): 30-35.
 5. 安松美咲, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍, 岡部有純. 異なるヒール高による踵形状変化の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 1-4. (査読あり)
 6. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 女子大学生におけるパンプストラブルの現状 ―現用のフォーマルパンプスのアンケート調査より―. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 5-8. (査読あり)
 7. 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純. 高齢者介護における臥床から車いす, 立位, 歩行への移行段階時に選択する最適な靴サイズの推測方法. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 9-12. (査読あり)
 8. 佐藤葵, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍, 岡部有純. ヒール高変化が下肢筋活動に与える影響の検討 ―同一ケイデンスによる歩行の場合―. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 13-16. (査読あり)
 9. 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純. 在宅高齢者とグループホーム入居者における足爪状態の比較. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 17-20. (査読あり)
 10. 阿部遥花, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍, 岡部有純. 静止立位におけるヒール高変化における足底と靴内の前足部荷重比. 2023; 8: 21-24. (査読あり)
 11. 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純. 認知症グループホームにおける巻き爪発生と靴との関係性. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 25-28. (査読あり)
 12. 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純. 高齢者入居施設における最適な足爪の長さを維持することの重要性 ―施設入居後に巻き爪を作らない・悪化させない爪切り. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 29-32. (査読あり)
 13. 阿部薫, 東海林藍, 蓮野敢, 岡部有純. 足外郭線トレースによる第1趾側角度とレントゲン撮影による外反母趾角の関係性. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 33-36. (査読あり)
 14. 蓮野敢, 阿部薫, 吉田桂, 中林功一, 東海林藍, 岡部有純. 足底胼胝に対し減圧効果を有する治療用靴下とインソール併用による有用性の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2023; 8: 37-40. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 安松美咲, 佐藤葵, 阿部遥花, 東海林藍. フットプリンター採取方法の違い ―非計測足を床面とカバーにおいた場合―. 第37回日本靴医学会学術集会 (宮城県仙台市), 2023.9.2-9.3.

2. 阿部薫, 岡部有純, 蓮野敢, 東海林藍. 座位時における足底面に対する体重比荷重量の検討. 第19回日本整形靴技術協会学術集会 (福島県福島市), 2024.3.2-3.3.
3. 阿部薫, 靴の研究にかけける想い. 第29回日本義肢装具士協会学術大会 (宮城県仙台市), 2024.7.15-7.16. 【シンポジウム】
4. Abe K. Countermeasures for foot problems based on calluses. International Foot & Footwear Scientific Conference 2023 (Taipei, Taiwan), 2023.9.8-9.10. 【特別講演】
5. Abe K. How to design insoles for different foot problems. International Foot & Footwear Scientific Conference 2023 (Yilan, Taiwan), 2023.9.8-9.10. 【特別講演】
6. Abe K. Sports insole design for different landing pattern. International Foot & Footwear Scientific Conference 2023 (Yilan, Taiwan), 2023.9.8-9.10. 【特別講演】
7. Abe K. Gait analysis by visual, auditory, and shoe observation. International Foot & Footwear Scientific Conference 2023 (Yilan, Taiwan), 2023.9.8-9.10. 【特別講演】
8. 阿部薫, 婦人靴の基本と基礎研究でわかったこと. 第48回日本足の外科学会学術集会 (大阪府大阪市), 2023.10.26. 【シンポジウム】
9. 阿部薫, 靴医学研究に使用する実験方法 一靴がヒトに与える影響を検証するために一. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山県岡山市), 2023.10.29. 【特別講演】
10. 阿部薫, 足部疾患別足底装具の基本設計. 新潟リハビリテーション研究会 (新潟県新潟市), 2024.1.12. 【特別講演】

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本整形靴技術協会 (会長) (理事) (学会誌編集委員長) (大会支援委員), 日本靴医学会 (理事) (評議員) (AWARD 選考委員) (靴医学普及教育員) (査読委員), 日本フットケア足病医学会 (教育・研修委員), 日本介護福祉学会 (評議員) (査読委員), 日本介護学会, バイオメカニズム学会, 臨床歩行分析研究会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協会, 日本足育協会, 臨床フットケア研究会 (幹事), International Society for Prosthetics and Orthotics, American Academy of Orthotists and Prosthetists, Footwear Biomechanics Group : a technical group of the International Society of Biomechanics.
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本整形靴技術協会, 第19回日本整形靴技術協会学術大会, 準備委員, 2023.10.1-2024.3.2.
 2. 日本靴医学会, 第38回日本靴医学会学術集会, 大会長 (準備活動), 2023.4.1-2024.3.31.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本義肢装具士協会, 第29回日本義肢装具士協会学術大会, シンポジウム座長, 宮城県仙台市, 2024.7.15-7.16.
 2. 日本靴医学会, 第37回日本靴医学会学術集会, 一般演題座長, 宮城県仙台市, 2023.9.2-9.4.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術1, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2023.7.26.
 2. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術2, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2023.11.16.
 3. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術3, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2024.3.14.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. (全国) Walkerplus (WEB), 足と靴のトークイベント, 2023.7.4.
 2. (全国) 産経新聞 (WEB), 足と靴のトークイベント, 2023.7.4.
 3. (全国) プレジデントオンライン (WEB), 足と靴のトークイベント, 2023.7.4.

4. (全国) JIJI.COM (WEB), 足と靴のトークイベント, 2023.7.4.
5. (全国) 財經新聞 (WEB), 足と靴のトークイベント, 2023.7.4.
6. (全国) 時事メディカル (WEB), 足と靴のトークイベント, 2023.7.4.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
一般社団法人 足と靴と健康協議会(理事), 台湾足鞋健康協會(榮譽顧問)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 科研費基盤研究(C), 足のねじれ変形の法則性を考慮したハイヒール靴の基本設計に関する生活支援技術の確立, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 大学院委員会, 大学院入試広報委員会, 大学院教育研究環境委員会, 大学院教務委委員会

氏名: 真柄 彰

- 1 研究題目 保健医療福祉連携教育, 仮想事例データベースの開発, 脊髄損傷データベースの分析, 脊髄損傷における深部静脈血栓症の発生要因, 脳卒中リハビリテーション
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本リハビリテーション医学会(代議員, 専門医, 臨床認定医, 指導医), 日本整形外科学会(専門医), 日本義肢装具学会(社員, 功労会員, 専門医), 日本保健医療福祉連携教育学会(監事), 新潟医療福祉学会, 新潟整形外科研究会, 新潟リハビリテーション研究会(顧問)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, プログラム委員, 福岡市, 2023.6.29-7.2.
 2. 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, 査読, 2024.2.
 3. 日本保健医療福祉連携教育学会査読委員
- 3 社会活動
 - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟リハビリテーション研究会顧問
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学非常勤講師, リハビリテーション医学, 2023年度
 2. 新潟県立燕労災病院非常勤医師, リハビリテーション科, 2023年度
- 5 学内委員会活動 新潟医療福祉大学診療所長

氏名: 須田 裕紀

- 1 研究題目 下腿義足ソケットのアライメントとソケット内圧力の関係, 能動義手のコントロールケーブルシステムの分析, 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作に関する研究
- 2 論文
 1. 須田裕紀, 丸山貴之, 中村隆. 厚生労働行政推進調査事業費補助金(障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究, 3D技術の導入と運用に関する実態調査, 令和5年度 総括・分担研究報告書, 研究分担者
 2. 丸山貴之, 須田裕紀, 中村隆. 厚生労働行政推進調査事業費補助金(障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究, 基本工作法の運用に関する実態調査, 令和5年度 総括・分担研究報告書, 研究分担者
 3. Kanda M, Suda H, Maeda Y, Sato M, Sato N. Effects of remote classes on the physical health of university students during the COVID-19 pandemic. Journal of physical therapy science. 2024; 36(3): 151-154 (review)
- 3 学会等研究発表

1. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄. 補装具製作における3D技術の運用に関する実態調査(第1報)3D技術の導入の実態. 第39回日本義肢装具学会学術大会(岡山), 2023.10.28-10.29.
2. 中村隆, 須田裕紀, 東江由起夫, 飛松好子. 補装具製作における3D技術の運用に関する実態調査(第2報)3D技術の導入効果と課題. 第39回日本義肢装具学会学術大会(岡山), 2023.10.28-10.29.
3. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 3D-Scannerを用いたライナー式下腿義足ソケットと切断端の形状比較. 第39回日本義肢装具学会学術大会(岡山), 2023.10.28-10.29.
4. 星拓実, 須田裕紀. 能動義手のフック力源ゴムの枚数と牽引力の関係. 第39回日本義肢装具学会学術大会(岡山), 2023.10.28-10.29.
5. 田山文子, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3Dプリンタ製大腿義足ソケットによるソケット内壁面圧の測定. 第29回日本義肢装具士協会学術大会(仙台), 2023.7.15-7.16.
6. 須田裕紀, 大西謙吾, 中村隆, 浅見豊子, 柴田八衣子. 能動義手のフック力源ゴムの枚数と牽引力の関係. 第29回日本義肢装具士協会学術大会(仙台), 2023.7.15-7.16.
7. 東江由起夫, 田山文子, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3Dプリンタ製大腿義足ソケット内壁面における3軸方向の接触圧の分析静止立位時・荷重時・非荷重時・筋収縮時. 第29回日本義肢装具士協会学術大会(仙台), 2023.7.15-7.16.
8. 須田裕紀, 佐々木伸, 陳隆明, 山本澄子, 大西謙吾, 渡部匡朗. ISPO日本支部の活動紹介. 第29回日本義肢装具士協会学術大会(仙台), 2023.7.15-7.16.
9. Suda H, Maeda Y, Kanda M. 3D Print, CAM/CAD, and SCAN technology for Prosthetics and Orthotics in Japan. Mahidol University Seminar, 2024.3.6. 【特別講演】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(会員), 日本義肢装具士協会(副編集委員長), 日本義肢装具学会(会員), 臨床歩行分析研究会(会員), 日本リハビリテーション工学協会(会員), 国際義肢装具協会ISPO(会員)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本義肢装具学会, 第39回日本義肢装具学会学術大会, プログラム委員, 岡山, 2023.10.28-10.29.
 2. 第30回日本義肢装具士協会学術大会 実行委員
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第5回 PO勉強会・交流会回, 義肢装具のデジタル技術について, 講師, 東京, 2023.4.8.
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2023.3.31.
 - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
国家検定義肢装具技能検定実技試験(検定委員)
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本義肢装具士協会(副編集委員長), 日本義肢装具学会(義手適合判定検討委員), 国際義肢装具学会日本支部(事務局長)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 厚生労働行政推進調査事業(障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究, 研究分担者
 2. 2023年度, 科研費基盤研究(C), 3Dプリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究, 研究分担者
 3. R5年度 県民助け合い基金 研究分担者
 4. 2023年度, ナプテスコ株式会社共同研究 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 研究分担者

5. 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立, 研究分担者

7 学内委員会活動 3D技術研究開発センター (副センター長)

氏名: 前田 雄

- 1 研究題目 下腿義足ソケット後壁高さがソケット適合と歩行に与える効果 (工学), 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発 (義肢装具研究開発). 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 (ナブテスコ株式会社共同研究)

2 論文

1. Kanda M, Suda H, Maeda Y, Sato M, Sato N. Effects of remote classes on the physical health of university students during the COVID-19 pandemic. Journal of Physical Therapy Science(36). 2024. 151-154 (査読あり)
2. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 村山稔, 前田雄, 郷貴博, 佐藤未希. 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究—義肢装具製作における3D技術の応用, 従来製法と3D技術を用いた製作方法の比較—, 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (障害者政策総合研究事業) 分担研究報告書, R4.

3 学会等研究発表

1. 鈴木啓太, 前田雄. 訪問義肢装具士の活動報告. 日本在宅医療連合学会大会 (新潟県), 2023.6.24.
2. 田山文子, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3Dプリンタ製大腿義足ソケットによるソケット内壁面圧の測定. 日本義肢装具士協会学術大会, 2023.7.15-7.16.
3. 東江由起夫, 田山文子, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3Dプリンタ製大腿義足ソケット内壁面における3軸方向の接触圧の分析 静止立位時・荷重時・非荷重時・筋収縮時. 日本義肢装具士協会学術大会, 2023.7.15-7.16.
4. 前田雄. 医療機関のシーティングを知る—リハビリテーション医療におけるシーティング・チーム作りの重要性— 医療機関のシーティングを知る—リハビリテーション医療におけるシーティング・チーム作りの重要性. 第39回日本義肢装具学会学術大会, 2023.10.28-10.29. (岡山県) 【シンポジウム: シンポジスト】
5. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄. 補装具製作における3D技術の運用に関する実態調査 (第1報) 3D技術の導入の実態. 第39回日本義肢装具学会学術大会, 2023.10.28-10.29. (岡山県)
6. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 3D-Scannerを用いたライナー式下腿義足ソケットと切断端の形状比較. 第39回日本義肢装具学会学術大会, 2023.10.28-10.29. (岡山県)
7. 大久保美里, 花房昭彦, 高木基樹, Mohamaddan Shahrol, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 東江由起夫, 前田雄. トポロジー最適化を適用した短下肢装具のトルク計測とシミュレーション結果の比較. 第39回日本義肢装具学会学術大会, 2023.10.28-10.29. (岡山県)

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本義肢装具士協会 (会員), 日本義肢装具学会 (会員), 臨床歩行分析研究会 (会員), 臨床バイオメカニクス学会 (会員), 日本シーティング・コンサルタント協会 (会員), バイオメカニズム学会 (会員)
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本義肢装具学会, 第38回日本義肢装具学会学術大会, プログラム委員, 岡山県, 2023.10.28-10.29.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本義肢装具士協会 (学術編集委員), 2023
 2. 日本義肢装具士協会 (シーティングWG委員), 2023
 3. 日本義肢装具士協会 (義肢装具士業務指針改定WG委員), 2023
 4. 日本義肢装具学会 (用語委員), 2023

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 義肢装具企業「下腿義足製作研修会」, 前田雄, 須田義肢製作所, 義肢装具士 3 名, 新潟県魚沼市, 2023.7.2.
2. 義肢装具企業「大腿義足製作研修会」, 前田雄, 須田義肢製作所, 義肢装具士 5 名, 新潟県魚沼市, 2023.8.2, 9.2.
3. 義肢装具企業「股義足製作研修会」, 前田雄, PO-LINKS, 義肢装具士 2 名, 学生 1 名, 新潟県新潟市, 2023.9.23, 11.25, 2.1.
4. 3DPrint, CAM/CAD, and SCAN technology for Prosthetics and Orthotics in Japan, 前田雄, 須田裕紀. 対象: タイ王国 (マヒドン大学), 企業約 150 名, 教員・学生 30 名. 2024.3.6.

2) 社会活動への参加協力

1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2023.3.31.
2. 新潟医療福祉機器展, 義肢装具紹介, 2023, 5.20.

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

全国義肢装具連絡者協議会就職 WG 委員長

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2023 年度, 科研費基盤研究 (C), 3D プリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究, 研究代表者
2. 2023 年度, ナプテスコ株式会社共同研究 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 研究代表者
3. 2023 年度, ニッポー株式会社共同研究 ニッポー株式会社共同研究 3D 技術を活用した義肢装具製作支援システムに関する研究 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2016.9-2024.3.
2. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2016.4-2024.3.

7 学内委員会活動 入試委員会, 就職センター運営委員会, 毒物・劇物管理委員会

氏名: 郷 貴博

- 1 研究題目 大腿義足歩行に関する研究, 3D 機器を用いた下腿義足ソケット設計・評価に関する研究, 3D 機器を用いた短下肢装具開発に関する研究

2 著書

1. 村山稔, 郷貴博; 廣滋恵一編. 理学療法学テキスト 義肢装具学. 1 版. 東京都: メジカルビュー; 2023 年: 18-31.

3 論文

1. 郷貴博. 義肢装具士養成における各養成校の取り組み. 日本義肢協会誌. 2023; vol.135: 16-17.
2. 佐藤未希, 神田賢, 東江由起夫, 郷貴博, 江原義弘. 女性大腿切断者と健常女性の月経周期における断端周径変化量の評価. 新潟医療福祉学会誌. 2023; 23 (2): 9-16. (査読あり)

4 学会等研究発表

1. 谷承子, 永渕豊人, 郷貴博. スポーツ用義足の特徴と普及に関する調査報告 使用者ならびに製作者へのヒアリング. 第 39 回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
2. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 3D-Scanner を用いたライナー式下腿義足ソケットと切断端の形状比較. 第 39 回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
3. 東江由起夫, 田山文子, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3D プリンタ製大腿義足ソケット内壁面における 3 軸方向の接触圧の分析 静止立位時・荷重時・非荷重時・筋収縮時.

第29回日本義肢装具士協会学術集会（仙台），2023.7.15-7.16.

4. 佐藤未希，神田賢，東江由起夫，郷貴博，江原義弘，月経周期における女性大腿切断者と健常女性の大腿部周径変化量の比較．第29回日本義肢装具士協会学術集会（仙台），2023.7.15-7.16.
5. 田山文子，東江由起夫，前田雄，須田裕紀，郷貴博，佐藤未希，山本紳一郎，花房昭彦．3Dプリンタ製大腿義足ソケットによるソケット内壁面圧の測定．第29回日本義肢装具士協会学術集会（仙台），2023.7.15-7.16.
6. 岩尾奏来，木幡真理子，郷貴博，佐藤未希．新潟医療福祉大学におけるパラスポーツサークルの活動紹介．第29回日本義肢装具士協会学術集会（仙台），2023.7.15-7.16.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（会員），日本義肢装具士協会（会員），日本義肢装具学会（会員），臨床歩行分析研究会（会員），国際義肢装具協会（会員）

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 全国ブレードクリニック，企画運営・講師補助，NPO法人ギソクの図書館，理学療法士・陸上競技トレーナー・下肢切断者，新潟市・新潟医療福祉大学，2023.11.5.
2. NPO法人ギソクの図書館，走行義足用足部のレンタルサービス，ギソクの図書館 認定義肢装具士，新潟医療福祉大学，2022.1-現在
3. 新発田市小学校パラスポーツ出前講座，講師，新発田市，小学生，新発田市内小学校，2023.9.19-9.21.
4. 高志中等教育学校土曜活用講座，電動義手を体験しよう！～最先端医療テクノロジーから学ぶ義肢装具士～，講師，新潟市立高志中等教育学校，中学・高校生，新潟市，2023.7.8.
5. 高志中等教育学校土曜活用講座，スポーツ用義足・ボッチャを体験し，障がい者スポーツの理解を深めよう！，講師，新潟市立高志中等教育学校，中学・高校生，新潟市，2023.10.7.
6. キッズオープンキャンパス，義手・義足・車椅子体験，講師，豊栄地区公民館，小学生，新潟医療福祉大学，2023.7.29.
7. 神戸医療福祉専門学校症例報告会，義肢実習Ⅲプレゼンテーション，オブザーバー，神戸医療福祉専門学校，義肢装具士科2年生，神戸市，2024.3.6.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 新聞，新潟日報，パラメダリストから学ぶ，2023.11.6.
2. TV，新潟総合テレビ，障害に関わらずランニングに汗，2023.11.5.
3. TV，新潟放送，新発田市小学校パラスポーツ出前講座，2023.9.19.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室，スポーツ用義足の調整，指導，新潟医療福祉大学，2017.9-現在
2. NPO法人ギソクの図書館，走行義足用足部のレンタルサービス，ギソクの図書館 認定義肢装具士，新潟医療福祉大学，2022.1-現在
3. Sport in Life，障がい者スポーツの普及，団体員，新潟医療福祉大学，2021.7-現在
4. 第16回新潟福祉機器展，日本義肢装具士協会ブースの出展，新潟市産業振興センター，2023.5.20.
5. 義足製作支援，義肢装具士，有限会社須田義肢製作所，2023.7.7.

4) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本義肢装具士協会生涯学習委員会（委員），日本義肢装具士協会生涯学習委員会カリキュラムWG（委員），日本義肢装具教育者連絡協議会（臨床実習担当）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，科研費基盤研究（C），下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立，研究代表者

2. 2023年度, ニッポー株式会社共同研究費, 研究分担者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 - 第39回日本義肢装具学会学術大会 Best Student Investigator Award (2023.10.23)
- 3) 学内部活動の実績
 1. 障害者陸上教室 ParaTFC, 第24回新潟県障害者スポーツ大会, 100m走, 2位, 5位入賞, 新潟市・新潟市陸上競技場, 2023.5.4. (選手権参加者補助)
- 8 学内委員会活動 広報委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会, 3D技術研究開発センター

氏名：神田 賢

- 1 研究題目 腰痛・肩こりなど生活習慣病の予防に関する研究 (予防医学), 脊椎後弯変形のある対象者への体幹筋持久力評価として独自のテストの考案および評価法としての確立 (予防医学), 職業性腰痛・職業性頸肩腕愁訴など, 職業関連疾患の予防に関する研究 (産業医学)
- 2 論文
 1. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 渡邊慶, 佐藤成登志. 腰痛の有無における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的变化－体幹伸展動作とこれだけ体操での比較－. Journal of Spine Research. 2023 ; 14 : 945-952 (査読あり)
 2. Sato N, Kanda M, Konishi I, et al. Classification and comparison of the Physical Characteristics and Functions of various age groups of Community-dwelling elderly individuals participating in the Kayoi-no-ba program. J Phy. Ther. Sci. 36: 313-318, 2024 (review)
 3. Kanda M, Suda H, Marda Y, Sato M, Sato N. Effects of remote classes on the physical health of university students during the COVID-19 pandemic. J Phy. Ther. Sci. 36: 151-154, 2024 (review)
 4. Sato M, Katsuhira J, Kanda M, Ehara Y. Comparison of changes in thigh circumference during the menstrual cycle between female transfemoral amputees and non-amputee females:examination of the reliability and comparison of diurnal and day-to-day fluctuations. J Phy. Ther. Sci. 35: 276-280, 2023 (review)
 5. 佐藤未希, 神田賢, 東江由起夫, 郷貴博, 江原義弘. 女性大腿切断者と健常女性の月経周期における断端周径変化量の評価. 新潟医療福祉会誌. 2023 ; 2 : 9-16 (査読あり)
- 3 報告書
 1. 佐藤成登志, 神田賢, 他. 介護予防における大学との連携事業. 2023年度報告 研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. Kanda M, Kitamura T, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Comparison of the Intramuscular Circulation of Lumbar Multifidus in Subjects with and without Low Back Pain in Trunk Extension and Extended Exercise Position. ISSLS Spineweek2023. (Merborn, Australia), 2023.5.1-5.5.
 2. Kanda M, Kitamura T, Konishi I, Watanabe K, Sato N. The Intramuscular Circulation of Lumbar Multifidus in Subjects with and without Low Back Pain-Comparison between Trunk Extension and Extended Exercise Position. ISOTT 2023. (Tokyo, Japan), 2023.9.27-10.1.
 3. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K. Short and medium term effects of exercise therapy for patients with adult spinal deformity. ISSLS9th (Melborn MCEC), 2023.5.5.
 4. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 成人脊柱変形患者に対する教育を加えた運動療法の短・中期効果. 第31回日本腰痛学会 (徳島), 2024.12.1.
 5. 中島涼香, 佐藤未希, 神田賢. 車椅子座位時の異なる座角が腰部多裂筋の筋血流に与える影響－経時的变化に着目して－. 第39回日本義肢装具学会学術大会, 2023.10.28-10.29. (岡山)
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士学会, 日本運動器疼痛学会, 日本腰痛学会, 日本マイオチューニングアプローチ学会, 新潟医療福祉学会, APTA, CPTA, KEOMT

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 厚生労働省慢性疼痛事業第2回新潟県慢性疼痛研修会. ファシリテーター, 新潟大学医歯学総合病院 + オンライン, 2023.1.29.
2. 厚生労働省慢性疼痛事業第2回新潟県慢性疼痛研修会. ファシリテーター, 新潟大学医歯学総合病院 + オンライン, 2024.2.4.
3. 厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデル事業, 研修会会議, Zoom, 2023.5.30.
4. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座「肩こり解消に向けて」, 新潟市北区木崎, 2023.7.8.
5. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座「腰痛解消に向けて」, 新潟市北区木崎, 2023.9.2.
6. 新潟県理学療法士会 2023年度 理学療法士講習会「非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際」, 講師, 新潟市北区, 2024.3.16-3.17.
7. ICTを活用した事業, ミニ講話(転倒・関節痛予防), 講師, 地域住民(胎内市新保町), 胎内市, 2023.12.22.
8. ICTを活用した事業, 調査・講師, 地域住民(胎内市新保町), 胎内市, 2024.2.16.
9. 厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデル事業ワーキンググループ委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 佐藤成登志, 研究分担者
2. 2023年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 研究分担者

8 学内委員会活動 教務委員会, 国際交流委員会, 学習支援委員会, メンタルサポート委員, ロコモ予防研究センター

氏名: 村山 稔

1 研究題目 脳卒中歩行障害に対する練習機器の研究開発

2 著書

1. 村山稔. メディカルリハビリテーション 知っておくべき治療用装具・更生用装具の知識の整理 脳卒中患者に対して長下肢装具装具を使用した効果についてのエビデンス. 1版. 東京: 全日本病院出版会; 2023: 31-40.
2. 村山稔. 脳卒中リハビリテーション治療・支援のFirst STEP 歩行能力の回復と下肢装具の設定. 1版. 東京: メジカルビュー; 2023: 134-137.
3. 村山稔. 脳卒中リハビリテーション治療・支援のFirst STEP 歩行パターンと短下肢装具の適応. 1版. 東京: メジカルビュー; 2023: 138-143.
4. 村山稔, 高橋忠志. 脳卒中リハビリテーション治療・支援のFirst STEP Gait solutionってどう使うの?. 1版. 東京: メジカルビュー; 2023: 144-147.
5. 村山稔, 郷貴博. Crosslink 理学療法テキスト 義肢装具学 義肢装具の製作過程と支給体系. 1版. 東京: メジカルビュー; 2023: 18-32.
6. 村山稔. 多職種連携Ⅱ標準カリキュラム 臨床基礎コース 7章 1-7: 専門職種連携における義肢装具士の役割と責任: 公益社団法人 日本義肢装具士協会; 2023.

3 論文

1. Murayama M, Aruga K, Kato H, Sinohara T, Nozaki Y, Hasegawa H, Hasegawa M. Development of a flexion range-of-motion-adjustable knee joint for knee-ankle-foot orthoses and evaluation of gait in healthy individuals wearing it. The Society of Physical Therapy Science. 2023; 35(8): 608-612.
2. 村山稔, 山本澄子. 底屈制動を有する短下肢装具の継続使用による回復期脳卒中患者の歩行と筋活動の変

化. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 2023; 60(6): 612-632.

3. 村山稔, 大澤昂輝, 奥寺舜悟, 昆梨々子, 渡邊和真. Tストラップ付きシューホーン型短下肢装具の試作および評価. 日本義肢装具学会誌. 2023; 39(4): 326-329.
4. 村山稔, 有賀健太郎, 加藤大翔, 篠原忠善, 野崎佑真, 長谷川輝, 長谷川真衣. Tストラップを内蔵した継手付きプラスチック短下肢装具の試作および評価. 日本義肢装具学会誌. 2023; 39(4): 326-330.

4 学会等研究発表

1. 村山稔. 脳卒中の歩行障害に対して長下肢装具は効果があるのかー文献調査ー. 日本リハビリテーション医学会・第60回日本リハビリテーション医学会学術集会(福岡), 2023.7.1.
2. 村山稔, 長谷川真衣, 有賀健太郎, 加藤大翔, 篠原忠善, 野崎佑真, 長谷川輝. Tストラップを内蔵した継手付きプラスチック短下肢装具の試作および評価. 日本義肢装具学会. 第39回日本義肢装具学会学術大会(岡山), 2023.10.29.
3. 長谷川真衣, 有賀健太郎, 加藤大翔, 篠原忠善, 野崎佑真, 長谷川輝, 村山稔. 膝屈曲可動範囲の調整可能な長下肢装具用膝継手の開発および健常者による歩行評価. 日本義肢装具学会. 第39回日本義肢装具学会学術大会(岡山), 2023.10.29.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本義肢装具士協会(専門義肢装具士WG長), 日本義肢装具学会(編集委員), 日本リハビリテーション医学会(正会員), 新潟医療福祉学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 講習会, 健康長寿学「脳卒中であふけなくなつた人を再びあけるようにする装具の役割, 講師, 豊栄中高年教養大学, 地域在住高齢者, 新潟, 2023.4.28.
2. 講習会, 「脳卒中歩行障害に対する装具療法」第60回日本リハビリテーション医学会学術大会ブース内プレゼンテーション1回目, 講師, アライブワーク株式会社, 医師・理学療法士・義肢装具士, 横浜, 2023.6.30.
3. 講習会, 「脳卒中歩行障害に対する装具療法」第60回日本リハビリテーション医学会学術大会ブース内プレゼンテーション2回目, 講師, アライブワーク株式会社, 医師・理学療法士・義肢装具士, 横浜, 2023.7.1.
4. 講習会, 脳卒中歩行障害に対する装具療法, 講師, 山形済生病院, 医師・理学療法士, 山形, 2023.9.12.
5. 講習会, 脳卒中歩行障害に対する装具療法, 講師, 船橋市立リハビリテーション病院, 医師・理学療法士, 千葉, 2023.9.17.
6. 講習会, 福祉用具に必要な工学的基礎, 講師, 国際医療福祉大学, 理学療法士, オンライン, 2023.10.12.
7. 講習会, 脳卒中歩行障害に対する装具療法, 講師, みどり病院, 医師・理学療法士, 新潟, 2023.10.18.
8. 講習会, 福祉用具に必要な材料と材料力学, 講師, 国際医療福祉大学, 理学療法士, オンライン, 2023.10.19.
9. 講習会, 福祉用具に必要な人間工学的設計と図学の基礎, 講師, 国際医療福祉大学, 理学療法士, オンライン, 2023.10.26.
10. 講習会, 福祉用具に必要な構造部品と機構学, 講師, 国際医療福祉大学, 理学療法士, オンライン, 2023.11.2.
11. 講習会, 脳卒中歩行障害に対する装具療法, 講師, 大阪保健医療大学, 医師・理学療法士, 大阪, 2023.12.9.
12. 講習会, 脳卒中患者の装具選定, 講師, 兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座, 医師・理学療法士, オンライン, 2024.2.10.

13. 講習会，膝伸展補助具スロットルストラップの操作方法，講師，千里リハビリテーション病院，理学療法士，大阪，2024.2.28.
- 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
日本義肢装具士協会（専門義肢装具士WG長），日本義肢装具教育者連絡協議会（国家試験全国統一模試検討WG長），日本義肢装具学会（編集委員）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023年度，若手研究，脳卒中片麻痺患者の歩行練習に使用する膝関節伸展補助具の効果－多施設研究－，村山稔
- 8 学内委員会活動 FD・SD委員会（部会長），教務委員会（委員）

氏名：佐藤 未希

- 1 研究題目 義足使用者の性差における断端周径変化の研究，スポーツ義足のソケット評価に関する研究，大腿義足膝継手が歩行に及ぼす影響に関する研究
- 2 論文
 1. 佐藤未希，神田賢，東江由起夫，郷貴博，江原義弘，女性大腿切断者と健常女性の月経周期における断端周径変化量の評価，新潟医療福祉学会誌，2023年；23(2)：9-16.
 2. 津留崎康平，佐藤成登志，神田賢，佐藤未希，藤原健司，江原義弘，切断から17年が経過した大腿切断者への歩行改善プログラム，日本義肢装具学会誌，2023；39（3）：238-245.
- 3 報告書
 1. 佐藤未希，研究基盤（C），女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量の解明と要因分析，研究成果報告書，2023～2025（研究代表者）
- 4 学会等研究発表
 1. 佐藤未希，神田賢，東江由起夫，郷貴博，江原義弘，月経周期における女性大腿切断者と健常女性の大腿部周径変化量の比較，日本義肢装具士協会学術大会（仙台市，日本），2023.7.15-7.16.
 2. 田山文子，東江由起夫，前田雄，須田裕紀，郷貴博，佐藤未希，山本紳一郎，花房昭彦，3Dプリンタ製大腿義足ソケットによるソケット内壁面圧の測定，日本義肢装具士協会学術大会（仙台市，日本），2023.7.15-7.16.
 3. 東江由起夫，田山文子，前田雄，須田裕紀，郷貴博，佐藤未希，山本紳一郎，花房昭彦，3Dプリンタ製大腿義足ソケット内壁面における3軸方向の接触圧の分析 静止立位時・荷重時・非荷重時・筋収縮時，日本義肢装具士協会学術大会（仙台市，日本），2023.7.15-7.16.
 4. 霜村悠，大平琳香，佐藤未希，義足使用者の健側膝関節の痛みに対する検証 アンケート調査による義足使用者と健常者の比較，日本義肢装具学会，（岡谷市，日本），2023.10.28-10.29.
 5. 中島涼香，神田賢，佐藤未希，車いす座位時の異なる座角が腰部多裂筋の筋血流に与える影響 経時的変化に着目して，日本義肢装具学会，（岡谷市，日本），2023.10.28-10.29.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，国際義肢装具協会，日本義肢装具士協会，日本義肢装具学会，理学療法科学学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本義肢装具士協会，日本義肢装具士協会学術大会，教育講演座長，仙台市，2023.7.15-7.16.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和5年度障害者職業生活相談員資格認定講習，医学的リハビリの立場から見た障害特性，講師，独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構，障害者職業生活相談員，新潟市・新潟テルサ，2023.11.17.

2. ランニングイベント, 講師補助, NPO 法人ギソクの図書館, 理学療法士・陸上競技トレーナー, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2023.11.5.
3. 令和5年度パラスポーツ出前講座, 講師, 新発田市, 新発田市小学生, 新潟市・紫雲寺小学校, 2023.9.21.
4. 中学校人権講演会, 「障がい」って何ですか? ~義肢装具を知ることで偏見をなくそう~, 講師, 五泉市, 五泉市中学校各会場, 五泉市・各中学校, 2023.8.25.
5. PTA 講演会, 義肢装具の仕事を知り, 義足ユーザーの生活を考える, 講師, 新潟市, 新津南高等学校, 新潟市・新津南高等学校, 2023.9.27.
- 2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. TV, TeNY テレビ新潟, 本学で開催されたランニングイベントの様子, 2023.11.5.
 2. 新潟日報, パラメダリストから学ぶ, 2023.11.6.
 3. 新潟日報, 義足で歩行 理解を深め, 2023.10.12.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 小千谷展実行委員会, 「いのち・愛・人権展」とパネル展示, PTA 講演会講師での講義内容の掲載, 東小千谷体育センター, 11.22-11.28.
 2. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室, スポーツ用義足の調整, 指導, 新潟医療福祉大学, 2017.9-現在
 3. 株式会社ナブテスコ, 膝継手開発フィールドテスト, 被験者, 新潟医療福祉大学, 2016.12-現在
 4. NPO 法人ギソクの図書館, 走行義足用足部のレンタルサービス, ギソクの図書館 認定義肢装具士, 新潟医療福祉大学, 2022.1-現在
 5. NPO 法人ハイヒール・フラミング, 女性切断者コミュニティ, オブザーバー, パシフィックサプライ株式会社, 2019.1-現在
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
株式会社新潟テレビ21・放送番組審議委員
- 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本義肢装具士協会, 学術委員
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2023~2025 年度, 研究基盤 (C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量の解明と要因分析, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
博士後期課程 (2023.9.20)
 - 3) 学内部活動の実績
 1. 障害者陸上教室 ParaTFC, 第24回新潟県障害者スポーツ大会, 陸上競技, 8 位, 新潟市・新潟市陸上競技場, 2023.5.4. (選手権参加者補助)
- 8 学内委員会活動 広報委員会, 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会, 3D 技術研究開発センター

氏名: 田中 惣治

- 1 研究題目 脳卒中者に対する短下肢装具選定基準の構築, 下腿義足のアライメント調整が歩行に及ぼす影響
- 2 論文
 1. 田中惣治. 補装具支援と工学的基礎 3 - 下肢装具の生体力学 -, 日本義肢装具学会誌. 2023; 39(3) :254-260
 2. 田中惣治. 下肢装具療法とバイオメカニクス, 理学療法. 2023; 41(3) :204-214
- 3 学会等研究発表
 1. Tanaka S. Effects of long-term use of AFO and intervention on muscle activity in gait of stroke victims with knee hyperextension. ISPO world congress (Mexico), 2023.4.25. 【Sympodium】

2. 田中惣治. 脳卒中者に対する下肢装具のバイオメカニクス. 日本義肢装具学会学術集会 (岡山), 2023.10.29. 【教育講演】
3. 田中惣治. 脳卒中者に対する短下肢装具使用の実際. 第40回日本義肢装具学会研修セミナー (横浜), 2024.2.17. 【教育講演】

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会 (正会員), 日本義肢装具学会 (正会員), International Prosthetic and Orthotics (正会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第40回 日本義肢装具学会 研修セミナー, 幹事 (セミナー主催), 横浜, 2024.2.17-2.18.
 2. 第21回 日本神経理学療法学会, ポスターセッション座長, 横浜, 2023.9.9-9.10.
 3. 日本理学療法士協会, 専門理学療法士 口頭試問, 試験官, 東京, 2023.12.17.
 4. 日本義肢装具学会 研修委員
 5. 日本支援工学学会誌, 「長下肢装具を用いた前型歩行練習を行い歩行自立に至った拡散テンソル画像により皮質脊髄路および皮質網様体路の重篤な損傷を認めた重度片麻痺例」の査読, 2023.8.
 6. Prosthetics and Orthotics International, POI-D-24-00017 Reviewer, 2023.3.8.
 7. 新潟医療福祉学会学会誌, [NSHW-D-23-00013R1] 編集者, 2023.12.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 鶴見リハビリテーション病院勉強会, バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の長下肢装具, 講師, 鶴見リハビリテーション病院, PT, 鶴見リハビリテーション病院, 2023.6.16.
2. 認定理学療法士 (補装具) 認定カリキュラム, 短下肢装具と長下肢装具の適応と実際, 講師, 済生会東神奈川リハビリテーション病院, PT, オンライン, 2023.6.17.
3. 認定理学療法士 (補装具) 認定カリキュラム, 装具チェックポイントとバイオメカニクス, 講師, 済生会東神奈川リハビリテーション病院, PT, オンライン, 2023.6.17.
4. 認定理学療法士 (補装具) 認定カリキュラム, 装具療法の実践と最新のエビデンス, 講師, 済生会東神奈川リハビリテーション病院, PT, オンライン, 2023.6.17.
5. 基礎バイオメカニクスセミナー初級編, COP (足圧中心), 講師, 新潟医療福祉大学, PT・OT・Dr・POなど, オンライン, 2023.7.9.
6. 基礎バイオメカニクスセミナー初級編, 関節モーメントのパワー, 講師, 新潟医療福祉大学, PT・OT・Dr・POなど, オンライン, 2023.7.9.
7. ニューロリハビリテーション病院研修会, 表面筋電図の基礎, 講師, ニューロリハビリテーション病院, PT・OT, オンライン, 2023.7.12.
8. 基礎バイオメカニクスセミナー中級編, ジャンプ動作, 講師, 新潟医療福祉大学, PT・OT・Dr・POなど, オンライン, 2023.8.4.
9. 基礎バイオメカニクスセミナー中級編, 立ち上がり動作, 講師, 新潟医療福祉大学, PT・OT・Dr・POなど, オンライン, 2023.8.4.
10. タムス浦安病院勉強会, バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の長下肢装具, 講師, タムス浦安病院, PT, タムス浦安病院, 2023.9.1.
11. JR東京総合病院勉強会, バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の長下肢装具, 講師, JR東京総合病院, PT, オンライン, 2023.10.6.
12. 装具療法地域連携対策委員会技術研修会, 長下肢装具のバイオメカニクス, 講師, 埼玉理学療法士会, PT, オンライン, 2023.10.11.
13. 底屈制動装具 Gaitsolution を臨床で活用するための理論と実践, 脳卒中リハビリテーションにおける Gaitsolution の選択と活用, 講師, パシフィックサプライ株式会社, PT・Dr・PO, オンライン, 2023.10.21.

14. 認定理学療法士（脳卒中）臨床認定カリキュラム，疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編5）装具療法の実践，講師，宝塚リハビリテーション病院，PT，オンライン，2023.11.2.
15. 鶴見リハビリテーション病院勉強会，バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の短下肢装具，講師，鶴見リハビリテーション病院，PT，鶴見リハビリテーション病院，2023.11.10.
16. 装具療法キーマン育成プロジェクト，オリエンテーション，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2023.11.13.
17. 装具療法キーマン育成プロジェクト，バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の短下肢装具，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2023.11.27.
18. 装具療法キーマン育成プロジェクト，実技：脳卒中者の下肢機能のみかた，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2023.12.4.
19. バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の歩行と装具療法①，健常歩行と脳卒中者の歩行，講師，BTG研修会，PT・PO，オンライン，2023.12.7.
20. TS-MYO webinar，筋電による臨床と研究の動作分析，講師，トランクソリューション株式会社，PT・OT・PO，オンライン，2023.12.12.
21. 装具療法キーマン育成プロジェクト，実技：脳卒中者の下肢筋活動の促し方，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2023.12.18.
22. バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の歩行と装具療法②，短下肢装具のバイオメカニクス，講師，BTG研修会，PT・PO，オンライン，2023.12.21.
23. バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の歩行と装具療法③，長下肢装具のバイオメカニクス，講師，BTG研修会，PT・PO，オンライン，2024.1.18.
24. 装具療法キーマン育成プロジェクト，長下肢装具のバイオメカニクス 基礎編，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2024.1.22.
25. 座間リハビリテーション病院勉強会，バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の長下肢装具，講師，座間リハビリテーション病院，PT，座間リハビリテーション病院，2024.1.27.
26. 装具療法キーマン育成プロジェクト，長下肢装具のバイオメカニクス 臨床応用編，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2024.1.29.
27. 装具療法キーマン育成プロジェクト，長下肢装具のバイオメカニクス カットダウン編，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2024.2.5.
28. バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の歩行と装具療法④，臨床応用編，講師，BTG研修会，PT・PO，オンライン，2024.2.11.
29. 装具療法キーマン育成プロジェクト，装具検討会のすすめ，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2024.2.26.
30. 三之町病院勉強会，長下肢装具のバイオメカニクス，講師，田村義肢製作所，PT，三之町病院，2024.2.28.
31. 装具療法キーマン育成プロジェクト，装具検討会の実際①，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2024.3.4.
32. バイオメカニクスの観点からみた脳卒中者の歩行と装具療法，短下肢装具のアライメント，講師，BTG研修会，PT・PO，オンライン，2024.3.7.
33. 装具療法キーマン育成プロジェクト，装具検討会の実際②，講師，タムスグループ，PT，タムス浦安病院，2024.3.18.

6 学内委員会活動 個人情報委員会，人権委員会，学会誌編集委員会・学術委員会

(5) 鍼灸健康学科

氏名：粕谷 大智

1 研究題目 顔面神経麻痺に対する鍼灸の効果、下肢痛に対する鍼灸の効果と効果機序

2 著書

1. 粕谷大智. 顔面神経麻痺診療ガイドライン. 2023年版. 金原出版：東京；2023：鍼治療p50-52, CQ鍼灸担当p141-143

3 論文

1. 粕谷大智. 【顔面神経麻痺－治療への10の鍵】治療 末梢性顔面神経麻痺への鍼治療の実績と有効性. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2023；96（3）：227-231.（査読無）
2. 粕谷大智. 東洋医学 鍼灸の研究2023年から. 漢方と最新治療. 2023；32(2)：105-108.（査読無）
3. 粕谷大智. 末梢性顔面神経麻痺に対する鍼治療の役割. Facial N Res Jpn. 2023；43：37-39.（査読有）
4. 粕谷大智. めまい患者の重心動揺計による鍼灸治療の評価. 現代鍼灸学. 2023；23（1）：99-104.（査読有）
5. 粕谷大智. 顔面神経麻痺診療ガイドライン2023年版における鍼灸の役割と可能性. 全日本鍼灸学会誌. 2023；73（4）：227-282.（査読有）
6. 粕谷大智. 東洋医学基礎講座 鍼灸治療と他職種連携 腰部脊柱管狭窄症の手術後に残存する症状に対する鍼灸治療. 理療. 2023；53（2）：59-62.（査読無）
7. 粕谷大智. 東洋医学基礎講座 鍼灸治療と他職種連携 腰部脊柱管狭窄症の神経性間欠跛行に対する鍼灸治療の役割. 理療. 2023；53（1）：9-14.（査読無）
8. 粕谷大智. あはきとインバウンド. TEHAMO. 2023；8：20-21.（査読無）
9. 粕谷大智. 麻痺の慢性期の後遺症に対する鍼灸. 全日本鍼灸学会誌. 2023；73（1）：17-22.（査読有）

4 学会等研究発表

1. 粕谷大智. シンポジウム 神経疾患に対する鍼灸治療の効果とその作用機序 脳卒中の後遺症に対する鍼灸の効果と効果機序. 第88回日本温泉気候物理医学会（大分府）, 2023.5.13-5.14.
2. 粕谷大智. パネルディスカッション1 顔面神経麻痺診療 末梢性顔面神経麻痺に対する鍼灸治療の役割. 第46回日本顔面神経学会（大阪）, 2023.6.2-6.3.
3. 粕谷大智. シンポジウム 顔面神経麻痺診療ガイドライン2023年版からみる鍼灸の現状と可能性. 全日本鍼灸学会・第72回全日本鍼灸学会（神戸）, 2023.6.9-6.11.
4. 粕谷大智. 未来の電子カルテ ランチョンセミナー. 全日本鍼灸学会. 第72回全日本鍼灸学会（神戸）, 2023.6.9-6.11.
5. 粕谷大智. 教育セミナー 脳卒中後遺症に対する鍼灸. 日本東洋医学会九州支部, 九州支部学術集会, オンライン, 2023.10.15.
6. 粕谷大智. 顔面神経麻痺の鍼灸 ランチョンセミナー. 日本自律神経学会. 第76回日本自律神経学会（埼玉浦和）2023.10.28.

5 学会活動

- 1) 所属学会 全日本鍼灸学会（監事）, 日本東洋医学会（評議員）, 日本心身健康科学会（理事）, 日本顔面神経学会（認定委員, 編集委員, 広報委員）
- 2) 学術集会の主催
 1. 美容鍼灸アカデミックカンファレンス, 第3回美容鍼灸アカデミックカンファレンス, 座長・企画, 東京品川, 11.23.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 全日本鍼灸学会, 総会収支決算, 監査, 東京
 2. 日本顔面神経学会, 編集委員, 6月

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. 講演会・元気な学校インタビュー・腰痛と鍼灸, 講師, リアルインサイト, 一般人, 東京品川, 2023.1.8.
 2. 講演会・生涯研修, 関節リウマチに対する鍼灸, 岐阜県鍼灸マッサージ師会, 鍼灸師, 岐阜市, 2023.9.3.
 3. 公開講座・研修会・腰痛・下肢痛の西洋医学と東洋医学の最新情報, 腰下肢痛に対する鍼灸治療の実際と効果, 群馬県鍼灸師会, 一般市民, 群馬県前橋市, 群馬県社会福祉総合センター, 10.8.
 4. 市民公開講座, 第67回信州大学学術集, ロコモティブシンドロームの治療・予防, 医療従事者, 一般市民, 長野県鍼灸師会, 長野県松本市, 2023.12.3.
 5. イベント・からだケア EXPO 東京 2023・専門セミナー, 鍼灸・マッサージの未来予想図, 講師, 医療従事者, 東京ビックサイト, 2023.3.18-3.19.
 6. 講演会・山形東洋療法セミナー, 腰部脊柱管狭窄症の新しい概念と鍼灸治療, 講師, 鍼灸師, 山形市, 2023.11.26.
 7. 講演会・外部講師勉強会, 頸腕症候群に対する鍼灸, 講師, 鍼灸師, 清水市, 2023.12.24.
 8. 研究会・卒後鍼灸手技研究会, 脳卒中後遺症に対する鍼灸, 講師, 鍼灸師, オンライン, 東京赤羽, 2023.11.5.
 9. 講演会・東洋療法セミナー・めまい・耳鳴り・難聴, 講師, 静岡県鍼灸マッサージ師会, 鍼灸師, 静岡市, 2023.7.23.
 10. 講演会・臨床セミナー・鍼灸の可視化, 臨床技術研究会, 講師, 鍼灸師, 仙台市, 2023.7.2.
 11. 講演会・磁気研究発表会・磁気治療や電気刺激による鎮痛効果, 講師, 渡邊財団磁気研究助成, 研究者, 東京京王プラザ, 2023.7.9.
 12. 講演会・セミナー・鍼灸師の魅力と可能性, 講師, 国試黒本治療家就職フェア, 学生, 新潟市, 2023.5.21.
 13. 研修会・みんなのカルテ, 電子カルテの必要性, 講師, セイリン, 鍼灸師, オンライン, 2023.1.12と1.19.
 14. 講演会・東洋療法セミナー・腰痛に対する鍼灸, 講師, 愛知県鍼灸マッサージ師会, 鍼灸師, オンライン, 2023.2.26.
 15. 講演会・学術講習会・顔面神経麻痺に対する鍼灸, 講師, 山梨県鍼灸師会, 鍼灸師, 韮崎市, 2023.9.17.
 16. 研修会・卒後教育セミナー・難聴・耳鳴り・めまいに対する鍼灸, 講師, 国際鍼灸専門学校同窓会, 鍼灸師, 東京青砥, 2023.10.1.
 17. 講演会・卒後セミナー・頸腕症候群に対する鍼灸, 講師, たには会, 鍼灸師, 新宿, 2023.11.19.
 18. 講習会・セミナー・頸肩腕症候群(痛み)に対する鍼灸 効果を導く刺鍼部位と刺入深度, 大阪鍼灸マッサージ共同組合, 鍼灸師, 大阪, 2023.12.17.
 19. 公開講座・座談会・膝痛, 医学研究, 視力障害者, 東京高田馬場, 2023.12.16.
 20. 研修会・せつな塾実技セミナー・変形性膝関節症に対する鍼灸, せつな塾, 鍼灸師, 東京, 2023.12.12.
 21. 研修会・臨床実技セミナー・ピコリナを学ぶ, 鍼灸師の学校, 鍼灸師, 東京, 2023.8.27.
 22. 研修会・教育セミナー・腰痛, スマイル&サンキュー, 鍼灸師, オンライン, 2023.1.11.
 23. 講習会・現代鍼灸・医療連携, 医療鍼灸協会, 医療従事者, 東京, 2023.2.19.
 24. 講習会・卒後教育セミナー・腰下肢痛に対する鍼灸, 鍼灸師の学校, 鍼灸師, オンライン, 2023.2.8.
 25. 研修会・せつな塾セミナー・顔面神経麻痺に対する鍼灸, せつな塾, 鍼灸師, 東京, 2023.5.30.
 26. 講習会・現代鍼灸・腰痛, 医療鍼灸協会, 医療従事者, 東京, 2023.5.14.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. NHK超体感フェス ツボワークショップ, <https://resemom.jp/article/2023/03/15/71417.html>, 2023.3

2. ハリトヒト, 2023年版 顔面神経麻痺診療ガイドラインの学び, https://haritohito.jp/manabi/kasuyadaichi_01/, 2023.1.
3. 腰部脊柱管狭窄症がよくなる, 名医シリーズ, 普遊舎ムック, 2023.7.
4. ひざ痛を治す お得技ベストセレクション, 普遊舎ムック, シリーズ221, 2023.5.

3) 社会活動への参加協力

1. はまなす学会・市民健康講座・特別講演・新潟医療福祉大学・地域住民・大学U棟, 12.10.
2. 新潟県国民健康保険団体連合会・研修会, 東洋医学的養生, 朱鷺メッセ, 8.8.
3. 国際鍼灸専門学校 外部評価委員会. 委員長として学校評価を行う, 東京青砥, 11.11.
4. 鍼灸学系大学協議会, 理事活動, 神戸, 神戸国際会議場, 6.11.

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 日本理療専門学校, 卒後教育講座, 関節リウマチに対する鍼灸, 7.1.
2. 東京医療福祉専門学校, 東洋医学臨床論, 9.11.

氏名：江川 雅人

1 研究題目 高齢者の健康維持に関する鍼灸治療の臨床効果に関する研究, 高齢者に特徴的な疾患に対する鍼灸治療の臨床的効果に関する研究

2 著書

1. 江川雅人: 日本抗加齢医学会認定テキスト改訂版編集委員会編集. 鍼灸とアンチエイジング. アンチエイジング医学の基礎と臨床. 第4版. 東京: メジカルビュー社; 2023: 324-325.
2. 江川雅人: 矢野忠編集主幹. 症状別鍼灸治療の実際－かゆみ. 鍼灸療法技術ガイド. 第2版. 東京: 文光堂; 2024: 429-437.

3 論文

1. 江川雅人. 訪問鍼灸の臨床と実践－高齢社会に求められる訪問鍼灸の在り方－. *Tehamo*. 2023; 3 (1): 23-34. (査読なし)
2. 江川雅人, 森田聡. 難病への鍼灸治療－脊髄小脳変性症を中心に－. *Tehamo*. 2023; 3 (2): 31-37. (査読なし)

4 学会等研究発表

1. 江川雅人, 廣正基. 明治国際医療大学きららの湯若狭鍼灸院の新患受療状況－開院から3年間の状況について－. 第72回全日本鍼灸学会学術大会・神戸大会 (神戸市), 2023.6.9-6.11.
2. 江川雅人. 新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う自粛生活により発症したフレイル1例に対する鍼灸治療の症例. 第10回日本サルコペニア・フレイル学会学術大会・東京大会 (東京都御茶ノ水), 2023.11.4.
3. 江川雅人. パーキンソン病の鍼灸治療－治療効果と患者満足度を高める工夫－. 第43回全日本鍼灸学会・近畿学術集会 (大阪府吹田市), 2023.11.23. 【シンポジウム】
4. 江川雅人. 鍼灸医学の臨床的効果と未来への展望－新潟における鍼灸大学開設を経て－. 第29回日本東洋医学会・関東甲信越支部新潟県部会 (新潟県阿賀野市), 2023.9.3. 【特別講演】
5. 江川雅人. 鍼灸とアンチエイジング. 日本抗加齢医学会・抗加齢指導士編講習会 (東京都日本橋サイエンスハブ), 2023.12.17. 【認定講演】

5 学会活動

1) 所属学会 全日本鍼灸学会, 日本抗加齢医学会, 日本サルコペニア・フレイル学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 全日本鍼灸学会, 論文査読, 2023.8.
2. 全日本鍼灸学会, 論文査読, 2023.9.
3. 全日本鍼灸学会, 実技セミナー: パーキンソン病に対する鍼灸治療, 座長, 神戸市, 2023.6.10.
4. 全日本鍼灸学会, 一般口演: 実態調査, 座長, 神戸市, 2023.6.10.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー，健康維持は足作りから－ひざの痛みのつば治療－，セミナー講師，新潟市北区，市民，新潟市（オンライン），2023.4.1-2024.3.30.
2. Shinkyu Very Match オンラインセミナー，認知症に対する鍼灸治療，セミナー講師，はあとふるあたご，鍼灸師，新潟市（オンライン），2023.10.25.
3. サマーセミナー，若手教員の抱える悩み相談－こんな時先輩方はどうしてた？－，セミナー講師，鍼灸学系大学協議会，鍼灸学系大学教員，東京都江東区有明，2023.9.2.
4. たには会北信越支部研修会，アトピー性皮膚炎の鍼灸治療－疾患の理解，評価，治療とセルフケア－，講師，明治国際医療大学同窓会たには会，大学同窓会，新潟市（オンライン），2023.6.25.
5. 市民公開講座，つば刺激で健康寿命をのばしましょう－高齢者疾患に対する鍼灸治療の効果－，講師，新潟県鍼灸師会，市民，新潟市東区プラザ，2023.9.10.
6. 新潟県鍼灸マッサージ師会セミナー，パーキンソン病など神経難病に対する鍼灸治療，講師，新潟県鍼灸マッサージ師会，会員鍼灸師，新潟市「新潟県鍼灸マッサージ師会館」，2023.7.16.
7. 新潟県鍼灸師会セミナー，アフターコロナにおける後遺症・フレイルに対する鍼灸治療，講師，新潟県鍼灸マッサージ師会，会員鍼灸師，新潟市「新潟県鍼灸マッサージ師会館」，2023.7.17.
8. 市民大学講座 天気痛とツボを知り不調を解消（全2回），「鍼灸（しんきゅう）とは－医療・スポーツ・美容・介護福祉の現場で実践される鍼灸医療－」，講師，新潟市北区役所，市民，新潟市豊栄地区公民館，2023.11.8.
9. 市民大学講座 天気痛とツボを知り不調を解消（全2回），「天気痛に対する鍼灸治療とつばを用いたセルフケア」，講師，新潟市北区役所，市民，新潟市豊栄地区公民館，2023.11.9.
10. 刹那塾ライブセミナー，パーキンソン病などの神経難病に対する鍼灸治療－座学講座－，講師，刹那塾，会員鍼灸師，新潟市（オンライン），2023.9.26.
11. 刹那塾ライブセミナー，パーキンソン病などの神経難病に対する鍼灸治療－実技講座－，講師，刹那塾，会員鍼灸師，新潟市（オンライン），2023.9.27.
12. 刹那塾鍼灸技術セミナー合宿in新潟医療福祉大学，アトピー性皮膚炎を診ること－アトピー性皮膚炎に対する鍼灸治療－，講師，刹那塾，会員鍼灸師，新潟市新潟医療福祉大学，2023.7.15.
13. Shinkyu Very Match 鍼灸院スタンダード治療完全マスター講座，神経難病－パーキンソン病の病態把握と鍼灸治療，セミナー講師，はあとふるあたご，会員鍼灸師，新潟市（オンライン），2024.1.29.
14. Shinkyu Very Match 鍼灸院スタンダード治療完全マスター講座，アトピー性皮膚炎の病態把握と鍼灸治療，セミナー講師，はあとふるあたご，会員鍼灸師，新潟市（オンライン），2024.2.26.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. グループ内会報，サステイナ・スタッフ紹介，シン・新潟県人あらわる－鍼灸の仲間とともに－，2023.12.
2. 同窓会報たには会報，会員報告，近況報告－新潟での新しい生活を始めています－，2023.8.
3. NHK BS，沁みる夜汽車セレクション，家族の歳月，2024.3.23.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟日報，目指せ！健康寿命日本一，健康調査および鍼灸治療体験，新潟市・メディアシップ，2023.6.24.
2. とよさか中高年教養大学健康長寿学シニアオープンカレッジin新潟医療福祉大学，健康調査及び附属鍼灸センター見学，新潟医療福祉大学，2023.9.28.
3. チーム医療体験会，高校生とのセミナー参画，新潟医療福祉大学，2024.8.8.
4. 首都圏高校教員オープンキャンパス，参加者への鍼灸治療体験，新潟医療福祉大学，2025.8.23.

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 開志国際高校，模擬講義－鍼灸師という仕事－，2023.9.25.
2. 直江津中等教育学校，特別学外講義，2023.12.14.
- 8 学内委員会活動 広報委員会：オープンキャンパス部長，高等教育推進センター委員会：初年度教育部会・教育システム改革部会拡大部員，個人情報保護委員会：情報セキュリティのためのFD部員

氏名：津田 篤太郎

- 1 研究題目 難治性疾患（特に自己免疫疾患）の補完・統合医療
- 2 論文
 1. 津田篤太郎. 【関節痛 リウマチ・膠原病診療に強くなる】関節リウマチ・膠原病の治療と管理 リウマチ・膠原病疾患の代替医療 治療 2023年 105巻7号 Page880-885（査読なし）
 2. 津田篤太郎. 【『お血』の診かたと治療】お血の湯液治療（解説） Tehamo 2023年 3巻3号 Page37-41（査読なし）
 3. 津田篤太郎. ぐっとよくなる！漢方処方快訣ビフォーアフター（第1回）かぜ症状に対する漢方の使い分け かぜには葛根湯，…のみにあらず（解説） 薬局 2024年 75巻1号 Page97-100（査読なし）
 4. 津田篤太郎. ぐっとよくなる！漢方処方快訣ビフォーアフター（第2回）便秘に対する処方の使い分け 大黃（大腸刺激性下剤）含有処方と非大黃処方の使い方（解説） 薬局 2024年 75巻2号 Page276-279（査読なし）
 5. 津田篤太郎. ぐっとよくなる！漢方処方快訣ビフォーアフター（第3回）抑肝散の子母同服 家族を治療する場合の注意点 小児の薬用量 子どもが薬を飲んでくれないとき（解説） 薬局 2024年 75巻3号 Page418-422（査読なし）
- 3 学会等研究発表
 1. 津田篤太郎. 急性期病院で生きるキャリア:これからの漢方医 これからのHospitalist/Specialistに求められる漢方医学の素養 第73回日本東洋医学会学術総会（福岡・日本），2023.6.17. 【シンポジウム】
 2. 上橋菜穂子，栗山一道，津田篤太郎. 物語を生む想像力と病の関係 第73回日本東洋医学会学術総会（福岡・日本），2023.6.18. 【特別講演】
 3. 津田篤太郎. 新潟医療福祉大学附属鍼灸センターでの活動報告～開設初日から2週間までを中心に～ 第29回日本東洋医学会関東甲信越支部 新潟県部会 2023.9.3.
 4. 津田篤太郎. 膠原病の漢方治療：最近の話題から 日本東洋医学会関東甲信越支部東京都部会 2024.2.18. 【教育講演】
 5. 津田篤太郎. 針灸認識不足の日本地区と年齢組針灸的潜在需求 16th Taipei Traditional chinese medicine international forum（台北・台湾）2024.3.17. 【特別講演】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（評議員） 日本内科学会（総合内科専門医）日本リウマチ学会（リウマチ専門医・指導医・評議員）日本東洋医学会（漢方専門医 用語及び病名分類委員会 委員長）日本骨粗鬆学会（認定医）・日本臨床免疫学会（免疫療法認定医）・日本アレルギー学会（アレルギー専門医）日本医史学会 American college of physician（米国内科学会正会員）
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会和文誌（編集委員）
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本助産学会研修・教育委員会主催ZOOMセミナー「女性と漢方」役割：演者 主催：一般社団法人日本助産学会 対象：助産師 2023.7.1.
 2. 新潟市薬剤師会学術講演会「明日からの患者指導に役立つ漢方のABC」役割：演者 主催：新潟市薬剤師会 対象：新潟市薬剤師会会員の薬剤師 2023.10.18.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ「ありふれた症状」をどう治すか 2023.4.11.掲載
 2. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ「雨ニモ負ケズ」にみる「ケア」の思想 2023.5.9.掲載
 3. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ「分解の哲学」と東洋の陰陽五行説 2023.6.13.掲載
 4. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ 大きな病院で漢方を活用するには？ 2023.7.11.掲載
 5. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ なぜ「治る」のか？ 漢方の大先達を当惑させた二つの「成功症例」 2023.8.8.掲載
 6. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ まとめきれない「こころ」と「からだ」～精神分析と漢方医学の不協和音～ 2023.9.12.掲載
 7. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ 老化で減るもの、増えるもの 2023.10.10.掲載
 8. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ 藤井8冠に学ぶ人工知能と医学の未来像 2023.11.14.掲載
 9. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ ガザ戦争に思う伝統医学の使命 2023.12.12.掲載
 10. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ 不妊治療で漢方ができること 2024.1.9.掲載
 11. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ 落語に学ぶ「古典」の扱い方 2024.2.13.掲載
 12. 毎日新聞 医療プレミア 漢方ことはじめ 医学はどこからやってきたのか、どこへいくのか 2024.3.12.掲載
- 3) 社会活動への参加協力
1. 医療鍼灸協会：年10回の鍼灸師向けセミナー 役割：理事・演者 開催都市：東京 会場：東京医療福祉専門学校 2023.5.14-2024.3.10.
 2. 特定非営利活動法人 医学教育研究所 e-learning講演「膠原病に対する漢方薬の使い方」役割：演者 東京都千代田区（医学教育研究所）2023.8.7.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2022年～24年度 基盤研究（C）、漢方医学を取り入れた看護教育の評価、研究代表者：山田雅子 聖路加国際大学大学院看護学研究科教授・研究分担者：吉田千文 常磐大学看護学部教授・西村恵理奈 聖路加国際大学大学院看護学研究科助教・江口優子 国立看護大学校非常勤講師・津田篤太郎
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得

日本医師会認定産業医 第2301019号（2023.11.28）
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 福島県立医科大学医学部，「漢方医学Ⅰ」，2023.9.6.
- 7 学内委員会活動 学術委員会，新潟医療学会（評議員），新潟医療学会雑誌編集委員会，同窓会・生涯学習連携推進委員会，国際交流センター運営委員会

氏名：久保 亜抄子

- 1 研究題目 侵害受容器の投射経路に関する研究，筋の感覚受容に関する研究，神経節細胞と衛星細胞との機能連関に関する研究
- 2 論文
 1. Nasu T, Hori A, Hotta N, Kihara C, Kubo A, Katanosaka K, Suzuki M, Mizumura K. Vacuolar-ATPase-mediated muscle acidification caused muscular mechanical nociceptive hyper-sensitivity after chronic stress in rats, which involved extracellular matrix proteoglycan and ASIC3. Scientific Reports (JCR). 2023; 13(1): 13585. (review) doi: 10.1038/s41598-023-39633-1
 2. 水村和枝, 久保亜抄子. 神経成長因子とグリア細胞由来神経栄養因子の協働作用，脳由来神経栄養因子（BDNF）と痛み. Pain Research（協力学術団体）. 2023; 38: 11-19.（査読あり）<https://doi.org/10.11154/pain.38.11>
 3. 水村和枝, 久保亜抄子. グリア細胞由来神経栄養因子（GDNF）ファミリーと痛み. Pain Research（協

- 力学術団体). 2023; 38: 1-10. (査読あり) <https://doi.org/10.11154/pain.38.1>
4. 久保亜抄子. 筋筋膜性疼痛の基礎 up to date. 日本東洋医学系物理療学会誌. 2023; 48(2) 11-16. (査読なし) https://doi.org/10.32255/jjsop.48.2_11
 5. 久保亜抄子, 磯部秀之, 山口智. 発症後7年を経過した超高齢者の帯状疱疹後神経痛に東洋医学的治療が奏功した1例. Pain Research (協力学術団体). 2023; 38: 30-35. (査読あり) <https://doi.org/10.11154/pain.38.30>
 6. 南波利宗, 久保亜抄子, 有働幸紘, 皆川陽一. 慢性疼痛に対する鍼灸治療の展望－ガイドラインの拡充を目指して－. 全日本鍼灸学会雑誌 (協力学術団体). 2023; 73(2): 77-92. (査読なし) <https://doi.org/10.3777/jjsam.73.77>
- 3 学会等研究発表
1. 久保亜抄子, 菊池友和, 山口智. 頭痛に対する鍼治療の効果とその作用機序 (シンポジウム: 神経疾患に対する針灸治療の効果とその作用機序). 第88回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会 (大分), 2023.5.13-5.14. 【シンポジウム】
 2. 久保亜抄子. 痛みと鍼治療～基礎研究から鍼灸治療まで～. 第41回日本歯科東洋医学会学術大会 (オンライン配信). 2023.12.15-2024.1.31. 【特別講演】
 3. Kubo A. Mechanisms of chronic muscle hyperalgesia -from studies using animal models-. (シンポジウム: 鍼灸治療効果の科学的理解). 第101回日本生理学会大会 (小倉), 2024.3.28-3.30. 【シンポジウム】
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 国際疼痛学会, 日本生理学会 (評議員), 全日本鍼灸学会 (編集委員), 日本疼痛学会, 日本神経科学会, 日本運動器疼痛学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 埼玉医科大鍼灸勉強会, 鍼灸と体性感覚, 講師, スマイルアンドサンキュー株式会社, 鍼灸師, オンライン, 2023.11.8.
 2. 埼玉医科大学東洋医学科研修鍼灸師セミナー, 慢性疼痛に対する鍼治療のメカニズムと疼痛モデルから考える鍼の鎮痛機構, 講師, 埼玉医科大学東洋医学科, 鍼灸師, オンライン, 2023.12.15.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究C, 神経障害後の細胞環境依存的な衛星細胞の機能変化と三叉神経の興奮性変調機構の解明, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 埼玉医科大学医学部, 東洋医学と西洋医学の比較文化論, 2023.12.4.
- 7 学内委員会活動 人権委員会, 動物実験委員会 (副委員長), 遺伝子組換え実験安全委員会 (副委員長), 毒物・劇物管理委員会, 運動機能医科学研究所, 生物医科学分析研究センター

氏名: 金子 聡一郎

- 1 研究題目 市中施術所および医療機関における COVID-19 後遺症の特徴の抽出と鍼灸治療の効果の検討, 看護師が自覚する症状の自己対処法に関する調査, 地域医療における円皮鍼を用いた誤嚥性肺炎の予防効果に関する研究, 生殖医療に関する訓練を受けた鍼灸院を受診した挙児希望患者に関する調査
- 2 論文
 1. 長崎絵美, 伊佐治景悠, 伊藤千展, 古田大河, 金子聡一郎, 木村研一. 挙児希望女性の性交痛に対する鍼灸施術の一症例 慢性骨盤痛へのアプローチ検討. 日本性科学雑誌. 2023; 41(1): 81-88 (査読あり)
 2. 高山真, 有田龍太郎, 金子聡一郎, 菊地章子, 沼田健裕, 石井誠一, 谷内一彦, 石井正. 漢方 Problem Based Learning (PBL) を基にした学術発表により得られる医学生の学び. 日本東洋医学雑誌. 2023; 74(1): 75-84 (査読あり)

3. 金子聡一郎, 深澤洋滋, 山下仁, 若山育郎, 高山真. 大韓鍼灸医学会創立50周年記念祝賀会並びに日韓シンポジウム参加報告. 全日本鍼灸雑誌. 2024; 74(1): 27-34 (査読あり)
4. 金子聡一郎, お血・血お 診かたと治療. Tehamo. 2023; 3(3): 42-46 (査読なし)

3 学会等研究発表

1. 金子聡一郎, 鈴木聡子, 有田龍太郎, 小野理恵, 小泉直照, 村上慶泰, 菊地章子, 高山真, 石井正. シスプラチン併用放射線療法による味覚障害に対して大学病院と地域病院鍼外来との連携により症状改善に貢献できた症例. 日本東洋医学会学術総会 (福岡), 2023.6.16-6.18.
2. 小野理恵, 菊地章子, 有田龍太郎, 高山真, 大澤稔, 齊藤奈津美, 金子聡一郎, 鈴木聡子, 清水雅行, 永田真一, 神谷哲治, 石井正. 勤労世代に対する漢方治療がQOLに及ぼす影響. 日本東洋医学会学術総会 (福岡), 2023.6.16-6.18.
3. 小泉直照, 金子聡一郎, 有田龍太郎, 小野理恵, 神谷哲治, 村上慶泰, 大澤稔, 菊地章子, 齊藤奈津美, 清水雅行, 鈴木聡子, 永田真一, 高山真, 石井正. 開業鍼灸師と大学病院漢方内科鍼灸外来における連携について. 日本東洋医学会学術総会 (福岡), 2023.6.16-6.18.
4. 有田龍太郎, 菊地章子, 小野理恵, 高山真, 金子聡一郎, 神谷哲治, 石井正. クロウン病の治療中, 漢方エキス製剤よりも煎じ薬で寛解維持が可能となった1例. 日本東洋医学会学術総会 (福岡), 2023.6.16-6.18.
5. 米倉まな, 松浦悠人, 柴田健一, 金子聡一郎, 小坂知世, 大杉美奈, 赤石頌伍, 岩澤拓也, 内田ちひろ, 加藤久仁明, 近藤美貴, 杉山英照, 本郷誠司, 木村友昭, 坂井友実. 鍼灸院におけるうつと不安症状を有する患者の実態調査(第2報) 電子システムを用いた集積 中間報告. 全日本鍼灸学会学術大会 (神戸), 2023.6.9-6.11.
6. 加藤久仁明, 松浦悠人, 金子聡一郎, 小坂知世, 米倉まな. オンラインを活用した開業鍼灸師による共同研究の実施(第1報) メンタルヘルス患者の5例報告を題材にして. 全日本鍼灸学会学術大会 (神戸), 2023.6.9-6.11.
7. 杉山英照, 松浦悠人, 米倉まな, 岩澤拓也, 金子聡一郎. 鍼灸治療と傾聴の併用が奏功したパニック症の1症例. 全日本鍼灸学会学術大会 (神戸), 2023.6.9-6.11.
8. 岩澤拓也, 松浦悠人, 米倉まな, 杉山英照, 金子聡一郎. パニック症患者に対する鍼灸治療の1症例 治療目標と症状発生状況の共有の重要性. 全日本鍼灸学会学術大会 (神戸), 2023.6.9-6.11.
9. 飯田通容, 金子聡一郎, 米倉まな. 既存患者の危険兆候を鑑別し, 病院への再受診を促せた一例 訪問鍼灸における四診(舌診)活用例. 全日本鍼灸学会学術大会 (神戸), 2023.6.9-6.11.
10. Kaneko S, Takatama S. Clinical Acupuncture at the University Hospital of Japan and Clinical Acupuncture Studies at the Graduate School of Medicine, KAMMS 50th Fall Academic Conference 2023 (Seoul), 2023.11.12. 【シンポジウム】

4 学会活動

- 1) 所属学会 全日本鍼灸学会(編集委員, 関東支部学術委員, 第73回全日鍼灸学会学術大会企画調整委員・プログラム委員), 日本プライマリ・ケア連合学会(東北ブロック支部評議員), 現代医療鍼灸臨床研究会(評議員), 病鍼連携連絡協議会(世話人), 日本東洋医学会, 日本顔面神経学会, 日本うつ病学会, 日本温泉気候物理医学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 全日本鍼灸学会, 第73回全日本鍼灸学会学術大会, 企画調整委員(プログラム委員), 宮城県仙台市, 2024.5.24-5.26・2023.2.1-2024.5.26.
 2. 日本プライマリ・ケア連合学会, 宮城プライマリ・ケア研究会, 運営実行委員, 宮城県仙台市, 2023.7.8・2023.6.1-7.8.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 田中はり灸療院主催セミナー, コロナ後遺症の東洋医学的考え方と漢方・鍼灸治療IN福岡, 講師, 田

- 中はり灸療，鍼灸師および医療従事者，福岡（フォレオ博多），2023.7.30：13時～17時
2. 埼玉鍼灸師会オンラインサロン彩，脳血管障害後遺症としての嚥下障害に対する鍼治療，講師，鍼灸師，埼玉鍼灸師会，オンライン，2024.1.18：19時～20時
 3. スマイルアンドサンキューセミナー，地域医療と鍼灸治療，講師，鍼灸師，スマイルアンドサンキュー，2023.7.12：17時30分～18時30分
 4. 病鍼連携連絡協議会SPT，臨床家が学術論文を読むために注意すること，講師，鍼灸師および医療従事者，病鍼連携連絡協議会，オンライン，2024.1.27：18時～20時45分
 5. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，リサーチクエストとクリニカルクエスト，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2023.4.20：22時～23時
 6. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，A randomized, placebo-controlled trial of acupuncture in patients with chronic obstructive pulmonary disease (COPD)，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，2023.5.18：22時～23時
 7. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，Effects of acupuncture on nutritional state of patients with stable chronic obstructive pulmonary disease (COPD)，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2023.6.15：22時～23時
 8. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，PICO/PECOについて，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，2023.7.20：22時～23時
 9. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，PICO/PECOの実践，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2023.8.18：22時～23時
 10. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，症例報告してみよう，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2023.9.21：22時～23時
 11. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，比較すること，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2023.10.19：22時～23時
 12. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，データの尺度について，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2023.11.16：22時～23時
 13. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，プラセボとは，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2023.12.21：22時～23時
 14. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，グラフの使い分け，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2024.2.15：22時～23時
 15. オンラインサロンこちめいと臨床研究勉強会，スライドの作り方，講師，鍼灸師，オンラインサロンこちめいと，オンライン，2024.3.21：22時～23時
 16. 第40回鍼灸論文抄読会，Intelligent health management based on analysis of big data collected by wearable smart watch，主宰（講師および司会），鍼灸師など，鍼灸論文抄読会，オンライン，2023.4.12：21時～22時30分
 17. 第41回 鍼 灸 論 文 抄 読 会，Gut Microbiota: A New Strategy to Study the Mechanism of Electroacupuncture and Moxibustion in Treating Ulcerative Colitis，主宰（講師および司会），鍼灸師など，鍼灸論文抄読会，オンライン，2023.4.26：21時～22時30分
 18. 第42回鍼灸論文抄読会，Electroacupuncture mitigates endothelial dysfunction via effects on the PI3K/Akt signalling pathway in high fat diet-induced insulinresistant rat，司会&講師，鍼灸師など，鍼灸論文抄読会，オンライン，2023.5.17：21時～22時30分
 19. 第43回鍼灸論文抄読会，「全日本鍼灸学会直前企画！！おすすめの発表教えてください」，主宰（講師および司会），鍼灸師など，鍼灸論文抄読会，オンライン，2023.5.13：21時～22時30分
 20. 第44回鍼灸論文抄読会，Effects of manual acupuncture combined with donepezil in a mouse model of Alzheimer's disease，司会，鍼灸師など，鍼灸論文抄読会，オンライン，2023.6.21：21時～22時30分

21. 第45回鍼灸論文抄読会, Added Value of Gluteus Medius and Quadratus Lumborum Dry Needling in Improving Knee Pain and Function in Female Athletes With Patellofemoral Pain Syndrome: A Randomized Clinical Trial, 主宰 (講師および司会), 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.7.5: 21時~22時30分
22. 第46回 鍼灸論文抄読会, Trends and quality of randomized controlled trials on acupuncture conducted in Japan by decade from the 1960s to the 2010s: a systematic review, 司会, 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.7.19: 21時~22時30分
23. 第47回 鍼灸論文抄読会, Electroacupuncture Promotes Neuroplasticity of Central Auditory Pathway: An Auditory Evoked Potentials Study, 主宰 (講師および司会), 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.9.6: 21時~22時30分
24. 第48回鍼灸論文抄読会, Electroacupuncture alleviated the depression-like behavior by regulating FGF2 and astrocytes in the hippocampus of rats with chronic unpredictable mild stress, 司会, 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.9.20: 21時~22時30分
25. 第49回 鍼灸論文抄読会, Brain-to-brain mechanisms underlying pain empathy and social modulation of pain in the patient-clinician interaction, 主宰 (講師および司会), 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.9.27: 21時~22時30分
26. 第50回 鍼灸論文抄読会, Development of a tongue image-based machine learning tool for the diagnosis of gastric cancer: a prospective multicentre clinical cohort study, 司会, 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.10.11: 21時~22時30分
27. 第51回鍼灸論文抄読会, 胃膨満感および胃痛を訴える患者1症例に対する鍼治療の経験, 主宰 (講師および司会), 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.11.8: 21時~22時30分
28. 第52回鍼灸論文抄読会, Emulation of Randomized Clinical Trials With Nonrandomized Database Analyses, 主宰 (講師および司会), 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.11.22: 21時~22時30分
29. 第53回鍼灸論文抄読会, Electroacupuncture trigeminal nerve stimulation plus body acupuncture for chemotherapy-induced cognitive impairment in breast cancer patients: An assessor-participant blinded, randomized controlled trial, 主宰 (講師および司会), 鍼灸師など, 鍼灸論文抄読会, オンライン, 2023.12.6: 21時~22時30分
30. 埼玉医科大学研修会, 緑内障, 講師, 埼玉医科大学東洋医学科, オンライン, 2023.12.22: 17:30~19:00

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

第13回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会認定 (2023.7.11)

氏名: 木村 啓作

- 1 研究題目 スポーツ鍼灸における介入刺激方法の構築, 鍼通電刺激と超音波エラストグラフィー, 口腔機能と姿勢
- 2 論文
 1. 木村啓作, 災害鍼灸 (編集後記), 全日本鍼灸学会雑誌, 2024.2. 74(1): 54 (査読なし)
- 3 学会等研究発表
 1. 津田篤太郎, 村越祐介, 福田晋平, 高野道代, 木村啓作, 金子聡一郎, 久保亜抄子, 江川雅人, 粕谷大智. 新潟医療福祉大学附属鍼灸センターでの活動報告~開設初日から2週間までを中心に~, 日本東洋医学会新潟支部. 2023.9.3.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 全日本鍼灸学会, 新潟医療福祉学会, ジャパン・アスレチック・トレーナーズ協会, 日本体力

医学会, 日本磁気共鳴医学会, NSCA

2) 学会等でのその他の活動

1. 全日本鍼灸学会, 学術誌編集委員

5 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. UX新潟テレビ21, 本学附属鍼灸センターの紹介 (バスケットボール選手への鍼灸治療), 2023.4.28.
2. UX新潟テレビ21, 大学の紹介 (心理健康学科新設記念 宮本選手とのトークショー), 2023.5.15.

2) 社会活動への参加協力

1. ジャパン・アスレチック・トレーナーズ協会, 東京マラソンでのランナーに対するトレーナー活動, ランナー300名対象, 東京, 2024.3.3.

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

ジャパン・アスレチック・トレーナーズ協会 永年会員 2023.10.1.

7 学内委員会活動 教務委員会, 科研費対策委員会, 図書館・学習支援委員会

氏名: 高野 道代

1 研究題目 健美鍼灸についての研究

2 学会等研究発表

1. 高野道代, 美容における鍼灸治療; 実技セミナー, 全日本鍼灸学会学術大会 (神戸大会), 2023.6.11. 【実技セミナー】
2. 高野道代, シンポジウム, 研究UPtoDate～リフトアップなどの形状変化の客観的評価について～, AcademicConference, 東京ー, 2023.11.23. 【シンポジウム】

3 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 公益社団法人 全日本鍼灸学会, 抗加齢学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 公益社団法人 全日本鍼灸学会 安全性委員会, 鍼灸安全性マニュアル一部作成, 2023.4-現在
2. 公益社団法人 全日本鍼灸学会 安全性委員会, 美容鍼灸安全性マニュアル検討・作成, 2023.4-現在

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 「強化指定クラブ女性アスリートに対する美容とセルフケアセミナー」, 講師, スポーツ振興室, 強化クラブ女性アスリート, 新潟医療福祉大学, 2023.6.22.
2. 鍼灸技術セミナー合宿 setuna, 健美鍼灸学～疏通経絡健美法～, 講師, 刹那塾, 鍼灸師, 新潟医療福祉大学, 2023.7.15-7.16.
3. 国際メディカル専門学校美容業界特論, 健康と美容を考える, 美容鍼灸について～美容鍼灸の基礎そして臨床へ～ 講師, 学生, ICM国際メディカル専門学校講義, 2023.8.25.
4. 東洋医療専門学校 同窓会, 心身ともに健美に健美鍼灸～臨床に必要な基礎を学ぶ～, 講師, 鍼灸師, 東洋医療専門学校 (健美基礎), 2023.10.15.
5. JAA (予防医学とセルフメディケーション), 心身ともに美しく～健美upツボ講座～, 講師, 日本アロマコーディネーター協会, 一般, WEB開催, 2023.11.
6. 耳鍼療法を活かす実践テクニックの紹介～耳つぼが秘める可能性～, 講師, 刹那塾, 鍼灸師, WEB開催, 2023.11.28-11.29.
7. SVMオープン記念イベント, 美容鍼灸のニーズと効果それに伴うリスクマネジメント, Shinkyu Very Match, はーとふるあたご, 鍼灸師・学生, オWEB開催, 2024.3.11.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 強化指定クラブセミナー“美容とセルフケア”を実施活動報告など (新潟日報)

3) 社会活動への参加協力

1. 疏通経絡健美学会, 健美鍼灸の教育および普及, 代表, 大阪/オンライン, 2023.6.18.
2. 新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー, 講座, 健美教室, 講師, 市民, 新潟市 (オンライン), 2023.4.1-2024.3.31.

4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

鍼灸系大学協議会 コアカリキュラム (委員), 全日本鍼灸学会 安全性委員会 (委員)

5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益社団法人 全日本鍼灸学会 安全性委員会 (委員), 鍼灸系大学協議会 コアカリキュラム (委員), 疏通経絡健美学会 (代表)

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 明治東洋医学院専門学校, 臨床鍼灸学応用Ⅱ (健美鍼灸論基礎), 2023.4.1-8.31.
2. ICM国際メディカル専門学校講義, 2023.8.25.

6 学内委員会活動 教務委員会, 就職センター運営委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会, 学内授業推進部会, 連携科目対応部会

氏名 : 福田 晋平

1 研究題目 パーキンソン病に対する鍼灸治療の研究, 嚥下機能に対する鍼灸治療の研究, 鍼灸の安全性に関する研究

2 著書

1. 福田晋平; 矢野忠 (編集), 坂井友実 (編集), 北小路博司 (編集), 安野富美子 (編集). 図解鍼灸療法技術ガイドⅡ 第2版 臨床の場で役立つ実践のすべて 2024. 初版. 東京: 文光堂; 2024年: 782-790.
2. 福田晋平. パーキンソン病における鍼灸の考え方～紹介から施術まで. 東京. 日本医時新報社; 2024年: 電子コンテンツ

3 学会等研究発表

1. 福田晋平. 実技セミナー パーキンソン病に対する鍼灸治療. 全日本鍼灸学会総会・神戸, 2023.6.10.

4 学会活動

- 1) 所属学会 全日本鍼灸学会 正会員・安全性委員会 委員, 日本抗加齢医学会 正会員, 日本自律神経学会 正会員

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. とよさか中高年教養大学, 講師, ・鍼灸とは (11.8), 天気痛とツボ押し (11.15), 豊栄市・豊栄公民館, 11.8・11.15 (全2回)

6 学内委員会活動 入試委員会, 国家試験委員会, 学生委員会, 交通安全委員会

氏名 : 村越 祐介

1 研究題目 スポーツ鍼灸の有効性と安全性について, 附属鍼灸センターを受診するスポーツ選手の疫学調査, ジュニアアスリートに対する鍼灸治療の試み

2 著書

1. 村越祐介. スポーツ選手に対する円皮鍼の有害事象に関する前向き調査研究. 東京. 東京有明医療大学 学術リポジトリ. 2024:1-69.

3 論文

1. 村越祐介, 藤本英樹, 松浦悠斗, Chuluunbat Oyunchimeg, 谷口博志, 安野富美子, 古賀義久, 坂井友実. 鍼刺激感覚が片脚立位時の重心動揺に及ぼす影響. 全日本鍼灸学会雑誌. 2023年8月. 73(3): 104-113. (査読あり)

2. 村越祐介, 石井輝, 藤本英樹. スポーツ選手に対する円皮鍼の有害事象に関する前向き調査研究. 全日本鍼灸学会雑誌. 2024年2月. 74(1): 2-12. (査読あり)

4 学会等研究発表

1. 曾田真由美, 水出靖, 小田木悟, 村越祐介, 平松耀, 飯田百合子, 山口紗和, 山崎さつき, 菅原正秋, 木村友昭. 頭痛に対する鍼治療の一症例. 全日本鍼灸学会神戸大会. 2023.6.9-6.11.
2. 藤本英樹, 村越祐介, 南雲世以子. 車椅子バスケットボール選手の肩関節痛に対する鍼治療の1症例. 全日本鍼灸学会神戸大会. 2023.6.9-6.11.
3. 村越祐介, 藤本英樹. スポーツ選手に対する円皮鍼の有害事象に関する前向き調査研究. 全日本鍼灸学会神戸大会. 2023.6.9-6.11.
4. 南雲世以子, 藤本英樹, 村越祐介. エコーを用いた腓腹筋の刺入深度および響き感覚の検討. 全日本鍼灸学会神戸大会. 2023.6.9-6.11.
5. 津田篤太郎, 村越祐介, 福田晋平, 高野道代, 木村啓作, 金子聡一郎, 久保亜抄子, 江川雅人, 粕谷大智. 新潟医療福祉大学附属鍼灸センターでの活動報告～開設初日から2週間までを中心に～. 日本東洋医学会新潟支部. 2023.9.3.
6. 曾田真由美, 水出靖, 小田木悟, 村越祐介, 平松耀, 飯田百合子, 山口紗和, 山崎さつき, 菅原正秋, 木村友昭. 緊張型頭痛と片頭痛の併発が疑われる患者に対する鍼治療の一症例. 全日本鍼灸学会関東支部. 11.26.

5 学会活動

- 1) 所属学会 全日本鍼灸学会, 新潟医療福祉学会, 現代医療鍼灸臨床研究会

6 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 千葉県私立昭和学院中学校女子バスケットボール, 週1回(主に火曜日)のトレーニング指導と試合帯同(土日), 千葉縣市川市昭和学院中学校体育館及び市内・千葉県・関東・全国大会の各大会会場, 2023.4-2024.3.31. (トレーニング活動日と試合帯同の年間合計日数: 51日)

7 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

- 博士号(鍼灸学)(2024.3.15), 東京有明医療大学大学院賞(2024.3.15)

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校 鍼灸学科, スポーツ業界特論(2コマ), 2023.8.26.

3) 医療技術学部

(1) 臨床技術学科

氏名：渡邊 博昭

1 研究題目 若年者の心臓突然死について

2 論文

1. Abe T, Fujii Y, Hanawa H, Ikegami K, Watanabe H. 超音波造影剤が主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 超音波検査技術. 40(3); (査読あり)
2. Tamiya H, Hoshiai M, Abe T, Watanabe H, Fujii Y, Tsubaki A. Prolonged Sitting Induces Elevated Blood Pressure in Healthy Young Men: A Randomized Crossover Trial. Cureus. 16(2);e55224. (査読あり)
3. Ikegami K, Watanabe M, Morita K, Watanabe H. 非医療系学生男女における子宮頸癌の予防知識. CAMPUS HEALTH. 60(2), 33-39, 2023 (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤の加圧後投与が主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 第72回日本医学検査学会(群馬), 2023.5.20-5.21.
2. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 加圧後の超音波診断用造影剤起因の生体への弊害. 第48回日本超音波検査学会学術集会(大阪), 2023.6.10-6.11.
3. 小形朔也, 藤井豊, 渡邊博昭, 阿部拓也. 加圧した造影剤投与は腎傷害を引き起こす. 第48回日本超音波検査学会学術集会(大阪), 2023.6.10-6.11. (Congress Chairperson's Award受賞)(研究指導責任者)
4. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. NASH疾患の新たな予防法・治療法の創出に向けた検討. 第11回北日本支部医学検査学会(福島), 2023.11.4-11.5.
5. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 加圧された超音波造影剤起因の生体への弊害. 第96回新潟県臨床検査学会(新潟), 2023.12.10.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本不整脈心電学会, 医療の質・安全学会, 日本臨床検査教育学会(世話人)
- 2) 学術集会の主催
 1. 第95回新潟県臨床検査学会, 実行委員, 新潟市, 12.10.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. にいがた乳腺エコー研究会第19回講習会, 統括責任者, 新潟県(Web), 6.3.
 2. にいがた乳腺エコー研究会第20回講習会, 統括責任者, 新潟県(Web), 12.3.
 3. 神経生理検査ライブデモ実技研修会, 統括責任者, 長岡市, 9.30.
 4. 心電図セミナー2023, 統括責任者, 新潟県(Web), 2.17.
 5. 令和5年度輸血細胞治療部門輸血検査実技講習会, 統括責任者, 新潟市, 9.17.
 6. 令和5年度病理細胞部門研修会, 統括責任者, 新潟県(Web), 10.15.
 7. 令和5年度臨床微生物部門研修会, 統括責任者, 新潟市, 10.21.
 8. 令和5年度臨床検査総合管理部門管理運営分野研修会, 統括責任者, 新潟県(Web), 1.20.
 9. 令和5年度第2回臨床微生物部門研修会, 統括責任者, 新潟市, 3.10.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和5年度施設運営管理者協議会, 臨床検査技師学校養成所カリキュラムの変更, 講師, 新潟県臨床検査技師会, 臨床検査技師, 新潟市, 2023.8.26.
2. AAA腹部エコー啓発セミナー, 腹部大動脈瘤の疫学と超音波検査の実際, 講師, キャノンメディカルシステムズ・日本ゴア合同, 医師・臨床検査技師, 新潟市, 2023.11.29.

2) 社会活動への参加協力

1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団，評議委員，2023.4.1-2024.3.31.
2. 新潟県検診精度管理調査委員会，副委員長，2023.4.1-2024.3.31.
3. 新潟乳腺エコー研究会，代表責任者，2023.4.1-2024.3.31.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器等検診部会委員，新潟県民医療推進協議会委員
- 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県臨床検査技師会（会長），新潟県臨床検査技師会（表彰委員長），新潟県臨床検査技師会（災害対策委員長），新潟県臨床検査技師会（精度保証施設認定委員長），新潟県臨床検査技師会（公益委員長），新潟県臨床検査技師会（施設運営管理者協議会長）

氏名：高野 操

- 1 研究題目 微生物バイオフィルム形成，在宅医療と臨床検査，精度管理，感染制御の方法論
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床微生物学会（評議員），日本臨床衛生検査技師会，新潟県臨床検査技師会（監事），日本環境感染学会，日本臨床検査教育協議会（評議員）
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟県臨床検査技師会運営委員，新潟市，12.10.
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和5年度生物検査技術職員研修会・臨床検査精度管理調査検討会の講師 新潟県2024.3.1. 新潟県自治会館
 - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
度新潟県・新潟市合同精度管理専門委員

氏名：川村 宏樹

- 1 研究題目 マクロファージにおけるNF- κ B抑制因子による炎症反応の制御機構，悪性腫瘍治療患者における輸血検査偽陽性に対する新規回避法の確立
- 2 著書
 1. 丸野透，佐藤秀幸，小林克明，西手芳明，遠藤宏和，高橋良光，鶴田陽和，堀和芳，吉田秀義，浅井孝夫，見目恭一，小久保領，石田等，右田平八，池上喜久夫，川村宏樹，中村藤夫，第2種ME技術実力検定試験 重要問題集中トレーニング 2nd edition，MEDICAL VIEW社；2024年2月：p1-p309
- 3 報告書
 1. 川村宏樹，基盤C，多発性骨髄腫患者にて分子標的薬グラツムマブによる輸血検査偽陽性の新規回避法の確立，研究成果報告書，2021～2023年度，研究代表者）
- 4 学会等研究発表
 1. 川村宏樹，小川真奈，神林遥希，佐藤志保，「輸血体検査における生理食塩液のpH値と凝集結果の関連性」，第23回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2023.10.28.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本免疫学会，日本寄生虫学会，日本生体防御学会，肝臓洞研究会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度，科研費基盤研究（C），多発性骨髄腫患者にて分子標的薬グラツムマブによる輸血検査偽陽性の新規回避法の確立（研究代表者）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学大学院医歯学総合研究科ウイルス学分野，客員研究員，2023.4.1-2024.3.31.

- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会（委員長），PCRセンター運営委員会（副委員長），教育・学生支援機構部会

氏名：斎藤 憲

- 1 研究題目 がん浸潤転移メカニズムの研究，ペプチド創薬の開発研究
- 2 報告書
 1. 斎藤憲，基盤研究（C），PLOD2-インテグリン水酸化反応に基づく癌転移抑制デコイペプチドの開発，実施状況報告書，2021-2023，研究代表
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生化学学会，日本癌学会，日本がん分子標的治療学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度，科研費基盤研究（C），PLOD2-インテグリン水酸化反応に基づく癌転移抑制デコイペプチドの開発，研究代表
 2. 2021年度，科研費基盤研究（B），ホーミングペプチドを基盤にした新規膀胱癌バイオマーカー及び膀胱癌標的化抗体医薬の開発，研究分担
 3. 2021年度，科研費基盤研究（B），難治性リンパ腫の免疫回避機構の解明と新しい治療法の開発，研究分担
- 5 学内委員会活動 FD/SD委員会，学術委員会

氏名：塙 晴雄

- 1 研究題目 アスリートの貧血・鉄欠乏の研究（医学），慢性炎症による貧血のメカニズムに関する研究（医学）
- 2 論文
 1. Abe T, Hanawa H, Fujii Y. Gene Expression of Inflammatory Cytokines in Major Organs by Extracorporeal Circulation. J. Clin. Med. 2023, 12(8), 2813. (review)
 2. Abe T, Fujii Y, Hanawa H, Ikegami K, Watanabe H. 超音波造影剤が主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 超音波検査技術. 40(3);. (査読あり) (印刷中)
- 3 学会等研究発表
 1. 阿部拓也，藤井豊，塙晴雄，渡邊博昭. 超音波診断用造影剤の加圧後投与が主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 第72回日本医学検査学会（群馬），2023.5.20-5.21.
 2. 阿部拓也，藤井豊，塙晴雄，渡邊博昭. 加圧後の超音波診断用造影剤起因の生体への弊害. 第48回日本超音波検査学会学術集会（大阪），2023.6.10-6.11.
 3. 宮本由唯，藁谷優香，塙晴雄，阿部拓也. 貧血のメカニズム解明に向けた慢性炎症モデルの作製. 第11回北日本支部医学検査学会（福島），2023.11.4-11.5.
 4. 阿部拓也，藤井豊，塙晴雄，渡邊博昭. NASH疾患の新たな予防法・治療法の創出に向けた検討. 第11回北日本支部医学検査学会（福島），2023.11.4-11.5.
 5. 塙晴雄，江玉睦明 他. 本学強化クラブ女子部員の貧血，鉄欠乏と鉄代謝調節ホルモンヘプシジンの検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜），2023.11.11-11.12.
 6. 阿部拓也，藤井豊，塙晴雄，渡邊博昭. 加圧された超音波造影剤起因の生体への弊害. 第96回新潟県臨床検査学会（新潟），2023.12.10.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本内科学会，日本循環器学会，日本心不全学会（代議員），日本心臓病学会（FJCC），国際心臓研究会，日本遺伝子診療学会，新潟医学会，新潟医療福祉学会，日本臨床スポーツ医学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー 新潟市中体連部活動指導者エキスパート養成講座, 新潟市中学校体育連盟, 新潟市中学校保健体育, 部活動指導者, 新潟市, 2023.6.2.

2) 社会活動への参加協力

1. 一般財団法人新潟陸上競技協会, 競技会の救護支援, 医科学部長, 新潟, 2023.4-2024.3.
2. GP Athletics challenge cup 23, 救護, 新潟市, 2023.9.30-10.1.
3. 新潟ハーフマラソン 2023, 救護支援, 総務員 救護, 新潟市, 2024.3.20.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度, 基盤研究©, 女子アスリートの鉄欠乏, 貧血に対する新たな診断法の検証とメカニズムの究明, 研究代表者
2. 2023年度, 基盤研究©, MALDI-TOF/MSを用いた毛髪脂質の高感度一斉解析法と長期精神疲労評価法への応用, 研究分担者

7 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会（委員長）, 安全衛生委員会

氏名：深澤 友雄

報告事項なし

氏名：丸野 透

報告事項なし

氏名：横山 貴

- 1 研究題目 尿中剥離細胞における免疫組織学的手法を用いた各種腎・尿路疾患の病態解明, 腹膜透析排液中細胞を用いた早期腹膜炎および被嚢性腹膜硬化症の検出, ファブリー病におけるポドサイト由来マルベリー細胞の効率的分取法の開発と臨床的価値

2 著書

1. 横山貴:三村邦裕, 宿谷賢一編. 最新臨床検査学講座一般検査学. 第2章 VI腎機能検査. 第1版第9刷. 東京都:医歯薬出版株式会社;2024年1月:48.
2. 横山貴:三村邦裕, 宿谷賢一編. 最新臨床検査学講座一般検査学. 第8章 穿刺液. 第1版第9刷. 東京都:医歯薬出版株式会社;2024年1月:121-127.
3. 横山貴:三村邦裕, 宿谷賢一編. 最新臨床検査学講座一般検査学. 第10章 その他の体液. 第1版第9刷. 東京都:医歯薬出版株式会社;2024年1月:137-145.
4. 横山貴, 川満紀子:一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会監. JAMT技術教本シリーズ一般検査技術教本. 5章 尿沈渣検査. 第2版. 東京都:丸善出版株式会社;2024年1月:81-113.
5. 横山貴:金井正光監, 奥村伸生, 戸塚実, 本田孝行, 矢富裕編. 臨床検査法提要. 第3章 穿刺液(I). 改訂第36版. 東京都:金原出版株式会社;2025年1月:(印刷中).

3 論文

1. 横山貴. 旬な細胞を学び尿沈渣検査の最新情報をアウトプットするために. The MEDICAL & TEST JOURNAL. 2023年;第1616号:14.
2. 横山貴, 塚原祐介, 星野純一. 基礎講座 高度の膿尿の尿沈渣成分の報告. Medical Technology. 2023年;51(9):1156-1160.
3. 横山貴. 第58回小島三郎記念技術賞 受賞報告. 細胞検査士会 会報. 2023年;74:14.

4 学会等研究発表

1. 横山貴, 塚原祐介, 磯田典子, 三浦ひとみ, 金室俊子, 山本智子, 長嶋洋治, 高木敏男. 左腎盂腫瘍に対

して化学療法中に尿沈渣検査で紡錘型の異型細胞を認めた一例. 日本医学検査学会・第72回日本医学検査学会in GUNMA (高崎市), 2023.5.20-5.21.

2. 塚原祐介, 横山貴, 三浦ひとみ, 花井豪, 馬場園哲也. 丸細胞を多数認めた2型糖尿病の1症例. 日本医学検査学会・第72回日本医学検査学会in GUNMA (高崎市), 2023.5.20-5.21.
3. 横山貴. ピックアップ! 尿路上皮がん細胞. 日本医学検査学会・第72回日本医学検査学会in GUNMA (高崎市), 2023.5.20-5.21. 【教育講演】
4. 横山貴. 第14回日本臨床一般検査学会・第20回スキルアップ講習会スライドカンファレンス. 日本臨床一般検査学会 (岐阜市), 2023.11.25. 【教育講演】
5. 横山貴. 認定一般検査技師試験対策 スキルアップセミナー総まとめ. 私立医科大学臨床検査技師学会・第40回学術集会 (新宿区), 2023.9.8. 【教育講演】
6. 横山貴. 尿中有形成成分自動分析装置の活用法機械値から読み解く尿沈渣. 2023年度 日臨技 首都圏支部・関甲信支部医学検査学会 (第59回) (横浜市), 2023.11.25. 【シンポジウム】
7. 横山貴. 血尿診断ガイドライン2023. 第96回新潟県臨床検査学会 (新潟市), 2023.12.15. 【教育講演】

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本臨床衛生検査技師会 (臨床一般検査部門 首都圏支部長), 日本臨床細胞学会 (会員), 日本医療検査科学会 (会員), 日本臨床腎移植学会 (会員), 日本臨床一般検査学会 (理事), 日本臨床検査学教育学会 (会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本臨床衛生検査技師会, 精度管理調査ワーキンググループ, 委員
 2. 日本臨床衛生検査技師会会誌, 「医学検査」, 査読, 委員
 3. 日本医療検査科学会, 一般検査委員会, 委員
 4. 日本臨床一般検査学会, 理事
 5. 日本臨床一般検査学会, 認定尿沈渣検査技師制度ワーキンググループ委員会, 委員長

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 尿検査フォーラム2023WEB SPRING, 技術講座Ⅳ「大食細胞」, 講師, シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社, 日本臨床衛生検査技師会会員, ゲートシティ大崎ウエストタワー本社会議室, 2023.4.29.
 2. 茨城県臨床検査技師会2023年度第1回一般検査分野研修会, 上皮細胞の基礎を学ぶ～これを押さえれば迷わない～, 講師, 茨城県臨床検査技師会, 茨城県臨床検査技師会会員, 新潟医療福祉大学Web配信, 2023.6.3.
 3. 一般検査セミナー栄研 in 新潟, 多彩な尿細管上皮細胞を読み解く, 講師, 新潟市, 栄研化学株式会社, 新潟県臨床検査技師会会員, 新潟ユニゾンプラザ (大研修室), 2023.6.24.
 4. 第15回山梨県・長野県合同一般検査研修会, 多彩な尿細管上皮細胞を診る, 講師, 韮崎市, 山梨県臨床検査技師会・長野県臨床検査技師会, 山梨県臨床検査技師会・長野県臨床検査技師会会員, 韮崎市民交流センターNIKORI3階多目的ホール, 2023.7.16.
 5. 腎・泌尿器検査研究会臨床・技術セミナー2023, 尿沈渣から腎盂癌を推定する!, 講師, 御徒町, 腎・泌尿器検査研究会, 腎・泌尿器検査研究会会員, 栄研化学株式会社本社, 2023.7.22.
 6. 第9回EIKEN一般検査セミナー in 北陸, 多彩な尿細管上皮細胞を読み解く, 講師, 金沢市, 栄研化学株式会社, 石川県臨床検査技師会会員, 北陸大学太陽が丘4号棟 (クロスホール), 2023.7.21.
 7. 尿沈渣精度研究会第17回オンライン講義・実習, 基礎から学ぶ尿沈渣症例「尿路上皮癌」, 講師, 名古屋市, アークレイマーケティング株式会社, 日本臨床衛生検査技師会会員, アークレイマーケティング名古屋セールスアンドサービスオフィス, 2023.8.18.
 8. 私立医科大学臨床検査技師会スキルアップセミナー2023, 一般検査認定試験対策セミナー, 講師, 新潟市, 私立医科大学臨床検査技師会, 私立医科大学臨床検査技師会会員, 新潟医療福祉大学Web配信,

2023.9.1, 10.3, 11.10. (全3回)

9. 令和5年度第1回下越支部研修会, これで安心! 尿定性・尿沈渣・髄液検査での誤差を与える要因と対策, 講師, 新潟市, 新潟県臨床検査技師会下越支部, 新潟県臨床検査技師会会員, 下越総合健康開発センター2F大講堂, 2023.9.2.
10. 腎・泌尿器検査研究会WEBセミナー2023, 尿細管上皮細胞の排出から病態を考えるー洋梨・紡錘型と丸細胞型ー, 講師, 御徒町, 腎・泌尿器検査研究会, 腎・泌尿器検査研究会会員, 栄研化学株式会社本社, 2023.9.19.
11. 栃木県臨床検査技師会一般検査研修会, ステップアップ尿沈渣検査～これからの日常診療に欠かせないキー細胞を知ろう!～, 講師, 新潟市, 栃木県臨床検査技師会, 栃木県臨床検査技師会会員, 新潟医療福祉大学Web配信, 2023.8.18.
12. 茨城県臨床検査技師会2023年度第3回一般検査分野研修会, アイテムを使って細胞鑑別する, 講師, 新潟市, 茨城県臨床検査技師会, 茨城県臨床検査技師会会員, 新潟医療福祉大学Web配信, 2023.9.30.
13. 腎・泌尿器検査研究会WEBセミナー2023, 異型細胞ー腺癌細胞ー, 講師, 新潟市, 腎・泌尿器検査研究会, 腎・泌尿器検査研究会会員, 新潟医療福祉大学Web配信, 2023.9.30.
14. 日本医療検査科学会第55回大会一般検査技術セミナー, 技術の継承③～マルベリー細胞検出の極意～, 講師, 越谷市, 日本医療検査科学会一般検査委員会, 日本医療検査科学会会員, パシフィコ横浜会議センター, 2023.10.8.
15. 第33回関甲信支部・首都圏支部合同一般検査研修会, 尿定性検査に関する課題と問題点, 対応方法, 座長, 横浜市, サノフィー株式会社スペシャルティケア メディカル本部, 関甲信支部・首都圏支部臨床検査技師, 埼玉県立大学, 2023.10.10.
16. 令和5年度都立学校腎臓・糖尿病検診検討部会委員会, 都立学校腎臓・糖尿病検診結果・解析, 委員, 新潟医療福祉大学Web配信, 都立学校腎臓・糖尿病検診検討部会, 都立学校腎臓・糖尿病検診検討部会委員, 新潟医療福祉大学Web配信, 2023.10.16.
17. Education Seminar ファブリー病とマルベリー小体・細胞を学ぶ, 誰でもできる! マルベリー細胞・小体の検出と報告, 講師, 青森市, 関甲信支部・首都圏支部臨床一般検査研究班, ファブリー病の診断・治療に携る医師及び臨床検査技師, 青森県観光物産館アスパム5階会議室, 2023.10.21.
18. 第1回佐渡支部研修会, スキルアップ! 上皮細胞類・異型細胞類の鑑別, 講師, 佐渡市, 新潟県臨床検査技師会佐渡支部, 新潟県臨床検査技師会佐渡支部会員, 佐渡総合病院 講堂, 2023.10.28.
19. 一般検査セミナーEIKEN 2023, 血尿患者の尿沈渣～泌尿器領域における血尿を考える～, 講師, 千代田区, 栄研化学株式会社, 日本臨床衛生検査技師会会員, 丸ビル7Fコンファレンススクエア, 2023.12.2.
20. 新潟県臨床検査技師会一般検査鏡検実習, 症例 学校検尿で蛋白尿・血尿を指摘された一例, 講師, 新潟市, 新潟県臨床検査技師会臨床一般検査部門, 新潟医療技術専門学校, 2023.12.17.
21. 日本臨床一般検査学会尿沈渣プログラム, ハイレベル尿沈渣鏡検術 異型細胞類, 講師, 豊明市, 日本臨床一般検査学会, 日本臨床一般検査学会会員, 藤田医科大学, 2024.1.20.
22. 武田薬品工業株式会社 Fabry Disease Web Seminar, マルベリー細胞・小体のー検出ポイントー, 講師, 中央区, 武田薬品株式会社, 医師, 看護師, 薬剤師, その他医療関係者, 武田グローバル本社, 2024.1.22.
23. 令和5年度日臨技北日本支部臨床一般部門研修会, 尿沈渣検査(鏡検法)の精度管理どうする!? 【基礎編】, 講師, 新潟市, 日本臨床衛生検査技師会北日本支部臨床一般部門, 日本臨床衛生検査技師会北日本支部会員, 新潟医療福祉大学Web配信, 2024.1.28.
24. 住友ファーマファブリー病up date 2024, マルベリー細胞・小体を検出するための連携と検査の工夫, 講師, 新潟市, 住友ファーマ株式会社, ファブリー病の診断・治療に携る医師及び臨床検査技師, ANAクラウンプラザホテル新潟16F ルミエール, 2024.2.2.

25. 腎・泌尿器検査研究会第19回学術集会, 尿沈渣が深く関わりのあった心に残る腎炎例, 講師, つくば市, 腎・泌尿器検査研究会, 腎・泌尿器検査研究会会員, 筑波大学, 2024.2.18.

2) 社会活動への参加協力

1. 長岡向陵高校, 出張講義, 講師, 長岡市, 長岡向陵高校, 2023.6.13.
2. 富山県臨床検査技師会, 検査と健康展 in TOYAMA, 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科紹介, 富山市, グランドプラザ (富山大和前), 2023.11.12.
3. 新潟県臨床検査技師会, 検査と健康展 in NIIGATA, 病院等で行われている臨床検査の検査方法や結果の解釈についての説明, 新潟市, イオンモール新潟南1階 スカイコート, 2023.6.13.
4. 北区自治協議会福祉教育部会, あなたのための健康講座, 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科紹介, 臨床検査の啓蒙, 新潟市, 新潟医療福祉大学N棟3F, 2024.2.10.
5. 経産省モンゴル国尿検査精度・技術指導研修, 尿沈渣サーベイ解説・技術指導, 講師, モンゴル国ウランバートル, Millennium Plaza Hotel & Mall Ulaanbaatar, 2024.2.22.
6. 新潟大学医歯学総合病院検査部一般検査技術指導, 2回/月.
7. 済生会新潟病院検査部一般検査技術指導, 1回/月.
8. 新潟聖籠病院検査部一般検査技術指導, 1回/月.

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

都立学校校診検討会腎臓・糖尿病校診検討部会 (委員)

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本臨床衛生検査技師会会誌「医学検査」(査読委員), 日本臨床一般検査学会認定尿沈渣検査技師制度ワーキンググループ委員会 (委員長), 日本医療検査科学会一般検査委員会 (委員)

7 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

認定尿沈渣検査技師 (2023.6.1), 58回小島三郎記念技術賞 (2023.6.9)

2) 学外兼務講師等

1. 桐蔭横浜大学医用工学部, 一般検査学実験, 2023.12.9, 12.16, 12.23, 2024.1.10, 1.11. (全6回)
2. 東京女子医科大学医学部, セグメント4腎尿路系1・尿沈渣実習, 2024.1.12, 1.18, 1.26, 1.30. (全4回)

氏名: 中山 憲司

1 研究題目 新しい質量分析法と解析法の開発とヒト疾患関連バイオマーカーの探索とその臨床応用に関する研究, qShot MALDI解析法の解析プラットフォームの構築, MALDI-TOF/MSを用いた毛髪脂質の高感度一斉解析法と長期精神疲労評価法への応用

2 学会等研究発表

1. 本間茂太郎, 太田大樹, 田口徹, 中山憲司, 遅発性筋痛時の脂質代謝変化 - 質量分析技術の理学療法分野への活用 -, 第23回新潟医療福祉学会2023 (新潟), 2023.10.28.
2. 杉野友亮, 関戸翔, 景山拓海, 佐々木豪, 舩井寛, 西川晃平, 田中利男, 中山憲司, 高野敬志, 井上貴博, 膀胱癌ゼブラフィッシュ異種移植 (zPDX) 薬効判定モデルの妥当性の検証, 第33回泌尿器科分子・細胞研究会 (博多), 2024.2.17.

3 学会活動

1) 所属学会 日本医用マススペクトル学会 (JSBMS: 評議員, 学会活性化及び国際化委員会委員), 京都生体質量分析研究会 (世話人), 北海道実験動物研究会 (幹事), Mass Spectrometry and Advances in the Clinical Lab (MSACL: アジア広報委員), International Lipidomics Society, 日本生化学会, 日本癌学会, 日本微量元素学会, 日本ヒトプロテオーム学会, 日本質量分析学会, 新潟医療福祉学会, ウイルソン病研究会.

2) 学術集会の主催

1. 第49回日本医用マススペクトル学会年会, 実行委員, 京都市, 2024.9.13-9.14, 2023.9.8-2024.3.31.
 2. Japanese Society for Biomedical Mass Spectrometry (JSBMS) と Mass Spectrometry and Advances in the Clinical Lab (MSACL), The 3rd International Joint Symposium of JSBMS and MSACL, Organizer, Kyoto, 2024.9.13-9.14・2023.4.1-2024.3.31 【二学会合同 国際シンポジウム・発起人】.
- 3) 学会等でのその他の活動
1. 日本医用マススペクトル学会, 医用質量分析認定士講習会, 委員, 名古屋, 2023.9.9・2023.5.1-9.9.
 2. 日本医用マススペクトル学会, The 3rd International Joint Symposium of JSBMS and MSACL, 海外からの招聘講演者との交渉・調整, Kyoto, 2024.9.13-9.14, 2023.4.1-2024.3.31.
 3. Sports&Health (S&H) 先端科学研究プロジェクト・キックオフ・ミーティング, 主催・司会進行, Zoom ミーティング, 2023.6.20.
 4. Sports&Health (S&H) 先端科学研究プロジェクト・第2回ミーティング, 主催・司会進行, Zoom ミーティング, 2023.12.4.
 5. Sports&Health (S&H) 先端科学研究プロジェクト・第3回ミーティング, 主催・司会進行, Zoom ミーティング, 2023.1.29.
 6. 生物医科学分析研究センター D⇒H プロジェクト・キックオフ・ミーティング, 主催・司会進行, 京都, 2024.2.5.
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
1. 第11回「医用質量分析認定士」講習会, 医用質量分析認定士の未来医療への貢献, 講師, 日本医用マススペクトル学会, 名古屋, 2023.9.9・2023.5.1-9.9.
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
1. 2022年度, 科研費・基盤研究(C), MALDI-TOF/MSを用いた毛髪脂質の高感度一斉解析法と長期精神疲労評価法への応用, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
1. 京都大学大学院医学研究科 乳腺外科教室 客員研究員, プロジェクト研究「揮発性有機化合物分析による乳がん新規分子マーカーの探索」, 2023.4.1-8.31.
 2. 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科教室 客員研究員, プロジェクト研究「qShot MALDI 解析法の解析プラットフォームの構築」, 2023.9.1-2024.3.31.
- 6 学内委員会活動 毒物・劇物等管理委員会(委員長), 生物医科学分析研究センター(センター長), 運動機能医科学研究所(研究員)

氏名：高橋 良光

- 1 研究題目 血液浄化用バスキュラーアクセスの開発(医用工学), 超音波診断装置を用いた穿刺成功率の評価(医用工学), 透析用穿刺針の形状解析と定量的評価(医用工学), 国際緊急援助活動に用いる医療機器に必要な点検および管理方法の検討(災害医療), 携帯電話の電波が医療機器の動作に与える影響(医用工学)
- 2 著書
 1. 高橋良光ほか. 第2種ME技術実力検定試験重要問題集中トレーニング2nd edition. 東京：メジカルビュー；2024：110-120.
 2. 高橋良光ほか. クエスチョン・バンク 臨床検査技師2023. 1. 東京：メディックメディア；2023：28-38.
 3. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第1回模試 1. 東京：日本臨床工学技士教育施設協議会；2023：1-10.
 4. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第2回模試 1. 東京：日本臨床工学技士教育施設協議会；2023：1-10.

5. 高橋良光ほか. 臨床工学技士国家試験第3回模試 1. 東京：日本臨床工学技士教育施設協議会；2023：1-10.
- 3 報告書
 1. 高橋良光. 若手研究, 透析用カテーテルの機能不全を防止する自動制御装置の開発, 科学研究費助成事業実施状況報告書, 令和3年～5年・研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. Takahashi Y, Yanagisawa M, Momose N, Yamamoto S, Narita I. Reduced dysfunction of hemodialysis catheters via a blood flow control system ～an ex vivo evaluation～. 18th TOIN International Symposium on Biomedical Engineering. Yokohama, Japan 2023.12.2.
 2. Takahashi Y, Yanagisawa M, Yamamoto S, Narita I. Reduced dysfunction of hemodialysis catheters via a blood flow control system～an ex vivo evaluation～. AKI & CRRT, SA San Diego, 2024.3.12-3.16. U
 3. 高橋凜, 高橋良光. 透析監視装置におけるプライミングロートの細菌汚染の状況調査. 第33回埼玉臨床工学会, 埼玉, 2023.6.4.
 4. 高橋良光, 山本卓, 成田一衛, 追手巍. 透析用カテーテルの機能不全防止システムの開発～ブタ静脈血管を用いたex vivoによる評価～, 第68回日本透析医学会, p, 神戸, 2023.6.16-6.18.
 5. 石黒蒼衣, 高橋良光. 在宅用人工呼吸器回路の種類や条件が発電機の稼働時間に与える影響～災害時を想定して～, 第4回関東甲信越臨床工学会, 新潟, 2023.10.14-10.15.
 6. 増子弘明, 高橋良光, 森田邦恵, 阿部拓也, 伊藤中堯, 前田順子, 江ヶ寄梓, 金子京平, 藤井豊. 内視鏡自動洗浄消毒装置の「送気の単独工程機能」の有用性について～内視鏡スコープ内部管路内の清浄度調査の観点から～第63回日本生体医工学会大会, 鹿児島, 2025.5.23-5.25.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生体医工学会 (CEワーキンググループ世話人), 日本臨床工学技士会, 日本急性血液浄化学会, 日本呼吸療法医学会, 日本透析医学会, 日本アクセス学会, 新潟医学会, 新潟県臨床工学技士会 (理事), 日本集中治療医学会, Niigata Blood Purification Conference (世話人), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. Niigata Blood Purification Conference, Niigata Blood Purification Conference2023, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2023.12.3.
 2. 第4回関東甲信越臨床工学会, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2023.10.14-10.15.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第68回日本透析医学会, 座長, 横浜, 2023.6.16-6.18.
 2. 第62回日本生体医工学会大会, CEセッション審査員, 審査員, 新潟, 2023.5.23-5.25.
 3. 第4回関東甲信越臨床工学会, 座長, 新潟市, 2023.10.15.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県ニーズ説明会, 医工連携セッション, 企画・準備・運営, 新潟県, 一般企業, 新潟市, 2023.10.14.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. JAEFCE, 入試委員会 問題検討会議, 問題作成委員長, WEB会議, 2023.4.1-2024.3.31.
 2. JAEFCE, 入試委員会 模試作成, 試験委員, WEB会議, 2023.4.1-2024.3.31.
 3. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 活動報告, 有識者, 書面決議, 2023.7.14.
 4. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 電波管理のセミナー開催について, 有識者, 書面決議, 2023.10.21.
 5. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 活動報告, 有識者, 書面決議, 2023.3.15.
 6. 新潟県医師会, 健康長寿延伸フォーラム, 理事, WEB決議, 2024.3.22.

7. 新潟県臨床工学技士会, 理事会会議, 理事, 新潟市・WEB, 2023.4.1-2024.3.31. (12回)
8. 新潟県臨床工学技士会, 編集委員会会議, 編集委員, 長岡市・WEB, 2023.4.1-2024.3.31. (4回)
9. 新潟県臨床工学技士会, 広報委員会会議, 広報委員, 新潟市・WEB, 2023.4.1-2024.3.31. (3回)
10. 新潟県臨床工学技士会, 医工連携委員会会議, 医工連携委員, 新潟市・WEB, 2023.4.1-2024.3.31. (3回)
11. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム 中級研修, 企画・運営, 名古屋, 2024.2.11.
12. 独立行政法人国際協力機構, ARCHプロジェクト会議, WEB, 2023.6.24.
13. 第2種ME技術実力検定試験問題検討委員会, 作問, 東京, 2023.4.1-2024.3.31.
14. 第2種ME技術実力検定試験合否判定会議, 合否判定, 東京, 2023.4.1-2024.3.31.
15. 神奈川県臨床工学技士会, ワークライフバランス委員会会議, WEB, 2023.5.2.
16. JAEFCE, 選挙管理委員会 選挙管理委員長 2023.12.1-2024.3.31.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム隊員, 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム講師, 総務省信越総合通信局信越地域の医療機関における電波利用推進協議会構成員, ASEAN災害保健医療管理に係る地域能力強化プロジェクト技術支援班
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県臨床工学技士会(広報委員長), 新潟県臨床工学技士会(編集委員), 新潟県臨床工学技士会(呼吸療法委員), 新潟県臨床工学技士会(医工連携委員長), 新潟県臨床工学技士会(連盟委員長), 日本臨床工学技士教育施設協議会(試験委員会副委員長), 日本臨床工学技士教育施設協議会(教科書委員), 日本臨床工学技士教育施設協議会(問題作成委員長), 関東甲信越臨床工学会(実行委員), 関東甲信越臨床工学会(広報委員長), 日本臨床工学技士連盟(理事), Niigata Blood Purification Conference(監事)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 科研費助成事業 基盤研究C, 透析用カテーテルの機能不全を誘発する予測因子の解明, 高橋良光【採択】
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 剣道部, 第65回北信越学生剣道大会出場, 金沢市, 2023.5.14. (コーチ)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 桐蔭横浜大学, 大学院卒業論文審査, 2022.4.1-2023.3.31.
 2. 桐蔭横浜大学, 大学院中間発表審査, 2022.4.1-2023.3.31.
- 8 学内委員会活動 教務委員会, IR委員会, 科研費対策委員会

氏名：藤井 豊

- 1 研究題目 体外循環中の生体反応評価, 体外循環デバイスの研究開発
- 2 論文
 1. Abe T, Hanawa H, Fujii Y. Gene expression of inflammatory cytokines in major organs by extracorporeal circulation. J Clin Med (JCR). 2023; 12(8): 2813. (査読あり)
 2. Hitosugi N, Hotta K, Taketa Y, Takamizawa R, Fujii Y, Ikegami R, Tamiya H, Inoue T, Tsubaki A. The effect of sepsis and reactive oxygen species on skeletal muscle interstitial oxygen pressure during contractions. Microcirculation (JCR). 2024; 31(1): e12833. (査読あり)
 3. Fujii Y, Abe T. Establishment of a novel miniature double-lumen catheter single-cannulation venovenous extracorporeal membrane oxygenation model in the rat. Membranes (JCR) 2024; 14(3): 55. (査読あり)
 4. Tamiya H, Hoshiai M, Abe T, Watanabe H, Fujii Y, Tsubaki A. Prolonged sitting induces elevated blood pressure in healthy young men: A randomized crossover trial. Cureus (JCR) 2024; 16(2):

e55224. (査読あり)

5. Abe T, Fujii Y, Hanawa H, Ikegami K, Watanabe H. 超音波造影剤が主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 超音波検査技術. 2024; 40(3). (査読あり) (印刷中)

3 学会等研究発表

1. Hotta K, Fujii Y, Ikegami R, Inoue T, Tamiya H, Tsubaki A. Extracorporeal membrane oxygenation decreases relaxation rate of rat skeletal muscle. 2023 (70st) ACSM Annual Meeting & World Congresses (Denver, Colorado USA), 2022.5.30-6.2.
2. 内山駿佑, 住倉博仁, 藤井豊, 本間章彦. ラット体外循環実験に適用可能な円筒型外部灌流型人工肺の開発を目的とし, 中空糸束の直径と全長を最適化に向けて形状を検討した研究. 第62回日本生体医工学会大会 (名古屋市), 2023.5.18-5.19.
3. 馬場亮佑, 藤井豊, 住倉博仁. ペルチェ素子を用いた小動物低体温体外循環回路の開発に関する研究. 第62回日本生体医工学会大会 (名古屋市), 2023.5.18-5.19.
4. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤の加圧後投与が主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 第72回日本医学検査学会 (高崎市), 2023.5.20-5.21.
5. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 加圧後の超音波診断用造影剤起因の生体への弊害. 第48回日本超音波検査学会 (大阪市), 2023.6.10-6.11.
6. 小形朔也, 藤井豊, 渡邊博昭, 阿部拓也. 加圧した造影剤投与は腎傷害を引き起こす. 第48回日本超音波検査学会 (大阪市), 2023.6.10-6.11.
7. 佐藤雄己, 元石恵理奈, 花田実夢, 半田 (永塚) 由佳, 阿部拓也, 藤井豊. In vivo 体外膜型人工肺ラットにおける dexmedetomidine の薬物動態特性. 日本集中治療医学会 第7回中国・四国支部学術集会 (岡山市), 2023.7.29.
8. 高見澤怜, 田宮創, 藤井豊, 一杉直樹, 松橋日和, 椿淳裕. 遠赤外線素材 (DPV576) を含有する繊維製衣類は安静座位による足背部皮膚温度の低下を抑制する. 日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会 2023 (東京), 2023.9.2-9.3.
9. 元石恵理奈, 佐藤雄己, 花田実夢, 半田 (永塚) 由佳, 阿部拓也, 藤井豊. In vivo 体外膜型人工肺モデルラットにおける $\alpha 2$ 受容体作動薬 dexmedetomidine の薬物動態解析と変動要因の検討. 第62回日本薬学会中国四国支部学術大会 (高知), 2023.10.28-10.29.
10. 佐藤雄己, 元石恵理奈, 花田実夢, 半田 (永塚) 由佳, 阿部拓也, 藤井豊. In vivo 体外膜型人工肺モデルラットにおける $\alpha 2$ 受容体作動薬 dexmedetomidine の薬物動態特性. 第33回日本医療薬学会年会 (仙台市), 2023.11.3-11.5.
11. 裏澤光雪, 鳥谷周平, 藤井豊, 渡邊博昭, 阿部拓也. 糖尿病病態における超音波診断用造影剤の主要臓器に及ぼす影響. 第11回日臨技北日本支部医学検査学会 (福島市) 2023.11.4-11.5.
12. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. NASH 疾患の新たな予防法・治療法の創出に向けた検討. 第11回日臨技北日本支部医学検査学会 (福島市), 2023.11.4-11.5.
13. 藤井豊. 科学論文の読み解き方のポイント. 2023年度国立病院機構東海北陸グループセミナー (Web開催), 2023.12.5. 【教育講演】
14. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 加圧された超音波造影剤起因の生体への弊害. 第96回新潟県臨床検査学会 (新潟市), 2023.12.10.
15. 藤井豊. 国際学会発表の経験談 + 対応策 基礎研究の立場から. 日本体外循環医学会主学術委員会セミナー (Web開催), 2024.1.21. 【教育講演】
16. 藤井豊, 阿部拓也, 竹内瑞希, 中村純子. 共役リノール酸摂取は2型糖尿病発症を遅延させる－2型糖尿病発症小動物モデルを用いた検討－. 第27回日本病態栄養学会年次学術集会 (京都市), 2024.1.26-1.28.
17. 玉置優貴, 畑山直之, 藤井豊, 内藤宗和. 小動物の肝臓を用いた生理学的環境を再現した機械灌流法の開発. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇), 2024.3.21-3.23.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 日本体外循環技術医学会 (學術委員会 研究推進部会 副部会長), 日本人工臓器学会 (評議員), 日本生理学会, 日本集中治療学会, 日本心不全学会, 米国人工臓器学会, IEEE, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第61回日本人工臓器学会大会, 査読委員, 東京, 2023.6-11.
 2. 第28回日本難病看護学会学術集会, 企画委員, 新潟市 (新潟医療福祉大学), 2022.9-2023.9.
 3. Artificial Organs 論文No.AO-00XXX-2023 査読
 4. Brain Behavior and Immunity 論文BBI-D-23-0XXX 査読
 5. 日本臨床工学技士会学術論文 原稿番号: 2023-0XX 査読
 6. Journal of Clinical Medicine Guest Editor
- 5 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. UX, スーパーJにいがた, 高大連携プログラム「チーム医療体験会」, 2023.8.8.
 2. テレビ新潟, 新潟一番, 高大連携プログラム「チーム医療体験会」, 2023.8.8.
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会 (委員長), 動物実験委員会 (委員), URA推進室 (委員), 大学院入試広報委員会 (委員・イベント部会長), 大学院教務委員会 (委員)

氏名: 齋藤 大造

報告事項なし

氏名: 大山 富三

- 1 研究題目 腎臓 (糸球体) のポドサイトとPEC細胞の培養細胞の樹立, 胆嚢がん患者の術後生存期間を予測する各種モデルの予測能力評価
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床工学技士会, 新潟県臨床検査技師会, 新潟県臨床工学技士会, 日本血液学会, 日本検査血液学会, 日本プロテオーム学会, 新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会

氏名: 小野 等

報告事項なし

氏名: 仙波 妙子

- 1 研究題目 高濃度粒子分散ペーストのレオロジー特性予測のための粒子-分散媒親和性の影響の調査
- 2 論文
 1. 仙波妙子, 山田和義, 松岡俊樹, 佐藤靖徳, 高橋勉. 粒子表面の化学構造が粒子分散ペーストのレオロジーに与える影響. 第60回粉体に関する討論会 講演要旨集 (粉体工学会): 講演2-7.
 2. 仙波妙子, 山田和義, 松岡俊樹, 高橋勉. 化学構造の異なる表面処理粒子分散ペーストのレオロジー特性. 化学工学会第89回年会 講演要旨集 (化学工学会): I321.
- 3 学会等研究発表
 1. 仙波妙子, 山田和義, 松岡俊樹, 佐藤靖徳, 高橋勉. 粒子表面の化学構造が粒子分散ペーストのレオロジーに与える影響. 第60回粉体に関する討論会 (東京・日本), 2023.11.8-11.10.
 2. 仙波妙子, 山田和義, 松岡俊樹, 高橋勉. 化学構造の異なる表面処理粒子分散ペーストのレオロジー特性. 化学工学会第89回年会 (大阪・日本), 2024.3.18-3.29.
- 4 社会活動
 - 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会（教科書委員），一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会（試験委員会 コアメンバー）

氏名：森田 邦恵

- 1 研究題目 血漿中のエクソソーム RNA によるメラノーマ腫瘍マーカーの探索，ストレスマーカーの解析による採血実習の改善，エクソソーム抽出試薬の比較検討
- 2 論文
 1. Haruo T, Hokuto U, Naohiko K, Takuya A, Kunie M. Stress responses of examiners during ophthalmic examination practices in healthy young students., Applied Sciences (JCR), 2023, 13, 10250.
- 3 学会等研究発表
 1. 森田邦恵，金子京平，江ヶ寄梓．血清からエクソソーム抽出試薬の保存法による抽出効率の比較，第72回 日本医学検査学会（高崎市）2023.5.20-5.21.
 2. 森田邦恵，藤井豊，高橋良光，江ヶ寄梓，金子京平，増子弘明，埴晴雄．エクソソーム抽出試薬の CD9・CD63・CD81リアルタイムCRによる評価．第10回日本細胞外小胞学会学術集会（札幌市）2023.10.23-10.24.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会，日本再生医療学会，日本臨床検査教育協議会，新潟医療福祉学会，細胞外小胞学会

氏名：佐々木 一真

- 1 研究題目 透析患者のシャント音を用いたバスキュラーアクセス機能評価に関する研究
- 2 論文
 1. Sasaki K. Experimental study on the effect of blood flow conditions on shunt murmur characteristics in a simulated vascular stenosis model. 桐蔭論叢. 2023年；第48号：P67-72
 2. Nakane N, Sasaki K, Oku T, Motohashi Y, Yamauchi S, Sato T. Investigation on the generation mechanism of shunt murmur using numerical calculation. 桐蔭論叢. 2023年；第48号：P85-91
 3. 佐々木一真，藤井豊．臨床工学の視点からの難病ケアと多職種連携．日本難病看護学会誌 Vol.28 No.3. 2023；VOL.28 No.3：33-36
 4. 佐々木一真．2023年度科研費実施状況報告書．2023.
- 3 学会等研究発表
 1. 佐々木一真，神林舞，細川柚乃，中根紀章，奥知子，本橋由香，山内忍，佐藤敏夫．AVFモデルを用いた血液透析患者のシャント音の音響特性とAVFの血流状態との関係に関する実験的検討．第49回日本血液浄化技術学会学術大会・総会（万国津梁館，沖縄県名護市），2023.4.22-4.23.
 2. 佐々木一真，神林舞，細川柚乃，中根紀章，奥知子，本橋由香，山内忍，佐藤敏夫．径狭窄率が異なるAVFモデルで再現した血液透析患者のシャント音に関する実験的検討．日本医工学治療学会第39回学術大会（川越プリンスホテル，埼玉県川越市），2023.5.12-5.14.
 3. 佐々木一真，神林舞，細川柚乃，中根紀章，奥知子，本橋由香，山内忍，佐藤敏夫．VA下流の流れ状態を定量化した流体パラメータと血液透析患者のシャント音の音響特性との関係．第62回日本生体医工学学会大会2023（名古屋国際会議場，愛知県名古屋市），2023.5.18-5.20.
 4. 神林舞，細川柚乃，佐々木一真，奥知子，本橋由香，山内忍，佐藤敏夫．バスキュラーアクセスで測定される血管抵抗指数とシャント音から求める正規化相互相関係数の関係についての実験的検討．第62回日本生体医工学学会大会2023（名古屋国際会議場，愛知県名古屋市），2023.5.18-5.20.
 5. 佐々木一真，神林舞，細川柚乃，中根紀章，奥知子，本橋由香，山内忍，佐藤敏夫，阿岸鉄三．複数狭窄を模擬した血管モデルにおける擬似シャント音測定と流れの可視化に関する実験．第68回日本透析医学会学術集会・総会（神戸コンベンションセンター，兵庫県神戸市），2023.6.16-6.18.

6. 佐々木一真, 中根紀章, 神林舞, 細川柚乃, 奥知子, 本橋由香, 山内忍, 佐藤敏夫. AVFモデル内の流れの状態とシャント音の音響特性の関連性. 第33回日本臨床工学会 (広島国際会議場, 広島県広島市), 2023.7.21-7.23.
7. 細川柚乃, 佐々木一真, 神林舞, 中根紀章, 奥知子, 本橋由香, 山内忍, 佐藤敏夫. バスキュラーアクセス機能評価に用いる血管抵抗指数とシャント音から求める正規化相互相関係数の関連. 第33回日本臨床工学会 (広島国際会議場, 広島県広島市), 2023.7.21-7.23.
8. Sasaki K, Nakane N, Oku T, Motohashi Y, Yamauchi S, Sato T. Evaluation of the Vascular Access Function by Sound Analysis Using a Pseudo-Vessel Stenosis Model with Different Stenosis Diameters and Lengths. 49th ESAO and IFAO Congress (University of Bergamo, Italy). 2023.8.29-9.2. 国際学会
9. 佐々木一真, 神林舞, 細川柚乃, 中根紀章, 奥知子, 本橋由香, 山内忍, 佐藤敏夫. AVFモデルを用いて再現した透析患者のシャント音と流れの可視化における流体パラメータとの関係. 生体医工学シンポジウム2023 (熊本城ホール, 熊本県熊本市), 2023.9.8-9.9.
10. 佐々木一真, 藤井豊. 臨床工学の視点からの難病ケアと多職種連携. 第28回日本難病看護学会 (新潟医療福祉大学, 新潟県新潟市), 2023.9.30-10.1.
11. 佐々木一真, 神林舞, 細川柚乃, 中根紀章, 奥知子, 本橋由香, 山内忍, 佐藤敏夫. 擬似血管狭窄モデル下流の流れの状態を表す流体パラメータとシャント音の音響特性との関係. 第61回日本人工臓器学会大会 (ホテルイースト21東京, 東京都江東区), 2023.11.9-11.11.
12. Sasaki K, Kanbayashi M, Hosokawa Y, Nakane N, Oku T, Motohashi Y, Yamauchi S, Sato T. Associations between fluid parameters indicative of downstream flow status and acoustic characteristics of shunt murmurs in a simulated vascular stenosis model. ISBME2023 (桐蔭横浜大学, 神奈川県横浜市). 2023.12.2. 国際学会
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 新潟県臨床工学技士会, 日本臨床工学技士会, 日本透析医学会, 日本生体医工学会, 日本人工臓器学会, 日本音響学会, 日本血液浄化技術学会
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 富山県臨床検査技師会, 「検査と健康展」 & 臨床検査技師学校紹介, 担当講師, 富山県富山市・グランドプラザ, 2023.11.12.
 2. 新潟市北区連携講座, 「あなたのための健康講座」, 担当講師, 新潟県新潟市・新潟医療福祉大学, 2024.2.10.
 3. 日本私立看護系大学協会, 「新潟県地区プロジェクト」, 担当講師, 新潟県新潟市・新潟医療福祉大学, 2024.2.22.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 若手研究, 透析患者のシャント音を用いたバスキュラーアクセス機能評価に関する研究, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 第62回日本生体医工学会臨床工学技士研究発表 奨励賞 (2023.5.20), 49th ESAO and IFAO Congress Intercontinental Travel Award (2023.8.29)
- 7 学内委員会活動 広報委員会

氏名 : 阿部 拓也

- 1 研究題目 超音波診断用造影剤の弊害, 共役リノール酸内服時の生体反応
- 2 著書

1. 阿部拓也, ほか. 令和5年度第1回臨床工学技士国家試験模擬試験問題・解答解説集. 1版. 東京都: メジカルビュー社; 2023: 1-3, 34-36.
2. 阿部拓也, ほか. 令和5年度第2回臨床工学技士国家試験模擬試験問題・解答解説集. 1版. 東京都: メジカルビュー社; 2023: 1-3, 34-36.
3. 阿部拓也, ほか. 令和5年度第3回臨床工学技士国家試験模擬試験問題・解答解説集. 1版. 東京都: メジカルビュー社; 2023: 1-3, 34-36.

3 論文

1. Abe T, Hanawa H, Fujii Y. Gene Expression of Inflammatory Cytokines in Major Organs by Extracorporeal Circulation. J. Clin. Med. 2023, 12(8), 2813 (review)
2. Toda H, Ubukata H, Kinoshita N, Abe T, Morita K. Stress responses of examiners during ophthalmic examination practices in healthy young students. Applied Sciences. 13(18); 10250. (review)
3. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 池上喜久夫, 渡邊博昭. 超音波造影剤が主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 超音波検査技術. 40(3); (査読あり) (印刷中)
4. Fujii Y, Abe T. Extracorporeal Membrane Oxygenation (ECMO): Clinical Challenges and Opportunities. Membranes. 14(3); 55. (review)
5. Tamiya H, Hoshiai M, Abe T, Watanabe H, Fujii Y, Tsubaki A. Prolonged Sitting Induces Elevated Blood Pressure in Healthy Young Men: A Randomized Crossover Trial. Cureus. 16(2); e55224. (review)

4 学会等研究発表

1. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤の加圧後投与が主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 第72回日本医学検査学会 (群馬), 2023.5.20-5.21.
2. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 加圧後の超音波診断用造影剤起因の生体への弊害. 第48回日本超音波検査学会学術集会 (大阪), 2023.6.10-6.11.
3. 小形朔也, 藤井豊, 渡邊博昭, 阿部拓也. 加圧した造影剤投与は腎傷害を引き起こす. 第48回日本超音波検査学会学術集会 (大阪), 2023.6.10-6.11. (Congress Chairperson's Award受賞) (研究指導責任者)
4. 宮本由唯, 藁谷優香, 埴晴雄, 阿部拓也. 貧血のメカニズム解明に向けた慢性炎症モデルの作製. 第11回北日本支部医学検査学会 (福島), 2023.11.4-11.5. (研究指導責任者)
5. 裏澤光雪, 鳥谷周平, 藤井豊, 阿部拓也. 糖尿病病態における超音波診断用造影剤の主要臓器に及ぼす影響. 第11回北日本支部医学検査学会 (福島), 2023.11.4-11.5. (研究指導責任者)
6. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. NASH疾患の新たな予防法・治療法の創出に向けた検討. 第11回北日本支部医学検査学会 (福島), 2023.11.4-11.5.
7. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 加圧された超音波造影剤起因の生体への弊害. 第96回新潟県臨床検査学会 (新潟), 2023.12.10.
8. 元石恵理奈, 佐藤雄己, 花田実夢, 半田 (永塚) 由佳, 阿部拓也, 藤井豊. In vivo 体外式膜型人工肺モデルラットにおける $\alpha 2$ 受容体作動薬 dexmedetomidine の薬物動態解析と変動要因の検討. 日本薬学会中国四国支部学術大会 (高知) 2023.10.28-10.29.
9. 佐藤雄己, 元石恵理奈, 花田実夢, 半田 (永塚) 由佳, 阿部拓也, 藤井豊. In vivo 体外式膜型人工肺モデルラットにおける $\alpha 2$ 受容体作動薬 dexmedetomidine の薬物動態特性. 第33回日本医療薬学会年会 (宮城), 2023.11.3-11.5.
10. 藤井豊, 阿部拓也, 竹内瑞希, 中村純子. 共役リノール酸摂取は2型糖尿病発症を遅延させる－2型糖尿病発症小動物モデルを用いた検討－. 第27回日本病態栄養学会 (京都), 2024.1.26-1.28.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟県臨床検査技師会 (執行理事, 事務局次長), 日本臨床衛生検査学会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本生理学会, 日本臨床化学会
- 2) 学術集会の主催

1. 第96回新潟県臨床検査技師会，新潟県臨床検査技師会，実務委員，新潟市，2023.12.10.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本私立看護系大学協会「新潟県地区プロジェクト」臨床検査とは，新潟医療福祉大学，2024.2.22.
 2. 臨床技術を体験しよう！，新発田中央高等学校，2024.2.27.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 令和5年度新潟県臨床検査技師会施設運営管理者協議会，実務委員，新潟市・新潟東映ホテル，2023.8.26.
 2. 検査と健康展2023，実務委員，新潟市・新潟南イオン，2023.11.19.
 3. 新潟県臨床検査学会，実務委員，新潟市・朱鷺メッセ，2023.12.10.
 4. あなたのための健康講座，実務委員，新潟市・新潟医療福祉大学，2024.2.10.
 5. クリニック医療支援，超音波検査業務，新潟市・関屋田町クリニック，2023.4.8，5.13，6.17，7.15，8.19，9.9，10.21，11.25，12.16，2024.1.20，2.10，3.9.
 6. こども園保護者代表，代表，新潟市・新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園，2023.4-2024.3.
 - 3) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本臨床検査技師連盟（施設会計責任者代理），日本臨床衛生検査技師会（施設担当連絡員），新潟県臨床検査技師会（施設担当連絡員），新潟県臨床検査技師会（広報部・ニュース委員，災害対策委員，公益委員）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得

日本超音波検査学会 優秀論文賞 2023.6.10
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校，非常勤講師（病態生理学），2023.10-2024.3.
- 8 学内委員会活動 学生委員会，交通安全委員会，同窓会・生涯学習推進委員会

氏名：涌井 杏奈

- 1 研究題目 使用済みマスクおよびスマートフォン画面に付着・生息する微生物のプロファイリング，哺乳瓶乳首を介して授乳する前後の搾乳母乳の微生物叢解析，ペットボトル飲料物の保管に関する食品科学的・微生物学的研究
- 2 著書
 1. 涌井杏奈，佐藤拓一：(36語句)，pp. 17, 41, 63, 68, 78, 82, 83, 90, 92, 103, 111, 112, 174, 199, 202, 230, 231, 263, 265, 308, 309, 319, 320, 338, 347, 348, 355, 356, 363, 378, 385, 389, 401, 423, 428, (監修) 全国歯科衛生士教育協議会「歯科衛生学用語辞典」，永末書店，2024.2.8. 第2版 第1刷)
- 3 論文
 1. 涌井杏奈，佐野拓人，河内美帆，佐藤拓一：搾乳母乳と新生児口腔細菌叢との関連：網羅的・分子生物学的アプローチ，臨床化学 53(1): 44-47, 2024.1.
- 4 学会等研究発表
 1. Wakui A, Kawachi M, Abiko Y, Washio J, Sato T: Profiling of microbiota of bottled beverages: storage under different temperatures. The 71st Annual Meeting of the JADR (Sendai) 2023.11.25.
 2. Wakui A, Kawachi M, Washio J, Sato T: Microbiological profiling of the surfaces of used-masks and smartphone-screens. The 70th Anniversary Meeting of the BSODR (London, UK) 2023.9.7.
 3. Wakui A, Kawachi M, Takahashi N, Abe T, Maruyama S, Kaku N, Miyazawa M, Sato A, Imai M, Arai H, Tanaka K, Abiko Y, Washio J, Takahashi N, Sato T: Profiling of the microbiota on the surfaces of non-woven fabric masks after wearing and smartphone touchscreens. The 18th International

- Workshop on Biomaterials in Interface Science (Interface Summer Seminar 2023) (Sendai) 2023.8.4.
4. 涌井杏奈, 河内美帆, 佐藤拓一: 搾乳母乳と新生児口腔細菌叢との関連: 網羅的・分子生物学的アプローチ, 第63回日本臨床化学会年次学術集会「YIAシンポジウム」(東京) 2023.10.27. (協力学術団体)
 5. 涌井杏奈, 河内美帆, 安彦友希, 鷺尾純平, 高橋信博, 佐藤拓一: ヒト母乳と新生児口腔細菌叢との関連, 『革新的食学拠点 (東北大学歯学研究科/農学研究科, 宮城大学)』2023年度第2回合同ミーティング (オンライン) セッションII「食品と微生物」(オンライン) 2023.7.20.
 6. 涌井杏奈, 河内美帆, 佐野拓人, 坂下玲子, 鷺尾純平, 高橋信博, 佐藤拓一: 搾乳母乳と新生児口腔内細菌叢との関連, 第72回日本口腔衛生学会学術大会 (大阪) 2023.5.21. (協力学術団体)
 7. Miyazawa M, Kawachi M, Wakui A, Kaku N, Takahashi N, Abe T, Sato A, Imai M, Arai H, Sato H, Kato Y, Okabe R, Naruse Y, Sato N, Abiko Y, Washio J, Sato T: Microbiological profiling in the remaining tea/coffee drinks in plastic bottles. The 102nd General Session & Exhibition of the IADR (New Orleans, LA, USA) 2024.3.14.
 8. Sato A, Miyazawa M, Abe T, Kaku N, Imai M, Takahashi N, Kawachi M, Wakui A, Washio J, Sato T: Molecular microbiological profiling of the tongue before/after tongue brushing. The 102nd General Session & Exhibition of the IADR (New Orleans, LA, USA) 2024.3.15.
 9. Kawachi M, Wakui A, Kaku N, Takahashi N, Miyazawa M, Abe T, Sato A, Imai M, Sato H, Kato Y, Okabe R, Naruse Y, Sato N, Washio J, Sato T: Microbiological approaches to the storage of bottled beverages. The 70th Anniversary Meeting of the BSODR (London, UK) 2023.9.8.
 10. Kawachi M, Wakui A, Kaku N, Takahashi N, Miyazawa M, Abe T, Sato A, Imai M, Arai H, Sato H, Kato Y, Okabe R, Naruse Y, Sato N, Tanaka K, Higuchi M, Abiko Y, Washio J, Takahashi N, Sato T: Profiling of the microbiota in the remaining green tea drinks in plastic bottles. The 18th International Workshop on Biomaterials in Interface Science (Interface Summer Seminar 2023) (Sendai) 2023.8.4.
 11. 加藤優希, 賀来ながら, 宮沢美里, 河内美帆, 涌井杏奈, 高橋七瀬, 佐藤彩, 阿部峰士, 今井真奈美, 荒井ひかる, 佐藤遥菜, 岡部璃佳, 成瀬悠香, 佐藤奈緒, 諸橋もも子, 浅野七海, 樋口真由, 安彦友希, 鷺尾純平, 高橋信博, 佐藤拓一: 各種メーカーのお茶ペットボトル飲料内の微生物プロファイリング: スクリーニング実験, 第13回口腔保健用機能性食品研究会 (大阪) 2023.12.16.
 12. 佐藤遥菜, 宮沢美里, 賀来ながら, 河内美帆, 涌井杏奈, 高橋七瀬, 佐藤彩, 阿部峰士, 丸山伸吾, 今井真奈美, 荒井ひかる, 加藤優希, 岡部璃佳, 成瀬悠香, 佐藤奈緒, 諸橋もも子, 浅野七海, 佐藤拓一: 種々のペットボトル飲料内の微生物について: 分子生物学的プロファイリング, 新潟大学院生会 第3回 (2023年度) 研究発表会 (新潟) 2023.11.11.
 13. 高橋七瀬, 涌井杏奈, 佐藤彩, 阿部峰士, 宮沢美里, 関口未来, 関沢有芽, 佐藤拓一: スマートフォン画面から検出される細菌の分子生物学的プロファイリング: 手指細菌叢との比較, 第106回日本細菌学会関東支部総会 (千葉) 2023.10.29.
 14. 河内美帆, 涌井杏奈, 賀来ながら, 高橋七瀬, 宮沢美里, 佐藤彩, 阿部峰士, 今井真奈美, 荒井ひかる, 佐藤遥菜, 加藤優希, 岡部璃佳, 成瀬悠香, 佐藤奈緒, 佐野拓人, 丸山伸吾, 佐藤拓一: ペットボトル飲料の保管に関する食品科学的・微生物学的研究, 第55回日本医療検査科学会 (横浜) 2023.10.8.
 15. Kawachi M, Wakui A, Sano H, Abiko Y, Washio J, Takahashi N, Sato T: Profiling of the microbiota in the remaining green tea of the plastic bottles. The Update Symposium 2 in the 65th Annual Meeting of the JAQB (Tokyo) 2023.9.16.
 16. 宮沢美里, 河内美帆, 賀来ながら, 涌井杏奈, 高橋七瀬, 佐藤彩, 阿部峰士, 今井真奈美, 荒井ひかる, 佐藤拓一: ペットボトル (緑茶・紅茶・コーヒー) に残留・生育する微生物叢のプロファイリング, 第17回日本臨床検査学教育学会学術大会 (奈良) 2023.8.23.
 17. 阿部峰士, 宮沢美里, 涌井杏奈, 佐藤彩, 丸山伸吾, 河内美帆, 高橋七瀬, 賀来ながら, 今井真奈美, 佐藤拓一: 不織布マスク用スプレーの噴霧効果の微生物学的検証, 第17回日本臨床検査学教育学会学術大会 (奈良) 2023.8.23.

18. 河内美帆, 涌井杏奈, 賀来ながら, 高橋七瀬, 宮沢美里, 佐藤彩, 阿部峰士, 今井真奈美, 荒井ひかる, 佐藤遥菜, 加藤優希, 岡部璃佳, 成瀬悠香, 佐藤奈緒, 佐藤拓一: ペットボトル飲料の保管に関する食品科学的・分子生物学的アプローチ, 第41回日本臨床化学会甲信越支部総会(オンライン) 2023.7.23.
19. 河内美帆, 涌井杏奈, 賀来ながら, 高橋七瀬, 宮沢美里, 佐藤彩, 阿部峰士, 今井真奈美, 佐藤遥菜, 加藤優希, 岡部璃佳, 成瀬悠香, 佐藤奈緒, 鷺尾純平, 佐藤拓一: ペットボトル飲料物の保管に関する食品科学的・細菌学的研究, 第72回日本口腔衛生学会学術大会(大阪) 2023.5.21.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床化学会, 歯科基礎医学会, 口腔衛生学会, IADR (国際歯科研究学会), 大学女性協会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 保健学における次世代を担う女性研究者育成の取り組みについて, 講師, 新潟大学大学院保健学研究科, 学部生, 新潟, 2023.8.10. (動画出演)
2. 新潟市北区と新潟医療福祉大学の連携企画, あなたのための健康講座, 健康指導, 北区自治協議会健康福祉部会・新潟医療福祉大学臨床技術学科, 北区市民48名, 新潟医療福祉大学, 2024.2.10.
3. 令和5年度新潟大学大学院保健学研究科GP講演会, 大学院教育の実質化推進事業に係る講演会, 講師, 新潟大学大学院保健学研究科組織的教育推進プログラム(GP)推進室, 学部生・大学院生, 新潟, 2024.2.22.
4. 令和5年度(国立青少年教育振興機構)子どもゆめ基金 科学体験活動, 講師, 新潟大学大学院保健学研究科臨床化学研究室, 小中学生・保護者(総勢40名), 新潟市, 4回シリーズ(2023.7.29, 8.5, 8.12, 8.18)
5. 2023年度(新潟県教育委員会)高校生アカデミック・インターンシップ研修, 講師, 新潟大学医学部保健学科, 高校生10名, 新潟市, 2日間(2023.8.17-8.18)
6. 2023年度 内田エネルギー科学振興財団 科学技術知識普及事業, 講師, 新潟大学大学院保健学研究科臨床化学研究室, 小中学生・保護者(総勢46名), 新潟市, 4回シリーズ(2023.8.26, 9.2, 9.23, 9.30)
7. 令和5年度 新潟大学・ジェンダーダイバーシティ推進部局応援プロジェクト, 女子学生の博士後期課程への進学プロモーション(その2), 企画運営, 新潟大学大学院保健学研究科臨床化学研究室, 大学院生・学部生(総勢17名), 新潟市, 2024.2.22.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2023-2024年度 科研費 若手研究, 使用済みマスクおよびスマートフォン画面に付着・生息する微生物のプロファイリング, 涌井杏奈
2. 2023年度, (公益財団法人) ロッテ財団 第10回(2023年度)奨励研究助成(B), 母乳を含めた新生児用の飲料と口腔細菌叢との関連(網羅的・分子生物学的解析), 涌井杏奈

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

- (一般社団法人) 日本臨床化学会 2023年度Young Investigator Award (YIA, 若手研究者賞) (2023.10.28), 国立大学臨床検査学系博士後期課程優秀賞(2023.5.25)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部保健学科, 医療安全管理学, 2023.12.25.

氏名: 増子 弘明

1 研究題目 消化器内視鏡の清浄度評価に関する研究

2 学会等研究発表

1. 増子弘明, 高橋良光. 内視鏡スコープ洗浄時における送気工程追加の有用性の検討. 第3回関東甲信越臨床工学会(新潟市), 2023.10.15.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本生体医工学会，日本臨床工学技士会，日本臨床衛生検査技師会，日本消化器内視鏡技師会，
福島県臨床工学技士会，新潟県臨床検査技師会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
修士（保健学），新潟医療福祉大学大学院，2024.2.26.
- 5 学内委員会活動 国家試験対策員会

氏名：古川 久美子

- 1 研究題目 臨床検査分野における国際協力および技術協力
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 株式会社miup，在バングラデシュ臨床検査室への技術協力，検査アドバイザー，バングラデシュ，
2023.4.1-2024.3.31.

氏名：齋藤 幸

- 1 研究題目 正常脳波
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本臨床衛生検査技師会

氏名：村木 理絵子

報告事項なし

氏名：芳賀 千紗

報告事項なし

(2) 視機能科学科

氏名：前田 史篤

- 1 研究題目 瞳孔視野計による他覚的視野測定法の開発, メラノプシン含有網膜神経節細胞の機能評価, 眼精疲労の他覚評価, スポーツビジョンの実践的研究
- 2 著書
 1. 村田憲章, 前田史篤; 杉山能子編. 斜視診療や両眼視機能検査に必須の用語とその解説. できる! 斜視検査. 初版. 東京: 三輪書店; 2023: 273-282.
- 3 論文
 1. Tatara S, Maeda F, Ubukata H, Shiga Y, Yaoeda K. Measurement accuracy when using Spot Vision Screener with or without cycloplegia in young adults. Clinical Ophthalmology. 2023; 17: 3543-3548. (review)
 2. Tatara S, Toda H, Maeda F, Handa T. Development of a new eye movement measurement device using eye-tracking analysis technology. Applied Sciences. 2023; 13: 5968. (review)
 3. Tatara S, Toda H, Maeda F, Handa T. Comparison of the saccadic eye movement ability of female professional basketball players and non-athletes. Applied Sciences. 2024; 14: 1108. (review)
 4. 多々良俊哉, 前田史篤. 日本人における瞳孔の加齢変化. 神経眼科. 2023; 40: 108-114. (総説)
 5. 前田史篤. Pupillographyによる多角的機能評価. 神経眼科. 2023; 40: 121-125. (総説)
 6. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 志賀木綿子, 八百枝潔, 半田知也. 据え置き式および手持ち式ケラトメータの測定光配置の違いが角膜屈折力に与える影響. 視覚の科学. 2023; 44: 30-34. (査読あり)
 7. Tabuchi H, Engelmann J, Maeda F, Nishikawa R, Nagasawa T, Yamauchi T, Tanabe M, Akada M, Kihara K, Nakae Y, Kiuchi Y, Bernabeu MO. Using artificial intelligence to improve human performance: efficient retinal disease detection training with synthetic images. Br J Ophthalmol. 2024; bjo-2023-324923: 1-6. (review)
- 4 学会等研究発表
 1. 多々良俊哉, 戸田春男, 前田史篤, 半田知也. 視線解析を応用した他覚的眼球運動計測装置の開発. 第79回日本弱視斜視学会総会 第48回日本小児眼科学会総会 合同学会 (仙台), 2023.6.16-6.17.
 2. 前田史篤. 視野と視野計. 中四国視能訓練士会第39回研究会 (倉敷), 2023.9.17. 【教育講演】
 3. 前田史篤. 瞳孔と瞳孔計の歴史. 第22回眼科臨床機器研究会 (横浜), 2023.11.11. 【シンポジウム】
 4. 多々良俊哉, 戸田春男, 内山理菜, 関根朱里, 伊藤篤司, 前田史篤, 半田知也. 視線解析を用いた女子プロバスケットボール選手の追従眼球運動の評価. 第23回新潟医療福祉学会 (新潟), 2023.11.28.
 5. 石飛直史, 前田史篤, 田邊真生, 長澤利彦, 今村日利, 田中勇登, 永里大祐, 出口帆空, 馬場浩彰, 田淵仁志. スマートフォン搭載型細隙灯顕微鏡とAIの白内障自動診断. 第64回日本視能矯正学会 (香川), 2023.11.18-2023.11.19.
 6. 板垣和弘, 五十嵐秀人, 信田和男, 前田史篤, 戸田春男. 眼球の幾何学的解釈と前眼部光干渉断層計に基づいた白内障術後眼内レンズ位置の予測. 第64回日本視能矯正学会 (香川), 2023.11.18-11.19.
 7. XION ZHAOHAI, 多々良俊哉, 前田史篤. コロナ禍による大学生の調節近点への影響. 第23回新潟医療福祉学会 (新潟), 2023.11.28.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本神経眼科学会 (評議員) (編集委員), 日本眼光学学会 (編集委員), 日本眼科学会, 日本視野画像学会, 日本視能訓練士協会, 日本弱視斜視学会, 日本小児眼科学会, 日本ロービジョン学会, 日本糖尿病眼学会, 日本近視学会, 日本眼科AI学会, 日本老視学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 神経眼科 40巻2号 特集「瞳孔の静的側面と動的側面」企画
 2. 日本神経眼科学会学術賞予備審査員
- 6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 夏休みの自由研究 in 新潟医療福祉大学, 望遠鏡を作ってみよう, 運営責任者, 視機能科学科, 新潟県内の幼・小・中・高校生, 新潟医療福祉大学, 2023.8.21.
2. 夏休みの自由研究 in 新潟医療福祉大学, 盲点を探してみよう, 運営責任者・主担当, 視機能科学科, 新潟県内の小・中学生, 新潟医療福祉大学, 2023.8.23.
3. 夏休みの自由研究 in 新潟医療福祉大学, 身近なところに虹をみつけよう, 運営責任者, 視機能科学科, 新潟県内の小・中・高校生, 新潟医療福祉大学, 2023.8.24.
4. 夏休みの自由研究 in 新潟医療福祉大学, 豚の眼を解剖してみよう, 運営責任者, 視機能科学科, 新潟県内の中・高校生, 新潟医療福祉大学, 2023.8.25.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, にいがた経済新聞, 女子プロバスケットボールの新潟アルビレックスBBラビッツが「眼の精密検査」を実施, 未来の「視能訓練士」たちが活躍, 2023.6.23. (囲み記事)
2. webニュース, Yahoo ニュース, 「新潟医療福祉大学」で参加無料のワークショップが8月21日・23～25日に開催予定♪, 2023.8.14.
3. webニュース, ガタチラ, 夏休みの自由研究におすすめ! 「新潟医療福祉大学」で“視覚や光の不思議”がテーマのワークショップ (参加無料) が8月21日・23～25日に開催予定♪, 2023.8.15.
4. TV, BSN新潟放送, 「ポテトチップスの筒で作ったものは?」夏休みもあとわずか・・・大学生が小学生の自由研究をサポート, 2023.8.21.
5. TV, NST新潟総合テレビ, 夏休みも終盤・・・大学生が児童の“自由研究”をサポート! 楽しく学びながら望遠鏡づくり♪, 2023.8.21.
6. TV, NHK, 夏休みの子どもたちが望遠鏡を作る催し, 2023.8.21.
7. webニュース, BSN新潟放送, 「ポテトチップスの筒で作ったものは?」夏休みもあとわずか・・・大学生が小学生の自由研究をサポート, 2023.8.21.
8. webニュース, NST新潟総合テレビ, 夏休みも終盤・・・大学生が児童の“自由研究”をサポート! 楽しく学びながら望遠鏡づくり♪, 2023.8.21.
9. webニュース, NHK, 夏休みの子どもたちが望遠鏡を作る催し, 2023.8.21.
10. webニュース, グノシー, 「ポテトチップスの筒で作ったものは?」夏休みもあとわずか・・・大学生が小学生の自由研究をサポート, 2023.8.21.
11. TV, TeNY新潟一番ニュース, もうすぐ夏休みもおわり こどもの自由研究を大学生がサポート 望遠鏡づくりに挑戦, 2023.8.23.
12. webニュース, テレビ新潟, もうすぐ夏休みもおわり こどもの自由研究を大学生がサポート 望遠鏡づくりに挑戦, 2023.8.23.
13. webニュース, グノシー, もうすぐ夏休みもおわり こどもの自由研究を大学生がサポート 望遠鏡づくりに挑戦, 2023.8.23.
14. 新聞, 新潟日報, 自由研究 間に合ったよ 新潟医福大 大学生が子ども手助け, 2023.8.25.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2023年度, 受託研究費, スリット画像と角膜厚測定値との相関について, 研究代表者
2. 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 視線解析法を用いた客観的眼位検査の開発および小児を対象とした健康診査への応用, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟薬科大学附属医療技術専門学校視能訓練士科, 眼疾病学II, 2023年度前期
2. 新潟薬科大学附属医療技術専門学校視能訓練士科, 神経眼科学, 2023年度後期
3. 新潟薬科大学附属医療技術専門学校視能訓練士科, 視能矯正学各論II, 2023年度後期
4. 札幌看護医療専門学校視能訓練士学科, 視覚生理学I, 2023年度後期

- 8 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・自己評価委員会, 教員選考・評価委員会, 大学院入試広報委員会(委員長), 就職センター運営委員会

氏名: 増田 修

- 1 研究題目 偽造防止技術, 質感知覚, 色覚に関する研究(視覚心理物理学)
- 2 報告書
 1. 増田修, 内川恵二, 古川貴雄, 長谷川誠, 科研費基盤研究(C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚の解明, 研究成果報告書, 2017-2022, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. 鈴木雅洋, 中枝武弘, 増田修, 内川恵二. まぶしさに対する刺激の波長領域の効果, 日本視覚学会 2023 年夏季大会(徳島市), 2023.9.18-9.20.
 2. 鈴木雅洋, 永井岳大, 増田修, 内川恵二. まぶしさに対する虹彩透過光の影響, 日本視覚学会 2024 年冬季大会(東京都新宿区), 2024.1.17-1.19.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本視覚学会, 映像情報メディア学会, 日本色彩学会, 日本眼光学学会, 日本照明委員会, 視覚科学技術コンソーシアム, Optical Society of America
- 5 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報, 自由研究 間に合ったよ 新潟医福大 学生が子ども手助け, 2023.8.25.
 2. NHK, 新潟ニュース 610, 大学生がサポート 子どもたちが望遠鏡を作る催し, 2023.8.21.
 3. BSN, ゆうなび, 夏休み 自由研究で望遠鏡 何見える? 大学生が優しくサポート, 2023.8.21.
 4. NST, News タッチ, 児童の“自由研究”をサポート 新潟医療福祉大学 子どもたちを対象に自由研究企画, 2023.8.21.
 5. TeNY, 新潟一番, 初開催 夏休みもあとわずか 子どもの“自由研究” 学生がサポート, 2023.8.23.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
一般社団法人 日本照明工業会 国際照明委員会(CIE) 第1部会「視覚と色」国内小委員会 委員
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚における脳神経メカニズムの解明, 研究代表者
 2. 2023年度, 科研費基盤研究(C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚への能動性の寄与の脳神経機序の解明, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 教務委員会(副委員長), 国際交流センター運営委員会(副委員長), 社会連携推進センター運営委員会, 大学院委員会, 大学院教務委員会

氏名: 戸田 春男

- 1 研究題目 教育に伴うストレス, ICTを用いた教育の改善, 視線解析装置を用いた視力の評価, 視線解析装置を用いた運動視力の評価
- 2 論文
 1. Toda H, Ubukata H, Kinoshita N, Abe T, Morita K. Stress Responses of Examiners during Ophthalmic Examination Practices in Healthy Young Students. Applied Sciences. 2023; 13(18): 10250. 査読あり
 2. Tatara S, Toda H, Maeda F, Handa T. Development of a New Eye Movement Measurement Device Using Eye-Tracking Analysis Technology. Applied Sciences. 2023; 13(10): 5968. 査読あり
 3. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗. キャリブレーションフリー・視線解析装置による迅速な他覚的視力測定. 眼科臨床紀要. 2023; 16(4): 305-306. 査読あり

3 学会等研究発表

1. 戸田春男, 生方北斗, 小林昭子, 可児一孝. Goldmann視野計検査トレーナのWebへの移植. 新潟医療福祉学会 (新潟市), 2023.10.28.
2. 戸田春男, 豊田典子, 多々良俊哉, 村田憲章. 大学教育における Google Apps Script の活用. 新潟医療福祉学会 (新潟市), 2023.10.28.
3. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗, 高木万生, 田中千絵, 町永亜衣, 宮嶋美南. キャリブレーションフリー・視線解析装置による他覚的視力検査における視力の決定閾値の検討. 新潟医療福祉学会 (新潟市), 2023.10.28.
4. 板垣和弘, 五十嵐秀人, 信田和男, 前田史篤, 戸田春男. 眼球の幾何学的解釈と前眼部光干渉断層計に基づいた白内障術後眼内レンズ位置の予測. 第64回日本視能矯正学会 (香川県高松市), 2023.11.18-11.19.
5. 多々良俊哉, 戸田春男, 前田史篤, 半田知也. 視線解析を応用した他覚的眼球運動計測装置の開発. 第79回日本弱視斜視学会 (宮城県仙台市), 2023.6.16-6.17.
6. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗, 高木万生, 田中千絵, 町永亜衣, 宮嶋美南. キャリブレーションフリー・視線解析装置による他覚的視力検査における視力の決定閾値の検討. 第77回日本臨床眼科学会 (東京都), 2023.10.6-10.9.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本生理学会 (評議員), 日本神経科学会, 日本自律神経学会, 日本神経眼科学会, Society for Neuroscience, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 査読 (Niigata Journal of Health and Welfare)

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021-2023, 基盤研究 (B), 弱視発見率の向上に関する研究: 視線解析による小児視力の自動測定システムの創生, 分担 (代表: 村田憲章)
2. 2023-2026, 挑戦的研究 (萌芽) 我が国における乳幼児保有視力分布の現代的再構築: パイロットスタディ, 分担 (代表: 村田憲章)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部医学科, 生理学・生理学実習, 2023.4.1-2024.3.31.
2. 悠久山栄養調理専門学校, 運動生理学, 2023.4.1-2024.3.31.

6 学内委員会活動 入試委員会, 入試問題検討部会, FD・SD推進委員会, 高等教育推進センター運営委員会, 健康管理センター運営委員会, 安全衛生委員会

氏名: 小林 昭子

1 研究題目 Goldmann視野計の実技教育指導

2 学会等研究発表

1. 戸田春男, 生方北斗, 小林昭子, 可児一孝. Goldmann視野計検査トレーナのWebへの移植. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2023.10.28. 【一般演題 (ポスター)】

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本視野画像学会, 日本弱視斜視学会, 日本眼光学学会, 公益社団法人日本視能訓練士協会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 生涯教育 新人教育講義日程, 視能検査学各論 I 感覚系検査法 - 視野検査の理論と実際 -, 講師, 公益社団法人日本視能訓練士協会, 視能訓練士, Webによるオンデマンド配信, 2023.9.20-10.25.
2. 第7回視機能科学科 公開講演会, 一味違う視野検査, 講師, 新潟医療福祉大学 視機能科学科, Web

配信（新潟市），2024.3.17.

5 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会，就職センター運営委員会

氏名：金子 弘

1 研究題目 快適な眼鏡装用に関する研究

2 論文

1. 金子弘，眼鏡の役割とその特徴．眼科ケア．2023；25（11）：6-10.

3 学会等研究発表

1. 金子弘：個別設計レンズとはなにか．日本眼光学学会第59回総会．教育セッション「眼鏡アップデートセミナー」（山形市），2023.9.3.
2. 安達玲衣，小木ひなた，金田陽奈，遠山愛花，志賀木綿子，金子弘：トリック法を用いて視力測定したときの健常者の応答と視力変化について．第23回新潟医療福祉学会（新潟市），2023.10.28.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本眼光学学会，日本眼鏡学会，日本実験力学会，新潟医療福祉学会（評議員），NPO法人安全と安心心のまなびば（理事）
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌 和文誌編集委員
 2. 日本眼鏡学会誌「眼鏡学ジャーナル」編集委員

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 高志中等教育学校PTA土曜活用講座，「脳にかけるメガネ」メガネ・コンタクトレンズの効果，講演，高校生20名，新潟市．2023.7.8.
2. NUHWオンラインセミナー，「正しいメガネの選び方」，HPコンテンツ，2023.4.1.
3. 夏休み特別企画，「望遠鏡を作ろう」．視機能科学科，小学生30名，新潟市，2023.8.21.

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟薬科大学付属医療技術専門学校 視能訓練士科（物理学，生理光学），2023.4-2024.3.
2. 川崎医療福祉大学 視能療法学科（生理光学実習），2023.5-7.

7 学内委員会活動 学術委員会，学会誌編集委員会，広報委員会

氏名：村田 憲章

1 研究題目 視線解析装置の眼科的検査への応用に関する研究（視覚科学），緑内障患者の視覚的QOL維持のための形態・機能解析（眼科学）

2 著書

1. 村田憲章．眼鏡度数の選定バイブル：応用編 ～ワンランク上の眼鏡合わせができるようになろう！～ 1章 矯正視力が出ないときの対応 眼科ケア．25．大阪：メディカ出版；2023：1106-1110.
2. 村田憲章，前田史篤．斜視診療や両眼視機能検査に必須の用語とその解説 できる！斜視検査 両眼視機能がわかる，ケーススタディでレベルアップ！．東京：三輪書店；2023：273-282.

3 学会等研究発表

1. 村田憲章，戸田春男，生方北斗，高木万生，田中千絵，町永亜衣，宮嶋美南．キャリブレーションフリー・視線解析装置による他覚的視力検査における視力の決定閾値の検討．第77回日本臨床眼科学会（千代田区），2023.10.6-10.9.
2. 村田憲章．眼科領域における視線解析装置の応用と今後の展望．第35回長野県視能訓練士会（長野市），2023.10.29.
3. 村田憲章，戸田春男，生方北斗，高木万生，田中千絵，町永亜衣，宮嶋美南．キャリブレーションフリー・

視線解析装置による他覚的視力検査における視力の決定閾値の検討. 第23回新潟医療福祉学会(新潟市), 2023.10.31.

4. 戸田春男, 豊田典子, 多々良俊哉, 村田憲章. 大学教育における Google Apps Script の活用. 第23回新潟医療福祉学会(新潟市), 2023.10.31.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼科学会, 日本緑内障学会, 日本斜視弱視学会, 日本ロービジョン学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 視能訓練士画像研究会(CREAS), CREAS In Web Session 2024, 実行委員・北信越ブロック長, オンライン, 2024.2.18.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2023.9.19.
2. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2023.9.20.
3. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 上越市, 2023.9.22.
4. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 長岡市, 2023.9.25.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 眼鏡度数の選定バイブル: 応用編 ～ワンランク上の眼鏡合わせができるようになろう!～ 1章 矯正視力が出ないときの対応 眼科ケア. 25. 大阪: メディカ出版: 2023: 1106-1110.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学視機能科学科, 夏休みの自由研究サポート, 運営, 新潟市, 2023.8.21-8.25.

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益社団法人日本視能訓練士協会 生涯教育制度新人教育プログラム(両眼視)実技日程(指導者), 全国視能訓練士学校協会 国家試験不適切問題検討ワーキンググループ(グループリーダー)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究(B), 弱視発見率の向上に関する研究: 視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生(研究代表者)
2. 2023年度, 挑戦的研究(萌芽), 我が国における乳幼児保有視力分布の現代的再構築: パイロットスタディ(研究代表者)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟薬科大学附属医療技術専門学校, 視能検査学各論, 2023.4.10-7.31.
2. 新潟薬科大学附属医療技術専門学校, 視能矯正学総論II, 2023.4.10-7.31.

- 7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会(副委員長), 国家試験・資格試験対策委員会, 科研費対策委員会, IR戦略委員会

氏名: 多々良 俊哉

- 1 研究題目 小児の弱視予防に関する研究(予防医学)

2 論文

1. Tatara S, Maeda F, Ubukata H, Shiga Y, Yaoeda K. Measurement Accuracy When Using Spot Vision Screener With or Without Cycloplegia in Young Adults. Clinical Ophthalmology. 2023; 17: 3543-3548.

(査読あり)

2. Tatara S, Toda H, Maeda F, Handa T. Development of a New Eye Movement Measurement Device Using Eye-Tracking Analysis Technology. *Applied Sciences*. 2023; 13: 5968. (査読あり)
3. Tatara S, Toda H, Maeda F, Handa T. Comparison of the saccadic eye movement ability of female professional basketball players and non-athletes. *Applied Sciences*. 2024; 14: 1108. (査読あり)
4. 多々良俊哉, 前田史篤. 日本人における瞳孔の加齢変化. *神経眼科*. 2023; 40: 108-114. (総説)
5. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 志賀木綿子, 八百枝潔, 半田知也. 据え置き式および手持ち式ケラトメータの測定光配置の違いが角膜屈折力に与える影響. *視覚の科学*. 2023; 44: 30-34. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 多々良俊哉, 戸田春男, 内山理菜, 関根朱里, 伊藤篤司, 前田史篤, 半田知也. 視線解析を用いた女子プロバスケットボール選手の追従眼球運動の評価, 第23回新潟医療福祉学会 (新潟), 2023.11.28.
 2. 多々良俊哉. 三歳児健康診査における屈折検査によるスクリーニングとその基準値, 2023年度新潟県視能訓練士会研修会 (新潟), 2023.7.16. 【教育講演】
 3. 多々良俊哉, 戸田春男, 前田史篤, 半田知也. 視線解析を応用した他覚的眼球運動計測装置の開発, 第79回日本弱視斜視学会総会 第48回日本小児眼科学会総会 合同学会 (仙台), 2023.6.16-6.17.
 4. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 志賀木綿子, 八百枝潔. 屈折検査機器の調節介入について考える, 第5回日本近視学会総会 (福岡), 2023.5.13-5.14.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本能訓練士協会 (会員), 日本眼科学会 (会員), 日本弱視斜視学会 (会員), 日本小児眼科学会 (会員), 日本眼光学会 (会員), JSCRS (会員), 日本近視学会 (会員), 日本神経眼科学会 (会員)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. BMC Ophthalmology, 査読
 2. Plos One, 査読
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 燕市3歳児健康診査, 健診, 燕市保健センター (燕市), 2023.4.25, 5.30, 10.31, 2024.3.12.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2022年度, 科研費 基盤研究C, 視線解析法を用いた客観的眼位検査の開発および小児を対象とした健康診査への応用, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
博士 (医学) (2024.3.10), 視能訓練士臨地実習指導者講習会 修了 (2024.2.25)
- 7 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会, メンタルヘルス支援委員

氏名: 生方 北斗

- 1 研究題目 眼科検査技能の定量評価および視能訓練士教育
- 2 論文
 1. Toda H, Ubukata H, Kinoshita N, Abe T, Morita K. Stress responses of examiners during ophthalmic examination practices in healthy young students. *Applied Sciences*. 2023; 13 (18): 10250. (査読あり)
 2. Tatara S, Maeda F, Ubukata H, Shiga Y, Yaoeda K. Measurement accuracy when using Spot Vision Screener with cycloplegia. *Clinical Ophthalmology*. 2023; 17: 3543-3548. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 志賀木綿子, 八百枝潔, 半田知也. 屈折検査機器の調節介入について

考える. 第5回日本近視学会(福岡市), 2023.5.13-5.14.

2. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗, 高木万生, 田中千絵, 町永亜衣, 宮嶋美南. キャリブレーションフリー・視線解析装置による他覚的視力検査における決定閾値の検討. 第77回日本臨床眼科学会(千代田区), 2023.10.6-10.9.
3. 村田憲章, 戸田春男, 生方北斗, 高木万生, 田中千絵, 町永亜衣, 宮嶋美南. キャリブレーションフリー・視線解析装置による他覚的視力検査における視力決定の閾値の検討. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2023.10.28.
4. 戸田春男, 生方北斗, 小林昭子, 可児一孝. Goldmann 視野計検査トレーナのWebへの移植. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2023.10.28.
5. 生方北斗, 西村裕樹, 中山慎太郎, 清水映輔. Smart Eye Cameraを用いた細隙灯顕微鏡検査のコーチング法の効果検証. 第64回日本視能矯正学会(高松市), 2023.11.18-11.19.
6. 生方北斗. 座長からの特別問題. 眼科ケア25巻12号特集連動セミナー(Web), 2023.12.9.【シンポジウム】

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会(会員), 日本眼光学学会(会員), 日本視野画像学会(会員), 日本神経眼科学会(会員), 日本眼鏡学会(会員), 日本メガネ協会(会員), 日本眼鏡技術者協会(会員), 新潟医療福祉学会(会員), 新潟県視能訓練士会(会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 眼科ケア, 特集連動セミナー シンポジウム, 座長, Web, 2023.12.9.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. とよさか中高年教養大学(健康長寿学), メガネのあれこれ, 嘘?本当?~正しいメガネの選び方と使い方~, 講師, 新潟医療福祉大学, 中高年者, 葛塚コミュニティーセンター, 2023.12.14.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 一般雑誌. 眼科ケア Vol25 No.11. 大阪:メディカ出版;2023:64-67.
 2. 一般雑誌. 眼科ケア Vol25 No.11. 大阪:メディカ出版;2023:5-67.(編集)
 3. 一般雑誌. 眼科ケア Vol25 No.12. 大阪:メディカ出版;2023:50-57.
 4. 一般雑誌. 眼科ケア Vol25 No.12. 大阪:メディカ出版;2023:5-57.(編集)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究(B), 弱視発見率の向上に関する研究:視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生, 研究分担者
 2. 2023年度, 科研費萌芽的研究, 我が国における乳幼児保有視力分布の現代的再構築:パイロットスタディ, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校看護学科, 病態学Ⅶ, 2023.11.21-12.1.

7 学内委員会活動 広報委員会, 図書館・学習支援委員会, 学生委員会, 交通安全委員会

氏名: 志賀 木綿子

- 1 研究題目 日常視力に関する研究(眼光学), 視能訓練士学生への教育に関する研究(視覚科学)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼光学学会, 新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 教務委員会, 入試委員会

(3) 救急救命学科

氏名：竹井 豊

1 研究題目 救急隊員の身体負担軽減策の検討、効果的な救急医療システムに関する研究

2 論文

1. Miyashita Y, Takei Y, Toyama G, Takahashi T, Adachi T, Omatsu K, Ozaki A. Neurological outcomes in traffic accidents: A propensity score matching analysis of medical and non-medical origin cases of out-of-hospital cardiac arrest. The American Journal of Emergency Medicine 2024 78 176-181 ※インパクトファクター4.996
2. Takei Y, Toyama G, Takahashi T, Omatsu K. Optimal duration and timing of basic-life-support-only intervention for patients with out-of-hospital cardiac arrest. Scientific reports 2024 14(1) 6071-6071 ※インパクトファクター3.6
3. 外山元, 安達哲浩, 大松健太郎, 高橋司, 竹井豊. Snow-Runner.を装着した電動ストレッチャーPower-PROTM XTの積雪路面上における傷病者曳行時の身体的負荷及び操作性の検証. プレホスピタル・ケア. 2023年;36巻6号. 20-24.
4. 外山元, 大松健太郎, 安達哲浩, 高橋司, 竹井豊. 救急現場活動時間延長に関連する因子の分析. 日本臨床救急医学会雑誌. 2023年;26巻5号. 592-600.

3 学会等研究発表

1. Takei Y, Toyama G. Verification of new additional equipment for towing the powered stretcher on the snow surface. ERC Congress2024 (バルセロナ・スペイン), 2023.11.3.
2. Takei Y, Toyama G, Omatsu K. Optimal Resuscitation Strategies and Outcomes in Out-of-Hospital Cardiac Arrest: Insights from a Nationwide Prospective Cohort Study in Japan. ERC Congress2024 (バルセロナ・スペイン), 2023.11.3.
3. Takei Y, Toyama G, Miyashita Y. Poor survival rate for traffic accident cases: Survival may remain for indirect traffic accident cases. ERC Congress2024 (バルセロナ・スペイン), 2023.11.3.
4. 竹井豊, 安田康晴, 田邊晴山, 新井悠介, 畑中哲生, 鶴田良介, 佐々木広一, 津田裕士, 佐々木隆広, 大西昌亮, 坂本哲也. 救急救命士によるアナフィラキシーの病態とエピペン投与判断のシミュレーション研究. 日本臨床救急医学会学術集会 (東京都・日本), 2023.7.
5. 竹井豊, 匂坂量, 田中秀治, 児島政俊, 武本泰典, 田邊晴山, 植田広樹, 月ヶ瀬和利, 坂梨秀地, 中川洸志, 関俊一, 庄司隆広, 佐々木隆広, 前田達也, 石黒靖雄, 射場俊行, 東昇生, 中田徹, 四島弘, 一般社団法人日本臨床救急医学会救急活動におけるパフォーマンス向上検討小委員会. 「救急隊員の身体的負担に関する現状と今後の展望」全国救急隊員へのアンケート結果より. 日本臨床救急医学会学術集会 (東京都・日本), 2023.7.

4 学会活動

1) 所属学会 日本臨床救急医学会 (評議員), 新潟医療福祉学会 (理事長, 評議員, 英文誌編集委員長)

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本臨床救急医学会, 救急隊活動におけるパフォーマンス向上検討小委員会, 委員, 2021.10-現在
2. 日本臨床救急医学会, 第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 公募演題査読委員, 査読担当×3件

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. ときわ会研修会 (県内教職員任意団体) 「学校での応急手当を考える～救急救命士から学ぶ～」, 講師, ときわ会, 小中学校養護教諭対象, 新潟市 (ZOOM開催), 2024.1.20.
2. パワーオンセミナー北日本「電動ストレッチャー導入と救急活動」, 特別公演, 日本ストライカー, 全国救急隊員対象, ZOOM開催, 2024.2.27.

2) 社会活動への参加協力

1. 石川県消防学校, 救急救命士生涯教育課程講義, 講義担当, 石川県金沢市・石川県消防学校, 2023.12.14.
2. 石川県消防学校, 救急課程講義, 講義担当, 石川県金沢市・石川県消防学校, 2023.3.8.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
一般財団日本救急医療財団・厚生労働省（救急救命士国家試験試験委員）
- 4) 職能団体（協会, 士会等）の委員
米国救急医協会・ITLS日本支部（世話人）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 広島国際大学, 救急統計学, 2023.4.1-2024.3.31.
- 7 学内委員会活動 学術委員会（委員長）, 図書館・学習支援委員会（委員長）

氏名：川上 一岳

報告事項なし

氏名：江部 克也

報告事項なし

氏名：大松 健太郎

- 1 研究題目 AR（拡張現実）技術を用いた教育プログラムに関する研究（医学教育学）, 救急救命士の働き方の多様化に関する研究（医療社会学）, 学校管理下の救急事故に関する研究（医療社会学）
- 2 論文
 1. Takei Y, Toyama G, Takahashi T, Omatsu K. Optimal duration and timing of basic-life-support-only intervention for patients with out-of-hospital cardiac arrest. Scientific reports (JCR). 2024; 14(1): 6071.
 2. 外山元, 安達哲浩, 大松健太郎, 高橋司, 竹井豊. Snow-Runner.を装着した電動ストレッチャーPower-PROTM XTの積雪路面上における傷病者曳行時の身体的負荷及び操作性の検証. プレホスピタル・ケア. 2023; 36(6): 20-24.
 3. 外山元, 大松健太郎, 安達哲浩, 高橋司, 竹井豊. 救急現場活動時間延長に関連する因子の分析. 日本臨床救急医学会雑誌. 2023; 26(5): 592-600.
 4. Omatsu K, Uchiyama M, Shimizu U, Yiwei Ling, Okuda S, Koyama Y. Impact of Heavy Snowfall on Emergency Transport and Prognosis of Out-of-Hospital Cardiac Arrest Patients: A Nation-Wide Cohort Study. Prehospital and disaster medicine (JCR). 2023; 38(4): 436-443.
 5. 大和田均, 稲葉英夫, 大松健太郎, 神藏貴久, 菅原一彰, 田中秀治. 咳嗽による飛沫発生に対するポケットフェイスマスクの効果：心肺蘇生に伴う COVID-19 感染対策への予備研究. 蘇生（協力学術研究団体）. 2023; 42(1) 1-6.
- 3 報告書
 1. 大松健太郎. 若手研究, AR（拡張現実）技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発, 研究成果報告書, 2019-2022, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. Omatsu K, Inaba H. Impact of 2020 and 2021 COVID-19 Pandemic on public access defibrillation in Japan. ERC Congress 2023 (Barcelona, Spain), 2023.11.3.
 2. 大松健太郎, 小山諭. 全域豪雪地帯県における病院外心停止に対する救急隊の応答時間と転帰の検討 季節および地域間の比較. 第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会（東京）, 2023.7.28.
- 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床救急医学会（評議員）、日本救急医学会、日本蘇生学会、日本バーチャルリアリティ学会、新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会、公募演題査読委員
 2. 日本臨床救急医学会雑誌、査読
 3. Niigata Journal of Health and Welfare、査読
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. アメリカ心臓協会BLSインストラクターコース、ファカルティ、IEMA-ITC、スポーツ関係者等、川崎、2023.5.4.
 2. アメリカ心臓協会BLSプロバイダーコース、インストラクター、巽病院、医師・看護師、大阪、2023.10.9.
 3. アメリカ心臓協会BLSプロバイダーコース、インストラクター、巽病院、医師・看護師、大阪、2023.10.22.
 4. アメリカ心臓協会ACLSプロバイダーコース、インストラクター、巽病院、医師・看護師、大阪、2023.10.8-10.9.
 5. アメリカ心臓協会ACLSプロバイダーコース、インストラクター、巽病院、医師・看護師、大阪、2023.10.21-10.22.
 - 2) 職能団体（協会、士会等）の委員
一般社団法人国際救命救急協会（副理事長）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2013年度、科研費基盤研究（C）、AR技術による子どもの心停止への対応のための緊急通報・救急対応訓練プログラムの開発、代表研究者
 - 2) 受賞、学位取得、資格取得
博士（保健学）（2024.3.25）
- 8 学内委員会活動 入試委員会、国家試験・資格試験対策委員会、人権委員会、個人情報保護委員会

氏名：安達 哲浩

- 1 研究題目 多数傷病者発生時の研究（災害医療）、心肺蘇生法教育の普及効果に関する研究（救急医療）
- 2 論文
 1. Miyashita Y, Takei Y, Toyama G, Takahashi T, Adachi T, Omatsu K, Ozaki A. Neurological Outcomes in Traffic Accidents: A Propensity Score Matching Analysis in Out-of-Hospital Cardiac Arrest. Am J Emerg Med. 2024 Jan 21;78:176-181. <https://doi.org/10.1016/j.ajem.2024.01.028>
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本災害医学会（MCLS管理世話人）、日本臨床救急医学会、東北救急医学会、新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟PUSH指導者養成講習会、インストラクター、新潟市、新潟大学災害医療教育センター、2023.7.22.
 2. 新潟PUSH指導者養成講習会、インストラクター、新潟市、新潟大学災害医療教育センター、2023.7.23.
 3. MCLS標準コース、開催世話人、新潟市、新潟大学災害医療教育センター、2023.10.27.
 4. MCLS標準コース、開催世話人、新潟市、新潟大学災害医療教育センター、2023.10.28.

5. 新潟PUSH指導者養成講習会, インストラクター, 新潟市, 新潟大学災害医療教育センター, 2024.3.16.
6. 新潟PUSH指導者養成講習会, インストラクター, 新潟市, 新潟大学災害医療教育センター, 2024.3.17.
7. 新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー, 講座5, ケガをした時や具合が悪い時の初期対応, 講師, 市民, 新潟市 (オンライン), 2023.4.1-2024.3.31.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟ハーフマラソン, 救護ボランティア, モバイルAED隊主任, 新潟市, デンカビッグスワンスタジアム, 2024.3.20.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 基盤研究 (C) (一般), VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の制作, 安達哲浩・竹井豊・大松健太郎
- 6 学内委員会活動 広報委員会 (委員), 同出張講義来学部会 (部会長), 同窓会・生涯学習連携推進委員会 (委員), 就職センター運営委員会 (委員)

氏名 : 高橋 司

- 1 研究題目 教育工学, 救急医学, 病院前救護, 放射線被ばく, 災害
- 2 論文
 1. Takei Y, Toyama G, Takahashi T, Omatsu K. Optimal duration and timing of basic-life-support-only intervention for patients with out-of-hospital cardiac arrest. Scientific reports. 2024; 14(1): 6071-6071
 2. Miyashita Y, Takei Y, Toyama G, Takahashi T, Adachi T, Omatsu K, Ozaki A. Neurological outcomes in traffic accidents: A propensity score matching analysis of medical and non-medical origin cases of out-of-hospital cardiac arrest. The American Journal of Emergency Medicine. 2024; 78: 176-181
 3. 外山元, 安達哲浩, 大松健太郎, 高橋司, 竹井豊. Snow-Runner.を装着した電動ストレッチャーPower-PROTM XTの積雪路面上における傷病者曳行時の身体的負荷及び操作性の検証. プレホスピタル・ケア. 2023; 36(6): 20-24.
 4. 外山元, 大松健太郎, 安達哲浩, 高橋司, 竹井豊. 救急現場活動時間延長に関連する因子の分析. 日本臨床救急医学会雑誌. 2023; 26(5): 592-600
- 3 学会等研究発表
 1. 高橋司, 守岡大吾, 村上龍, 皆藤竜弥. 救急救命士養成課程の学生におけるロールモデルの存在～経時的変化を踏まえた分析～. 第26回日本臨床救急医学会学術集会. 2023.7.29.
 2. 守岡大吾, 高橋司, 皆藤竜弥, 村上龍. 救急隊における特定行為実施場所の判断因子の調査～インタビュー内容のテキストマイニング～. 第26回日本臨床救急医学会学術集会. 2023.7.29.
 3. 村上龍, 上久保敦, 守岡大吾, 皆藤竜弥, 高橋司, 黒木尚長. 監察医事務所・警察機関が取扱う情報を活用した自殺者調査の報告～自殺の疫学調査における新たな情報源の検討～. 第26回日本臨床救急医学会学術集会. 2023.7.29.
 4. 中島秀明, 荻野暁, 田中秀治, 大野健二, 植田広樹, 匂坂量, 鈴木健介, 高橋司, 横堀将司. VRカリキュラム導入の成果と課題～これまでの教育とこれからの展望～. 第26回日本臨床救急医学会学術集会. 2023.7.29.
 5. 齋藤駿佑, 匂坂量, 中川洸, 田中秀治, 荻野暁, 中島秀明, 大野健二, 植田広樹, 鈴木健介, 高橋司, 横堀将司. 救急救命士養成専修学校における実写VRを用いた実習の効果検証～ランダム化比較試験～. 第26回日本臨床救急医学会学術集会. 2023.7.29.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床救急医学会, 日本医療教授システム学会, 日本医療シミュレーション教育学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. JPTEC協議会, 病院前救護外傷対応セミナー, インストラクター, 新潟市, 2023.7.2.
2. 日本臨床救急医学会, 病院前救護急病対応セミナー, ブース責任者, 東京都板橋区, 2023.7.27.
3. 日本医療教授システム学会, シミュレーション教授法セミナー, 運営担当, 三条市, 2023.8.26.
4. 救急救命学科, 病院前救護シミュレーション競技会, 事務局長, 新潟医療福祉大学, 2023.9.16.
5. 新潟市スポーツ協会, マラソン大会救護スタッフ, 搬送隊統括, 新潟市, 2023.10.8.
6. 全国救急救命士教育施設協議会, 学生向け病院前救護シミュレーション競技会, 実行委員長, 恵庭市, 2023.11.11-11.12.
7. 全国救急救命士教育施設協議会, 学生向け病院前救護シミュレーション競技会, ブース責任者, 東京都板橋区, 2023.12.10.
8. 日本臨床救急医学会, 病院前救護急病対応セミナー, ブース責任者, 新潟市, 2024.3.16.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

全国救急救命士教育施設協議会(理事), 全国救急救命士教育施設協議会(学生選手権委員長), 全国救急救命士教育施設協議会(教員研修交流委員), 全国救急救命士教育施設協議会(卒後再教育委員), 救急隊員のための研究を学ぶ会(世話人), 日本救急救命会(発起人)

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 明治国際医療大学大学院, 健康危機管理学特論, 2023.9.1-2024.2.28.
2. 国際医療看護福祉大学校, シミュレーションⅡ, 2024.11.17-2024.2.9.

7 学内委員会活動 教務委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員, FD・SD推進委員会

氏名: 田中 耕一

- 1 研究題目 バイスタンダーの精神的サポート体制の研究, COVID-19パンデミックが職場での心停止に与えた影響の研究, COVID-19パンデミックが職場での小児の心停止に与えた影響の研究, 農地における院外心停止症例の研究

2 学会等研究発表

1. 田中耕一. COVID-19 パンデミックが職場での心停止に対するバイスタンダーの対応と傷病者の予後に与えた影響について, 新潟医療福祉学会(新潟市), 2023.10.28.
2. Tanaka K. Impact of 2020 and 2021 COVID-19 Pandemic on bystander responses to and outcomes of out-of-hospital cardiac arrest at workplaces in Japan. 4th Global Virtual Summit on European Public Health & Healthcare. October 28-29, 2023.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本災害学会, 日本臨床救急医学会, 日本救急救命学会, 日本救護救急財団, 大阪ライフサポート協会, 新潟pushプロジェクト

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 心肺蘇生法PUSH講習会

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市立東特別支援学校, 教職員への心肺蘇生法講習会, 指導, 新潟市立東特別支援学校体育館, 2023.5.31.
2. 松浜地区自治会, ゴミ拾い, 瓢箪池・海岸, 2023.6.11.
3. 松浜7丁目自治会, 防災訓練, ゼミ生と参加, 松浜7丁目会館, 2023.11.3.
4. 豊栄地区公民館, キッズオープンキャンパス, 小学生高学年への広報活動, 新潟医療福祉大学, 2023.7.28.

5. JPTEC 東北支部, 病院前外傷教育, 指導, 新潟大学医療人育成センター, 2023.7.1.
 6. JPTEC 東北支部, 病院前外傷教育, 指導, 新潟県立新発田病院, 2023.11.19.
 7. 新潟 PUSH, 新潟 PUSH 指導者養成講習, 指導, 新潟大学医療人育成センター, 2023.7.22.
 8. 新潟 PUSH, 新潟 PUSH 指導者養成講習, 指導, 新潟大学医療人育成センター, 2023.7.23.
 9. 新潟シティーマラソン, 救護ボランティア, 新潟市陸上競技場, 2023.10.8.
 10. 新潟市観光推進課, 新潟市「修学旅行プロジェクト」, 撮影引率, 旧斎藤家ほか, 2024.2.10.
 11. 新潟市観光推進課, 新潟市「修学旅行プロジェクト」, 撮影引率, 旧斎藤家ほか, 2024.2.11.
- 5 学内委員会活動 学生委員会委員, 交通安全委員会委員, 社会連携推進センター運営委員会委員

氏名：尾崎 あかね

- 1 研究題目 大学バスケットボール傷害調査からみた救護体制の検討
- 2 論文
 1. Miyashita Y, Takei Y, Toyama G, Takahashi T, Adachi T, Omatsu K, Ozaki A. Neurological outcomes in traffic accidents: A propensity score matching analysis of medical and non-medical origin cases of out-of-hospital cardiac arrest. The American Journal of Emergency Medicine 2024 78 176-181 ※インパクトファクター4.996
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本病院救急救命士研究会, 運営, 神奈川県川崎市, 2023.11.3.

氏名：岩崎 隆

- 1 研究題目 Apple Watch用胸骨圧迫フィードバックアプリの開発とその効果の検証, 入浴関連死の予防対策
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本災害医学会, 東北救急医学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. JPTEC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care) インストラクター プロバイダーコース 2023.7.1-7.2, 11.18-11.19.
 2. 防災士講師 西蒲区松野尾小学校 2023.11.10.
 3. とよさか中高年教養大学講師 葛塚コミュニティセンター 2023.11.30.
- 4 学内委員会活動 学生委員会

(4) 診療放射線学科

氏名：笠原 敏文

1 研究題目 放射線治療技術の精度に関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本放射線腫瘍学会, 日本放射線技師教育学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 第23回新潟医療福祉学科学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.10.28.

3) 学会等でのその他の活動

1. 第23回新潟医療福祉学科学術集会, 座長, 新潟市, 2023.10.28.

3 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県診療放射線技師会, すこやかとしびまつり, 協賛, 長岡市, 2023.9.16, 9.17.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県診療放射線技師会(監事), 新潟放射線治療技術懇話会(世話人), 新潟県核医学懇話会(世話人), 新潟放射線治療研究会(世話人)

氏名：児玉 直樹

1 研究題目 認知症の早期発見と予防に関する研究, 軽度認知障害から認知症への進行予測に関する研究, 在宅で利用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発

2 論文

1. Kai C, Ishizuka S, Otsuka T, Nara M, Kondo S, Futamura H, Kodama N, Kasai S. Automated Estimation of Mammary Gland Content Ratio Using Regression Deep Convolutional Neural Network and the Effectiveness in Clinical Practice as Explainable Artificial Intelligence. *Cancers (JCR)*. 2023; 15(10): 2794 (査読あり)
2. Takahashi S, Takahashi D, Tamura T, Matsuo H, Kodama N. Comparison of Cerebral Blood Volume during Cold and Warm Stimulation in Elderly and Young Subjects. *J Biomed Phys Eng (JCR)*. 2023; 13(4): 345-352 (査読あり)
3. Sasaki K, Sakurai N, Yuguchi Y, Kasai S, Kodama N. Identification of areas of the brain activated by active stimulation in hairless skin. *Behav Brain Res (JCR)*. 2023; 26: 114758 (査読あり)
4. Sakurai N, Nagasaka K, Sasaki K, Yuguchi Y, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. The relaxation effect of autonomous sensory meridian response depends on personal preference. *Front Hum Neurosci (JCR)*. 2023; 17: 1249176 (査読あり)
5. Ikarashi H, Otsuru N, Gomez-Tames J, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. *Eur J Pain (JCR)*. 2024; Online ahead of print. (査読あり)
6. Kai C, Otsuka T, Nara M, Kondo S, Futamura H, Kodama N, Kasai S. Identifying factors that indicate the possibility of non-visible cases on mammograms using mammary gland content ratio estimated by artificial intelligence. *Front Oncol (JCR)*. 2024; 14: 1255109 (査読あり)
7. 櫻井典子, 甲斐千遥, 長和弘, 近藤敏志, 児玉直樹, 笠井聡. 乳房X線画像における乳房構成解析 (Breast Density Assessment) ソフトウェアの有用性. *日本診療放射線技師会誌 (協力学術研究団体)*. 2023; 70(8): 756-763. (査読あり)
8. 堀田一樹, 児玉直樹, 森下慎一郎, 椿淳裕. 高強度運動後の筋血流・酸素化動態からみたクールダウンの効果 MRIを用いた検討. *デサントスポーツ科学*. 2023; 44: 36-45.
9. 児玉直樹. 診療放射線技師として必要となる研究倫理と報告について. *日本診療放射線技師会誌 (協力学術研究団体)*.

術研究団体). 2023; 70(13): 1497-1504.

10. 小杉尚子, 石井健太郎, 児玉直樹. 親しみや安心感を感じさせる「話しかけ」ができるAIエージェントの開発研究. 専修ネットワーク&インフォメーション. 2024; 32: 19-25.

3 報告書

1. 児玉直樹, 笠井聡, 内山良一, 吉田皓文. 国際共同研究強化 (B), 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究成果報告書, 2021~2024, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 児玉直樹. 研究倫理におけるJARTの取り組み. 日本画像医療システム工業会政策企画会議特定テーマ講演 (東京都), 2023.6.28. 【講演】
2. 児玉直樹. 研究倫理について~JARTの取り組み~. FRT九州研究会 (那覇市), 2023.7.1. 【特別講演】
3. 児玉直樹. 認知症の早期発見と予防への取り組み~超高齢社会に必要なヘルスケア~. 第12回日本認知症予防学会学術集会 (新潟市), 2023.9.15. 【大会長講演】
4. 児玉直樹. 診療放射線技師として必要となる研究倫理と報告について. 第39回日本診療放射線技師学術大会 (熊本市), 2022.9.29. 【シンポジウム】
5. 児玉直樹. 脳機能計測による認知症の早期診断と予防. 第38回日本老年精神医学会秋季大会 (東京都), 2022.10.13. 【シンポジウム】
6. 児玉直樹. 日本診療放射線技師学術大会における「研究」と「報告」について. 第51回日本放射線技術学会秋季学術大会 (名古屋市), 2022.10.27. 【シンポジウム】
7. 児玉直樹. 超高齢社会に求められるヘルスケア~画像領域を中心に~. 第27回日本遠隔医療学会学術大会 (新潟市), 2023.11.11. 【大会長講演】
8. 児玉直樹. 告示研修について. 関東地区労災病院放射線技師会令和5年度学術研修会 (上越市), 2023.11.18. 【講演】
9. 児玉直樹. 診療放射線技師法改正に伴う告示研修. 岐阜県診療放射線技師会冬季セミナー (大垣市), 2024.1.27. 【特別講演】
10. 児玉直樹. 診療放射線技師の現状と将来. 島根県診療放射線技師会創立70周年記念講演会 (松江市), 2024.3.2. 【講演】
11. 児玉直樹. 少子超高齢社会における社会保障と医療従事者の将来展望. 新潟県厚生連放射線技師会令和5年度放射線技師長・主任研修会 (長岡市), 2024.2.23. 【講演】
12. 児玉直樹. 診療放射線技師学校養成所指定規則の改正と参加型臨床実習. 新潟県診療放射線技師会下越地区会 (新潟市), 2024.3.12. 【講演】
13. Kodama N. Clinical practice and careers of radiological Technologist in Japan. The 31st East Asia Conference of Radiological Technologists (Taipei, Taiwan), 2024.3.24. 【シンポジウム】

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技師教育学会 (会長), 日本認知症予防学会 (理事, 認知症予防専門士制度委員会委員長, 認定試験委員会委員長), 日本老年精神医学会, 日本認知症学会, 日本遠隔医療学会 (運営委員), 日本診療放射線学教育学会 (理事), 電子情報通信学会, 電気学会, 日本放射線技術学会, 日本データベース学会, ITヘルスケア学会, 日本老年社会学会, 新潟医療福祉学会, 日本認知症予防学会新潟県支部 (世話人)

2) 学術集会の主催

1. 日本認知症予防学会, 第12回日本認知症予防学会学術集会, 大会長, 新潟市, 2023.9.15-9.17.
2. 日本診療放射線技師会, 第39回日本診療放射線技師学術大会, プログラム委員, 実行委員, 熊本市, 2022.9.29-10.1.
3. 新潟医療福祉学会, 第23回新潟医療福祉学会学術集会, 大会長, 新潟市, 2023.10.28.
4. 日本遠隔医療学会, 第27回日本遠隔医療学会学術大会, 大会長, 新潟市, 2023.11.11-11.12.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 編集委員長
 2. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 査読委員
 3. 日本診療放射線技師会, 日本診療放射線技師会誌, 査読委員
 4. 電気学会, 電気学会共通英文論文誌, 査読委員
 5. 日本臨床衛生検査技師会, 認定認知症領域検査技師制度試験WG, 試験委員
 6. 世界放射線技師会 (ISRRT), Artificial Intelligence Working Group, 専門委員
 7. 日本データベース学会, 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2024), 座長, 姫路市, 2024.3.1.
- 6 社会活動
- 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
診療放射線技師国家試験委員会 (委員)
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本診療放射線技師会 (副会長, 国際委員会委員, 診療放射線技師国家試験問題評価委員会委員, 倫理委員会委員, 学術教育委員会委員, 臨床実習指導教育委員会委員, 告示研修実施運営委員会委員, 認定資格委員会委員, 国際認定資格委員会委員, 教育委員会委員), 新潟県診療放射線技師会 (理事, 表彰委員会委員), 世界放射線技師会 (理事), 国際専門放射線技師認定機構 (理事)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021~2024年度, 国際共同研究強化 (B), 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 研究・産官学連携推進機構 (研究・産官学連携支援部長), 知的財産委員会 (委員長), 利益相反マネジメント委員会 (委員長), 運動機能医科学研究所 (所員)

氏名 : 笠井 聡

- 1 研究題目 医用画像およびデータを用いたAIに関する研究
- 2 著書
 1. 寺本篤司, 藤田広志, 医療画像情報工学, 第2班, 医歯薬出版, 2023年
- 3 論文
 1. Kai C, Ishizuka S, Otsuka T, Nara M, Kondo S, Futamura H, Kodama N, Kasai S. "Automated Estimation of Mammary Gland Content Ratio Using Regression Deep Convolutional Neural Network and the Effectiveness in Clinical Practice as Explainable Artificial Intelligence", Cancers 2023; 15: 2794.(Review) 責任著者
 2. 櫻井典子, 甲斐千遥, 長和弘, 近藤敏志, 児玉直樹, 笠井聡. 乳房X線画像における乳房構成解析 (Breast Density Assessment) ソフトウェアの有用性, 日本診療放射線技師会誌 2023; vol.70 no.850, 756-763. (査読あり) 責任著者
 3. Kondo S, Kasai S, Hirasawa K. Tackling Mitosis Domain Generalization in Histopathology Images with Color Normalization, MIDOG 2022, DRAC 2022: Mitosis Domain Generalization and Diabetic Retinopathy Analysis, 217-220. (Review)
 4. Chinedu Innocent Nwoye, Tong Yu, Saurav Sharma, Aditya Murali, Deepak Alapatt, Armine Vardazaryan, Kun Yuan, Jonas Hajek, Wolfgang Reiter, Amine Yamlahi, Finn-Henri Smidt, Xiaoyang Zou, Guoyan Zheng, Bruno Oliveira, Helena R. Torres, Kondo S, Kasai S, Felix Holm, Ege Özsoy, Shuangchun Gui, Han Li, Sista Raviteja, Rachana Sathish, Pranav Poudel, Binod Bhattarai, Ziheng Wang, Guo Rui, Melanie Schellenberg, João L. Vilaça, Tobias Czempiel, Zhenkun Wang, Debdoot Sheet, Shrawan Kumar Thapa, Max Berniker, Patrick Godau, Pedro Morais, Sudarshan Regmi, Thuy Nuong Tran, Jaime Fonseca, Jan-Hinrich Nölke, Estevão Lima, Eduard Vazquez, Lena Maier-Hein,

Nassir Navab, Pietro Mascagni, Barbara Seeliger, Cristians Gonzalez, Didier Mutter, Nicolas Padoy, CholecTriplet2022: Show me a tool and tell me the triplet - an endoscopic vision challenge for surgical action triplet detection, Medical Image Analysis Medical Image Analysis Volume 89, October 2023, 102888. (Review)

5. Coen de Vente, Koenraad A. Vermeer, Nicolas Jaccard, He Wang, Hongyi Sun, Firas Khader, Daniel Truhn, Temirgali Aimyshev, Yerkebulan Zhanibekuly, Tien-Dung Le, Adrian Galdran, Miguel Ángel González Ballester, Gustavo Carneiro, R. G. Devika, Hrishikesh Panikkasseril Sethumadhavan, Densen Puthussery, Hong Liu, Zekang Yang, Kondo S, Kasai S, Edward Wang, Ashritha Durvasula, Jónathan Heras, Miguel Ángel Zapata, Teresa Araújo, Guilherme Aresta, Hrvoje Bogunović, Mustafa Arikian, Yeong Chan Lee, Hyun Bin Cho, Yoon Ho Choi, Abdul Qayyum, Imran Razzak, Bram van Ginneken, Hans G. Lemij, Clara I. Sánchez, AIROGS: Artificial Intelligence for ROBust Glaucoma Screening Challenge, IEEE Transactions on Medical Imaging, 2024, Volume: 43, Issue: 1 542-557 (Review)
6. Sasaki K, Sakurai N, Yuguchi Y, Kasai S, Kodama N. Identification of areas of the brain activated by active stimulation in hairless skin, Behavioural Brain Research, 2023, Volume 458, 26 February 2024, 114758, <https://doi.org/10.1016/j.bbr.2023.114758> (Review)
7. Sakurai N, Nagasaka K, Sasaki K, Yuguchi Y, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. The Relaxation Effect of Autonomous Sensory Meridian Response Depends on Personal Preference, Frontiers in Human Neuroscience, 2023; 17: 1249176. (Review)
8. Kai C, Otsuka T, Nara M, Kondo S, Futamura H, Kodama N, Kasai S. Identifying factors that indicate the possibility of non-visible cases on mammograms using mammary gland content ratio estimated by artificial intelligence, Frontiers in Oncology, 2024, Volume 14, <https://doi.org/10.3389/fonc.2024.1255109>. (Review)
9. Yoshida A, Kai C, Futamura H, Oochi K, Kondo S, Sato I, Kasai S. Spirometry test values can be estimated from a single chest radiograph, Frontiers in Medicine, 2024, Volume 11, <https://doi.org/10.3389/fmed.2024.1335958>. (Review)
10. Marc Aubreville, Nikolas Stathonikos, Taryn A. Donovan, Robert Klopffleisch, Jonathan Ganz, Jonas Ammeling, Frauke Wilm, Mitko Veta, Samir Jabari, Markus Eckstein, Jonas Annuscheit, Christian Krumnow, Engin Bozaba, Sercan Cayir, Hongyan Gu, Xiang 'Anthony' Chen, Mostafa Jahanifar, Adam Shephard, Kondo S, Kasai S, Sujatha Kotte, VG Saipradeep, Maxime W. Lafarge, Viktor H. Koelzer, Ziyue Wang, Yongbing Zhang, Sen Yang, Xiyue Wang, Katharina Breininger, Christof A. Bertram, Domain generalization across tumor types, laboratories, and species -- insights from the 2022 edition of the Mitosis Domain Generalization Challenge, Medical Image Analysis, 2024, Volume 94, 103155. (Review)

4 報告書

1. 笠井聡. 研究活動スタート支援, 胸部単純X線画像を用いた肺年齢推定によるCOPDの早期検出および患者介入の実現, 研究成果報告書, 2021-2022 (2023年度は延長), 研究代表者

5 学会等研究発表

1. Kasai S, Tamori H, Kai C. Attempt to perform subtype classification on mammograms using features from Vision Transformers and global features, European Society of Radiology, 2024.2.28-3.3.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本医用画像工学会 (代議員), 医用画像所法学会 (理事), 日本放射線技術学会 (英語論文誌編集委員), 新潟医療福祉学会, 日本認知症予防学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 認知症予防学会, 第12回認知症予防学会, 実行委員長, 新潟市, 2023.9.15-9.17.

2. 日本遠隔医療学会, 第27回日本遠隔医療学会, プログラム委員長, 新潟市, 2023.11.11, 11.12.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 医用画像工学会, 理事
 2. 日本医用画像工学会, 代議員
 3. Radiological Physics and Technology 英文誌編集委員
 4. 第12回認知症予防学会シンポジウム主催「認知症予防とAI・ICT」
 5. 第27回遠隔医療学会シンポジウム主催「医療用AIの研究と社会実装の現状」
 6. 第12回認知症予防学会座長 口演12: 認知症とAI・ロボット
 7. 医療画像情報学会 セッションII 座長
 8. 日本遠隔医療学会 実行委員
 9. 新潟医療福祉学会 実行委員
 10. 医用画像情報学会誌 査読
- 7 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 多職種を含めた産学連携の取り組み—人工知能開発を通じた連携—, 新潟医療福祉学会 シンポジスト 2023.10.28.
 2. 医用画像領域における人工知能研究と社会実装, 新潟大学大学院特別講義 新潟大学産科婦人科講座 2023.9.27.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. インナービジョン誌への寄稿 Innervision38・12, 2023 DRシステムにおけるAI技術の最新動向および将来展望 2) AI技術を用いた診断診断
 2. 日本放射線技術学会誌への寄稿 画像通信Vol.46, No.1, (通巻90号)「大学／研究室／研究会紹介」新潟医療福祉大学笠井研究室の紹介
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 厚生労働省委託事業「医療系ベンチャー・トータルサポート事業」, 非常勤サポーター, 2023年度
- 8 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021-2022（2023年度は延長継続）, 研究活動スタート支援, 胸部単純X線画像を用いた肺年齢推定によるCOPDの早期検出および患者介入の実現, 研究代表者
 2. 2024-2027, 基盤C, 構造的な異常を有さない胸部単純X線画像を用いた統合的な疾患予測指標の開発, 研究代表者
 3. 2021-2024, 国際共同研究加速基金, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究分担者
 4. 2023-2026, 基盤C, 繰り返し受診マンモグラムを用いたがんの予兆予測AIの開発, 研究分担者
 5. 2023-2026, 基盤C, 脳機能画像解析を用いたゲーム障害の特異的な病態解明, 研究分担者
 6. 2024-2027, 基盤C, 胎児低酸素血症のサイン「遅発一過性徐脈」先行予測AIの開発, 研究分担者
 7. 2024-2028, 基盤B, 軽度認知障害の進行および回復に伴う脳内メカニズムの解明と認知症予防への展開, 研究分担者
 8. 2023, 共同研究（コニカミノルタ）
 9. 2023, 共同研究（トーイツ）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 藤田医科大学大学院, 生体情報学, 2023.11.16.
 2. 室蘭工業大学大学院, 応用情報学特論, 2023.5.11.
- 9 学内委員会活動 入試委員会（副委員長）, AO入試作問部会（部会長）, 倫理委員会, 大学院放射線情報分野分野長

氏名：石風呂 実

- 1 研究題目 3次元画像による骨格筋定量評価, 甲状腺3次元容積定量の評価, CT画像をカラー変換による骨密度測定システムの構築
- 2 著書
 1. 石風呂実. 一般X線撮影編Part.2 INNERVISION(38・11)2023. 88-91
- 3 論文
 1. Tamura M, Kawamoto T, Ishifuro M, Tamura T, Masumoto Y, Kenjo M, Kiguchi M, Awai K, Nagata Y. Radio Frequency Identification Gate System to Identify Misused Personal Dosimeters. 3 October 2023 (査読あり)
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本放射線技術学会(代議員), 日本診療放射線技師会, 広島県診療放射線技師会, 日本放射線技術学会東北支部
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第79回日本放射線技術学会, 代議員, パシフィコ横浜, 4.13-4.16.
 2. 新潟県診療放射線技師会総会, 5.21.
 3. 第21回マルチシンポジウムVERSUS, 世話人, 品川, 6.10.
 4. CTテクノロジー新潟, 新潟市, 7.15.
 5. 第26回CTサミット, 大阪, 7.29.
 6. 第14回東北CT技術研究会, 秋田市, 9.9.
 7. 第39回日本放射線技師学術大会, 熊本市, 9.29-10.1.
 8. 東北放射線医療技術学術大会, 山形市, 11.3-11.4.
 9. 日本遠隔医療学会(実行委員), 新潟市, 11.11-11.12.
 10. 第21回秋田CTテクノロジーフォーラム, 秋田市, 11.18.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会, 実行委員, 新潟市, 10.28.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県厚生連診療放射線技師学術研修会「画像等手術支援について」2023.9.16.長岡中央総合病院

氏名：前島 偉

- 1 研究題目 放射線治療(陽子線治療)における呼吸管理の研究, 放射線治療計画装置におけるAI治療支援装置の開発, BNCTに関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 前島偉. 前立腺癌におけるアトラスデータベースの登録例数の検証, 日本放射線腫瘍学会第36回学術大会(横浜), 2023.11.30.
 2. 五十嵐爽, 前島偉. 放射線治療計画におけるサンプルデータ数の増加による自動輪郭抽出の精度検証, 新潟医療福祉学会学術集会, 2023.10.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会, 長野県診療放射線技師会(副会長), 日本放射線腫瘍学会, 日本医学物理学会, 日本粒子線臨床研究会, 長野県放射線治療技術研究会, 日本粒子線治療技術研究会, ESTRO (European Society for Radiotherapy and Oncology), ASTRO (American Society for Radiotherapy and Oncology), PTCOG (Particle Therapy Co-Operative Group)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会学術集会, 実行委員長, 新潟医療福祉大学, 2023.10.26活動期間2023.3-2024.3.
 2. 信州放射線治療勉強会2023, 勉強会, 世話人代表, web研究会, 2023.7.23.

3. 令和5年度 長野県放射線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, web研究会, 2023.12.16.
4. 第3回日本粒子線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, web研究会, 2024.1.27.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 2023 関東甲信越診療放射線技師学術大会, 南関東実行委員, 甲府市, 2023.6.24-6.25.
 2. 令和5年度 長野県診療放射線技師学術大会, 実行委員, 教育講演座長, 長野県佐久市, 2023.11.5.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 長野県診療放射線技師会東信支部, 講演会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修ー長野県の進め方ー促進活動, 講師, 長野県東信支部WEB開催, 2023.6.16.
 2. 長野県診療放射線技師会, フレッシュアップセミナー, 医療安全管理につて, 講師, 長野県診療放射線技師会WEB開催, 2023.7.8.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2023.5.14.
 2. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2023.7.30.
 3. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2023.10.15.
 4. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2023.12.3.
 5. 長野県診療放射線技師会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修会, 責任者, 松本市, 2024.2.18.
 - 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員
 一般社団法人 長野県診療放射線技師会 副会長, 公益社団法人 日本診療放射線技師会 学術委員, 公益社団法人 日本診療放射線技師会 総会運営委員
- 5 学内委員会活動 広報委員会, 大学院広報委員会, 学術委員会（オブザーバ）

氏名：橋本 薫

- 1 研究題目 根拠に基づいた認知症ケアのための医療と介護の連携手法に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟県診療放射線技師会, 日本診療放射線技師会, 日本医療情報学会, 日本遠隔医療学会, 日本認知症ケア学会, 日本認知症予防学会, 日本医用画像管理学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本認知症予防学会, 第12回日本認知症予防学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.9.15-9.17・3日間
 2. 日本遠隔医療学会, 第27回日本遠隔医療学会学術集会, 実行委員長, 新潟市, 2023.11.11-11.12・2日間
 3. 新潟医療福祉学会, 第23回新潟医療福祉学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.10.28, 1日間
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. ピンクリボンホリデー2023, 骨密度検査, 担当責任者, 新潟市・新潟ユニゾンプラザ, 2023.10.15・1日間
 - 2) 職能団体（協会, 士会等）の委員
 新潟県診療放射線技師会（理事）, 新潟県認知症ケア専門士会（役員）
- 4 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, メンタルヘルス支援

氏名：関本 道治

- 1 研究題目 医療放射線線量評価に関する研究（放射線計測学），環境放射線の研究（放射線計測学），放射線機器管理に関する研究（放射線機器学，放射線管理学），多職種連携医療専門職教育の研究（医学教育）

2 論文

1. Suzuki K, Negishi T, Kato Y, Kono Y, Sekimoto M. Calibration of NaI (Tl) Scintillation Survey Meter Using Industrial X-ray Equipment. Sensors and Materials, Vol. 35, No. 8. (査読あり)
2. Suzuki K, Negishi T, Kato Y, Kono Y, Sekimoto M. Functional Confirmation Using a Medical X-Ray System of a Semiconductor Survey Meter. Open Journal of Radiology, 2024, 14, 1-13 (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 関本道治. 漏えいX線量測定. 第79回日本放射線技術学会総会技術大会（横浜），2023.4.14. 【教育講演】
2. 関本道治. 核医学に関連ある理工学等に関する基礎知識. 第14回核医学専門技師養成講座（WEB），2023.5.13. 【教育講演】
3. 関本道治. 漏えいX線測定の基礎知識. 第4回日本放射線技術学会計測部会サーベイメータ活用セミナー（東京都世田谷区），2023.9.17. 【教育講演】
4. 関本道治, 瀧澤知世. マンモグラフィ装置の受像面や圧迫板による後方散乱が測定値に与える影響. 第51回日本放射線技術学会秋季学術大会（名古屋），2023.10.28.
5. 関本道治. 法令管理に必要な放射線測定の知識. 日本医学物理士会医学物理士セミナー⑤（WEB），2023.12.16. 【教育講演】

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本診療放射線技師会，日本放射線技術学会（専門部会委員，標準化委員会防護部門委員長，診断領域線量標準センター委員，プログラム委員），日本核医学技術学会（電子情報委員），The Asian Society of Nuclear Medicine Technology（HP management），日本核医学専門技師認定機構（教育委員），日本診療放射線学教育学会（出版委員），新潟県診療放射線技師会，日本放射線技術学会東北支部，日本放射線技術学会東京支部（専門委員会委員），新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本放射線技術学会，第2回診断X線領域の線量測定基礎セミナー，プログラム運営，WEB，2023.6.17.
2. 日本放射線技術学会，第13回簡易線量計作製セミナー，プログラム運営，東京，2023.9.16.
3. 日本放射線技術学会，第4回サーベイメータ活用セミナー，プログラム運営，東京，2023.9.17.
4. 日本放射線技術学会，第51回秋季学術大会，プログラム委員，名古屋市，2023.6.1-11.1.
5. 日本放射線技術学会，第80回総会学術大会，プログラム委員，横浜市，2023.11.1-2024.4.16.
6. 日本放射線技術学会，第3回診断X線領域の線量測定基礎セミナー，プログラム運営，WEB，2023.11.11.
7. 日本放射線技術学会東京支部，第78回春期学術大会，実行委員，東京，2023.12.1-2024.5.19.
8. 核医学専門技師認定機構，第15回核医学専門技師養成講座，プログラム委員，WEB，2023.11.1-2024.5.30.
9. 核医学専門技師認定機構，第17回核医学専門技師研修セミナー，プログラム委員，WEB，2023.11.1-2024.5.30.
10. 日本核医学技術学会，第44回日本核医学技術学会総会学術大会，実行委員（広報委員長），横浜市，2023.12.1-現在

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本放射線技術学会，第79回総会学術大会，座長，横浜市，2023.4.15.
2. 日本放射線技術学会，第2回診断X線領域の線量測定基礎セミナー，司会，WEB，2023.6.17.
3. 日本放射線技術学会，第51回秋季学術大会，一般演題（計測部門）審査委員長，名古屋市，2023.6.4-7.1.

4. 日本放射線技術学会, 第51回秋季学術大会, 座長, 名古屋市, 2023.10.28.
5. 日本放射線技術学会, 第51回秋季学術大会, 教育講演司会, 名古屋市, 2023.10.29.
6. 日本放射線技術学会, 第13回東北放射線医療技術学術大会, 座長, 山形市, 2023.11.4.
7. 日本放射線技術学会, 第80回総会学術大会, 一般演題(計測部門) 審査委員長, 横浜市, 2023.11.5-12.10.
8. 日本ラジオロジー協会 JRC2024, International session, 審査委員, 横浜市, 2023.11.1-11.30.
9. 日本放射線技術学会, 第4回診断X線領域の線量測定基礎セミナー, 司会, WEB, 2023.11.11.
10. 日本放射線技術学会誌, 査読

5 社会活動

- 1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
厚生労働省・診療放射線技師国家試験作成委員会(幹事委員)
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本工業標準調査委員会(原案作成分科会委員)

氏名: 長谷川 晃

- 1 研究題目 虚血性心疾患画像診断支援のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発, 超音波画像を用いたSPIDDM早期診断支援システムの開発
- 2 報告書
 1. 長谷川晃. 若手研究(B), 心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発, 研究成果報告書, 2017-2022, 研究代表者
 2. 長谷川晃. 若手研究, 虚血性心疾患CADシステム開発のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. 長谷川晃, 佐藤公紀, 松田莉歩. 超音波検査における撮像方向によるDeep Convolutional Neural Networkの臓器自動認識精度の比較. 第79回日本放射線技術学会総会学術大会(横浜), 2023.4.13-4.16.
 2. 長谷川晃, 佐藤公紀. 異なる深層学習アーキテクチャによる超音波画像からの臓器検出能の比較. 新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2023.10.28.
 3. 島田天太, 長谷川晃. 深層学習を用いた冠動脈狭窄の自動解析に最適な心臓CT画像処理の検証. 新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2023.10.28.
 4. 島田天太, 長谷川晃. CT画像を用いた冠動脈異常の自動分類. 医用画像情報学会第198回春季大会(福岡), 2024.2.3.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本放射線技術学会(中部支部CT研究会世話人), 日本診療放射線技師会, 医用画像情報学会, 日本CT技術学会, 富山県CT研究会(世話人), 日本医用画像工学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本CT技術学会, CT technical boot camp, 実行委員, 金沢市, 2023.8.26.
 2. (公社)日本放射線技術学会, 中部支部セミナーCT technical boot camp, 世話人, 金沢市, 2023.8.27.
 3. 富山県CT研究会, ビギナーズセミナー, 世話人, (オンライン), 2023.9.26.
 4. 新潟医療福祉学会, 新潟医療福祉学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.10.28.
 5. 富山県CT研究会, スキルアップセミナー, 世話人, 富山市, 2023.12.9.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. (公社)日本放射線技術学会, 第79回総会学術大会, 座長, 横浜市, 2023.4.16.
 2. 日本CT技術学会, CT technical boot camp, ハンズオンセミナーチューター, 金沢市, 2023.8.26.
 3. (公社)日本放射線技術学会, 中部支部セミナーCT technical boot camp, ハンズオンサポーター,

金沢市, 2023.8.27.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 高志中等教育学校令和5年度第6回土曜活用講座, 救急医療を支えるCT検査, 講師, 高志中等教育学校PTA, 高志中等教育学校生徒, 新潟市, 2024.2.17.

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

(公社)日本放射線技術学会梅谷賞(2023.4.16)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟医療技術専門学校臨床検査学科2年, 画像検査学, 2023.10.1-2024.3.31.

7 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会, 図書館・学習支援委員会

氏名: 鷲見 和幸

1 研究題目 脳解析画像を用いたゲーム障害の特異的な病態解明, 超音波を用いた胃内の液体停留時間に関する検討, CT CにおけるDRL設定に向けて

2 学会等研究発表

1. 伊藤大地, 鷲見和幸, 山田和奏, 二瓶孝太, 佐藤奨真. Examination of the rate of dose change at standard body weight in colorectal CT colonography. 79thJRC (横浜市・日本), 2023.4.14-4.16.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 日本診療放射線技師会・告示研修実施運営委員会, 物品確認, 消化管関連部門担当, 東京・三田国際ビルB1, 2024.3.15-3.17・3日間

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

医療被ばく研究情報ネットワーク(J-RIME)診断参考レベルグループ(透視部門)(委員), 公益社団法人全国労働衛生団体連合会胃X線検査部門技術委員会(委員)

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本診療放射線技師会告示研修実施運営委員会(委員), 日本診療放射線技師会国際委員会(委員), 日本診療放射線技師会国際認定資格委員会(委員)

5 学内委員会活動 国際交流センター実施運営委員会・広報部会(部長), 国際交流活動部会(委員), 連携総合ゼミ実行部会(委員)

氏名: 吉田 宜清

1 研究題目 人工知能を用いた認知症診断MRI画像が脳機能解析に与える影響

2 論文

1. Yamamoto S, Okada Y, Yoshida N, Takeshita K, Sakurai N, Ichikawa A, Takimoto M. An Investigation Into the Effect of Different Static Magnetic Fields of 1.5-T and 3.0-T MRI on the Measurement of Tumor Diameters in Breast Cancer. Cureus Journal of Medical Science. 2024 Jan 24; (review)

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会, 日本磁気共鳴医学会, 日本認知症予防学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 第12回日本認知症予防学会学術集会, 実行委員, 新潟, 2023.9.15-9.17.
2. 第23回新潟医療福祉学会学術集会, 実行委員, 新潟, 2023.10.28.

3. 第27回日本遠隔医療学会学術大会, 実行委員, 新潟, 2023.11.11-11.12.
- 4 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会

氏名：大野 健

- 1 研究題目 磁気共鳴学, 神経科学, 磁気共鳴を用いた脳機能の解明
- 2 論文
 1. Ikarashi H, Otsuru N, J. Gomez-Tames, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. Eur J Pain. 2024 ;doi: 10.1002/ejp.2249. (review)
- 3 報告書
 1. 大野健, 若手研究, 化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 熊澤将大, 大野健, 下山好充, 松浦由生. MR拡散強調画像を用いたクロール泳の筋活動評価と競技力との関係. 第12回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 (千葉県勝浦市), 2023.7.8.
 2. 川村瞭, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹. 短時間のパズル課題が認知機能にもたらす効果. 第12回日本認知症予防学会学術集会 (新潟県新潟市), 2023.9.16.
 3. 大石美鈴, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹. fMRIを用いた表情と認知機能の関係の研究. 第12回日本認知症予防学会学術集会 (新潟県新潟市), 2023.9.16.
 4. 川崎裕樹, 児玉直樹, 大野健, 櫻井典子. f-MRIを用いたタイポグリセミア現象による脳賦活部位の同定. 第12回日本認知症予防学会学術集会 (新潟県新潟市), 2023.9.16.
 5. 市川真那人, 児玉直樹, 大野健, 櫻井典子. ASMR動画視聴時の脳の活動部位の違いと認知症予防への可能性. 第12回日本認知症予防学会学術集会 (新潟県新潟市), 2023.9.16.
 6. Ohno K, Sakurai N, Kodama N. Identification of decreased dorsolateral prefrontal cortex activity during emotion processing in social anxiety disorder: An fMRI Study. 30th East Asia Conference of Radiological Technologists (Kumamoto-city, Kumamoto), September 29th to October 1th, 2023.
 7. 伊藤陽祐, 福多真史, 太田智慶, 大野健, 渡辺将樹, 畠山公大, 増田浩, 五十嵐博中, 大石誠. Chemical Exchange Saturation Transfer (CEST) 法を用いたてんかん原性領域の可視化への試み. 第56回日本てんかん学会学術集会 (東京都新宿区), 2023.10.20.
 8. 大野健, 新井田理子, 児玉直樹. fMRIを用いた主観的気分がもたらす表情認知効果への影響の検討. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟県新潟市), 2023.10.28.
 9. 市川真那人, 大野健, 児玉直樹. fMRIにおける最適な FA, TE の検討. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟県新潟市), 2023.10.28.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本医学物理学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本磁気共鳴医学会, 日本脳循環代謝学会, 新潟医療福祉学会, 日本認知症予防学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第27回 日本遠隔医療学会学術大会, 実行委員, 新潟県新潟市, 2023.11.11-11.12.
 2. 第23回 新潟医療福祉学会, 実行委員, 新潟県新潟市, 2023.10.28.
 3. 第36回 新潟県核医学技術研究会, 実行委員, オンライン, 2023.10.6.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2023年, 若手研究, 病理遺伝子診断時代の神経膠腫のためのMR画像バイオマーカーの開発と検証, 研究代表者

2. 2023年, 基盤研究 (B), 月経随伴症状としての腰痛の発生メカニズム解明と対処法の開発, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター (非常勤研究員)

7 学内委員会活動 学生委員, 交通安全委員, 科研費対策委員, 運動機能医科学研究所 (研究員)

氏名 : 吉田 皓文

- 1 研究題目 胸部X線画像から呼吸機能を推定する人工知能手法の研究, 医療画像から健康指標値を推定する人工知能手法の研究

2 論文

1. Yoshida A, Kai C, Futamura H, Oochi K, Kondo S, Sato I, Kasai S. Spirometry test values can be estimated from a single chest radiograph. Front Med (Lausanne). 2024; 6(11)1335958. (review)

3 学会等研究発表

1. 吉田皓文, 甲斐千遥, 大地邦彦, 小林祐貴, 近藤敏志, 二村仁, 笠井聡. 深層学習による胸部X線写真を用いた呼吸機能推定. 医用画像情報学会令和5年度秋季大会 (札幌市), 2023.10.7.
2. 吉田皓文. 牧野家下肢骨にみられるハリス線について. 成果発表公開シンポジウム「長岡藩牧野家の歴代藩主と正室の遺骨の再調査」(長岡市), 2024.3.9-3.10. 【シンポジウム】

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本医学物理学会, 日本医用画像工学会, 医用画像情報学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本認知症予防学会, 第12回日本認知症予防学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.9.15-9.17.
2. 新潟医療福祉学会, 第23回新潟医療福祉学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.10.28.
3. 日本遠隔医療学会, 第27回日本遠隔医療学会学術大会, 実行委員, 新潟市, 2023.11.11-11.12.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和3年厚生労働省告示第273号研修 (告示研修), 実技研修ファシリテータ, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟医療福祉大学, 2023.7.22.
2. 令和3年厚生労働省告示第273号研修 (告示研修), 実技研修ファシリテータ, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟医療福祉大学, 2023.7.23.
3. 令和3年厚生労働省告示第273号研修 (告示研修), 実技研修ファシリテータ, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟大学医療人育成センター, 2024.2.17.
4. 令和3年厚生労働省告示第273号研修 (告示研修), 実技研修ファシリテータ, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟大学医療人育成センター, 2024.2.18.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究 (B), 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 研究分担者
2. 2021年度, 科研費国際共同研究強化B, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

第77回新潟県診療放射線技師会学術大会学術奨励賞 (2023.5.21)

7 学内委員会活動 教務委員会, FD・SD推進委員会

氏名 : 櫻井 典子

- 1 研究題目 機能的MRIによる脳内メカニズムの研究, 画像診断部門におけるコンピュータ支援診断システム

(CAD) の研究

2 論文

1. 櫻井典子, 甲斐千遥, 長和弘, 近藤敏志, 児玉直樹, 笠井聡. 乳房X線画像における乳房構成解析 (Breast Density Assessment) ソフトウェアの有用性. 日本診療放射線技師会誌 2023, Vol.70(8) No.850, 20-27. (査読あり)
2. Sasaki K, Sakurai N, Yuguchi Y, Kasai S, Kodama N. Identification of areas of the brain activated by active stimulation in hairless skin. Behavioural Brain Research 458 (2024) 2023. (review)
3. Sakurai N, Nagasaka K, Sasaki K, Yuguchi Y, Takahashi S, Kasai S, Onishi H, Kodama N. The Relaxation Effect of Autonomous Sensory Meridian Response Depends on Personal Preference. Frontiers in Human Neuroscience. 1249176, 2023. (review)
4. Yamamoto S, Okada Y, Yoshida N, Takeshita K, Sakurai N, Ichikawa A, Takimoto M. An investigation into the effect of different static magnetic fields of 1.5-T and 3.0-T MRI on the measurement of tumor diameters in breast cancer. Cureus Journal of Medical Science. 2024. (review)
5. Ikarashi H, Otsuru N, J Gomez-Tames, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. 2249. 2024. (review)

3 学会等研究発表

1. 櫻井典子, 児玉直樹. 脳機能メカニズムにおける好みのASMRによるリラクゼーション効果の検討. 第39回日本診療放射線技師学会大会(熊本市) 2023.9.29-10.1.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本放射線技師教育学会, 日本認知症予防学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第12回日本認知症予防学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.9.15-9.17.
 2. 第23回新潟医療福祉学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.10.28.
 3. 第27回日本遠隔医療学会学術大会, 実行委員, 新潟市, 2023.11.11-11.12.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第12回日本認知症予防学会学術集会, 評価委員, 新潟市, 2023.9.15.

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2023.7.22.
2. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2023.7.23.
3. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟大学医学部大講堂, 2024.2.17.
4. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟大学医学部大講堂, 2024.2.18.
5. 医療研修推進財団, 診療放射線技師臨床実習指導者講習会, ファシリテーター, Web, 2023.9.23-9.24.
6. 医療研修推進財団, 診療放射線技師臨床実習指導者講習会, ファシリテーター, Web, 2023.10.14-10.15.

6 学内委員会活動 広報委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会, 運動機能医科学研究所

氏名：甲斐 千遥

1 研究題目 マンモグラムの用いた乳がんの成長予測を行う AI 開発と評価

2 論文

1. Kai C, Ishizuka S, Otsuka T, Nara M, Kondo S, Futamura H, Kodama N, Kasai S. Automated Estimation of Mammary Gland Content Ratio Using Regression Deep Convolutional Neural Network and the Effectiveness in Clinical Practice as Explainable Artificial Intelligence. *Cancers*. 2023; 15(10): 2794-2794. (review)
2. Kai C, Otsuka T, Nara M, Kondo S, Futamura H, Kodama N, Kasai S. Identifying factors that indicate the possibility of non-visible cases on mammograms using mammary gland content ratio estimated by artificial intelligence, *Frontiers in Oncology*, 2024, 14: 1255109 (review)
3. Yoshida A, Kai C, Futamura H, Oochi K, Kondo S, Sato I, Kasai S. Spirometry test values can be estimated from a single chest radiograph. *Front. Med.* 2024; 11: 1335958. (review)
4. 日本放射線技術学会 部会誌の総説を執筆, 画像通信 Vol.46 No.1 (通巻90) P.45-50 「Radio (geno) mics による乳がん診断の可能性」

3 報告書

1. 甲斐千遥. 研究活動スタート支援, マンモグラムの用いた乳がんの成長予測による検診の受診勧奨および早期発見の実現, 研究成果報告書, 2022-2024, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 甲斐千遥. Radio (geno) mics による乳がん診断の可能性. 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2023.4.14. 【教育講演】
2. 廣野悠太, 佐藤郁美, 吉田皓文, 甲斐千遥, 笠井聡. 半教師有学習による超音波ドプラ信号内のノイズ除去および生体信号抽出の可能性検討. 第 62 回日本生体医工学会大会, 2023.5.19.
3. 坂井凜香, 福島祥之, 甲斐千遥, 大塚恒博, 二村仁, 笠井聡, 近藤敏志. マンモグラムの左右比較手法の検討, 画像の認識・理解シンポジウム (MIRU), 2023.7.27.
4. 石塚紗智, 甲斐千遥, 大塚恒博, 二村仁, 笠井聡. 半主観的正解領域決定に基づく乳腺領域自動抽出 AI システムの開発: 初期方向依存の影響の確認. 医用画像情報学会 令和 5 年度年次 (第 197 回) 大会, 2023.10.7.
5. 吉田皓文, 甲斐千遥, 大地邦彦, 小林祐貴, 近藤敏志, 二村仁, 笠井聡. 深層学習による胸部 X 線写真を用いた呼吸機能推定. 医用画像情報学会 令和 5 年度年次 (第 197 回) 大会, 2023.10.7.
6. 石塚紗智, 甲斐千遥, 笠井聡. 乳房構成算出のための乳腺領域自動抽出 AI システムの開発: U-Net によるパラメータ調整の検討. 第 23 回新潟医療福祉学会学術集会, 2023.10.28.
7. 甲斐千遥, 石塚紗智, 笠井聡. Deep Convolutional Neural Network から算出した特徴量を用いた乳房構成分類手法の検討: 主成分分析による次元削減手法. 第 23 回新潟医療福祉学会学術集会, 2023.10.28.
8. 佐藤郁美, 廣野悠太, 甲斐千遥, 笠井聡. AI を用いた胎児一過性徐脈の予測可能性検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023.12.9.
9. Kai C, Kasai S. Evaluation of the usefulness of breast density assessment application for radiographers: comparison with mammographers, *European Society of Radiology*, 2024.2.28-3.3.
10. Kai C, Kasai S. Breast cancer risk assessment with AI-based Breast Age estimation, *European Society of Radiology*, 2024.2.28-3.3.
11. Kasai S, Tamori H, Kai C. Attempt to perform subtype classification on mammograms using features from Vision Transformers and global features, *European Society of Radiology*, 2024.2.28-3.3.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 日本認知症予防学会, 日本看護科学学会
- 2) 学術集会の主催

1. 第12回 日本認知症予防学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.9.15-9.17.
 2. 新潟医療福祉学会, 第23回学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.10.28.
 3. 第27回 日本遠隔医療学会学術大会, 実行委員, 新潟市, 2023.11.11-11.12.
- 3) 学会等でのその他の活動
1. 第27回 日本遠隔医療学会学術大会, シンポジウム, 座長, 新潟市, 2023.11.12.
 2. 医用画像情報学会雑誌, 査読
 3. 日本放射線技術学会 部会誌の総説を執筆, 画像通信 Vol.46 No.1 (通巻90) P.45-50 「Radio (geno) micsによる乳がん診断の可能性」
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 令和4年度, 研究活動スタート支援, マンモグラムを用いた乳がんの成長予測による検診の受診勧奨および早期発見の実現, 研究代表者
 2. 令和5年度, 基盤研究 (C), 繰り返し受診マンモグラムを用いたがんの予兆予測AIの開発, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

第23回新潟医療福祉学会学術集会 奨励賞 (2023.10.28)
- 7 学内委員会活動 入試委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会 (連携基礎ゼミ実行部会)

4) 健康科学部

(1) 健康栄養学科

氏名：永井 徹

- 1 研究題目 地域高齢者のサルコペニア予防と栄養支援に関する研究，回復期リハビリテーション患者の栄養治療に関する研究
- 2 論文
 1. 佐藤成登志，古西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，稲葉洋美，岩森大，永井徹，田村典子，増田紘之，海和美咲，能村友紀，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉．介護予防における大学との連携事業2023年度報告書．
 2. Sato N, Takano K, Konishi I, Kobayashi R, Ishigami K, Kinoshita N, Nomura T, Nagai T, Masuda H, Sato D, Uchiyama W, Kanda M. Classification and comparison of the physical characteristics and functions of various age groups of community-dwelling elderly individuals participating in the Kayoi-no-ba program. The Journal of Physical Therapy Science. 2024; Ther. Sci. 36: 313-318. (査読あり)
 3. 山田智子，ハフマン ジェフリー，田口円裕，石上和男，永井徹，木下直彦，瀧口徹．日本と豪州国民の各種う蝕予防法に関する認識と実践の差．日本健康教育学会誌．2023; 31(3): 117-125. (査読あり)
 4. 永井徹，増田紘之，海和美咲，岩森大，田村典子，稲葉洋美．地域高齢女性における老年症候群予防チェックリストの有用性に関する検討．新潟栄養・食生活学会誌．2024; 24: 51-56. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 永井徹，竹内瑞希，井上達朗，坂井邦彦，齋藤泰晴．COVID-19流行下における地域高齢者サルコペニア摂食嚥下障害予防プログラムに関する検討．第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会（横浜市），2023.5.9-5.10.
 2. 永井徹，石月公美子，堂井真里，齋藤泰晴．回復期リハビリテーション患者における入棟時の嚥下機能と口腔状態の関連．第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会（横浜市），2023.9.2-9.3.
 3. 永井徹，竹内瑞希，井上達朗，齋藤泰晴，石月公美子，堂井真理，坂井邦彦，遠藤沙保里，野崎彰子，山石理恵，笠原純子，北林紘，高橋洋平．医療職と医療系学生の連携による地域高齢者サルコペニア予防啓発の有用性．第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会（横浜市），2024.2.15-2.16.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本栄養治療学会（学術評議員），日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本栄養改善学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. とやの長寿学級，新潟市公民館事業，栄養と身体活動によりフレイルを予防しよう，講師，新潟市鳥屋野地区公民館，高齢者，新潟市，2023.7.3.
 2. むらかみ長寿大学8月特別講座，嚥下障害とサルコペニア，講師，村上市教育委員会長寿大学，高齢者，村上市，2023.8.3.
 3. 江南区高齢者クラブ講座，サルコペニアを知って体力増進，講師，江南区高齢者クラブ，新潟市江南区さつき会館，高齢者，新潟市，2023.9.7.
 4. むらかみ長寿大学3月特別講座，サルコペニア予防で健康長寿，講師，村上市教育委員会長寿大学，高齢者，村上市，2024.3.12.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 新聞，新潟日報，高齢者の飲み込む力維持に，2024.3.4.
 2. 新潟医療福祉学会誌23(2) 1，巻頭言，管理栄養士養成教育の現状と課題，2023.12.25.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会，事務局長，新潟市，2023.4.1-2024.3.31.
- 6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度、科研費基盤研究（C）、サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究、研究代表者

7 学内委員会活動 就職センター運営委員会（委員長）、栄養科学研究センター、ロコモティブ症候群予防研究センター（新潟県介護予防連携事業に係る栄養業務）

氏名：稲葉 洋美

1 研究題目 共食に関する研究、高校生の食と健康に関する研究、スポーツ栄養

2 論文

1. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kaiwa M, Kondou A, Ishikawa H, Liu L, Ishigami K. Impact of the coronavirus disease 2019 pandemic on leisure screen time and eating habits of Japanese high school students: A comparison between before and during the pandemic. *Healthcare*; 2023; 11: 1265. (review)
2. Inaba H, Hoshino F, Edama M, Omori G. Snack and nutrient intake status of top-level female university athletes: A cross-sectional study. *Healthcare*; 2024; 12: 468. (review)
3. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 平林怜, 大森豪. 大学女性アスリートの補食摂取頻度と月経状態および栄養素等摂取状況に関する報告. *新潟栄養・食生活学会誌*. 2024; 24: 13-19. (査読あり)
4. 永井徹, 増田紘之, 海和美咲, 岩森大, 田村典子, 稲葉洋美. 地域高齢女性における老年症候群予防チェックリストの有用性に関する検討. *新潟栄養・食生活学会誌*. 2024; 24: 51-56. (査読あり)
5. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直之, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2023年度報告書, 2024年3月発行 (分担)
6. 岩森大, 稲葉洋美, 永井徹, 澁谷顕一. ところみ調整食品における摂取時の口腔内感覚と摂食嚥下の機能維持に向けた活用. *Precision Medicine*. 2023; 6 (9): 69-74. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 稲葉洋美, 星野美美, 渋谷怜花, 鶴巻優菜, 渡辺尚生, 高野晃輔, 石上和男. COVID-19流行前後における高校生のスクリーンタイムの変化とその要因. 第75回日本家政学会（東京都北区）, 2023.5.26-5.28.
2. 鶴巻優菜, 渋谷怜花, 渡辺尚生, 星野美美, 稲葉洋美. 高校生のボディイメージとメディア利用状況. 第75回日本家政学会（東京都北区）, 2023.5.26-5.28.
3. 渡辺尚生, 渋谷怜花, 鶴巻優菜, 稲葉洋美, 星野美美. 高校生における睡眠の実態と意欲都の関係. 第75回日本家政学会（東京都北区）, 2023.5.26-5.28.
4. 稲葉洋美, 渋谷怜花, 鶴巻優菜, 渡辺尚生, 星野美美. 女子高校生のダイエット行動と食習慣. 第70回日本栄養改善学会（名古屋市）, 2023.9.1-9.3.
5. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. 大学女性アスリートの補食摂取習慣. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜市）, 2023.11.11-11.12.
6. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠・栄養素等摂取状況に関する実態調査. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜市）, 2023.11.11-11.12.
7. 埴晴雄, 江玉睦明, 稲葉洋美, 阿久澤弘, 小林志郎, 伊藤篤司, 小林真里奈, 濱野礼奈, 松浦由生子, 菊元孝則, 大島めぐみ, 大森豪. 本学強化クラブ女子部員の貧血, 鉄欠乏と鉄代謝調節ホルモンヘプシジンの検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜市）, 2023.11.11-11.12.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本家政学会, 日本食生活学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定，栄養・睡眠セミナー，講師，アルビレックス新潟U18選手，オンライン，2023.6.16.
2. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定，栄養セミナー，講師，アルビレックス新潟U18選手，オンライン，2024.2.16.
3. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定，栄養・睡眠セミナー，講師，アルビレックス新潟U13選手，オンライン，2024.3.16.
4. 新潟医療福祉大学・アルビレックス新潟・リハビリテーション病院三者連携協定，栄養・睡眠セミナー，講師，アルビレックス新潟U15選手，オンライン，2024.3.31.

2) 社会活動への参加協力

1. 南浜にじいろ食堂，こども食堂，食事提供，新潟市・新潟北キリスト協会，2023.8.24.
2. 三者連携，アルビレックス新潟U18，栄養睡眠調査，2023.4.28.
3. 三者連携，アルビレックス新潟U18，食事調査，2023.9.25-10.1.
4. 三者連携，アルビレックス新潟U18，食育活動，2024.1.19-（継続中）

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟バイオリサーチパーク 食品ヒト試験審査委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年，科研費基盤研究（C），小学生のやせ願望・やせ行動の要因解明と教育プログラムの構築，研究分担者
2. 2022年，科研費基盤研究（C），女子アスリートの鉄欠乏，貧血に対する新たな診断法の検証とメカニズムの究明，研究分担者
3. 2023年度，新潟県連携事業，介護予防における大学との連携事業，研究分担者

2) 受賞，学位取得，資格取得

Univas Awards 2023-24 MS&AD 賞「安全確保に関する優秀取組み賞」アスリートサポート研究センター，2024.3.11.

3) 学外兼務講師等

1. 放送大学，食と健康，2023.12.16・12.17.

7 学内委員会活動 広報委員会（委員長），大学院入試広報委員会，プロジェクト研究センター運営委員，SHAINプロジェクト，アスリートサポート研究センター，栄養科学研究センター（センター長）

氏名：澁谷 顕一

1 研究題目 筋出力時の脳活動に関する研究（運動生理学），咀嚼による認知機能の改善に関する研究（認知科学）

2 論文

1. Kidoura S, Higuchi Y, Sato N, Santa R, Miyamoto M, Shibuya K. Effects of different food hardness on cognitive inhibitory control function. Journal of Texture Studies. 2023 54(6): 958-962（査読あり）
2. Miyamoto M, Shibuya K. Exploring the Relationship between Nutritional Intake and Menstrual Cycle in Elite Female Athletes. PeerJ. 2023, 11:e16108（査読あり）
3. Miyamoto M, Shibuya K. Sleep duration has a limited impact on the prevalence of menstrual irregularities in athletes: a cross-sectional study. PeerJ. 2024. 12:e16976（査読あり）
4. Shibuya K, Santa R, Miyamoto M. Exploring the Influence of User-Friendly Cutlery on the Food Consumption Levels. International Journal of Gastronomy and Food Science 2024, 100935（査読あり）
5. 岩森大，石井穂乃香，澁谷顕一．研究者の最新動向 様々な呈味成分を活用したとろみ調整液の口腔内感覚．Prevision Medicine. 2023, 6: 1087-1090（査読あり）

6. 岩森大, 稲葉洋美, 永井徹, 澁谷顕一, とろみ調整食品における摂取時の口腔内感覚と摂食嚥下の機能維持へ向けた活用. *Prevision Medicine*. 2023, 6: 753-757 (査読あり)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本生理人類学会, 日本人類動態学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌和文誌編集委員長
 2. PeerJ, Academic Editor
 3. PLOS ONE, Academic Editor
 4. PeerJ Special Issue Editor
 5. Frontiers in Human Neuroscience, Review Editor
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 独立行政法人日本スポーツ振興センターNF協同チームミーティング, レビューシート作成, ボート競技オリンピックチームスタッフ
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益財団法人日本オリンピック委員会(強化スタッフ), 公益財団法人日本オリンピック委員会エリートアカデミー(サポートスタッフ), 公益社団法人日本ローイング協会強化委員会(委員), 公益社団法人日本ローイング協会医科学委員会(スタッフ), 公益社団法人日本ローイング協会U23・タレントマネージメント連携事業(プロジェクトマネージャーアシスタント), 独立行政法人日本スポーツ振興センターJ-Starプロジェクト(サポートスタッフ), 独立行政法人日本スポーツ振興センター「課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム」担当者
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2003年度, 基盤研究C, レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥下機能への刺激効果の解明, 研究分担者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 栄養サポート部, ローイング日本代表チーム食事サポート(2023.5-7; 2024.2-3)
 2. 栄養サポート部, 立命館大学ボート部食事サポート(2023.8-9)
- 6 学内委員会活動 学術委員会, 大学院教務委員会, 栄養科学研究センター(研究員)

氏名: 鈴木 一恵

- 1 研究題目 地域の減塩活動に関する研究, 災害食に関する研究, 地域高齢者の低栄養予防に関する研究(公衆栄養学)
- 2 論文
 1. 鈴木一恵, 石田絵美, 堀越さな恵, 小島美世, 八子円, 竹内瑞希, 渡辺優奈. 通いの場の高齢者を対象にした低栄養予防啓発動画を活用した介入効果の検討. *新潟栄養・食生活学会*. 2024; 24: 64-71. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 鈴木一恵, 石田絵美, 堀越さな恵, 小島美世, 八子円, 竹内瑞希, 渡辺優奈. 通いの場の高齢者を対象にした低栄養予防啓発動画を活用した介入効果の検討. 日本栄養改善学会学術総会(名古屋市), 2023.9.2.
 2. 竹内瑞希, 刈田麻衣子, 樋口辰也, 小黑遙音, 佐藤寧々, 佐藤日彩, 中川真希, 鈴木一恵, 地域高齢者における食品多様性得点と随時尿中Na/K比との関連, 日本栄養改善学会学術総会(名古屋市), 2023.9.2.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本栄養改善学会(評議員), 日本循環器病予防学会, 日本公衆衛生学会, 日本災害食学会, 新潟医療福祉学会, 新潟栄養・食生活学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本災害食学会，査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 出張講座，災害時の食の備え，講師，新潟中央高校，高校生，新潟市，2023.7.21.
2. 五泉市食育推進計画研修会，学童肥満対策について，講師，五泉市学校教育課，学校関係者，オンライン，2023.8.3.
3. そのき市民学級，健康長寿は食事から，講師，曾野木地区公民館，地域住民，新潟市，2023.9.6.
4. 出張講座，災害時の食の備え，講師，岩手県盛岡第二高等学校，高校生，盛岡市，2023.10.5.
5. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講座，朝食の必要性，学生指導，五泉市健康福祉課，村松高校の学生，2023.10.12.
6. 研修会，災害時の食の備え，講師，食生活改善推進委員協議会柏崎支部，会員，柏崎市，2023.10.13.
7. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講座，朝食の必要性，学生指導，五泉市健康福祉課，五泉高校の学生，2023.10.30.
8. 出張講座，災害時の食の備え，講師，中越高等学校，高校生，長岡市，2024.3.4.
9. 働く世代への食育検討会，働く世代の健康づくりへの効果的なアプローチ，講師，三条地域振興局健康福祉環境部，市町村職員，三条市，2024.3.7.

2) 社会活動への参加協力

1. 食の新潟国際賞財団，「にいがた食と農の未来学生」ビジョンコンテスト，学生指導（ビジョン作成等），新潟市・開志専門職大学（決勝大会：準グランプリ受賞），2023.6.1-11.18.
2. 佐渡地域振興局健康福祉環境部・佐渡市役所，高齢者フレイル予防弁当づくり，学生指導（献立考案・健康情報作成），本学・佐渡市，2023.7.28-10.26.
3. 五泉市健康福祉課，地域高齢者を対象とした随時尿中ナトリウム/カリウム比率と食品多様性との関連，研究報告，本学・五泉市，2023.5.11-2024.3.21.
4. 新潟県栄養士会，在宅医療（栄養）推進事業，事業コーディネート・事業分析業務，新潟市，2023.10.10-2024.3.31.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

五泉市食育推進委員会（食育推進事業アドバイザー），五泉市食育推進検討委員会（食育推進事業アドバイザー），柏崎市地産地消推進会議（副議長），柏崎市食育推進会議（副議長），新潟県健康に配慮した中食検討会議（委員），出雲崎町栄養業務検討会（委員），南魚沼市統合給食センター整備検討委員会（委員）

4) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本栄養改善学会（評議員），日本栄養改善学会関東・甲信越支部（幹事），健康ビジネス協議会（おもいやり災害食認定制度事業審査委員会・委員）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度，科研費基盤研究（c），地域在住の自立高齢者の低栄養の実態と関連要因～食意識・食行動に着目して～，研究代表者

7 学内委員会活動 個人情報保護委員会（委員長），国試対策委員会

氏名：田村 典子

- 1 研究題目 血小板血栓のメカニズムの研究，ポリフェノールが血小板血栓形成におよぼす効果，高血糖が血小板血栓形成におよぼす影響

2 論文

1. 永井徹，増田紘之，海和美咲，岩森大，田村典子，稲葉洋美，地域高齢女性における老年症候群予防チェックリストの有用性に関する検討．新潟栄養・食生活学会誌，24，51-56，2024．（査読あり）

2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直之, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業 2023年度報告書, 2024年3月発行 (分担)
- 3 学会等研究発表
 1. 清水瑳羅, 佐藤万理亜, 山下夢朗, 小林栞莉, 平井美由紀, 田村典子. 血小板血栓の初期形成過程におよぼすポリフェノールの効果. 第46回日本バイオレオロジー学会総会, 姫路市, 2023.6.3.
 2. 佐藤万理亜, 清水瑳羅, 山下夢朗, 田村典子. Flow chamberを用いた血小板機能評価によるヒト血漿由来フォンビルブランド因子の精製. 第23回新潟医療福祉学会学術集会シンポジウム, 新潟市, 2023.10.28.
 3. 田村典子, 小林栞莉, 平井美由紀. ケルセチン・ルテオリンによる血小板血栓形成の抑制効果. 第24回新潟栄養・食生活学会総会, 新潟市, 2023.12.9.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本血栓止血学会 (代議員)
- 5 学内委員会活動 図書館学習支援委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会, 国際交流委員会, 大学院教務委員会, メンタルヘルス支援委員, 栄養化学研究センター

氏名：山崎 貴子

- 1 研究題目 調理加工・保存等における食品成分およびテクスチャーの変化
- 2 論文
 1. 竹内瑞希, 中村純子, 山崎貴子, 伊藤直子. 冷凍野菜のゆで加熱によるカリウム・リン含有量の変化. 新潟栄養・食生活学会誌. 2023; 24: 28-34. (査読あり)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本調理科学会, 日本栄養改善学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 日本栄養食糧学会, 新潟医療福祉学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較, 研究代表者
- 5 学内委員会活動 教務委員会 (委員長), 毒物・劇物管理委員会

氏名：岩森 大

- 1 研究題目 高齢者の食事形態と食品のテクスチャーに関する研究
- 2 論文
 1. 寺尾幸子, 岩森大. 動画による包丁技術習得に関する教育効果の検証. 調理技術教育学会, Vol.5(1), 21-25. 査読あり
 2. 岩森大, 稲葉洋美, 永井徹, 澁谷顕一. とろみ調整食品における摂取時の口腔内感覚と摂食嚥下の機能維持に向けた活用. Precision Medicine Vol.6 (9), 69-74. 査読あり
 3. 岩森大, 石井穂乃香, 澁谷顕一. 様々な呈味成分を活用したとろみ調味液の口腔内感覚. Precision Medicine, Vol.6 (13), 57-61. 査読あり
 4. 永井徹, 岩森大, 宮岡洋三, 伊藤加代子. 科研基盤研究 (C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2023, 研究分担者
- 3 報告書
 1. 岩森大, 宮岡洋三, 宮岡里美, 永井徹. 科研基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 科学研究費助成事業研究成果報告書, 2023, 研究代表者
- 4 学会等研究発表

1. 板離子, 岩森大, 真柄仁, 辻村恭憲, 井上誠. とろみと炭酸がもたらす溶液嚥下の変調. 日本顎口腔機能学会 (松戸市), 2023.4.19.
2. 岩森大, 真柄仁, 板離子, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 井上誠. とろみ飲料における感覚刺激の変調が随意嚥下活動に及ぼす影響. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術集会 (横浜市), 2023.9.2-9.3.
- 5 学会活動
 - 1) 学会等でのその他の活動
 1. 日本調理科学会誌, 査読
 2. An Interdisciplinary Journal, 査読
 3. 日本調理科学会誌, 査読
- 6 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. にいがた摂食嚥下サポート研修会, 地域高齢者向け講演会, 運営委員, 新潟 (通年)
 2. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会, 運営委員 (通年)
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 新潟県栄養士会 (広報委員)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2023, 科研基盤研究 (C), レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥下機能への刺激効果の解明, 研究代表者
 2. 科研基盤研究 (C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 研究分担者
- 8 学内委員会活動 学生委員会 (副委員長), 交通安全委員会 (副委員長), 高等教育推進センター運営委員会 (副委員長, 初年次教育推進部会長), 栄養科学研究センター (副センター長)

氏名 : 川上 心也

- 1 研究題目 個体の栄養状態が卵に与える影響についての研究, 卵の成熟機序の研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本卵学会, 新潟医療福祉学会, 北信越畜産学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌, 査読 (1件)
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2022年度, 基盤研究 (C), 個体のエネルギー摂取不足は卵の発育に影響するのか?, 研究代表者
 2. 2023年度, 基盤研究 (C), 小学生のやせ願望・やせ行動の要因解明と教育プログラムの構築, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 放送大学新潟学習センター, 脱初心者のためのパソコン実践, 2023.5.13-5.14.
- 4 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 教務委員会

氏名 : 星野 美美

- 1 研究題目 アスリートの食習慣・睡眠の実態とそれらがコンディションやパフォーマンスに与える影響について, 児童のやせ願望とその実態について, 高校生の睡眠時間と健康について
- 2 論文
 1. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kaiwa M, Kondou A, Ishikawa H, Lingzhi Liu, Ishigami K. Impact of the Coronavirus Disease 2019 Pandemic on Leisure Screen Time and Eating Habits of Japanese High

School Students: A Comparison between before and during the Pandemic. Healthcare (Basel). 2023 Apr 28; 11(9): 1265.

3 学会等研究発表

1. 星野美美, 山口若名美, 武藤侑也, 堀川樹実花, 古俣英奈. 大学生における主観的ストレスの実態と食習慣との関連. 新潟医療福祉学会・第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2023.10.28.
2. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠・栄養素等摂取状況に関する実態調査. 日本臨床スポーツ医学会・第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会(横浜市), 2023.11.11-11.12.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本栄養食糧学会, 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本給食経営管理学会, 日本臨床スポーツ医学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. アルビレックス新潟アカデミーU18栄養調査, セミナー, 講師, アルビレックス新潟アカデミーU18, 新潟市, 2023.4.28.
2. アルビレックス新潟アカデミーU18栄養調査, セミナー, 講師, アルビレックス新潟アカデミーU18, 新潟市, 2023.6.16.
3. アルビレックス新潟アカデミーU18栄養調査, セミナー, 講師, アルビレックス新潟アカデミーU18, 新潟市, 2024.2.16.
4. アルビレックス新潟アカデミーU15セミナー, 講師, アルビレックス新潟アカデミーU15, 新潟市, 2024.3.31.
5. スポーツ医科学コンソーシアムキックオフシンポジウム, 運営, 新潟市, 2023.12.23.

2) 社会活動への参加協力

1. 公益社団法人新潟県栄養士会・研究教育事業部・役員会議, 役員, 新潟市, 2023.4-2024.3.
2. 日本栄養士連盟・新潟支部役員会議, 幹事長, 新潟市, 2023.4-2024.3.
3. 新潟骨を守る会・役員会議, 幹事, 新潟市, 2023.4-2024.3.
4. アルビレックス新潟・栄養関連会議, 役員, 新潟市, 2023.4-2024.3.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益社団法人新潟県栄養士会・研究教育事業部(幹事), 新潟骨を守る会(幹事), 日本栄養士連盟新潟支部(幹事長)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 基盤研究(C), 給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較, 山崎貴子・寺尾幸子・竹内瑞希・星野美美.
2. 2023年度, 基盤研究(C), 小学生のやせ願望・やせ行動の要因解明と教育プログラムの構築, 星野美美・稲葉洋美・川上心也・寺尾幸子.

7 学内委員会活動 同窓会・生涯学習連携推進委員会(委員), 入試委員会(委員), 広報委員(委員), アスリートサポート研究センター(研究員)

氏名: 中村 純子

1 研究題目 CKD普及啓発, ジュニアアスリート

2 論文

1. 竹内瑞希, 中村純子, 山崎貴子, 伊藤直子. 冷凍野菜のゆで加熱によるカリウム・リン含有量の変化. 新潟栄養・食生活学会誌. 2024, 24: 28-34 (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 中村純子, 鈴木優也, 俣田亮平. 中学生とその保護者を対象としたCKD認知度調査と中学生への普及啓発活動, 第66回日本腎臓学会(横浜), 2023.6.10.
2. 中村純子. 地域の特性を生かした慢性腎臓病の栄養管理:新潟, 第11回日本腎臓栄養代謝研究会学術総会・集会(札幌), 2023.7.15.【シンポジウム】
3. 中村純子, 俣田亮平, 竹内瑞希, 成田一衛. 部活動引退に向けた栄養教育の考案～20歳代男性の肥満予防～, 第27回日本病態栄養学会年次学術集会(京都), 2024.1.26.
4. 酒井唯菜, 星野桃香, 中村純子. 児童発達支援センター・放課後等デイサービスをベースとした発達障害児への食育の重要性, 第27回日本病態栄養学会年次学術集会(京都), 2024.1.26.
5. 岡部理菜, 加納由香, 高野栞, 立川ひなた, 渡邊花穂, 中村純子. 中学生男子サッカー部員の部活動引退前後での身体組成と食生活の変化, 第70回日本栄養改善学会学術集会(名古屋), 2023.9.1.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本病態栄養学会(評議員), 日本スポーツ栄養学会, 日本腎臓学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟栄養食生活学会誌, 査読
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市民大学, 家族みんなのための栄養学～実践的な工夫～, 講師, 新潟市生涯学習センター, 新潟市民, クロスパル新潟, 2023.10.28.
 2. 燕市特定保健指導研修会, 糖尿病性腎症のアセスメントと保健指導, 講師, 燕市保健センター, 燕市特定保健指導従事者, 燕市保健センター, 2023.10.31.
 3. 燕市重症化指導研修会, CKDのアセスメントと保健指導, 講師, 燕市保健センター, 燕市特定保健指導従事者, 燕市保健センター, 2023.11.7.
 4. 市民公開セミナー2023in新潟, バランスの良い食事 さて, 何を選びますか?, 講師, 協和キリン株式会社・新潟県, 新潟県民, 新潟市, 2023.11.28.
 5. 秋葉区からだづくり講座, 持続可能なげんきな身体!～12歳からのSDGs～, 講師, 秋葉区, 秋葉区民, 秋葉区保健センター, 2023.11.23.
 6. 世界腎臓デー, 腎臓を守るためにどんな食事をとったらいいの?, 講師, 新潟薬科大学・新潟医療福祉大学, 金津地区住民, 金津コミュニティーセンター, 2024.3.24.
 7. 発達障害の子どもの食育, 野菜を好きになる, 講師, グローバルキッズ小針店, グローバルキッズ小針店を利用する子どもとその保護者, 職員, 2023.10.17.
 8. 幼児食講習会, 不足しがちなミネラル・ビタミンについて, 講師, なの花こども園, 子育て支援センターを利用する親子と職員, なの花こども園子育て支援センター, 2024.1.18.
 9. 栄養講習会, 高校生野球部に必要な栄養, 講師, 文理高校, 文理高校野球部員・マネージャー・コーチ, 文理高校, 2023.12.1, 2024.3.6.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 雑誌, CKD LIAISON No.33(協和キリン株式会社), 新潟県および佐渡市におけるCKD対策の取り組み(囲み記事)
 2. 雑誌, 臨床透析Vol.39 No.5(日本メディカルセンター), 透析食レシピ, 2023.5.10.(囲み記事)
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. こばんはうすさくら新潟中央店, 食育, 講師, 新潟市, 2023.4.2・5.14・8.15・9.19.
 2. 日本文理高校野球部, 栄養サポート, 日本文理高校, 通年
 3. ふくちゃ部, 食育, 講師, 村上市まちづくり協議会集いの場・あらほっ, 2023.5.7・7.9.
 - 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
 新潟市学校運営協議会・梨の花部会(新潟市学校運営協議委員)
- 6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023年度，古泉財団助成金，男子高校生ユースアスリートにおける部活動引退後を見据えた栄養教育の基礎研究，中村純子
- 2) 学外兼務講師等
 1. 木崎小学校，総合学習（弁当の日），2023年度計4回
 2. 佐渡市中学校3校（両津・金井・赤泊），保健体育，2023年度各校1回ずつ
- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会（委員），新潟連携教育研究センター運営委員会（委員）

氏名：増田 紘之

- 1 研究題目 運動中の活動筋疲労について，トレーニングによる骨格筋代謝適応効果について（運動生理生化学）
- 2 論文
 1. 永井徹，増田紘之，海和美咲，岩森大，田村典子，稲葉洋美．地域高齢女性における老年症候群予防チェックリストの有用性に関する検討．2024；新潟栄養・食生活学会誌：24，51-56.
- 3 報告書
 1. 増田紘之．科学研究費基金基盤研究（C），代謝物質としての乳酸から見えてきた，活動筋－交感神経フィードバック神経回路，研究成果報告書，2021-2023，研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 佐藤晶子，増田紘之，越中敬一．短期的なチアミンの摂取制限が骨格筋および肝臓の脂質代謝関連分子に与える影響，日本栄養改善学会（愛知），2023.9.1-9.3.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体力医学会，日本運動生理学会
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 村上市公民館長寿大学，むらかみ長寿大学8月特別健康講座，測定・評価，中高年者，村上地区公民館（マナボーテ村上），2023.8.3.
 2. 村上市長寿大学，地域高齢者サルコペニア予防実践講座，測定，中高年者，村上地区公民館（マナボーテ村上），2024.3.12.
 3. とよさか中高年教養大学，サルコペニア予防の運動と栄養，演者，中高年者，葛塚コミュニティーセンター，2024.3.7.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2022年度，基盤研究（C），代謝物質としての乳酸から見えてきた，活動筋－交感神経フィードバック神経回路，研究代表
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 中央大学保健体育研究所 トレーニング・コーチング研究班（客員研究員），2023.4.1-2024.3.31.
 2. 中央大学保健体育研究所 ヒューマンパフォーマンス研究班（客員研究員），2023.4.1-2024.3.31.
- 8 学内委員会活動 動物実験委員会，科研費対策委員会，ロコモティブ症候群予防研究センター，栄養科学研究センター

氏名：竹内 瑞希

- 1 研究題目 血液透析患者の栄養管理，栄養教育に関する研究，栄養に関する知識Databaseの活用について
- 2 論文
 1. 竹内瑞希，中村純子，山崎貴子，伊藤直子．冷凍野菜のゆで加熱によるカリウム・リン含有量の変化．新潟栄養・食生活学会誌．2024；24：28-34．（査読あり）

2. 柄澤美佳, 渡辺優奈, 竹内瑞希, 斎藤トシ子. 女子学生における朝食の内容が注意・集中力および計算・記憶力に及ぼす影響. 日本栄養士会雑誌. 2024; 67 (1): 34-41. (査読あり)
3. 鈴木一恵, 石田絵美, 堀越さな恵, 小島美世, 八子円, 竹内瑞希, 渡辺優奈. 通いの場の高齢者を対象にした低栄養予防啓発動画を活用した介入効果の検討. 新潟栄養・食生活学会. 2024; 24: 64-71. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 竹内瑞希, 刈田麻衣子, 樋口辰也, 小黑遥音, 佐藤寧々, 佐藤日彩, 中川真希, 鈴木一恵. 地域高齢者における食品摂取多様性得点と随時尿中Na/K比との関連. 日本栄養改善学会学術総会 (名古屋市), 2023.9.2.
 2. 鈴木一恵, 石田絵美, 堀越さな恵, 小島美世, 八子円, 竹内瑞希, 渡辺優奈. 通いの場の高齢者を対象にした低栄養予防啓発動画を活用した介入効果の検討. 日本栄養改善学会学術総会 (名古屋市), 2023.9.2.
 3. 中村純子, 悴田亮平, 竹内瑞希, 鈴木優也, 成田一衛. 部活動引退に向けた栄養教育の考案 20歳代男性の肥満予防. 日本病態栄養学会誌 (京都府), 2024.1.26.
 4. 藤井豊, 阿部拓也, 竹内瑞希, 中村純子. 共役リノール酸摂取は2型糖尿病発症を遅延させる 2型糖尿病発症小動物モデルを用いた検討. 日本病態栄養学会誌 (京都府), 2024.1.27.
 5. 永井徹, 竹内瑞希, 井上達朗, 坂井邦彦, 齋藤泰晴. COVID-19流行下における地域高齢者サルコペニア摂食嚥下障害予防プログラムに関する検討. 第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会 (横浜市), 2024.2.16.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本病態栄養学会, 日本静脈経腸栄養学会, 日本栄養改善学会, 新潟栄養・食生活学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 西地区公民館事業, 親子料理教室～親子でサイエンスクッキング～, 講師, 小学生, 木山小学校, 2023.11.11.
 2. 新潟県栄養士会, 研究教育事業部意見交換会, 発表, 新潟県管理栄養士養成校教員, 新潟医療福祉大学, 2023.9.15.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 食の新潟国際賞財団, 「にいがた食と農の未来学生」ビジョンコンテスト, 学生指導 (ビジョン作成等), 新潟市・開志専門職大学 (決勝大会), 2023.6.1-11.18.
 2. 五泉市健康福祉課, 地域高齢者を対象とした随時尿中ナトリウム/カリウム比率と食品多様性との関連, 研究報告, 2023.5.11-2024.3.21.
 3. 公益社団法人 新潟県栄養士会 2022年度在宅訪問栄養食事相談事業, 事業データ分析・報告, 新潟市・オンライン, 2023.3-6.
 4. 令和5年度 在宅医療 (栄養) 推進事業, 事業コーディネイト・事業分析業務, 新潟市・オンライン, 2023.10-2024.3.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究C, 給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較, 研究分担者
- 7 学内委員会活動 教務委員

氏名: 片山 直幸

- 1 研究題目 幼・小・中・高等学校における食に関する指導の具体的な指導法等に関する研究
- 2 論文

1. 片山直幸, 橋本果菜, 千裕美. フランスパンの品質に及ぼす水の影響. 飯田短期大学紀要. 2023; 27(40): 1-8.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本学校保健学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 南浜中学校サツマイモプロジェクト (総合的な学習の時間), 販売する商品についての検討, 講師, 新潟市立南浜中学校, 1年生, 南浜中学校, 2023.6.28.
 2. 南浜中学校サツマイモプロジェクト (総合的な学習の時間), さつまいもの栄養価について, 講師, 新潟市立南浜中学校, 1年生, 南浜中学校, 2023.10.25.
- 5 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 教職支援センター運営委員会

氏名：宮本 真菜

- 1 研究題目 女性アスリートの栄養摂取状態とスポーツパフォーマンスに関する研究 (運動生理学, スポーツ栄養学)
- 2 論文
 1. Kidoura S, Higuchi Y, Sato N, Santa R, Miyamoto M, Shibuya K. Effects of different food hardness on cognitive inhibitory control function. Journal of Texture Studies. 2023; 54(6): 958-962 (査読あり)
 2. Miyamoto M, Shibuya K. Exploring the Relationship between Nutritional Intake and Menstrual Cycle in Elite Female Athletes. PeerJ. 2023; 11:e16108 (査読あり)
 3. Miyamoto M, Shibuya K. Sleep duration has a limited impact on the prevalence of menstrual irregularities in athletes: a cross-sectional study. PeerJ. 2024; 12:e16976 (査読あり)
 4. Shibuya K, Santa R, Miyamoto M. Exploring the Influence of User-Friendly Cutlery on the Food Consumption Levels. International Journal of Gastronomy and Food Science. 2024; 100935 (査読あり)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. NHK新潟, ニュース610, 熱中症対策, 2023.6.28.
 2. 新聞, 新潟日報otonaプラス, アスリートの体 食で支え, 2023.6.6.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 公益財団法人日本オリンピック委員会 (強化スタッフ)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 博士号 (保健学), 新潟医療福祉大学大学院, 2024.3.19.
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 一般社団法人三条市スポーツ協会, スポーツ栄養学 (高校生・保護者・指導者向け), 2024.1.14 (日) 14:30-16:30
- 6 学内委員会活動 広報委員会, 社会連携推進センター委員会

(2) 健康スポーツ学科

氏名：西原 康行

1 研究題目 Embodied Knowledge, Human Resource Management

2 著書

1. 西原康行. はじめて学ぶスポーツマネジメントの基礎と実践. 岐阜：株式会社みらい；2023：83-100.
2. 西原康行. 図で学ぶスポーツマネジメント 2版. 神奈川：株式会社現代図書；2023：1-170. (印刷中)

3 論文

1. 鶴瀬亮一, 内山渉, 大矢真史, 西原康行. アイトラッキングシステムを用いた熟達投手コーチの「みえ」の顕在化. 日本教育工学会論文誌 (協力学術研究団体). 2024；48 (1)：89-97.

4 報告書

1. 西原康行. 基盤研究 (B), VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 2019-2023, 研究代表者.

5 学会等研究発表

1. Nishihara Y. Children's sports environment in Japan. 22th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria < Webinar >). 2023.8.20-8.21.
2. Nishihara Y. Research on Immediate Responses of Physical Education Teachers. European Physical Education Congress in Leipzig University (Leipzig < Webinar >), 2023.9.12. 【教育講演】
3. Nishihara Y. CHARACTERISTICS AND DIFFERENCES IN THE VERBAL RESPONSES OF EXPERT AND NOVICE BASKETBALL COACHES ELICITED BY COGNITION OF FIXED VTR IMAGES AND VR IMAGES. European College of Sport Science (France < Online >), 2023.7.4-7.6.
4. 西原康行. 部活動の地域移行をめぐる課題. 日本教育実践学会学術集会 (新潟県長岡市), 2024.1.21. 【教育講演】
5. 西原康行. 産学連携によるスポーツ科学支援・スポーツ庁スポーツ科学コンソーシアムシンポジウム. (新潟：朱鷺メッセ), 2023.12.23. 【シンポジウム】
6. 西原康行. 保健・医療・福祉分野の産官学連携のあり方. 新潟医療福祉学会学術集会 (新潟：新潟医療福祉大学), 2023.10.28. 【シンポジウム】

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会 (代議員), 日本体育・スポーツ経営学会, 日本スポーツ教育学会, 新潟医療福祉学会, 日本教育工学会, 日本教育実践学会, 日本スポーツ産業学会, Federation International d Education Physique (FIEP), North American Society for Sport Management (NASSM), European College of Sports Science (ECSS), International Association for Development of the Information Society (IADIA)

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本体育・スポーツ・健康学会 代議員
2. 体育学研究 査読委員
3. 日本教育工学会論文誌 査読委員
4. 大学体育スポーツ教育学研究 査読委員
5. スポーツ産業学研究 査読委員
6. Educational Technology Research, Peer Reviewer
7. ECNSI Journal of Education, Editorial Board

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 長岡市, 2023.7.1
2. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 燕市, 2023.7.23.
3. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 上越市, 2023.8.20.

4. 新潟県教育庁，部活動の地域移行，講師，新潟県教育庁（スポーツ庁事業），湯沢町，2023.9.10.
 5. 日本スポーツ協会，上級コーチ養成研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），Zoom，2023.8.26.
 6. 日本スポーツ協会，共通Ⅲコーチ研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），Zoom，2023.9.1-9.3.
 7. 新潟県村上市教育委員会，コーチの資質，講師，村上市（新潟県教育庁），2023.5.31.
 8. 新潟県燕市教育委員会，コーチの資質，講師，燕市（新潟県教育庁），2023.6.22.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. 新聞，新潟日報，部活動の地域移行に向けて，2023.4.14.【囲み記事】
 2. 新聞，新潟日報，部活動の地域移行 新潟県の進捗，2024.2.20
 3. 新聞，新潟日報，新潟市スポーツ未来構想会議，2023.12.1.【囲み記事】
 4. TV，UX：スーパーJにいがた，部活動の地域移行の取り組み（新潟県部活動改革委員会），2023.4.14.【座長取材】
 5. TV，NHK：ニュース610，部活動の地域移行の取り組み（新潟県部活動改革委員会），2023.4.14.【座長取材】
 6. TV，BSN：ゆうナビ，部活動の地域移行の取り組み（新潟県部活動改革委員会），2023.4.14.【座長取材】
 7. TV，NST：Newsタッチ，部活動の地域移行の取り組み（新潟県部活動改革委員会），2023.4.14.【座長取材】
 8. TV，Teny：新潟一番，部活動の地域移行の取り組み（新潟県部活動改革委員会），2023.4.14.【座長取材】
 9. TV，UX：スーパーJにいがた，新潟市スポーツ未来会議，2023.12.1.【座長取材】
 10. TV，NHK：ニュース610，新潟市スポーツ未来構想会議，2023.12.1.【座長取材】
 11. TV，BSN：ゆうナビ，新潟市スポーツ未来構想会議，2023.12.1.【座長取材】
 12. TV，NST：Newsタッチ，新潟市スポーツ未来構想会議，2023.12.1.【座長取材】
 13. TV，Teny：新潟一番，新潟市スポーツ未来構想会議，2023.12.1.【座長取材】
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2023.4.1-2024.3.31.
 2. 長野県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2023.4.1-2024.3.31.
 3. 富山県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2023.4.1-2024.3.31.
 4. 石川県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2023.4.1-2024.3.31.
 5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」，地域と学校の融合，アドバイザー，2023.4.1-2024.3.31.
 6. J1アルビレックス新潟，コンプライアンス委員会，委員，2023.4.1-2024.3.31.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
- スポーツ庁全国高等学校総合体育大会【インターハイ】実行委員会（監査役），新潟県スポーツ推進審議会（会長），新潟県スポーツ推進プラン実行会議（委員長），新潟県部活動改革委員会（委員長），新潟県オリンピックアスリート支援検討委員会（委員），新潟県スポーツ協会（評議員），新潟文化・スポーツコミッション（委員長），新潟市スポーツ推進審議会（会長），新潟市スポーツ推進計画策定会議（委員長），新潟シティマラソン事業者選定委員会（委員長），新潟市公共体育施設指定管理者選定委員会（委員長），新潟市総合計画策定会議（部会長），燕市部活動のあり方委員会（委員長），村上市部活動のあり方委員会（委員長），見附市部活動のあり方検討委員会（委員長），弥彦村部活動あり方検討委員会（委員長），長野県部活動改革委員会（部会長），三条市部活動あり方委員会（委員長）
- 5) 職能団体（協会，士会等）の委員
- 日本スポーツ協会（コーチデベロッパー），新潟県スポーツ協会（評議員），全国体育系大学連絡会（研究

幹事)

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023, 基盤研究 (C), 保育者としての成長過程に沿ったVR-Learning教材の開発, 研究分担者
2. 2023, 基盤研究 (C), VR技術とアイトラッキングシステムを用いた熟達野球投手コーチの「わざ」の顕在化, 研究分担者
3. 2021, 基盤研究 (C), 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究分担者
4. 2023, 基盤研究 (C), 体育教師の自覚的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究代表者

2) 学内部活動の実績

1. 女子バスケットボール部, 部長, 2023.4.1-2024.3.31.
2. 剣道部部長, 2023.4.1-2024.3.31.

3) 学外兼務講師等

1. 新潟大学, スポーツ経営学, 2023.4.1-2024.3.31.
2. 事業創造大学院大学, スポーツビジネス特論, 2023.10.1-2024.3.31.
3. 日本スポーツ協会, 上級指導者・上級コーチ養成講師 (スポーツマネジメント), 2023.4.1-2024.3.31.
4. 日本体育施設協会, 体育施設管理士養成講師 (スポーツ施設のマネジメント), 2023.4.1-2024.3.31.
5. 日本スポーツ協会, 上級指導者・上級コーチ養成講師 (コーチング), 2023.4.1-2024.3.31.

9 学内委員会活動 総務会, 社会連携・同窓会・生涯学習推進機構 (機構長), アスレティックデパートメント推進機構 (機構長), 同窓会・生涯学習推進委員会 (委員長), 強化指定クラブ運営委員会 (委員長), 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考・評価委員会, シチズンシップ教育研究センター (センター長), 身体教育研究センター (センター長)

氏名: 佐藤 敏郎

1 研究題目 中高年者の運動による健康づくり, 大学生の体力水準と学業成績と生活状況との関係, 高齢者における転倒予防, 習慣的運動実施による健康状態・体力水準の変化

2 論文

1. 浮田咲子, 出村慎一, 佐藤敏郎, 小学1年から3年児童における背中付立位と自然立位時の足裏測定値の信頼性及び差, 運動とスポーツの科学, 2024年3月; 第29巻 (第2号) 67-75. (査読あり)
2. 浮田咲子, 出村慎一, 佐藤敏郎, 新規浮き趾測定器具に基づく児童の自然立位時の浮き趾判定と浮き趾高計測値の信頼性, 教育医学, (印刷中) (査読あり)
3. Aoki H, Demura S, Sato T, Taima N: Reliability, gender difference, and relationships among instruction patterns of fall avoidance test in middle-aged and elderly people. World Journal of Education, (inpress) (review).

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育測定評価学会 (監事), 日本教育医学会 (理事), 新潟医療福祉学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会, 日本臨床運動療法学会, 日本運動・スポーツ科学学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. ふれあい大学講座, 健康のための運動について, 講師, 濁川コミュニティ協議会, 一般市民, 新潟市, 2023.6.29.
2. 筋力トレーニング推進事業, ちょこちょこ筋トレ講習会, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市社会福祉協議会職員, 三条市, 2023.11.15.
3. 筋力トレーニング推進事業, ちょこちょこ筋トレ講習会, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市社会福祉

協議会職員，三条市，2023.12.21.

4. 筋力トレーニング推進事業，ちょこちょこ筋トレ講習会，講師，三条市福祉保健部，三条市社会福祉協議会職員，三条市，2024.1.24.
 5. 生活習慣病予防講演会，体力を維持するための正しい運動のしかた，講師，新潟県健康づくり財団，関川村民，関川村，2023.6.23.
 6. 健康講演会，健康講演と体力測定会，講師，アクアパークにいがた，一般市民，新潟市，2023.6.17.
 7. 健幸づくり推進員研修会，ちょこちょこ筋トレ体験，講師，三条市福祉保健部，三条市健幸づくり推進員，三条市，2023.9.22.
 8. 筋力トレーニング推進事業，ちょこちょこ筋トレ講習会，講師，三条市福祉保健部，三条市民，三条市，2023.10.19.
 9. 筋力トレーニング推進事業，ちょこちょこ筋トレ講習会，講師，三条市福祉保健部，三条市民，三条市，2023.12.14.
 10. 働く世代の運動促進フォーラム，ディスカッション出演，講師，新潟県福祉保健部健康づくり支援課，にいがた健康経営推進企業，長岡市，2023.10.24.
 11. 働く世代の運動促進フォーラム，ディスカッション出演，講師，新潟県福祉保健部健康づくり支援課，にいがた健康経営推進企業，上越市，2023.11.21.
 12. シニアカレッジ新潟，運動による健康づくり，講師，新潟県社会福祉協議会，シニアカレッジ新潟受講生，新潟市，2023.9.14.
 13. シニアカレッジ新潟，運動による健康づくり，講師，新潟県社会福祉協議会，シニアカレッジ新潟受講生，新潟市，2023.9.15.
 14. シニアカレッジ新潟，運動による健康づくり，講師，新潟県社会福祉協議会，シニアカレッジ新潟受講生，長岡市，2023.9.27.
 15. シニアカレッジ新潟，運動による健康づくり，講師，新潟県社会福祉協議会，シニアカレッジ新潟受講生，上越市，2023.10.12.
 16. 新潟大学次世代健康経営共創講座，健康経営と働き盛りのフレイル対策，e-Learning講師，新潟大学医学部血液・内分泌・代謝内科，新潟大学次世代健康経営共創講座受講生，新潟市，2024.1.25.
 17. にいがたケンジユプロジェクト，ウォーキングチャレンジin信濃川やすらぎ提，講師，BSNラジオ，一般県民，新潟市，2023.11.23.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. BSNラジオ，にいがたケンジユプロジェクト・ケンジュがダイジ，夏場の運動，2023.7.10.
 2. BSNラジオ，にいがたケンジユプロジェクト・ケンジュがダイジ，夏場の運動，2023.7.17.
 3. BSNラジオ，にいがたケンジユプロジェクト・ケンジュがダイジ，健康経営と冬の運動，2024.1.15.
 4. BSNラジオ，にいがたケンジユプロジェクト・ケンジュがダイジ，健康経営と冬の運動，2024.1.22.
 5. BSNラジオ，工藤淳之介3時のカルテット，熱中症対策，2023.8.23.
 6. BSNラジオ，石塚かおりのBrand new day，ウォーキングチャレンジin信濃川，2023.11.24.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団，定期評議員会，評議員，新潟市・新潟県医師会館，2023.6.26.
 2. 健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議，健康立県プロモーション事業，委員，新潟市・新潟県自治会館，2023.8.7.
 3. 日本健康運動指導士会新潟県支部，2023年度第1回研修会，企画運営，新潟市・新潟日報社メディアシップ，2023.6.25.
 4. 日本健康運動指導士会新潟県支部，2023年度更新必修講座，企画運営，新潟市・新潟日報社メディアシップ，2023.11.19.
 5. 新潟県フライングディスク協会，第5回新潟オープンアルティメット大会，企画運営，新潟市・太夫浜運動公園，2023.11.3.

4) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

新潟県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議（委員），新潟県働く世代の運動促進のための検討会（委員）

5) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本健康運動指導士会新潟県支部（支部長），新潟県フライングディスク協会（会長），公益財団法人新潟県健康づくり財団（評議員），新潟骨を守る会（監事），関甲新学生野球連盟（理事）

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度，科研費基盤研究（C），運動競技選手の浮き趾を含む足裏形態，履物，関節痛との関係，研究代表者

6 学内委員会活動 総務会，アスレチックデパートメント推進機構，教員選考・評価委員会

氏名：下山 好充

1 研究題目 水泳競技におけるパフォーマンス向上に関する研究

2 論文

1. 下山好充. 「選手コーチに役立つスポーツ科学」世界選手権に向けて：国際大会で感じたこと. スイミングライフ. 2023年8月号（Vol.22）：30-33.
2. 下山好充. 「選手コーチに役立つスポーツ科学」アジア競技大会の紹介. スイミングライフ. 2023年11月号（Vol.25）：12-15.
3. 下山好充. 「選手コーチに役立つスポーツ科学」発育発達に応じたトレーニング. スイミングライフ. 2024年3月号（Vol.29）：12-15.

3 学会等研究発表

1. Shimojo H, Yamashiro S, Ichikawa H, Shimoyama Y, Tsunokawa T, Sengoku, Takagi H. Wake flow visualization around swimmer's foot and thrust force estimation at indoor swimming pool. XIVth International Symposium Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig), 2023.9.5-9.7.
2. Matsuura Y, Mise T, Edama M, Shimoyama Y. Posterior deltoid shoulder tightness: shoulder pain risk factors in swimmers. XIVth International Symposium Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig), 2023.9.5-9.7.
3. Ichikawa H, Shimojo H, Yamashiro S, Shimoyama Y. Hydrodynamic effect of hand flow on kicking in front crawl swimming. XIVth International Symposium Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig), 2023.9.5-9.7.
4. 三瀬貴生，下門洋文，山城昌一朗，星川慎吾，千葉海勝，馬場康博，奈良梨央，下山好充. 水中ドルフィンキック泳におけるキネマティクスの異なる年代による比較. 日本水泳・水中運動学科（福岡県），2023.10.6-10.8.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会，日本体力医学会，トレーニング科学会，日本水泳水中運動学会，日本コーチング学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 公益財団法人日本水泳連盟水泳コーチ4養成講習会，ナショナルコーチによる指導技術，講師，日本水泳連盟，日本水泳連盟コーチ4資格取得申請者，オンライン，2023.11.25.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. WEB，5社（YAHOOニュース，BSN新潟放送，YAHOOニュース，BSN新潟放送，The Sporting News），日本選手権が4月4日に開催されることが紹介され，水沼 尚輝 選手（本学職員）が注目選手として掲載された. 2023.4.3.

2. WEB, 6社(新潟NEWS, NHK, YAHOOニュース, BSN新潟放送, YAHOOニュース, BSN新潟放送), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が50Mバタフライ決勝で2位となったことが掲載された. 2023.4.4.
3. 新聞, 新潟日報, 日本選手権が4月4日から開催されることが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が注目選手として掲載された. 2023.4.4.
4. 新聞, 新潟日報, 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が50Mバタフライ決勝で2位となったことが掲載された. 2023.4.5.
5. WEB, 6社(TENYテレビ新潟, YAHOOニュース, BSN新潟放送, YAHOOニュース, NST新潟放送, YAHOOニュース), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が50Mバタフライ決勝で2位となったことが掲載された. 2023.4.4.
6. 新聞, 新潟日報, 日本選手権が開催されたことが紹介され, 早坂 亮 選手(健スポ4年)が100M平泳ぎで7位となったことが掲載された. 2023.4.6.
7. 新聞, 新潟日報, 本県関係選手の進路が紹介され, 津田 萌咲 選手(水泳部OB)が新潟リハビリテーション病院に派遣されることが掲載された. 2023.4.6.
8. WEB, 2社(YAHOOニュース, BSN新潟放送), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 山崎 光 選手(本学職員)が50M背泳ぎ決勝で2位となったことが掲載された. 2023.4.6.
9. 新聞, 新潟日報, 日本選手権が開催されたことが紹介され, 山崎 光 選手(本学職員)が50M背泳ぎ決勝で2位となったことが掲載された. 2023.4.7.
10. WEB, 2社(YAHOOニュース, BSN新潟放送), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 篠塚 聖妃 選手(健スポ2年)が100M自由形予選で17位・武中 香奈枝 選手(健スポ4年)が出場したことが掲載された. 2023.4.7.
11. WEB, 2社(YAHOOニュース, BSN新潟放送), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 山崎 光 選手(本学職員)が50M背泳ぎ決勝で2位となったことが掲載された. 2023.4.7.
12. WEB, 15社(YAHOOニュース, NISHISPO WEB, YAHOOニュース, 日刊スポーツ, YAHOOニュース, 産経新聞, 日本経済新聞, YAHOOニュース, 時事通信社, YAHOOニュース, BSN新潟放送, YAHOOニュース, スポニチ, YAHOOニュース, スポーツ報知), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100Mバタフライ決勝で2位となり, 世界水泳代表に内定したことが掲載された. 2023.4.8.
13. 新聞, 新潟日報, 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100Mバタフライ決勝で2位となり, 世界水泳代表に内定したことが掲載された. 2023.4.9.
14. 新聞, 新潟日報, 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100Mバタフライ決勝で2位となり, 世界水泳代表に内定したことが掲載された. 2023.4.9.
15. WEB, 2社(YAHOOニュース, BSN新潟放送), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 早坂 亮 選手(健スポ4年)が50M背泳ぎ決勝で8位となったことが掲載された. 2023.4.9.
16. WEB, 6社(YAHOOニュース, NST新潟総合テレビ, YAHOOニュース, スポニチ, YAHOOニュース, デイリー), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100Mバタフライ決勝で2位となり, 世界水泳代表に内定したことが掲載された. 2023.4.9.
17. 新聞, 新潟日報, 日本選手権が開催されたことが紹介され, 早坂 亮 選手(健スポ4年)が50M背泳ぎ決勝で8位となったことが掲載された. 2023.4.10.
18. WEB, 3社(YAHOOニュース, UX新潟テレビ21, 時事通信社), 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100Mバタフライ決勝で2位となり, 世界水泳代表に内定したことが掲載された. 2023.4.10.
19. 新聞, 新潟日報, 日本選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100Mバタフライ決勝で2位となり, 世界水泳代表に内定したことが掲載された. 2023.4.11.
20. WEB(サンスポ) 世界選手権競泳日本代表が合宿を公開したことが掲載され, 水沼 尚輝 選手(本学

- 職員)の意気込みが掲載された。2023.4.13.
21. 新聞, 新潟日報, 世界選手権競泳日本代表が合宿を公開したことが掲載され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)の意気込みが掲載された。2023.4.14.
22. WEB2社(日刊スポーツ, YAHOOニュース, TENYテレビ新潟, YAHOOニュース, UX新潟テレビ21, YAHOOニュース, 新潟経済新聞)水沼 尚輝 選手(本学職員)の報告会が開催されたことが紹介され, 自身のスランプや世界選手権での目標が掲載された。2023.4.17.
23. WEB(NST新潟総合テレビ, YAHOOニュース)水沼 尚輝 選手(本学職員)の報告会が開催されたことが紹介され, 園児からの激励の様子が掲載された。2023.4.17.
24. WEB2社(BSN新潟放送, YAHOOニュース)水沼 尚輝 選手(本学職員)の報告会が開催されたことが紹介され, 世界選手権への決意が掲載された。2023.4.17.
25. 新聞, 新潟日報, 水沼 尚輝 選手(本学職員)の報告会が開催されたことが紹介され, 世界選手権への決意が掲載された。2023.4.18.
26. 新聞, 新潟日報, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が新潟リハビリテーション病院を訪れたことが紹介され, 体のケアのサポートに感謝の意を示したことが掲載された。2023.4.26.
27. 新聞, 新潟日報, 世界水泳のスタッフが発表されたことが紹介され, 下山 好充 監督(水泳部監督)と松浦 由生子 講師(本学教員)が選出されたことが掲載された。2023.4.28.
28. WEB(下野新聞), 水沼 尚輝 選手(本学職員)が真岡市の石坂真一市長を表敬訪問したことが紹介され, 水沼選手の所属先として掲載された。2023.4.29.
29. WEB4社(財經新聞, JIJI.COM, PR TIMES, にいがた経済新聞), 水沼 尚輝 選手(本学職員)がアジア競技大会の日本代表に選出されたことが紹介され, 下山 好充 監督(水泳部監督)がコーチ, 松浦 由生子 講師(本学教員)がトレーナーとして選出されたことが掲載された。2024.5.24.
30. WEB3社(日本経済新聞, JIJI.COM, 産経新聞), 競泳の東京都選手権が開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100Mバタフライで4位だったことが掲載された。2024.6.3.
31. 新聞, 新潟日報, 県選手権兼国体県代表選考会が開催されたことが紹介され, 早坂 亮 選手(健スポ4年)が200M自由形で1位となったことが掲載された。2024.6.7.
32. WEB11社(YAHOOニュース, テレビ新潟, YAHOOニュース, BSN新潟放送, YAHOOニュース, NST新潟総合テレビ, YAHOOニュース, 日刊スポーツ, UX新潟テレビ21, YAHOOニュース, 読売オンライン)水沼 尚輝 選手(本学職員)が公開練習を行ったことが紹介され, 世界選手権に向けた意気込みが掲載された。2024.6.9.
33. 新聞, 新潟日報, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が公開練習を行ったことが紹介され, 世界選手権に向けた意気込みが掲載された。2024.6.10.
34. 新聞, 新潟日報世界選手権エントリーを発表したことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が男子バタフライ50M・100Mにエントリーしたことが掲載された。2024.6.14.
35. WEB3社(日本経済新聞, 産経新聞, 日刊スポーツ)競泳セツテコリ国際ローマで開幕したことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が男子100Mバタフライで5位であったことが掲載された。2024.6.24.
36. WEB30社(スポーツ報知, YAHOOニュース, KYODO, YAHOOニュース, スポーツ報知, YAHOOニュース, OTTO!, YAHOOニュース, JIJI.COM, 読売新聞オンライン, デイリー, スポーツ報知, サンスポ, オリピック), 世界水泳の日本勢出場選手として水沼 尚輝 選手(本学職員)が紹介され, 水沼選手の所属先として本学名が掲載された。2024.7.29.
37. 新聞, 新潟日報, 世界水泳での水沼 尚輝 選手(本学職員)の結果が紹介され, 水沼選手の所属先として本学名が掲載された。2024.7.29.
38. 新聞, 新潟日報, 世界水泳での水沼 尚輝 選手(本学職員)の結果が紹介され, 水沼選手の所属先として本学名が掲載された。2024.7.31.
39. WEB20社(YAHOOニュース, テレビ新潟, 日刊スポーツ, BSN新潟放送, NST新潟総合テレビ,

- グノシー, gooニュース, dmenu, UX新潟テレビ21, YOMIURI ONLINE), 新潟市民水泳大会に水沼 尚輝 選手(本学職員)が参加し, 水沼選手の所属先として本学名が掲載された。2023.8.28.
40. WEB6社(現代ビジネス, 産経新聞, 東洋経済オンライン, JIJI.COM, 財經新聞, 読売新聞), 第99回日本学生選手権水泳競技大会オープンウォータースイミングでの本山 空 選手(健スポ3年)の結果が紹介され, 男子5km・10kmでいずれも1位となったことが掲載された。2023.8.30.
41. 新聞, 新潟日報, 競泳学生日本選手権の結果が紹介され, 男子50m自由形で松原 光佑 選手(健スポ1年)が3位入賞したことが掲載された。2023.9.4.
42. 新聞, 新潟日報, かがしま国体競泳の県勢出場者が紹介され, 100m背泳ぎで早坂 亮 選手(健スポ4年)の名前が掲載された。2023.9.15.
43. 新聞, 新潟日報, かがしま国体競泳の県勢出場者が紹介され, 100m背泳ぎで早坂 亮 選手(健スポ4年)の名前が掲載された。2023.9.23.
44. 新聞, 新潟日報, かがしま国体競泳の県勢出場者の結果が紹介され, 100m背泳ぎで早坂 亮 選手(健スポ4年)が7位だったことが掲載された。2023.9.24.
45. WEB(新潟日報デジタルプラス), かがしま国体競泳の成年男子400mメドレーリレーの結果が紹介され, 第一泳者として早坂 亮 選手(健スポ4年)が7位だったことが掲載された。2023.9.26.
46. WEB(四国新聞社), かがしま国体競泳の成年女子100m背泳ぎ決勝の結果が紹介され, 山崎 光 選手(本学職員)が3位だったことが掲載された。2023.9.27.
47. WEB6社(YAHOOニュース, BSN新潟放送, TENYテレビ新潟) 杭州アジア大会男子100mバタフライ決勝で水沼 尚輝 選手(本学職員)が4位だったことが紹介され, 水沼選手の所属先として本学名が掲載された。2023.9.28.
48. 新聞, 新潟日報, 杭州アジア大会男子100mバタフライ決勝で水沼 尚輝 選手(本学職員)が4位だったことが紹介され, 水沼選手の所属先として本学名が掲載された。2023.9.28.
49. 新聞, 新潟日報, 県スプリント選手権の結果が紹介され, 松原 光佑 選手(健スポ1年)らの所属先として本学名が掲載された。2023.10.17.
50. 新聞, 新潟日報, OWSの日本選手権の結果が紹介され, 男子5kmで本山 空 選手(健スポ3年)が6位入賞, 筒井 大介 選手(健スポ4年)が7位入賞だったが掲載された。2023.10.17.
51. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本社会人選手権の結果が紹介され, 女子50m背泳ぎで山崎 光 選手(本学職員)が優勝したことが掲載された。2023.11.12.
52. WEB2社(共同通信, YAHOOニュース) 競泳の日本社会人選手権最終日の結果が紹介され, 男子100メートルバタフライで水沼 尚輝 選手(本学職員)が51秒89で優勝したことが掲載された。2023.11.12.
53. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本社会人選手権最終日の結果が紹介され, 男子100メートルバタフライで水沼 尚輝 選手(本学職員)が51秒89で優勝したことが掲載された。2023.11.14.
54. WEB9社(YAHOOニュース, NST新潟総合テレビ, FNNプライムオンライン, dmenu, exciteニュース, gooニュース, livedoor News, NEWS Collect, Sports55) 水沼尚輝選手(本学職員)がジャパンオープンに出場したことが紹介され, 100mバタフライで4位だったことが掲載された。2023.12.4.
55. 新聞, 新潟日報, パリオリンピックが半年後に迫っていることが紹介され, 水沼尚輝選手(本学職員)が3月の代表選考会が正念場であることが掲載された。2024.1.21.
56. 新聞, 新潟日報, 水沼尚輝選手(本学職員)が北島康介杯に出場したことが紹介され, 男子100mで5位であったことが掲載された。2024.1.22.
57. 5社(YAHOOニュース, 日刊スポーツ, 日本経済新聞, 東京新聞, 日本海新聞) 水沼尚輝選手(本学職員)がジャパンオープンに出場したことが紹介され, 100mバタフライで4位だったことが掲載された。2024.2.14.
58. 5社(YAHOOニュース, BSN, 日刊スポーツ, NHK, UX新潟テレビ21) 水沼 尚輝 選手(本学職員)の公開練習の様子とインタビューが紹介された。2024.2.21.

59. 6社（YAHOOニュース, rakuten News, FNNプライムオンライン, gooニュース, exciteニュース）
本学大学職員の水沼尚樹選手が3月3日、新潟県長岡市で開かれた大会の男子100mバタフライに出場し、好タイムで優勝した様子が公開された。2024.3.4.
60. 3社（東洋経済オンライン, rakuten News, 産経新聞）本学職員の水沼尚輝選手男子100mバタフライ五輪代表選考会に出場することが紹介された。2024.3.19.
61. 21社（YAHOOニュース, 西日本新聞, 千葉日報, 日本オリンピック委員会, 沖縄タイムズ, 北国新聞, 高知新聞, 新潟日報, NewsPicks, rakutenNews, gooニュース, 山陰中央新報, LivedoorNews, 中日スポーツ, bメニューニュース, gooニュース, 日刊スポーツ, 朝日・日刊スポーツ）本学職員の水沼選手が競泳のパリ五輪代表選考会決勝に上がった事が紹介された。2024.3.23.
62. 30社（YAHOOニュース, 日刊スポーツ, FNNニュース, gooニュース, UX新潟テレビ21, 下野新聞, TBSニュース, livedoorNews, UX新潟テレビ21, 時事ドットコム, スポニチ, TBSニュース, サンスポ, 読売新聞オンライン）本学職員の水沼選手が競泳のパリ五輪代表選考会決勝で見事2位になり、五輪本戦出場を決めた様子が紹介された。2024.3.24.
63. 3社（YAHOOニュース, livedoorNews, TeNYテレビ新潟）本学職員の水沼選手が競泳のパリ五輪代表選考会決勝で見事2位になり、五輪本戦出場を決めた。その際、パブリックビューイングをしていた本学の様子も紹介された。2024.3.24.
64. 4社（YAHOOニュース, TBSニュース, dmenu）本学職員の水沼選手が競泳のパリ五輪代表選考会決勝で見事2位になり、五輪本戦出場を決めた。その際、パブリックビューイングをしていた本学の様子も紹介された。また、本学水泳部キャプテンのインタビューも紹介された。2024.3.25.
65. 新聞, 新潟日報, 本学職員の水沼選手が競泳のパリ五輪代表選考会決勝で見事2位になり、五輪本戦出場を決めた。その際、パブリックビューイングをしていた本学の様子も紹介された。2024.3.25.
66. 新聞, 新潟日報, 競泳パリ五輪の日本代表が紹介され、水沼尚輝選手の所属先として本学名が掲載された。2024.3.25.

上記を含め水泳部関連のメディア記載が合計317件

3) 社会活動への参加協力

1. 公益財団法人日本水泳連盟水泳コーチ4養成講習会, ナショナルコーチによる指導技術, 講師, 日本水泳連盟, 日本水泳連盟コーチ4資格取得申請者, オンライン, 2023.11.25.
2. 中条スイミングスクール, 大学プールでの練習環境の提供, 監視, 新潟市・新潟医療福祉大学内プール, 2023.11.11.

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

令和5年度 文部科学省 国際競技大会優秀者賞 (2023.8.8)

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第99回 日本選手権水泳競技大会, 男子50mバタフライ2位, 東京都, 2023.4.4-4.9. (監督)
2. 水泳部, 第99回 日本選手権水泳競技大会, 男子100m背泳ぎ7位, 東京都, 2023.4.4-4.9. (監督)
3. 水泳部, 第99回 日本選手権水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ2位, 東京都, 2023.4.4-4.9. (監督)
4. 水泳部, 第99回 日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2023.4.4-4.9. (監督)
世界選手権・アジア大会日本代表決定
5. 水泳部, 第99回 日本選手権水泳競技大会, 男子50m自由形7位, 東京都, 2023.4.4-4.9. (監督)
6. 水泳部, 第99回 日本選手権水泳競技大会, 男子50m背泳ぎ8位, 東京都, 2023.4.4-4.9. (監督)
7. 水泳部, 第99回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子50m自由形3位, 東京都, 2023.8.31-9.3. (監督)
8. 水泳部, 第99回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子4×100mフリーリレー8位, 東京都, 2023.8.31-9.3. (監督)
9. 水泳部, 第99回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子50m自由形6位, 東京都, 2023.8.31-9.3. (監督)
10. 水泳部, 第65回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ4位, 東京都, 2023.10.21-

- 10.22. (監督)
11. 水泳部, 第65回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m バタフライ 4位, 東京都, 2023.10.21-10.22. (監督)
12. 水泳部, 第65回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100m 自由形 6位, 東京都, 2023.10.21-10.22. (監督)
13. 水泳部, 第65回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100m 背泳ぎ 3位, 東京都, 2023.10.21-10.22. (監督)
14. 水泳部, 第65回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100m バタフライ 4位, 東京都, 2023.10.21-10.22. (監督)
15. 水泳部, 第6回 日本社会人選手権水泳競技大会, 女子50m 背泳ぎ 優勝, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (監督)
16. 水泳部, 第6回 日本社会人選手権水泳競技大会, 女子50m バタフライ 2位, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (監督)
17. 水泳部, 第6回 日本社会人選手権水泳競技大会, 男子50m バタフライ 2位, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (監督)
18. 水泳部, 第6回 日本社会人選手権水泳競技大会, 女子50m 背泳ぎ 2位, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (監督)
19. 水泳部, 第6回 日本社会人選手権水泳競技大会, 女子100m バタフライ 4位, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (監督)
20. 水泳部, 第6回 日本社会人選手権水泳競技大会, 男子100m バタフライ 優勝, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (監督)
21. 水泳部, ジャパンオープン2023 (50m), 女子50m バタフライ 7位, 東京都, 2023.11.30-12.3. (監督)
22. 水泳部, ジャパンオープン2023 (50m), 男子50m バタフライ 3位, 東京都, 2023.11.30-12.3. (監督)
23. 水泳部, ジャパンオープン2023 (50m), 女子50m 背泳ぎ 5位, 東京都, 2023.11.30-12.3. (監督)
24. 水泳部, ジャパンオープン2023 (50m), 男子100m バタフライ 4位, 東京都, 2023.11.30-12.3. (監督)
25. 水泳部, 国際大会代表選考会, 男子50m バタフライ 優勝, 東京都, 2024.3.17-3.24. (監督)
26. 水泳部, 国際大会代表選考会, 女子50m バタフライ 4位, 東京都, 2024.3.17-3.24. (監督)
27. 水泳部, 国際大会代表選考会, 女子50m 背泳ぎ 6位, 東京都, 2024.3.17-3.24. (監督)
28. 水泳部, 国際大会代表選考会, 男子100m バタフライ 2位, 東京都, 2024.3.17-3.24. (監督)
29. 水泳部, World Aquatics Championships・Fukuoka 2023, 男子4*100メドレーリレー 6位, 福岡, 2023.7.23-7.29. (日本代表コーチ)
30. 水泳部, 第19回アジア競技大会 (杭州), 男子100m バタフライ 4位, 中国杭州, 2023.9.24-9.30. (日本代表コーチ)
31. 水泳部, 第19回アジア競技大会 (杭州), 男子4*100メドレーリレー 3位, 中国杭州, 2023.9.24-9.30. (日本代表コーチ)

氏名：山崎 史恵

- 1 研究題目 アスリートの心理サポートおよび競技パフォーマンス向上に関する研究 (臨床スポーツ心理学, スポーツカウンセリング, メンタルトレーニング)
- 2 報告書
 1. 山崎史恵, スポーツ文化研究部会課題Aシンポジウム, スポーツを通じて社会的な不平等を是正できるか?, 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会報告書.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育・スポーツ・健康学会 (応用研究部会・スポーツ文化研究会委員),

日本スポーツ心理学会, 日本スポーツ精神医学会, 日本臨床心理身体運動学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 新潟県体育学会 (監事)

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本体育・スポーツ・健康学会, 応用研究部会 (スポーツ文化研究部会) 委員, 2020.8-2023.8.
2. 日本体育学会, 第73回大会スポーツ文化研究部シンポジウム, 企画・司会, 同志社大学, 2023.8.31-9.2.
3. 新潟県体育学会監事, 2023.4.1-現在.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 村上市スポーツ指導者研修会, スポーツカウンセリング, 講師, 村上市NPO法人希楽々, スポーツ関係者, 村上市生涯学習推進センター (マナボーテ) 中会議室, 2023.6.13.
2. 燕市スポーツ少年団指導者講習会, 子どものスポーツと親のかかわりについて, 講師, 燕市スポーツ協会・燕市スポーツ少年団, スポーツ関係者, 燕市分水公民館 1F 大ホール, 2023.9.9.
3. 公益財団法人新潟県スポーツ協会メンタルヘルスケア研修会, 職場のメンタルヘルス, 講師, 新潟県スポーツ協会, スポーツ関係者, 新潟県健康づくりスポーツ医科学センター, 2023.9.22.
4. 三条市スポーツ・インテグリティ推進事業, 相手を尊重したコミュニケーション, 講師, 三条市スポーツ協会, スポーツ関係者, 三条市体育文化会館マルチホール, 2024.1.28.
5. 燕市スポーツ指導者講習会, スポーツカウンセリング, 講師, 燕市スポーツ協会, スポーツ関係者, 燕市分水公民館, 2024.2.16.
6. 新潟市スポーツ協会指導者研修会, 選手をもっと輝かせる!コミュニケーションの力, 講師, 新潟市スポーツ協会, スポーツ関係者, 白山会館, 2024.3.2.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県体育協会, スポーツ選手のためのメンタル支援事業, 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター, 相談員, 新潟市, 2023.4.1-2024.3.31. 来談者8名, 延べ64回面接.

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科 (スタディ・スキルズ) 2023.4.1-5.31.

6 学内委員会活動 倫理審査委員会 (委員長), スポーツカウンセリング研究センター (センター長)

氏名: 佐藤 大輔

1 研究題目 神経可塑性と運動学習・記憶に関する研究

2 論文

1. Makibuchi T, Yamashiro K, Anazawa S, Fujimoto T, Ochi G, Ikarashi K, Sato D. Assessing the effects of the topical application of L-Menthol on pain-related somatosensory-evoked potentials using intra-epidermal stimulation. Brain Sci (JCR). 2023; 13(6): 918 (review)
2. Yamashiro K*, Shiiya K*, Ikarashi K, Anazawa S, Makibuchi T, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Omori G, Sato D. Reduced somatosensory evoked potentials and paired-pulse inhibition in the primary somatosensory cortex of athletes with chronic pain. Eur J Appl Physiol (JCR). 2023; 123(11): 2537-2543. (review)
3. Anazawa S, Yamashiro K*, Makibuchi T, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Sex differences in excitatory and inhibitory function in the primary somatosensory cortex during the early follicular phase: A preliminary study. Brain Sci (JCR). 2023; 13(5): 761. (review)

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床神経生理学会, 日本体力医学会, 日本介護福祉・健康づくり学会 (学術委員), Society for Neuroscience, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本介護予防・健康づくり学会誌 学術委員
2. Frontiers in Physiology 編集委員

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 介護予防における大学との連携事業 体力・認知機能測定 講師 新潟県 地域住民 新発田市・上本田地区 公民館 2023.11.20.
2. 介護予防における大学との連携事業 体力・認知機能測定 講師 新潟県 地域住民 新発田市・上鉄旭地区 公民館 2023.11.27.
3. 基礎水泳指導員・水泳コーチ1養成講習会 水泳指導者・初心者水泳指導法 講師 新潟県水泳連盟 資格取得希望者 柏崎市・中央地区コミュニティセンター 2023.7.2.
4. こころとからだの健康づくり講座 運動の重要性と水中運動「運動の重要性を知って、始めよう、続けよう運動」講師 スポーツメディア株式会社 地域住民 妙高市・ほっとアリーナ妙高高原 2023.7.8.
5. 基礎水泳指導員・水泳コーチ1養成講習会 水泳指導実習 講師 新潟県水泳連盟 資格取得希望者 新潟市・アクシー中央 2023.10.15.
6. 基礎水泳指導員・水泳コーチ1検定会 水泳指導者・初心者水泳指導法 検定員 新潟県水泳連盟 資格取得希望者 長岡市・ダイエープロビスフェニックスプール 2023.10.29.
7. 新元島町運動教室、運動プログラム提供・指導、新元島町、地域住民、新元島公民館、2023.4・2024.3 (全20回)

2) TV出演、ラジオ出演、新聞掲載、一般雑誌掲載等

1. TVコマーシャル BSNテレビ 海と日本プロジェクト in 新潟 2023.10.30.

3) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県水泳連盟指導者委員会（委員）

5 学内委員会活動 副学長等連絡会、総務会、大学院委員会、研究科委員会、研究・産官学連携推進機構運営委員会、大学院教育研究支援部会、危機管理対策委員会、IR戦略委員会、運動機能医科学研究所

氏名：吉田 重和

- 1 研究題目 オランダの公教育制度に関する質的研究（比較・国際教育学）、オルタナティブ教育に関する国際比較研究（比較・国際教育学）、シティズンシップ教育に関する国際比較研究（比較・国際教育学）、教員養成・教員研修に関する質的研究（教師教育）、健康スポーツ学分野における初年次教育の在り方に関する実践的研究（初年次教育）

2 論文

1. 吉田重和. オランダにおける初任者研修. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2023；7：1-7.
2. 吉田重和, 若月弘久. 新潟県教育委員会・新潟県内私立大学 教員養成連絡協議会 開催報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2023；7：56-57.
3. 新潟医療福祉大学. 令和4年度教職課程自己点検評価報告書（新潟医療福祉大学）. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2023；7：62-76.
4. 新潟医療福祉大学大学院. 令和4年度教職課程自己点検評価報告書（新潟医療福祉大学大学院）. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2023；7：77-96.
5. 吉田重和, 杵渕洋美, 針谷美智子, 高田大輔. 教職支援センター運営委員会の総括. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2023；7：97-98.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本比較教育学会、日本国際教育学会、新潟医療福祉学会、世界比較教育学会、アジア比較教育学会

4 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 文部科学教育通信, 「世界の大学」執筆担当, 2023.4.1-2024.3.31.
 2. 公益財団法人教科書研究センター, 「海外教科書制度調査研究報告書」執筆担当, 2023.4.1-2024.3.31.
 3. 新潟市教育委員会, 「新潟市の中学生のための地域クラブ活動 指導者向け研修」講師, 2024.3.1-2024.3.31
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究（C）, 比較教育研究におけるISCED活用の可能性—日蘭の職業教育プログラムを事例として, 研究代表者
 2. 2023年度, 科学研究費補助金基盤研究（C）, 教員の職能成長を支えるメンタリングの国際比較—指導者（メンター）に着目して, 研究代表者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 強化女子バレーボール部, 令和5年度 第54回春季北信越大学バレーボール選手権大会, バレーボール, 準優勝, 新潟県, 2023.5.19-5.21.（部長）
 2. 強化女子バレーボール部, 令和5年度 第71回秋季北信越大学バレーボール選手権大会, バレーボール, 準優勝, 富山県, 2023.11.4-11.5.（部長）
 3. 強化女子バレーボール部, 令和5年度 第70回秩父宮妃賜杯全日本大学女子選手権大会（全日本インカレ）, バレーボール, 出場（1回戦敗退）, 東京都, 2023.11.27-12.3.（部長）
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟薬科大学応用生命科学部（教育制度・行政）, 2023.9.1-2024.3.31.
 2. 新潟工科大学工学部（教育の理念・思想）, 2023.8.1-2024.3.31.
 3. 新潟県立吉田病院附属看護専門学校（教育学）, 2023.8.1-2024.3.31.
- 6 学内委員会活動 教育・学生支援機構（委員）, 教育開発推進部（部長）, 高等教育推進センター運営委員会（委員長・教育システム改革部会長）, 自己点検・評価委員会（委員）, シティズンシップ教育実践研究センター（研究員）

氏名：杉崎 弘周

- 1 研究題目 学校保健, 保健科教育
- 2 著書
 1. 飯沼晃, 植田誠治, 大橋美勝, 岡崎勝博, 笠原賀子, 鬼頭英明, 近藤真庸, 下村義夫, 菅原健次, 杉崎弘周, 照屋博行, 戸野塚厚子, 富岡寛, 中村和彦, 西岡伸紀, 日野克博, 廣橋義敬, 藤沢謙一郎, 古家眞, 松本格之祐, 三木四郎, 武藤芳照, 物部博文, 森知高, 山梨八重子. 文部科学省検定済教科書 新みんなのほけん3・4年. 東京：Gakken；2023：執筆箇所非公表
 2. 足助麻理, 飯沼晃, 植田誠治, 大橋美勝, 岡崎勝博, 笠原賀子, 鬼頭英明, 近藤真庸, 下村義夫, 菅原健次, 杉崎弘周, 照屋博行, 戸野塚厚子, 富岡寛, 中村和彦, 西岡伸紀, 日野克博, 廣橋義敬, 藤沢謙一郎, 古家眞, 松本格之祐, 三木四郎, 武藤芳照, 物部博文, 森知高, 山梨八重子. 文部科学省検定済教科書 新みんなの保健5・6年. 東京：Gakken；2023：執筆箇所非公表
 3. 岡崎勝博, 欠ノ下郁子, 坂野百合恵, 佐藤香織, 杉崎弘周, 長島健二郎, 西岡伸紀, 筆野元, 物部博文, 横山貴司, 米山拓希. 新みんなの保健5・6年教師用指導書研究編. 東京：Gakken；2023：執筆箇所非公表
 4. 岡崎勝博, 欠ノ下郁子, 坂野百合恵, 佐藤香織, 杉崎弘周, 長島健二郎, 西岡伸紀, 筆野元, 物部博文, 横山貴司, 米山拓希. 新みんなの保健5・6年教師用指導書朱書き編. 東京：Gakken；2023：執筆箇所非公表
- 3 学会等研究発表
 1. Sugisaki K. Recognition of cancer causes among Japanese students: A nationwide cross-sectional

study. Asian Society for Pediatric Research. The 18th Congress (online), November 11-12, 2023.

4 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本学校保健学会 (代議員), 日本保健科教育学会 (副会長), 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本教育保健学会, 新潟県体育学会 (理事), 日本小児科学会, 新潟医学会, 日本スポーツ心理学会, American School Health Association

2) 学術集会の主催

1. (一社)日本学校保健学会, 第69回学術大会, 実行委員, 東京, 2023.11.10-11.12.
2. 日本保健科教育学会, 第8回研究大会, 実行委員, 鎌倉市, 2023.12.17.
3. 日本教育保健学会, 第21回年次大会, 実行委員, 厚木市, 2024.3.2-3.3.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県学校体育研修連合会中越支部第1回研修会, 健康な生活と睡眠, 研修会講師, 新潟県学校体育研修連合会中越支部研修会, 受講者, アトリウム長岡, 2023.6.22.
2. 保健教育実践講座, 学習指導要領を踏まえた保健の授業づくり, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2023.6.23.
3. がん教育に関する指導者研修会, がん教育の研究と実践, 研修会講師, 群馬県教育委員会, オンライン, 受講者, 2023.6.30.
4. 保健教育実践講座, 保健教育における主体的・対話的で深い学び, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2023.9.29.
5. 鳥取県がん教育啓発研修会, 学校における保健教育とがん教育, 研修会講師, 鳥取県教育委員会, 受講者, 鳥取福祉人材センター, 2023.10.12.
6. がん教育実践校授業実践会議, 学習指導要領を踏まえたがん教育の進め方, 研修会講師, 北海道教育委員会, 受講者, オンライン, 2023.10.17.
7. がん教育研修会, 新潟県におけるがん教育, 研修会講師, 新潟県教育委員会, 受講者, 刈羽中学校, 2023.10.26.
8. がん教育指導者研修会, 学校におけるがん教育の研究と実践, 研修会講師, 福岡県教育委員会, 受講者, 福岡リーセントホテル, 2023.10.27.
9. 健康教育研究大会, 養護教諭が行う保健教育の工夫, 研修会講師, 徳島県小学校養護部会, 受講者, 藍住町総合文化ホール, 2023.11.17.
10. 学校保健委員会, 健康と睡眠・メディアとの関わり, 研修会講師, 四つ葉学園, 受講者, 第四中学校, 2023.12.6.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新発田市立第一中学校学校評議員会 (学校評議員), 胎内市立乙中学校学校運営協議会 (委員), 聖籠中学校の部活動の在り方検討委員会 (委員長)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科研費基盤研究 (B), がん教育の発展に関する実証的研究, 研究代表者
2. 2021年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), ストレス対処の技能に関する教育プログラムの開発と評価, 研究代表者
3. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 学校医の資源ネットワークマップによる地域・学校保健連携促進モデルの開発, 研究分担者
4. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 教員の保健・安全の資質・能力育成に関するデジタル学習教材の開発, 研究分担者
5. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用, 研究分担者

6. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究分担者
7. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部, 公衆衛生学 (学校保健), 2022年度前期
2. 新潟大学教育学部, 体育科教育法 (保健), 2022年度前期・後期
3. 豊岡短期大学通信教育部, こどもの指導法「健康」, 2022年度集中講義

7 学内委員会活動 FD・SD推進委員会 (委員長), 身体教育推進センター

氏名: 佐藤 和也

1 研究題目 野球のコーチング

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. PTA 講座講演会, 瞬時の判断力を磨く, 講師, 県立新潟中央高等学校, 新潟中央高等学校保護者・教職員, 新潟中央高等学校, 2023.5.20.
2. 講演会, 講師, 株式会社伊藤建設, 伊藤建設グループ社員, ハイブ長岡, 2023.6.3.
3. 40周年記念講演会, 講師, 見附ロータリークラブ, 見附市, 2023.6.18.
4. 講演会, 「人生という山の登り方」【挑戦と成長】から人生のハイライトを創り出す!, 講師, ソニー生命保険株式会社, 大阪市, 2023.6.21.
5. 講演会, 講師, 新潟県警察学校, 初任科第393期生, 新潟警察学校, 2023.8.1.
6. 講演会, 講師, 新潟駅南会, 新潟駅南会会員, 新潟グランドホテル, 2023.8.2.
7. 令和5年度新潟県高等学校PTA連合会進路対策委員会主催研修会, 「明日を担う若者に期待する力〜感覚・感性を磨く〜」, 講師, 新潟県高等学校PTA連合会進路対策委員会, 長岡市, 2023.10.18.
8. 長岡野球教室, 講演会, 講師, 長岡野球協議会, 長岡市内野球未経験者・学童チーム選手・指導者, 長岡市ニュータウン運動公園, 2023.10.21.
9. 南魚沼市指導者講習会, 令和の小中学生指導法について, 講師, 株式会社ベースボールマガジン社, 南魚沼市小中学校野球指導者, 大原運動公園ベーマガSTADIUM, 2023.11.3.
10. 全日本軟式野球連盟資格「コーチⅠ」養成講習会, 講師, 全日本軟式野球連盟, 「コーチⅠ」養成講習会受講者, HARD OFF ECO スタジアム新潟, 2023.11.19.
11. 講演会, これからの野球指導者に求められるもの, 講師, 長岡野球協議会, 長岡市, 2023.11.25.
12. 令和5年度長岡地域定住自立圏『スポーツ振興事業』野球教室・野球指導者講習会, 講師, 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会, 小千谷市, 2023.12.3.
13. 令和5年度新潟県高等学校体育連盟研究大会, 講師, 新潟県高等学校体育連盟, 新潟市, 2023.12.8.
14. 講習会, 瞬時の判断力 現場で活きる脳の使い方, 講師, 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科, 新潟市, 2023.12.13.
15. 指導者技術講習会, 講師, 新潟市東区スポーツ協会, 小学生, ハードオフエコスタジアム室内練習場, 2023.12.16.
16. 指導者技術講習会, 講師, 日本リトルシニア中学硬式野球協会信越連盟新潟ブロック新潟県内加盟チーム指導者, 新潟市, 2023.12.17.
17. 令和5年度長野県野球協会指導者委員会講習会, 講師, 長野県野球協会, 松本市, 2024.1.14.
18. 柏崎刈羽地区野球協議会指導者研修会, 講師, 柏崎刈羽地区野球協議会, 柏崎市, 2024.2.3.
19. 荒川商工会新春経営講演会, 講師, 荒川商工会, 村上市, 2024.2.9.

20. 指導者講習会，講師，佐渡市野球連盟，佐渡野球関係者，佐渡市，2024.3.24.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. 新聞，スポーツニッポン，新潟医療福祉大学女子硬式野球部関連，2023.5.23.
 2. 新聞，新潟日報，新潟医療福祉大学女子硬式野球部関連，2023.5.23.
 3. 新聞，スポーツニッポン（関西版），厳しく接した器用に見事に応えた大学時代，2023.5.27.
 4. 雑誌，スタンダード2023年夏号，女子野球創部記事，2023.6.1.
 5. テレビ，UXテレビ21 SJにいがた「ガッツリート」夏の甲子園新潟大会展望，2023.6.26.
 6. Webサイト，UXテレビ21 佐藤和也総監督のまなざし，2023.7.1-8.9.
 7. ラジオ，FM新潟，Jin's Redioショー 野球関連，2023.7.19.
 8. 新聞，スポーツニッポン，「和也スコープ」，2023.7.25-8.10.
 9. 新聞，スポーツニッポン，笠原，台湾プロ決断 医福大の恩師佐藤総監督に報告，2023.11.29.
 10. 雑誌，ベースボールクリニック1月号（ベースボールマガジン社），令和の小・中学生指導者の育成～現場での伝え方～，2023.12.15.
 11. 新聞，信濃毎日新聞，県野球協会が初の企画「フォーム正しく小中学生指導者の講習会」，2024.1.15.
 12. 新聞，デイリースポーツ，虎戦士にエール 夢リレー期待，2024.1.29.
 13. 新聞，新潟日報，理論とコミュニケーション大切ースポーツ指導者らへ講演ー，2024.3.28.
 14. Webサイト，野球専門メディア フルカウント，「監督36年で得た学び」，2024.3.28.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
- UX新潟テレビ21スポーツコメンテーター，スポーツコーチャーズネット長岡アドバイザー，新潟県野球連盟副会長，新潟県女子野球連盟副会長

氏名：脇野 哲郎

- 1 研究題目 教員養成段階学生における実践的指導力の育成（体育科教育学），体づくり運動の授業改善（体育科教育学），現代の課題に応える学校体育経営（体育経営学）
- 2 著書
 1. 脇野哲郎，令和新時代の私立大学教職課程の教員養成の在り方ー全国私立大学教職課程協会教職課程運営に関する研究交流会資料を基にー，新潟医療福祉大学教職支援センター年報，2023; 7; 12-18
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会，日本体育科教育学会，日本保健科教育学会，新潟医療福祉学会，新潟県体育学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟大学教育学部附属新潟小学校初等教育研究会，指導者，新潟大学，教職員，新潟市，2023.10.13.
 2. 新潟市立上所小学校教育研究会，指導者，新潟市立上所小学校，教職員，新潟市，2023.11.18.
 3. 新潟教育会教育研究発表会，指導者，新潟教育会，教職員，新潟市，2023.12.29.
 - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市放課後子どもプラン推進委員会委員長，新潟市がん教育推進委員，胎内市いじめ問題対策委員会委員，聖籠町幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上教科事業有識者会議委員長，聖籠町放課後子ども教室の在り方検討委員会委員長，教育公益財団法人新潟教育会理事，新潟市立葛塚小学校・浜浦小学校・濁川小学校・濁川中学校・南浜小学校・太夫浜小学校・下山中学校・光晴中学校 学校運営委員，聖籠町立聖籠中学校 学校運営委員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. ダンス部，第35回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸），創作コンクール部門，神戸市，2023.8.7-8.10.（部長）

2. ダンス部, 第42回あきた全国舞踊祭秋田モダンダンスコンクール, 群舞部門, 優秀群舞賞, Duo なまはげ賞, 秋田市, 2023.12.9-12.10. (部長)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学教育学部, 保健体育教育法Ⅳ, 2023.12.14-2024.1.11.
2. アップルスポーツカレッジ, スポーツ経営学, 2023.4.21-6.2.

6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会委員長, 教職課程長, 国家試験・資格試験対策委員会

氏名: 佐熊 裕和

報告事項なし

氏名: 大森 豪

- 1 研究題目 変形性膝関節症の病態解明に関する疫学研究 (予防医学), 変形性膝関節症に対する筋力訓練の効果に関する研究 (臨床医学), 膝関節の3次元歩行運動解析 (生体工学), 成長期骨折発生に関する疫学研究 (公衆衛生学, 予防医学), 膝前十字靭帯発生メカニズムに関する運動学的研究 (生体工学, 臨床医学), スポーツにおける疲労骨折発生予防の調査研究 (予防医学, 臨床医学), 健康スポーツ用装具の開発 (臨床医学, スポーツ医学)

2 著書

1. 大森豪, ナーシンググラフィカ, 第7版, 大阪: メディカ出版; 2023年: 296-297.
2. 大森豪, 看護のための臨床病態学, 第5版, 東京: 南山堂; 2023年: 641-696.
3. 大森豪, 変形性膝関節症診療ガイドライン2023, 東京: 南江堂; 2023年: 27-28, 31-32, 41-42.

3 論文

1. Nishino K, Suzuki H, Tanaka M, Kikumoto T, Omori G. Single-leg medial drop landing with trunk lean includes improper body mechanics related to anterior cruciate ligament injury risk: A comparison of body mechanics between successful trials and failed trials in the drop landing test among female basketball athletes. Clin Biomech (Bristol, Avon). 2023 Apr;104:105942. doi: 10.1016/j.clinbiomech.2023.105942. Epub 2023 Mar 12. PMID: 36933396 (査読あり)
2. Taniguchi Y, Akune T, Nishida N, Omori G, Kim HA, Ueno K, Saito T, Oichi T, Koike A, Mabuchi A, Oka H, Muraki S, Oshima Y, Kawaguchi H, Nakamura K, Tokunaga K, Tanaka S, Yoshimura N. A common variant rs2054564 in ADAMST17 is associated with susceptibility to lumbar spondylosis. Scientific Reports. 2023 Mar 25; 13(1): 4900. doi: 10.1038/s41598-023-32155-w. (査読あり)
3. Nishino K, Hayashi R, Kushida K, Omori G. The immediate effect of a prototype shoes for restraining body mechanics of knee osteoarthritis. Footwear Science 2023; 15: NO.51 S45-46. (査読あり)
4. Hayashi R, Nishino K, Kushida K, Omori G. Effects of prototype shoes for knee osteoarthritis in female adults -Evaluation of gait, clinical outcome and body composition -Footwear Science 2023; 15: NO.51 S138-139. (査読あり)
5. Yamashiro K, Shiya K, Ikarashi K, Anazawa S, Makibuchi T, Baba Y, Fujimoto T, Ochi Y, Omori G, Sato D. Reduced somatosensory evoked potentials and paired-pulse inhibition in the primary somatosensory cortex of athletes with chronic pain. Euro J Appl Physiol 2023: PMID: 37330433 DOI: 10.1007/s00421-023-05224-1. (査読あり)
6. Tomiyama Y, Mochizuki T, Koga H, Omori G, Koga Y, Tanifuji O, Nishino K, Endo K, Kawashima H. The Matsudai Knee Osteoarthritis Survey showed the longitudinal changes of knee phenotypes in alignment and structure during 23-28 years. Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 2023, on line. Heeps://doi.org/10.1007/ s00167-023-07554-1. (査読あり)
7. Ushiki T, Mochizuki T, Suzuki K, Kamimura M, Ishiguro H, Suwabe T, Watanabe S, Omori G, Yamamoto N, Kawase T. Strategic analysis of body composition indices and resting platelet ATP

levels in professional soccer players for better platelet-rich plasma therapy. *Frontiers in Bioengineering and Biotechnology* (Front. Bioeng. Biotechnol) DOI 10.3389/fbioe.2023.1255860. (査読あり)

8. Hijikata H, Mochizuki T, Maeda K, Tnifuji H, Omori G, Yamamoto N, Kawasima H. Varus/Valgus stability in imageless robotic-assisted total knee arthroplasty applying three-dimensional assessment of varus/valgusstress X-rays. *Biomed Mater Eng.* 2023. Nov 29 doi: 10.3233/BME-230146. (査読あり)
9. Mochizuki T, Ushiki T, Sato M, Ishiguro H, Suwabe T, Watanabe S, Edama M, Omori G, Yamamoto N, Kawase T. Elevated IL-18 and Comparable IL-1 Receptor Antagonist Levels Are Characteristic Features of L-PRP in Female College Athletes Compared to Male Professional Soccer Players. *Int. J. Mol. Sci.* 2023, 24, 17487. <https://doi.org/10.3390/ijms242417487>. (査読あり)
10. 富山泰行, 大森豪, 山本智章, 菊池達哉, 谷藤理, 望月友晴. スポーツ選手に対する Cannulated Cancellous Screw による膝蓋骨疲労骨折の治験. *日本臨床スポーツ医学会誌*, 2023; 31(1): 180-186. (査読あり)
11. DRR 画像を用いた二次元画像上の大腿骨-脛骨間の側方移動指標の精度検証. 森隆裕, 田中正栄, 渡邊博史, 森清友亮, 望月友晴, 古賀寛, 小林公一, 大森豪, 坂本信, 田邊裕治, 古賀良生. *臨床バイオメカニクス* 2023, 87-91 44. (査読あり)
12. 鈴木秀和, 西野勝敏, 田中正栄, 上松大輔, 大森豪. 前十字靱帯再建術から競技復帰を果たした女子選手の非予測カッティング動作時における下肢関節運動と膝外傷と変形性膝関節評価点数 (KOOS) の健康差. *日本臨床スポーツ医学会誌* 2023; 31, 100-108. (査読あり)

4 報告書

1. 大森豪, 古賀寛, 田邊祐治, 小林公一, 坂本信. 研究基盤 (C), 変形性膝関節症の病態解明-長期疫学及び新しい運動学的アプローチ, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究代表者.

5 学会等研究発表

1. 大森豪. Closed wedge HTO の 3 症例-超長期経過に学ぶもの, 第 4 回北信越 Knee Osteotomy 研究会, (新潟市), 2023.4.16.
2. Hayashi R, Kushida K, Nishino K, Omori G. Effects of prototype shoes for knee osteoarthritis in female adults - Evaluation of gait, clinical outcome and body composition. *Footwear Biomechanics Synposium (FBS) 2023*, (大阪市), 2023.7.26-7.28.
3. Nishino K, Hayashi R, Kushida K, Omori G. The immediate effect of a prototype shoes for restraining body mechanics of knee osteoarthritis. *Footwear Biomechanics Synposium (FBS) 2023*, (大阪市), 2023.7.26-7.28.
4. 前田圭祐, 望月友晴, 西野勝敏, 大森豪, 高木繁, 谷藤理. 3 次元歩行解析を用いた健常女性と健常女性アスリートの歩行時動的骨軸変位. 第 50 回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市, 2023.11.10-11.11.
5. 木村緋, 笹川和彦, 藤崎和弘, 三浦鴻太郎, 大森豪. サッカー動作中に足底に作用する接触圧力, せん断応力の分布計測-Jones 骨折発生メカニズムの解析. 第 50 回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市, 2023.11.10-11.11.
6. 望月友晴, 谷藤理, 佐藤卓, 西野勝敏, 高木繁, 土方啓生, 前田圭祐, 山本智章, 大森豪, 川島寛之. ロボット支援人工膝関節置換術前後の dynamic alignment のバイオメカニクス-関節面傾斜, アライメントが与える影響-第 50 回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市, 2023.11.10-11.11. 【シンポジウム】
7. 渡邊博史, 田中正栄, 遠藤和男, 望月友晴, 古賀寛, 森清友亮, 坂上勇太, 坂本信, 林智彦, 大森豪, 古賀良生. 変形性膝関節症における X 線進行度の経時的角度変化-進行前期に脛骨軸傾斜, 後期に関節開き角が内反変化に寄与-. 第 50 回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市, 2023.11.10-11.11.
8. 田中正栄, 渡邊博史, 遠藤和男, 望月友晴, 古賀寛, 森清友亮, 坂上勇太, 坂本信, 林智彦, 大森豪, 古賀良生. 変形性膝関節症の X 線進行度評価の経時的大腿骨・脛骨関節面線アック度変化に関連する疫学要因の検討-進行前期における膝伸展筋力の重要性-第 50 回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市,

2023.11.10-11.11.

9. 青木一磨, 渡邊聡, 齊藤大寛, 小野寛英, 林智彦, 林豊彦, 森清友亮, 古賀良生, 大森豪, 小林公一. 跳躍型脛骨疲労骨折のは発症に影響する脛骨形状特徴の評価. 第50回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市, 2023.11.10-11.11.
10. 大森豪. スポーツ医学のキャリア形成ースポーツドクターとして. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12. 【教育講演】
11. 阿久澤弘, 石垣智恒, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 坂本航大, 江玉睦明, 大森豪. 第5中足骨に皮質骨肥厚を認める男子サッカー選手の足部の形態的特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
12. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 小林真理奈, 大森豪. 慢性足関節不安定症を有する選手における足関節外側側副靱帯再損傷因子の検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
13. 松浦由生子, 藤本知臣, 三瀬貴生, 江玉睦明, 熊崎昌, 森清友亮, 大森豪. セン断エラストグラフィーを用いた肩関節周囲筋弾性率とスイマーズショルダー発生との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
14. 埴晴雄, 江玉睦明, 稲葉洋美, 阿久澤弘, 小林志郎, 伊藤篤司, 小林真理奈, 濱野礼奈, 松浦由生子, 菊元孝則, 大島めぐみ, 大森豪. 本学強化クラブ女子部員の貧血, 鉄欠乏と鉄代謝調節ホルモンヘシジンの検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
15. 土方啓生, 山本智章, 望月友晴, 江玉睦明, 大森豪. 女性アスリートにおけるビタミンD充足状況. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
16. 江玉睦明, 大森豪. 地域における女性アスリート支援ー新潟県における取り組みー. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12. 【シンポジウム】
17. 鈴木英知, 田中正栄, 大森豪. 反応筋力指数の相違による膝前十字靱帯損傷リスクの検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
18. 石垣智恒, 阿久澤弘, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 江玉睦明, 大森豪. シャドーピッチングにおける肘外反ストレス. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
19. 三瀬貴生, 松浦由生子, 熊崎昌, 江玉睦明, 大森豪, 森清友亮. 成長期競泳選手における外傷・障害調査～性別・パフォーマンスにおける比較～第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
20. 古賀寛, 大森豪, 川島寛之. 新型コロナウイルスパンデミックが学童骨折に与えた影響2020. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
21. 関根千恵, 江玉睦明, 阿久澤弘, 横田裕丈, 平林怜, 石垣智恒, 菊元孝則, 松浦由生子, 大森豪. 女性アスリートにおける仙腸関節障害の頻度. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
22. 熊崎昌, 平林怜, 江玉睦明, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 大学サッカー競技における頭部・顔面外傷発生状況の特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
23. 江玉睦明, 高野倖, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 高林知也, 大森豪. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
24. 平林怜, 阿部明日香, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 咬合強度と咬合バランスが着地動作に及ぼす影響. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
25. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. 大学女子アスリートの捕食摂取習慣. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
26. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠・栄養素等摂取状況に関する実態調査. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
27. 横田裕丈, 江玉睦明, 高杉梨紗, 平林怜, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪. アスリートとノンア

スリートにおける音楽聴取が運動パフォーマンスに及ぼす影響の違いと自律神経活動との関連. 第34回
日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本整形外科学会, 日本臨床スポーツ医学会 (理事), 日本スポーツ整形外科学会 (評議員),
日本臨床バイオメカニクス学会 (理事), 日本膝学会 (評議員), 日本人工関節学会 (評議員), 日本運動器
科学会 (評議員), ISAKOS (国際関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会), 東北整形災害外科学会, 膝OAと
運動・装具療法研究会 (代表世話人), 日本運動器 shock wave 研究会 (幹事), スポーツ傷害フォーラム (幹
事), 膝フォーラム (世話人), TKAフォーラム (幹事), 新潟スポーツ傷害フォーラム (代表世話人), 日
本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 学会 (代表世話人), 関節鏡手術セミナー (代表世話人), 北信
越 Knee Osteotomy 研究会 (顧問), 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 2022年度新潟スポーツ傷害フォーラム研修会 (共催: 新潟市中体連部
活指導者研修会), 会長, 新潟市, 2023.6.2.
2. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 第10回新潟スポーツ傷害フォーラム, 会長, 新潟市, 2023.10.28.
3. 新潟県スポーツドクター協会, スポーツ医学再研修会, 会長, 新潟市, 2024.3.16.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本機械学会ジョイントシンポジウム 2023, シンポジウム, 座長, 仙台市, 2023.5.3-5.4.
2. 第1回日本スポーツ整形外科学会, ポスターセッション, 座長, 広島市, 2023.6.29-7.1.
3. Shock Wave Japan 2023, 一般口演, 座長, 東京都, 2023.9.23.
4. 第11回新潟スポーツ傷害フォーラム, 教育研修講演, 座長, 新潟市, 2023.10.27.
5. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 会長講演, 座長, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
6. 第1回日本膝学会, 教育研修講演, 座長, 横浜市, 2023.12.8-12.9.
7. 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフミーティング, 公開講座, 座長, 新潟市,
2023.12.23.
8. 第54回日本人工関節学会, 一般口演, 座長, 京都市, 2024.2.23-2.24.
9. 新潟県医師会スポーツドクター再研修会, 教育研修講演, 座長, 新潟市, 2024.3.16.
10. 日本臨床スポーツ医学会, 教育研修委員会委員長, 学会誌査読委員, 総務委員会委員
11. 日本整形外科学会英文誌 (J orthop Sci) 査読委員
12. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 機能評価委員会委員長, 広報委員会委員, 学会誌査読委員
13. 日本整形外科学会, 変形性膝関節症ガイドライン作成委員会委員
14. 日本整形外科スポーツ医学会, 学会誌査読委員
15. 日本運動器 shock wave 研究会, 監事
16. 日本人工関節学会, 専門医制度認定委員会委員
17. 日本運動器科学会, 学会誌査読委員
18. 日本臨床バイオメカニクス学会, 将来構想委員会委員長, 学会誌査読委員

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2023年度新潟スポーツ傷害フォーラム研修会 (新潟市中体連部活指導者研修会), 成長期のスポーツ
傷害-腰椎分離症, 講師, 新潟スポーツ傷害フォーラム, 中学校部活指導者, 新潟市, 2023.6.2.
2. 令和5年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会, 中高年者と運動 (整形外科系), 講師,
日本スポーツ協会, スポーツドクター, 東京都, 2023.10.7.
3. 科研製薬社内研修会, 変形性膝関節症の診断と治療, 講師, 科研製薬北信越支社, 科研製薬社員, 新
潟市, 2023.10.26.
4. 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフミーティング, 新潟スポーツ医・科学コンソーシア
ムについて, 会長講演, 新潟スポーツ医・科学コンソーシアム, 一般市民, スポーツ指導者, 医療関

係者，新潟市，2023.12.23.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. テレビ，NT21ニュース，新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフミーティング，2023.12.23.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学，新潟リハビリテーション病院，NSG，3者連携プロジェクト，新潟医療福祉大学の委員，2023年度通年
2. 日本スポーツ協会，鹿児島国体ドクターズミーティング，新潟県選手団医師として参加，オンライン開催，2023.9.16.
3. 新潟市陸上競技連盟，新潟シティマラソン，会場ドクター，新潟市，2023.10.8.

4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟県スポーツ推進審議会（委員）

5) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県サッカー協会（医学委員），新潟県スポーツドクター協会（会長），新潟県医師会（健康スポーツ委員会・委員），新潟市スポーツ協会（理事），新潟県スポーツ協会（AT部会顧問）

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研基盤研究（C），変形性膝関節症の病態解明－長期疫学調査及び新しい運動学的アプローチ，研究代表者，継続
2. 2020年度，共同研究（YONEX），スポーツ用具機能の健康増進と競技パフォーマンス向上への有効性の研究，研究代表者，延長継続
3. 2022年度，スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト（女性アスリートの課題解決型実践プログラム）」，産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成，研究代表者・分担者，継続

9 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会（委員），安全衛生委員会（委員），アスリートサポート研究センター（センター長）

氏名：越中 敬一

1 研究題目 身体のエネルギー代謝調節機構の解明

2 学会等研究発表

1. 大浦拓徳，佐藤晶子，古越祐介，川田裕樹，越中敬一，骨格筋における水分量の減少がエネルギー代謝に及ぼす影響，第31回運動生理学会大会（つくば市），2023.8.23.
2. 佐藤晶子，増田紘之，越中敬一，短期的なチアミンの摂取制限が骨格筋および肝臓の脂質代謝関連分子に与える影響，第70回日本栄養改善学会学術総会（名古屋市），2023.9.1.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，運動生理学会，日本体力医学会（評議員）

2) 学会等でのその他の活動

1. Biology，査読

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度，研究基盤（C），一過性の身体運動による骨格筋インスリン作用の亢進における水分子動態の関与，越中敬一（研究代表）

5 学内委員会活動 劇毒物管理委員会，科研費対策委員会

氏名：山代 幸哉

1 研究題目 脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出

2 論文

1. Yamashiro K, Shiya K, Anazawa S, Makibuchi T, Ikarashi K, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Omori G, Sato D. Reduced somatosensory evoked potentials and paired-pulse inhibition in the primary somatosensory cortex of athletes with chronic pain. *European Journal of Applied Physiology*. Volume 123, pages 2537-2543, 2023
2. Anazawa S, Yamashiro K, Makibuchi T, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Sex Differences in Excitatory and Inhibitory Function in the primary somatosensory Cortex during the Early Follicular Phase: A Preliminary Study. *Brain Sciences*. Volume 13, page 761
3. Makibuchi T, Yamashiro K, Anazawa S, Fujimoto T, Ochi G, Ikarashi K, Sato D. Assessing the Effects of the Topical Application of L-Menthol on Pain-Related Somatosensory-Evoked Potentials Using Intra-Epidermal Stimulation. *Brain Sciences*. Volume 13, page 918

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本生体磁気学会（評議員）、日本体力医学会、日本運動生理学会、日本体育スポーツ学会、日本臨床神経生理学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学陸上記録会，運営，新潟医療福祉大学陸上部，新潟市，7.1.
2. 新潟医療福祉大学陸上記録会，運営，新潟医療福祉大学陸上部，新潟市，7.2.
3. 新潟医療福祉大学陸上記録会，運営，新潟医療福祉大学陸上部，新潟市，8.13.
4. 新潟医療福祉大学陸上記録会，運営，新潟医療福祉大学陸上部，新潟市，9.2.
5. スポーツ遊びの日，新潟医療福祉大学スポーツ振興室，運営，新潟市，9.24.
6. 新潟医療福祉大学陸上記録会，運営，新潟医療福祉大学陸上部，新潟市，10.7.
7. 新潟医療福祉大学陸上記録会，運営，新潟医療福祉大学陸上部，新潟市，11.4.
8. 北信越冬季選抜合宿，女子短距離コーチ，北信越高体連，新潟市，12.24.
9. 北信越冬季選抜合宿，女子短距離コーチ，北信越高体連，新潟市，12.25.
10. 北信越冬季選抜合宿，女子短距離コーチ，北信越高体連，新潟市，12.26.
11. 北信越冬季選抜合宿，女子短距離コーチ，北信越高体連，新潟市，12.27.
12. 学校保健新発田支部養護教諭研修会，講師，2.26.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度，科研費基盤研究（B），脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出，研究代表者
2. 2021年度，科研費基盤研究（B），皮質－基底核ループの抑制機能を高め，技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発，研究分担者

6 学内委員会活動 大学院教育研究環境委員会（委員長）、URA推進室、アドミッションオフィス室員

氏名：佐藤 晶子

1 研究題目 短期的なチアミン（ビタミンB1）の摂取制限がエネルギー代謝に及ぼす影響

2 学会等研究発表

1. 佐藤晶子，増田紘之，越中敬一．短期的なチアミンの摂取制限が骨格筋および肝臓の脂質代謝関連分子に与える影響．第70回日本栄養改善学会学術総会（名古屋市），2023.9.1-9.3.
2. 大浦拓徳，佐藤晶子，古越祐介，川田裕樹，越中敬一．骨格筋における水分量の減少がエネルギー代謝に及ぼす影響，第31回日本運動生理学会大会（つくば市），2023.8.23-8.24.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会 (評議員), 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和5年度指導者育成プログラム研修会 第6回スポーツと栄養, 講習会講師, NPO法人希楽々, 融合型部活動指導者, スポーツ少年団指導者, 総合型クラブ職員, 教員, 村上市・村上市生涯学習推進センター (マナボーテ), 2023.6.20.
2. 県央スポーツネットワークスポーツ指導者講習会兼県央スポーツサポーターバンク認定講習会「スポーツと栄養」, 講習会講師, 県央スポーツネットワーク, スポーツ指導に携わる指導者または保護者, 燕市・燕市分水公民館, 2023.11.29.
3. 栄養講習会, 講習会講師, アクシーひがし, 選手コース保護者, 新潟市・アクシーひがし 2023.12.2.
4. 栄養講習会, 講習会講師, 大宮教育センター 大教スイミングスクール, ジュニア選手, オンライン (Zoom ウェビナー), 2023.12.9.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 一般雑誌, スイミングライフ (株式会社インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学～科学を学んで速く泳げるようになろう!～「サプリメントの考え方」, 2023.10.5.

3) 社会活動への参加協力

1. 第77回新潟県陸上競技選手県大会/実業団PCG in NIIGATA, 医科学ブーススタッフ, 管理栄養士, 新潟市・デンカビッグスワンスタジアム, 2023.7.16.

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益社団法人全日本アーチェリー連盟強化部科学委員, 日本オリンピック委員会強化スタッフ (医・科学スタッフ), 新潟県陸上協会専門部 (医科学部)

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年度, 基盤研究 (C), 体内チアミン量の短期的な減少がグリコーゲンローディングに及ぼす影響, 研究代表者

6 学内委員会活動 教務委員会, SHAINプロジェクト, JICA草の根支援事業 (ハイズオン氏の住民に対する地域連携訪問サービスのモデルづくり)

氏名: 伊藤 篤司

- 1 研究題目 VR映像を用いたバスケットボール審判の力量を高めるシステムの開発, 大学強化部学生における鉄欠乏性貧血と鉄代謝関連ホルモンに関する研究, 立位と坐位による下肢血流に対する弾性ストッキングの有用性の研究, 閉塞性動脈硬化症ASOにおける運動療法の新しい取り組み, スポーツハラスメント予防に関連したスポーツ指導者の自律神経活動動態についての研究, 毛髪を用いた女性アスリートのオーバートレーニングを予防するコンディション評価法開発, 女子プロバスケットボール選手と非アスリートの衝動性眼球運動能力の比較

2 論文

1. Tatara S, Toda H, Maeda F, Ito A, Handa T. Comparison of the Saccadic Eye Movement Ability of Female Professional Basketball Players and Non-Athletes. Journal of Applied Sciences, 2024, 14(3), 1108 (review)

3 学会等研究発表

1. 多々良俊哉, 戸田春男, 内山理菜, 関根朱里, 伊藤篤司, 前田史篤, 半田知也. 視線解析を用いた女子プロバスケットボール選手の追従眼球運動の評価, 第23回新潟医療福祉学会学術集会, (新潟市) 2023.10.28.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本バスケットボール学会 (正会員), 日本スポーツ心理学会 (正会員)

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 出張講義, 「時間と行動」, 柏崎翔洋中等教育学校, 2023.8.30.
2. 岩手県JBA公認コーチリフレッシュ研修会, 岩手県バスケットボール協会, 育成年代を対象としたバスケットボール指導, 講師, 岩手県奥州市総合体育館Zアリー, 2023.9.9.
3. 日本スポーツ協会, 共通科目Ⅲ未修了者対象フォローアップ講習会, コーチデベロッパー, オンライン開催, 2023.7.2.
4. 日本スポーツ協会, 共通科目Ⅲ指導者育成講習会, コーチデベロッパー, オンライン開催, 2023.9.1-9.3.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. Yahooニュース (WEB), 新潟アルビレックスBBラビッツ ヘッドコーチ続投のお知らせ, 写真・コメント掲載, 2023.4.26.
2. BSN NEWS DIG, 新潟アルビレックスBBラビッツ 伊藤篤司ヘッドコーチの続投が決定, 写真・コメント掲載, 2023.4.26.
3. 新潟日報デジタルプラス, Wリーグ・新潟BBラビッツ 伊藤篤司監督が2023~24年シーズンも続投すると発表した, コメント掲載2023.4.26.
4. 日刊スポーツ, (WEB), 【Wリーグ】新潟, 伊藤篤司監督が続投「個々の能力融合させレベルアップを」契約更新選手も発表, 写真・コメント掲載, 2023.4.26.
5. 刊スポーツ, (WEB), 【Wリーグ】新潟に8年ぶり地元選手 新潟清心女子高出身の杉山夏穂「感謝忘れず」新入団選手会見, コメント掲載, 2023.4.28.
6. 刊スポーツ, (WEB), 【Wリーグ】新潟BBが必勝祈願, 伊藤篤司監督「楽しみです」コメント掲載, 2023.9.26.
7. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 目標の5勝に向け「力を合わせて戦う」西垂水主将らが必勝祈願・10月14日開幕戦, コメント掲載, 2023.9.26.
8. 日刊スポーツ, (WEB), 【Wリーグ】6季連続最下位の新潟伊藤監督, 今期は「シーズン5勝」の目標達成を狙う, 写真・コメント掲載, 2023.5.4.
9. にいがた経済新聞, (WEB), 【スポーツと医学の融合】女子プロバスケットボールの新潟アルビレックスBBラビッツが「目の精密検査」を実施, 未来の「視機能訓練士」たちが活躍, 写真・コメント掲載, 2023.6.23.
10. にいがた経済新聞, (WEB), 【新しい風】新潟アルビレックスBBラビッツの新加入選手が会見, 新潟医療福祉大学でスポーツ鍼灸体験も, 写真・コメント掲載, 2023.4.28.
11. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 2023-24シーズンの選手紹介, 名前掲載2023.10.9.
12. 日刊スポーツ, (WEB), 【Wリーグ】新潟の杉山夏穂「4年分の成長見てもらいたい」新潟市出身ルーキーがデビュー心待ち, コメント掲載, 2023.10.13.
13. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 機動力とスピードで勝負, 目標の5勝へ「序盤からガンガン」10月14日, 2023-24シーズンが開幕, コメント掲載2023.10.12.
14. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟, ホームで開幕黒星発進 新人金澤英果の奮闘が希望の光, コメント掲載, 2023.10.14.
15. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] シーズン開幕戦, シュートに精彩欠き勝利ならずホームで富士通に55-74, コメント掲載, 2023.10.14.
16. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] インサイドに光明, オフェンスリバウンドがっちり 新加入のセンター金澤英果が奮闘「チームに流れを」, コメント掲載, 2023.10.14.
17. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 序盤リードも内外に揺さぶられ失速, 開幕

- 2連敗 富士通に55－76, 掲載, 2023.10.15.
18. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 課題修正し今季初白星を 10月21, 22日にトヨタ自動車戦, コメント掲載, 2023.10.20.
19. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 開幕3連敗, トヨタ自動車に51－94, コメント掲載, 2023.10.21.
20. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 前半の失点響き開幕4連敗, トヨタ自動車に56－88, 掲載, 2023.10.22.
21. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟矢野祐末「アイシン戦はリバウンドに飛び込みたい」180cm長身生かす, コメント掲載, 2023.10.26.
22. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 連敗食い止めホーム初白星を 10月28, 29日にアイシン戦, 掲載, 2023.10.27.
23. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟, 大敗で開幕5連敗 伊藤監督「反省しか出てこない」コメント掲載, 2023.10.28.
24. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 守備で粘り接戦演じるも届かず, ついに開幕6連敗, アイシンに63－69, 掲載, 2023.10.29.
25. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 立ち上がり競るも相手ペースにのまれ開幕戦5連敗, アイシンに52－89, コメント掲載, 2023.10.28.
26. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟, 6点差惜敗で開幕戦6連敗 22歳本田朱里が1Qだけで10得点の活躍, コメント掲載, 2023.10.29.
27. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 鍵は3点シュート, 成功率上げ初勝利&最下位脱出を 11月4, 5日に東京羽田戦, コメント掲載, 2023.11.3.
28. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 拙攻続き今季最少得点 東京羽田に44－88で大敗, 開幕7連敗, コメント掲載, 2023.11.3.
29. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 待望の今季初勝利! 着実な加点で東京羽田に69－61 金澤英果が両チーム最多25得点, 連敗7で止める, コメント掲載, 2023.11.5.
30. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 初勝利の勢いに乗り, 初開催の新潟佐渡市でホーム初白星を! 11月11日・12日に三菱電機戦, コメント掲載, 2023.11.10.
31. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 点の取り合いも, 終盤突き放され連勝ならず 三菱電機に70－84, コメント掲載, 2023.11.11.
32. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 後半守備に甘さ, シュート精度もダウン…三菱電機に47－94, コメント掲載, 2023.11.13.
33. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 強敵に粘り強く挑め! 11月18, 19日にアウエーでデンソー戦, コメント掲載, 2023.11.17.
34. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 序盤から攻守とも消極的に デンソーに43－98, 55点差で大敗, コメント掲載, 2023.11.18.
35. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 開始から連続14失点, 堅守も破れず デンソーに49－104, またも55点差で大敗, コメント掲載, 2023.11.19.
36. 新潟日報デジタルプラス, [バスケットボール・皇后杯] 新潟アルビレックスBBラビッツ, 高校生に敗れ3回戦敗退 攻撃抑え切れず, 岐阜女子高に65－80 コメント掲載, 2023.11.25.
37. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] チーム一丸で王者相手に白星つかめ, 12月2, 3日, ホームENEOS戦, コメント掲載, 2023.12.1.
38. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 序盤から力の差, 王者の猛攻に耐えられず ENEOSに49－86, コメント掲載, 2023.12.2.
39. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟, ENEOSに大敗で5連敗も伊藤監督「集中力を発揮してくれた」コメント掲載, 2023.12.2.

40. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 3点シュート1本も決められず リズム崩れENEOSに49－81, コメント掲載, 2023.12.3.
41. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟PG陽本麻優「痛まない」鼻骨骨折から4試合連続装着フェースガード外す, コメント掲載, 2023.12.1.
42. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 前半戦1勝13敗で最下位, 力負け見立ち支柱の離脱も…2部制の来季は1部入り厳しく, 5勝目標「一つでも上え」, コメント掲載, 2023.12.15.
43. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟PG坂田侑紀奈, 姫路戦で復帰「やっとコートでみんなとプレーできる」, コメント掲載, 2023.12.21.
44. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] ポイントガード坂田侑紀奈の復帰濃厚! 下位同士の対戦, 連勝で最下位脱出を 12月23, 24日アウェー姫路戦, コメント掲載, 2023.12.22.
45. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 前半の攻撃に乱れ, 決定力欠き7連敗 姫路に69－87, コメント掲載, 2023.12.23.
46. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】負傷離脱中ルーキー金澤英果3か月ぶり復帰最下位脱出へ「体張って頑張らないと」, コメント掲載, 2024.2.23.
47. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟が今季2勝目 チーム最多20点のPG河村美侑「積極的にゴールに」, コメント掲載, 2023.12.24.
48. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 連敗7で止めた! 11月5日以来の白星 姫路に74－66, 運動量落とさず攻めて守備でも粘り2勝目, コメント掲載, 2023.12.24.
49. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 勢いに乗り全員で白星つかめ 12月29日・30日, ホームでシャンソン化粧品戦, コメント掲載, 2023.12.28.
50. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] インサイド踏ん張れず失点重ね連勝ならず, シャンソン化粧品に57－78, コメント掲載, 2023.12.29.
51. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] ホーム未勝利で越年, シャンソンに66－85, コメント掲載, 2023.12.30.
52. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 中断期間明けのホーム最終戦でホーム初勝利だ! 連敗なら来季2部参戦も…2月24, 25日ホームでアランマーレ戦, コメント掲載, 2024.2.23.
53. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 3点シュートの精度欠き大敗, 3連敗 アランマーレに44－77, コメント掲載, 2024.2.24.
54. 日刊スポーツ, (WEB), 【Wリーグ】新潟が今季ホームで初勝利逃し3連敗 デビューの山瑞美子は敗色濃厚の中3Pで初得点, コメント掲載, 2024.2.24.
55. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] ホーム最終戦でホーム初白星! 3勝目挙げ最下位脱出! アランマーレに71－61, コメント掲載, 2024.2.25.
56. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] シューティングガード・金沢みどり“職場”で躍動! 「ここで誰よりもシュートを打ってきた」, コメント掲載, 2024.2.25.
57. 日刊スポーツ, (WEB), 【バスケ】Wリーグ新潟が今季ホーム最終戦でホーム初勝利途中出場金沢みどりが流れを変えた, コメント掲載, 2024.2.25.
58. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 臆せず攻めるのみ! 目標の「5勝」へ連勝を 3月2, 3日アウェーで山梨戦, コメント掲載, 2024.3.2.
59. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 連勝逃し9位以下確定, 来季の2部参戦が決定 山梨に72－93, コメント掲載, 2024.3.2.
60. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 一進一退, 残り1分で逆転! 最終盤までもつれた接戦制し4勝目 山梨68－63, コメント掲載, 2024.3.3.
61. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 目標の「5勝」まであと一つ, 粘り強く得点を! 3月9, 10日アウェーで日立ハイテク戦, コメント掲載, 2024.3.8.

62. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 今季最多タイ74得点, リバウンド好調も…日立ハイテクに74－94, 連勝逃す, コメント掲載, 2024.3.9.
 63. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 今季最多84点奪ったが…終盤振り切られ1点差で惜敗 日立ハイテクに84－85, コメント掲載, 2024.3.10.
 64. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 目標まであと一つ…今季最終カード, 「らしさ」発揮し勝利を! 3月16日・17日, アウェーでトヨタ紡織戦, コメント掲載, 2024.3.15.
 65. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 今季2度目の100点ゲームで敗れる, トヨタ紡織に66－104 3月17日リーグ最終戦, コメント掲載, 2024.3.16.
 66. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 最後の最後に意地見せた! 今季最終戦, 延長戦で格上撃破! 目標の「5勝」達成, 7季ぶり最下位脱出 トヨタ紡織に65－64, コメント掲載, 2024.3.17.
 67. 新潟日報デジタルプラス, [Wリーグ・新潟BBラビッツ] 7季ぶり最下位脱出も状況は依然厳しく練習環境や待遇改善されず力不足露呈, 問われる経営ビジョン, コメント掲載2024.3.25.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟県, 車いすバスケットボール交流試合, 障がい者へのバスケットボール指導, 指導者, 新潟ふれ愛プラザ新潟県障がい者交流センター体育館, 2023.6.4.
 2. 新潟県主催, 令和5年度交流促進ゆめづくり事業「ゆめづくり」スポーツ教室, バスケットボール指導, 指導者, 白根カルチャーセンター, 2023.7.1.
 3. 新潟県主催, 令和5年度交流促進ゆめづくり事業「ゆめづくり」スポーツ教室, バスケットボール指導, 指導者, 糸魚川市民総合体育館, 2023.7.29.
 4. 新潟県主催, 令和5年度交流促進ゆめづくり事業「ゆめづくり」スポーツ教室, バスケットボール指導, 指導者, 燕市体育センター, 2023.8.5.
 5. スペシャルオリンピックス日本・新潟, ユニファイドバスケットボール教室, バスケットボール指導, 指導者, 新潟ふれ愛プラザ新潟県障がい者交流センター体育館, 2023.7.23.
 6. スペシャルオリンピックス日本・新潟, ユニファイドバスケットボール教室, バスケットボール指導, 指導者, 亀田総合体育館, 2023.7.30.
 7. スペシャルオリンピックス日本・新潟, ユニファイドバスケットボール教室, バスケットボール指導, 指導者, 新潟ふれ愛プラザ新潟県障がい者交流センター体育館, 2023.8.6.
 8. スペシャルオリンピックス日本・新潟, ユニファイドバスケットボール教室, バスケットボール指導, 指導者, 鳥屋野総合体育館, 2023.8.12.
 9. 石川県バスケットボール協会, 石川県成年女子, バスケットボール指導, 指導者, 北陸大学体育館, 2023.8.14.
 10. 新潟アルビレックスBBラビッツ, バスケットボール教室, 指導者, 南魚沼市立藪神小学校体育館, 2023.8.26.
 11. 新潟アルビレックスBBラビッツ, バスケットボール教室, 指導者, 両津総合体育館, 2023.8.26.
 12. 阿賀野市交通安全協会, 水原祭り民謡流し交通安全サポート, サポートスタッフ, 阿賀野市水原地区, 2023.8.24.
- 4) 職能団体（協会、士会等）の委員
日本スポーツ協会（コーチデベロッパー）
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
Univas Awards2023-24 入賞（コーチ・オブ・ザ・イヤー）2024.2.1, Special Olympics 認定コーチ（バスケットボール ユニファイドスポーツ）2024.3.31
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 女子バスケットボール部（ディレクター）2023.4.1-2024.3.31.

3) 学外兼務講師等

1. 新潟大学教育学部, 球技C, 2023.4.1-2024.3.31.

7 学内委員会活動 アスレチックデパートメント推進部 (部長), アスレチックデパートメント推進委員会 (委員長)

氏名：秋山 隆之

1 研究題目 サッカーにおける各種制約が状況判断能力に及ぼす影響に関する研究, プロフェッショナルフットボールコーチ イビチャオシムのリーダーシップ行動における定性的事例研究, 変革型リーダーシップスタイルのプロフェッショナルサッカーコーチがコーチングで用いる計画的混乱の利用と意図に関する研究

2 学会等研究発表

1. Natsuhara T, Akiyama T, Nakayama M. Qualitative case study of leadership behavior of professional football coach Ivica Osim. The 10th edition World Congress on Science and Football (Groningen), 2023.5.24-5.26.
2. 夏原隆之, 秋山隆之, 中山雅雄. 変革型リーダーシップスタイルのプロフェッショナルサッカーコーチがコーチングで用いる計画的混乱の利用と意図に関する研究. 日本コーチング学会第35回学会大会 (瑞穂市), 2024.3.2-3.3.

3 学会活動

1) 所属学会 日本体育学会, 日本フットボール学会, 新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 書籍, オシムの遺産 彼らに授けたもうひとつの言葉 (竹書房), 2023.5.8.

2) 社会活動への参加協力

1. 全日本大学女子サッカー連盟, 2023全日本大学女子サッカー連盟評議員会, 東京都他, 2023.6.19.
2. 新潟県サッカー協会, 新潟県社会人サッカー連盟, 2023新潟日報杯・共同通信杯 第28回新潟県サッカー選手権大会, 新発田市他, 2023.3.26-5.7.

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県三条市スポーツ推進審議会 (委員)

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

一般社団法人全日本大学女子サッカー連盟 (評議員), 一般社団法人新潟県サッカー協会社会人サッカー連盟 (理事), 一般社団法人新潟県サッカー協会 規律・資格・フェアプレー委員会 (委員), 一般社団法人新潟県サッカー協会女子委員会 (委員)

5 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 男子サッカー部, 天皇杯JFA第103回全日本サッカー選手権大会, 岐阜市他, 1回戦敗退, 2023.5.20. (部長)
2. 男子サッカー部, 第47回総理大臣杯全日本サッカートーナメント, 盛岡市他, 3回戦敗退, 2023.9.1-9.10. (部長)
3. 男子サッカー部, 第72回全日本大学サッカー選手権大会, 横浜市他, 2回戦敗退, 2023.12.7-12.24. (部長)
4. 女子サッカー部, 第32回全日本大学女子サッカー選手権大会, 堺市他, 1回戦敗退, 2023.12.24-2024.1.6. (部長)

2) 学外兼務講師等

1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校 (看護学科, 歯科衛生士学科), 健康と運動, 保健体育, 2023.10.1-2024.3.31.

6 学内委員会活動 FD・SD推進委員会, アスレティックデパートメント推進委員会 (社会・地域連携推進部

会)

氏名：後藤 桂太

- 1 研究題目 野球のコーチング
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報, スポーツニッポン, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大学女子硬式野球部監督就任会見関連記事 2023.5.23.
 2. What'sNSG チャレンジ, 目指せ! 決勝の地, 甲子園で全国制覇!! 笑顔で挑戦, 開志学園女子硬式野球部 2023.7.10.
 3. 新潟医療福祉大学広報誌QOLサポーター新潟Vol61, 目標は大学日本一! やらずにいけないチームへ 2023.9.29.
 4. 新潟日報, スポーツニッポン, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大学女子硬式野球部ユニフォームお披露目会見関連記事 2023.11.23.
 5. 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大学女子硬式野球部立ち上げ準備関連記事 2024.1.19-1.21.
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 開志学園高校女子硬式野球部, 第27回全国高等学校女子硬式野球選手権大会, 8強 2023.7.22-8.1.

氏名：若月 弘久

- 1 研究題目 ①生徒指導論②バスケットボール指導論 指導方法に関する研究
- 2 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2021年度教員免許更新講習講師「中学生の体力の現状と課題」(主催:一般財団法人新潟県レクリエーション協会) 2021. 県立教育センター
 2. バスケットボール教室(対象:U10.U12.U15, 主催:新潟医療福祉大学男子バスケットボール部, 開催日:毎月第2, 第4月曜日)
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 豊栄バスケットボール協会U10.U12.U15クラブチーム「Team Kita」アドバイザー(毎週 水曜日)
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
北信越大学バスケットボール連盟(理事) 新潟県バスケットボール協会(成年男子監督)
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. JBL公認C級ライセンス取得, 更新(2019.4, 2022.4, 2023.4)
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 2021年度第73回全日本大学バスケットボール選手権北信越選手権 優勝
 2. 2023年度第75回全日本大学バスケットボール選手権北信越選手権 優勝
 3. 2023年度第1回全日本大学バスケットボール新人戦 北信越大学新人戦予選 優勝
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 2021年度 教員免許更新講習講師「中学生の体力の現状と課題」(主催:一般財団法人新潟県レクリエーション協会)
- 4 学内委員会活動 教職支援センター運営委員 新潟連携教育研究センター運営委員

氏名：久保 晃

報告事項なし

氏名：杵淵 洋美

報告事項なし

氏名：森下 義隆

- 1 研究題目 優れたスポーツパフォーマンスを生み出す身体・用具の運動メカニズムに関する研究
- 2 著書
 1. 森下義隆ほか，河野一郎・片寄正樹監，広瀬統一・山本利春編．スポーツ科学概論 アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト2．1版．東京：文光堂；2023：95-99.
- 3 報告書
 1. 森下義隆．若手研究，野球打撃におけるスイング速度と正確性の調整スキルの解明，研究成果報告書，2020-2022，研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 森下義隆，中島大貴．野球打撃におけるバットのスイング速度とボールインパクトの正確性との関係．日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会（京都市），2023.8.30-9.1.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本バイオメカニクス学会，日本体育・スポーツ・健康学会，日本トレーニング科学会，日本野球学会（選挙管理委員），新潟医療福祉学会，新潟県体育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. International Journal of Sport and Health Science, 査読
 2. Sports Biomechanics, 査読
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 第5回 Vicon User Conference Webinar, モーションキャプチャによる野球のバッティング動作の計測とその評価，講師，インターリハ株式会社，医療従事者・研究者，オンライン，2024.1.20.
 2. 日本福祉大学ゲスト講義，セイバーメトリクスを用いた野球選手の評価と能力開発，講師，日本福祉大学，大学生，知多郡，2023.12.1.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2022年度，科研費基盤研究（C），子どもの打撃動作の定量化と運動発達を考慮した質的評価テストの開発，研究代表者
- 8 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会，国家試験・資格対策委員会，運動機能医科学研究所

氏名：中島 郁子

- 1 研究題目 アスリートのスポーツカウンセリング事例（臨床スポーツ心理学），剣道と人間形成（臨床スポーツ心理学），剣道競技者の風景構成法（臨床心理学）
- 2 学会等研究発表
 1. 中島郁子．競技者に関わる心理臨床の可能性（5）－競技者とイメージ表現－．日本心理臨床学会第42回秋季大会（Zoom），2023.9.27.【自主シンポジウム，話題提供者】
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会，日本臨床心理身体運動学会（理事・研修委員），日本スポーツ心理学会，日本箱庭療法学会，日本遊戯療法学会，日本武道学会，日本体育学会，日本心理学会，日本スポーツ精神医学会，身体運動文化学会，新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本臨床心理身体運動学会, 日本臨床心理身体運動学会第25回大会, 実行委員, 船橋市, 2023.11.25-11.26.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本臨床心理身体運動学会, 日本臨床心理身体運動学会第25回大会・一般研究発表, 座長, 船橋市, 2023.11.25-11.26.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 柏崎市スポーツ協会ジュニア育成指導者研修事業, スポーツ指導に関する心理学, 講師, 柏崎市スポーツ協会, スポーツ指導者, 柏崎市, 2023.11.29.
2. 令和5年度新川地区中学校剣道講演会, 中学生剣道選手のためのスポーツ心理学, 講師, 新川地区中学校体育連盟剣道専門部, 富山県新川地区中学校剣道部生徒・保護者および指導者, 富山県中新川郡立山町, 2023.12.9.
3. 令和5年度美方高校剣道部心理講習会, 高校生アスリートのためのスポーツ心理学, 講師, 美方高校剣道部, 美方高校剣道部生徒および他部活動生徒, 福井県三方上中郡若狭町, 2023.12.17.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. BSNラジオ, 高橋なんぐの金曜天国 (BSN新潟放送), 思い出メロディー, 2024.2.25.

3) 社会活動への参加協力

1. 令和5年度北信越学生剣道選手権大会, 大会参与, 松本市, 2023.5.14.
2. 第15回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会, 新潟県代表選手派遣, 千代田区, 2023.7.9.
3. 令和5年度北信越学生剣道優勝大会, 大会参与, 福井市, 2023.9.10.
4. 新潟市北区剣道大会, 大会役員, 新潟市, 2023.10.8.
5. 第61回北信越学生剣道新人大会, 大会参与, 富山市, 2022.11.26.
6. 第1回越後剣道フェス, 大会審判員, 新潟市, 2024.1.6.
7. 千葉ロッテマリーンズ, スポーツカウンセラー, 千葉県・埼玉県・沖縄県・他各地 (2023.2.1-)

4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県剣道連盟 (理事), 新潟県臨床心理士会 (研修委員)

5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本スポーツ振興センタースポーツ指導における暴力行為等に関する第3者相談・調査委員会 (特別委員)

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 競技特性によるアスリートの行動抑制機能の違いと育成過程の変化, 研究代表者
2. 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 看護・介護従事者の腰痛, 頸部痛, メンタル症状への包括的ケアプログラムの効果検証, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

剣道七段 (2023.8.5.)

3) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科 (コミュニケーション技法) 2023.4.1-8.30.
2. 国際メディカル専門学校鍼灸学科 (心理学) 2023.9.1-2024.2.28.

6 学内委員会活動 スポーツカウンセリング研究センター (相談員)

氏名: 熊崎 昌

- 1 研究題目 スポーツ関連脳振盪の発生状況や機能評価に関する研究
- 2 論文

1. Kumazaki A, Fujimoto T, Matsuura Y. Longitudinal Development of Physical Characteristics and Function in Japanese Junior Rugby Union Players. Int J Sports Physiol Perform(JCR). 2023; 18(9): 1038-1046. (査読有)
2. 熊崎 昌. 大学女子バレーボール競技におけるストレッチング指導の実践. Creative Stretching. 2023; 61: 9-13.
- 3 学会等研究発表
 1. 熊崎 昌. 平林 怜, 江玉 睦明, 三瀬 貴生, 松浦 由生子, 大森 豪. 大学サッカー選手における頭部・顔面外傷発生状況の特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (神奈川県横浜市・日本), 2023.11.11-11.12.
 2. 熊崎 昌. 教育講演「スポーツと脳振盪」. 第12回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 (千葉県勝浦市・日本), 2023.7.8-7.9. 【教育講演】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会 (代議員, 編集委員)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本アスレティックトレーニング学会誌, 査読担当, 2023年度
 2. 日本アスレティックトレーニング学会誌, 編集委員, 2023年度
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, 部活動指導者に知ってもらいたいアタマの怪我とその対応, 講師, 新潟市中学校体育連盟, 新潟市中学校保健体育・部活動指導者, 新潟県新潟市, 2023.6.2.
 2. Jリーグトレーナー研修会, スポーツ関連脳振盪, 講師, 公益社団法人日本プロサッカーリーグ, Jリーグ所属トレーナー, 東京都千代田区, 2024.1.6.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 北信越ラグビー専門部, ラグビーU17北信越ブロックトライアウト帯同, トレーナー, 長野県・菅平高原グラウンド, 2023.6.23-6.25.
 2. 日本ラグビーフットボール協会, ラグビーU17コベルコカップ北信越代表チーム帯同, トレーナー, 長野県・菅平高原グラウンド, 2023.7.27-7.30.
 3. 第66回東日本医科学学生総合体育大会, ラグビー競技における本部救護, トレーナー, 長岡ニュータウン運動講演, 2023.8.2, 8.5, 8.8, 8.10.
 4. 東京サンゴリアス, リーグワン公式戦における試合救護, 救護担当ボランティア, 秩父宮ラグビー場, 2024.3.23.
 5. 新潟工業高校ラグビー部, 北信越大会における大会帯同, トレーナー, 福井県小浜市, 2023.6.16-6.18.
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 新潟県スポーツ協会アスレティックトレーナー部会 (幹事)
- 6 学内委員会活動 広報委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所

氏名：馬場 康博

- 1 研究題目 水中での内受容感覚に関する研究, オープンウォータースイミングに関する研究 (コーチング学)
- 2 論文
 1. Yamashiro K, Shiiya K, Ikarashi K, Anazawa S, Makibuchi T, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Omori G, Sato D. Reduced somatosensory evoked potentials and paired-pulse inhibition in the primary somatosensory cortex of athletes with chronic pain. European Journal of Applied Physiology. 2023; 123: 2537-2543. (review)

2. 山根一寿, 奥野景介, 角田壮監, 水野智佳子, 野口智博, 林亨, 森山進一郎, 伊藤晴香, 上野太助, 荒田恭兵, 中田萌, 馬場康博, 山田智子, 野村孝路, 梅原孝之, 原怜来, 南隆尚, 藤木麻祐子, 長沼敦, 田中美沙稀. 競技力向上指導指針準備号 (デベロップメント・ワークショップ 2023別冊). 公益財団法人日本水泳連盟 競技力向上委員会. 2023.12.
 3. 奥野景介, 水野智佳子, 角田壮監, 野口智博, 森誠護, 花牟礼雅美, 東翔, 高橋多紀理, 毒島めぐみ, 中田萌, 青木裕憲, 馬場康博. 2023 (令和5) 年度公認水泳コーチ3・4研修会 講義録. 公益財団法人日本水泳連盟 競技力向上委員会. 2024.2.
 4. 奥野景介, 水野智佳子, 角田壮監, 安田純輝, 能町悠嗣, 青木裕憲, 吉野綾香, 榎本仁, 野口智博, 花牟礼雅美, 松浦孝, 森誠護, 佐藤かほり, 馬場康博, 東翔, 毒島めぐみ, 上野太助, 荒畑由喜, 荒田恭兵. 2023 (令和5) 年度デベロップメント・ワークショップ報告書. 公益財団法人 日本水泳連盟 競技力向上委員会. 2024.2.
- 3 学会等研究発表
1. 三瀬貴生, 下門洋文, 山城昌一郎, 星川慎吾, 千葉海勝, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 異なる年齢間における水中ドルフィンキック泳のキネマティクスの比較, 日本水泳・水中運動学会, 北九州市, 2023.10.7.
 2. 藤本知臣, 松浦由生子, 馬場康博, 原怜来. 低水温環境下で行われるオープンウォータースイミング時の全身の温度感覚における皮膚温度感受性の重要性, 日本水泳・水中運動学会, 北九州市, 2023.10.7.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 European College of Sport Science, Sports Medicine Australia, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本コーチング学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本バイオメカニクス学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本水泳・水中運動学会, プールサイドセッション OWSの発展と今後の課題, 司会 (準備活動), 北九州市, 2023.10.8.
 2. 日本水泳連盟 デベロップメント・ワークショップ2023, 準備活動・運営, 所沢市, 2023.10.9.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県水泳連盟, 常務理事会, 理事会・評議委員会, 理事, 長岡市, 計6回. 2023.4-2024.3.
 2. コーチ養成講習会, OWSバイオメカニクス・各種目の力学, 講師, 日本水泳連盟, オープンウォータースイミングコーチ, オンライン, 2023.10.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 雑誌, スイミングライフ (インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学 OWSの報告をヒントにトレーニングを考えよう, 2023.12.5.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県水泳連盟・オープンウォータースイミング, 2023年度新潟県水泳連盟OWS委員会, 委員長, Web開催, 2024.2.19.
 2. 新潟県スポーツ協会, 特別国民体育大会 オープンウォータースイミング競技, 新潟県監督, 屋久島, 2023.2.20.
 3. 佐渡オープンウォータースイミング実行委員会, 運営・役員, 佐渡市, 2023.7.22-7.23.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 基盤研究 C, 内受容感覚を効果的に高める浸水条件の確立とメカニズムの解明, 馬場康博
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 水泳部, OWS オーシャンズカップ2023, 男子10km 本山空 (5位), 館山, 2023.6.11. (コーチ)
 2. 水泳部, OWS オーシャンズカップ2023, 女子10km 永尾美友 (4位), 館山, 2023.6.11. (コーチ)

3. 水泳部, OWS オーシャンズカップ2023, 女子10km 八木紀香 (6位), 館山, 2023.6.11. (コーチ)
4. 水泳部, OWS 第99回日本学生選手権水泳競技大会, 男子10km 本山空 (優勝) 2023.8.26. (コーチ)
5. 水泳部, OWS 第99回日本学生選手権水泳競技大会, 男子 5km 本山空 (優勝) 2023.8.27. (コーチ)
6. 水泳部, OWS 第99回日本学生選手権水泳競技大会, 女子10km 永尾美友 (2位) 2023.8.26. (コーチ)
7. 水泳部, OWS 第99回日本学生選手権水泳競技大会, 女子10km 八木紀香 (4位) 2023.8.26. (コーチ)
8. 水泳部, OWS 第99回日本学生選手権水泳競技大会, 男子10km 筒井大介 (3位) 2023.8.26. (コーチ)
9. 水泳部, OWS 第99回日本学生選手権水泳競技大会, 男子 5km 筒井大介 (8位) 2023.8.27. (コーチ)
10. 水泳部, OWS 第99回日本選手権水泳競技大会, 女子 5km 永尾美友 (2位) 2023.11.4. (コーチ)
11. 水泳部, OWS 第99回日本選手権水泳競技大会, 男子 10km 本山空 (5位) 2023.11.4. (コーチ)
12. 水泳部, OWS 第99回日本選手権水泳競技大会, 男子 5km 本山空 (6位) 2023.11.5. (コーチ)
13. 水泳部, OWS 第99回日本選手権水泳競技大会, 男子 5km 筒井大介 (7位) 2023.11.5. (コーチ)
- 3) 学外兼務講師等
 1. 日本水泳連盟 公認コーチ養成講習会, OWS バイオメカニクス・各種目の力学, 講師, 2023.11.16.
- 7 学内委員会活動 入試委員会, アスレティックスポーツデパートメント推進委員会 修学・生活支援部会 (部会長)

氏名：佐藤 裕紀

- 1 研究題目 デンマークの生涯学習政策に関する研究 (比較・国際教育学), 社会的包摂と社会教育, 生涯学習に関する研究 (生涯学習), 地域づくりにおける子どもと若者の参画に関する研究
- 2 著書
 1. 中田麗子, 佐藤裕紀, 林寛平, 本所恵. 北欧教育研究会編著 北欧の教育再発見ーウェルビーイングのための子育てと学び: 東京: 2023: 53-57, 73-77, 103-107, 116-120, 126-129, 144-148, 255-257.
- 3 論文
 1. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 デンマークの若者が飲酒する深い理由. 教育新聞. 2023. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/article/cu20230513>)
 2. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 入学を勝ち取るために住所を変える デンマーク. 教育新聞. 2023. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/article/cu20230722>)
 3. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 幸福について考える博物館 デンマーク. 教育新聞. 2023. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/article/2023091601>)
 4. 佐藤裕紀. デンマークの宗教教育・市民性教育ー社会・政治とつながり, 教育活動全体で育む. 季刊 人間と教育. 2023; 120: 112-117.
 5. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 人と人をつなげる場 国民の家アブサロン. 教育新聞. 2023. (参考URL <https://www.kyobun.co.jp/article/2024010611>)
 6. 佐藤裕紀. デンマークにおける社会的包摂と教育 ー共に学び, 当事者の参画を支えるー. 季刊教育法. 2023; 220: 58-61.
- 4 報告書
 1. 佐藤裕紀. 若手研究, デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究, 研究成果報告書, 2018-2022. 研究代表者.
- 5 学会等研究発表
 1. 佐藤裕紀. 社会教育のコーディネート機能に着目した教材の開発 に向けて: 先行事例の分析と社会教育主事講習での試行. 日本生涯教育学会第44回大会 (東京), 2023.11.25
 2. Hayashi K, Sawano Y, Hasegawa N, Nakata R, Nakazawa C, Sato H, Watanabe A. comparative Study of Diversity in Civics Textbooks in the Nordic Countries and Japan. Nordic Educational Research Association (Malmö・Sweden). 2024.3.7.
- 6 学会活動

1) 所属学会 日本生涯教育学会（理事）、日本比較教育学会、日本国際教育学会、日本教育政策学会、日本学習社会学会、アジア比較教育学会、日本教育学会、新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本生涯教育学会総務委員
2. 北欧教育研究会事務局

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和5年度新潟市公民館新任職員研修、地域づくりにおける公民館の果たすべき役割～なりたちとこれから～、講師、新潟市中央公民館、公民館職員、新潟市、2023.5.10.
2. 第62回中越地区社会教育研究集会小千谷・魚沼大会、生きる喜びを感じられる学び～社会的包摂における社会教育の役割～、講師、第62回中越地区社会教育研究集会小千谷・魚沼大会実行委員会事務局、生涯学習、社会教育関係者、魚沼市、2023.8.10.
3. 村上市教育委員会 令和5年度村上市コミュニティ・スクール研修会、これからの コミュニティ・スクールについて 社会教育・社会的包摂の視点から～、講師、村上市教育委員会、一般市民、コミュニティスクール運営協議会関係者、村上市、2023.11.28.
4. ときわ会新しい風創立30周年記念式典研修会パネルディスカッション、新しい風のこれから、パネリスト、新しい風、学校教員、新潟市、2024.2.10.
5. ゆめパのじかん映画上映会、生きる喜びを感じられる 学び・遊び・場 ～北欧デンマークの教育最前線から～、講師、良い映画を見る小千谷市民の会・共創子育て会子どもダカラ、一般市民、小千谷市、2023.12.3.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

新潟市社会教育委員会議（副議長）

3) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県生涯学習協会未来創造委員会（委員）、ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風（スーパーバイザー）

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度、科研費基盤研究（C）、フォルケホイスコーレの受容と生涯学習政策の実証的考察：日韓比較を通じて、研究代表者
2. 2023年度、科研費基盤研究（C）、教員の職能成長を支えるメンタリングの国際比較－指導者（メンター）に着目して、研究分担者
3. 2021年度、科研費基盤研究（B）、北欧諸国における教科書の中の多様性（ダイバーシティ）の実相に関する研究、研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟県立大学、特別活動の指導法、2023.10.5-11.30.
2. 新潟県立大学、総合的な学習の時間の指導法、2023.4.13-5.11.
3. 新潟県立吉田病院附属看護専門学校、教育学、2023.9.1-9.12.
4. 新潟大学、社会教育主事講習 社会教育経営論、2023.8.2-8.17.
5. 日本大学、特別活動・総合的な学習の時間の指導法、2023.8.21-8.29.

9 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会（委員）、高等教育推進センター運営委員会（委員）、シティズンシップ教育実践研究センター（研究員）

氏名：下門 洋文

1 研究題目 水中環境におけるヒトの動作解析とそれによって起きる泳者周りの流れの可視化、大学生の体力に関する疫学研究、運動中のヒトが抱く身体感覚

2 著書

1. 河野一郎・片寄正樹監（第2章バイオメカニクス担当：下門洋文）. スポーツ科学概論. 第1版. 東京都：文光堂；2024：114-118.

3 論文

1. Nakazono Y, Shimojo H, Sengoku Y, Takagi H, Tsunokawa T. Impact of variations in swimming velocity on wake flow dynamics in human underwater undulatory swimming. *Journal of Biomechanics (JCR)*. 165.

4 報告書

1. 高木英樹, 角川隆明, 中島求, 仙石泰雄, 下門洋文. 基盤研究 (B), 水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明, 2022年度実施報告書, 2020.4-2024.3, 研究分担者
2. 市川浩, 下門洋文, 下山好充. 基盤研究 (C), クロール泳の上肢ストロークと下肢キックの相乗効果, 2022年度実施報告書, 2022.4-2025.3, 研究分担者

5 学会等研究発表

1. Nakazono Y, Shimojo H, Takagi H, Sengoku Y, Tsunokawa T. Underwater undulatory swimming propulsion mechanism of left lower limb deficient swimmer using PIV method. the XIVth International Symposium on Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig, Germany), 6-9 Sep 2023.
2. Ichikawa H, Shimojo H, Yamashiro S, Shimoyama Y. Hydrodynamic effect of hand flow on kicking in front crawl swimming. The XIVth International Symposium on Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig, Germany), 6-9 Sep 2023.
3. Shimojo H, Yamashiro S, Ichikawa H, Shimoyama Y, Tsunokawa T, Sengoku Y, Takagi H. WAKE FLOW VISUALIZATION AROUND SWIMMER'S FOOT AND THRUST FORCE ESTIMATION AT AN INDOOR SWIMMING POOL. The XIVth International Symposium on Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig, Germany), 6-9 Sep 2023.
4. Shimojo H, Nakazono Y, Miura R, Tsunokawa T, Sengoku Y, Takagi H. Comparison wake flow during leg kick swimming in prone and supine positions. ARIHHP国際フォーラム (つくば市), 2024.2.17.
5. 遠山宜志, 下門洋文, 吉澤大河. 陸上競技動作分析における姿勢推定AIの実装可能性. 第73回日本体育・スポーツ・健康学会 (京都), 2023.9.1.
6. 吉澤大河, 下門洋文, 遠山宜志. やり投における投動作と肩関節周囲筋との関係. 第73回日本体育・スポーツ・健康学会 (京都), 2023.9.1.
7. 永井千啓, 下門洋文. 円盤投におけるターン動作のキネマティクス比較. 第73回日本体育・スポーツ・健康学会 (京都), 2023.9.1.
8. 中園優作, 下門洋文, 高木英樹, 仙石泰雄, 角川隆明. PIV法を用いたフラッターキックの役割の検討. 2023年日本水泳・水中運動学会年次大会 (福岡), 2023.10.6-10.8.
9. 下門洋文, 中園優作, 三浦玲央, 角川隆明, 仙石泰雄, 高木英樹. 水中キック泳中のスイマー足部周りの流れ. ARIHHP Human High Performance Forum 2024 (つくば), 2024.2.17.

6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本水泳・水中運動学会 (総務), 日本運動疫学会, European College of Sport Science, 可視化情報学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本水泳・水中運動学会, 2023年度日本水泳・水中運動学会年次大会, 学会事務局, 2023.10.6-10.8.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本水泳・水中運動学会, 運営委員会, 総務, オンライン, 2023.7.7.
 2. 2023年度日本水泳・水中運動学会総会, 運営委員会, 福岡県北九州市, 2023.10.8.
 3. 日本水泳・水中運動学会, 運営委員会, 総務, オンライン, 2024.2.27.
 4. *Journal of Sports Sciences* 査読委員

5. International Journal of Environmental Research and Public Health 査読委員
6. 日本体育・スポーツ・健康学会 査読委員
- 7 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市北区豊栄公民館祭り・体力測定講習，自己の体力を測定してみよう，講師，新潟市北区，市民，新潟市北区豊栄公民館，2023.11.26.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. ウェブニュース，文教速報デジタル版，ドルフィンキック，スピードが上がるほど水流が上昇，2024.3.12.
 2. ウェブニュース，TSUKUBA JOURNAL，ドルフィンキック，スピードが上がるほど水流をうまく利用している，2024.3.8.
 3. ウェブニュース，日本の研究.com，ドルフィンキックではスピードが上がるほど水流をうまく利用している，2024.3.8.
- 8 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，科学研究費 基盤研究（B），水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明，研究分担者
 2. 2022年度，科学研究費 基盤研究（C），クロール泳の上肢ストロークと下肢キックの相乗効果，研究分担者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 水泳部，科学サポートスタッフ
- 9 学内委員会活動 入試委員会（委員），大学院教務委員（委員）

氏名：三瀬 貴生

- 1 研究題目 成長期アスリートの運動器障害およびパフォーマンス向上に関する研究，トレーナー教育に関する研究
- 2 著書
 1. 三瀬貴生，下門洋文；山本利春，広瀬統一 編. スポーツ動作の分析：泳動作，日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト第2巻 スポーツ科学概論，文光堂，2024，114-118.
- 3 論文
 1. Mise T, Kurita T, Kamakari S, Akuzawa H, Oshikawa T, Matsunaga N, Kaneoka K. Does scapular dysfunction alter scapular muscles activity and kinematics during swim stroke motion on adolescent swimmers?, Sports Biomechanics, In press, 2024.2.19. DOI:10.1080/14763141.2024.2315257. (review)
 2. Matsuura Y, Fujimoto T, Koizumi K, Mise T, Edama M, Shimoyama Y. Posterior deltoid shoulder tightness and greater contralateral lower limb muscle strength are associated with swimmers' shoulder pain. Journal of Science and Medicine in Sport. 2023 2023/10/05/. (review)
- 4 報告書
 1. 三瀬貴生. 若手研究，「泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用」，研究成果報告書，2020年度-2022年度，研究代表者 三瀬貴生
- 5 学会等研究発表
 1. 三瀬貴生，坂内誠也，鶴瀬亮一，佐藤和也. 暑熱環境下における長袖着用はスポーツ活動中の体温上昇を抑制するか？：大学生硬式野球選手を対象とした検証. 第12回日本アスレティックトレーニング学会学術大会（勝浦市・日本），2023.7.8-7.9.
 2. Mise T, Ishibe N, Shohei K, Kurita T. Sex differences in upper limb morphology and shoulder range of motion of adolescent swimmers with scapular dysfunction. The 13th Asian Conference on Kinesiology

(つくば市・日本), 2023.8.24-8.25.

3. 三瀬貴生, 下門洋文, 山城昌一郎, 星川慎吾, 千葉海勝, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 異なる年齢間における水中ドルフィンキック泳のキネマティクスの比較. 日本水泳・水中運動学会2023年次大会(北九州市・日本), 2023.10.7-10.8.
4. 三瀬貴生, 松浦由生子, 熊崎昌, 森清友亮, 江玉睦明, 大森豪. 成長期競泳選手における外傷・障害調査～性別・パフォーマンスにおける比較～. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術大会(横浜市・日本), 2023.11.11-11.12.
5. Matsuura Y, Mise T, Edama M, Shimoyama Y. POSTERIOR DELTOID SHOULDER TIGHTNESS: SHOULDER PAIN RISK FACTORS IN SWIMMERS. Biomechanics and Medicine in Swimming (ライプツィヒ・ドイツ), 2023.9.6-9.9.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 日本柔道整復接骨医学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本水泳・水中運動学会(事務局), 新潟医療福祉学会, 日本陸上競技学会, スポーツ運動学会
- 2) 学術集会の主催
 1. Asian Society of Kinesiology, the13th Asian Conference on Kinesiology, 学術委員担当, つくば市, 2023.8.24-8.25.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本水泳・水中運動学会, 事務局, 会計

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 2023年度新潟県水泳連盟 更新研修会, 水泳肩になりやすいジュニアスイマーの特徴と見分け方, 講師, 新潟県水泳連盟, 水泳指導者, アクシー中央スイミングスクール, 2023.8.20.
 2. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会第2期, 体幹のリコンディショニング, 講師, 日本スポーツ協会, 養成講習会受講生, 阿久比町(スポーツ医科学センター), 2023.6.1-6.2.
 3. 認定理学療法士臨床認定カリキュラム・スポーツ理学療法, スポーツ外傷・障害への理学療法・上肢, 講師, 水戸協同病院, 理学療法士, オンライン, 2023.12.8.
 4. 新潟県アスレティックトレーナー部会研修会, アスレティックトレーナー実技セミナー, 講師, 新潟県アスレティックトレーナー部会, 部会員, 新潟市, 2023.7.22.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 一般雑誌, 月刊スイミングライフ(インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学, 2023.9.5.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 京都水泳協会, 競泳・京都代表チームの国体合宿帯同, アスレティックトレーナー, 京都アクアリーナ, 2023.9.17-9.20.
 2. 第78回国民体育大会燃ゆる鹿児島国体, 競泳・京都代表チームの本大会帯同, アスレティックトレーナー, 鹿児島市, 2023.9.20-9.24.
 3. 京都水泳協会, 競泳・京都ジュニア合宿におけるトレーニング指導, アスレティックトレーナー, 京都市, 2023.4.30.
 4. アクシーひがしスイミングスクール, ジュニア選手に対するフィットネスチェック, アスレティックトレーナー, 新潟市, 2023.9.9.
 5. アクシーひがしスイミングスクール, ジュニア選手のパフォーマンス分析, アスレティックトレーナー, 新潟市, 2023.9.10.
 6. 新潟県フライングディスク協会, 第5回新潟オープンアルティメット大会のトレーナーサポート, 救護担当, 新潟市・太夫浜運動公園球技場, 2023.11.3.

7. アクシーひがしスイミングスクール, ジュニア競泳選手のドライランドトレーニング指導, 新潟市, 2023.4-2024.3.
8. アクシーひがしスイミングスクール, ジュニア競泳選手スポーツ障害後のリコンディショニング指導, 新潟市, 2023.6-8, 2024.1-2.
9. 森ノ宮医療学園校友会, 代議員, 大阪市, 2023.4.1-2024.3.31.
10. 東京電気通信大学水泳部, スポーツ障害後のリコンディショニング指導, 講師, オンライン, 2023.9.7.
11. アクシーひがしスイミングスクール, ジュニア競泳選手のストレングストレーニング指導, 指導者, 新潟市, 2023.12-2024.3.
12. 京都水泳協会, 年末選抜合宿におけるコンディショニング指導, 講師, オンライン, 2023.12.30.
13. 京都踏水会, 競泳選手のコンディショニング指導, 講師, オンライン, 2024.3.30.
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学スタッフ/水泳競技), 一般社団法人 新潟陸上競技協会 専門部委員会医科学部部員
- 8 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2023年度-2024年度, 科学研究費助成事業 若手研究, 「成長期競泳選手における肩甲骨周囲筋群の機能不全が発生する要因の解明」, 三瀬貴生
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校 臨床工学技士科, 体育実習, 2023.10.1-2024.1.31.
- 9 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会, 教務委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所

氏名: 鵜瀬 亮一

- 1 研究題目 野球競技のコーチング, 熟達指導者研究
- 2 論文
 1. 鵜瀬亮一, 大室康平, 小林志郎, 石川智雄. 大学野球部所属学生の出身地および卒業後の定住動向調査. 新潟医療福祉学会誌. 2023; 23 (2): 36-40 (査読あり)
 2. 鵜瀬亮一, 内山渉, 大矢真史, 西原康行. アイトラッキングシステムを用いた熟達投手コーチの「みえ」の顕在化. 日本教育工学会誌. 2024; 48 (1): in press (査読あり)
 3. 大室康平, 鵜瀬亮一. 少年期の野球選手の入団および卒団時の意識. 東北体育・スポーツ科学研究. 2024; Vol.1: 1-14. (査読あり)
- 3 報告書
 1. 鵜瀬亮一. 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究成果報告書, 令和2年度-令和4年度, 研究代表者
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本教育工学会, 日本野球科学研究会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学野球教室, 小学生141名指導, 講師, 南魚沼市, 2023.7.1.
 2. 新潟医療福祉大学野球教室, 中学生85名指導, 講師, 南魚沼市, 2023.7.1.
 3. 新潟医療福祉大学野球教室, 高校生20名 指導者3名, 講師, 本学グラウンド, 2023.8.18.
 4. 魚沼市野球教室, 中学生39名, 講師, 魚沼市広神野球場, 2023.8.20.
 5. 新発田市野球教室, 中学生30名, 講師, 本学硬式野球場, 2023.9.23.
 6. 医福大スポーツあそびの日, 幼稚園・小学生130名, 野球ブース担当, 本学陸上競技場, 2023.9.24.

7. 長岡市野球教室, 野球未経験小学生 40 名, 講師, 長岡市ニュータウン運動場, 2023.10.21.
 8. 長岡市野球教室, 小学生 50 名, 講師, 長岡市ニュータウン運動場ソフトボール場, 2023.10.21.
 9. 南魚沼市指導者講習会, 南魚沼地区指導者 20 名, 講師, 大原総合運動公園会議場, 2023.11.3.
 10. 第 10 回野球審判技術向上講習会, 新潟県審判員 80 名, 演者, ハードオフエコスタジアム, 2023.11.11.
 11. 第 10 回野球審判技術向上講習会, 新潟県審判員 100 名, 演者, ハードオフエコスタジアム, 2023.11.12.
 12. 全日本軟式野球連盟 資格「コーチ I」養成講習会, 受講者 44 名, 講師, ハードオフエコスタジアム, 2023.11.19.
 13. 長岡地域定住自立圏「スポーツ振興事業野球教室」, 中学生 43 名, 講師, 東小千谷体育センター, 2023.12.2.
 14. 長岡地域定住自立圏「スポーツ振興事業野球教室」, 未経験者・小学生 68 名, 講師, 東小千谷体育センター, 2023.12.3.
 15. 東区スポーツ協会少年野球教室, 小学生低学年 49 名, 講師, ハードオフエコスタジアム, 2023.12.16.
 16. 東区スポーツ協会少年野球教室, 小学生高学年 76 名, 講師, ハードオフエコスタジアム, 2023.12.16.
 17. 新潟医療福祉大学野球教室, 中学生 10 名, 指導者 2 名, 講師, 本学室内練習場, 2024.1.20.
 18. 新発田市指導者講習会, 指導者 40 名, 講師, 本学室内練習場, 2024.1.27.
 19. 新潟医療福祉大学野球教室, 長岡市内中学生 10 名, 指導者 1 名, 講師, 本学室内練習場, 2024.2.3.
 20. 新潟医療福祉大学野球教室, 長野県内高校生 11 名, 指導者 2 名, 講師, 本学室内練習場, 2024.2.10.
 21. 新潟医療福祉大学野球教室, 長野県内高校生 14 名, 指導者 2 名, 講師, 本学室内練習場, 2024.2.10.
 22. 新潟医療福祉大学野球教室, 長野県内高校生 14 名, 指導者 2 名, 講師, 本学室内練習場, 2024.2.11.
 23. 新潟医療福祉大学野球教室, 十日町市内中学生 19 名, 指導者 2 名, 講師, 本学室内練習場, 2024.2.17.
 24. 新潟医療福祉大学野球教室, 長岡市内中学生 10 名, 指導者 1 名, 講師, 本学室内練習場, 2024.2.17.
 25. 新潟医療福祉大学野球教室, 糸魚川市内中学生 15 名, 指導者 2 名, 講師, 本学グラウンド, 2024.3.21.
- 2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 関甲新学生野球 春季リーグ戦 椿花咲かす, 2023.4.4.
 2. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大・大久保翔太がNPB入り目指す逆襲の春開幕へ, 2023.4.6.
 3. 新聞, 新潟日報, 新たな環境成長誓う 本県関係者の進路, 2023.4.6.
 4. 新聞, 新潟日報, 春季リーグ戦開幕前特集記事, 2023.4.8.
 5. 新聞, 新潟日報, 春季リーグ戦初戦松本大学戦惜敗記事, 2023.4.9.
 6. Web, 日刊スポーツ, 延長競り負け黒星スタート, 2023.4.8.
 7. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大・目黒 終盤戦もフル回転, 2023.5.11.
 8. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大 昨秋の雪辱, 2023.5.16.
 9. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大, 新大下す, 2023.5.16.
 10. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大・熊倉健太の打棒爆発で大勝「いい結果になった」関甲新学生野球, 2023.5.16.
 11. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大 144 キロ左腕・目黒宏也「しっかりと力を発揮したい」最多勝へ関東学園大戦, 2023.5.19.
 12. 新聞, 新潟日報, 新潟医療福祉大出, 2 年目阪神・桐敷プロ初勝利, 2023.5.27.
 13. 新聞, 信濃毎日新聞, 2 年目桐敷初勝利, 2023.5.27.
 14. 新聞, 神戸新聞, 2 年目力投 7 回 1 失点 10K, 2023.5.27.
 15. Web & 新聞, スポーツ報知全国版, プロ初勝利の桐敷拓馬, 新潟医療福祉大時代に言い訳をなくして

つかんだプロへの道, 2023.5.27.

16. Web & 新聞, デイリースポーツ全国版, プロ初星挙げた阪神・桐敷の成長秘話 恩師の新潟医療福祉大・鵜瀬亮一監督が語る 秘訣は「自主性」, 2023.5.27.
17. Web & 新聞, スポーツニッポン全国版, 6連勝貯金15導いた桐敷初勝利, 2023.5.27.
18. Web & 新聞, サンケイスポーツ全国版, 最強タイガース投手陣に新星現る桐敷プロ初星, 2023.5.27.
19. Web & 新聞, 日刊スポーツ全国版, 今季初先発G倒! 桐敷プロ1勝, 2023.5.27.
20. Web & 新聞, 朝日新聞全国版, 魅了された甲子園でプロ初勝利 阪神・桐敷拓馬の「特別な一日」, 2023.5.27.
21. Web & 新聞, 産経新聞全国版, 阪神・桐敷がプロ初勝利「特別な一日」 10奪三振と躍動, 2023.5.27.
22. Web & 新聞, 日本経済新聞全国版, 若トラ桐敷直球勝負, 2023.5.27.
23. テレビ, NST, Newsタッチ ジョイスポ! 新潟医療福祉大卒 阪神桐敷初勝利, 2023.5.29.
24. テレビ, UX, スーパーJにいがた ガッツリート 医福大卒 桐敷選手待望のプロ初勝利, 2023.5.29.
25. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 秋季Lデビューへ 医福大ルーキーはつらつ, 2023.5.30.
26. 新聞, 新潟日報, 桐敷きょう先発 「ストライク先行で」闘志, 2023.6.2.
27. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 今日から都市対抗野球北信越2次予選 県関連選手多数, 2023.6.2.
28. 雑誌, ベースボールマガジン社, 新潟大会2023展望号 大学野球企画, 2023.6.22.
29. テレビ, UX, 開局40周年特番「未来への一球」, 2023.6.24.
30. Web, 西日本スポーツ, 元F1レーサーと同姓同名のソフトバンク左腕が復活の三者凡退, 2023.7.3.
31. 新聞, 新潟日報, フレッシュオールスター 桐敷1回無失点, 2023.7.19.
32. Web, 朝日新聞×ABC放送, バーチャル高校野球 新潟県高等学校野球選手権大会 準々決勝解説, 2023.7.20.
33. Web, 朝日新聞×ABC放送, バーチャル高校野球 新潟県高等学校野球選手権大会 準々決勝解説, 2023.7.21.
34. テレビ, UX, 熱闘LIVE2023 新潟県高等学校野球選手権大会 準決勝解説, 2023.7.23.
35. 雑誌, ベースボールマガジン社, 週刊ベースボール7.31号 ドラフト逸材クローズアップ ダイアモンドを疾走する韋駄天, 2023.7.31.
36. 新聞, 新潟日報, 桐敷今季2勝目, 2023.7.27.
37. 雑誌, ベースボールマガジン社, 大学野球春季リーグ戦決算号 関甲新学生野球連盟, 2023.7.5.
38. Web & 新聞, 日刊スポーツ全国版, 新潟医療福祉大の韋駄天大久保翔太がプロ志望届の提出を明言, 2023.8.24.
39. Web & 新聞, 日刊スポーツ全国版, 秋季リーグ戦開幕関連記事, 2023.8.31.
40. 新聞, 新潟日報, 秋季リーグ戦開幕関連記事, 2023.9.1.
41. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大・熊倉新主将2番でけん引, 2023.9.2.
42. 新聞, 新潟日報, 関甲新学生L 医福大と新大初戦を落とす, 2023.9.3.
43. 新聞, 新潟日報, 関甲新学生L 2季ぶり 新大白星, 2023.9.4.
44. 雑誌, ベースボールマガジン社, 大学野球秋季リーグ戦展望号 関甲新学生野球連盟, 2023.9.1.
45. Web & 新聞, サンケイスポーツ全国版, 最後の秋に懸ける男たち 同僚から受ける刺激&先輩の教えで進化中 今秋ドラフトへ, 2023.9.4.
46. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大が新潟対決制し勝率五分に 高岡蓮8回無失点投球に鵜瀬監督「変える隙なかった」, 2023.9.11.
47. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大, 新大を零封, 2023.9.12.
48. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 高岡「空気一変」8回零封初勝利, 2023.9.12.
49. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大学は途中出場の西潟晴斗が決勝打, 2023.9.16.
50. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大接戦を制す, 2023.9.17.

51. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大3敗目, 2023.9.18.
52. 新聞, 日刊スポーツ新潟版, 医福大ハードオフ新潟連勝ならず, 2023.9.18.
53. 新聞, 新潟日報, 進撃の阪神18年ぶりのV <5>盤石那リリーフ陣の柱, 2023.9.20.
54. 雑誌, ベースボールマガジン社, 2023ドラフト候補選手名鑑 復帰果たした快速左腕 目黒宏也, 2023.10.8.
55. 雑誌, ベースボールマガジン社, 2023ドラフト候補選手名鑑 スピードでチャンスメイク 大久保翔太, 2023.10.8.
56. Web, 東京スポーツ, 2年目左腕・桐敷拓馬が侍ジャパン候補入り, 2023.10.11.
57. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 秋季リーグ総括記事, 2023.10.17.
58. テレビ, UX新潟テレビ21, 阪神・新潟医福大卒 桐敷投手が3連続三振の快投 日本シリーズ進出まであと2勝, 2023.10.19.
59. 新聞, 新潟日報, トラ3連勝で突破 救援・桐敷 2回無失点, 2023.10.21.
60. 新聞, スポーツニッポン全国版, CS1勝 桐敷 仲間思い「喜んでくれる姿がエネルギー」, 2023.10.21.
61. 新聞, 新潟日報, 桐敷（新潟医福大出）代表に選出 井端ジャパン有望株集結, 2023.10.25.
62. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 今日ドラフト指名待つ 新潟医療福祉大学俊足・大久保&左腕・目黒, 2023.10.26.
63. 新聞, 新潟日報, 関西対決競り合いか 阪神の桐敷好調アピール, 2023.10.26.
64. 新聞, 新潟日報, 阪神・桐敷拓馬（新潟医療福祉大出身）が9回に「デビュー」好投, 2023.11.1.
65. テレビ, UX新潟テレビ21, 新潟医福大卒・阪神桐敷拓馬投手日本シリーズ第3戦で初登板し好投, 2023.11.1.
66. 新聞, 新潟日報, おもいきってやった 日本S桐敷投手登板 日本一, 2023.11.6.
67. テレビ, BSN新潟放送, 阪神タイガース, 38年ぶり悲願の日本一に 9回には桐敷拓馬（新潟医療福祉大出身）が登板, 2023.11.5.
68. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJ新潟, 【プロ野球・日本シリーズ】医療福祉大卒・桐敷拓馬投手 日本一に貢献した2年目を総括【新潟】, 2023.11.6.
69. テレビ, 日本テレビ, 岡田彰布監督が明かす 第7戦の9回に桐敷拓馬を起用したワケ 当初の計画から変更も「チームへの影響力が大きかった」, 2023.11.6.
70. テレビ, UX新潟テレビ21, 阪神・医療福祉大卒 桐敷拓馬投手 侍ジャパンに合流 アジア大会へ, 2023.11.10.
71. 新聞, 新潟日報, 野球日本代表・桐敷拓馬（新潟医療福祉大出身）が初ブルペン ボールにキレ, 調整順調, 2023.11.12.
72. 新聞, 新潟日報, 井端J初陣飾る 桐敷ら無失点継投, 2023.11.17.
73. テレビ, NST, 侍ジャパン初選出・桐敷拓馬投手（新潟医福大卒）台湾戦で三者凡退の好投！日本の勝利に貢献, 2023.11.17.
74. テレビ, BSN, 門脇が決めた！侍ジャパンがサヨナラで韓国下し連覇達成 桐敷拓馬（新潟医療福祉大出身）は1回無失点 アジアCS決勝, 2023.11.20.
75. テレビ, UX新潟テレビ21, ガッツリート 新潟医福大卒桐敷拓馬 アジア一に貢献, 2023.11.20.
76. Web, Full-Count, 自責わずか3, 驚異的な後半戦…防御率5点台から飛躍 虎左腕が過ごした“覚醒”の2年目, 2023.11.21.
77. テレビ, NST, 来季NPBイースタンリーグ参加のオイシックス新潟アルビBC 11人の新入団選手を発表, 2023.11.27.
78. Web, スポーツ報知, イースタン参加のオイシックス新潟が新人11人の入団を発表, 2023.11.27.
79. Web, 日刊スポーツ, 来季イースタン新規参入の新潟が創価大・安城健汰ら新入団内定11選手を発表, 2023.11.27.

80. 新聞, スポーツニッポン新潟版, オイシックスに県勢から3名, 2023.11.28.
81. 新聞, 新潟日報, オイシックス新入団選手11名発表, 2023.11.28.
82. テレビ, UX新潟テレビ21, オイシックスアルビBC 2軍戦に向けて新戦力 新たに11人が入団, 2023.11.28.
83. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大 南来春からバイタルネット入り, 2023.12.1.
84. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大・南隼人が来春, 社会人チームのバイタルネットへ「目標は都市対抗で投げること」, 2023.12.1.
85. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大出身阪神・桐敷2200万円増, 2023.12.4.
86. 新聞, 新潟日報, 桐敷3300万円3倍増, 2023.12.4.
87. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大・目黒宏也投手「新潟に恩返ししたい」オイシックス新潟内定会見, 2023.12.4.
88. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJ新潟 ガッツリート. 目黒投手オイシックス新潟アルビレックスBC内定会見, 2023.12.4.
89. テレビ, NHK. ニュース610. 目黒投手オイシックス新潟アルビレックスBC内定会見, 2023.12.4.
90. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大目黒1年目から地元へ恩返し, 2023.12.5.
91. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大・目黒「成長した姿を見せていく」, 2023.12.5.
92. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJ新潟. 元最多勝投手も オイシックスが新入団会見【新潟】, 2023.12.8.
93. テレビ, TeNY, 新潟一番, オイシックス新潟アルビBC “最高勝率”や“ドラフト1位”など 来シーズン新たに23人が入団《新潟》, 2023.12.8.
94. テレビ, BSN, ゆうなび, 「NPB経験の7人を含む過去最多の23人が入団」オイシックスアルビBC 新入団選手, 2023.12.8.
95. テレビ, NST, Newsタッチ【オイシックス新潟】元阪神・高山など新たに23人が入団！来季NPB2軍リーグへ「互角以上に戦える」, 2023.12.8.
96. テレビ, NHK. ニュース610. オイシックス新入団選手発表会, 2023.12.8.
97. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 【現役ドラフト】阪神獲得の漆原大晟“名将”から“名将”のもとへ「1つでも多く吸収出来たら」, 2023.12.8.
98. Web, Ronspo, 現役ドラフトで今年も衝撃ドラマ…巨人が“日本一”阪神からドラ1右腕の馬場皐輔を獲得…中継ぎ版の成功となるか?, 2023.12.8.
99. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 決意新たにオイシックス首脳陣&新入団選手会見, 2023.12.9.
100. 新聞, 新潟日報, 元NPB含む23選手入団, 2023.12.9.
101. 新聞, 日刊スポーツ, 【現役ドラフト】阪神桐敷拓馬が大学の先輩・漆原大晟を歓迎「一緒にやれるのはうれしい」, 2023.12.9.
102. Web & 新聞, スポーツニッポン, 阪神・桐敷 現役ドラフトで新加入の漆原が大学の先輩でも遠慮なし「競争は競争です」, 2023.12.9.
103. 新聞, 小千谷新聞, 大学現役選手が野球指南「楽しむことが大事」, 2023.12.9.
104. テレビ, NST, Newsタッチ, オリックス漆原大晟が現役ドラフトで阪神へ移籍 大学後輩の桐敷が中継ぎのライバルに? 2023.12.11.
105. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJ新潟, プロ野球・現役ドラフト 新潟医療福祉大学出身・オリックス漆原大晟投手 阪神が指名【新潟】 2023.12.11.
106. Web & 新聞, デイリースポーツ, 阪神・桐敷 オリから移籍の漆原と“先輩後輩リレー”や「同じ日に投げたり」心待ち, 2023.12.22.
107. Web & 新聞, サンケイスポーツ, 阪神・桐敷拓馬, 大学の先輩・漆原大晟と「同じ日に投げたりしてみたい」, 2023.12.22.
108. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 【阪神】桐敷拓馬が母校・新潟医療福祉大を訪問「来年は大事になってく

- る」来季フル回転誓う, 2023.12.22.
- 109.新聞, 新潟日報, 母校恩師に「アレ」報告, 2023.12.23.
- 110.新聞, スポーツニッポン新潟版, 桐敷50試合登板で1年間戦い抜く, 2024.1.3.
- 111.Web&新聞, 日刊スポーツ, 【阪神】桐敷拓馬が新年の誓い「1年間戦い抜くこと, 1軍で生き残って, 結果を出す」2024.1.6.
- 112.Web&新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大の“韋駄天”大久保翔太, エイジェックでレギュラー取って「2年後はプロに挑戦」, 2024.1.11.
- 113.新聞, スポーツニッポン新潟版, 大久保エイジェックで輝き再び, 2024.1.12.
- 114.テレビ, TeNY, 新潟一番ゴールデンプラス, 二十歳の集いにカメラが潜入 新潟医療福祉大学硬式野球部座主マネージャー, 2024.1.12.
- 115.新聞, 新潟日報, 夢を持ち続けて オイシックス入団の目黒投手 母校東谷小学校で講演, 2024.1.16.
- 116.新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大出桐敷 守護神岩崎に学ぶ脱力投法, 2024.1.17.
- 117.新聞, 新潟日報, プロ野球・新潟県関係選手2024 日本一の阪神・桐敷拓馬投手（新潟医療福祉大学出身）シーズンフル回転目指す, 2024.1.31.
- 118.Web&新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大硬式野球部が新入生オリエンテーション「勝ちと同じくらい大学でしっかり学んで」, 2024.2.4.
- 119.雑誌, 月刊タイガース 2月号, 桐敷拓馬「一年間, 一軍で投げきる」, 2024.2.9.
- 120.新聞, スポーツニッポン新潟版, 阪神紅白戦 医福大出身桐敷, 漆原も登板予定, 2024.2.11.
- 121.新聞, 新潟日報, 桐敷 漆原 茨木「リレー」に意欲も, 2024.2.15.
- 122.テレビ, UX, スーパーJにいがた ガッツリート プロ野球春季キャンプリポート②阪神タイガース 漆原投手・桐敷投手, 2024.2.19.
- 123.新聞, スポーツニッポン新潟版, 好投1回零封桐敷医福大出身, 2024.2.24.
- 124.新聞, 新潟日報, 再起 挑戦 オイシックス新戦力 長岡出身 目黒宏也投手, 2024.3.10.
- 125.新聞, スポーツニッポン新潟版, 南・大久保の卒業関連記事, 2024.3.20.
- 126.新聞, 新潟日報, 本日開幕 NPB本県関係者記事, 2024.3.29.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
関甲新学生野球連盟（理事）, 新潟県野球協議会（理事）
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
1. 2023年度, 基盤研究（C）, VR技術とアイトラッキングシステムを用いた熟達野球投手コーチの「わざ」の顕在化, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
保健学（博士）2024.3.19.

氏名：藤本 知臣

- 1 研究題目 寒冷環境下での体温調節反応とその調節メカニズムに関する研究, オープンウォータースイミング競技の安全性およびパフォーマンス向上のための生理学的研究, 暑熱環境下における体温上昇時のヒトのパフォーマンスに関する研究, 息止め能力を規定する生理学的要因の検討
- 2 著書
 1. 永島計（編）・藤本知臣, 西保岳（第6章3節 著）, 温度ストレスによる生体応答ダイナミクス, 第1版, 日本, 株式会社エヌ・ティー・エス, 2023年, p245-256
 2. 公益財団法人 日本水泳連盟 競技力向上コーチ委員会（編）・藤本知臣（講義2）, 生理学 U-15&U17, 日本, 公益財団法人 日本水泳連盟, 2023, p17-31
- 3 論文
 1. Anazawa K, Yamashiro K, Makibuchi T, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Sex Differences in

- Excitatory and Inhibitory Function in the Primary Somatosensory Cortex during the Early Follicular Phase: A Preliminary Study. *Brain Sci.* 13(7): 761, 2023. doi:10.3390/brainsci13050761
2. Makibuchi T, Yamashiro K, Anazawa K, Fujimoto T, Ochi G, Ikarashi K, Sato D. Assessing the Effects of the Topical Application of L-Menthol on Pain-Related Somatosensory-Evoked Potentials Using Intra-Epidermal Stimulation. *Brain Sci.* 13(6): 918, 2023. doi:10.3390/brainsci13060918
 3. Kumazaki A, Fujimoto T (共同筆頭), Matsuura Y. Longitudinal Development of Physical Characteristics and Function in Japanese Junior Rugby Union Players. *Int J Sports Physiol Perform.* 18 (9): 1038-1046, 2023 doi:10.1123/ijsp.2023-0114
 4. Yamashiro K, Shiya K, Ikarashi K, Anazawa S, Makibuchi T, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Omori G, Sato D. Reduced somatosensory evoked potentials and paired-pulse inhibition in the primary somatosensory cortex of athletes with chronic pain. *Eur J Appl Physiol.* 123 (11): 2537-2543, 2023. doi:10.1007/s00421-023-05224-1
 5. Matsuura Y, Fujimoto T, Koizumi K, Mise T, Edama M, Shimoyama Y. Posterior deltoid shoulder tightness and greater contralateral lower limb muscle strength are associated with swimmers' shoulder pain. *J Sci Med Sport.* 26(12): 694-699, 2023. doi:10.1016/j.jsams.2023.09.019
 6. Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Thermal Sensation After the 10-km Open-Water Swimming in Cool Water Depends on the Skin's Thermal Sensitivity Rather Than Core Temperature. *Int J Sports Physiol Perform.* 19 (1): 28-33, 2023 doi:10.1123/ijsp.2023-0190
 7. Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Effect of Wetsuit Use on Body Temperature and Swimming Performance During Training in the Pool: Recommendations for Open-Water Swimming Training With Wetsuits. *Int J Sports Physiol Perform.* 19 (4): 407-411, 2024 doi:10.1123/ijsp.2022-0222
 8. 藤本知臣. 寒冷下におけるヒトの体温調節と運動時低体温症の発症メカニズム. 新潟医療福祉学会誌. 23(2): 2-8, 2023. doi:
 9. 藤本知臣. オープンウォータースイミング中の体温変化と生理応答に基づいたハイパフォーマンス戦略. 水泳水中運動科学. 26(1): 44-48, 2024. doi:
 10. 藤本知臣 (代表), 藤井直人. 寒冷誘発性血管収縮の新規メカニズム解明－塩素イオンチャネル TMEM16Aに着目して－. カシオ科学振興財団 研究成果論文. 2023. in press
- 4 学会等研究発表
1. 藤本知臣. 温度感覚・快適性の改善に基づいた暑熱対策. 第31回 日本運動生理学会大会 (茨城). 2023.8.23-8.24. 【シンポジウム】 (口頭)
 2. Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Thermal sensation after open water swimming related to skin cool sensitivity rather than core temperature. Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig, Germany). 2023.9.6-9.9. (口頭)
 3. 藤本知臣, 松浦由生子, 馬場康博, 原怜来. 低水温下で行われるオープンウォータースイミング時の全身の温度感覚における皮膚温度感受性の重要性. 日本水泳・水中運動学会年次大会 (福岡), 2023.10.7-10.8. (口頭)
 4. Fujimoto T, Kajiki M, Watanabe K, Nishiyasu T, Fujii N. Contribution of TRPM8 in increasing dialysate noradrenaline concentration to local cooling. ARIHHP Human High Performance Forum 2024. (Ibaraki, Japan). 2024.2.18. (ポスター)
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本スポーツパフォーマンス学会, 米国生理学会, 日本コーチング学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本水泳水中運動学会, 総務, 2022.10.9-現在に至る
 2. 日本水泳水中運動学会, 学会運営委員会, 2023.2.20-現在に至る

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 島根トップコーチ育成事業，ハイパフォーマンスのための暑熱対策～体温調節の基礎と対策法～，講師，島根県環境生活部スポーツ振興課，島根県庁・市役所職員および島根県教員など，Zoom開催，2023.6.29.
2. 2023年度公認水泳コーチ3・4研修会，生理学 U15 & U17，講師，公益財団法人 日本水泳連盟，公認水泳コーチ3・4保有者，オンデマンド開催，2023.9.16.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 一般雑誌，スイミングマガジン 2023年5月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 トレーニングの種類とその目的② 高所・低酸素トレーニングの生理学（前編）」，2023.4.
2. 一般雑誌，スイミングマガジン 2023年5月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 トレーニングの種類とその目的② 高所・低酸素トレーニングの生理学（後編）」，2023.5.
3. 一般雑誌，スイミングライフ6月号（インターナショナルスイミングスクール），「選手・コーチに役立つスポーツ科学～水中環境の特性とそれに伴う特殊な生理応答～」，2023.6.
4. 一般雑誌，スイミングマガジン 2023年7月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 トレーニングやレース環境の生理学① 水温と運動中の生理応答」，2023.6.
5. 一般雑誌，スイミングマガジン 2023年8月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 トレーニングやレース環境の生理学② 水温への対策と水温を利用したトレーニング法」，2023.7.
6. 一般雑誌，スイミングマガジン 2023年11月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 ウォーミングアップとリカバリー① 高いパフォーマンスを発揮するためのウォーミングアップの生理学」，2023.10.
7. 一般雑誌，スイミングマガジン 2023年12月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 ウォーミングアップとリカバリー② レースや毎日の練習に万全で臨むためのリカバリーの生理学」，2023.11.
8. 一般雑誌，スイミングマガジン 2024年1月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 みなさんの疑問に答えます！① 乳酸値の測定，クールダウンの必要性，そしてスイマーズ・ハイについて」，2023.12.
9. 一般雑誌，スイミングマガジン 2024年2月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 みなさんの疑問に答えます！② 息とめのメカニズム，後半バテる原因と対策，さらには冬の温度差における注意点について」，2024.1.
10. 一般雑誌，スイミングマガジン 2024年3月号（ベースボールマガジン社），「学んで生かす運動生理学 Season 2 第1回 持久力の強化ってどうなんだ？」，2024.2.
11. 一般雑誌，月刊水泳 2024年3月号（公益財団法人 日本水泳連盟），「オープンウォータースイミング中の寒さ感覚は体温よりも皮膚の寒さへの敏感さで決まる」，2024.3.

3) 社会活動への参加協力

1. 世界水泳日本代表1次合宿，OWS日本代表の生理データ測定およびフィードバック，東京都北区および八王子市，2023.5.31-6.8.
2. オーシャンズカップ2023，OWS日本代表の生理データ測定およびフィードバック，千葉県館山市，2023.6.10-6.11.
3. 世界水泳日本代表2次合宿，OWS日本代表の生理データ測定およびフィードバック，東京都北区および八王子市，2023.7.4-7.9.
4. 世界水泳2023福岡，OWS日本代の生理データ測定およびフィードバック，福岡県福岡市，2023.7.13-7.19.
5. 2023年OWS日本選手権，OWS日本代表の生理データ測定およびフィードバック，千葉県館山市，2023.11.3-11.5.

6. 日本水泳連盟, 科学委員会 定例会議, 2023.6.27.
7. 日本水泳連盟, 科学委員会 定例会議, 2023.7.21.
8. 日本水泳連盟, 科学委員会 定例会議, 2023.9.26.
9. 日本水泳連盟, 科学委員会 定例会議, 2023.10.27.
10. 日本水泳連盟, 科学委員会 定例会議, 2023.11.24.
11. 日本水泳連盟, 科学委員会 定例会議, 2023.12.19.
12. 日本水泳連盟, 科学委員会 定例会議, 2024.1.26.
13. 日本水泳連盟, 科学委員会 定例会議, 2024.2.20.
14. 日本水泳水中運動学会, 運営委員会 2023年度第1回運営会議, 2023.7.7.
15. 日本水泳水中運動学会, 運営委員会 2023年度第2回運営会議, 2024.2.27.
16. 日本水泳連盟, オープンウォータースイミング委員会 強化スタッフ会議, 2023.5.8.
17. 日本水泳連盟, オープンウォータースイミング委員会 強化スタッフ会議, 2023.6.12.
18. 日本水泳連盟, オープンウォータースイミング委員会 強化スタッフ会議, 2023.8.14.
19. 日本水泳連盟, オープンウォータースイミング委員会 強化スタッフ会議, 2023.9.27.
20. 日本水泳連盟, オープンウォータースイミング委員会 強化スタッフ会議, 2023.10.18.
21. 日本水泳連盟, オープンウォータースイミング委員会 強化スタッフ会議, 2024.1.13.
22. 日本水泳連盟, オープンウォータースイミング委員会 強化スタッフ会議, 2024.2.26.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
公益財団法人 日本水泳連盟 オープンウォータースイミング委員会（委員）, 公益財団法人 日本水泳連盟 科学委員会（委員）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023-2025年度, 科学研究費 若手研究, 運動時低体温症の解決を目指した体温調節メカニズムの解明－皮膚血管収縮に着目して－, 研究代表者
 2. 2023年度, 筑波大学 ARIHHP 共同利用・共同研究公募事業, 寒冷負荷時の末梢血管収縮に対する温度感受性TRPチャネルの役割の解明, 研究代表者
 3. 2023年度, 公益財団法人 戸部真紀財団 研究助成, 寒冷下スポーツの安全性を高める順化トレーニングと温度受容チャネルTRPM8の役割, 研究代表者
 4. 2023年度, 一般財団法人永井知覚科学振興財団 研究開発費, 冷刺激時の皮膚感覚および皮膚血流反応とその適応における皮膚冷覚受容器TRPM8の役割, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
日本水泳水中運動学会 2023年次大会 最優秀論文発表賞（2023.10.7-10.8）, 日本体力医学会 国際学術交流奨励賞（2023.9.17）
- 8 学内委員会活動 広報委員会（情報発信部会長）, 運動機能医科学研究所（所員・広報担当）

氏名：越智 元太

- 1 研究題目 パフォーマンスを高めるコンディショニング法の開発, 運動が認知機能に与える影響とその神経基盤, 運動による脳疲労の機構と対処法の解明
- 2 論文
 1. Anazawa S, Yamashiro K, Makibuchi T, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Sex Differences in Excitatory and Inhibitory Function in the Primary Somatosensory Cortex during the Early Follicular Phase: A Preliminary Study. Brain Sciences. 2023; 13(5): 761 (review)
 2. Makibuchi T, Yamashiro K, Anazawa S, Fujimoto T, Ochi G, Ikarashi K, Sato D. Assessing the Effects of the Topical Application of L-Menthol on Pain-Related Somatosensory-Evoked Potentials Using Intra-Epidermal Stimulation. Brain Sciences. 2023; 13(6): 918 (review)

3. Yamashiro K, Shiya K, Ikarashi K, Anazawa S, Makibuchi T, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Omori G, Sato D. Reduced somatosensory evoked potentials and paired-pulse inhibition in the primary somatosensory cortex of athletes with chronic pain. *European Journal of Applied Physiology*. 2023; 123(11): 2537-2543 (review)
4. Fukuie T, Suwabe K, Kawase S, Shimizu T, Ochi G, Kuwamizu R, Sakairi Y, Soya H. Groove Rhythm Enhances Exercise Impact on Prefrontal Cortex Function in Groove Enjoyers. *Neuroscience*. 2023; 531: 117-129 (review)
5. Matsui T, Takahashi S, Ochi G, Yoshitake S, Funabashi D, Matsuoka H, Kagesawa J, Dobashi S, Yoshimoto H, Sakairi Y, Takagi H. Cognitive decline with Pupil Constriction Independent of subjective fatigue during prolonged esports across player expertise levels. *Computers in Human Behavior*. 2024; 156: 108219 (review)

3 学会等研究発表

1. 松橋日和, 越智元太, 馬場啓貴, 宮島大貴, 中田舞絢, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 堀田一樹, 秦偉翔, 高見澤怜, 一杉直樹, 椿淳裕. 音楽テンポと運動テンポの同調による脳酸素化動態への影響. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (横浜, 日本), 2023.7.15.
2. 益戸亮輔, 塗木淳夫, 野辺知弘, 塚田匠海, 五十嵐小雪, 塗木ひかる, 山代幸哉, 越智元太, 藤本知臣, 佐藤大輔. 技能定着局面における意図的抑制は運動技能の定着を促進するか?. 第17回モーターコントロール研究会 (東京, 日本), 2023.8.24.
3. 益戸亮輔, 塗木淳夫, 野辺知弘, 塚田匠海, 五十嵐小雪, 塗木ひかる, 山代幸哉, 越智元太, 藤本知臣, 佐藤大輔. 運動技能および運動学習能と順行性抑制機能との関連性. 第31回日本運動生理学会 (つくば, 日本), 2023.8.23.
4. 福山夏未, 巻渕泰輝, 五十嵐小雪, 越智元太, 山代幸哉, 佐藤大輔, 藤本知臣. TRPM8およびTRPA1の活性化が寒冷刺激に伴う循環応答と痛み感覚に及ぼす影響. 第31回日本運動生理学会 (つくば, 日本), 2023.8.23.
5. 越智元太. 女子サッカー選手における実行機能低下を招くストレス要因 —認知心理学手法を用いた予備的検討—. 日本体育・スポーツ・健康学会 第73回大会 (京都, 日本), 2023.9.1.
6. 渕上真帆, 越智元太, 松元剛. 馬の被毛中におけるストレスマーカーの測定と長期モニタリングの可能性の検討. 日本ウマ科学会 第36回学術集会 (東京, 日本), 2023.11.28.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (理事, 学会誌編集委員), 日本体力医学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 新潟県体育学会, 北米神経科学会, 欧州スポーツ科学会, 日本ウマ科学会

2) 学会等でのその他の活動

1. *Journal of Clinical Medicine* 査読
2. *SAGE Open Medicine* 査読
3. *Brain and Cognition* 査読
4. *Scientific Reports* 査読 (3報)
5. *Brain and Behavior* 査読
6. 日本コーチング学会 査読
7. *PLOS ONE* 査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 湖西フェア, VRスポーツ体験会, 講師, 静岡県立新居高等学校, 湖西高等学校, 浜松市の小中学校生と保護者, 浜松市, 2023.11.4.
2. 県央スポーツネットワーク・スポーツ指導者講習会兼県央スポーツサポーターバンク認定講習会, 体力トレーニングⅠ 体力とは?, 講師, 新潟県 県央スポーツネットワーク, 新潟県地域スポーツ指導者,

燕市, 2023.11.26.

2) 社会活動への参加協力

1. 第34回全国高等学校選抜ローイング大会実行委員会, 審判・記録, 運営委員, 浜松市天竜ボート場, 2024.3.22-3.24.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022, 若手研究, 運動による認知疲労の発生機序：キヌレニン代謝仮説の検証, 研究代表者
2. 2022, 基盤研究（B）, 脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出, 研究分担者
3. 2023, 明治安田厚生事業団体力医学研究所 若手研究者のための健康科学研究助成, 運動による実行機能低下の神経機構の解明－脳内乳酸濃度の役割－, 研究代表者
4. 2023, 基盤研究（C）, MALDI-TOF/MSを用いた毛髪脂質の高感度一斉解析法と長期精神疲労評価法への応用, 研究分担者
5. 2023, 基盤研究（C）, 体育教師の自覚的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

NSCA公認 Certified Strength and Conditioning Specialist（CSCS）（2023.11.19）

7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所（研究員）, 学術委員会（委員）, 利益相反マネジメント委員会（委員）, 知的財産委員会（委員）, 動物実験委員会（委員）

氏名：松浦 由生子

1 研究題目 アスリートの外傷・障害予防に関する研究, スイマーズショルダーの発生メカニズムに関する研究

2 著書

1. 松浦由生子, 斉藤秀之, 加藤浩（編）. こだわり抜く筋持久力増強運動, 文光堂, 2023: 186-187.

3 論文

1. Matsuura Y, Fujimoto T, Koizumi K, Mise T, Edama M, Shimoyama Y. Posterior deltoid shoulder tightness and greater contralateral lower limb muscle strength are associated with swimmers' shoulder pain. Journal of Science and Medicine in Sport(JCR).2023;26(12):694-699.（査読あり）
2. Matsuura Y, Matsunaga N, Akuzawa H, Oshikawa T, Kaneoka K: Comparison of Muscle Coordination During Front Crawl and Backstroke With and Without Swimmer's Shoulder Pain. Sports Health (JCR). 2023; 16(1): 89-96.（査読あり）
3. 松浦由生子. 水泳におけるスポーツ障害予防. 日本臨床スポーツ医学会誌（協力学術研究団体）. 2023; 31(3): 434-436.
4. Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Effect of Wetsuit Use on Body Temperature and Swimming Performance During Training in the Pool: Recommendations for Open-Water Swimming Training With Wetsuits. Int J Sports Physiol Perform (JCR). 2024; 19(4): 407-411.（査読あり）
5. Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Thermal Sensation After the 10-km Open-Water Swimming in Cool Water Depends on the Skin's Thermal Sensitivity Rather Than Core Temperature. Int J Sports Physiol Perform (JCR). 2023; 19(1): 28-33.（査読あり）
6. Kumazaki A, Fujimoto T, Matsuura Y. Longitudinal Development of Physical Characteristics and Function in Japanese Junior Rugby Union Players. Int J Sports Physiol Perform (JCR). 2023; 18(9): 1038-1046.（査読あり）
7. Murase S, Sakitani N, Maekawa T, Yoshino D, Takano K, Konno A, Hirai H, Saito T, Tanaka S, Shinohara K, Kishi T, Yoshikawa Y, Saka T, Ayaori M, Inanami H, Tomiyasu K, Takashima A, Ogata T, Tsuchimochi H, Sato S, Saito S, Yoshino K, Matsuura Y, Funamoto K, Ochi H, Shinohara M, Nagao M, Sawada Y. Interstitial-fluid shear stresses induced by vertically oscillating head motion lower

blood pressure in hypertensive rats and humans. Nature biomedical engineering (JCR). 2023; 7(11): 1-24. (査読あり)

4 学会等研究発表

1. 松浦由生子, 「Youg member's meeting」, 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜・日本), 2023.11.16. 【シンポジウム】
2. Matsuura Y. 「Posterior deltoid shoulder tightness: Shoulder pain risk factors in swimmers. (英語)」, 14th International Symposium Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig). 2023.9.
3. 松浦由生子, 「剪断波エラストグラフィーを用いた肩関節周囲筋弾性率とスイマーズショルダー発生との関係」, 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜・日本), 2023.11.16.
4. 松浦由生子, MR画像診断装置を用いた競泳選手の多裂筋断面積解析 ～腰痛の有無による比較～, 第10回日本スポーツ理学療法学会 (大宮・日本), 2024.1.6.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本理学療法士協会, 日本スポーツ理学療法学会 (研究推進委員会 委員), 日本水泳・水中運動学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 新潟県体育学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本スポーツ理学療法学会, 第11回日本スポーツ理学療法学会, 演題登録部門, 横浜, 活動期間 2024.1.1-現在
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ外傷・障害予防 水泳編 執筆

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県村上市教育委員会 指導者育成プログラム, スポーツ医学Ⅱ スポーツ活動中に多い怪我と予防, 講師, 村上市生涯学習推進センター, 2023.5.23.
 2. NPO法人 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会, 運動指導者が理解しておきたい身体の仕組みと機能, 講師, メディアシップ, 2023.6.25.
 3. 2023年度水泳コーチ4 必修研修会, メディカルコンディショニング, 講師, 日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会, 水泳コーチ, オンデマンド, 2023.10.1-11.30.
 4. 公益財団法人日本理学療法士協会 分科学会 一般社団法人日本スポーツ理学療法学会主催 第2回 臨床研究推進セミナー, 体幹の診かた, 治しかた ～体幹治療の「コアな」話～, 講師, オンライン, 2023.6.11.
 5. 日本スポーツ協会/日本水泳連盟 公認 水泳コーチ4 競泳 必修研修会, 日本水泳連盟, 競泳 トレーナーの知識, 講師, オンライン, 2023.11.26.
 6. 日本水泳連盟 下部組織 日本水泳トレーナー会議 基礎講習会, 水泳競技の肩関節障害におけるコンディショニング, 講師, 日本水泳トレーナー会議, 2024.3.10.
 7. スポーツ指導者講習会兼県央スポーツサポーターバンク認定講習会, スポーツ医学Ⅱ スポーツ活動中に多い怪我と予防, 県央スポーツネットワーク, 燕市, 2024.2.18.
 8. 日本水泳連盟, Women's Health Project, 教育用動画, 講師, 女性アスリートの身体特性とケガとの関係, 講師, 日本水泳連盟, オンデマンド, 2024.3-現在
 9. 日本水泳連盟, Women's Health Project, 教育用動画, 講師, 女性アスリートとスポーツ外傷・障害, 講師, 日本水泳連盟, オンデマンド, 2024.3-現在
 10. 日本水泳連盟, Women's Health Project, 教育用動画, 講師, 女性アスリートのパフォーマンス, 講師, 日本水泳連盟, オンデマンド, 2024.3-現在
 11. NPO法人 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会, 運動器障害予防のためのスクリーニングとエクササイズ, 講師, メディアシップ, 2023.6.25.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 競泳世界選手権コーチに新潟医療福祉大選出, 2023.4.28.
2. 新聞, 新潟日報オンライン, 競泳世界選手権コーチに新潟医療福祉大に選出, 2023.4.28.
3. 新聞, 科学新聞, ジョギングで脳に刺激 高血圧改善, 2023.7.14.
4. 新聞, 読売新聞, 体を上下動させて脳に適度な衝撃, すると高血圧が改善, 2023.7.10.
5. 新聞, 新潟日報, 軽い運動で脳に適度な衝撃, 高血圧改善へ 新潟医療福祉大学などの研究チームが解明, 2023.7.10.
6. 新聞, 日本経済新聞, 国立障害者リハビリテーションセンターなど, 「適度な運動」が高血圧を改善するメカニズムをラットとヒトで解明, 2023.7.7.
7. 新聞, 共同通信, 高血圧改善の仕組み解明 軽い運動, 脳に適度な刺激, 2023.7.7.
8. 新聞, 産経新聞, 軽いジョギング, 脳への適度な衝撃で高血圧改善, 2023.7.7.

3) 社会活動への参加協力

1. アジア大会代表・世界水泳日本代表強化合宿, メディカルチェック, 東京都北区, 2023.4.11-4.15.
2. 世界水泳日本代表強化合宿, コンディショニング, アスレティックトレーナー, 東京都北区, 2023.4.11-4.15.
3. 世界水泳・アジア大会代表 日本代表選手出場 強化レース 東京都選手権, 日本代表トレーナー, Tokyo Aquatic Center, 2023.6.2-6.4.
4. 世界水泳日本代表選手強化合宿, コンディショニング, 日本代表トレーナー, 東御市, 2023.7.1-7.11.
5. 世界水泳日本代表直前合宿, コンディショニング, 日本代表トレーナー, ナショナルトレーニングセンター, 2023.7.12-7.19.
6. 第20回世界水泳選手権, 日本代表トレーナー, 福岡市, 2023.7.20-7.30.
7. World Aquatics Swimming World Cup 2023 ベルリン大会, 日本代表トレーナー, ドイツ・ベルリン, 2023.10.6-10.8.
8. World Aquatics Swimming World Cup 2023 アテネ大会, 日本代表トレーナー, ギリシャ・アテネ, 2023.10.13-10.15.
9. ジュニアナショナル合宿, コンディショニング指導, ナショナルトレーニングセンター, 2023.11.25-11.26.
10. パリ五輪代表 第一次合宿, メディカルチェック, 日本代表トレーナー, 2024.3.26-3.30.

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

日本水泳連盟 医事委員, 日本水泳トレーナー会議(副代表), 日本水泳連盟 Women's Health Project for Japanese Swimmers 委員

5) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本スポーツ理学療法学会 研究推進委員会 委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2023年度, 基盤研究(B), 月経随伴症状としての腰痛の発生メカニズム解明と対処法の開発, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

日本水泳水中運動学会 最優秀論文発表賞(2023.10.8)

3) 学外兼務講師等

1. 早稲田大学 スポーツ科学部, スポーツ英語「水泳」, 2023.10.1-2024.3.31.

8 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, アスリートサポート研究センター, AD推進機構運営委員会

氏名：小林 志郎

- 1 研究題目 陸上競技投擲種目のトレーニング，指導法
- 2 論文
 1. 鵜瀬亮一，大室康平，小林志郎，石川智雄．大学野球部所属学生の出身地および卒業後の定住動向調査．新潟医療福祉学会誌．2023；23(2)：36-40（査読あり）
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 陸上競技研究，日本コーチング学会，新潟医療福祉学会，陸上競技学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 2023年度日本陸上競技連盟U19強化研修合宿（近畿・東海地区）参加選手への指導 円盤投担当コーチ 鴻池陸上競技場 2023.12.24-12.27.
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 北信越学生陸上競技連盟，北信越学生陸上競技対校選手権大会，主管校運営，総務，新潟市陸上競技場，2023.5.13-5.14.
 2. 第49回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.7.1-7.2.
 3. 第50回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.8.13.
 4. 第51回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.9.2.
 5. 第52回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.10.7.
 6. 第53回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.11.4.
 7. 医福大スポーツあそびの日，主催者，新潟医療福祉大学，2023.9.24.
 - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
一般財団法人新潟陸上競技協会（理事），北信越学生陸上競技連盟（評議員），新潟実業団陸上競技連盟（理事）
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部 天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子やり投 3位 埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 2023.9.14-9.17.（監督）
 2. 陸上競技部 天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子円盤投 5位 埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 2023.9.14-9.17.（監督）
 3. 陸上競技部 天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子円盤投 6位 埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 2023.9.14-9.17.（監督）
 4. 陸上競技部 天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子砲丸投 6位 埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 2023.9.14-9.17.（監督）
 5. 陸上競技部 天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子十種競技 3位 埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 2023.9.14-9.17.（監督）
 6. 陸上競技部 第1回東アジアu20選手権大会 男子砲丸投 2位 中国・揚州 2023.10.26-10.27.
- 6 学内委員会活動 就職センター運営委員会，AD推進委員会（スカウト部会部会長）

氏名：奈良 梨央

- 1 研究題目 背泳ぎスタートに関する研究
- 2 論文
 1. 奈良梨央．続・私の考えるコーチング論：女性コーチとして．コーチング学研究．2023；37巻増刊号：29-33.
- 3 学会等研究発表
 1. 三瀬貴生，下門洋文，山城昌一郎，星川慎吾，千葉海勝，馬場康博，奈良梨央，下山好充．水中ドルフィ

ンキック泳におけるキネマティクスの異なる年代による比較. 日本水泳・水中運動学科（福岡県），
2023.10.6-10.8.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会，日本水泳水中運動学会，日本コーチング学会，新潟医療福祉学会，NPO法人ジュース

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. （公財）日本スポーツ協会公認水泳コーチ1・水泳コーチ22023年度更新研修会，講師，新潟県水泳連盟，コーチ有資格者，長岡市，2023.11.5.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 奈良梨央. スイミングライフ. 千葉県：（株）インターナショナルスイミング；2023：28-31.
2. 奈良梨央. スイミングマガジン9月号. 東京：ベースボール・マガジン社；2023：30-33.
3. 奈良梨央. スイミングマガジン10月号. 東京：ベースボール・マガジン社；2023：30-33.

3) 社会活動への参加協力

1. 中条スイミングスクール，大学プールでの練習環境の提供，監視，新潟市・新潟医療福祉大学内プール，2023.11.11.

6 その他の教育研究活動

1) 受賞，学位取得，資格取得

コーチデベロッパー（2024.2）

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部，第99回日本選手権水泳競技大会，男子50mバタフライ2位，東京都，2023.4.4-4.9.（コーチ）
2. 水泳部，第99回日本選手権水泳競技大会，男子100m背泳ぎ7位，東京都，2023.4.4-4.9.（コーチ）
3. 水泳部，第99回日本選手権水泳競技大会，女子50m背泳ぎ2位，東京都，2023.4.4-4.9.（コーチ）
4. 水泳部，第99回日本選手権水泳競技大会，男子100mバタフライ2位，東京都，2023.4.4-4.9.（コーチ）
5. 水泳部，第99回日本選手権水泳競技大会，男子50m自由形7位，東京都，2023.4.4-4.9.（コーチ）
6. 水泳部，第99回日本選手権水泳競技大会，男子50m背泳ぎ8位，東京都，2023.4.4-4.9.（コーチ）
7. 水泳部，第99回日本学生選手権水泳競技大会，男子50m自由形3位，東京都，2023.8.31-9.3.（コーチ）
8. 水泳部，第99回日本学生選手権水泳競技大会，男子4×100mフリーリレー8位，東京都，2023.8.31-9.3.（コーチ）
9. 水泳部，第99回日本学生選手権水泳競技大会，男子50m自由形6位，東京都，2023.8.31-9.3.（コーチ）
10. 水泳部，第65回日本選手権（25m）水泳競技大会，女子50m背泳ぎ4位，東京都，2023.10.21-10.22.（コーチ）
11. 水泳部，第65回日本選手権（25m）水泳競技大会，女子50mバタフライ4位，東京都，2023.10.21-10.22.（コーチ）
12. 水泳部，第65回日本選手権（25m）水泳競技大会，女子100m自由形6位，東京都，2023.10.21-10.22.（コーチ）
13. 水泳部，第65回日本選手権（25m）水泳競技大会，男子100m背泳ぎ3位，東京都，2023.10.21-10.22.（コーチ）
14. 水泳部，第65回日本選手権（25m）水泳競技大会，女子100mバタフライ4位，東京都，2023.10.21-10.22.（コーチ）
15. 水泳部，第6回日本社会人選手権水泳競技大会，女子50m背泳ぎ優勝，長岡市，2023.11.11-11.12.（コーチ）

16. 水泳部, 第6回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子50mバタフライ 2位, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (コーチ)
 17. 水泳部, 第6回日本社会人選手権水泳競技大会, 男子50mバタフライ 2位, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (コーチ)
 18. 水泳部, 第6回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ 2位, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (コーチ)
 19. 水泳部, 第6回日本社会人選手権水泳競技大会, 女子100mバタフライ 4位, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (コーチ)
 20. 水泳部, 第6回日本社会人選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ 優勝, 長岡市, 2023.11.11-11.12. (コーチ)
 21. 水泳部, ジャパンオープン2023 (50m), 女子50mバタフライ 7位, 東京都, 2023.11.30-12.3. (コーチ)
 22. 水泳部, ジャパンオープン2023 (50m), 男子50mバタフライ 3位, 東京都, 2023.11.30-12.3. (コーチ)
 23. 水泳部, ジャパンオープン2023 (50m), 女子50m背泳ぎ 5位, 東京都, 2023.11.30-12.3. (コーチ)
 24. 水泳部, ジャパンオープン2023 (50m), 男子100mバタフライ 4位, 東京都, 2023.11.30-12.3. (コーチ)
 25. 水泳部, 国際大会代表選考会, 男子50mバタフライ 優勝, 東京都, 2024.3.17-3.24. (コーチ)
 26. 水泳部, 国際大会代表選考会, 女子50mバタフライ 4位, 東京都, 2024.3.17-3.24. (コーチ)
 27. 水泳部, 国際大会代表選考会, 女子50m背泳ぎ 6位, 東京都, 2024.3.17-3.24. (コーチ)
 28. 水泳部, 国際大会代表選考会, 男子100mバタフライ 2位, 東京都, 2024.3.17-3.24. (コーチ)
- 7 学内委員会活動 教務委員会, 学科広報戦略WG, 学科同窓会WG (ピアサポーター)

氏名: 針谷 美智子

- 1 研究題目 小学校体育授業における鉄棒運動の縦断的研究, 小学校体育授業における運動技能水準下位児童に関する事例的研究
- 2 著書
 1. 針谷美智子; 吉永武史. 第2章 器械運動の特色, 第3章 器械運動 (小), 器械運動 (中). 教材研究×体育. 第1版. 東京: 明治図書出版; 2023: 50-51, 78-83, 120-125.
- 3 報告書
 1. 針谷美智子. 若手研究, 小学校児童の逆上がり及び後方支持回転動作を改善するための学習方略の開発, 研究成果報告書, 2019-2022, 研究代表者
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会 (若手研究者委員会委員), 日本体育科教育学会 (編集委員), 日本スポーツ教育学会, 体育授業研究会 (編集委員), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会, 第4回日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会セミナー, 実行委員会, 2023.10.1-2024.3.31.
 2. 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会, 第4回日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会セミナー, コーディネーター, 東京都世田谷区, 2024.3.10.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 体育授業研究会, 第27回体育授業研究会東京大会一般発表, 座長, 東京都, 2023.8.10.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. 女子体操審判員1種認定講習会，講師，日本体操協会，東京都世田谷区，国士舘大学，1.27-1.28.
2. 女子体操ルールクリニック，講師，東京都世田谷区，日本体操協会，日本女子体育大学，2.24.
3. 女子体操全国代表審判員研修会，講師，日本体操協会，東京都世田谷区，日本女子体育大学，2.25.
4. 長岡市スポーツ協会「ささえるスポーツ」，講師，長岡市スポーツ協会，新潟県長岡市，みしま会館，10.28.
5. 八千代市勝田台小学校実技講習会，講師，八千代市教育委員会，小学校教員，千葉県八千代市，9.20.
6. 品川区立浜川小学校研究会，講師，品川区浜川幼稚園，幼稚園教諭，東京都品川区，6.26.

2) 社会活動への参加協力

1. イタリア国際，審判員，イタリア・イエゾロ，3.29-4.2.
2. 第38回東日本体操競技グループ選手権大会，審判員，群馬県高崎市，高崎アリーナ，4.15-4.15.
3. 体操天皇杯 第77回全日本体操個人総合選手権，審判員，東京都渋谷区，東京体育館，4.21-4.21.
4. 第77回全日本体操種目別選手権女子映像審査，審判員，東京都北区，ナショナルトレーニングセンター，4.29.
5. 第62回NHK杯，審判員，東京都渋谷区，国立代々木競技場，5.2.
6. 第56回東日本学生体操競技選手権，審判長，埼玉県熊谷市，くまがやドーム，5.27-5.27.
7. 第77回全日本体操種目別選手権，審判員，東京都渋谷区，国立代々木競技場，6.1-6.11.
8. 国民体育大会北信越ブロック大会，審判長，新潟県上越市，上越市立上越体操場，7.16-7.17.
9. 第1回ナショナル強化合宿（ユニバシアード大会に向けた試技会），審判員，東京都北区，ナショナルトレーニングセンター，7.25.
10. 令和5年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会，審判員，北海道札幌市，北海きたえーる，8.1-8.5.
11. 全日本ジュニア選手権大会に向けた試技会（なんば体操クラブ），審判員，新潟県上越市，上越市立上越体操場，8.13.
12. 第77回全日本学生体操競技選手権大会，審判員，長野県長野市，ホワイトリング，8.18-8.22.
13. 第54回全国中学校体育大会（体操競技），審判員，徳島県徳島市，鳴門大塚スポーツパーク アミノバリューホール，8.24-8.26.
14. 第56回全日本シニア体操競技選手権大会，審判員，東京都立川市，アリーナ立川立飛，9.8-9.9.
15. 世界選手権大会及びアジア選手権大会に向けた強化合宿での試技会，審判員，東京都北区，ナショナルトレーニングセンター，9.14.
16. 第56回全日本マスターズ体操競技選手権大会，審判員，東京都立川市，アリーナ立川立飛，9.16.
17. U-15ジュニアナショナルトライアウト，審判員，東京都北区，ナショナルトレーニングセンター，9.19.
18. 第77回全日本体操団体選手権，審判員，三重県四日市市，四日市市総合体育館，11.25-11.26.
19. 第78回全日本体操個人総合選手権女子トライアウト（映像審査），審判員，東京都北区，ナショナルトレーニングセンター，2.1.
20. 第78回全日本体操個人総合選手権女子トライアウト，審判員，東京都北区，ナショナルトレーニングセンター，3.3.
21. DTBチームカップ，審判員，ドイツ・シュツットガルト，3.13-3.18.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益財団法人日本体操協会審判委員会（体操競技女子審判部員），東京都体操協会（役員）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2022年度，若手研究，ICT機器を活用した鉄棒運動の学習指導プログラムの構築：逆上がりに着目して，研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学教育学部，小学校体育，2023.4.1-7.31.

7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会, 学生・交通安全委員会

氏名：池田 恵子

1 研究題目 親子ダンスの実施が母親のメンタルヘルスに与える影響, ダンス作品鑑賞時における視点変化

2 学会等研究発表

1. 池田恵子. ダンスの実施が乳幼児を持つ母親のメンタルヘルスに及ぼす影響の検討. 第17回U-goサロン(新潟市), 2023.7.11.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体育科教育学会, 日本発育発達学会, 日本体育測定評価学会, 地域デザイン学会, 新潟県体育学会

4 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 全日本ダンスフェス, 2023.8.11.
2. 新聞, 新潟日報, ダリの葛藤 ダンスで表現, 2023.8.26.
3. 新聞, 新潟日報, 来月11日県民集会, 2023.10.5.
4. 新聞, 新潟日報, 再会の願い 演舞に込めてー新潟医療福祉大生が拉致題材のダンスー, 2023.11.10.
5. TeNYテレビ新潟, 新潟一番, 拉致を知らない私ができること, 2023.11.15.
6. 新聞, 新潟日報, 思いを込めて力強くー新潟医療福祉大学ダンス部ー, 2023.11.20.
7. TeNYテレビ新潟, 新潟一番, フリップボードSHOW, 2024.2.19.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県女子体育連盟, 理事長, 新潟市, 2023.4.1-2024.3.31.
2. 南浜中学校, 体育祭のダンス指導, 監督, 新潟市, 2023.6.1-9.5.
3. 山倉小学校, ミュージカルのダンス指導, 監督, 北蒲原郡, 2023.8.25-11.25.
4. 明和義人祭, 蟹の手振り, 監督, 新潟市, 2023.8.26
5. 下山中学校, 体育祭のダンス指導, 監督, 新潟市, 2023.9.4-9.7.
6. 新潟医療福祉大学スポーツあそびの日, ダンスブース, 監督, 新潟市, 2023.9.24.
7. 新潟県女子体育連盟, 第34回研修会, 事務局, 新潟市, 2023.10.11.
8. 忘れるな拉致県民集会, 演舞出演, 監督, 新潟市, 2023.11.11.
9. 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科, 講演会, 地域貢献ワーキンググループ, 新潟市 2023.12.13.
10. 新潟県女子体育連盟, 第19回劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合! !, 連盟事務局, 新潟市, 2023.12.23.
11. 新潟県女子体育連盟, 特別講演会, 連盟事務局, 新潟市, 2024.2.23.

5 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

厚生労働省・スポーツ庁主催「第12回健康寿命をのばそう! アワード」生活習慣病予防分野 健康・生活衛生局長優良賞 (2023.11.27) ※新潟大学村山研究室

2) 学内部活動の実績

1. ダンス部, 第35回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸), 大学創作コンクール部門, 審査員賞(10位相当), 神戸市, 2023.8.7-8.10. (監督)
2. ダンス部, 第42回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール, 群舞部門, 優秀群舞賞(第2位), 秋田市, 2023.12.9-12.10. (監督)
3. ダンス部, 第42回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール, 群舞部門, 入賞1位, 秋田市, 2023.12.9-12.10. (監督)
4. ダンス部, 第42回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール, 群舞部門, Duoなまはげ賞, 秋田市, 2023.12.9-12.10. (監督)

5. ダンス部, 新潟市北区スポーツ協会, 令和5年度優秀競技者賞, 新潟市, 2024.2.10. (監督)
6. ダンス部, 新潟医療福祉大学, 2023年度課外活動優秀賞, 新潟市, 2024.3.19. (監督)
- 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学教育学部, 体育科教材論A, 2023.10.1-2024.3.31.
 2. 新潟青陵大学, 健康・スポーツ科学, 2023.10.1-2024.3.31.
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育センター運営委員会, 強化指定クラブ運営委員会

氏名：山本 悦史

- 1 研究題目 経済価値と社会価値の同時実現に向けたプロスポーツクラブ経営に関する研究 (スポーツ経営学), ソーシャルガバナンスの形成過程におけるスポーツ組織の役割に関する研究 (スポーツ社会学)
- 2 著書
 1. 山本悦史, 図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント 改訂版, 東京: 2024: 38-49, 88-99.
- 3 論文
 1. 若井由梨, 山本悦史, 上田純平. プロの舞踊家によるダンス指導が大学ダンス部員にもたらす効果: 身体面に関する効果に着目して. 大学体育スポーツ学研究 (協力学術研究団体). 2024; 21: 51-62.
 2. 本間崇教, 山本悦史, 島田達人. 野球独立リーグの観戦者特性: 愛着の対象に着目して. 松本大学研究紀要. 2024; 22: 107-114.
- 4 学会等研究発表
 1. 山本悦史. スポーツ経営・マネジメント系学会の現在と未来ー人文社会学系隣接領域学会との関わりを視野に入れてー. 日本体育・スポーツ経営学会 第2回研究報告会 (オンライン), 2023.10.26.
 2. 山本悦史. チームや企業との共同研究. 日本体育・スポーツ経営学会 第47回大会 (久留米大学), 2024.3.15.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育・スポーツ経営学会 (理事), 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本スポーツ産業学会, 日本スポーツマネジメント学会, 日本経営診断学会, 組織学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本体育・スポーツ経営学会, 第4回研究報告会, 司会・趣旨説明, オンライン, 2024.2.22.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 体育学研究, 査読委員
 2. スポーツマネジメント研究, 査読委員
 3. スポーツ産業学研究, 査読委員
 4. 日本体育・スポーツ経営学会, 編集委員
 5. 日本体育・スポーツ経営学会, 研究・国際委員
 6. 日本体育・スポーツ経営学会第47回大会, 一般発表, 座長, 久留米市, 2024.3.17.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 五泉市アーバンスポーツ施設等検討委員会 第5回検討委員会, スポーツを活用した「まちづくり」の視点～Gosen “PUSH” PROJECTの報告を受けて～, 講師, 五泉市, 五泉市長・教育委員長・五泉市スポーツ推進課職員, 五泉市総合会館, 2024.2.19.
 2. 講演会, 地域を元気にするスポーツの力, 講師, 五泉市, 五泉市スポーツ推進課職員・五泉市スポーツ協会職員・五泉市スポーツ推進委員, 五泉市総合会館, 2024.3.9.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 北海道新聞, 五輪透明性どう確保 信頼回復へ実効性カギ 2023.5.23.
 2. 新聞, 北海道新聞, 五輪汚職・談合 再発防止策原案提示 実効性確保が課題 札幌市が検討委, 2023.10.3.

3. WEB, PR TIMES, 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」受賞作品の決定, 2023.11.21.
 4. WEB, 東洋経済オンライン, 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」受賞作品の決定, 2023.11.21.
 5. WEB, 産経ニュース, 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」受賞作品の決定, 2023.11.21.
 6. WEB, 時事ドットコム, 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」受賞作品の決定, 2023.11.21.
 7. WEB, PR TIMES, 【新潟医療福祉大学】スポーツ庁のコンペで優秀賞を受賞！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」, 2023.11.30.
 8. WEB, Rakuten Infoseek News, 【新潟医療福祉大学】スポーツ庁のコンペで優秀賞を受賞！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」, 2023.11.30.
 9. WEB, excite ニュース, 【新潟医療福祉大学】スポーツ庁のコンペで優秀賞を受賞！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」, 2023.11.30.
 10. WEB, NIKKEI COMPASS, 【新潟医療福祉大学】スポーツ庁のコンペで優秀賞を受賞！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」, 2023.11.30.
 11. WEB, スポーツ庁WEB広報マガジン DEPTARE, まち全体まるごとスポーツに親しむことができる場へ！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」初開催！, 2023.12.6.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟アルビレックスBC, 観戦者調査, 調査員（代表）, HARDOFF ECO スタジアム新潟, 2023.6.30.
 2. 胎内DEERS, ホームゲーム運営協力, 学生ボランティア派遣・統括, 胎内市総合グラウンド陸上競技場, 2023.5.6.
 3. 五泉市アーバンスポーツ施設等整備検討委員会, 委員, 五泉市, 2023.7.18-.
 4. 新潟市陸上競技場及び新潟市体育館指定管理者申請者評価会議, 委員, 新潟市, 2023.7.6-10.12.
 5. 新潟市南区体育施設指定管理者申請者評価会議, 委員, 新潟市, 2023.7.20-10.13.
 6. 株式会社モザイクワーク, 新規サービス（モノサシ）の開発に対する助言, 新潟市, 2023.10.25-10.27.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2022年度, 科研費基盤研究（C）, プロスポーツにおけるCSV経営の普及に向けた包括的研究, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

博士（社会学）（2023.9.25）, スポーツ・健康まちづくりデザイン学生コンペティション2023 優秀賞（2023.11.10）
- 8 学内委員会活動 就職センター運営委員会, アスレティックデパートメント推進委員会（ブランド力向上部会）, シティズンシップ教育実践研究センター

氏名：高田 大輔

- 1 研究題目 体育授業における指導スタイルに関する研究, 教職志望学生における実践的指導力の育成に関する研究, 大学体育における車椅子バスケットボールの教育的効果の検討
- 2 学会等研究発表
 1. 大石直人, 荻原朋子, 福ヶ迫善彦, 村井梨沙子, 秋山和輝, 松本祐介, 高田大輔, 中学校体育授業におけるサッカーのゲームパフォーマンスの検討－ICTを活用した思考力を高める学習を通して－, 日本スポーツ教育学会第43回国際大会（東京）, 2023.9.23-9.24.
 2. 高田大輔, 菅原智昭, 針谷美智子, 小学校体育授業における学習課題の違いが児童の学習に及ぼす影響－

特に児童の思考に関してー. 新潟県体育学会令和5年度大会(新潟, オンライン), 2023.12.2.

3 学会活動

1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会, 日本教育工学会, 体育授業研究会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 大学体育スポーツ学研究, 編集委員
2. 大学体育スポーツ学研究, 査読

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和5年度指導者育成プログラム研修会(村上市地域スポーツクラブ活動体制整備事業), コーチ2中級編 スポーツ教育指導法Ⅱ「指導計画・内容・評価の立て方」, 講師(講義・演習), NPO法人希楽々, 融合型部活動指導者, スポ少指導者, 体協会員, 総合型クラブ職員, 教員等, 村上市, 2023.5.30.
2. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校低学年における「マットを使った運動遊び」の授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2023.9.20.
3. 弥彦村小中合同いじめ見逃し0スクール集会, 小中交流レクリエーション活動, 講師(指導), 弥彦村立弥彦中学校, 児童・生徒, 弥彦村, 2023.9.28.
4. 沼垂小学校全国公開研究会 体育まつり2023, 体育授業において対話しながら試し, よく考えて運動する児童の育成, 講師(講演), 新潟市立沼垂小学校, 小・中学校教員, 新潟市, 2023.10.20.
5. 石川小学校授業研究指導案検討会, 小学校高学年における「表現運動」の授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 加茂市立石川小学校, 小学校教員, 加茂市, 2024.1.25.

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟市立沼垂小学校・体育研究推進委員(研究サポート)

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2022年度, 科学研究費基盤研究(C), 体育科における子供の問題発見・解決能力, 言語能力を育む指導方法の検討, 研究代表者
2. 2022年度, 科学研究費基盤研究(C), 個別最適な学びと協働的な学びの一体化による思考力を高める学習モデルの研究, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校看護学科, 保健体育, 2023.9.1-2024.3.18.

6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会(企画・研究部会部会長), 身体教育研究センター

氏名: 上田 純平

1 研究題目 児童青年を対象とした心の健康教育の開発・実践, ト라우マに対するメンタルヘルスリテラシーに関する研究, 心理アセスメント尺度に関する計量心理学的研究

2 論文

1. 丸山美菜, 長門万央, 上田純平, 関口真有, 瀧井美緒. 大学生における注意の制御とマインドフルネス, 気晴らしスキルが抑うつ傾向に与える影響. *Journal of Health Psychology Research*. 2023; 36(1): 1-9. (査読あり)
2. 若井由梨, 山本悦史, 上田純平. プロの舞踊家によるダンス指導が大学ダンス部員にもたらす効果: 身体面に関する効果に着目して. *大学体育スポーツ学研究*. 2024; 21: 51-62. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. Takii M, Ueda J. The Impact of Mindfulness on Child-Rearing Difficulties and Parenting Anxiety of Parents of Preschoolers during the COVID-19 Pandemic. 10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies (Seoul, Korea), 2023.6.1-6.4.

2. Ueda J, Takii M. Psychometric Properties of the Birlson Depression Self-Rating Scale for Children using the Multidimensional Item Response Theory in Japanese Non-clinical Adolescent. 10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies (Seoul, Korea), 2023.6.1-6.4.
3. 瀧井美緒, 上田純平, 菊地学. コロナ禍による子育てへの影響－未就学児の保護者を対象にした二時点による比較－. 第20回日本うつ病学会総会（仙台）, 2023.7.21-7.22.
4. 上田純平, 瀧井美緒. PHQ-Aにおける性差DIF（特異項目機能）の検討. 第20回日本うつ病学会総会（仙台）, 2023.7.21-7.22.
5. 瀧井美緒, 上田純平. 対人援助職におけるトラウマのしろうと理論. 第22回日本トラウマティック・ストレス学会（東京）, 2023.8.5-8.6.
6. 上田純平. 若年層のSNSトラブルへの支援に活かす認知行動療法の可能性（シンポジウム）. 日本認知・行動療法学会第49回大会（札幌）, 2023.10.7-10.9.
7. 上田純平, 瀧井美緒. UPI短縮版のpsychometric propertiesの検討—Web 調査データに基づいて—. 第23回新潟医療福祉学会学術集会（新潟）, 2023.10.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本認知・行動療法学会, 日本認知療法・認知行動療法学会, 日本うつ病学会, 日本不安症学会, 日本トラウマティック・ストレス学会, 日本ストレスマネジメント学会, 日本児童青年精神医学会, 新潟県公認心理師会, 新潟医療福祉学会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
日本うつ病学会第18回学会奨励賞受賞（瀧井美緒・上田純平・菊地学）2023.7.22.
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 関西福祉大学, 青年期の発達心理, 2023.8.21-8.23.
 2. 新潟県立吉田看護専門学校, 教育学, 2023.9.8.
 3. 開志専門職大学, 心理学概論, 2023.9.26-2024.2.6.
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会（委員）, 人権委員会（委員）, 個人情報保護委員会（委員）, メンタルヘルス支援室（委員）

氏名：柴田 篤志

- 1 研究題目 助走を用いた片脚跳躍における踏切の評価に関する研究, 跳躍競技者の競技発達に関する研究
- 2 論文
 1. 柴田篤志, 荻山靖, 清水悠, 小山宏之. 女子三段跳競技者の日本記録更新に至るまでの助走スピードおよび各歩の跳躍距離の変化. 陸上競技研究紀要. 2024; 19: 40-47. (査読あり)
 2. 景行崇文, 高松潤二, 柴田篤志, 荻山靖, 小山宏之. 2023年日本選手権男女棒高跳決勝の上位入賞者の跳躍および踏切に関するキネマティクス変数. 陸上競技研究紀要. 2024; 19: 129-136.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本陸上競技学会, 日本コーチング学会, International Society of Biomechanics in Sports, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 体育学研究, 査読
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和5年度陸上競技種目別技術講習会, 講師, 新潟県陸上競技協会, 新潟市陸上競技場, 2023.8.21.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本陸上競技連盟科学委員会, セイコーゴールデングランプリ陸上2023横浜における科学サポート, 協力スタッフ, 日産スタジアム, 2023.5.21.

2. 日本陸上競技連盟科学委員会，第106回日本選手権における科学サポート，協力スタッフ，ヤンマースタジアム長居，2023.6.1-6.4.
 3. 新潟県陸上競技協会，北信越高高等学校新人陸上競技選手権大会における科学データの測定とフィードバック，科学委員，デンカビックスワンスタジアム，2023.10.27-10.29.
 4. 第49回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.7.1-7.2.
 5. 第50回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.8.13.
 6. 第51回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.9.2.
 7. 第52回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.9.2.
 8. 第53回新潟医療福祉大学記録会，主催者，新潟医療福祉大学陸上競技場，2023.11.4.
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2022年度，科研費基盤研究（C），児童期での助走を用いた片脚跳躍における踏切能力の発達過程の解明，研究代表者
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得

博士（体育科学），2023.8.31，筑波大学
 - 3) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部，天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会，男子十種競技，3位，埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場，2023.9.15-9.16.（コーチ）
- 6 学内委員会活動 教務委員会

氏名：小林 真里奈

- 1 研究題目 バスケットボール競技の競技動作に関する研究，バスケットボール競技のコーチングについての研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本バスケットボール学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー新潟市中体連指導者セミナー，スポーツ障害の防止と成長期スポーツ選手のセルフチェック等，講師，新潟市中体連，中学校部活動指導者，地域スポーツ団体指導者，新潟市，2023.6.2.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 新聞，日刊スポーツ，新潟医療福祉大男女インカレアベック出場 男女ともブロックリーグ突破狙う，2023.12.1.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟中央ヤクルト販売（株）プレゼンツ小学生ミニバスケットボールクリニック，バスケットボール指導と栄養指導，講師，新潟中央ヤクルト販売（株），新潟医療福祉大学第3体育館，2024.2.17.
 2. 学生たちが運営・指導するバスケットボール教室，学生補助，豊栄バスケットボール協会共催，小・中学生，新潟医療福祉大学第3体育館，毎月2回開催.
 - 4) 職能団体（協会，士会等）の委員

北信越大学バスケットボール連盟（理事），新潟県バスケットボール協会（成年女子監督）
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 女子バスケットボール部，第1回全日本大学バスケットボール新人戦（新人インカレ）出場，東京，2023.7.10-7.12.（監督）
 2. 女子バスケットボール部，第75回全日本大学選手権（インカレ）出場，東京，2023.12.2-12.4.（監督）

5 学内委員会活動 アスレティックデパートメント推進 修学・支援部会

氏名：森清 友亮

- 1 研究題目 超音波撮影による新たな発育性股関節形成不全診断法の開発，変形性膝関節症における下肢アライメントおよび骨形態評価に関する研究，CBCT撮影を用いた三次元口腔内動態評価に関する研究

2 論文

1. 森清友亮，坂上勇太，高根沢佑斗，田邊裕治，坂本信，小林公一，望月友晴，古賀良生．変形性膝関節症進行と下肢アライメント，皮質骨幅変化との関連．臨床バイオメカニクス（協力学術団体）．2023；44：97-103（Web）．（査読あり）
2. 森隆裕，田中正栄，渡邊博史，森清友亮，望月友晴，古賀寛，小林公一，大森豪，坂本信，田邊裕治，古賀良生．DRR画像を用いた二次元画像上の大腿骨－脛骨間の側方移動指標の精度検証．臨床バイオメカニクス（協力学術団体）．2023；44：87-91（Web）．（査読あり）
3. 石井義人，坂本信，亀田剛，坂上勇太，森清友亮，小林公一，坂井幸子，遠藤英昭，平元和彦．CBCTを用いた上下顎間の三次元歯列形態の関係性の評価．臨床バイオメカニクス（協力学術団体）．2023；44：319-328（Web）．（査読あり）
4. 細貝魁人，石井義人，坂本信，亀田剛，森清友亮，小林公一，遠藤英昭，平元和彦．上下顎間の歯列形態における三次元的関係性の検討．日本実験力学学会講演論文集（協力学術団体）．2023；23：141-142．（査読あり）
5. 坂本信，Surangika WADUGODAPITIYA，森清友亮，田中正栄，小林公一．ストレイン超音波エラストグラフィを用いたヒト膝関節包および膝内側側副靱帯の生体内剛性評価—In Vivo Stiffness Evaluation of Human Joint Capsule and Medial Collateral Ligament of Knee by Strain Ultrasound Elastography—運動器バイオメカニクス．2023；72：142-148．（査読あり）

3 学会等研究発表

1. 松浦由生子，藤本知臣，三瀬貴生，江玉睦明，熊崎昌，森清友亮，大森豪．剪断波エラストグラフィーを用いた肩関節周囲筋弾性率とスイマーズショルダー発生との関係．第34回日本臨床スポーツ医学会（横浜市），2023.11.11-11.12．
2. 三瀬貴生，松浦由生子，熊崎昌，江玉睦明，大森豪，森清友亮．成長期競泳選手における外傷・障害調査性別・パフォーマンスにおける比較．成長期競泳選手における外傷・障害調査性別・パフォーマンスにおける比較．第34回日本臨床スポーツ医学会（横浜市），2023.11.11-11.12．
3. 青木一磨，渡邊聡，齋藤大寛，小野寛英，林智彦，林豊彦，森清友亮，古賀良生，大森豪，小林公一．跳躍型疲労骨折の発症に影響する脛骨形状特徴の評価．第50回日本臨床バイオメカニクス学会（姫路市），2023.11.10-11.11．
4. 渡邊博史，田中正栄，遠藤和男，望月友晴，古賀寛，森清友亮，坂上勇太，坂本信，林智彦，大森豪，古賀良生．変形性膝関節症におけるX線進行度評価の経時的角度変化～進行前期に脛骨骨軸傾斜，後期に関節開き角が内反変化に寄与～．第50回日本臨床バイオメカニクス学会（姫路市），2023.11.10-11.11．
5. 田中正栄，渡邊博史，遠藤和男，望月友晴，古賀寛，森清友亮，坂上勇太，坂本信，林智彦，大森豪，古賀良生．変形性膝関節症X線進行度評価の経時的大腿骨・脛骨関節面線角度変化に関連する疫学要因の検討～進行前期における膝伸展筋力の重要性～．第50回日本臨床バイオメカニクス学会（姫路市），2023.11.10-11.11．

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本機械学会，日本臨床バイオメカニクス学会，日本実験力学学会，日本生体医工学会，日本臨床スポーツ医学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県アーチェリー協会，理事，競技副部長，競技会運営，審判，普及活動等，新潟県，2023.4.1-

2024.3.31.

2. 新潟市アーチェリー協会, 理事長, 競技会運営, 審判, 普及活動等, 新潟市, 2023.4.1-2024.3.31.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度, 科研費基盤研究（C）, 発育性股関節形成不全のエコー診断を補助する三次元画像解析技術の開発, 研究分担者
2. 2023年度, 科研費基盤研究（B）, 月経随伴症状としての腰痛の発生メカニズム解明と対処法の開発, 研究分担者

2) 学内部活動の実績

1. アーチェリー部, 第22回全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会, リカーブ女子18mIR, 予選55位, 74位, 長崎市, 2023.4.15-4.16. (監督・コーチ)
2. アーチェリー部, 第62回全日本学生アーチェリー個人選手権大会, リカーブ女子70mR, 予選79位, 101位, 東京都, 2023.4.15-4.16. (監督・コーチ)
3. アーチェリー部, 第31回全日本学生アーチェリー西日本大会, リカーブ女子70mR, 予選28位, 32位, 岩国市, 2023.5.21-5.23. (監督・コーチ)
4. アーチェリー部, 第26回北信越学生室内アーチェリー大会, リカーブ女子18mIR, 1位, 2位, 新潟市, 2023.11.19. (監督・コーチ)
5. アーチェリー部, 第38回北信越学生アーチェリー選抜選手権大会, リカーブ女子50m30mR, 1位, 2位, 新潟市, 2023.9.17. (監督・コーチ)
6. アーチェリー部, 第44回北信越学生アーチェリー対抗戦, リカーブ女子70mR, 1位, 2位, 新潟市, 2023.4.15-4.16. (監督・コーチ)

氏名：亀岡 雅紀

- 1 研究題目 脱子どもロコモプログラムの開発, 地域資源を活用したヘルスツーリズムプログラムの開発, 子どものレジリエンスを高める野外教育プログラムの開発

2 学会等研究発表

1. Kameoka M, Oyama Y, Murayama T. Postural evaluation of Young Children by Childcare Workers and its Relationship to Measures of Young Children's Physical Fitness and Motor Skills, and Postural Control Functions. EUROPEAN COLLEGE of SPORTS SCIENS (PARIS), 2023.7.4-7.7.
2. Oyama Y, Sakai T, Nakano T, Hayashi Y, Kameoka M, Murayama T. Relationship between a reaction balance test and history or fear of falls in older people, EUROPEAN COLLEGE of SPORTS SCIENS (PARIS), 2023.7.4-7.7.
3. 山崎幸歩, 村山敏夫, 樺澤茉宝, 亀岡雅紀. 絵本を活用した幼児の健康教育－運動遊びでボディイメージの促進を目指して－, 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会, 2023.8.30-9.1.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本測定評価学会, 日本運動・スポーツ学会, 新潟県体育学会 (理事), 地域デザイン学会, 日本教育医学会, 日本保育保健学会, 日本幼少児健康教育学会 (学会誌編集委員会幹事), 日本発育発達学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本温泉気候物理医学会

2) 学術集会の主催

1. 新潟県体育学会, 新潟県体育学会令和5年度大会, 運営, オンライン, 2023.12.2.

3) 学会等でのその他の活動

1. 新潟県体育学会理事・査読委員
2. 日本幼少児健康教育学会学会誌編集委員会幹事

4 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟大学×出雲崎町令和5年度トリトンプロジェクト（高校生へのキャリアの授業），新潟県立出雲崎高等学校，2023.11.17.
2. 子どもの発育発達に関する講演，新潟民医連，医学生，新潟民医連医系学生室，2023.9.26.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 厚生労働省健康寿命を延ばそうアワード介護予防・高齢者生活支援分野，パンフレット，<https://www.mhlw.go.jp/content/000752276.pdf>
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 子どものからだと心・研究会議in新潟事務局，子どものからだと心・研究会議In新潟，事務局長，長岡市・アオーレ長岡，2023.6.10.
 2. 新潟地域連携コミュニティ，第1回講演&おしゃべり会，オンライン，2023.7.13.
 3. 新潟地域連携コミュニティ，第2回講演&おしゃべり会，オンライン，2023.11.9.
 4. 新潟地域連携コミュニティ，地域活動報告会・学生交流会，新潟大学図書館，2023.12.9.
 5. 柏崎市教育委員会，親子で運動遊び教室，柏崎市総合体育館，2023.7.29；8.5；8.19.
 6. 柏崎市教育委員会，数量的能力測定・運動能力測定会，柏崎市立第一中学校体育館，2023.9.30.
 7. 出雲崎高等学校，新潟大学×出雲崎町令和5年度トリトンプロジェクト「亀の成長記録ーみんなの夢は何ですか？ー」，出雲崎高等学校，2023.11.17.
 8. あかたにの家，子どもの自然体験教室，あかたにの家，2023.8.11.
 9. 新潟野外教育研究会，小中学生スキースクール，ニューグリーンピア津南，2023.12.26-12.28.
 10. 新潟野外教育研究会，親子のキャンプ教室，海辺の森キャンプ場，2023.10.7-10.8.
 11. 日本レクリエーション協会，野外体験イベント，胎内少年自然の家，2023.10.14-10.15.
 12. 一般社団法人にいがたヨガ協会，パークヨガ・ビーチクリーン，新潟県立紫雲寺記念公園，2023.5.7.
 13. 新潟医療福祉大学アルティメット部scarlet，子どもフライングディスク教室，2023.11.5.
 14. 新潟医療福祉大学アルティメット部scarlet他，医福大スポーツ遊びの日（フライングディスクブース担当），新潟医療福祉大学，2023.9.24.
 15. 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科地域貢献WG，「瞬時の判断力～現場で生きる脳の使い方」，メディアシップ日報ホール，2023.12.13.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
関西学院大学人間福祉学部研究会（外部査読委員）
- 5) 職能団体（協会，士会等）の委員
子どものからだと心・研究会議In新潟事務局（事務局長）
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023年度，柏崎スポーツフェスティバル2023体力測定会試行業務，一般財団法人柏崎市スポーツ協会，亀岡雅紀・村山敏夫
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得
受賞・第12回厚生労働省健康寿命を延ばそうアワード介護予防・高齢者生活支援分野，厚生労働省 健康・生活衛生局長 優良賞，「タオルと音楽でみんなの心をワクワクさせるParty体操の展開」，2023.11.27
資格・キャンプインストラクター（2023.8.12），キャンプディレクター1級（2024.1.21），スキー検定1級（2024.3.30）
 - 3) 学内部活動の実績
 1. アルティメット部scarlet副顧問
 2. アウトドア部顧問
 - 4) 学外兼務講師等
 1. 新潟産業大学，日本語Ⅱ（発表・討論）；日本語Ⅳ（企画・立案）；日本語Ⅴ（プレゼンテーション），2024.4-2025.3.

2. 新潟大学, 健康スポーツ科学実習Ⅱ (トレーニング), 2024.10~2024.2, 海辺の森交流拡大委員会, 2024.6-2025.3.
- 6 学内委員会活動 中央教育センター運営委員会, 共通科目部会, 高等教育推進センター運営委員会

氏名：菅原 大志

- 1 研究題目 農山村における地域生活とスポーツ活動に関する社会学的研究
- 2 学会等研究発表
 1. 菅原大志. 現代農山村における地域スポーツの予備的考察. 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会 (京都), 2023.8.31.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本スポーツ社会学会, 東北社会学会, 日本体育社会学会, 新潟医療福祉学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 科研費研究活動スタート支援, 農山村におけるスポーツ受容の機制に関する社会学的研究, 研究代表者.
- 5 学内委員会活動 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会, 社会連携推進センター運営委員会.

氏名：五十嵐 小雪

- 1 研究題目 女性の生体リズムによって生じる摂食行動異常の原因とその対処法を探る, 月経周期による摂食行動異常の原因解明と記憶の想起抑制を用いた新たな対処法の開発
- 2 論文
 1. Anazawa S, Yamashiro K, Makibuchi T, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Sex Differences in Excitatory and Inhibitory Function in the Primary Somatosensory Cortex during the Early Follicular Phase: A Preliminary Study. Brain Sciences. 2023; 13(5), 761.
 2. Yamashiro K, Shiya K, Ikarashi K, Anazawa S, Makibuchi T, Baba Y, Fujimoto T, Ochi G, Omori G, Sato D. Reduced somatosensory evoked potentials and paired-pulse inhibition in the primary somatosensory cortex of athletes with chronic pain. European Journal of Applied Physiology. 2023; 123(11): 2537-2543.
 3. Makibuchi T, Yamashiro K, Anazawa S, Fujimoto T, Ochi G, Ikarashi K, Sato D. Assessing the Effects of the Topical Application of L-Menthol on Pain-Related Somatosensory-Evoked Potentials Using Intra-Epidermal Stimulation. Brain Sciences. 2023; 13(6): 918.
- 3 報告書
 1. 五十嵐小雪. 特別研究員奨励費, 月経周期による運動学習能の変動を予測する指標の開発, 研究実績報告書, 2021-2023, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 益戸亮輔, 塗木淳夫, 野辺知弘, 塚田匠海, 五十嵐小雪, 塗木ひかる, 山代幸哉, 越智元太, 藤本知臣, 佐藤大輔. 運動技能および運動学習能と順行性抑制機能との関連性. 第31回日本運動生理学会 (つくば市), 2023.8.23-8.24.
 2. 益戸亮輔, 塗木淳夫, 野辺知弘, 塚田匠海, 五十嵐小雪, 塗木ひかる, 山代幸哉, 越智元太, 藤本知臣, 佐藤大輔. 技能定着局面における意図的抑制は運動技能の定着を促進するか? 第17回Motor Control研究会 (東京都), 2023.8.24-8.26.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会
- 6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学スッキリ運動教室，運動指導，健康スポーツ学科，中高年者，新潟医療福祉大学，2023.5.16-7.11.（全9回）
2. 新潟医療福祉大学フレイル予防運動教室，運動指導，健康スポーツ学科，中高年者，新潟医療福祉大学，2023.5.18-7.13.（全9回）
3. 新元島町運動教室，運動指導，健康スポーツ学科，中高年者，新元島町自治会館，2023.4.14-2024.3.22.（全24回）
4. 資格対策特別授業，講師，アップルスポーツカレッジスポーツ保育士学科，こどもインストラクター科の学生，アップルスポーツカレッジ，2023.12.7.
5. 令和5年度新潟県スポーツ指導者研修会，スポーツと月経リズムの関係性 ～まずは，月経について深く知ろう～，講師，公益財団法人新潟県スポーツ協会，新潟県内スポーツ指導者，新潟市（新潟ユニゾンプラザ），2024.2.4.
6. 新潟医療福祉大学女性アスリートセミナー，月経リズムの基本について，講師，新潟医療福祉大学スポーツ振興室，本学強化部女性アスリート，新潟医療福祉大学，2023.2.27.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度，学内研究奨励金スタート支援研究費，女性の生体リズムによって生じる摂食行動異常の原因とその対処法を探る，研究代表者
2. 2023年度，科研費研究活動スタート支援，月経周期による摂食行動異常の原因解明と記憶の想起抑制を用いた新たな対処法の開発，研究代表者

5) 看護学部

(1) 看護学科

氏名：宇田 優子

- 1 研究題目 難病患者の災害への備え行動促進に関する要因など災害看護学，地域包括ケアシステム構築に関する地域看護活動の課題と検討

2 論文

1. 小林房代，木下直彦，度會祐子，谷川奈々，山田智子，Luong Thi Hai Yen，宇田優子，柴山純一，瀧口徹．介護保険施行20年の時点における関連情報知識の現状と課題．新潟医療福祉学会誌．2023；22（3）：78-90．（査読有）
2. 岩野千尋，宇田優子．新潟県内の訪問看護事業所における豪雪災害への備えの実態と課題に関する検討．日本在宅看護学会誌．2023；12（1）：21-29．（査読有）
3. 播木雅津子，大西真由美，宇田優子，大谷喜美江，齋藤公彦，関美雪．国家試験委員会活動報告．全国保健師教育機関協議会誌 保健師教育．2023；5（1）：55-56．
4. 宇田優子，岡本菜穂子，神崎由紀，錦戸典子，山口智美，鈴木大地，三橋祐子，和田直子．北関東，南関東，甲信越ブロック活動報告．全国保健師教育機関協議会誌 保健師教育．2023；5（1）：63
5. 宇田優子．災害時要配慮者の災害対策 ～他者からは病気が見えにくい難病療養地域生活者と地域福祉～．一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会 危機管理レビュー．2023；14：37-43．
6. 宇田優子．連携と協働で創る新しい難病ケアー災害対策を切り口にー．日本難病看護学会誌．2023；28（3）：3-7．
7. 小山歌子，宇田優子，藤安まゆみ，和田直子，長谷川由美，工藤由紀子，瀧口徹．特別豪雪地帯・山村過疎地域の中老年における在宅看取りの可能性の認識と関連要因の分析．日本プライマリ・ケア連合学会誌．2023；46（3）：96-106．（査読有）
8. 宇田優子．第28回日本難病看護学会学術集会開催報告．難病と在宅ケア．2023；29（9）：1-4．

3 報告書

1. 宇田優子，木下直彦，石塚敏子，桶谷涼子，土田千歳．日本学術振興会科学研究助成事業ー外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発ー．研究実施状況報告書．2023；1-5．（代表）

4 学会等研究発表

1. 宇田優子，石塚敏子，桶谷涼子，土田千歳，木下直彦．患者会活動に関する文献検討．新潟医療福祉学会（新潟），2023.10.28．
2. 宇田優子．連携と協働で創る新しい難病ケアー災害対策を切り口にー．日本難病看護学会学術集会（新潟），2023.9.30．【大会長講演】
3. 宇田優子．難病患児の成人移行医療に関する看護文献検討．日本難病看護学会学術集会（新潟），2023.9.30-10.1．

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本災害看護学会（代議員），日本難病看護学会（理事，編集委員会委員，難病看護師認定実行委員兼任），日本公衆衛生学会（認定専門家），日本地域看護学会，日本公衆衛生看護学会，日本看護科学学会，新潟医療福祉学会，世界災害看護学会（理事）
- 2) 学術集会の主催
 1. 第28回日本難病看護学会大会長（2023.9.30-10.1.開催．企画運営・準備，まとめ）
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 全国保健師教育機関協議会誌 保健師教育査読委員
 2. 第5回日本在宅医療連合学会大会，座長，新潟，2023.6.24．

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本難病看護学会難病看護師認定研修会，「事例検討」，グループファシリテーター・事例の評価，日

- 本難病看護学会，看護師，オンライン開催，2024.1.20.
2. 全国保健師教育機関協議会総会，運営兼議長，全国保健師教育機関協議会，会員校，東京会場とWEB開催，2023.6.10.
 3. 村上保健所管内保健師代表者会議・研修会，R4年8月豪雨災害に対する災害保健活動について，講義・助言，村上保健所，村上市・関川村他の保健師等，村上市，2024.6.19.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 全国パーキンソン病友の会新潟県支部総会，会員等，新潟市・ふれ愛プラザ，2023.5.28.
 2. 日本ALS協会新潟県支部総会，会員棟，新潟市・ユニゾンプラザ，2023.7.30.
 3. 新任期保健師の育成に向けた意見交換会（主催は県庁），討議，メンバー，オンライン開催，2024.1.24，3.8.
 4. 全国パーキンソン病友の会署名活動の協力・支援，本学，2024.1.18.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟市医療計画三分野合同会議委員，新潟県国民保護協議会委員
- 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
全国保健師教育機関協議会の社員（6月まで理事・推薦委員，2024年6月まで国家試験委員会委員），日本私立看護系大学協議会の正会員，日本看護系大学協議会正会員（災害連携教員），新潟県大学災害支援連携協議会メンバー，全国パーキンソン病友の会新潟県支部会員，日本ALS協会新潟県支部会員
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020-2023年度，基盤C，外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象－，研究代表者
 2. 2022-2024年度，基盤C，子育て期の女性の就業意欲低下を防ぐ支援方策の開発－子育てと仕事の両立実現のために，分担者
- 8 学内委員会活動 総務会

氏名：杉本 洋

- 1 研究題目 当事者活動，地域保健，メンタルヘルスの社会学
- 2 著書
 1. 杉本洋，メンタルヘルスと表現の実践・知・展開．新潟：太陽書房；2024.
- 3 論文
 1. 和田直子，佐々木沙織，杉本洋，子育てと仕事の両立支援－新たな支援を考える．地域ケアリング．2023；25(11)：51-53.（査読あり）
 2. 五十嵐紀子，杉本洋，使用者との対話をつくる場－リレー・フォー・ライフにおける語りと絆の継続．仏教看護・ビハーラ．2024；18：54-66.（査読あり）
- 4 学会等研究発表
 1. Sugimoto H，Igarashi N. Self-Formation Through Interactive Lectures by Individuals with Lived Experiences. The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Hong Kong), 2024.3.6-3.7.
 2. Sugimoto H，Kurebayashi Y, Murakami S. Stigma Reduction Efforts That People with Mental Illness Are Involved In: Considerations from the Practices of a Community-Oriented Psychiatric Clinic. The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Hong Kong), 2024.3.6-3.7.
 3. Sugimoto H. The Expansion of Advocacy Activities and Community Health. INC 2023 The 14th International Nursing Conference (Seoul), 2024.11.2-11.3.
 4. Fiqri AM, Sugimoto H. Prevalence and Risk Factors of Diabetes-Related Distress for Diabetes Mellitus in Southeast Asia in the 21st Century: A Literature Review. The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Hong Kong), 2024.3.6-3.7.

5. Kurebayashi Y, Sugimoto H. Self-Compassion, Self-Focus, and Emotional Empathy in Psychiatric Nurses: A Cluster Analysis. The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Hong Kong), 2024.3.6-3.7.
 6. 杉本洋. パフォーマンス活動を行う人々による講演会：当事者活動の実践の理解に向けて. 第31回日本健康教育学会学術大会（東京），2022.7.23.
 7. 唐虹, 杉本洋. 看護師のサポートと2型糖尿病患者のセルフケア能力との関連. 第31回日本健康教育学会学術大会（東京），2022.7.23.
 8. Wada N, Sugimoto H. Work Engagement in Women Balancing Childcare and Work: Differences Based on the Number of Children. INC 2023 The 14th International Nursing Conference (Seoul), 2024.11.2-11.3.
 9. 五十嵐紀子, 杉本洋, 原口彩子. ペット飼育崩壊から学ぶ多機関連携と伴奏型支援. 第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（名古屋），2023.11.26.
 10. Kurebayashi Y, Sugimoto H. Mobile health for promoting physical activity in schizophrenia: a scoping review. ASPA (Asia Pacific Society for Physical Activity) 2023 Conference (Wellington), 2023.11.27-11.28.
 11. Sugimoto H. Insights from Fieldwork Research: Community Mental Health in the Age of Information and Communication Technology Transformation, Halu Oleo International Conference on Public Health (HOICPH) (kendari, online), 2023.11.13. 【Keynote speech】
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本精神保健社会学会（理事），日本保健医療行動科学会，日本仏教看護・ビハラー学会，共創学会，日本文化人類学会，日本保健医療社会学会，日本健康教育学会，文化看護学会，日本ヘルスプロモーション学会，アートミーツケア学会，IUAES，日本臨床死生学会，日本ウーマンズヘルス学会，日本公衆衛生学会，日本健康医学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第8回まるはち人類学研究会，コメンテーター，オンライン，2024.3.3.
 2. 日本仏教看護・ビハラー学会，第19回年次大会実行委員，2022.11.12-2023.6.30.
 3. 日本仏教看護・ビハラー学会，第19回年次大会研究発表，座長，2023.6.11.
 4. 第54回（2023年度）日本看護学会学術集会 抄録選考委員
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. Inbound Visiting Lecture, Fieldwork Research in Community Health Related to Mental Health, Hassanuddin University, Nursing student, 2023.9.13.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. International Office Hasanuddin University Weekly News, September 4-19, 2023- Issue #43, pp.13-15, Conducting international events: Faculty of Nursing holds International Public Lectures and International Symposium.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 北越高校，探求学習取材協力，2023.12.9.
 - 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市介護保険事業等運営委員会（委員）
- 7 学内委員会活動 教務委員会，大学院教育研究環境委員会，大学院教務委員会，シティズンシップ教育実践研究センター

氏名：下山 博子

- 1 研究題目 セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスケアに関する研究，がん経験高齢者のヘルスリテラ

シーに関する研究

2 論文

1. Shimoyama H. Abortion as a Sexual and Reproductive Health/Rights Issue and the Possibility of Expanding Abortion Care Specialties in Japan. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2023; Vol. 23(1): 2-7

3 報告書

1. 下山博子, 塚本康子. 科研費基盤研究 (C), 助産師のワーク・エンゲイジメントを基盤にした妊娠中期中絶ケア教育モデルの開発, 研究成果報告書, 2018-2022, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 中倉実悠, 真保加奈子, 下山博子. 性暴力被害者に関わる看護職が認識する対象者の経験. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2023.10.28.
2. 渡邊日向, 真保加奈子, 下山博子. 妊娠期から授乳期に禁煙した女性の体験. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2023.10.28.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本助産学会, 日本母性衛生学会, 日本母性看護学会, 日本看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本家族看護学会, 日本健康教育学会, 日本小児保健協会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟母性看護学・助産学・遺伝看護学研究会, 第1回研究会, 座長, オンライン, 2023.5.27.
 2. Niigata Society of Health and Welfare, 査読

6 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 豊栄地区公民館, 「チャレンジキッズ教室」キッズオープンキャンパス in 新潟医療福祉大学, 見学対応, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2023.7.28.
 2. 公益社団法人新潟県看護協会, WLB推進事業研修会, 実行委員, 新潟市・新潟看護研修センター, 2023.8.28.
 3. 新潟市立南浜中学校, 思春期健康教育 (性に関する教育), 講師, 新潟市・南浜中学校, 2023.10.5.
 4. 公益社団法人新潟県看護協会, WLB推進事業研修会, 実行委員, 新潟市・新潟看護研修センター, 2023.11.22.
 5. 新潟市立南浜小学校, キャリア教育学習 in 新潟医療福祉大学, 見学対応, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2024.2.14.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
公益社団法人新潟県看護協会 (労働環境改善推進委員)

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 高齢がんサバイバーがより安全に安心して生活するためのリソース・モデルの開発, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校看護学科, 母性看護学, 2023.4.1-9.30.

8 学内委員会活動 安全衛生委員会 (委員長), 入試委員会

氏名: 渡邊 千春

- 1 研究題目 がんサバイバー支援に関する研究, 終末期・エンド・オブ・ライフケアに関する研究
- 2 報告書
 1. 渡邊千春, 石田和子, 研究基盤 (C), 通院治療を継続する高齢独居がんサバイバーが持つ生活調整力の解明, 研究成果報告書, 2018-2022, 研究代表者

3 学会等研究発表

1. 渡邊千春，看護基礎教育における終末期ケアシミュレーションの現状と課題，第3回・4回がん緩和ケアに関する国際研究学会（札幌市），2023.4.27-4.30.
2. 渡邊千春，西原康行，中澤謙，日本における医療電話相談の現状と課題，日本教育工学会2023年春季全国大会（京都市），2023.9.16-9.17.
3. 桶谷涼子，小栗妙子，渡邊千春，シミュレーション演習を取り入れた高度急性期看護学実習における学修効果の検証，第11回日本シミュレーション医療教育学会学術大会（東京），2023.10.21.
4. 清水菜摘，渡邊千春，桶谷涼子，若月亜希子，志田佑佳子，看護学生の乳がん・遺伝性乳がんの知識に関する実態調査，第23回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2023.10.28.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本がん看護学会（編集委員），日本看護研究学会，日本シミュレーション医療教育学会，新潟医療福祉学会，中部M-GTA研究会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本がん看護学会，査読等編集作業，編集委員，2023.4-2025.3（予定）
 2. 日本がん看護学会，第38回日本がん看護学会学術集会編集委員会主催研修会 担当，2024.2.24.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. ELNEC-J 新潟県立がんセンター新潟病院，モジュール1 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護，講師・ファシリテーター，新潟県立がんセンター新潟病院，オンライン，2023.8.26-8.27.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023にいがた，救護班の調整担当，新潟市・新潟県スポーツ公園カナル広場，2023.9.16.

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2022年度，科研費基盤研究（C），外来薬物療法を受けるがん患者のニーズに即した電話相談アルゴリズムの開発，研究代表者
 2. 2023年度，新潟医療福祉大学学内奨励金 スタート支援研究費，特定分野の資格を有す看護師による妊孕性温存療法中のがんサバイバーへの妊孕性支援に関する全国実態調査，研究分担者

7 学内委員会活動 教務委員，身体知教育研究センター

氏名：杉田 洋子

1 研究題目 急性期領域の看護実践に関する研究，高度看護実践者の育成に関する研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本看護管理学会，新潟看護ケア研究学会（企画運営委員），日本クリティカルケア学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟県看護協会，第30回看護学会，教育委員，新潟市，2023.11.30.
 2. 新潟看護ケア研究学会，第14回学術集会，企画運営委員，新潟市，2023.10.7.

3 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 専門性の高い看護職育成事業 研修会，講師，新潟県看護協会，新潟県内病院の看護部長，新潟市，2023.10.19.（1日）
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県看護協会常任委員会，新潟市，2023.6.17.
 2. 新潟県看護協会教育委員会，看護学会の企画・準備，新潟市，新潟県看護研修センター，1回/月の定

例会議

3) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県看護協会・学会委員

4 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部保健学科保健学研究科 看護管理学, 2023.4.15.

氏名：天賀谷 隆

報告事項なし

氏名：馬場 広子

報告事項なし

氏名：山口 典子

- 1 研究題目 ART（生殖補助医療）における諸問題に関する研究, 男女の妊孕性に関する研究, PCC・RLPに関する研究, 女性のライフステージ各期における諸問題に対する予防行動に関する研究

2 著書

1. アンガホッフア司寿子, 山口典子, 助産師基礎教育テキスト2024年版第2巻ウィメンズヘルスケア, 1版, 東京：日本看護協会出版会；136-155.

3 学会等研究発表

1. 金子涼花, 中村康香, 川尻舞衣子, 武石陽子, 吉田美香子, 吉沢豊子, 山口典子, アンガホッフア司寿子, 挙児を希望する女性における生殖に関するセルフケア行動と妊孕性知識及び妊孕性リテラシーとの関係性, 第64会日本母性衛生学会学術集会（大阪市）, 2023.10.13-10.14.
2. 山口典子, 中村康香, アンガホッフア司寿子, 吉沢豊子, 挙児希望のある日本人成人男性における妊孕性知識に関する調査研究, 第68回日本生殖医学会学術講演会（金沢市）, 2023.11.9-11.10.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本生殖医学会, 日本女性医学学会, 日本看護科学学会, 日本母性衛生学会, 日本母性看護学会, 日本助産学会, 日本生殖心理学会, 日本がん・生殖医療学会, 日本不妊カウンセリング学会, 日本生殖看護学会, 日本メンズヘルス医学会, 日本遺伝看護学会, 北日本看護学会, 新潟母性衛生学会, 新潟医療福祉学会（評議員）

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本助産学会誌, 査読委員, 2023.4.1-2024.3.31.
2. 日本母性看護学会誌, 査読委員, 2023.4.1-2024.3.31.
3. 新潟医療福祉学会誌, 査読委員, 2023.4.1-2024.3.31.
4. 第26回日本母性看護学会学術集会, 査読委員, 2024.2.1-3.12.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和5年度看護学生公衆衛生・在宅・母性看護学実習指導者研修会, 実習指導の実践（母性看護学・助産学）, 講師, 新潟県保健福祉部主催, 新潟県内産婦人科勤務の助産師・看護師, Zoomでのオンライン開催, 2023.11.7.
2. 令和5年度女性の健康セミナー, 女性ホルモンから紐解く“わたし”のココロとカラダ～女性特有の心身の不調と働く女性のセルフケア～, 講師, 新潟県警察本部警察庁舎, 2023.12.4.
3. 令和5年度女性の健康セミナー, 女性ホルモンから紐解く“わたし”のココロとカラダ～女性特有の心身の不調と働く女性のセルフケア～, 講師, 長岡免許センター, 2023.12.5.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県助産師会（教育委員）・妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会PART1, 研修会, zoom, 2023.7.1.
2. 新潟県助産師会（教育委員）・母乳育児支援学習会, 研修会, zoom, 2023.10.21.
3. 新潟県助産師会（教育委員）・妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会PART2, 研修会, zoom, 2023.11.25.
4. 新潟県看護協会（助産師職能委員）・支部代表者会議（情報交換会・少子高齢化における職能連携GW）, 研修会, ハイブリット, 2023.6.14.
5. 新潟県看護協会（助産師職能委員）・コロナで変わる妊娠出産育児支援, 職能集会, 新潟県看護協会, 2023.6.14.
6. 新潟県看護協会（助産師職能委員）・周産期のメンタルヘルスと心理社会的支援, 研修会（CLOCMiP申請更新対応研修）, zoom, 2023.10.20.
7. 新潟県看護協会（助産師職能委員）・出産体験の意味づけと母親の心理的健康の側面からの子育て支援, 研修会, ハイブリット, 2023.11.24.
- 3) 職能団体（協会、士会等）の委員
新潟県助産師会（教育委員）2023.4-2024.3, 新潟県看護協会（助産師職能委員）2023.4-2024.3.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究（C）, 男性の妊孕性に関するリテラシーと血中ホルモン測定による妊孕力の実態（研究代表者）
 2. 2023年度, 科研費基盤研究（C）, 意図しない妊娠を避けるためのポジティブ・デビアンスをを用いた教育プログラムの開発（研究分担者）
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
日本家族計画協会認定思春期保健相談士（2024.1.8）, 日本助産師会認定包括的性教育実践助産師（2024.3.10）, 日本スポーツ看護救護学会認定スポーツ救護ナースベーシック（2024.3.27）
 - 3) 学内部活動の実績
 1. ピアエデュケーション部, プレコンセプションケアをテーマとしたピアエデュケーション開催, 敬和学園高等学校のぞみ寮, 2023.9.19.
 - 4) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校看護学科, 母性看護学概論, 2023.4.1-9.30.
- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 学術委員会, 新潟医療福祉学会誌と文誌編集委員会, 新潟医療福祉学会評議員

氏名：和田 直子

- 1 研究題目 子育てと仕事の両立支援に関する研究
- 2 論文
 1. 和田直子, 佐々木沙織, 杉本洋. 子育てと仕事の両立支援－新たな支援を考える－. 地域ケアリング, 2023；25(11)；49-51.（査読あり）
 2. 和田直子, 佐々木沙織, 杉本洋. 子育てと仕事を両立する上で必要となる女性の力－KH Coderを用いたテキストマイニング分析－. 日本健康医学会誌（査読あり）（印刷中）
 3. 小山歌子, 宇田優子, 藤安まゆみ, 和田直子, 長谷川由美, 工藤由紀子, 瀧口徹. 特別豪雪地帯・山村過疎地域の中高年における在宅看取りの可能性の認識と関連要因の分析. 日本プライマリ・ケア連合学会誌, 2023；46(3), 96-106.（査読あり）
 4. 和田直子. 子育て期の女性の就業意欲低下を防ぐ支援方策の開発－子育てと仕事の両立実現のために, 令和4年度研究実施状況報告書. 研究代表
 5. 三木明子, 石塚真美, 猪股久美, 金子仁子, 久保善子, 後藤由紀, 櫻井しのぶ, 廣田幸子, 森田理江, 和

田直子. 日本産業看護学会研究編集委員会活動報告.

3 学会等研究発表

1. 田直子, 小林房代, 荒木恵子, 杉本洋. 未就学児を抱えながら仕事をしている女性の定期健康診断の有
所見に関連する要因. 第96回日本産業衛生学会, 宇都宮, 2023.5.10-5.12.
2. 田直子, 佐々木沙織, 杉本洋. 子育て中の女性労働者に特徴的な生活習慣. 第23回新潟医療福祉学会,
2023.10.29.
3. 長谷川朋香, 佐々木沙織, 田直子. 医療的ケア児を社会がどのように取り上げているかーテキストマイ
ニングを用いた分析ー. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.29.
4. 小林房代, 田直子, 岩野千尋, 佐々木沙織, 辻川史恵, 杉本洋. 在宅看護学実習の学生の学びー
Covid-19感染症拡大前後の実習体験の比較. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.29.
5. Wada N, Sugimoto H. Work Engagement in Women Balancing Childcare and Work: Differences Based
on the Number of Children. INC2023, Korea, 2023.11.3.
6. Wada N, Sugimoto H. The health check-up results of women balancing work and childcare.
INC2023, Korea, 2023.11.3.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本産業看護学会(研究編集委員), 日本産業衛生学会, 日本産業衛生学会産業保健看護部会,
日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本ウーマンズヘルス学会, 日本子育て学会, 日本健康医学会,
新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 株式会社青木産業, 従業員へのメタボ健康講話, 産業保健師, 青木産業従業員, 新潟市北区,
2023.7.19.
2. 株式会社オリジナル設計, 従業員へのメタボ健康講話, 産業保健師, オリジナル設計従業員, 新潟市
中央区, 2023.7.26.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市北区太郎代, 健康相談会, 保健師, 太郎代住民, 太郎代自治会館, 2023.12.20.
2. 新潟市北区島見町長寿会, 健康相談会, 保健師, 島見町住民, 島見自治会館, 2024.1.24.
3. 新潟市北区白勢, 健康相談会, 保健師, 白勢住民, 白勢自治会館, 2024.1.27.

3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟市江南区指定管理者評価会議(評価委員), 新潟市北区妊娠・子育てはっとステーション連携強化研修
会(講師)

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本産業看護学会(研究編集委員), 新潟地域産業保健センター(登録保健師), 日本産業看護学会(産業
看護体系化WGメンバー)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2022年度, 基盤研究(c), 子育て期の女性の就業意欲低下を防ぐ支援方策の開発ー子育てと仕事の両
立実現のために, 研究代表

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

第23回新潟医療福祉学会学術集会(研究奨励賞・2023.10.28)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟地域産業保健センター, 産業保健指導, 2023.4.1-2024.3.31.
2. 北里大学保健衛生専門学院, 非常勤講師, 公衆衛生看護学方法論Ⅸ, 2023.6.30-7.23.

7 学内委員会活動 科研費対策委員, FD・SD推進委員会, 健康管理センター運営委員会

氏名：山田 真衣

- 1 研究題目 てんかんをもつ子どもの保護者の服薬管理尺度の開発，障害をもつ子どもの家族支援
- 2 学会等研究発表
 1. 荒木恵子，山田真衣，看護基礎教育における小児の心肺蘇生法の技術習得に向けた教授方法の文献検討，日本医学看護学教育学会・第34回日本医学看護学教育学会学術学会（和歌山），2023.3.2.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本小児看護学会，日本看護科学学会，日本家族看護学会，日本小児保健協会，日本看護教育学会，新潟医医療福祉学会，日本衛生学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，基盤研究C，てんかん児の服薬アドヒアランス支援ツールの開発，研究代表者
- 5 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会，高等教育推進センター委員会

氏名：石塚 敏子

- 1 研究題目 災害看護，シミュレーショントレーニング，看護学実習，反省的实践，看護技術教育
- 2 報告書
 1. 宇田優子，石塚敏子，木下直彦，外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象日本学術振興会研究成果報告書，2019-2023，研究分担者
- 3 学会等研究発表
 1. 石塚敏子，宇田優子，木下直彦，パーキンソン病者の災害備え自己チェックシート開発のための基礎調査（第2報），第28回日本難病看護学会学術集会（新潟市），2023.9.30-10.1.
 2. 宇田優子，石塚敏子，桶谷涼子，患者会活動に関する文献検討，第23回新潟医療福祉学会（新潟市），2023.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本看護科学学会，日本看護学教育学会，日本看護研究学会，日本看護技術学会，日本災害看護学会，日本看護シミュレーション学会，日本難病看護学会，日本看護学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第28回日本難病看護学会学術集会，実行委員長，新潟市，2023.9.30-10.1・2021.6-2024.3.
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県看護系大学等災害支援連携協議会委員，新潟市，2022.6.22，2024.2.27.
 2. 全国パーキン病友の会新潟県支部集会，バザー運営補助，新潟市，2023.9.2.
 3. 全国パーキン病友の会新潟県支部集会，運営補助，新潟市，2023.1.16.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，科研費基盤（C）看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象，研究分担者
- 7 学内委員会活動 高等教育推進センター委員会

氏名：小林 房代

- 1 研究題目 ミクロネシア連邦ポンペイ州における「減量・肥満予防プログラム」導入に関する研究，ミクロネシア連邦ポンペイ州における包括的学校保健に関する研究
- 2 論文
 1. 和田直子，小林房代，佐々木沙織，杉本洋，子育てと仕事の両立における課題～産業看護職への調査を通して新たに見えてくるもの～，日本ウーマンズヘルス学会誌，2022；21(2)：11-20.

2. Luong Thi Hai Yen, Kinoshita N, Namizuka A, Minagawa R, Takano K, Kobayashi F, Fukai K, Ishigami K, Takiguchi T. Comparison of environment and attitudes toward childbirth and childcare of women living in the lowest- and highest-TFR (total fertility rate) areas in Japan: synergy analyses of quantitative and qualitative data, 2024; 3(2); 45-64. (review)
3. Mizumoto K, Kobayashi F. A Project Report: Introduction of a Weight Control Program for Obesity Prevention in Pohnpei, Federated State of Micronesia, People and Culture in Oceania, 2023, 39; 43-60. (review)
- 3 学会等研究発表
 1. 小林房代, 和田直子, 岩野千尋, 佐々木沙織, 辻川史恵, 杉本洋. 在宅看護学実習の学生の学びー COVID-19感染症拡大前後の実習体験の比較ー, 第23回新潟医療福祉大学学術集会(新潟市), 2023.10.28
 2. 櫻井優希, 小林房代. 男性養護教諭の体験に基づく現状と課題に関する研究. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2023.10.28.
 3. 佐藤優菜, 小林房代. 大学生を対象にした, 睡眠とストレスの実態調査. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2023.10.28.
 4. 竹中里緒, 小林房代. ダイエットを望む学生の食生活の実態調査. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2023.10.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本国際保健医療学会, 日本公衆衛生学会, 太平洋諸島学会, 国際地域看護研究会, 学校保健コンソーシアム, 日本難病看護学会, 日本ウーマンズヘルス学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和5年度北区妊娠・子育てほっとステーション研修会および事例検討会, アドバイザー, 新潟市北区役所健康福祉課, 北区母子保健関係従事者, 豊栄地区公民館, 2023.10.26・11.29.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県青年海外協力協会, JICA海外協力隊OB/OG会でJICAボランティア事業の紹介等, 会計, 新潟市, 4.22・4.23, 5.13, 6.24, 10.8・10.9・10.13, 12.2, 1.12.
 2. Relay for Life2023 にいがた, 新潟県スポーツ公園, 9.16・9.17.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 北里大学保健衛生専門学院保健看護科, 公衆衛生看護学方法論Ⅰ国際保健, 4.27・5.11, セルフマネジメント支援論, 5.20, 看護管理・国際看護, 8.31・9.14, 国際交流論11.16-1.10.
- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会

氏名：中澤 紀代子

- 1 研究題目 母性看護学・助産学に関する研究, 助産師教育に関する研究, シミュレーション教育に関する研究
- 2 報告書
 1. 中澤紀代子, 定方美恵子, 高島葉子, 境原三津夫, 松井由美子, 研究基盤C, 助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発, 研究成果報告書, 2017-2022, 研究代表者
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本母性衛生学会, 日本助産学会, 日本母性看護学会, 日本看護科学学会, 日本シミュレーション医療教育学会, 日本看護シミュレーションラーニング学会(代議員), 日本遺伝看護学会, 新潟医療福祉学会, 新潟母性看護学・助産学・遺伝看護学研究会
 - 2) 学会等でのその他の活動

1. 日本看護シミュレーションラーニング学会 代議員
2. 新潟母性看護学・助産学・遺伝看護学研究会 役員
- 4 社会活動
 - 1) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県看護協会看護学会発表予定論文の指導
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2017年度、科学研究費助成金事業 基盤C, 助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 図書館・学習支援委員, ハラスメント相談員

氏名：外間 直樹

- 1 研究題目 精神障害者のピアサポート活動に関する研究, 障害児を受け入れる園長の認識
- 2 論文
 1. 外間直樹, 精神科病棟において入院患者の自殺に遭遇した看護士に対する看護師長の支援の現状, 日本健康医学会雑誌, 2023; 32(1): 80-88. (査読あり)
 2. 外間直樹, 天賀谷隆, ピアサポートに関する文献研究－マトリックス分析による検討－, 日本健康医学会雑誌, 2024; 32(4): 437-442. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 外間直樹, 早川貴紀, 天賀谷隆, マトリックス分析による難病医療のストレスに関する文献検討, 日本難病学会 (新潟医療福祉大学), 第28回日本難病看護学会学術集会, 2023.10.
 2. 外間直樹, 看護学部2年生に対するゲートキーパーについての授業後のリフレクションシートより ～地域にあるなじみの関係性を積極的に活かした自殺対策～, 第16回 日本保健医療福祉連携教育学会, 2023.10.
 3. 外間直樹, 精神科病棟における医療事故発生後の視聴のチームに対するかかわり, 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 2023.10.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本健康医学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 日本精神衛生学会, 新潟医療福祉学会, 日本精神保健看護学会, 日本看護協会, 日本精神看護協会, 沖縄県精神看護研究会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和5年度群馬県精神障害者地域移行・地域定着支援関係者研修会, 研修講師, 群馬県主催, 高崎市, 2024.3.
 2. 宮城県中新田高校および宮城県利府高校出前講座, 2023.6-7.
 3. 新潟県万代高校および新潟北高校出前講座, 2023.9-10.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 本学社会連携・地域貢献オンラインセミナー「こころの健康について」, 2023.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校, 精神看護学方法論Ⅰ, 2023.5-7.
 2. 国際メディカル専門学校, 精神看護学概論, 2023.9-2024.2.
- 7 学内委員会活動 個人情報保護委員会 (委員), 人権委員会 (委員), メンタルヘルス委員

氏名：佐藤 真由美

- 1 研究題目 保育施設における保育者の感染防止スキル支援の検討, 乳幼児を持つ家族の感染予防の認知と実

施状況、インドネシアの子どもの感染予防教育プログラム開発

2 論文

1. Suhadi, Sato M, Takui S, Fithria, Jafriati, Yusuf Sabilu. Health Education in Improving Clean and Healthy Living Behavior (PHBS) in Elementary School Age Children at SD Negeri 02 Bokori. VEOMPUH Journal : Vol. 1 No. 1 (Januari, 2024) : 61-65. in press review

3 学会等研究発表

1. Sato M, Ruka Saito Syahrul. ANXIETY OF PARENTS WITH INFANTS AND TODDLERS IN A COVID-19 INFECTION EPIDEMIC, International Nursing and Health Science Student and Health Care Professionals Conference, 29-30 of August 2023
2. Sato M, Ruka Saito Syahrul. PERFORMANCE AND PERCEPTION OF INFECTION CONTROL MEASURES AMONG INFANT'S PARENT IN JAPAN. International Nursing and Health Science Student and Health Care Professionals Conference, 29-30 of August 2023

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本環境感染学会, 看護教育研究学会, 日本看護研究学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療連携教育学会, 新潟小児看護研究会 (役員)
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟小児看護研究会, 小児看護におけるこれからの人材育成, 会計担当, 新潟市, 2023.9.30, 2023.4-9.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. とよさか中高年大学「健康長寿学」, 血液と血管について, 講師, 新潟県立生涯学習推進センター, 新潟市北区住人, 新潟市, 2023.7.28.
 2. インターナショナルこども園, 夏のウイルス感染予防について, 講師, 保育教員, インターナショナルこども園内, 2023.7.28.
 3. ハサヌディン大学の教育講義, Prevention you can do to protect children's lives from infectious diarrhea, 講師, ハサヌディン大学教員・学生, インドネシアハサヌディン大学, 2023.9.7.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. ハルオレオ大学の教育講義, Prevention you can do to protect children's lives from infectious diarrhea, 講師, ハルオレオ大学教員・学生, インドネシアハルオレオ大学, 2023.9.9.
 2. ほのぼのこども園, 子どもの感染予防について, 講師, 新潟市北区, 2023.11.14-11.16.

6 学内委員会活動 国際交流委員会, 就職委員会

氏名: 丸山 幸恵

- 1 研究題目 保健室における健康支援活動, ストレス軽減への支援, 養護教諭が行う危機管理に関する研究

2 論文

1. 丸山幸恵. 保幼小教育の円滑な接続と養護教諭を目指す学生の学びに関する取り組みー保育園への保健指導ボランティア活動を通してー. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2023年; 第7号: 8-11

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本学校保健学会, 日本養護教諭教育学会, 日本教育保健学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本養護教諭教育学会, 第31回学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.12.9・12.10・活動期間1年
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本養護教諭教育学会, 第31回学術集会, セミナー座長, 新潟市, 2023.12.10.

4 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. 新採用養護教諭研修,「養護教諭の職務Ⅱ 保健管理」,講師,新潟県教育委員会,新採用養護教諭,新潟市新潟県立教育センター,2023.6.8.
2. 新潟県養護教員研究協議会上越支部研修会,「養護教諭研修」,講師,新潟県養護教員研究協議会,上越支部養護教諭,上越市,2024.2.15.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 養護教諭の輪「ほけんしつ」,養護教諭研修,指導・助言 参加協力,上越市,2023.4.1-2024.3.31.
- 5 学内委員会活動 入試委員会,教職支援センター運営委員会

氏名：井澤 玲奈

- 1 研究題目 高齢者看護学に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本老年看護学会,日本看護科学学会,東京女子医科大学看護学会,新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県看護協会看護学会 発表予定論文 査読,公益社団法人新潟県看護協会,看護師,新潟市,2023.7.1-7.31.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. とよさか中高年教養大学,「健康長寿学」講座,葛塚コミュニティーセンター,2023.4.27,7.27,2024.3.7.
- 4 学内委員会活動 広報委員会,社会連携推進センター運営委員会

氏名：栗原 弥生

- 1 研究題目 新潟医療福祉大学看護学部学生の卒業後の動向調査
- 2 著書
 1. 栗原弥生,井上智子/窪田哲朗編. 緊急度・重症度からみた症状別看護過程+病態関連図. 第4版. 東京. 医学書院:2023.11:第1章. 1発熱 P7-P29
 2. 栗原弥生,中島恵美子 山崎智子編. nursing graphicus 成人看護④ 周術期看護 第4版. 大阪. メディカ出版. 2024.1:第4章 術前の看護 72-85 第13章 脳神経系に障害のある人の手術 264-275
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本難病学会,新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本難病看護学会,第28回学術集会,学会運営委員,新潟市,2023.9.30-10.1開催,2023.9.10-2024.1.30.
- 4 学内委員会活動 学生委員会・交通安全委員会

氏名：阿部 文絵

- 1 研究題目 西アフリカにおける母子保健活動について,在留外国人の受療行動

氏名：荒木 恵子

- 1 研究題目 小児看護に関する研究,小児シミュレーション教育に関する研究,臨地実習に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 荒木恵子,山田真衣. 看護基礎教育における小児の心肺蘇生法の技術習得に向けた教授法の文献検討. 日本医学看護学教育学会・第34回日本医学看護学教育学会学術学会(和歌山・日本),2023.3.2.
 2. 和田直子,小林房代,荒木恵子,杉本洋. 未就学児を抱えながら仕事をしている女性の定期健康診断の有見に関連する要因. 日本産業衛生学会・第96回日本産業衛生学会(栃木県・日本),2023.5.10-5.12.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 看護科学学会, 日本小児看護学会, 日本医学看護学教育学会, 新潟小児看護研究会

4 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力

1. 地区活動プロジェクトモデル事業・日本私立系大学協会・新潟県内の私立看護系4大学が連携して, 相互の大学で看護について学び合うツアー, 学生引率, 新潟市・新潟青陵大学・新潟医療福祉大学, 2024.2.22.

5 学内委員会活動 同窓会サポーター

氏名: 桶谷 涼子

- 1 研究題目 がん患者の妊孕性温存, 妊娠・子育て支援, 救急看護・クリティカルケア看護領域の看護基礎教育

2 論文

1. 桶谷涼子, 角山裕美子, 藤田勇, 板山稔. 新潟県内の特別養護老人ホームに勤務する介護・看護職のCOVID-19に関連した職務体験とストレスとの関連. 日本災害看護学会誌. 2023; 24 (3): 36-47. (review)
2. 小栗妙子, 桶谷涼子. 専門職連携教育の一環としての連携総合ゼミの工夫「幼い子どもをもつ終末期がん患者」の症例を用いて. 看護教育. 2024; 65 (1): 60-65.

3 学会等研究発表

1. 桶谷涼子, 小栗妙子, 渡邊千春. シミュレーション演習を取り入れた高度急性期看護学実習における学修効果の検証. 第11回日本シミュレーション医療教育学会(東京), 2023.10.21.
2. 桶谷涼子, 花矢鮎美, 小栗妙子, 井村紀代子. 認知症サポーター養成講座の受講が看護系大学生へ与えた変化－第1報－. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2023.10.28.
3. 井村紀代子, 小栗妙子, 桶谷涼子, 花矢鮎美. 認知症サポーター養成講座の受講が看護系大学生へ与えた変化－第2報－. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2023.10.28.
4. 佐藤未来, 小栗妙子, 桶谷涼子. 連携総合ゼミを通じた看護学生の学び－初めての多職種連携を体験して－. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2023.10.28.
5. 宇田優子, 石塚敏子, 桶谷涼子, 土田千歳. 患者会活動に関する文献検討. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2023.10.28.
6. 清水菜摘, 渡邊千春, 桶谷涼子, 若月亜希子, 志田佑佳子. 看護学生の乳がん・遺伝性乳がんの知識に関する実態調査. 第23回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2023.10.28.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本がん看護学科(会員), 日本災害看護学会(会員), 日本難病看護学会(会員), 日本看護科学学会(会員), 日本保健医療福祉連携学会(会員), 医療福祉学会(会員), 日本シミュレーション医療教育学会(会員)

- 2) 学術集会の主催

1. 日本難病看護学会, 第28回学術集会, 学内実行委員・学会企画委員, 新潟市(新潟医療福祉大学), 開催日: 2023.9.30, 10.1, 実行委員業務: 2022.6.1-2024.3.31.

5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年, 基盤研究(C), 外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象－, 研究分担者

氏名：小栗 妙子

1 研究題目 シミュレーション教育，看護基礎教育と卒後教育の繋がり，多職種連携教育

2 論文

1. 小栗妙子，桶谷涼子．専門職連携教育の一環としての連携総合ゼミの工夫～「幼い子どもをもつ終末期がん患者」の症例を用いて～，看護教育．2024；vol.65(1)，60-65.

3 学会等研究発表

1. 草間賢介，寺田由紀子，小栗妙子（他5名）．看護基礎教育と卒後教育の繋がりを考える旧厚生労働省看護研究研修センター修了生による交流集会の開催報告．第33回日本看護学教育学会（福岡市），2023.8.27.
2. 桶谷涼子，小栗妙子，渡邊千春．シミュレーション演習を取り入れた高度急性期看護学実習における学修効果の検証．第11回日本シミュレーション医療教育学会（東京都），2023.10.21.
3. 花矢鮎美，桶谷涼子，小栗妙子，井村紀代子．認知症サポーター養成講座の受講が看護系大学生へ与えた変化－第1報－．第23回新潟医療福祉学会（新潟市），2023.10.28.
4. 井村紀代子，小栗妙子，花矢鮎美，桶谷涼子．認知症サポーター養成講座の受講が看護系大学生へ与えた変化－第2報－．第23回新潟医療福祉学会（新潟市），2023.10.28.
5. 佐藤未来，小栗妙子，桶谷涼子．連携総合ゼミを通じた看護学生の学び－初めての多職種連携を体験して－．第23回新潟医療福祉学会（新潟市），2023.10.28.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本看護科学学会，日本看護学教育学会，日本医学看護教育学会，日本医療シミュレーション教育学会，日本教育工学会，日本難病看護学会，看護教育研究学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023にいがた，サバイバー支援啓発，救護，新潟市・新潟県スポーツ公園，2023.9.16.
2. 新潟市社会福祉協議会，災害支援，土嚢処理，新潟市，2023.1.6.
3. 帝京けんこうひろばプロジェクト・親のがんを知らされた子どもの心に寄り添うコアラカフェ，サポーター，東京都・帝京大学板橋キャンパス，2024.2.18.
4. 帝京けんこうひろばプロジェクト・親のがんを知らされた子どもの心に寄り添うコアラカフェ，サポーター，オンライン，2024.3.17.

6 学内委員会活動 身体教育研究センター（研究員）

氏名：岩野 千尋

1 研究題目 在宅移行支援における訪問看護師のコンピテンシー

2 論文

1. 岩野千尋，宇田優子．新潟県内の訪問看護事業所における豪雪災害への備えの実態と課題に対する検討．日本在宅看護学会誌．2023；12（1）：21-29．（査読あり）

3 学会活動

1) 所属学会 日本看護科学学会，日本在宅看護学会，日本難病看護学会，新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本難病看護学会，第28回日本難病看護学会学術集会，企画委員，2023.9.30-10.1・2023.7.13-2024.3.31.

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 日本ALS協会新潟県支部，ALS総会，学生ボランティア引率，新潟ユニゾンプラザ，2023.7.30.
2. パーキンソン病友の会，パーキンソン病の「遺伝子治療」の実用化を促進するための国会請願書署名

活動，学生ボランティア支援，新潟医療福祉大学，2023.1.18.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度，研究活動スタート支援，在宅移行支援における訪問看護師のコンピテンシーの解明，研究代表者岩野千尋
2. 2022年度，基盤研究（C），高齢がんサバイバーがより安全に安心して生活するためのリソースモデルの開発，研究代表者塚本康子・研究分担者岩野千尋

氏名：佐藤 郁美

1 研究題目 周産期メンタルヘルス，父親のうつ，乳児応急手当，AIを用いた胎児心拍推定

2 論文

1. Yoshida A, Kai C, Futamura H, Oochi K, Kondo S, Sato I, Kasai S. (2024) Spirometry test values can be estimated from a single chest radiograph. *Front. Med.* 11:1335958. doi: 10.3389/fmed.2024.1335958

3 報告書

1. 佐藤郁美，神藏貴久，谷健太郎. 研究基盤（C）出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証，研究成果報告書，2022-2023，研究代表者

4 学会等研究発表

1. 廣野悠太，佐藤郁美，笠井聡. 半教師有学習による超音波ドプラ信号内のノイズ除去および生体信号抽出の可能性検討. 第62回日本生体医工学会学術集会，2023.5.18-5.20.
2. 清野夏汀，廣野悠太，佐藤郁美，笠井聡. 母体脈拍と胎児心拍の判別AI開発—スペクトログラム画像を用いた予備検討—. 医用画像情報学会 令和5年度年次（第197回）大会，2023.10.7.
3. 廣野悠太，佐藤郁美，笠井聡. 胎児心拍推定における半教師あり学習の有効性検討. 第23回新潟医療福祉学会学術集会，2023.10.28.
4. 佐藤郁美，廣野悠太，甲斐千遥，笠井聡. AIを用いた胎児一過性徐脈の予測可能性検討. 第43回日本看護科学学会学術集会，2023.12.9-12.10.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本助産学会，日本周産期メンタルヘルス学会，日本母性衛生学会，日本看護科学学会，新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本認知症予防学会，第12回日本認知症予防学会学術集会，運営スタッフ，新潟市，2023.9.15-9.17.（活動期間9.16-9.17）

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 「令和3年厚生労働省告示第273号研修」，講師，公益社団法人日本診療放射線技師会，診療放射線技師，新潟医療福祉大学，2023.7.22.
2. 「令和3年厚生労働省告示第273号研修」，講師，公益社団法人日本診療放射線技師会，診療放射線技師，新潟医療福祉大学，2023.7.23.
3. 「NMOシミュレーション研修」（NSGグループ病院新人看護師研修会），運営サポート，2023.9.1

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. NST新潟総合テレビ，「八千代コースター」内コーナー「りゅうこーすたー」，2023.7.15（土）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，基盤研究C，出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証，研究代表者

2. 2022年度, 基盤研究C, Apple Watch用胸骨圧迫フィードバックアプリの開発とその効果の検証, 研究分担者
3. 2023年度, 基盤研究B, 乳児に行う新たな胸骨圧迫－その効果と実践性の解明－, 研究分担者
4. 2024年度, 基盤研究C, 胎児低酸素血症のサイン「遅発一過性徐脈」先行予測AIの開発
- 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校, 母性看護学概論, 2023.6.20, 6.27, 7.4, 7.11.
- 8 学内委員会活動 広報委員会 (委員), URA推進室 (委員), 高大医連携プロジェクトチーム (メンバー)

氏名：土田 千歳

- 1 研究題目 ドミニカ共和国の母子保健とリプロダクティブヘルスについての研究
- 2 学会等研究発表
 1. 宇田優子, 石塚敏子, 桶谷涼子, 土田千歳, 木下直彦. 患者会活動に関する文献検討. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2023.10.28.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本国際保健医療学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本難病看護学会, 第28回学術集会, 学術集会実行委員, 新潟市, 2023.9.3-10.1.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本難病看護学会, 第28回学術集会, 学術集会実行委員, 会計担当, 新潟市, 2023.4-2024.2.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 出張講義, 看護ガイダンス, ようこそ看護の世界へ, 講演者, 高校生, 新潟市, 2023.11.7.
 2. JICA草の根事業 ハイゾオン市民に対する地域連携訪問サービスのモデルづくり プロジェクト報告会, 最新の現地視察の報告, 報告者, 一般市民, 新潟市, 2023.12.2.
 3. 協力隊ナビ, JICA海外協力隊活動報告, 報告者, 公益社団法人青年海外協力協会 (JOCA) 新潟県青年海外協力協会, 一般市民, 新潟市, 2023.12.2.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟スポーツ医科学コンソーシアム教育委員会, 新潟スポーツ救護ナース認定制度 企画運営委員会 (委員)
 - 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
 1. スポーツ庁委託事業 新潟スポーツ医科学コンソーシアム教育委員会 (委員)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象－, 研究分担者
 2. 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 意図しない妊娠を避けるためのポジティブ・デビアンズを用いた教育プログラムの開発, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 日本スポーツ救護看護学会 スポーツ救護ナース (ベーシック) (2024.3.27)

氏名：後藤 千恵

- 1 研究題目 妊娠糖尿病に関する研究, 周産期における意思決定支援に関する研究
- 2 論文
 1. 後藤千恵, 柳生田紀子, 有森直子. 妊娠糖尿病を再発しなかった女性の日常生活の実態. 日本助産学会誌, 2024; 38(1): 126-134 (査読あり) 早期公開日: 2023.12.28. 2023.8.26.受理

3 学会等研究発表

1. 後藤千恵, 柳生田紀子, 有森直子. 妊娠糖尿病を再発しなかった女性の思いと日常生活の様相. 日本糖尿病妊娠学会(新潟市), 2023.11.17-11.18.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本母性衛生学会, 日本糖尿病・妊娠学会, 日本母性看護学会, 新潟母性看護学・助産学・遺伝看護学研究会(役員) 聖路加看護学会

2) 学術集会の主催

1. 新潟母性看護学・助産学・遺伝看護学研究会, 第1回研究会, 役員, 新潟市(オンライン開催), 2023.5.27.

3) 学会等でのその他の活動

1. 新潟母性看護学・助産学・遺伝看護学研究会, 第1回研究会開催企画準備・評価, 役員, 新潟市(オンライン開催), 2022.4.1-2023.7.30.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 各分野での出張講座, 講師, 本学主催, 本学に興味を持っている新発田中央高校2年生30名+1年生希望者, 新発田中央高校, 2024.2.27.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本私学看護系大学協会, 地区活動プロジェクトモデル事業4大学で体験 看護の魅力探求ツアー, 学生引率, 新潟市・長岡市, 新潟薬科大学・長岡崇徳大学・地域包括関連施設, 2024.2.22.

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校 母性看護学概論 2023.4.1-9.30.

氏名: 早川 貴紀

- 1 研究題目 精神保健におけるピアサポート活動に関する研究, 児童思春期精神科看護に関する研究, アディクションに関する研究

2 学会等研究発表

1. 早川貴紀, 外間直樹, 天賀谷隆. 共起ネットワークを用いた神経難病看護に関する文献研究. 第28回日本難病看護学会学術集会, 2023.9.30-10.1.
2. 金親友也, 深谷悦子, 今村誠, 早川貴紀. 日本国内におけるハームリダクションの文献研究—動向と臨床的意義について—. 第30回日本精神科看護専門学術集会, 2023.11.22-11.23.
3. 早川貴紀, 田辺大介, 古達愛美. 精神科病棟における児童思春期患者の暴力に対する看護師の対応の現状と課題—国内の文献検討から—. 日本こころの安全とケア学会第6回学術集会, 2023.12.16-12.17.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本精神保健看護学会, 日本アディクション看護学会, 日本こころの安全とケア学会, 日本健康医学会, ヒューマンケア研究学会, 日本難病看護学会

2) 学術集会の主催

1. 日本難病看護学会, 第28回日本難病看護学会学術集会, 実行委員, 新潟市, 2023.8.8-10.1.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和5年度新潟県介護施設看護職員等研修, 施設における虐待・身体拘束の防止について, 講師, 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長, 看護職員, 新潟県(Zoom), 2024.3.18.

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校, 精神看護学概論, 2023.1.18, 1.25.

氏名：佐々木 沙織

- 1 研究題目 定年前後にある行政保健師の定年後活動とその背景
- 2 論文
 1. 和田直子, 佐々木沙織, 杉本洋. 子育てと仕事の両立支援－新たな支援を考える－, 地域ケアリング, 25 (11), 49-51.
 2. 和田直子, 佐々木沙織, 杉本洋; 子育てと仕事を両立する上で必要となる女性の力－KH Coderを用いたテキストマイニング分析－. 日本健康医学会誌 (2023.3月アクセプト, 印刷中).
- 3 学会等研究発表
 1. 和田直子, 佐々木沙織, 杉本洋. 子育て中の女性労働者に特徴的な生活習慣. 第23回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2023.10.23.
 2. 小林房代, 和田直子, 岩野千尋, 佐々木沙織, 辻川史恵, 杉本洋. 在宅看護学実習の学生の学び－Covid-19感染症拡大前後の実習体験の比較, 第23回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2023.10.23.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本公衆衛生看護学会 (正会員), 日本健康医学会, 日本ウーマンズヘルス学会
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市北区太郎代福寿会, 健康相談, 太郎代自治会館, 2023.12.20.
 2. 新潟市北区島見町長寿会, 健康相談, 白勢自治会館, 2024.2.24.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2024, 古泉財団研究費, 子育てと仕事を両立している女性の食生活と健康状態の関連分析, 和田直子, 杉本洋, 佐々木沙織, 辻川史恵.

氏名：志田 佑佳子

- 1 研究題目 ウィメンズヘルスに関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 清水菜摘, 渡邊千春, 桶谷涼子, 若月亜希子, 志田佑佳子. 看護学生の乳がん・遺伝性乳がんの知識に関する実態調査. 新潟医療福祉学会・第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2023.10.28.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本ウーマンズヘルス学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本難病看護学会, 第28回日本難病看護学会学術集会, 企画委員, 新潟市, 2023.9.1-2024.3.31.
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本対がん協会, リレー・フォー・ライフ・ジャパン, 救護班, 新潟市・新潟県スポーツ公園, 2023.9.16.

氏名：真保 加奈子

- 1 研究題目 Current Sexual and Reproductive Health Status and Educational Needs among the Preconception Generation in Indonesia
- 2 学会等研究発表
 1. 真保加奈子, 関島香代子: 20代女性における月経セルフマネジメント. 日本母性衛生学会発表 (大阪). 2023.
 2. 中倉実悠, 真保加奈子, 下山博子: 性暴力被害者に関わる看護職が認識する対象者の経験. 新潟医療福祉学会発表. 2023

3. 渡邊日向, 真保加奈子, 下山博子: 妊娠期から授乳期に禁煙した女性の体験. 新潟医療福祉学会発表. 2023.
4. Shimbo K, Sekijima K: Menstrual self-management among Japanese women in their 20s who wish to have a future pregnancy. 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (Hong Kong). 2024.3.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本母性衛生学会, 日本助産学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本難病看護学会 第28回学術集会, 実行委員, 新潟, 2023.2-10.
 2. 第1回新潟母性看護学・助産学・遺伝学研究会, 役員, 新潟オンライン開催, 2023.5.27.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟母性看護学・助産学・遺伝学研究会, 役員 2023.3-継続
 2. NSGグループ4病院の「NMO新人看護師研修」, Web担当, 本学シミュレーションセンター, 2023.9.1.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 思春期性教育「自分の身体や他者も大切にできる力を身につけよう～いつか命をつないでいけるように～」, 講師(下山博子先生と共に), 中学3年生30名, 新潟市立松浜中学校, 2023.10.5.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

保健学修士(2023.3)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校, 母性看護学概論, 2023.4.1-9.30.

氏名: 花矢 鮎美

- 1 研究題目 認知症祖父母をもつ思春期・青年期の孫の体験
- 2 学会等研究発表
 1. 桶谷涼子, 花矢鮎美, 小栗妙子, 井村紀代子. 認知症サポーター養成講座の受講が看護系大学生へ与えた変化―第1報―新潟医療福祉学会. 2023.10.28.
 2. 井村紀代子, 小栗妙子, 桶谷涼子, 花矢鮎美. 認知症サポーター養成講座の受講が看護系大学生へ与えた変化―第2報―新潟医療福祉学会. 2023.10.28.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本老年看護学会 日本臨床死生学会, 日本難病看護学会, 日本認知症ケア学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第28回日本難病看護学会学術集会 企画委員(新潟医療福祉大学開催) 2023.9.30, 10.1.
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. リレーフォーライフ新潟参加 救護班として参加 新潟県スポーツ公園 2023.9.16.

氏名: 井村 紀代子

- 1 研究題目 精神科看護職の倫理的行動, 精神科デイケアの就労支援, 実習受け入れに関する研究
- 2 論文
 1. 井村紀代子, 天賀谷隆. 精神科看護職の倫理的行動と個人要因の関連. 日本医療経営学会誌. 2023; 17(1): 5-13. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 井村紀代子, 小栗妙子, 花矢鮎美, 桶谷涼子. 認知症サポーター養成講座の受講が看護系大学生へ与えた

変化－第2報－，第23回新潟医療福祉学会学術集会，10.28.

2. 桶谷涼子，小栗妙子，花矢鮎美，井村紀代子，認知症サポーター養成講座の受講が看護系大学生へ与えた変化－第1報－，第23回新潟医療福祉学会学術集会，10.28.

4 学会活動

1) 学術集会の主催

1. 第28回日本難病看護学術集会，企画委員，新潟市，2023.9.30-10.1，2日間開催・活動期間2023.7.13-2024.3.31.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. NMO新人看護師研修，研修サポートおよび事前準備，共催，NSGグループ4病院新人看護師15名，各病院教育担当看護師8名，新潟市民病院医師3名，愛広会事務局3名，法人広報1名，新潟医療福祉大学，9.1.

2) 社会活動への参加協力

1. 全国パーキンソン病友の会大運動会新潟県支部，進行補助（ボランティア），新潟市・新潟ふれ愛プラザ，2024.3.24.

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校，精神看護学概論，2023.12.21. 2コマ，2024.1.11. 2コマ

氏名：辻川 史恵

- 1 研究題目 地域包括支援センターの看護職が行う介護予防の推進に関する活動の認識－職種と運営形態に着目して－，在宅看護学実習の学生の学び－COVID-19感染症拡大前後の実習体験の比較－

2 学会等研究発表

1. 辻川史恵，井上智代，成田太一．地域包括支援センターの看護職が行う介護予防の推進に関する活動の実態調査（第1報）．第12回日本公衆衛生看護学会学術集会（北九州市・日本），2024.1.6，1.7.
2. 小林房代，和田直子，岩野千尋，佐々木沙織，辻川史恵，杉本洋．在宅看護学実習の学生の学び－COVID-19感染症拡大前後の実習体験の比較－第23回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市・日本），2023.10.28.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本公衆衛生看護学会，日本難病看護学会

2) 学術集会の主催

1. 日本難病看護学会，第28回日本難病看護学会学術集会，第28回日本難病看護学会学術集会企画委員，新潟市，2023.9.30，10.1・2023.7.13-2024.3.31.

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 白勢自治会，健康教育，講師，新潟市北区白勢・白勢自治会館，2024.2.27.

5 その他の教育研究活動

1) 受賞，学位取得，資格取得

保健学修士 新潟大学（2024.3.31）

氏名：サバンジュ 美智子

- 1 研究題目 がん患者のQOL向上支援のための研究，社会的孤立・孤独に関する研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本緩和医療学会，日本がんサポーターブケア学会，日本在宅医療連合学会

2) 学術集会の主催

1. 日本難病看護学会，第28回日本難病看護学会学術集会，学術集会企画委員，新潟市，2023.9.30-10.1.

氏名：山田 綾子

- 1 研究題目 腎不全看護，看護教育学

氏名：田村 優喜

- 1 研究題目 緩和ケア，看護倫理

6) 社会福祉学部

(1) 社会福祉学科

氏名：佐藤 洋

- 1 研究題目 市町村保健師が行う子ども虐待支援に関する研究, 子どもの貧困に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本子ども虐待防止学会, 中部M-GTA研究会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 長岡市民生委員児童委員協議会和島地区研修会, 要支援者を見逃さない取組み, 2023.9.22.
 2. 社会福祉士国家試験対策講座, 障害者福祉科目担当, 講師, 新潟県社会福祉士会, 2023.7.22.
 3. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会, 司会等, 各区役所等, 2023.4.1-2024.3.31.
 - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟県子どもの貧困対策推進計画検討委員会(委員), 新潟市いきいき西区ささえあいプラン推進委員会(委員長), 上越市いじめ問題再調査委員会(委員), 新潟県コロニーにいがた白岩の里第三者委員会(委員), 柏崎市民生委員推薦委員会(委員)

氏名：寺田 貴美代

- 1 研究題目 外国人DV被害者とその子どもへの支援における国際連携プラットフォームの構築
- 2 著書
 1. 寺田貴美代; 高野和良編, 亀山俊朗編, 寺田貴美代編ほか, 福祉社会学文献ガイド, 初版, 東京:学文社; 2023: pp.135-143.
- 3 論文
 1. 寺田貴美代, いっしょに考える難民の支援, 社会福祉学(日本社会福祉学会), 2024年; 65(1):印刷中(掲載決定)
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 福祉社会学会(理事), 福祉社会学会(副事務局長), 福祉社会学会(財務委員), 福祉社会学会(20周年記念事業委員), 本社会福祉学会(査読委員), 日本社会福祉学会(関東部会 運営委員), 日本社会福祉学会((関東部会 編集委員長)日本学術会議協力学術団体の学会誌の編集委員長です.), 日本社会学会(会員), 日本地域福祉学会(会員)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 福祉社会学会, 福祉社会学会第21回大会, 学術大会運営, 京都, 2023.7.1-7.2.※福祉社会学会の大会には, 実行委員という名称の委員はなく, この役割が大会の実行委員に相当します.
 2. 日本社会福祉学会関東部会, 2023年度研究大会, 学術大会運営, オンライン, 2023.3.17.※日本社会福祉学会の大会には, 実行委員という名称の委員はなく, この役割が大会の実行委員に相当します.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 福祉社会学会, 20周年記念シンポジウム, 実施運営, 京都市, 2023.7.3.
 2. 日本社会福祉学会関東部会, 関東地域ブロックシンポジウム, 実施運営, オンライン, 2024.3.17.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 基盤C, 外国人DV被害者とその子どもへの支援における国際連携プラットフォームの構築, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 自己点検・評価委員会, FD・SD推進委員会, 大学院教育研究環境推進委員会

氏名：河野 聖夫

- 1 研究題目 対人援助スーパービジョンと人材育成, スーパービジョン実践者(指導者)の育成・訓練プログ

ラム, 医療ソーシャルワーカーのキャリア形成教育, 医療ソーシャルワーカー育成に関する教育課程における演習科目プログラムの標準化

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本医療社会事業学会 (日本医療ソーシャルワーカー協会), 大正大学社会福祉学会, 山梨社会福祉実践学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. GSV未来 (スーパービジョンの会), 定例学習会, 講師, 未来 (自主グループ), 介護支援専門員・社会福祉士ほか, 上田市, 2023.4.16, 6.25, 8.20, 10.22, 12.17, 2024.2.18.
2. 指導力UP学習会, 人材育成の理論と方法, 講義, 講師, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会会員役員有志, 医療ソーシャルワーカー, 新潟市, 2023.4.19, 5.17, 6.21, 8.16, 10.18, 11.30, 12.27, 2024.2.21.
3. 下越MSW学習会, 対人援助技術とスーパービジョン, 講師, 新潟県厚生連下越地区MSW部会, 医療ソーシャルワーカー (職員), 新潟市 (オンライン), 2023.4.21, 7.7, 9.8, 11.10, 2024.2.16.
4. 対人援助技術勉強会, スーパービジョン・スーパーバイザー養成研修, 講師, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 協会員受講修了者, 新潟市, 2023.5.14, 7.9, 8, 11.12, 2024.1.21, 3.10.
5. グループスーパービジョン学習会, スーパービジョンと臨床像, 講師, いいらの会, 介護支援専門員, 静岡 (オンライン), 2023.6.11, 8.27, 10.1.
6. 社会福祉士受験対策講座, 相談援助の基盤と専門職, 講義, 講師, 新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業, 社会福祉士国家試験受験予定者等, 新潟市, 2023.7.22.
7. 「えひめKUMAの会」定例会, OGSV実践・臨床像を描く, 事例検討, 講師, えひめKUMAの会, 介護支援専門員・社会福祉士等 (会員), 久万高原町, 2023.8.11-8.12.
8. 対人援助技術勉強会 (虎穴GSV), スーパービジョン・スーパーバイザースキルアップ研修, 講師, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 協会員受講修了者, 新潟市, 2023.8.22.
9. 介護支援専門員研修会, スーパービジョン研修, 講義・事例演習, 講師, 須坂市地域包括支援センター地域支援係・小布施町地域包括支援センター共催, 地域包括支援センター職員, 介護支援専門員, 小布施町, 2023.9.11.
10. (株)はあとふるあたご職場研修, スーパービジョン・事例演習, スーパーバイザー, はあとふるあたご人事部, 新潟市 (オンライン), 2023.9.12, 12.8, 2024.3.14.
11. 社会福祉士受験対策講座, 相談援助の理論と方法, 講義, 講師, 新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業, 社会福祉士国家試験受験予定者等, 新潟市, 2023.10.15.
12. 新潟市地域包括支援センター阿賀北 (新潟市北区) 困難事例検討会, 何かひっかかりのある事例検討, 事例検討, 講師・助言者, 地域包括支援センター職員, 介護支援専門員, 新潟市, 2023.10.24.
13. 地域連携課課内研修, スーパービジョン, 講師, 甲州リハビリテーション病院, 社会福祉士, 山梨県甲州市 (オンライン), 2023.11.10, 12.15, 2024.2.9, 3.15, 3.29.
14. 安曇野市社会福祉協議会 (居宅介護支援事業所) 職員研修, スーパービジョン, 安曇野市社会福祉協議会 (居宅介護支援事業所), 介護支援専門員, 安曇野市, 2023.11.11, 2024.2.3.
15. 相談援助職者養成一般研修, 地域貢献事業・講師, 企画・指導, 小布施町地域包括支援センター, 役場職員, 介護支援専門員, 地域包括支援センター職員, 町内福祉専門職等, 小布施町, 2023.11.20.
16. 医療ソーシャルワーカー新人研修／スーパービジョン研修, 講義・グループスーパービジョン, 講師・スーパーバイザー, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 医療ソーシャルワーカー, 新潟市, 2023.12.2-12.3.
17. 千葉県主任介護支援専門員研修, 対人援助者監督指導, 講義・演習, 講師, 千葉県介護支援専門員協議会, 千葉市 (オンライン), 2023.12.25, 2024.1.16, 1.22, 1.23.
18. 「えひめKUMAの会」定例会, OGSV実践・臨床像を描く, 事例検討, 講師, えひめKUMAの会,

介護支援専門員・社会福祉士等（会員），久万高原町，2024.2.24-2.25.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 月刊ケアマネジャー「プロフェッショナルの教え－ライフニーズ」. 月刊誌7月号. 東京. 中央法規出版；2023：p24-p29
2. 月刊ケアマネジャー「プロフェッショナルの教え－感情の揺らぎ」. 月刊誌8月号. 東京. 中央法規出版；2023：p26-p31
3. 月刊ケアマネジャー「プロフェッショナルの教え－護るべきもの」. 月刊誌9月号. 東京. 中央法規出版；2023：p24-p29

3) 社会活動への参加協力

1. スーパービジョン実践研究会，スーパーバイザー養成講座・伝承，指導者，新潟市，2023.4，6，8，10，12，2024.2.
2. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会，司会者/意見交換会進行，2023.4-2024.3.（司会6，全体進行・打ち合わせ4）
3. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会研修アドバイザー，新潟市，2023.4-2024.3.
4. 小布施町地域包括支援センター，スーパービジョン，スーパーバイザー，小布施町，2023.4-2024.3.

4) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県医療ソーシャルワーカー協会（運営委員・研修アドバイザー）

4 学内委員会活動 人権委員会（委員長），個人情報保護委員会

氏名：青木 茂

- 1 研究題目 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定プロセスに関する研究，社会福祉協議会の組織・運営に関する研究，民生委員・児童委員活動に関する研究，福祉教育・ボランティア学習に関する研究，コミュニティソーシャルワーク機能に関する研究
- 2 著書
 1. 丸田秋男，渡邊敏文，青木茂，新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット，第8号，新潟市：2024.3：54-72.
- 3 論文
 1. 青木茂，「民生委員・児童委員制度の現状と課題－なり手不足解消のために社会福祉士の実戦経験を活かす－」. 新潟県社会福祉士実践報告（公益社団法人新潟県社会福祉士会），2024.3；第22号：19-21.
- 4 学会等研究発表
 1. 青木茂，新潟県内の地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定動向と課題. 日本地域政策学会第22回全国研究【東京】大会地域福祉計画分科会（東京都），2023.7.8-7.9.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本地域政策学会（理事，甲信越・北陸支部事務局長），日本社会福祉学会，日本地域福祉学会，日本福祉教育・ボランティア学習学会，日本福祉文化学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本福祉教育・ボランティア学習学会，第29回新潟大会，実行委員長，新潟県新潟市，2023.11.4-11.5.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市民生委員児童委員協議会連合会地域福祉部会研修会，地域における民生委員・児童委員活動のポイント，講師，新潟市民生委員児童委員協議会連合会，民生委員・児童委員，新潟市中央区，2023.5.23.
 2. 湯沢町ボランティア連絡会研修会，地域福祉は福祉教育ではじまり福祉教育で終わる，講師，湯沢町ボランティア連絡会，湯沢町民ボランティア，新潟県南魚沼郡湯沢町，2023.5.26.

3. 新潟県民生委員児童委員協議会会長研修，地区民児協で推進する地域共生社会づくり，講師，新潟県民生委員児童委員協議会，民生委員・児童委員，新潟市中央区2023.6.20，新潟県長岡市2023.6.27.
4. 新潟市秋葉区社会福祉協議会地域福祉推進会議，地域における福祉課題とこれからの地域づくり－住民主体の活動と共同募金－，講師，新潟市秋葉区社会福祉協議会，秋葉区民，新潟市秋葉区，2023.6.24，6.30.
5. サービス開発事例検討会，アドバイザー，地域包括支援センター上土地亀，北区内ケアマネージャー等，新潟市北区，2023.6.27.
6. 新潟市西区支えあいの仕組みづくり研修会，支えあいとは何か，今なぜ必要なのか，講師・シンポジウムコーディネーター，新潟市西区役所，新潟市西区民，新潟市西区，2023.9.1.
7. 佐渡市ボランティア交流会，今こそボランティア－活動におけるヒント－，講師，佐渡市社会福祉協議会，佐渡市民，新潟県佐渡市，2023.9.5.
8. 第83回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会，第2分科会「民児協の新任委員等に対する活動継続支援」，コーディネーター，新潟市民生委員児童委員協議会連合会，民生委員・児童委員，新潟市中央区，2023.9.7-9.8.
9. 新潟県社会福祉士会基礎研修Ⅲ，講師，新潟県社会福祉士会，社会福祉士，新潟市中央区，2023.8.16，10.7.
10. 社会福祉士国家試験受験対策講座，地域福祉の理論と方法・低所得者に対する支援と生活保護制度，講師，新潟県社会福祉士会，社会福祉士国家試験受験予定者，新潟市中央区，2023.9.17，11.26.
11. 新潟県介護福祉士会ファーストステップ研修，講師，新潟県介護福祉士会，介護福祉士，新潟市中央区，2023.10.14.
12. 新発田市豊浦地区民生委員児童委員協議会研修会，民生委員・児童委員・主任児童委員に期待される役割，講師，新発田市民生委員児童委員協議会，民生委員・児童委員，新潟県新発田市，2023.10.17.
13. 魚沼市民生委員児童委員協議会全体研修，地区民児協で推進する地域共生社会づくり，講師，魚沼市民生委員児童委員協議会，民生委員・児童委員，新潟県魚沼市，2023.10.27.
14. 長岡市小国地区社会福祉協議会地域福祉懇談会，これからの小国の地域福祉（地域づくり）を考える，講師，長岡市社会福祉協議会小国支所，長岡市小国地区住民，長岡市小国地区，2023.11.10.
15. 楽しく学ぶ地域の支えあい，もし地域の支えあいがなかったら・・・，講師，新潟市秋葉区山の手地区社会福祉協議会・山の手コミュニティ協議会，秋葉区小須戸地区住民，新潟市秋葉区，2023.11.26.
16. 支えあいマップづくり研修会，講師，聖籠町社会福祉協議会，聖籠町外畑地区住民，新潟県北蒲原郡聖籠町，2023.12.3，12.10.
17. 新潟市秋葉区地域福祉推進フォーラム，シンポジウムコーディネーター，新潟市秋葉区社会福祉協議会，秋葉区民，新潟市秋葉区，2023.12.9.
18. 新潟市東区社会福祉協議会スタディ（職員研修会），水俣病，新潟水俣病と福祉教育，講師，新潟市東区社会福祉協議会，関係職員，新潟市東区，2023.12.27.
19. 胎内市民生委員児童委員協議会全体研修会，基本的な民生委員活動について，講師，胎内市民生委員児童委員協議会，民生委員・児童委員，新潟県胎内市，2024.2.7.
20. 新潟市社会福祉協議会CSW実践報告会，コメンテーター，新潟市社会福祉協議会，新潟市職員・新潟市社協職員，新潟市中央区，2024.2.8.
21. 新潟市南区社会福祉協議会アンケート調査結果検討会，アドバイザー，新潟市南区社会福祉協議会，関係職員，新潟市南区，2024.2.16.
22. 阿賀町老人クラブ連合会リーダー研修会，いつまでも住み慣れた地域でいきいきと－老人クラブと地域づくり－，講師，阿賀町老人クラブ連合会，老人クラブ会長・会員，新潟県東蒲原郡阿賀町，2024.2.27.
23. 新潟市中央区地域福祉実践報告会，コーディネーター，新潟市中央区社会福祉協議会，中央区民，新潟市中央区，2024.3.2.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市北区太田地域コミュニティ協議会, 外出支援サービス検討委員会, アドバイザー, 新潟市北区, 2021-2023.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員

村上市地域福祉計画審議会（委員長）, 村上市障がい者計画等審議会（委員長）, 新潟市南区地域福祉アクションプラン検討委員会（委員長）, 新潟市南区高齢者ケア会議（議長）, 柏崎市福祉有償運送運営協議会（委員長）, 新潟県社会福祉協議会福祉教育推進会議（アドバイザー）, 新潟市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーク推進事業（スーパーバイザー）, 新潟市東区社会福祉協議会（副会長）, 長岡市社会福祉協議会活動推進計画策定委員会（委員長）, 湯沢町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会（委員長）, 聖籠町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会（委員長）, 聖籠町社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会（委員長）, 聖籠町社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会（委員長）, 阿賀町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会（委員長）, 社会福祉法人新潟太陽福祉会（評議員）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究（C）, 地域福祉計画は福祉分野の上位計画として機能するかー政令指定都市の検証からー, 丸田秋男・渡邊敏文・青木茂
2. 2019年度, 新潟市多職種合同による介護予防ケアプラン検討会, 渡邊敏文, 青木茂ほか
3. 2019年度, 新潟県民生委員児童委員協議会アドバイザー派遣事業, 渡邊敏文, 青木茂ほか

8 学内委員会活動 交通安全委員会（委員長）, 学生委員会, 就職センター運営委員会

氏名：渡邊 敏文

1 研究題目 地域保健福祉における住民参加, 介護福祉士養成教育における倫理教育

2 論文

1. 渡邊敏文, 多職種協働や地域連携の実践から見えてきたことー介護予防や健康教室などの事業からー, 新潟医療福祉学会誌, 2024.1, 23（3）1, 65
2. 渡邊敏文, 丸田秋男, 河野聖夫, 佐藤洋, 青木茂, 渡邊豊, 渡辺恵, 2023年度新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会業務実績報告書, 2023.4-2024.3, 研究代表
3. 渡邊豊, 渡邊敏文, 佐藤洋, 寺田貴美代, 青木茂, 丸田秋男, 渡辺恵, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 佐久間由紀, 2023年度新潟水災病関連情報発信事業報告書（DVD）, 2023.4-2024.3, 研究分担

3 学会等研究発表

1. 丸田秋男, 渡邊敏文, 青木茂, 地域福祉計画は福祉分野の上位計画として機能するかー政令指定都市の検証からー, 日本地域福祉学会（2023年度（第37回）, 自由研究発表, 長野県上田市, 2023.6.10.
2. 丸田秋男, 渡邊敏文, 青木茂, 地域福祉計画は福祉分野の上位計画として機能するかー政令指定都市の検証からー, 日本地域政策学会甲信越・北陸支部研究会, 石川県金沢市, 2023.9.9.
3. 渡辺洋子, 櫻井典子, 宅井さやか, 関根千恵, 相馬俊雄, 渡邊敏文, 多職種協働をめざす実習教育の今日的課題ー文献レビューによる予備的考察ー, 第23回新潟医療福祉学会学術集会, 新潟市, 23.10.28.
4. 中井良育, 阿部行宏, 丸田秋男, 渡邊敏文, 河野聖夫, 佐藤洋, 鈴木昭, 青木茂, 渡邊豊, 渡辺恵, 専門職による助言及びソーシャルワーカーによるコーディネート機能がケアマネジメントの質に与える影響ー新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会に着目した調査結果からー, 2023年度（第12回）新潟市地域医療研究助成発表会, 新潟市, 2024.1.27.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会（新潟地方委員）, 日本地域政策学会（常任理事, 研究推進委員長, 学術専攻委員会副委員長, 甲信越・北陸支部副支部長）, 日本介護福祉教育学会, 日本介護福祉学会, 日本在宅ケア学会, 日本精神保健福祉学会, 日本保健医療社会学会, 日本保健福祉学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会（特任理事）,

日本社会福祉士会，日本介護福祉士会，日本精神保健福祉士協会，日本介護支援専門員協会，新潟医療福祉学会，北新潟地域づくり学会（はまなす学会）（副会長），新潟地域福祉実践研究会（会長）

2) 学術集会の主催

1. 日本福祉教育・ボランティア学習学会，日本福祉教育・ボランティア学習学会第29回新潟大会，大会長，新潟市，2023.11.4・11.5開催・2023.4-11.

3) 学会等でのその他の活動

1. 新潟医療福祉学会，第23回新潟医療福祉学会学術集会「多職種協働による産学連携と地域連携」，シンポジスト：テーマ「多職種協働や地域連携の実践から見えてきたことー介護予防や健康教室などの事業からー」，新潟市，2023.10.28.
2. 日本福祉教育・ボランティア学習学会，学会ニュースNo.82，巻頭言執筆，2023.10.27.
3. 日本福祉教育・ボランティア学習学会，学会ニュースNo.83，第29回新潟大会報告，2024.3.29.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 射水市重層的支援体制整備事業研修会，重層的支援体制整備事業の構築に向けてー地域共生社会の実現のためにー，講師，富山県射水市役所，射水市役所職員・射水市社会福祉協議会職員・射水市地域包括支援センター職員ほか，富山県射水市，2023.7.31.
2. 第36回社会福祉士国家試験対策講座，高齢者に対する支援と介護保険制度，講師，新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会，社会福祉士国家資格取得希望社会人，新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2023.8.20.
3. 新潟市社会福祉協議会北区社会福祉協議会令和5年度自治・町内会長地域福祉研修会，「自治・町内会の組織と運営についてー地域における自治・町内会と各機関・団体との連携についてー」，基調説明講師およびディスカッションコーディネーター・総評，新潟市北区自治・町内会長および役員，新潟市・新潟市北区文化会館，2023.8.30.
4. 新潟市地域包括支援センター上土地亀，岡方圏域ケア会議「精神障害とその家族の支援を考える」，アドバイザー，新潟市岡方コミュニティセンター，2023.9.29.
5. 新潟水俣病ケアガイド研修（Web開催，オンデマンド型），新潟水俣病患者支援の視点から考える地域共生社会，講師，新潟県福祉保健部生活衛生課・新潟市保健衛生総務課，社会福祉専門職，2023.10.5.
6. 新潟市地域包括支援センター上土地亀，岡方圏域ケア会議「精神障害とその家族の支援を考える」，アドバイザー，新潟市長浦コミュニティセンター，2023.10.13.
7. 新潟市地域包括支援センターくずつか，くずつか圏域ケア会議「身寄りなし高齢者の支援について」，アドバイザー，豊栄さわやか老人福祉センター，2023.11.29.
8. 新潟市地域包括支援センター上土地亀，事例研究会「夫と住み慣れた自宅で暮らしたい」，アドバイザー，豊栄さわやか老人福祉センター，2023.12.8.
9. 長岡100歳大学大学院講義，第1部社会構造の変化とその対策「日本の社会保障の現状と課題ーそして未来に向けてー」，講師，一般社団法人長岡100歳大学大学院，大学院履修学生（社会人），新潟県長岡市・長岡震災アーカイブセンターきおくみらい，2024.1.27.
10. 新潟市地域包括支援センター連絡会，新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会について，講師，新潟市福祉部地域包括ケア推進課，新潟市地域包括支援センター職員，新潟市（オンラインによる開催），2024.1.30.

2) 社会活動への参加協力

1. 株式会社NSGホールディングス・NSGブレスト協議会，グループ横断ブレインストーミングアドバイス，新潟市，2024.2.9.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市在宅医療・介護連携推進協議会会長，日本年金機構・新潟県地域年金事業運営調整会議座長，五泉

市高齢者保健福祉市民会議委員，新潟県介護人材確保対策会議委員，新潟市介護人材確保対策協議会委員，新潟市北区南浜地区青少年育成協議会理事，新潟市障がい支援区分認定等審査会審査委員，新潟市指定管理者第三者評価会議委員，新潟市北区支え合いのしくみづくり会議委員（協議体構成員），新潟市北区高齢者ケア会議構成委員，新潟市北区社会福祉協議会監事，日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック新潟県委員・新潟県社会福祉現場実習等養成校連絡会会員，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会運営委員，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会教学マネジメントと介護福祉士教育新潟県代表，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会新潟県部会国家試験対策部会（分科会）・調査研究部会（分科会）委員，新潟市共同募金委員会北区分会監査人，新潟市共同募金委員会北区分会推進委員会委員，新潟県農福連携推進連絡会議委員・幹事，新潟県優良農業経営体等表彰事業選考委員会委員農福連携の部審査委員，新潟県福祉サービス運営適正化委員会副委員長（利用援助調査委員会委員，苦情解決小委員会委員），新潟市立松浜小学校学校運営協議会会長，新潟市コミュニティ・スクール学校運営協議会構成委員，新潟県老人福祉施設協議会理事，新潟県福祉人材センター運営委員会委員，新潟県社会福祉協議会社会福祉研修事業運営委員会委員長，社会福祉法人皆幸幸福社会理事，児童厚員養成課程連絡協議会事務局長，介護福祉士養成大学連絡協議会理事（国家試験対策委員・研究倫理審査委員）

4) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県社会福祉士会人材育成・スーパービジョン支援班運営委員会委員，新潟県社会福祉士会地域密着型サービス外部評価審査委員会委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2023年度，新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会業務（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：丸田秋男・河野聖夫・佐藤洋・青木茂・渡邊豊・渡辺恵
2. 2023年度，新潟水俣病患者の介護予防プログラム作成に関する研究事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：渡邊豊
3. 2023年度，新潟水俣病関連情報発信事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：佐藤洋・寺田貴美代・青木茂・丸田秋男・渡邊豊・渡辺恵・渡辺洋子・渡邊恵司・佐久間由紀

2) 学外兼務講師等

1. 開志専門職大学事業創造学部事業創造学科（地域産業研究Ⅱ（医療福祉）），非常勤講師，2023.4-9.
2. 新潟県立大学人間生活学部こども学科（社会福祉のニーズと政策），非常勤講師，2023.4-9.

氏名：原口 彩子

- 1 研究題目 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討，大学生の自殺予防，食農福教育プログラムの開発
- 2 著書
 1. 荒川大靖，原口彩子，渡邊恵司，大屋未輝，丸田秋男，渡邊敏文，青木茂，新潟医療福祉大学社会福祉学部編著 「にいがたの未来を担うソーシャルワーク専門職の研究・教育・実践」新潟：新潟医療福祉大学社会福祉学部；2023：16-29.
- 3 学会等研究発表
 1. 原口彩子，石本豪. 大学生の自殺予防に対する「パパゲーノメール」の効果：第45回全国大学メンタルヘルス学会（札幌医科大学），2023.12.22.
 2. 五十嵐紀子，杉本洋，原口彩子，ペット飼育崩壊から学ぶ多機関連携と伴奏型支援. 第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（名古屋），2023.11.26.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床心理士会，日本心理臨床学会，日本精神保健福祉士協会，人間・植物関係学会，日本保健医療社会学会，全国大学メンタルヘルス学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 傾聴サロン「にこっと」研修会，対話に生きるカウンセリング論Ⅰ，講師，一般市民，新潟市北区豊栄地区公民館，2023.9.16.
2. 傾聴サロン「にこっと」研修会，対話に生きるカウンセリング論Ⅱ，講師，一般市民，新潟市北区豊栄地区公民館，2024.1.20.
3. ももかわ桃源郷倶楽部，村上かみはやし地区町おこしイベント，ボランティア（ゼミ生・留学生とともに），村上市桃川地内，2023.12.3.

2) 社会活動への参加協力

1. 聖籠町子ども家庭相談センターのスーパーバイザー事業，事例検討，講師，聖籠町役場，2023.5.30.
2. 聖籠町子ども家庭相談センターのスーパーバイザー事業，事例検討，講師，聖籠町役場，2023.7.25.
3. 聖籠町子ども家庭相談センターのスーパーバイザー事業，事例検討，講師，聖籠町役場，2023.9.19.
4. 聖籠町子ども家庭相談センターのスーパーバイザー事業，事例検討，講師，聖籠町役場，2023.11.24.
5. 聖籠町子ども家庭相談センターのスーパーバイザー事業，事例検討，講師，聖籠町役場，2024.1.26.
6. 聖籠町子ども家庭相談センターのスーパーバイザー事業，事例検討，講師，聖籠町役場，2024.3.29.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度，科研費基盤研究（C），「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討，研究代表者 現在1年延長

2) 受賞，学位取得，資格取得

全国大学メンタルヘルス学科 岡庭賞（学会賞），2023.12.22.

3) 学外兼務講師等

1. 発達クリニック ばすてる 心理士 月2回
2. 聖籠町子ども家庭相談センタースーパーバイザー 2023.4-2024.3. 年6回

7 学内委員会活動 メンタルヘルス支援室，国家試験・資格試験対策委員会，健康管理センター運営委員会，安全衛生委員会，シティズンシップ教育実践研究センター（Citizenship education practical research center）

氏名：松本 京介

1 研究題目 精神分析学，力動的心理療法，夢の心理学的研究，臨床心理的地域援助（精神科デイケア，スクールカウンセリング），喪の仕事

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本心理臨床学会，日本心理劇学会，日本精神衛生学会，日本質的心理学会，新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第35回社会福祉士国家試験対策講座，心理学理論と心理的支援，講師，新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会，市民，新潟ユニゾンプラザ，2023.11.26.
2. ストレスマネジメント研修，ストレス及びメンタルヘルスの理解，講師，新潟県社会福祉協議会，社会福祉施設・事業所に勤務する福祉関係職員，新潟ユニゾンプラザ，2023.12.1.

2) 社会活動への参加協力

1. 市ヶ谷ひもろぎクリニック，音楽プログラムに関する業務，音楽プログラム担当者，東京都・市ヶ谷ひもろぎクリニック精神科デイケア，2023.12.29.
2. にいがた母の会，心理カウンセリング業務，心理カウンセラー，新潟市・にいがた母の会，2023.4.1-2024.3.31.

- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員
新潟市精神保健福祉審議会（委員）
- 4 学内委員会活動 大学院委員会、科研費対策委員会、新潟連携教育推進センター運営委員会

氏名：渡辺 恵

- 1 研究題目 DV被害母子への支援
- 2 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新人・後輩職員の育成・指導研修，講師，新潟県社会福祉協議会，新潟ユニゾンプラザ，2023.5.25.
 2. 新潟県困難な問題を抱える女性への支援計画策定委員会 副座長 2023.9.1，11.27.
 3. 新潟県消防学校教育訓練講師，新潟県消防学校，2023.11.26，2024.1.24.

氏名：渡辺 洋子

- 1 研究題目 特別養護老人ホームで最期を迎えた入居へのEOLケア理論生成に関する研究
- 2 報告書
 1. 渡辺洋子，若手研究，特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究，令和5年度科学研究費助成事業実施報告書，令和6年度，研究者代表者
- 3 学会等研究発表
 1. 渡辺洋子，櫻井典子，宅井さやか，他，多職種協働をめざす実習教育の今日的課題－文献レビューによる予備的考察，新潟医療福祉学会第23回学術集会，口述発表，2024.10.28.
 2. 渡辺洋子，なぜEOLケア実践は難しいのか？，新潟医療福祉学会第23回学術集会，ポスター発表，2023.10.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（理事），日本認知症予防学会員，日本社会福祉学会員，日本介護福祉学会員，日本老年社会学会員，日本女子大学社会福祉学会員
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本認知症予防学会第12回学術集会，実行委員，新潟コンベンションセンター，2023.9.15-9.17.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本認知症予防学会第12回学術集会，新潟県開催，第8口演「認知症の診断支援技術」座長，2023.9.16.
 2. 新潟医療福祉大学第23回学術集会，新潟県開催，理事会において書記を務めた，2023.10.28.
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟水俣病患者語りべ口演交流会 会場設営及び資料配布等，本学IA棟，2024.1.19.
 2. 新潟水俣病患者の健康教室，企画運営，講話と足湯，下山コミュニティハウス，2023.10.12.
 3. 阿賀野川流域健康教室受託事業 企画運営，足湯，五線市総合会館，2024.2.18.
 4. 新潟水俣病関連事業発信事業報告会 運営進行，新潟東映ホテル，2024.3.23.
 - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
日本介護福祉士養成施設協会 関東甲信越ブロック協議会委員
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
新潟医療福祉大学第23回学術集会 研究奨励賞 2023.10.28.
- 7 学内委員会活動 学内研究奨励金審査員，学術委員，学生委員，交通安全委員

氏名：渡邊 恵司

- 1 研究題目 精神科病院からの地域移行支援・地域定着支援に関する研究、ピアサポーターとの共同に関する研究
- 2 著書
 1. 渡邊恵司，丸田秋男，渡邊敏文，青木茂，原口彩子，大屋未輝，新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット第8号 にいがたの未来を担うソーシャルワーク専門職の研究・教育・実践，新潟：アサヒ印刷クリエイティブ；2023.3.31，30-43.
- 3 論文
 1. 渡邊恵司，渡邊敏文，佐藤洋，寺田貴美代，青木茂，丸田秋男，渡邊豊，渡辺恵，渡辺洋子，佐久間由紀，2023年度新潟水俣病関連情報発信事業報告書（DVD），2023.4.1-2024.3.31.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本地域政策学会，日本病院・地域精神医学会，日本精神障害者リハビリテーション学会，日本精神保健福祉士協会，新潟県精神保健福祉士協会，日本福祉教育・ボランティア学習学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本地域政策学会第22回全国研究大会，地域福祉計画分科会「地域共生社会における地域福祉計画の果たすべく役割～市区町村の包括的な支援体制の構築に向けて～」，分科会企画・討論者，東洋大学，2023.7.9.
 2. 日本福祉教育・ボランティア学習学会，第29回全国大会新潟，実行委員，新潟市，2023.11.4-11.5.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 心に寄り添う傾聴セミナー，「傾聴がもたらす「しあわせ」について」，講師，傾聴ボランティア ほえみ，新潟市，2023.7.22.
 2. 第36回社会福祉士国家試験受験対策講座，「福祉行財政と福祉計画」，講師，新潟医療福祉大学・公益社団法人新潟県社会福祉士会，新潟市，2023.9.17.
 3. 第36回社会福祉士国家試験受験対策講座，「社会保障」，講師，新潟医療福祉大学・公益社団法人新潟県社会福祉士会，新潟市，2023.9.17.
 4. 令和5年度新潟市北区地域福祉推進フォーラム実践報告，コーディネーター，新潟市北区社会福祉協議会，新潟市北区文化会館ホール，2023.11.25.
 5. 基幹研修Ⅰ，「精神保健福祉士の専門性Ⅰ」，講師，新潟県精神保健福祉士協会，長岡市，2024.1.20.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県水俣病情報発信事業，4大学フォーラム，新潟大学キャンパスときめいと，2024.3.3.
 2. 新潟県水俣病情報発信事業，報告会，新潟東映ホテル，2024.3.23.
 3. 合同会社リリックスーパーバイザー，2023.11.1-2025.3.31.
 - 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
公益財団法人真柄福祉財団（理事）
 - 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県精神保健福祉士協会（代議員）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023年度，新潟水俣病患者の介護予防プログラム作成に関する研究事業（共同研究），研究代表：渡邊敏文，研究分担者：渡邊豊，渡邊恵司
 2. 2023年度，新潟水俣病関連情報発信事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：佐藤洋，寺田貴美代，青木茂，丸田秋男，渡邊豊，渡辺恵，渡辺洋子，渡邊恵司，佐久間由紀
- 7 学内委員会活動 広報委員会，社会連携推進センター運営委員会

氏名：大屋 未輝

- 1 研究題目 医療観察法における保護者である家族の研究
- 2 著書
 1. 荒川大晴, 原口彩子, 渡邊恵司, 大屋未輝, 丸田秋男, 渡邊敏文, 青木茂. 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット第8号, にいがたの未来を担うソーシャルワーク専門職の研究・教育・実践: アサヒ印刷クリエイティブ; 2023.3.31, 44-53
 2. 大屋未輝. 精神障害者の家族支援テキスト, ウイザップ; 2023.3.31.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 公益社団日本精神保健福祉士協会 (会員), 日本被害者学会 (会員), 日本更生保護学会 (会員), 日本家族看護学会 (会員)
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 山の下圏域介護支援専門員研修会, 基調講演・スーパーバイザー, 山の下地域包括センター主催, 2023.9.25.
 2. 令和5年度新潟障害保健福祉圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会, 講演, 五泉市総合会館 2024.2.22.
 3. 第13回刑事精神鑑定研究会, アドバイザー講演, 新潟地方検察庁主催, 2024.3.9.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. テレビ放送NST・スマイルスタジアム, 心理健康学科新設記念イベント第二弾トークイベント心理×コミュニケーション, 2023.6.18.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟調理師専門学校, 市民公開講座, バーチャルハルシネーションを用いた統合失調症の疑似体験と理解, 講演, 2023.9.9.
 2. 新潟TSネット, 被害者と加害者を考える, 講演, 2024.2.27.
 3. 小出高校出張講義, 2024.2.28.
 - 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟市精神障がい者の地域生活を考える会 (検討委員), 厚生労働省関東信越厚生局 (令和5年度精神保健参与員), 新潟保護観察所 (被害者担当保護司)
 - 5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟中央区保護司会 (保護司)
- 5 学内委員会活動 精神保健福祉士コース (コース長)

氏名：荒川 大靖

- 1 研究題目 地域における児童健全育成の環境づくりに対する移動児童館の効果について, 児童館と食に関連する児童健全育成活動の実態及び課題に関する研究
- 2 著書
 1. 荒川大靖, 原口彩子, 渡邊恵司, 大屋未輝, 丸田秋男, 渡邊敏文, 青木茂. にいがたの未来を担うソーシャルワーク専門職の研究・教育・実践. 初版. 日本: 新潟医療福祉大学; 2023年
 2. 加賀谷崇文, 荒川大靖, 中村かおり, 田邊哲雄, 松田文春, 長若道代. 児童厚生員養成課程ガイドブック. 日本: 児童厚生員養成課程連絡協議会; 2023年: 160-161
- 3 学会等研究発表
 1. 荒川大靖. 移動児童館の基礎調査に対する発展的検討ー新型コロナウイルス感染症が与えた影響に注目してー. 日本地域政策学会・東京大会 (東京), 2023.7.8.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本地域政策学会 (会員), 日本こども学会 (会員), 日本ソーシャ

ルワーク学会（会員）、日本社会福祉教育学会（会員）

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 児童厚生員等基礎研修会，集団援助技術，講師，特定非営利活動法人あきた子どもネット，放課後児童支援員，秋田県児童会館，2023.11.16.
2. 2023年度社会福祉士国家試験受験対策講座，「就労支援サービス」，講師，新潟県社会福祉士会，オンライン，2023.8.20.
3. 児童館・児童クラブ全国大会新潟会場，分科会運営，実行委員，児童健全育成推進財団，児童厚生員等，新潟県柏崎市・アルフォーレ，2023.11.25.

2) 社会活動への参加協力

1. 第15回にいがた秋葉っ子ふゆまつり，こども向け遊びブース設置及び運営，学生指導，新潟市秋葉区・秋葉区新津健康センター，2024.1.28.
2. 西区ふれあい・あきまつり2023，こども向け遊びブース設置及び運営，学生指導，新潟市西区・みどり森の運動公園，2023.10.28.
3. 平島公園夏祭り，こども向け遊びブース設置及び運営，学生指導，新潟市西区・平島公園，2023.8.20.
4. 新潟県立こども自然王国「ソトアソビソトゴハン」，こども向け遊びブース設置及び運営，学生指導，柏崎市高柳・子ども自然王国，2023.9.30.
5. 新潟県立こども自然王国「じどうかんまつり」，こども向け遊びブース設置及び運営，学生指導，柏崎市高柳・子ども自然王国，2023.11.3-11.4.
6. 岩室地域児童館まつり，こども向け遊びブース設置及び運営，学生指導，新潟市西蒲区・岩室地域児童館，2023.7.22.
7. 海と森のアートフェスティバル，バルーンアートワークショップ企画・運営，学生指導，新潟市北区，海辺の森キャンプ場，2023.11.12.
8. 第16回北区ふゆっこまつり，こども向け遊びブース設置及び運営，学生指導，新潟市北区・北区役所ほか，2024.2.12.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

南区内児童館・児童センター次期指定期間運営方法検討会議（委員）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度（2023年度継続），基盤研究（C），地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究，荒川大靖・渡邊恵司
2. 古泉財団研究費助成金2023年度助成，食文化に関する研究，児童館における「食」をテーマにした児童健全育成活動の実態に関する研究，荒川大靖

2) 学内部活動の実績

1. レクア.コム部顧問

7 学内委員会活動 広報委員会，高等教育推進センター運営委員会，同窓会・生涯学習推進委員会

氏名：板垣 直子

1 研究題目 ソーシャルワーク

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会福祉士会，新潟県社会福祉士会，日本社会福祉学会，新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県社会福祉士会，社会福祉士国家試験対策講座講師，ユニゾンプラザ，2023.11.26.

2) 社会活動への参加協力

1. 社会福祉法人愛宕福祉会デイアクティビティセンターはろはろ，歳末たすけあい事業はろはろふれあい大感謝祭ボランティア，2023.12.2.
2. ドリームカレッジ冬まつりボランティア，2023.12.16.
3. 新潟市西区能登半島地震泥除けボランティア，2024.1.9.

氏名：山崎 美夏

報告事項なし

氏名：小出 直

- 1 研究題目 過疎地域における生活課題解消，生活保護法における地域格差の解明，多職種連携の視点から考察するリスクマネジメント
- 2 論文
 1. 小出直，石田潔，関建久，高泉一生，榊原次郎，田卷憲史，奥村奈緒子，玉川侑那，小倉睦美.「北海道における通院困難患者の実態とMSWとしての受診・受療援助に関する一検討」～介護支援専門員・相談支援専門員へのアンケート調査結果より～『医療と福祉』2023.12. Vol.57 (2) 14-21 (査読あり)
 2. 原田祐輔，澤野純平，小出直.「チャットボットシステム利用が医療従事者のアイデンティティ形成に与える影響に関する考察」『日本リハビリテーション教育学会誌』2024.4.4. 2024.7(2) 81-91 (査読あり) (※年度内に受理され，その後出版されました，印刷中)
 3. 原田祐輔，澤野純平，小出直.「テキストマイニングによる理学療法分野の医療事故及びヒヤリ・ハットの探索的研究」『理学療法の科学と研究』(査読あり) (受理済み・印刷中)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会福祉学会，日本ソーシャルワーク学会，日本医療ソーシャルワーカー協会，貧困研究会，全国公的扶助研究会，日本流通学会，新潟県医療ソーシャルワーカー協会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 南区保健医療福祉のつながりを深める会 オブザーバー参加 主催者：南区健康福祉課，対象者：地域の保健医療福祉職，2023.10.26.開催
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. ほっとニュース北海道（2023.7.24.月曜日，18時から）にて，長年取り組んできた「過疎地域の通院困難問題について」大学名付きで私のコメントが取り上げられました.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. (一社)北海道医療ソーシャルワーカー協会 社会活動部通院困難患者支援専門部会 オブザーバー (2023.4.1から)

氏名：石割 桂

報告事項なし

(2) 新設学科設置室

氏名：山本 裕二

1 研究題目 対人運動技能のダイナミクス，知覚－運動ダイナミクス，城門の構造と人流ダイナミクス

2 論文

1. Hirata C, Kitahara S, Yamamoto Y, Gohara K, Michael J. Richardson, Initial phase and frequency modulations of pumping a playground swing, *Physical Review E*, 2023, 107, 44203. (review)
2. Yokoyama K, Furuhashi T, Yamamoto Y, Maki Rooksby, Hamish J. McLeod, An examination of the potential benefits of expert guided physical activity for supporting recovery from extreme social withdrawal: Two case reports focused on the treatment of Hikikomori, *Frontier in Psychiatry*, 2023, 14, 1084384. (review)
3. 山本裕二，横山慶子，奥村基生，木島章文，島弘幸．松本城太鼓門桁形調査，総合保健体育科学，2023，46, 24-32.
4. 大畑美喜子，山本裕二．中学生の運動部活動における主体性の育み，総合保健体育科学，2023，46, 52-59.
5. Takamido R, Yokoyama K, Nakamoto H, Ota J, Yamamoto Y. Interpersonal coordination analysis in bat-and-ball sports under a real-game situation: asymmetric interaction and delayed coupling, *PLoS ONE*, 2023, 18, e0290855. (review)
6. 奥村文浩，横山慶子，山本裕二．自転車競技ポイントレース中の集団動態解析の試み，スポーツパフォーマンス研究，2023，15, 295-306. (査読あり)
7. Fukuhara A, Akimoto R, Kano T, Kobayashi R, Yamamoto Y, Kijima A, Yokoyama K, Ishiguro A. Interpersonal coordination mechanism via assistive hold in ballroom dancing, 2023 62nd Annual Conference of the Society of Instrument and Control Engineers (SICE), Tsu, Japan, 2023, pp. 401-407, doi: 10.23919/SICE59929.2023.10354175. (review)

3 学会等研究発表

1. Yamamoto Y, Yokoyama K, Okumura M, Kijima A, Gohara K. How control unpredictable others in court-net sports, International Workshop on Team and Multiagent Dynamics, Naples, Italy, 2023.6.27
2. Koshimizu Y, Fukuhara A, Yokoyama K, Yamamoto Y, Kijima A. Diagonal couplets in four-legged human gait to climb stepping-block using two poles, International Conference on Perception and Action XXI, Guadalajara, Mexico, 2023.6.28.
3. 山本裕二．個人運動スキルから対人運動スキルへ複雑さに潜む規則性を求めて，日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会体育心理学専門領域，京都，2023.9.1. 【キーノートレクチャー】
4. 越水悠介，横山慶子，山本裕二，木島章文．四足歩行哺乳類の歩容類型における杖を用いたヒトの歩容の位置づけ，日本体育・スポーツ健康学会第73回大会，京都，2023.9.1.
5. 山地聡史，福原洸，小林亮，木島章文，山本裕二，石黒章夫，加納剛史．Bumper ballから探る対人運動技能の学習則，第36回自律分散システム・シンポジウム，小金井，2024.2.17.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本心理学会，日本スポーツ心理学会，日本体育・スポーツ・健康学会，日本認知科学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

- 1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. BSN新潟放送「ゆうなび」上手なブランコのこぎ方，2023.6.19.
 2. CBCラジオ「気分爽快！多田しげおの朝からPON」ブランコの上手な漕ぎ方，2023.7.20.

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，基盤研究（A）対人運動技能の制御・学習則の解明，研究代表者

2. 2020年度, 基盤研究 (B) 集団協応の数理構造に基づく身体的社会性の仮想空間育成システム, 研究分担者
3. 2022年度, 挑戦的研究 (萌芽) 行動解析と数理モデルによる城門防御機能の定量的評価: スポーツ科学からの挑戦, 研究代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
大学体育教育賞・公益社団法人全国大学体育連合 (2024.3)
- 7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所

氏名: 坂田 省吾

- 1 研究題目 動物の時間認知の比較心理学的研究
- 2 著書
 1. (分担執筆) 坂田省吾; 日本動物心理学会監修; 小川園子・富原一哉・岡田隆編, 動物心理学入門, 東京: 有斐閣; 2023: 91-93.
- 3 学会等研究発表
 1. Sakata S, Matsumoto H. Effects of small reward delay on delayed large reward choice in the adjusting delay task in rats, The 83rd Annual Meeting of the Japanese Society for Animal Psychology(Tokyo, Japan), 2023.10.9. (English Oral Presentation)
 2. Ishida M, Sakata S. Rats choose the short or flat route even though there is a delay: temporal and spatial discounting in route choice behavior, The 83rd Annual Meeting of the Japanese Society for Animal Psychology(Tokyo, Japan), 2023.10.8. (English Oral Presentation)
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本行動科学学会 (監事), 日本生理心理学会 (理事), 日本動物心理学会, 日本心理学会, 日本時間生物学会, 日本神経科学学会, International Society for Comparative Psychology, American Psychological Society, Society for Neuroscience
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本心理学会第87回大会, 日本心理学会国際賞功労賞受賞講演「時間弁別行動と脳内情報処理」, 講演者, 神戸, 2023.9.17.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 公益社団法人日本心理学会 認定心理士の会 オンライン公開講演会, 動物の時間, 講演者, 公益社団法人日本心理学会認定心理士の会主催, 一般市民対象, オンライン開催, 2023.6.18.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
日本心理学会より 2023年度国際賞功労賞を授与された (2023.9.13)

氏名: 山崎 由美子

- 1 研究題目 認知機能の行動的解析, 脳腸相関の解明と関連疾患の治療法開発を目指した生理学的・微生物学的・行動学的研究
- 2 論文
 1. 山崎由美子, 科学研究費補助金基盤研究 (A). 遺伝子改変疾患モデルマウセット評価に向けた自動行動解析システムの開発. 研究成果報告書, 2021-2023, 研究分担者.
 2. 山崎由美子, 科学研究費補助金基盤研究 (B). 腸内細菌叢を介した社会行動調整技術の開発. 研究成果報告書, 2022-2026, 研究代表者.
- 3 学会等研究発表
 1. 山崎由美子, 守屋繁春, 川原井晋平, 森田英利, 菊水健史, 入来篤史. 短期間の昆虫食強化による飼育下

- マーモセットの腸内細菌叢と転写産物の変化. 第13回日本マーモセット研究会 (東京), 2024.2.20-2.21.
2. 小林敦, 池田和仁, 中山達雄, 岩村善博, 山崎由美子, 入来篤史. 腸内細菌叢解析に基づく新たなマーモセット健康管理方法の開発. 第13回日本マーモセット研究会 (東京), 2024.2.20-2.21.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本動物心理学会, 日本神経科学学会, 日本マーモセット研究会, 日本実験動物学会
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
1. 山崎由美子 (2024). マーモセットの生態に沿った食餌導入と健康管理の取り組み. ジビエペットフード需要拡大に向けたシンポジウム－鹿肉&昆虫ペットフードの可能性－ (松本), 2024.2.9.
- 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
- 日本学術会議・連携会員, 日本学術会議・ICLAS分科会 (幹事)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
1. 2021, 科学研究費補助金基盤研究 (A), 遺伝子改変疾患モデルマーモセット評価に向けた自動行動解析システムの開発, 研究分担者
2. 2022, 科学研究費補助金基盤研究 (B), 腸内細菌叢を介した社会行動調整技術の開発, 研究代表者
3. 2020, 住友ファーマとの共同研究, 脳腸相関を介した霊長類精神神経機能と各種バイオマーカーとの対応関係の解析, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
1. 国立研究開発法人理化学研究所, 客員主管研究員, 2023.4-2024.3.
- 7 学内委員会活動 動物実験委員会 (委員), 毒物劇物管理委員会 (委員), 教務委員会 (オブザーバー)

7) 医療経営管理学部

(1) 医療情報管理学科

氏名：柴山 純一

- 1 研究題目 病院の経営診断・改善手法の研究，早期治癒体制を目指した病院の部門別業務体制と経済性の評価，病院部門効率化方策の研究
- 2 論文
 1. 小林房代，木下直彦，度會裕子，谷川奈々，山田智子，Luong Thi Hai Yen，宇田優子，柴山純一，瀧口徹．介護保険施行20年の時点における関連情報知識の現状と課題，新潟医療福祉学会誌 2023；22（3），78-90.
- 3 学会等研究発表
 1. 柴山純一，今井彩月咲，宮寄貴也，坂井美樹他，診療報酬からみた地域連携と在院日数の関係，第23回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2023.10.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本手術医学会（評議員），日本診療情報管理学会，日本医療・病院管理学会，日本医療情報学会，日本医療マネジメント学会，病院経営管理士会，新潟医療福祉学会
- 5 学内委員会活動 総務会，自己点検・評価委員会，教員選考・評価委員会，広報委員会

氏名：木下 直彦

- 1 研究題目 質量分析計を用いたプロテオーム解析研究，機械学習によるシミュレーション研究，教育工学，ITスキルに関連する研究
- 2 論文
 1. 皆川璃子，波塚飛鳥，濱野礼奈，富山順子，木下直彦，瀧口徹，石上和男．新潟県におけるCOVID-19オミクロン株流行時（第6波）の感染者の集団発生状況．新潟医療福祉学会誌．2023；23（2）：17-29.（査読あり）
 2. 山田智子，ハフマン ジェフリー，田口円裕，石上和男，永井徹，木下直彦，瀧口徹．日本と豪州国民の各種う蝕予防法に関する認識と実践の差．日健教誌．2023；31（3）：118-126.（査読あり）
 3. Luong Thi Hai Yen, Kinoshita N, Namizuka A, Minagawa R, Takano K, Kobayashi F, Fukai K, Ishigami K, Takiguchi T. Niigata Journal of Health and Welfare. 2023; 23(2): 45-64.（査読あり）

氏名：塚本 徹雄

- 1 研究題目 後天性免疫不全症候群に関する国際研究，日本国内の医療職偏在に関する研究，全国自治体の合計特殊出生率に関する研究
- 2 論文
 1. AO Pasternak, Tsukamoto T, B Berkhout. 'Zombie' proviruses in the spotlight: exploring the dark side of HIV persistence. AIDS (JCR) 2023; 37(14), 2239-2241.（査読あり）
 2. Tsukamoto T, DL Winslow. Predicting tuberculosis at antiretroviral therapy initiation: the combination of monocyte-to-lymphocyte ratio and hemoglobin level may be a key. AIDS (JCR) 2024; 38(1), 115-117.（査読あり）
- 3 学会等研究発表
 1. 坂井さなえ，高野涼，荒井美月，池田桃，磯部菜摘，近藤駿馬也，高野莉子，塚本徹雄．新潟医療福祉大学学生の診療情報管理士に関する認知度調査．第49回日本診療情報管理学会学術大会（青森県十和田市），2023.9.14-9.15.
 2. 塚本徹雄，市村渉，佐藤徹，竹田恵衣，知野光希，長谷川京市郎，前山美由．新潟県内30市町村の人口自然増減の分析．第23回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2023.10.28.
- 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本分子生物学会, 日本診療情報管理学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. AIDS (国際誌), 編集活動, 編集委員, 2023.4-2024.3. (継続中)
 2. Frontiers in Cellular and Infection Microbiology (国際誌), 編集活動, 編集委員, 2023.4-2024.3. (継続中)
 3. Viruses (国際誌), 査読活動, 査読委員, 2023.4-2024.3. (継続中)
 4. Biology (国際誌), 編集活動, 編集委員, 2024.3. (継続中)
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. North America Immigration Law Group, 研究者の先進国滞在支援, 推薦者, 2023.11-2024.3.
- 6 学内委員会活動 FD・SD推進委員会

氏名：瀧口 徹

- 1 研究題目 研究課題Ⅰ：地理疫学研究 1) 後期高齢者医療費の二次医療圏単位の地域差と要因分析, 2) 特殊出生率 (tFR) の二次医療圏単位の時系列トレンド分析と地域差の社会学的要因分析, 所謂「限界自治体」の全国分布の特性と困窮指標分析, 研究課題Ⅱ：公衆衛生学上の特殊予防 (ワクチン, 水道水フッ素化等) に対する住民のヘルスリテラシーと attitude の国際比較
- 2 論文
 1. 皆川璃子, 波塚飛鳥, 濱野礼奈, 富山順子, 木下直彦, 瀧口徹, 石上和男. 新潟県における COVID-19 オミクロン株流行時 (第6波) の感染者の集団発生状況. 新潟医療福祉学会誌. 2023; 23(2): 17-29. (査読あり)
 2. 山田智子, ハフマン ジェフリー, 田口円裕, 石上和男, 永井徹, 木下直彦, 瀧口徹. 日本と豪州国民の各種う蝕予防法に関する認識と実践の差. 日健教誌. 2023; 31(3): 118-126. (査読あり)
 3. 小山歌子, 宇田優子, 藤安まゆみ, 和田直子, 長谷川由美, 工藤由紀子, 瀧口徹. 日本プライマリ・ケア連合学会. 特別豪雪地帯・山村過疎地域の中高年における在宅看取りの可能性の認識と関連要因の分析 2023; 46(3): 96-106. (査読あり)
 4. Luong Thi Hai Yen, Kinoshita N, Namizuka A, Minagawa R, Takano K, Kobayashi F, Fukai K, Ishigami K, Takiguchi T. Niigata Journal of Health and Welfare. 2023; 23(2): 45-64. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 梅木伽那, 松下依莉, 大島涼, 寺島琢馬, 相馬俊雄, 古西勇, 瀧口徹. パラグアイ共和国における子供の過体重の要因分析と対策について - 学校教育での改善を目指して. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 新潟医療福祉学会誌, 23(1): 51. 2023.10.28.
 2. 寺島琢馬, 大島涼, 松下依莉, 松木伽那, 鈴木一恵, 古西勇, 瀧口徹: 中米グアテマラ共和国の格差社会問題と草の根レベルでの改善方法 - 5歳未満の慢性栄養不良 -. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 新潟医療福祉学会誌, 23(1): 56. 2023.10.28.
 3. 松下依莉, 大島涼, 梅木伽那, 寺島琢馬, 久保雅義, 古西勇, 瀧口徹: キルギス共和国における乳児死亡の要因分析と対策シミュレーション - 母子手帳の導入についての検討 -. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 新潟医療福祉学会誌, 23(1): 106. 2023.10.28.
 4. 大島涼, 梅木伽那, 寺島琢馬, 松下依莉, 能登真一, 古西勇, 瀧口徹: ホンジュラス共和国における循環器病増加の要因分析と対策 - JICA 海外協力隊としての鳥の目と草の根での考察 -. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 新潟医療福祉学会誌, 23(1): 107. 2023.10.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 所属学会新潟医療福祉学会 (理事), 日本公衆衛生学会, 日本口腔衛生学会 (名誉会員), 日本診療情報管理学会, 日本老年医学会, 日本老年歯科学会, 日本国際医療保健学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本健康教育学会

2) 学術集会の主催

1. 新潟医療福祉大学大学院医療情報経営管理学専攻主催 電気学会 ・北海道シンポジウム, 役割 (主催, 座長), 北海道札幌市, 2023.8.31.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年度 (2022-2024) 基盤研究 (C) 3種類の国際的疾患に対する特異的予防法に関する国際意識調査. 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 神奈川歯科大学 (特任教授), 疫学統計, 2023.10-2024.1.
2. 新潟看護大学大学院博士課程 (非常勤講師), 公衆衛生政策論, 2023.5-7.
3. 国際総合学園 国際メディカル専門学校非常勤講師, 2023.9-2024.1.

6 学内委員会活動 学術委員会 (委員)

氏名 : 石上 和男

1 研究題目 保健・医療・福祉の政策評価 (介護予防事業, 特定健診・特定保健指導, がん対策, 地域包括ケア)

2 論文

1. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kaiwa M, Kondou A, Ishikawa H, Lingzhi Liu, Ishigami K. Impact of the Coronavirus Disease 2019 Pandemic on Leisure Screen Time and Eating Habits of Japanese High School Students: A Comparison between before and during the Pandemic. Healthcare 11(9) 1265-1265 2023.4.28.
2. 山田智子, ハフマン ジェフリー, 田口円裕, 石上和男, 永井徹, 木下直彦, 瀧口徹. 日本と豪州国民の各種う蝕予防法に関する認識と実践の差. 日本健康教育学会誌 31(3) 117-126 2023年
3. 土田直美, 波多野誠, 石上和男. 一般市民の食品の備蓄状況と知識・意識・行動との関連. 日本災害食学会誌 10(1) 1-9 2023.3.
4. 皆川璃子, 木下直彦, 工藤由紀子, 前田理歩, 小林房代, 度會裕子, Tran Thi Thanh Huyen, Luong Thi Hai Ye, 波塚飛鳥, 長部千尋, 大星波輝, 遠藤栞, 小泉早希, 佐藤舞, 鈴木舞有, 新野渚, 石上和男, 瀧口徹. 身体状況と健康食品利用 attitude (認識と行動) との関連分析. 新潟医療福祉学会誌 22(3) 54-70 2023.3.
5. 度會裕子, 長谷部好信, 小林房代, 木下直彦, 鈴木健司, 石上和男, 伊藤嘉高, 瀧口徹. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者を扱う病院看護職はどのような差別あるいは激励を受けたか. 新潟医療福祉学会誌 22(3) 91-101 2023.3.
6. 皆川璃子, 波塚飛鳥, 濱野礼奈, 富山順子, 木下直彦, 瀧口徹, 石上和男. 新潟県における COVID-19 オミクロン株流行時の感染者の集団発生状況. 新潟医療福祉学会誌 23(2) 17-29 2023.12.

3 報告書

1. 新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センター. 介護予防における大学との連携事業, 2023年度報告書, 佐藤成登志・古西勇・神田賢・小林量作・稲葉洋美・岩森大・永井徹・田村典子・増田紘之・海和美咲・能村友紀・佐藤大輔・石上和男・瀧口徹・木下直彦・高野晃輔・内山渉

4 学会等研究発表

1. 居城美咲, 今井理絵, 織戸愛里, 関川遥, 西片七虹, 皆川璃子, 熊倉眞穂, 眞田悠希, 石上和男. 10～30歳代と40～80歳代の健康や食に関する attitude の違いは何か—胎内市の食に関するアンケート調査から—. 新潟医療福祉学会学術集会, 80頁. 2023.10.
2. 相馬涼加, 白井菜々, 井上彩花, 佐藤真琴, 高橋柚葉, 渡辺奈央, 皆川璃子, 熊倉眞穂, 波多野誠, 石上和男. 新潟県における COVID-19 の 5, 6, 7 波の推移と特徴. 新潟医療福祉学会学術集会, 81頁. 2023.10.

3. 小田島あゆ子, 石上和男, 葭原明弘ら. 独居高齢者における栄養摂取状況及び口腔健康状態の実態調査.; 令和5年度新潟市医師会地域医療研究助成事業発表会. 2024.1.27.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本口腔衛生学会, 甲信越北陸口腔保健研究会, 新潟歯学会, 日本災害食学会, 老年歯科医学会, 日本診療情報管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本地理学会, 日本栄養改善学会, 日本健康教育学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. シニアカレッジ新潟特別講義「地域共生社会づくりを目指そう」シニアカレッジ新潟学長として特別講演, 2023.10.23.長岡, 10.24.上越, 10.25.新潟

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報 2023年11月1日, 新潟医療福祉大生新型コロナウイルス感染の特徴分析
2. オアシス21(新潟県社会福祉協議会総合情報誌) No.103 2023年8月号 9.
3. オアシス21(新潟県社会福祉協議会総合情報誌) No.104 2023年12月号 8-9.

3) 社会活動への参加協力

1. シニアカレッジ新潟学長
2. NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議監事
3. NPO法人聞こえエール新潟監事
4. 南浜住民福祉大学長

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

シニアカレッジ新潟学長, 新潟県社会福祉協議会理事, 新潟県高齢者記念品選定委員会委員長, 南浜地区コミュニティ協議会健康福祉住民大学長, 海辺の森交流拡大委員会委員長

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟県立看護大学非常勤講師

8 学内委員会活動 国際交流委員会オブザーバー委員

氏名: 鈴木 健司

1 研究題目 COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明

2 論文

1. Thanh HTT, Hai YLT, Tanikawa N, Saito S, Takiguchi T, Suzuki K. Change in sample characteristics owing to non-response in a nationwide web-based cohort study of mental health among non-permanent workers over a 1-year period during the COVID-19 pandemic in Japan. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2023; 23: 18-32. (review)

3 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2023年度, 科研費基盤研究(C), COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明, 研究代表者

氏名: 石浦 章一

1 研究題目 アルツハイマー病の発症メカニズムに関する研究

2 著書

1. 石浦章一. 70歳までに脳とからだを健康にする科学. 東京: ちくま新書; 2023: 1-244.
2. 石浦章一. 小説みたい楽しく読める生命科学講義. 簡体字版, 2023: 1-222.

3 論文

1. 石浦章一. 遺伝子変異は病気の原因？. 現代化学. 2023；627：31-33.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 黒沢尻北高校 探究活動から大学への学びへ, 高校2年生, 2023.4.19.
 2. 大妻高校 探究を始めよう, 高校1年生, 2023.5.6.
 3. 城北高校 大学での新しい学びとは, 高校1年生, 2023.7.14.
 4. 逗子開成高校 大学での学びとは, 高校1年生, 2023.10.10.
 5. 八千代松陰高校 大学で新しく学ぶこと, 高校1年生, 2023.10.18.
 6. 黒沢尻北高校 探究活動から大学での学びへ, 高校1年生, 2023.11.1.
 7. 加藤学園高校 大学での学び, 高校1年生, 2023.12.2.
 8. 巣鴨高校 大学での新しい学びとは, 2023.12.18.
 - 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 東京大学, 生命科学, 2023.4-7.
 2. 東京大学, 現代生命科学, 2023.12-2024.1.
 3. 京都先端科学大学, 未来展望ゼミ, 2023.4-2024.1. (リモート)
 4. 同志社大学, サイエンスナウ7, 2023.10.
 - 6 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会 (オブザーバー)

氏名：井上 弘樹

- 1 研究題目 医療の判断と意思決定に関する研究 (医学統計学・計算数学・保健経済学), 健康影響ならびに医療の質の評価と仮説探索ならびに仮説検証に関する研究 (疫学), 薬剤有害事象のシグナル検出に関する研究 (薬剤疫学), 医療情報のデータマネージメントに関する研究 (医療情報学), バイズ推測のためのモデリング作成支援ツールの開発, バイズ統計学的手法を視覚化した医学判断ツールの開発 (医学統計学・医学判断学)
- 2 論文
 1. 井上弘樹, 波塚飛鳥. 病院情報システム操作授業における模擬オンライン診療試行のための, 廉価で簡易なビデオチャットシステム. 日本国際教養学会誌. 2024; 10: 111-122. (査読あり)
 2. Inoue H, Uchiyama H. Addition of simple input completion function to Fatsia. Niigata Journal of Health and Welfare. 2024; 23: 65-72. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 井上弘樹, 波塚飛鳥. 病院情報システム操作授業における模擬オンライン診療試行のための, 廉価で簡易なビデオチャットシステムの構築経験. 第23回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2023.10.28.
 2. 井上弘樹, 内山八郎. 統計解析パッケージ更新に対応したJulia言語マクロ実行ツールの追加実装報告. 第82回日本公衆衛生学会学術総会 (つくば市), 2023.10.31-11.2.
 3. 井上弘樹, 内山八郎. Julia言語向け統計解析マクロ実行ツールへの, プロビット回帰と分散分析機能の追加実装報告. 日本社会薬学会第41年会 (東京都品川区), 2023.9.9-9.10.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ソフトウェア科学会, 日本薬剤疫学会, 日本内科学会, 日本消化器内視鏡学会, 日本消化器病学会, 日本公衆衛生学会, 日本社会薬学会, 日本医療情報学会, 日本国際教養学会, 新潟医療福祉学会, 信州公衆衛生学会
- 5 学内委員会活動 入試委員会, 健康管理センター運営委員会, 安全衛生委員会, メンタルヘルス支援室委員

氏名：寺島 和浩

- 1 研究題目 3次元運動解析のための解析システムの開発, 情報リテラシー教育に関する研究, データサイエンスリテラシーレベルに関する研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本機械学会, バイオメカニズム学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本生体医工学会, 日本ロボット学会, 電子情報通信学会, 日本生活支援工学会, 新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. とよさか中高年教養大学, エクセルアートと健康について, 講師, 新潟医療福祉大学, 中高年者, 葛塚コミュニティセンター, 2024.1.25.

4 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 高等教育推進センター運営委員会

氏名：坂井 さなえ

報告事項なし

氏名：谷 賢太郎

1 研究題目 視覚障がい者向けの救急救命支援アプリケーションの開発, 災害避難シミュレーション, 視覚障がい者向け入力デバイスの開発

2 学会等研究発表

1. 清野開, 木下直彦, 平井克之, 谷賢太郎, 点字入力方式を利用したスマートフォン端末向け新型入力装置の開発の試み, 2023年電子・情報・システム部門大会, 2023.8.30.
2. 谷賢太郎, 清野開, 点字入力方式を利用したスマートフォン端末向け入力装置と学習ソフトウェアの開発の試み, 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会 2023, 2023.9.21.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 電子情報通信学会, 日本生活支援工学会, 日本ベンチャー学会

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. ニイガタバース (主催：NPO 法人新潟情報通信研究所), メタバースを使ったSDGsのイベント, 学内参加者とりまとめ, オンライン開催, 10.28.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費若手研究, 六点入力方式を利用したモバイル端末向け新型入力装置の開発, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟国際情報大学 (情報処理演習1), 2023.4.1-9.31.
2. 新潟国際情報大学 (情報処理演習2), 2023.10.1-3.31.

6 学内委員会活動 教務委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会

氏名：高野 晃輔

1 研究題目 テキストデータの解析による研究動向分析, 通いの場の介護予防効果・コミュニティ構造分析

2 論文

1. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kaiwa M, Kondou A, Ishikawa H, Lingzhi Liu, Ishigami K. Impact of the Coronavirus Disease 2019 Pandemic on Leisure Screen Time and Eating Habits of Japanese High School Students: A Comparison between before and during the Pandemic. Healthcare. 2023; 11(9). (review)

3 学会活動

- 1) 所属学会 言語処理学会, 情報処理学会, 日本公衆衛生学会, 日本診療情報管理学会, 日本遠隔医療学会, 新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 介護予防における県・市町・大学の連携事業，体力測定，新潟県，新潟市北区白勢町在住高齢者，新潟県，2024.1.16.

2) 社会活動への参加協力

1. 株式会社エヌエスアイ，クラシックカーイベント（依頼演奏），和太鼓部顧問，ミズベリング三条，2023.4.16.
2. 新潟商工会議所，新潟まつり水上みこし渡御（依頼演奏），和太鼓部顧問，みなとぴあ上流付近，2023.8.5.
3. 新潟商工会議所，新潟まつり山車巡回（依頼演奏），和太鼓部顧問，古町 本町，2023.8.6.
4. 北新潟にじいろコンサート実行委員会，北新潟にじいろコンサート，吹奏楽部顧問，敬和学園高校チャペル，2023.9.2.
5. 越後・親不知太鼓，糸魚川市文化活動支援事業 太鼓フェスティバルin 青海（依頼演奏），和太鼓部顧問，青海総合文化会館 きららホール，2023.11.5.
6. 社会福祉法人 愛宕福祉会，音楽で福祉と介護を繋ぐフェス（依頼演奏），和太鼓部顧問，古町ルフル前広場，2023.11.18.
7. 一般財団法人 新潟市音楽芸能協会，第71回新潟市芸能まつり第48回万代太鼓フェスティバル（依頼演奏），吹奏楽部顧問，りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館，2023.11.19.
8. incompiuto，クリスマスコンサート，指揮者（吹奏楽部顧問），新潟市北区文化会館・田上町交流会館，2023.12.16.
9. 社会福祉法人 新潟太陽福祉会，ウィンターコンサート（依頼演奏），吹奏楽部顧問，太陽の村，2023.12.20.
10. 社会福祉法人 とよさか福祉会，音楽鑑賞会&体験会（依頼演奏），吹奏楽部顧問，新潟市北区文化会館，2024.2.22.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市北区・海辺の森交流拡大委員会（アドバイザー）

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度～2023年度，新潟県受託事業，介護予防における大学との連携事業，ロコモティブ症候群予防研究センター（研究分担者）

6 学内委員会活動 教務委員会，国際交流センター運営委員会，同窓会・生涯学習連携推進委員会

氏名：平井 克之

1 研究題目 引用文献文字列の書誌同定に関する新規技術の開発

2 論文

1. 平井克之，金澤輝一，林貴宏. JaLC書誌データにおける引用文献情報の収録状況調査. 情報研究（関西大学総合情報学部紀要）. 2024; 58: 53-58.

3 学会等研究発表

1. 平井克之，上坂明子. 経済学及び経営学における学術論文の掲載雑誌の種別に関する調査. 情報プロフェッショナルシンポジウム INFOPRO2023（東京都千代田区），2023.7.6.
2. 平井克之，久保琢也，森木銀河，青沼有紀，松本匡史. 研究力分析の高度化に向けた自主的なプログラミング勉強会の取り組み. リサーチ・アドミニストレーション協議会 第9回年次大会（八王子市），2023.8.9.
3. 清野開，木下直彦，平井克之，谷賢太郎. 点字入力方式を利用したスマートフォン端末向け新型入力装置の開発の試み. 電気学会 電子・情報・システム部門大会（札幌市），2023.8.30.

4. 大平朋幸, 谷賢太郎, 平井克之, 木下直彦. MVPモデルに基づく学習効果を考慮した能力獲得モデルの提案～ARCS-Vパラメータを用いたシミュレーション検証～. 電気学会 電子・情報・システム部門大会 (札幌市), 2023.8.30.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 研究・イノベーション学会, 言語処理学会, 情報科学技術協会 (シンポジウム実行委員), 情報処理学会, 人工知能学会, 新潟医療福祉学会, リサーチ・アドミニストレーション協議会 (ジャーナル編集委員, 年次大会セッション実行委員)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 情報科学技術協会, 情報プロフェッショナルシンポジウムINFOPRO2023, シンポジウム実行委員, 東京, 2023.7.6-7.7.
 2. リサーチ・アドミニストレーション協議会, 第9回年次大会, 年次大会セッション実行委員, 東京, 2023.8.8-8.9.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2023年度, 国立情報学研究所公募型共同研究自由提案公募型, 和文の大規模引用文献データベース構築に向けた検索ベースの書誌同定手法の和文への応用と効果検証, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
ディープラーニングG検定 (2023.11.11)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 事業創造大学院大学, IT基礎技術, 2023.4.1-9.30.
 2. 文部科学省科学技術・学術政策研究所 客員研究員, 2023.11.1-2024.3.31.
 3. 新潟大学 研究統括機構 客員研究員, 2023.4.1-2024.3.31.
- 6 学内委員会活動 科研費対策委員会, URA推進室, IR戦略委員会

氏名：市川 明弘

- 1 研究題目 中小企業の経営に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本経営診断学会, 日本介護福祉学会, 日本地方自治研究学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 群馬県中小企業診断士受験講座, 財務・会計 (簿記), 講師, 社会人・学生, 高崎商科大学, 2023.11.4, 11.11.
 2. 中小企業経営シンポジウム in 新潟, 介護・障害者施設の"攻め"のコンプライアンス, 講師, 企業経営者・中小企業支援機関・金融機関の関係者・中小企業支援者等, 朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター), 2023.11.14. 【シンポジウム】
 3. 群馬県中小企業診断士協会医療福祉研究会, 介護・障害者施設の"攻め"のコンプライアンス, 講師, 群馬県中小企業診断士協会会員, 群馬県公社総合ビル, 2024.1.13.
 4. 群馬県中小企業診断士受験講座, 中小企業経営・政策, 講師, 社会人・学生, 高崎商科大学, 2024.3.2.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 雑誌, 週刊帝国ニュース新潟県版 (株式会社帝国データバンク), あなたの会社の物語 ～イミ消費・エモ消費のマーケティング～①, ②, ③, 2023.10.27, 11.24, 12.29.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県中小企業診断士協会広報委員会, 協会広報誌の作成・中小企業経営シンポジウム in 新潟の企画・運営・協会ホームページの運営, 委員, 生涯学習センター (クロスパルにいがた) 等, 2023.7.7,

9.22, 10.31, 11.14, 2024.3.18.

2. 新潟市管工事業協同組合, 管工事SDGs推進事業, 指導, 生涯学習センター(クロスバールにいがた)等,
2023.7.24, 8.25, 9.4, 9.19, 10.27, 11.7, 11.15, 12.15, 12.19, 2024.1.29.

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県中小企業診断士協会(広報委員)

4 学内委員会活動 就職センター運営委員会

氏名: 眞田 悠希

1 研究題目 地域サロン・通いの場のコミュニティ構造分析

2 学会等研究発表

1. 居城美咲, 今井理絵, 織戸愛里, 関川遥, 西片七虹, 皆川璃子, 熊倉眞穂, 眞田悠希, 石上和男. 10～30歳代と40～80歳代の健康や食に関するattitudeの違いは何か—胎内市の食に関するアンケート調査から—. 新潟医療福祉学会学術集会, 80頁. 2023年10月

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会

4 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. 介護予防における県・市町・大学の連携事業, 体力測定, 新潟県, 新潟市北区白勢町在住高齢者, 新潟市北区, 2024.1.16.
2. 介護予防における県・市町・大学の連携事業, 体力測定, 新潟県, 津南町在住高齢者, 津南町, 2023.11.15.

5 学内委員会活動 広報委員会

8) 教育・学生支援機構

氏名：五十嵐 紀子

1 研究題目 ヘルスコミュニケーション，死生学，がん患者支援活動のマネジメント，ペット飼育支援に関する人と動物の福祉

2 論文

1. 五十嵐紀子，杉本洋．使者との対話をつくる場ーリレー・フォー・ライフにおける語りと絆の継続．仏教看護・ビハーラ．2024; 18: 54-66.

3 学会等研究発表

1. Sugimoto H, Igarashi N. Self-Formation Through Interactive Lectures by Individuals with Lived Experiences. The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Hong Kong), 2024.3.6-3.7.
2. 五十嵐紀子，杉本洋，原口彩子．ペット飼育崩壊から学ぶ多機関連携と伴奏型支援．第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（名古屋），2023.11.26.
3. 五十嵐紀子．動物を介したつながり創出の可能性：ペット飼育支援が閉じた扉を開く．日本コミュニケーション学会東北支部研究大会（オンライン），2023.12.2.
4. 五十嵐紀子．動物を介したつながり創出の可能性：支援者たちの苦悩とつながり．日本コミュニケーション学会東北支部研究会（オンライン），2024.2.11.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本コミュニケーション学会東北支部（支部役員），ヘルスコミュニケーション学関連学会機構（評議員），日本介護福祉教育学会，仏教看護・ビハーラ学会，日本保健医療社会学会，Japan-US Communication Association，新潟医療福祉学会，日本保健医療行動科学会，日本臨床死生学会，日本保健医療福祉連携教育学会

2) 学術集会の主催

1. 日本仏教看護・ビハーラ学会，第19回年次大会，副実行委員長，新潟市，2023.6.10-6.11.
2. 日本コミュニケーション学会，東北支部研究大会，運営委員，オンライン，2023.12.2.
3. 日本コミュニケーション学会，東北支部研究会，運営委員，オンライン，2024.2.11.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 緩和ケアリンク新潟研修会，言葉の通じない外国人に関する緩和ケア，講師，緩和ケアリンク新潟，新潟市，2023.7.21.
2. 介護福祉士ファーストステップ研修，コミュニケーション技術の応用的な展開，講師，新潟県介護福祉士会，新潟市，2023.7.16，8.5.
3. 東北工業大学Well-being研究所講演会，がんになってみつけたしあわせな生き方，講師，東北工業大学Well-being研究所，Zoom，2023.9.15.
4. ピンクリボンホリデー2023講演，がんになる前の私に伝えたいこと〜キャンサーギフトを手に入れて〜，講師，2023.10.15.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市動物愛護協会ねこ委員会，猫の殺処分ゼロに向けた活動，委員，2023.4.1-2024.3.31.
2. 新潟はっぴー乳ライフ，乳がん検診受診率向上のための活動，委員，2023.4.1-2024.3.31.
3. リレー・フォー・ライフ・ジャパン・にいがた実行委員会，がん征圧・がん患者支援のための活動，副実行委員長，2024.4.1-2024.3.31.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市環境審議会（委員），新潟市国民健康保険運営協議会（委員），新潟県乳がん検討委員会（企画委員）

6 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 茶道部，裏千家茶道の稽古と学生・留学生・園児の茶道体験を通じた国際交流や多世代交流，

2023.4.1-2024.3.31

2. 学生ねこ部, 地域の保護猫活動への協力・高齢者のペット飼育支援・連携総合ゼミへの協力・学内公開セミナーの開催など, 2023.4.1-2024.3.31.

2) 学外兼務講師等

1. 長岡崇徳大学, コミュニケーション論, 2023.10.1-2024.3.31.
2. 新潟食料農業大学, コミュニケーション論, 2023.9.1-2024.3.31.

7 学内委員会活動 中央教育センター運営委員会(委員長), シティズンシップ教育実践研究センター(研究員)

氏名: 豊田 典子

1 研究題目 応用言語学(言語習得)

2 著書

1. Seietsu Sato, (Noricco Toyoda英訳), Gone with the Tsunami Volume 2 of 2, Amazon Kindle, 2024/3/11, p1-p321

3 学会等研究発表

1. Akiho-Toyoda N. Development and implementation of an EFL class curriculum at a Japanese university of health and social work using robot programming to stimulate students' creativity, 21st Asia TEFL(Indonesia/online), 2023.8.17-8.20.
2. 豊田典子, Animation&Medicine, Niigata International Animation Film Festival (新潟), 2024.3.18.
3. 戸田春夫, 豊田典子, 多々良俊哉. 大学教育における Google Apps Script の活用, 新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.
4. 豊田典子, 串田剛. 医師・療法士・連携アドバイザーによる事例から外国人とのコミュニケーションを考える, 新潟医療福祉学会(新潟), 2023.10.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(会員), 情報教育科学会(会員), 母語・バイリンガル・継承語学会(会員), 情報システム学会(会員), Graphic Medicine(会員), Asia TEFL(会員), 小学校プログラミング教育研究会(顧問), Graphic Medicine Japan(会員)

2) 学術集会の主催

1. 「医療とアニメーションシンポジウム」, 主催, 新潟市, 2024.3.18.

3) 学会等でのその他の活動

1. Graphic Medicine Animation and Medicine SIG 立上げ, 2023.11-2024.7 予定

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. UCLA 特別講座「東日本大震災について語る」, 引率・通訳, Prof.A. Hayashi, UCLA 学生, UCLA (米国), 10月
2. カリフォルニア州日本領事館講演会, 「Importance of Life」, 講演及び通訳, 日本領事館, ロサンゼルス日本領事館内, https://www.la.us.emb-japan.go.jp/itpr_en/ioltalkjhla.html
3. さばえ目育プロジェクト英会話, English for Healthy Eyes, 石井雅子先生, 鯖江市児童, オンデマンド, 4月から6月

2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. NHK新潟, 新潟国際アニメーション映画祭アニメーションキャンプ, 4月
2. Graphic Medicine Japan 会誌02「Animation and Medicine 参加レポート」(大阪大学小林翔先生筆)
3. LightHouse ロサンゼルス雑誌2023年10月号掲載日本領事館講演について

3) 社会活動への参加協力

1. 一般社団法人 Quality of Life Foundation (医科学研究者国際活動支援協議会), 医科学者国際交流普及活動(2023年11月チャリティガラ)企画運営通訳・通訳, 2012-現在

2. 新潟国際アニメーション映画祭, 新潟国際アニメーション映画祭開催, 通訳・翻訳・海外リエゾン, 新潟市, 2023.3.1-現在
3. メガネの町鯖江市目育プロジェクト英語動画作成
4. 一般社団法人日本ラテンアメリカリブ振興協会, 本学との連携支援, リエゾン, 新潟, 2023.11.
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
一般社団法人Quality of Life Foundation(医科学研究者国際活動支援協議会)委員
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 開志専門職大学, コンテンツ英語I/II, 2023年度
- 7 学内委員会活動 中央教育センター運営委員会, 教務委員会(オブザーバー)

氏名：今井 理恵

- 1 研究題目 ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発(英語教育学), 応用言語学の新しい成果を活かす学校英語教育の研究(英語教育学および応用言語学), 内外の応用言語学研究で新しく提案される概念や枠組みを, 日本語を母語とする学習者に対する学校英語教育においてどのように活用できるかを探る研究(英語教育学および第二言語習得理論), 日本人学習者のための批判的思考力測定テストの開発(外国語教育)
- 2 著書
 1. 飯野厚, 田嶋美砂子, 稲垣善律, 今井理恵, 大畑甲太, 加藤淳, 将司敬子, 外山徹, 藤井彰子, 藤吉大介, 和田俊彦, Brian Wistner. 文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 MY WAY English Communication III. 東京:三省堂; 2024: 1-158.
 2. 飯野厚, 田嶋美砂子, 稲垣善律, 今井理恵, 大畑甲太, 加藤淳, 将司敬子, 外山徹, 藤井彰子, 藤吉大介, 和田俊彦, Brian Wistner. 文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 MY WAY English Communication III. ②Teacher's Book 解説と指導書編. 東京:三省堂; 2023: 1-158.
 3. 飯野厚, 田嶋美砂子, 稲垣善律, 今井理恵, 大畑甲太, 加藤淳, 将司敬子, 外山徹, 藤井彰子, 藤吉大介, 和田俊彦, Brian Wistner. 文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 MY WAY English Communication II. Teacher's Manual①解説と指導書編. 東京:三省堂; 2023: 1-411.
- 3 論文
 1. 今井理恵, 峯島道夫. 「ジャンル準拠リーディング指導で学習者の読みを助ける: メンターテキストの規範性による教科書テキストの分析」Journal of Humanistic English Education in Japan, 3: 158-173. (原著論文) [査読あり]
 2. 今井理恵, 峯島道夫. 「ジャンルのプロトタイプテキストからみた「英語コミュニケーションⅠ」の教科書テキストの分析—マクロジャンルのテキストに焦点をあてて—」. 中部英語教育学会紀要, 2024; 1: 191-198. (原著論文) [査読あり]
- 4 報告書
 1. 今井理恵. 基盤研究(C), ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発, 2018年~2022年, 研究代表者 今井理恵, 研究分担者 松沢伸二(新潟大学), 峯島道夫(新潟県立大学)
- 5 学会等研究発表
 1. 今井理恵, 峯島道夫, 松沢伸二. 「ジャンルのプロトタイプテキストからみた「英語コミュニケーションⅠ」の教科書テキストの分析」全国英語教育学会 第48回 香川研究大会, 2023.8.20.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 中部英語教育学会, 関東甲信越英語学会, 全国英語教育学会, 日本教科教育学会, The Japan Association for Language Teaching (JALT), 新潟大学教育学部英語教育学会, Association of International Studies and Regional Development (AISRD), Humanistic English Education Study Group (HEESG), 新潟医療福祉学会

7 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞掲載, (日刊)新潟日報(新潟日報社), 英語で日報抄, 2023.6.18. (囲み記事)
2. 新聞掲載, (日刊)新潟日報(新潟日報社), 英語で日報抄, 2023.10.15. (囲み記事)
3. 新聞掲載, (日刊)新潟日報(新潟日報社), 英語で日報抄, 2024.2.18. (囲み記事)

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 英語コミュニケーション能力と人間性を高める英語授業の活動・タスク・授業モデル開発, 研究分担者(継続)
2. 2022年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 英語授業を改善する4技能5領域でのジャンル正対課題と教授・学習サイクルの開発, 研究代表者(継続)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟県立大学, 教職実践演習特別講義, 10.16, 10.23.
2. 新潟大学 アカデミック英語入門R 2023.10-2024.3.

9 学内委員会活動 AO入試問題作問部会(アドミッション・オフィス), 入試検討英語部会, 国際交流センター運営委員会

9) 社会連携・同窓会推進機構

氏名：佐近 慎平

1 研究題目 こども学，発育発達学，身体教育学，レクリエーション，福祉教育

2 論文

1. 佐近慎平，中曽根裕（2023）保育者の運動遊びの取り組みに関する実態～新潟県の幼児期からの運動習慣アップ支援事業アンケート調査から～，子どもと発育発達，21（2）：125-135
2. 本多理紗，金子勝司，橋浦孝明，中曽根裕，佐近慎平，健康体操教室の参加者を行うニュースポーツのアレンジの研究～活動を通じたコミュニティの醸成～，自由時間研究，2023；49：（印刷中）
3. 佐近慎平，中曽根裕，本多理紗，橋浦孝明，金子勝司，幼児の四肢運動環境構成による協調運動能力の形成，自由時間研究，2023；49：（印刷中）

3 報告書

1. 佐近慎平，西原康行，杉崎弘周，市川浩，研究基盤（C），幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発，研究成果報告書，2021-2023，研究代表者

4 学会等研究発表

1. 佐近慎平，中曽根裕，本多理紗，金子勝司，幼児の四つ這い走を発達させる運動遊び環境の構成要素の研究 令和4年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 9.18.
2. 本多理紗，金子勝司，中曽根裕，佐近慎平，健康体操教室の参加者を行うニュースポーツのアレンジの研究 令和4年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 9.18.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本教育工学会，日本保育学会，日本体育・スポーツ・健康学会，新潟医療福祉学会ほか
- 2) 学術集会の主催
 1. 公益財団法人日本レクリエーション協会，令和5年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議，特任幹事，徳島，2023.9.16.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 公益財団法人日本レクリエーション協会公認養成課程認定校会議関東・甲信越ブロック研修会，レクリエーション研究と質的研究，実行委員，東京，2024.3.1.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 福祉事業型専攻科キンゴカレッジ，フィットネス，講師・監修，キンゴカレッジ利用者，キンゴカレッジ，4.17-3.26.（全45回）
2. 新潟県村上市幼児の体力向上事業，幼児の体力向上事業報告会，講師，新潟県村上市，村上市保育園保育士・総合型スポーツクラブコーチ，村上市生涯学習推進センター，4.20.
3. 社会福祉法人どれみ会 どれみ保育園体育，体育指導，講師，保育園園児及び保育士，川通りどれみ保育園，6.6，7.18，9.12，10.24.
4. 新潟県弥彦村体力向上事業，体育指導，講師，新潟県弥彦村，幼児及び保育士，弥彦保育園，6.20，8.1.（全2回）
5. 新潟県弥彦村体力向上事業，体育指導，講師，新潟県弥彦村，幼児及び保育士，二松保育園，7.1，8.22.（全2回）
6. 新潟県弥彦村体力向上事業，体育指導，講師，新潟県弥彦村，幼児及び保育士，ひかり保育園，6.13，7.11.（全2回）
7. 新潟県長岡市幼児の体力向上事業，体育指導，講師，幼児及び保育士，白山保育園，6.27，7.27，10.17，10.31.（全4回）
8. マンチェスター・シティサッカー教室，健常者と障害児者のユニファイド・サッカー教室，コーチ，マンチェスター・シティ・スペシャルオリムピックス日本，児童（障害児含む），東京都，7.20-7.21.
9. 新潟県新発田市パラスポーツ出前講座，パラスポーツ・福祉教育，講師，新発田市小学校児童及び教

- 員，新発田市小中学校，9.11，9.19，9.20，9.22，11.21.（全8回）
10. 新潟子どものスポーツ応援プロジェクト，スポーツ体験キャラバン，運営委員，市民，デンカビッグスワンスタジアム，9.30.
 11. 目の愛護デーin新潟医療福祉大学，運動指導，講師，幼児，新潟えきなかこども園・附属こども園・白根カトリックこども園，10.10.（全2回）
 12. スペシャルオリンピックスナショナルゲームス，全国大会，競技委員，日本国民，長野市，11.17-11.18.
 13. 令和6年能登半島地震における新潟市の災害復旧ボランティア，災害復旧ボランティア，統括，新潟市民，1.6，1.7，1.8.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. TV・WEBなど，BSN・TBS，小学生が車いすバスケ体験で障がいやパラスポーツを学ぶ 新潟・新発田市，2023.9.19.
 2. 新聞・TV・WEBなど，新潟日報・TBS，トヨタソーシャルフェス，2023.10.10.
 3. 新聞・TV・WEBなど，新潟日報・NHK，新潟市西区災害ボランティア，2024.1.5-1.6.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
- 長岡市幼児の体力向上事業（アドバイザー），村上市幼児の体力向上事業（アドバイザー），弥彦村幼児の体力向上事業（アドバイザー），新発田市パラスポーツ出前講座（アドバイザー）
- 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
- 日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議（特任幹事）
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2023年度，科研費基盤研究（C），幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発，研究代表者
 2. 2023年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，保育者の幼児の四肢運動と保育に関するみとりの熟達による差，研究代表者
 3. 2023年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，健康体操教室の参加者と学生が行うニュースポーツのアレンジの研究，研究分担者
 4. 2023年度，弥彦村幼児の体力向上事業，研究委託，研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際こども・福祉カレッジこども福祉教育学科・児童教育学科，こどもと体育，2023.4.1-2024.3.31.
- 8 学内委員会活動 身体教育研究センター（副センター長），ボランティアセンター長，ボランティアセンター運営委員会委員長

氏名：石井 雅子

- 1 研究題目 視覚障害者のQOL向上に関する研究（ロービジョン医学），視覚障害児の学習支援（特別支援教育），視的環境と視覚機能に関する研究（眼科学）
- 2 著書
 1. 石井雅子. 視能学エキスパート，光学・眼鏡，眼鏡フレームの国内90%以上の生産シェアをもつ鯖江市，第2版，医学書院，2023，259
 2. 石井雅子. 緑内障セミナー283 緑内障患者の読書能力. あたらしい眼科. 2024; 41(1): 51-52.
 3. 石井雅子. 視能学エキスパート，ロービジョンケアⅦ遮光眼鏡. 初版，医学書院，2024，307-316
- 3 論文
 1. Y. Wang, Maeda Y, Nomura T, Ishii M. Temporal Changes in Convergence Distance and Level of Eye Fatigue during Video Viewing on a Smartphone, 2024, Advanced Biomedical Engineering, 52-57.（査読あり）

4 学会等研究発表

1. 石井雅子, 神田結加. Spot™ Vision Screenerの測定値の再現性の検討. 第62回日本生体医工学会大会 2023, 名古屋市, 2023.5.18.
2. 王禹萱, 洪晨君, 前田義信, 野村泰伸, 石井雅子. スマートフォンでの動画視聴時の視線解析－視距離による検討－. 第62回日本生体医工学会大会 2023, 名古屋市, 2023.5.18.
3. 石井雅子. 医療とICTサポートセンターとの協働：中間型アウトリーチの実践, Life2023日本機械学会福祉工学シンポジウム・オーガナイズドセッション. 柏崎市, 2023.9.19.
4. 洪晨君, 王禹萱, 前田義信, 野村泰伸, 石井雅子. 近距離動画視聴時の両眼注視点計測, 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会 2023, 柏崎市, 2023.9.19.
5. 星野有紗, 中山綾佳, 前角安佳里, 石井雅子. 就学前年の幼児のデジタルデバイス視聴と視機能との関係－COVID-19の影響－, 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
6. 中山綾佳, 星野有紗, 田中実和, 関口凜, 土田来夢, 星野葵, 石井雅子. 幼児の視力低下と近視化－3年間の視力と屈折の推移－, 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
7. 石井雅子. シンポジウム：多職種協働を学ぶ意義－学生を育てる社会連携・地域貢献活動－, 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
8. 落合竣, 石井雅子, 福地健郎. ゴールドマン視野計での緑内障患者の視野障害等級の検討, 第64回日本視能矯正学会, 2023.11.18.
9. 市村美香, 松浦将人, 石井雅子, 福地健郎. ロービジョンケアを要した若年開放隅角緑内障の2例, 第113回新潟眼科集談会, 2023.12.16.
10. 井嶋真里, 石井雅子, 落合竣, 福地健郎. ロービジョン児の就学状況と支援内容, 第113回新潟眼科集談会, 2023.12.16.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本眼科学会, 日本ロービジョン学会 (理事), 日本視能訓練士協会, 日本緑内障学会, 日本小児眼科学会, 日本弱視斜視学会, 日本学校保健学会, 視覚障害リハビリテーション協会, 新潟県視能訓練士会 (会長), 中途視覚障害者の復職を考える会 (タートルの会), JRPS網膜色素変性症協会, 日本特殊教育学会, 日本保育保健協議会, 新潟医療福祉学会 ※職能団体でカウントしています
- 2) 学術集会の主催
 1. 2023年度新潟県視能訓練士会研修会, 実行委員長, 新潟, 2023.7.16.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本ロービジョン学会誌編集委員
 2. 日本ロービジョン学会財務担当
 3. 第24回日本ロービジョン学会学術総会プログラム委員
 4. 公益社団法人日本視能訓練士協会専門視能訓練士審議員
 5. 2023年度新潟県視能訓練士会研修会, 教育講演, 三歳児健康診査における屈折検査によるスクリーニングとその基準値, 座長, 新潟県視能訓練士会, 新潟市, 2023.7.16.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和5年度 乳幼児の目や見え方に関する研修会, 講師, 新潟県立新潟よつば学園, 市民・教職員, 上越市, 2023.8.9.
 2. 令和5年度同行援護養成研修, 疾病・障害の理解, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 市民, 新潟市, 2023.6.16.
 3. 新潟県特別支援教育研究会, 視覚障害児教育, 講師, 新潟県教育庁, 特別支援担当教員, 新潟市, 2023.8.7.
 4. 日本視能訓練士協会専門教育プログラムⅡ, 高齢者とロービジョンケア, 視能訓練士, 東京都 (オンライン), 2023.9.18.

5. 喜界島養護教諭の会, 眼の健康講座, 講師, 新潟市 (オンライン), 2024.2.17.
 6. 鯖江市保育協議会総会, 子どもの眼の健康講習, 講師, 鯖江市 (オンライン), 2023.5.20.
 7. 沖の永良部島, 眼の健康講座, 講師, 市民, 鹿児島県和泊町, 2023.3.24.
 8. 保健衛生部会講習会, 就学時視覚健診, 養護教諭, 鯖江市, 2024.1.30.
 9. 葛塚小学校, 眼の健康授業, 講師, 新潟市, 2023.11.27.
 10. 南万代小学校学校保健委員会講演会, 子どもの眼の健康, 新潟市, 2023.7.23.
 11. 成城大学オンライン講座, 子どもの眼の健康, 東京都 (オンライン), 2023.7.23.
 12. 成城大学オンライン講座, 小児のデジタルデバイスと視機能との関係, 東京都 (オンライン), 2023.8.5.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. WEB, NSGサステイナビリティ, 未就学児の眼育(めいく)の活動を学生の実践の場に, 眼の健康づくりの大切さを全国に発信, 2023.5.12.
 2. 鯖江市行政報道番組, さばえホット情報, 目のけんこうづくり～眼育さばえプロジェクト～, 2023.5.27.
 3. NHK福井, ニュースザウルスふくい, 小児弱視用メガネ, 2023.10.11.
 4. 福井新聞, 眼の大切さ劇, ゲームで, 2023.12.15.
 5. NHK福井, ニュースザウルスふくい, 子どもに目の健康を, 2023.12.14.
 6. 石井雅子, あたらしい眼科, 緑内障患者の読書能力, メディカル葵出版, 2024, 51-52.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 五泉市こども課, 3歳児健診, 視覚健診担当およびサポート, 五泉市, 2023.4.1-2024.3.31. (全12回)
 2. 燕市保健センター, 3歳児健診, 視覚健診サポート, 燕市, 2023.4.1-2024.3.31. (全24回)
 3. 鯖江市教育委員会, 就学前視覚健診, 視覚健診担当, 鯖江市, 2023.8.26-8.27.
 4. 弥彦村教育委員会, 就学前視覚健診, 視覚健診担当およびサポート, 弥彦村, 2023.4.1-2024.3.31. (全6回)
 5. 新潟県ブラインドサッカー協会, 練習会, サポート, 新潟市, 2023.3.3.
 6. 白根カトリックこども園, 視覚健診, 健診担当, 新潟市, 2023.10.1, 10.5.
 7. 二葉幼稚園, 視覚健診, 健診担当, 新潟市, 2024.1.24, 1.30.
 8. 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園, 健診担当, 新潟市, 2023.7.26.
 9. 聖ラファエルこども園, 視覚健診, 健診担当, 新潟市, 2023.5.10.
 10. あたとまとこども園, 視覚健診, 健診担当, 新潟市, 2023.10.16, 10.18, 10.26.
 11. 亀田カトリックこども園, 視覚健診, 健診担当, 新潟市, 2023.6.7.
 12. 新潟えきなかこども園, 視覚健診, 健診担当, 新潟市, 2023.8.22.
 13. 清心保育園, 視覚健診, 健診担当, 魚沼市, 2023.12.26.
 14. 弥彦村教育委員会, 就学前視覚健診, 健診担当, 弥彦村, 2023.7.12.
 15. 葛塚市場・盲導犬応援プロジェクト, 猫ピンチ販売, 新潟市, 2023.9.5, 11.5, 2024.3.5.
 16. めがねのまちさばえSDGsフェス, 眼育活動, 学生指導, 鯖江市, 2023.9.30-10.1.
 17. 目の愛護デーin新潟医療福祉大学, 食育×眼育+スポーツ, 学生指導, 新潟市, 2023.10.10.
 18. 目の愛護デーin白根カトリックこども園, 食育×眼育+スポーツ, 学生指導, 新潟市, 2023.10.10.
 19. クリスマスイベント盲導犬応援プロジェクト, 学生指導, 新潟市, 2023.12.23.
 20. 新潟県視能訓練士会, 視覚障害&コンタクトレンズ機器展示会, 新潟市, 2023.7.16.
 21. 鯖江市保育所(中川保育所・ゆたかこども園)眼育講習, 鯖江市, 2023.12.14.
 22. Laguna Square交流スペース オープニングイベント, 参列, 新潟市, 2023.11.5.
 23. 清心保育園, 眼の健康講習, 学生指導, 魚沼市, 2024.1.23.
 24. 2023年度視覚障害学習支援セミナーー夏の会ー, 実行委員, 新潟市, 2023.9.3.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

日本視能訓練士協会（専門視能訓練士審議員）、新潟県アフターコロナを見据えたイノベーション創出支援事業視覚障害者情報支援アプリの開発（コンソーシアムメンバー）、新潟県視覚障害リハビリテーションネットワーク（委員）、新潟県教育庁（こどもの目の相談員）

5) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県視能訓練士会（会長）、日本視能訓練士協会生涯教育制度基礎教育プログラムⅡ指導者、日本視能訓練士協会生涯教育制度基礎教育プログラムⅢ指導者、視覚障害リハビリテーション協会高齢リハビリテーション分科会委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度、科学研究助成（基盤研究（C）：21K02392）子どもの視力低下のメカニズムを解明－近視抑制法の探索－，研究代表者
2. 2022年度、科学研究助成（基盤研究（C）：22K030092）幼稚園から大学まで一貫したデータサイエンスを活用した健康リテラシー教育手法の開発，研究分担者
3. 2023年度、めがねのまちさばえ「眼育」推進事業受託，代表者
4. 2023年度、五泉市3歳児視覚健診事業受託，代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部，眼科臨床実習，2023.4-2024.3.

8 学内委員会活動 社会連携推進センター運営委員会（委員長）

10) プロジェクト研究センター

(1) 言語発達支援センター (Langage Development Center)

①研究テーマ

1. 言語発達障害児における語彙の誤りに関する研究
2. 機能性構音障害児における語彙力に関する研究
3. 発達障害児の言語聴覚療法における後方視的研究

②センター名簿

吉岡 豊, 言語聴覚学科, 教授
石本 豪, 言語聴覚学科, 准教授
栞原 桂, 言語聴覚学科, 准教授
大湊 麗, 言語聴覚学科, 講師
谷 麻美, 言語聴覚学科, 助手

③主な活動内容

1. 学会等研究発表

1. 高橋奈奈, 伊藤さゆり, 吉岡豊. 言語未獲得の先天性聴覚障害者の言語評価・訓練の経過. 第24回日本言語聴覚学会(愛媛), 2023.6.24.
2. 谷麻美, 大湊麗, 吉岡豊. 保護者の主訴と評価が異なった22例の検討. 第24回日本言語聴覚学会(愛媛), 2023.6.24.
3. 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝弘, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原惇, 佐藤真由美, 濃野要, 飯田明彦, 若槻華子, 宮田昌幸, 小林正治, 齋藤功, 高木律男, 富原圭. 二段階口蓋形成手術法における軟口蓋形成術前の後方裂幅と乳歯列期咬合関係の関連. 第47回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京), 2023.5.25-5.26.

2. 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. インターネット, Includvox, 言語聴覚士が足りない!, 2023.12.25.

2) 社会活動への参加協力

1. 阿賀町役場, 言葉の相談会, 言語指導者, 阿賀町津川 やまぶきの里, 2023.4.1-2024.3.31. (年6回開催)

3. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2023年度. 科研費基盤研究C, 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討: 鼻腔共鳴の定量評価の確立, 大湊麗. 研究代表者.

(2) 医療経済・QOL研究センター (Center for Health Economics & QOL Research)

①研究テーマ

1. 国内の薬剤, 医療技術に関する費用対効果の研究
2. 費用効用分析に用いるモデリングの研究
3. 種々の疾患や健康状態に対する健康関連QOL, とくに効用値の測定
4. 国内における費用効果比や効用値に関するデータベースの構築

②センター名簿

センター長: 能登真一, 作業療法学科

客員研究員: 森脇健介, 立命館大学 総合科学技術研究機構 医療経済評価・意思決定支援ユニット (CHEERS) 准教授

客員研究員: 泉 良太, 聖隷クリストファー大学 作業療法学科 教授

③主な活動内容

1. 著書

1. 能登真一. QOLの基礎知識, 健康関連QOLの評価尺度, 評価尺度の測定特性, インデックス型尺度. 能登真一編. QOL評価マニュアル. 東京. 医学書院; 1-30, 44-56, 275-281.
2. 論文
 1. Noto S, Murata T, Saito S, Watanabe T, Kobayashi M. Preferences for Rehabilitation in Persons with a History of Stroke: A Discrete Choice Experiment. Patient Preference and Adherence. 2023; 17: 1611-1620. (review)
 2. Noto S. Perspectives on Aging and Quality of Life. Healthcare. 2023; 11(15): 2131. (review)
 3. Kariya T, Noto S. Effect of Motivational Autonomy on Rehabilitation in Convalescent Stroke Patients. Asian Journal of Occupational Therapy. 2024; 20: 21-28. (review)
 4. Narita A, Koto Y, Noto S, Okada M, Ono M, Baba T, Sagara R, Sakai N. Development and evaluation of a patient-reported outcome measure specific for Gaucher disease with or without neurological symptoms in Japan. Orphanet Journal of Rare Diseases. 2024; 19(1): 11. (review)
 5. Kanegane H, Ishimura M, Kawai T, Okada S, Okamatsu N, Go M, Noto S. Patient-reported outcomes in patients with primary immunodeficiency diseases in Japan: baseline results from a prospective observational study. Frontiers in Immunology. 2023; 14: 1244250. (review)
 6. Koto Y, Narita A, Noto S, Okada M, Ono M, Baba T, Sagara R, Sakai N. Burden of caregivers of patients with neuronopathic and non-neuronopathic Gaucher disease in Japan: A survey-based study. Molecular Genetics and Metabolism Reports. 2023; 36: 100994. (review)
 7. Amaki M, Moriwaki K, Nakai M, Yamano T, Okada A, Kanzaki H, Izumo M, Usuku H, Onishi T, Nagai T, Miyamoto Y, Fujita T, Kawai H, Akashi Y, Tsujita K, Matoba S, Kobayashi J, Izumi C, Anzai T. Cost-effective analysis of transcatheter aortic valve replacement in patients with severe symptomatic aortic stenosis: A prospective multicenter study. J Cardiol. 2024 Mar; 83(3): 169-176.
 8. Morimoto K, Moriwaki K, Shimozuma K, Nakayama T. Cost-effectiveness analysis of nivolumab plus chemotherapy vs chemotherapy for patients with unresectable advanced or metastatic HER2-negative gastric or gastroesophageal junction or esophageal adenocarcinoma in Japan. J Gastroenterol. 2023 Dec; 58(12): 1188-1197.
 9. 白岩 健, 能登真一, 小林 慎, 福田 敬. CHEERS (Consolidated Health Economic Evaluation Reporting Standards) 2022 詳細と解説—ISPOR (国際医薬経済・アウトカム研究学会) CHEERS II Good Practices タスクフォース報告書—. 保健医療科学. 2023; 72 (4) : 344-369.
 10. 泉良太, 佐野哲也. 回復期リハビリテーション病棟脳卒中患者におけるEQ-5D-5Lの測定特性の検討—臨床的に意義のある最小変化量 (MCID) について—. 総合リハ. 2023; 51 (8), 881-884.
 11. 青柳翔太, 泉良太. 回復期リハビリテーション病棟における認知機能障害者のQOLに対するADL, 作業適応, 性格特性の影響—構造方程式モデリングを用いた検討—. 作業療法. 2023; 42 (3), 319-327.
3. 学会等研究発表
 1. Noto S, Shimozuma K, Saito S, Fukuda T, Shiroywa T, Ishida H, Iwatani T, Saito S. Relationship between Health-State Utility Values, Self-Efficacy, and Health Locus of Control in the General Population. ISPOR 2023 (Boston). 7-10 May 2023.
 2. Noto S, Shiroywa T, Murata T, Saito S. Feasibility and Validation of the Japanese Version of the EQ-HWB. ISPOR EUROPE (Copenhagen). 12-15 Nov 2023.
 3. Rendas-Baum R, Bjorner J, Preckler V, Matsuki T, Ho Y4, Molnar D, Noto S, Igarashi A. Estimating the Respiratory Syncytial Virus (RSV) Health Utility Values for Older Adults and their Caregivers in the Japanese population: a Time Trade-Off (TTO) study. ISPOR EUROPE (Copenhagen). 12-15 Nov 2023.

4. Izumi R, Sano T, Nagayama H, Noto S. Elucidation of changes in health-related QOL and the MCID in cardiovascular diseases -Pilot study-. ISOQOL 30th Annual Conference (Calgary). 18-21 Oct. 2023.
5. Narita A, Koto Y, Noto S, Okada M, Hamada A, Ono M, Sagara R, Sakai N. Development and evaluation of a patient-reported outcome measure specific for Gaucher disease with or without neurological symptoms in Japan. 日本小児神経学会 (岡山), 2023.5.27
6. Ono M, Koto Y, Narita A, Koto Y, Noto S, Okada M, Sagara R, Sakai N. Assessing the burden on caregivers of patients with Gaucher disease in Japan. 19th Annual WORLDSymposium (オンライン). 22-26 Feb, 2023.
7. Sano T, Izumi R, Ayumi T. Factors that Improve Health-Related QOL at 3 Months after Discharge from a Recovery-Phase Rehabilitation Ward. International society of quality of life research 30th annual conference. Calgary, Canada. 2023.10.18-10.21.
8. 能登真一. 作業療法と Well-Being -地域共生社会の実現に向けて- 作業療法と Well-Beingに関連する QOL 評価. 第 60 回日本リハビリテーション医学会 (福岡), 2023.7.2. 【シンポジウム】
9. 能登真一. QOL・PRO を通じ見えてくる日本人の健康に関する価値観. 第 45 回日本血栓止血学会 (北九州), 2023.6.15. 【特別講演】
10. 能登真一. 測定と解析の方法 - QOL 研究特有の経時的な複数アウトカムの比較方法 -. 第 11 回 QOL-PRO 研究会学術集会 (京都), 2023.12.23. 【シンポジウム】
11. 能登真一. アウトカムとしての PRO・QOL 測定の意義. 第 64 回日本先天代謝異常学会学術集会 (大阪), 2023.10.6. 【教育講演】
12. 萩原康博, 和泉翔喜, 松山裕, 白岩健, 平成人, 川原拓也, 此村恵子, 能登真一, 福田敬, 下妻晃二郎. 先行するがん特異的プロファイル型健康関連 QOL 尺度が後続する EQ-5D-5L への回答に与える影響. 第 11 回 QOL-PRO 研究会学術集会 (京都), 2023.12.23.
13. 能登真一. Utility と QALY の基礎知識. 第 20 回 QOL-PRO 研究会セミナー (オンライン), 2023.3.20. 【シンポジウム】
4. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況
 1. 2021 年度, 科研費基盤研究 (B), 健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究, 能登真一・研究代表者
 2. 2021 年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), AI ソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発, 能登真一・研究代表者
 3. 2020 年度, 科研費基盤研究 (A), レセプトデータを基軸としたデータ駆動型臨床疫学研究の基盤開発, 能登真一・研究分担者
 4. 2022 年度, 科研費基盤研究 (C), リハビリテーション医療分野におけるナッジの解明: 使用状況と健康関連 QOL について, 泉良太・研究代表者
 5. 2023 年度, 科研費基盤研究 (C) 効率性フロンティアに基づく医療技術の価格調整法の開発と医療経済的便益の評価, 森脇健介・研究代表者
 6. 2023 年度, 厚生労働行政推進調査事業費補助金, 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における分析ガイドラインの改定に資する研究, 能登真一, 森脇健介・研究分担者
 7. 2023 年度, クレコンメディカルアセスメント株式会社 研究寄付金, 能登真一, 研究代表者

(3) ロコモティブ症候群予防研究センター (Research Center for Locomotive Syndrome Prevention)

① 研究テーマ

1. 県内市町村, 新潟市北区住民へのロコモ予防に貢献するために支援システムの研究. 実践を行う.
2. 運動器慢性疼痛における諸因子の調査研究を行う.
3. 産業保健における運動器慢性疼痛予防についての支援システムの研究・実践を行う.

②センター名簿

センター長	：佐藤成登志	義肢装具自立支援学科 教授
副センター長	：山本智章	新潟リハビリテーション病院 院長
研究員	：古西 勇	理学療法学科 教授
研究員	：神田 賢	義肢装具自立支援学科 講師
研究員	：立石 学	新潟田リハビリテーション病院 技士長
研究員	：高野義隆	新潟リハビリテーション病院 部長
客員研究員	：小林量作	新潟リハビリテーション大学
客員研究員	：北村拓也	新潟リハビリテーション大学

③主な活動内容

1. 論文

1. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 渡邊慶, 佐藤成登志. 腰痛の有無における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－体幹伸展動作とこれだけ体操での比較－. Journal of Spine Research. 2023 ; 14 : 945-952 (査読あり)
2. Sato N, Konish I, Kanda M, et al. Classification and comparison of the Physical Characteristics and Functions of various age groups of Community-dwelling elderly individuals participating in the Kayoi-no-ba program. J Phy. Ther. Sci. 36: 313-318, 2024 (review)
3. Kanda M, Suda H, Marda Y, Sato M, Sato N. Effects of remote classes on the physical health of university students during the COVID-19 pandemic. J Phy. Ther. Sci. 36: 151-154, 2024 (review)
4. Sato M, Katsuhira J, Kanda M, Ehara Y. Comparison of changes in thigh circumference during the menstrual cycle between female transfemoral amputees and non-amputee females: examination of the reliability and comparison of diurnal and day-to-day fluctuations. J Phy. Ther. Sci. 35: 276-280, 2023 (review)
5. 渡邊司, 古西勇, 東畠弘子, 山本澄子. コスタリカの貧困地方における慢性腰痛患者に対する自主練習メニューを用いた運動指導の後方視的評価. 国際医療福祉大学学会誌. 2024 ; 29 (1) : 32-41.

2. 報告書

1. 佐藤成登志, 神田賢, 古西勇, 他. 介護予防における大学との連携事業. 2023年度報告 研究分担者

3. 学会等研究発表

1. Kitamura T, Kanda M, Sato N, Watanabe K. Short and medium term effects of exercise therapy for patients with adult spinal deformity. ISSLS9th (Melborn MCEC), 2023.5.5.
2. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 成人脊柱変形患者に対する教育を加えた運動療法の短・中期効果. 第31回日本腰痛学会 (徳島), 2024.12.1.
3. 北村拓也, 木村慎二, 大鶴直史, 細井昌子, 柴伸昌, 柳澤義和, 中島陽平, 御手洗七海, 田村友典. 慢性疼痛患者に対するいきいきリハビリノートを用いた認知行動療法に基づく運動促進法の効果検証 (第2報), 第15回日本運動器疼痛学会 (富山), 2023.11.4.
4. 北村拓也, 倉茂恭花, 今井俊輔, 藤島愛基, 吉田一輝, 大倉毅斗. 金疲労に対する4種の異なる介入方法の比較検証. 第29回新潟県理学療法学会 (新潟), 2024.2.25.
5. Kanda M, Kitamura T, Konishi I, Watanabe K, Sato N. Comparison of the Intramuscular Circulation of Lumbar Multifidus in Subjects with and without Low Back Pain in Trunk Extension and Extended Exercise Position. ISSLS Spineweek2023. (Merborn, Australia), 2023.5.1-5.5.
6. Kanda M, Kitamura T, Konishi I, Watanabe K, Sato N. The Intramuscular Circulation of Lumbar Multifidus in Subjects with and without Low Back Pain-Comparison between Trunk Extension and Extended Exercise Position. ISOTT 2023. (Tokyo, Japan), 2023.9.27-10.1.

7. 中島涼香, 佐藤未希, 神田賢. 車椅子座位時の異なる座角が腰部多裂筋の筋血流に与える影響－経時的变化に着目して－. 第39回日本義肢装具学会学術大会, 2023.10.28-10.29. (岡山)

4. 学会活動

1. 第29回新潟県理学療法学会学術大会, 学術活動, 組織代表, 上越市, 2024.2.24・2.25.
2. 第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 演題査読(3件), 埼玉, 2023.10.14-10.15.
3. 第10回日本地域理学療法学会, 演題査読(1件), 東京, 2023.12.16-12.17.
4. 第10回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学会, 演題査読(4件), 岡山, 2023.11.25-11.26.
5. 日本地域理学療法学会, 論文査読員, 2023.
6. 第9回日本運動器理学療法学会, 演題座長, 福岡, 2023.10.14.

5. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 三重県理学療法士会研修会, 職業性腰痛の特徴と教育・管理, 講師, 三重県理学療法士会, 理学療法士, Web, 2023.7.30.
2. 理学療法士の現状と展望等について, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2023.7.15.
3. 健康講座 元気で過ごせるための予防法, 講師, 柏崎市茨目米峰会, 柏崎市茨目米峰会の会員, 柏崎市, 2023.8.6.
4. 安全管理研修会 安心・安全に働くための転倒・腰痛予防の方法と実践, 講師, 水澤化学工業, 工業関係者, 胎内市, 2023.8.21.
5. 十日町シルバー人材センター 運動機能測定会, 測定者・講師, 十日町シルバー人材センター 会員, 十日町市, 2023.10.23.
6. 労働災害(転倒・腰痛)について, 講師, 医師会, 産業医, 燕市, 2023.10.25.
7. 安全管理研修会 安心・安全に働くための転倒・腰痛予防の方法と実践, 講師, (株)黒崎白土工業, 工業管理者, 新発田市, 2023.10.31.
8. ICTを活用した事業, ミニ講話(転倒・関節痛予防), 講師, 地域住民(胎内市笹口浜), 胎内市, 2023.11.7.
9. ICTを活用した事業, ミニ講話(転倒・関節痛予防), 講師, 地域住民(胎内市新栄町), 胎内市, 2023.11.10.
10. 健康講座 元気で過ごせるための予防法, 講師, 新潟市山潟包括支援センター, 地域住民, 新潟市, 2023.11.17.
11. 労働災害(転倒・腰痛)について, 講師, 医師会, 産業医, 長岡市, 2023.12.9.
12. ICTを活用した事業, ミニ講話(転倒・関節痛予防), 講師, 地域住民(胎内市新保町), 胎内市, 2023.12.22.
13. 就労支援事業: 労働災害予防のためのセミナー, 安心・安全に働くための転倒予防の方法と実践, 講師, (株)東洋濾紙, 社員, 聖籠町, 2024.2.5.
14. 就労支援事業: 運動機能測定会, 測定者・講師, 柏崎ウオロク店, 社員, 柏崎市, 2024.1.14.
15. 就労支援事業: 運動機能測定会, 測定者・講師, 十日町イオン, 社員, 十日町市, 2024.2.6.
16. ICTを活用した事業, 調査・講師, 地域住民(胎内市新保町), 胎内市, 2024.2.16.
17. 厚生労働省慢性疼痛事業第2回新潟県慢性疼痛研修会. ファシリテーター, 新潟大学医歯学総合病院+オンライン, 2023.1.29.
18. 厚生労働省慢性疼痛事業第2回新潟県慢性疼痛研修会. ファシリテーター, 新潟大学医歯学総合病院+オンライン, 2024.2.4.
19. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座「肩こり解消に向けて」, 新潟市北区木崎, 2023.7.8.
20. コミュニティ木崎村福祉部会健康体操講座「腰痛解消に向けて」, 新潟市北区木崎, 2023.9.2.

21. 新潟県理学療法士会 2023年度 理学療法士講習会「非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際」, 講師, 新潟市北区, 2024.3.16-3.17.
 22. 鎮誠会講演, 脊柱変形と慢性腰痛, 講師, 姫島クリニック, 2023.4.21.
 23. NPO 法人つばさフォーラム, 白血病と運動, 講師, 福井商工会議所ビル会議室, 2023.8.5.
 24. 産業保健セミナー, 「職業性腰痛の特徴とその予防法について～腰痛予防運動・セルフケアを取り入れて～」, 講師, 独立行政法人労働者健康安全機構新潟産業保健総合支援センター, 新潟ユニゾンプラザ, 2023.8.3.
 25. 臨床実習指導者講習会, 世話人, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 新潟リハビリテーション大学 (村上市), 2024.3.2-3.3.
 26. 新潟県理学療法士会, 領域別講習会応用編 (運動器), 「非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際」, 講師, 新潟県理学療法士会, 全国理学療法士, 新潟医療福祉大学, 2024.3.16-3.17.
- 2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞掲載, 新潟日報, 腰痛, 2024.1.31.
- 3) 社会活動への参加協力
1. (公社) 日本理学療法士協会・組織運営委員会, 組織運営, 県代表, web, 2023.4-2024.3 (2回)
 2. (公社) 新潟県理学療法士会・総会, 会長, 新潟, 2023.6.25.
 3. (公社) 新潟県理学療法士会・理事会, 会長, 新潟, 2023.4-2024.3 (6回)
 4. (公社) 新潟県理学療法士会・関連会議, 会長, 新潟, 2023.4-2024.3 (22回)
 5. (公社) 新潟県介護福祉士会・理事会, 外部理事, web, 2023.6.
 6. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議, 県代表, web, 2023.10-2024.2 (2回)
 7. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議, 会長, 新潟, 2023.4-2024.3 (8回)
 8. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議, 会長, 新潟, 2023.4-2024.3 (6回)
 9. (公社) 新潟県理学療法士会 理事 (広報部部長)
 10. (公社) 新潟県理学療法士会 学術誌部部員
 11. (公社) 新潟県理学療法士会 総会出席, 理事, 新潟, 2023.6.25.
 12. (公社) 新潟県理学療法士会 理事会出席, 理事, 新潟県理学療法士会事務局 + Zoom, 5回 (年度)
 13. (公社) 新潟県理学療法士会 広報部会議, 理事, Zoom, 4回 (年度)
 14. 厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデル事業ワーキンググループ委員
 15. 厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデル事業, 研修会会議, Zoom, 2023.5.30.
 16. 慢性疼痛多施設共同研究, 「慢性疼痛患者に対する認知行動療法に基づくいきいきリハビリノートによる運動促進法の効果判定」, 臨床データ収集, 研究員, 新潟大学医歯学総合病院, 24回 (年度)
 17. 慢性疼痛多施設共同研究, 「慢性疼痛患者に対する認知行動療法に基づくいきいきリハビリノートによる運動促進法の効果判定」, 会議, 研究員, Zoom, 2回 (年度)
 18. 日本運動器理学療法学会, 多施設共同研究, 「脊柱後弯姿勢に対する外来理学療法の効果」, データ収集, 副代表, 新潟リハビリテーション病院, 48回 (年度)
 19. 日本運動器理学療法学会, 多施設共同研究, 「脊柱後弯姿勢に対する外来理学療法の効果」, 会議, 副代表, Zoom, 2023.7.13.
6. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況
1. 2020年度, 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 佐藤成登志, 研究分担者
 2. 2023年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 研究分担者
7. その他の活動
- 1) 新潟県高齢者保健福祉推進協議会 (委員), 新潟県循環器病対策推進協議会 (委員), 新潟市北区自治

協議会（委員）

（４）シティズンシップ教育実践研究センター（Citizenship Education Practical Research Center）

①研究テーマ

1. QOLサポーター育成に必要なシティズンシップ教育プログラムの開発，実践
2. 地域資源を活用したシティズンシップ教育プログラムの開発，実践
3. 上記教育プログラムの開発，実践に伴う調査
4. Embodied Knowledge, Human Resource Management

②センター名簿

センター長：西原康行，健康スポーツ学科，教授
研究員：吉田重和，健康スポーツ学科，教授
研究員：佐藤裕紀，健康スポーツ学科，講師
研究員：山本悦史，健康スポーツ学科，助教
研究員：五十嵐紀子，教育・学生支援機構，准教授
研究員：原口彩子，社会福祉学科，准教授
研究員：杉本 洋，看護学科，教授

③主な活動内容

1. 著書

1. 西原康行，はじめて学ぶスポーツマネジメントの基礎と実践，岐阜：株式会社みらい；2023：83-100.
2. 杉本洋，メンタルヘルスと表現の実践・知・展開，新潟：太陽書房；2024.
3. 山本悦史，図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント 改訂版，東京：2024：38-49, 88-99.
4. 中田麗子，佐藤裕紀，林寛平，本所恵，北欧教育研究会編著 北欧の教育再発見－ウェルビーイングのための子育てと学び：東京：2023：53-57，り73-77，103-107，116-120，126-129，144-148，255-257.
5. 荒川大靖，原口彩子，渡邊恵司，大屋未輝，丸田秋男，渡邊敏文，青木茂，新潟医療福祉大学社会福祉学部編著 にいがたの未来を担うソーシャルワーク専門職の研究・教育・実践，新潟：新潟医療福祉大学社会福祉学部；2023：16-29.

2. 論文

1. 鵜瀬亮一，内山渉，大矢真史，西原康行，アイトラッキングシステムを用いた熟達投手コーチの「みえ」の顕在化，日本教育工学会論文誌（協力学術研究団体），2024；48（1）：89-97.
2. 五十嵐紀子，杉本洋，使者との対話をつくる場－リレー・フォー・ライフにおける語りと絆の継続，仏教看護・ビハーラ，2024；18：54-66.
3. 若井由梨，山本悦史・上田純平，プロの舞踊家によるダンス指導が大学ダンス部員にもたらす効果：身体面に関する効果に着目して，大学体育スポーツ学研究（協力学術研究団体），2024；21：51-62.
4. 本間崇教・山本悦史・島田達人，野球独立リーグの観戦者特性：愛着の対象に着目して，松本大学研究紀要，2024；22：107-114.
5. 佐藤裕紀，北欧の教育最前線 デンマークの若者が飲酒する深い理由，教育新聞，2023.（参考URL <https://www.kyobun.co.jp/article/cu20230513>）
6. 佐藤裕紀，北欧の教育最前線 入学を勝ち取るために住所を変える デンマーク，教育新聞，2023.（参考URL <https://www.kyobun.co.jp/article/cu20230722>）
7. 佐藤裕紀，北欧の教育最前線 幸福について考える博物館 デンマーク，教育新聞，2023.（参考URL <https://www.kyobun.co.jp/article/2023091601>）
8. 佐藤裕紀，デンマークの宗教教育・市民性教育－社会・政治とつながり，教育活動全体で育む，季刊人間と教育，2023；120：112-117.

9. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 人と人をつなげる場 国民の家アブサロン. 教育新聞. 2023. (参考 URL <https://www.kyobun.co.jp/article/2024010611>)
 10. 佐藤裕紀. デンマークにおける社会的包摂と教育 ー共に学び, 当事者の参画を支えるー. 季刊教育法. 2023; 220: 58-61.
3. 報告書
1. 西原康行. 基盤研究 (B), VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 2019-2023, 研究代表者.
 2. 佐藤裕紀. 若手研究, デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究, 研究成果報告書, 2018-2022. 研究代表者.
4. 学会等研究発表
1. Nishihara Y. Children's sports environment in Japan.. 22th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria < Webinar >). 2023.8.20-8.21.
 2. Nishihara Y. Research on Immediate Responses of Physical Education Teachers. European Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig < Webiner >), 2023.9.12. 【教育講演】
 3. Nishihara Y. CHARACTERISTICS AND DIFFERENCES IN THE VERBAL RESPONSES OF EXPERT AND NOVICE BASKETBALL COACHES ELICITED BY COGNITION OF FIXED VTR IMAGES AND VR IMAGES. European College of Sport Science (France < Online >), 2023.7.4-7.6.
 4. 西原康行. 産学連携によるスポーツ科学支援・スポーツ庁スポーツ科学コンソーシアムシンポジウム. (新潟: 朱鷺メッセ), 2023.12.23. 【シンポジウム】
 5. 西原康行. 保健・医療・福祉分野の産官学連携のあり方. 新潟医療福祉学会学術集会 (新潟: 新潟医療福祉大学), 2023.10.28. 【シンポジウム】
 6. Sugimoto H, Igarashi N. Self-Formation Through Interactive Lectures by Individuals with Lived Experiences. The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Hong Kong), 2024.3.6-3.7.
 7. 杉本洋. パフォーマンス活動を行う人々による講演会: 当事者活動の実践の理解に向けて. 第31回日本健康教育学会学術大会 (東京), 2022.7.23.
 8. 五十嵐紀子, 杉本洋, 原口彩子. ペット飼育崩壊から学ぶ多機関連携と伴奏型支援. 第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (名古屋), 2023.11.26.
 9. Sugimoto H. Insights from Fieldwork Research: Community Mental Health in the Age of Information and Communication Technology Transformation, Halu Oleo International Conference on Public Health (HOICPH) (kendari, online), 2023.11.13. 【Keynote speech】
 10. Sugimoto H. The Expansion of Advocacy Activities and Community Health. INC 2023 The 14th International Nursing Conference (Seoul), 2023.11.2-11.3.
 11. Sugimoto H, Kurebayashi Y, Murakami S. Stigma Reduction Efforts That People with Mental Illness Are Involved In: Considerations from the Practices of a Community-Oriented Psychiatric Clinic. The 27th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (Hong Kong), 2024.3.6-3.7.
 12. 五十嵐紀子. 動物を介したつながり創出の可能性: ペット飼育支援が閉じた扉を開く. 日本コミュニケーション学会東北支部研究大会 (オンライン), 2023.12.2.
 13. 山本悦史. スポーツ経営・マネジメント系学会の現在と未来ー人文社会学系隣接領域学会との関わりを視野に入れてー. 日本体育・スポーツ経営学会 第2回研究報告会 (オンライン), 2023.10.26.
 14. 山本悦史. チームや企業との共同研究. 日本体育・スポーツ経営学会 第47回大会 (久留米大学), 2024.3.15.
 15. 佐藤裕紀. 社会教育のコーディネート機能に着目した教材の開発に向けて: 先行事例の分析と社会教

育主事講習での試行. 日本生涯教育学会第44回大会（東京），2023.11.25.

16. Hayashi K, Sawano Y, Hasegawa N, Nakata R, Nakazawa C, Sato H, Watanabe A. Comparative Study of Diversity in Civics Textbooks in the Nordic Countries and Japan. Nordic Educational Research Association (Malmö・Sweden), 2024.3.7.
17. 原口彩子, 石本豪. 大学生の自殺予防に対する「パパゲーノメール」の効果：第45回全国大学メンタルヘルス学会（札幌医科大学），2023.12.22.

5. 学会活動

1. 日本体育・スポーツ・健康学会 代議員
2. 体育学研究 査読委員
3. 日本教育工学会論文誌 査読委員
4. 大学体育スポーツ教育学研究 査読委員
5. スポーツ産業学研究 査読委員
6. Educational Technology Research, Peer Reviewer
7. ECNSI Journal of Education, Editorial Board
8. 日本ヘルスコミュニケーション学会機構 評議員
9. 体育学研究, 査読委員
10. スポーツマネジメント研究, 査読委員
11. スポーツ産業学研究, 査読委員
12. 日本体育・スポーツ経営学会, 編集委員
13. 日本体育・スポーツ経営学会, 研究・国際委員
14. 日本体育・スポーツ経営学会第47回大会, 一般発表, 座長, 久留米市, 2024.3.17.
15. 日本生涯教育学会（理事）
16. 日本生涯教育学会論集 査読委員

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁（スポーツ庁事業）, 長岡市, 2023.7.1.
2. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁（スポーツ庁事業）, 燕市, 2023.7.23.
3. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁（スポーツ庁事業）, 上越市, 2023.8.20.
4. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁（スポーツ庁事業）, 湯沢町, 2023.9.10.
5. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会（スポーツ庁）, Zoom, 2023.8.26.
6. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会（スポーツ庁）, Zoom, 2023.9.1-9.3.
7. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市（新潟県教育庁）, 2023.5.31.
8. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市（新潟県教育庁）, 2023.6.22.
9. Inbound Visiting Lecture, Fieldwork Research in Community Health Related to Mental Health, Hassanuddin University, Nursing student, 2023.9.13.
10. 緩和ケアリンク新潟研修会, 言葉の通じない外国人に関する緩和ケア, 講師, 緩和ケアリンク新潟, 新潟市, 2023.7.21.
11. 介護福祉士ファーストステップ研修, コミュニケーション技術の応用的な展開, 講師, 新潟県介護福祉士会, 新潟市, 2023.7.16, 8.5.
12. 東北工業大学 Well-being 研究所講演会, がんになってみつけたしあわせな生き方, 講師, 東北工業大学 Well-being 研究所, Zoom, 2023.9.15.
13. ピンクリボンホリデー2023講演, がんになる前の私に伝えたいこと～キャンサーギフトを手に入れて～, 講師, 2023.10.15.

14. 五泉市アーバンスポーツ施設等検討委員会 第5回検討委員会, スポーツを活用した「まちづくり」の視点～Gosen “PUSH” PROJECTの報告を受けて～, 講師, 五泉市, 五泉市長・教育委員長・五泉市スポーツ推進課職員, 五泉市総合会館, 2024.2.19.
 15. 講演会, 地域を元気にするスポーツの力, 講師, 五泉市, 五泉市スポーツ推進課職員・五泉市スポーツ協会職員・五泉市スポーツ推進委員, 五泉市総合会館, 2024.3.9.
 16. 新潟市教育委員会, 新潟市の中学生のための地域クラブ活動指導者向け研修, 講師, 2024.3.1-3.31.
 17. 令和5年度新潟市公民館新任職員研修, 地域づくりにおける公民館の果たすべき役割～なりたちとこれから～, 講師, 新潟市中央公民館, 公民館職員, 新潟市, 2023.5.10.
 18. 第62回中越地区社会教育研究集会小千谷・魚沼大会, 生きる喜びを感じられる学び～社会的包摂における社会教育の役割～, 講師, 第62回中越地区社会教育研究集会小千谷・魚沼大会実行委員会事務局, 生涯学習, 社会教育関係者, 魚沼市, 2023.8.10.
 19. 村上市教育委員会 令和5年度村上市コミュニティ・スクール研修会, これからの コミュニティ・スクールについて –社会教育・社会的包摂の視点から–, 講師, 村上市教育委員会, 一般市民, コミュニティスクール運営協議会関係者, 村上市, 2023.11.28.
 20. ゆめパのじかん映画上映会, 生きる喜びを感じられる 学び・遊び・場 ～北欧デンマークの教育最前線から～, 講師, 良い映画を見る小千谷市民の会・共創子育て会子どもダカラ, 一般市民, 小千谷市, 2023.12.3.
 21. 第41回「海外教育事情調査研究会」, 北欧諸国における教育のウェルビーイングと社会福祉, 講師, 文部科学省, 文部科学省, 国立教育政策研究所, 国会図書館関係官, その他外部協力者等, 2024.3.1.
 22. 聖籠町子ども家庭相談センタースーパーバイザー事業, 講師, 聖籠町子どもソーシャルワーカー, 聖籠町, 2023.4-2024.3.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, 新潟日報, 部活動の地域移行に向けて, 2023.4.14. 【囲み記事】
 2. 新聞, 新潟日報, 部活動の地域移行 新潟県の進捗, 2022.6.25.
 3. 新聞, 新潟日報, 新潟市スポーツ未来構想会議, 2023.12.1. 【囲み記事】
 4. TV, UX: スーパーJにいがた, 部活動の地域移行の取り組み (新潟県部活動改革委員会), 2023.4.14. 【座長取材】
 5. TV, NHK: ニュース610, 部活動の地域移行の取り組み (新潟県部活動改革委員会), 2023.4.14. 【座長取材】
 6. TV, BSN: ゆうナビ, 部活動の地域移行の取り組み (新潟県部活動改革委員会), 2023.4.14. 【座長取材】
 7. TV, NST: Newsタッチ, 部活動の地域移行の取り組み (新潟県部活動改革委員会), 2023.4.14. 【座長取材】
 8. TV, Teny: 新潟一番, 部活動の地域移行の取り組み (新潟県部活動改革委員会), 2023.4.14. 【座長取材】
 9. TV, UX: スーパーJにいがた, 新潟市スポーツ未来会議, 2023.12.1. 【座長取材】
 10. TV, NHK: ニュース610, 新潟市スポーツ未来構想会議, 2023.12.1. 【座長取材】
 11. TV, BSN: ゆうナビ, 新潟市スポーツ未来構想会議, 2023.12.1. 【座長取材】
 12. TV, NST: Newsタッチ, 新潟市スポーツ未来構想会議, 2023.12.1. 【座長取材】
 13. TV, Teny: 新潟一番, 新潟市スポーツ未来構想会議, 2023.12.1. 【座長取材】
 14. 新聞, 北海道新聞, 五輪透明性どう確保 信頼回復へ実効性カギ, 2023.5.23.
 15. 新聞, 北海道新聞, 五輪汚職・談合 再発防止策原案提示 実効性確保が課題 札幌市が検討委, 2023.10.3.

16. WEB, PR TIMES, 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」受賞作品の決定, 2023.11.21.
 17. WEB, 東洋経済オンライン, 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」受賞作品の決定, 2023.11.21.
 18. WEB, 産経ニュース, 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」受賞作品の決定, 2023.11.21.
 19. WEB, 時事ドットコム, 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」受賞作品の決定, 2023.11.21.
 20. WEB, PR TIMES, 【新潟医療福祉大学】スポーツ庁のコンペで優秀賞を受賞！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」, 2023.11.30.
 21. WEB, Rakuten Infoseek News, 【新潟医療福祉大学】スポーツ庁のコンペで優秀賞を受賞！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」, 2023.11.30.
 22. WEB, excite ニュース, 【新潟医療福祉大学】スポーツ庁のコンペで優秀賞を受賞！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」, 2023.11.30.
 23. WEB, スポーツ庁WEB広報マガジン DEPTARE, まち全体まるごとスポーツに親しむことができる場へ！「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション2023」初開催！, 2023.12.6.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2023.4.1-2024.3.31.
 2. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2023.4.1-2024.3.31.
 3. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2023.4.1-2024.3.31.
 4. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2023.4.1-2024.3.31.
 5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO 法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2023.4.1-2024.3.31.
 6. J1 アルビレックス新潟, コンプライアンス委員会, 委員, 2023.4.1-2024.3.31.
 7. 新潟市勤業審議会, 新潟市環境政策の検討, 委員, 2023.4.1-2024.3.31.
 8. 新潟市国民健康保険運営協議会, 国民健康保険料率の検討, 委員, 2023.4.1-2024.3.31.
 9. 新潟市動物愛護協会ねこ委員会, 猫の殺処分ゼロに向けた活動, 委員, 2023.4.1-2024.3.31.
 10. 新潟県乳がん検討委員会, 乳がんによる死亡率を減らすための施策検討, 委員, 2023.4.1-2024.3.31.
 11. 新潟はっぴー乳ライフ, 乳がん検診受診率向上のための活動, 委員, 2023.4.1-2024.3.31.
 12. リレー・フォー・ライフ・ジャパン・にいがた実行委員会, がん征圧・がん患者支援のための活動, 副実行委員長, 2023.4.1-2024.3.31.
 13. 新潟アルビレックスBC, 観戦者調査, 調査員(代表), HARDOFF ECO スタジアム新潟, 2023.6.30.
 14. 胎内DEERS, ホームゲーム運営協力, 学生ボランティア派遣・統括, 胎内市総合グラウンド陸上競技場, 2023.5.6.
 15. 五泉市アーバンスポーツ施設等整備検討委員会, 委員, 五泉市, 2023.7.18-2024.3.31.
 16. 新潟市陸上競技場及び新潟市体育館指定管理者申請者評価会議, 委員, 新潟市, 2023.7.6-10.12.
 17. 新潟市南区体育施設指定管理者申請者評価会議, 委員, 新潟市, 2023.7.20-10.13.
 18. 株式会社モザイクワーク, 新規サービス(モノサシ)の開発に対する助言, 新潟市, 2023.10.25-10.27.
7. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況
1. 2023年度, 基盤研究(C), 保育者としての成長過程に沿ったVR・Learning教材の開発, 研究分担者

2. 2023年度, 基盤研究 (C), VR技術とアイトラッキングシステムを用いた熟達野球投手コーチの「わざ」の顕在化, 研究分担者
3. 2021年度, 基盤研究 (C), 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究分担者
4. 2023年度, 基盤研究 (C), 体育教師の自覚的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究代表者
5. 2022年度, 基盤研究 (C), プロスポーツにおけるCSV経営の普及に向けた包括的研究, 研究代表者
6. 2023年度, 基盤研究 (C), 教員の職能成長を支えるメンタリングの国際比較－指導者（メンター）に着目して, 研究代表者
7. 2023年度, 基盤研究 (C), フォルケホイスコーレの受容と生涯学習政策の実証的考察：日韓比較を通じて, 研究代表者
8. 2023年度, 基盤研究 (C), 教員の職能成長を支えるメンタリングの国際比較－指導者（メンター）に着目して, 研究分担者
9. 2021年度, 基盤研究 (B), 北欧諸国における教科書の中の多様性（ダイバーシティ）の実相に関する研究, 研究分担者
10. 2021年度, 基盤研究 (C), 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 研究代表者
11. 2023年度, 古泉財団研究助成, 共生型農園を活用した「食農福教育プログラム」の開発, 研究代表者
12. 2023年度, 第34回緑の環境プラン大賞, 国土交通大臣賞, 病院を公共の場に～花の40mリハビリロード～, 研究分担者

(5) スポーツカウンセリング研究センター (Sports Counseling Research Center)

①研究テーマ

1. 競技力向上につながる心理的サポートの実践および研究
2. 専門家養成としての大学院生の実践的教育システムの構築
3. スポーツカウンセリングにおける来談ニーズおよび来談傾向の調査

②センター名簿

センター長：山崎史恵, 教授

研究員：中島郁子, 助教

③主な活動内容

1. 報告書

1. 山崎史恵, スポーツ文化研究部会課題Aシンポジウム, スポーツを通じて社会的な不平等を是正できるか?, 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会報告書.

2. 学会活動

1. 日本体育学会, 第73回大会スポーツ文化研究部シンポジウム, 企画・司会, 同志社大学, 2023.8.31-9.2.

3. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 村上市スポーツ指導者研修会, スポーツカウンセリング, 講師, 村上市NPO法人希楽々, スポーツ関係者, 村上市生涯学習推進センター（マナボーテ）中会議室, 2023.6.13.
2. 燕市スポーツ少年団指導者講習会, 子どものスポーツと親のかかわりについて, 講師, 燕市スポーツ協会・燕市スポーツ少年団, スポーツ関係者, 燕市分水公民館 1F 大ホール, 2023.9.9.
3. 公益財団法人新潟県スポーツ協会メンタルヘルスケア研修会, 職場のメンタルヘルス, 講師, 新潟

- 県スポーツ協会，スポーツ関係者，新潟県健康づくりスポーツ医科学センター，2023.9.22.
4. 三条市スポーツ・インテグリティ推進事業，相手を尊重したコミュニケーション，講師，三条市スポーツ協会，スポーツ関係者，三条市体育文化会館マルチホール，2024.1.28.
 5. 燕市スポーツ指導者講習会，スポーツカウンセリング，講師，燕市スポーツ協会，スポーツ関係者，燕市分水公民館，2024.2.16.
 6. 新潟市スポーツ協会指導者研修会，選手をもっと輝かせる！コミュニケーションの力，講師，新潟市スポーツ協会，スポーツ関係者，白山会館，2024.3.2.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 新潟県体育協会，スポーツ選手のためのメンタル支援事業，新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，相談員，新潟市，2023.4.1-2024.3.31. 来談者8名，延べ64回面接.
4. その他の活動
- 1) 競技関係者を対象としたスポーツカウンセリング活動
感染症予防のため活動を自粛しつつも，本学アスリート，本学OB・OG（実業団等）アスリート，指導スタッフ等を対象に相談活動を実施した.
2023年度の来談者数は本学強化クラブ選手5名（前年度継続2名，新規3名），OB 1名（継続），学外者1名（継続，有料面接）であり，年間のべ面接数として，87回の相談面接（1回60分）を実施した.

（6）アスリートサポート研究センター（Athlete Support Research Center）

①研究テーマ

1. 本学強化クラブにおける外傷・障害状況調査とデータベース構築
2. 本学女子強化クラブ選手の障害，栄養，睡眠状況，貧血調査とサポート体制の構築
3. 第5中足骨骨折予防のための超音波検診
4. 脳震盪の病態解明と発症予防に関する研究
5. 前十靭帯発症予防の積極的介入研究
6. 新潟医療福祉大学，新潟リハビリテーション病院，NSGの3者連携プロジェクト（栄養サポート）
7. スポーツ庁研究事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業」
8. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの課題解決実践型プログラム」
9. 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムとの共同によるアスリート支援事業

②センター名簿

センター長：大森 豪，健康スポーツ学科，教授
 副センター長：江玉睦明，理学療法学科，教授
 研究員：稲葉洋美，健康栄養学科，教授
 研究員：塙 晴雄，臨床技術学科，教授
 研究員：菊元孝則，理学療法学科，講師
 研究員：熊崎 昌，健康スポーツ学科，講師
 研究員：三瀬貴生，健康スポーツ学科，講師
 研究員：松浦由生子，健康スポーツ学科，講師
 研究員：平林 怜，理学療法学科，講師
 研究員：星野美美，健康栄養学科，講師
 研究員：横田裕丈，理学療法学科，講師
 研究員：関根千恵，理学療法学科，助教
 研究員：石垣智恒，理学療法学科，助教
 研究員：小宮 諒，理学療法学科，助教
 研究員：阿久澤弘，理学療法学科，助教

③主な活動内容

1. 著書

1. 大森豪, ナーシンググラフィカ, 第7版, 大阪:メディカ出版; 2023年: 296-297.
2. 三瀬貴生, 下門洋文; 山本利春, 広瀬統一 編. スポーツ動作の分析: 泳動作, 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト第2巻 スポーツ科学概論, 文光堂, 2024, 114-118.
3. 江玉睦明 (分担). 「筋損傷へのエコー活用術」日本医事新報社「大腿四頭筋の正常構造と機能」188-194. 2023.
4. 江玉睦明 (分担). 「筋損傷へのエコー活用術」日本医事新報社「下腿三頭筋の正常構造と機能」227-234. 2023.
5. 江玉睦明 (分担). 『整形外科医のための足のスポーツ診療のすべて』日本医事新報社「足部・足関節の解剖」2-19. 2023.
6. 江玉睦明 (分担). 「あしのスポーツ診療のすべて」日本医事新報社「足部・足関節の解剖」2-19. 2023.
7. 江玉睦明 (分担). 『AT専門基礎科目テキスト 第1巻』「運動器の機能と構造」4. 下腿部・足関節・足部. 文光堂. 212-223. 2024.
8. 阿久澤弘; 金岡恒治監修, 大久保雄編. 運動療法筋電図鑑. 5 足関節・足部エクササイズの筋活動. 1版. 東京: 文光堂; 2024: 138-151.

2. 論文

1. Nishino K, Suzuki H, Tanaka M, Kikumoto T, Omori G. Single-leg medial drop landing with trunk lean includes improper body mechanics related to anterior cruciate ligament injury risk: A comparison of body mechanics between successful trials and failed trials in the drop landing test among female basketball athletes. Clin Biomech (Bristol, Avon). 2023 Apr; 104: 105942. doi: 10.1016/j.clinbiomech.2023.105942. Epub 2023 Mar 12. PMID: 36933396 (査読あり)
2. Hayashi R, Nishino K, Kushida K, Omori G. Effects of prototype shoes for knee osteoarthritis in female adults -Evaluaitons of gait, clinical outcome and body composition -Footwear Science 2023; 15: NO.51 S138-139. (査読あり)
3. Ushiki T, Mochizuki T, Suzuki K, Kamimura M, Ishiguro H, Suwabe T, Watanabe S, Omori G, Yamamoto N, Kawase T. Strategic analysis of body composition indices and resting platelet ATP levels in professional soccer players for better platelet-rich plasma therapy. Frontiers in Bioengineering and Biotechnology (Front. Bioeng. Biotechnol) DOI 10.3389/fbioe.2023.1255860. (査読あり)
4. Mochizuki T, Ushiki T, Sato M, Ishiguro H, Suwabe T, Watanabe S, Edama M, Omori G, Yamamoto N, Kawase T. Elevated IL-18 and Comparable IL-1 Receptor Antagonist Levels Are Characteristic Features of L-PRP in Female College Athletes Compared to Male Professional Soccer Players. Int. J. Mol. Sci. 2023, 24, 17487. <https://doi.org/10.3390/ijms242417487>. (査読あり)
5. Saito R, Shagawa M, Sugimoto Y, Hirai T, Kato K, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Edama M * (共同筆頭著者). Changes in the Mechanical Properties of the Thigh and Lower Leg Muscle-tendon Units during the Early Follicular and Early Luteal Phases. Frontiers in Sports and Active Living (JCR). 2024 Mar 26; 6: 1323598. doi: 10.3389/fspor.2024.1323598.
6. Hirai T, Edama M (責任著者), Togashi R, Osanami H, Saito R, Kato K, Shagawa M, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Anatomical study of type classification and surface area of attachment sites for tibialis anterior tendon. BMC

- Musculoskelet Disord (JCR). 2023 Aug 3; 24(1): 631. doi: 10.1186/s12891-023-06753-8.
7. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Arch height flexibility is associated with plantar fascia tension during running. *Gait Posture*. 2023 Dec 17; 108 :270-274. doi: 10.1016/j.gaitpost.2023.12.012 (JCR).
 8. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Effect of change in patellofemoral joint contact area by the decrease in vastus medialis muscle activation on joint stress. *J Appl Biomech (JCR)*. 2018 Feb 1; 34(1): 82-87. doi: 10.1123/jab.2017-0074.
 9. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekikne C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Transcutaneous Auricular Vagus Nerve Stimulation at Left Cymba Concha Induced Parasympathetic Activation modulates experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex. *Eur J Neurosci*. 2024 Mar 12. doi: 10.1111/ejn.16305 (JCR).
 10. Sekine C, Hayashi H, Hirabayashi R, Yokota H, Saisu K, Takabayashi T, Edama M. Comparison of trunk muscle activity while lifting objects of expected and unexpected weight with and without low back pain. *Isokinetics and Exercise Science (JCR)*. 2023 (in press)
 11. Kudo S, Aoyagi T, Kobayashi T, Koshino Y, Edama M. Ultrasound Imaging of Subtalar Joint Instability for Chronic Ankle Instability. *Healthcare (JCR)*. 2023, 11(15), 2227; <https://doi.org/10.3390/healthcare11152227>.
 12. Matsuura Y, Fujimoto T, Koizumi K, Mise T, Edama M, Shimoyama Y. Posterior deltoid shoulder tightness and greater contralateral lower limb muscle strength are associated with swimmers' shoulder pain. *J Sci Med Sport (JCR)*. 2023 Oct 5; S1440-2440(23)00420-6. doi: 10.1016/j.jsams.2023.09.019.
 13. Inaba H, Hoshino F, Edama M, Omori G. Snack and Nutrient Intake Status of Top-Level Female University Athletes:A Cross-Sectional Study. *Healthcare (JCR)*. 2024, 12(4), 468; <https://doi.org/10.3390/healthcare12040468>.
 14. Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Akuzawa H, Ishigaki T, Kikumoto T, Edama M. Comparison of trunk muscle thickness and brightness in collegiate female athletes with and without a history of low back pain. *Isokinetics and Exercise Science (JCR)*. 2023 (in press)
 15. Kumazaki A, Fujimoto T, Matsuura Y. Longitudinal Development of Physical Characteristics and Function in Japanese Junior Rugby Union Players. *Int J Sports Physiol Perform (JCR)*. 2023; 18(9): 1038-1046. (査読有)
 16. Mise T, Kurita T, Kamakari S, Akuzawa H, Oshikawa T, Matsunaga N, Kaneoka K. Does scapular dysfunction alter scapular muscles activity and kinematics during swim stroke motion on adolescent swimmers?, *Sports Biomechanics*, In press, 2024.2.19. DOI:10.1080/14763141.2024.2315257. (review)
 17. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kaiwa M, Kondou A, Ishikawa H, Liu L, Ishigami K. Impact of the coronavirus disease 2019 pandemic on leisure screen time and eating habits of Japanese high school students: A comparison between before and during the pandemic. *Healthcare*, 11, 1265, 2023. (査読あり)
 18. Hirabayashi R, Edama M, Takeda M, Yamada Y, Yokota H, Sekine C, Onishi H. Participant attention on the intervention target during repetitive passive movement improved spinal reciprocal inhibition enhancement and joint movement function. *European Journal of Medical Research (JCR)*. 2023 Oct 12; 28(1): 428. (査読あり)
 19. Matsuura Y, Matsunaga N, Akuzawa H, Oshikawa T, Kaneoka K. Comparison of Muscle Coordination During Front Crawl and Backstroke With and Without Swimmer's Shoulder Pain.

Sports Health (JCR). 2023; 16(1): 89-96. (査読あり)

20. Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Thermal Sensation After the 10-km Open-Water Swimming in Cool Water Depends on the Skin's Thermal Sensitivity Rather Than Core Temperature. Int J Sports Physiol Perform (JCR). 2023; 19(1): 28-33. (査読あり)
 21. Murofushi K, Morito T, Akuzawa H, Oshikawa T, Okubo Y, Kaneoka K, Mitomo S, Yagishita K. External focus instruction using a paper balloon: impact on trunk and lower extremity muscle activity in isometric single-leg stance for healthy males, Frontiers in Sports and Active Living, 2023; 6. (review)
 22. Akuzawa H, Morito T, Oshikawa T, Kumai T, Kaneoka K. Functional relationship between the foot intrinsic and extrinsic muscles in walking, Journal of Electromyography and Kinesiology, 2023; 71 (review)
 23. 富山泰行, 大森豪, 山本智章, 菊池達哉, 谷藤理, 望月友晴. スポーツ選手に対する Cannulated Cancellous Screw による膝蓋骨疲労骨折の治験. 日本臨床スポーツ医学会誌, 2023; 31(1): 180-186. (査読あり)
 24. 富山泰行, 大森豪, 山本智章, 菊池達哉, 谷藤理, 望月友晴. スポーツ選手に対する Cannulated Cancellous Screw による膝蓋骨疲労骨折の治験. 日本臨床スポーツ医学会誌, 2023; 31(1): 180-186. (査読あり)
 25. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 平林愴, 大森豪. 大学女性アスリートの補食摂取頻度と月経状態および栄養素等摂取状況に関する報告. 新潟栄養・食生活学会雑誌 vol.24 P13-19 2024.
 26. 熊崎昌. 大学女子バレーボール競技におけるストレッチング指導の実際. Creative Stretching. 2023; 61: 9-13.
 27. 松浦由生子. 水泳におけるスポーツ障害予防. 日本臨床スポーツ医学会誌 (協力学術研究団体). 2023; 31(3): 434-436.
3. 報告書
1. 江玉睦明, 大森豪. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト (女性アスリートの課題解決型実践プログラム)」2023年度研究成果報告書.
 2. 江玉睦明. 挑戦的研究 (萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究代表者.
 3. 江玉睦明. 基盤研究B, アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究代表者.
 4. 江玉睦明. 国際共同研究加速基金 (海外連携研究), 腱障害の病態解明と病態別治療プログラムの確立, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究代表者.
 5. 久保雅義, 高林知也, 須田裕紀, 江玉睦明, 基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究成果報告書, 2022-2023, 研究分担者.
 6. 三瀬貴生. 若手研究, 「泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用」, 研究成果報告書, 2020年度 - 2022年度, 研究代表者 三瀬貴生
4. 学会等研究発表
1. Hayashi R, Kushida K, Nishino K, Omori G. Effects of prototype shoes for knee osteoarthritis in female adults - Evaluation of gait, clinical outcome and body composition. Footwear Biomechanics Synposium (FBS) 2023, (大阪市), 2023.7.26-7.28.
 2. Nishino K, Hayashi R, Kushida K, Omori G. The immediate effect of a prototype shoes for restraining body mechanics of knee osteoarthritis. Footwear Biomechanics Synposium (FBS) 2023, (大阪市), 2023.7.26-7.28.
 3. Matsuura Y. 「Posterior deltoid shoulder tightness: Shoulder pain risk factors in swimmers. (英

- 語)」, 14th International Symposium Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig). 2023.9.
4. 前田圭祐, 望月友晴, 西野勝敏, 大森豪, 高木繁, 谷藤理. 3次元歩行解析を用いた健常女性と健常女性アスリートの歩行時動的骨軸変位. 第50回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市, 2023.11.10-11.11.
 5. 木村緋, 笹川和彦, 藤崎和弘, 三浦鴻太郎, 大森豪. サッカー動作中に足底に作用する接触圧力, セン断応力の分布計測-Jones骨折発生メカニズムの解析. 第50回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市, 2023.11.10-11.11.
 6. 青木一磨, 渡邊聡, 齊藤大寛, 小野寛英, 林智彦, 林豊彦, 森清友亮, 古賀良生, 大森豪, 小林公一. 跳躍型脛骨疲労骨折のは発症に影響する脛骨形状特徴の評価. 第50回日本臨床バイオメカニクス学会, 姫路市, 2023.11.10-11.11.
 7. 大森豪. スポーツ医学のキャリア形成-スポーツドクターとして. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12. 【教育講演】
 8. 阿久澤弘, 石垣智恒, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 坂本航大, 江玉睦明, 大森豪. 第5中足骨に皮質骨肥厚を認める男子サッカー選手の足部の形態的特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 9. 菊元孝則, 久保雅義, 高林知也, 小林真理奈, 大森豪. 慢性足関節不安定症を有する選手における足関節外側側副靱帯再損傷因子の検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 10. 松浦由生子, 藤本知臣, 三瀬貴生, 江玉睦明, 熊崎昌, 森清友亮, 大森豪. セン断エラストグラフィーを用いた肩関節周囲筋弾性率とスイマーズショルダー発生との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 11. 塙晴雄, 江玉睦明, 稲葉洋美, 阿久澤弘, 小林志郎, 伊藤篤司, 小林真理奈, 濱野礼奈, 松浦由生子, 菊元孝則, 大島めぐみ, 大森豪. 本学強化クラブ女子部員の貧血, 鉄欠乏と鉄代謝調節ホルモンヘシジンの検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 12. 土方啓生, 山本智章, 望月友晴, 江玉睦明, 大森豪. 女性アスリートにおけるビタミンD充足状況. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 13. 江玉睦明, 大森豪. 地域における女性アスリート支援-新潟県における取り組み-. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12. 【シンポジウム】
 14. 鈴木英知, 田中正栄, 大森豪. 反応筋力指数の相違による膝前十字靱帯損傷リスクの検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 15. 石垣智恒, 阿久澤弘, 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 江玉睦明, 大森豪. シャドーピッチングにおける肘外反ストレス. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 16. 三瀬貴生, 松浦由生子, 熊崎昌, 江玉睦明, 大森豪, 森清友亮. 成長期競泳選手における外傷・障害調査～性別・パフォーマンスにおける比較～第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 17. 古賀寛, 大森豪. 川島寛之. 新型コロナウイルスパンデミックが学童骨折に与えた影響2020. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 18. 関根千恵, 江玉睦明, 阿久澤弘, 横田裕丈, 平林愴, 石垣智恒, 菊元孝則, 松浦由生子, 大森豪. 女性アスリートにおける仙腸関節障害の頻度. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 19. 熊崎昌, 平林愴, 江玉睦明, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 大学サッカー競技における頭部・顔面外傷発生状況の特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
 20. 江玉睦明, 高野倅, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 高林知也, 大森豪. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.

21. 平林 脩, 阿部明日香, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪, 江玉睦明. 咬合強度と咬合バランスが着地動作に及ぼす影響. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
22. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. 大学女子アスリートの捕食摂取習慣. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
23. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠・栄養素等摂取状況に関する実態調査. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
24. 横田裕丈, 江玉睦明, 高杉梨紗, 平林脩, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪. アスリートとノンアスリートにおける音楽聴取が運動パフォーマンスに及ぼす影響の違いと自律神経活動との関連. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜市, 2023.11.11-11.12.
25. 江玉睦明, 高林知也, 長南晴樹, 坂本航大. 前脛骨筋腱の付着部と付着部表面積の検討. 第48回日本足の外科学会 (大阪), 2023.10.26-10.27.
26. 江玉睦明. 理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する取り組みについて. 第34回日本整形外科学会超音波学会 (東京), 2023.7.8-7.9. 【シンポジウム2 理学療法における超音波の活用】.
27. 江玉睦明. 理学療法士の適切なエコー活用に関し. 第50回日本肩関節学会学術集会・第20回日本肩の運動機能研究会 (東京), 2023.10.13. 【シンポジウム 肩疾患リハビリテーションにおける超音波の活用】.
28. 高林知也, 江玉睦明. Foot posture indexの各項目スコアとランニング中の足部内モーメントの関連. 第48回日本足の外科学会 (大阪), 2023.10.26-10.27.
29. 工藤慎太郎, 片山将, 金子史弥, 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 小林匠, 江玉睦明. 荷重位背屈制限を有する慢性足関節不安定症の距舟関節可動性. 第48回日本足の外科学会 (大阪), 2023.10.26-10.27.
30. 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 小林匠, 工藤慎太郎, 江玉睦明. 足部・足関節運動器疾患による足関節背屈可動域制限は非荷重位に比べ荷重位でより検出できる. 第48回日本足の外科学会 (大阪), 2023.10.26-10.27.
31. 阿久澤弘, 江玉睦明, 熊井司, 金岡恒治. 足趾屈曲に対する足底方形筋の機能検証. 第48回日本足の外科学会 (大阪), 2023.10.26-10.27.
32. 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 溝田丈士, 沼澤俊, 小林匠, 工藤慎太郎, 正田佳希, 秋吉直樹, 江玉睦明. 足部・足関節運動器疾患に対する足関節背屈可動域測定方法の検討ー測定方法間の違いと相関性の検討ー. 第10回日本スポーツ理学療法学会 (埼玉)
33. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 扁平足アライメントはランニング中の足関節・ショパール関節・リスフラン関節の内がえしモーメントと関連する. 第10回日本スポーツ理学療法学会 (埼玉) 2024.1.6-1.7.
34. 平林脩, 山田勇輝, 須貝菜央, 吉川悠人, 森山華帆, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 左右均衡な咬合は跳躍パフォーマンスを向上させる. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
35. 須貝菜央, 平林脩, 森山華帆, 吉川悠人, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 咬合強度が単純反応時間・選択反応時間に及ぼす影響. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
36. 吉川悠人, 平林脩, 森山華帆, 須貝菜央, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 咬合強度の変化がヘディングパフォーマンスに及ぼす影響. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会 (福岡), 2023.11.18-11.19.
37. 熊崎昌. 教育講演「スポーツと脳振盪」. 第12回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 (千葉県勝浦市・日本), 2023.7.8-7.9. 【教育講演】.
38. 三瀬貴生, 坂内誠也, 鵜瀬亮一, 佐藤和也. 暑熱環境下における長袖着用はスポーツ活動中の体温上

昇を抑制するか？：大学生硬式野球選手を対象とした検証。第12回日本アスレティックトレーニング学会学術大会（勝浦市・日本），2023.7.8-7.9.

39. Mise T, Ishibe N, Shohei K, Kurita T. Sex differences in upper limb morphology and shoulder range of motion of adolescent swimmers with scapular dysfunction. The 13th Asian Conference on Kinesiology（つくば市・日本），2023.8.24-8.25.
40. 三瀬貴生，下門洋文，山城昌一郎，星川慎吾，千葉海勝，馬場康博，奈良梨央，下山好充。異なる年齢間における水中ドルフィンキック泳のキネマティクスの比較。日本水泳・水中運動学会2023年次大会（北九州市・日本），2023.10.7-10.8.
41. 横田裕丈，齊藤瑞貴，平林怜，関根千恵，阿久澤弘，石垣智恒，江玉睦明。間欠刺激・連続刺激の違いによる経皮的迷走神経刺激（tVNS）が自律神経活動に及ぼす影響。第76回日本自律神経学会総会（埼玉）
42. 松浦由生子。MR画像診断装置を用いた競泳選手の多裂筋断面積解析～腰痛の有無による比較～。第10回日本スポーツ理学療法学会（大宮・日本），2024.1.6.
43. 阿久澤弘，江玉睦明，熊井司，金岡恒治。筋活動計測による足底方形筋の足趾屈曲作用の検証，第48回日本足の外科学会学術集会（大阪），2023.10.26-10.27.

5. 学会活動

1. 大森豪，新潟スポーツ傷害フォーラム，2022年度新潟スポーツ傷害フォーラム研修会（共催：新潟市中体連部活指導者研修会），会長，新潟市，2023.6.2.
2. 大森豪，新潟スポーツ傷害フォーラム，第10回新潟スポーツ傷害フォーラム，会長，新潟市，2023.10.28.
3. 大森豪，新潟県スポーツドクター協会，スポーツ医学再研修会，会長，新潟市，2024.3.16.
4. 大森豪：Journal of Orthopaedic Science, 査読委員
5. 江玉睦明，第4回足の構造と機能研究会学術大会，大会長，新潟，2023.5.27-5.28.
6. 江玉睦明，第10回日本スポーツ理学療法学会 一般演題 査読 2023.7.10.
7. 江玉睦明，第28回日本基礎理学療法学会学術大会 一般演題 査読 2023.8.13.
8. 江玉睦明，日本理学療法学会連合 2023年度研究助成 査読 2023.9.23.
9. 江玉睦明，日本理学療法士協会専門理学療法士 口頭試問試験官 2023.12.17.
10. 江玉睦明，第4回足の構造と機能研究会 学術集会（新潟）。特別講演Ⅰ 座長。2023.5.27-5.28.
11. 江玉睦明，第4回足の構造と機能研究会 学術集会（新潟）。特別講演Ⅱ 座長。2023.5.27-5.28.
12. 江玉睦明，第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会。ランチョンセミナー3「足関節における評価と理学療法」。座長。2024.1.6.
13. 江玉睦明，第28回日本基礎理学療法学会学術大会。若手シンポジウム5 U39. 座長。2023.12.2.
14. 江玉睦明，新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフシンポジウム「新潟県のスポーツ医科学支援を考える」，企画・運営，2023.12.23.
15. 江玉睦明，新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフシンポジウム「新潟県のスポーツ医科学支援を考える 第2部，第3部」，座長，2023.12.23.
16. 平林怜：第28回日本基礎理学療法学会学術大会，査読
17. 平林怜：第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会，査読
18. 平林怜：Journal of Strength and Conditioning Research, 査読
19. 平林怜：Sports Medicine and Health, 査読
20. 関根千恵：The Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読，2023.4.（関根）
21. 関根千恵：The Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読，2023.8.（関根）
22. 関根千恵：The Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読，2023.11.（関根）
23. 関根千恵：The Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読，2024.3.（関根）
24. 三瀬貴生：Asian Society of Kinesiology, the 13th Asian Conference on Kinesiology, 学術委員担当，

つくば市, 2023.8.24-8.25.

25. 横田裕丈：第28回 日本基礎理学療法学会学術大会 演題査読
26. 横田裕丈：第11回 日本筋骨格系徒手理学療法研究会学術大会 演題査読
27. 松浦由生子：日本スポーツ理学療法学会, 第11回日本スポーツ理学療法学会, 演題登録部門, 横浜, 活動期間 2024.1.1-現在
28. 阿久澤弘：足の構造と機能研究会, 第4回足の構造と機能研究会学術集会, 準備委員, 新潟, 2022.5.27-5.28・2022.1-5.
29. 阿久澤弘：日本スポーツ理学療法学会 機関紙学術編集委員会, 編集・査読委員, 査読依頼, 2022.7～現在
30. 阿久澤弘：日本スポーツ理学療法学会 協力学術研究団体申請検討委員会, 日本学術会議協力学術団体申請, 機関紙の発刊状況報告, 2022.9～現在
31. 阿久澤弘：運動器理学療法学会 標準化検討委員会, ガイドライン部会委員, 運動器理学療法のエビデンスに基づく標準化, 2022.8～現在
32. 阿久澤弘：Journal of Sports Science, 査読
33. 阿久澤弘：Foot_and_Ankle_International, 査読
34. 阿久澤弘：Journal of Biomechanics, 査読
35. 阿久澤弘：徒手理学療法, 査読
36. 石垣智恒：Journal of Athletic Training, 査読
37. 石垣智恒：Shoulder and Elbow, 査読

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 大森豪, 2023年度新潟スポーツ傷害フォーラム研修会(新潟市中体連部活指導者研修会), 成長期のスポーツ傷害-腰椎分離症, 講師, 新潟スポーツ傷害フォーラム, 中学校部活指導者, 新潟市, 2023.6.2.
2. 大森豪, 令和5年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会, 中高年者と運動(整形外科系), 講師, 日本スポーツ協会, スポーツドクター, 東京都, 2023.10.7.
3. 大森豪, 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフミーティング, 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムについて, 会長講演, 新潟スポーツ医・科学コンソーシアム, 一般市民, スポーツ指導者, 医療関係者, 新潟市, 2023.12.23.
4. 江玉陸明, セラピストフォーライフ研修会「膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学①」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.5.17.
5. 江玉陸明, アレックスメディカルグループ研修会「新潟における女性アスリート支援」講師, 理学療法士, アスレティックトレーナー, WEB開催, 2023.5.21.
6. 江玉陸明, セラピストフォーライフ研修会「膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学②」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.6.17.
7. 江玉陸明, 山梨県士会学術研修会「足部・足関節の機能解剖と理学療法」, 講師, 理学療法士, WEB開催, 2023.6.18.
8. 江玉陸明, 第34回神丹栗研究会オンライン「足部・足関節・下腿の機能解剖学的視点からひも解く関節可動域制限と筋力低下の原因とアプローチ方法について」講師, 理学療法士・医師, WEB開催, 2023.6.24.
9. 江玉陸明, 新潟スポーツ救護セミナー2023, 新潟リハビリテーション病院, 企画・運営, 看護師, 2023.7.15.
10. 江玉陸明, スポーツ医・科学サポート研究会 第2回研究会「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業の取り組み及び事例紹介」医師, 医療関係者, 行政, Web, 2023.12.9.
11. 江玉陸明, 第11回青少年野球フェスタ2023, 企画・運営, 医師, 理学療法士, 選手, 指導者, 保

- 護者，新潟（対面），2023.12.10.
12. 江玉陸明，新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフシンポジウム「新潟県のスポーツ医科学支援を考える」，企画・運営，医師，医療関係者，選手，行政，保護者，学生，対面（新潟），2023.12.23.
 13. 平林怜：指導者スキルアップ講座，膝痛改善に向けた介入方法，講師，三条市体育文化会館，理学療法士・健康運動士・アスレティックトレーナー，三条市体育文化会館，2024.2.3.
 14. 平林怜：教育講習会，痙縮改善の介入法，講師，相澤病院，リハビリ職，相澤病院，2023.7.21.
 15. 三瀬貴生：2023年度新潟県水泳連盟 更新研修会，水泳肩になりやすいジュニアスイマーの特徴と見分け方，講師，新潟県水泳連盟，水泳指導者，アクシー中央スイミングスクール，2023.8.20.
 16. 三瀬貴生：日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会第2期，体幹のリコンディショニング，講師，日本スポーツ協会，養成講習会受講生，阿久比町（スポーツ医科学センター），2023.6.1-6.2.
 17. 三瀬貴生：認定理学療法士臨床認定カリキュラム・スポーツ理学療法，スポーツ外傷・障害への理学療法・上肢，講師，水戸協同病院，理学療法士，オンライン，2023.12.8.
 18. 三瀬貴生：新潟県アスレティックトレーナー部会研修会，アスレティックトレーナー実技セミナー，講師，新潟県アスレティックトレーナー部会，部会員，新潟市，2023.7.22.
 19. 横田裕丈：第9回理学療法学科同窓会オンラインミーティング，「新潟万代病院での変形性股関節症患者への取り組み」，主催，新潟医療福祉大学理学療法学科同窓会，理学療法学科同窓生，オンライン，4.28.
 20. 横田裕丈：第10回理学療法学科同窓会オンラインミーティング，「足部評価方法と足部バイオメカニクス」，主催，新潟医療福祉大学理学療法学科同窓会，理学療法学科同窓生，オンライン，8.4.
 21. 横田裕丈：第11回理学療法学科同窓会オンラインミーティング，「座りすぎが与える悪影響と臨床で身体活動量を上げるポイント」，主催，新潟医療福祉大学理学療法学科同窓会，理学療法学科同窓生，オンライン，11.24.
 22. 横田裕丈：水泳トレーナー会議研修会，「足関節の機能解剖とリハビリテーション」，講師，日本水泳トレーナー会議，理学療法士，トレーナー等，味の素ナショナルトレーニングセンター，6.4.
 23. 新潟県村上市教育委員会 指導者育成プログラム，スポーツ医学Ⅱ スポーツ活動中に多い怪我と予防，講師，村上市生涯学習推進センター，2023.5.23.
 24. 松浦由生子：NPO法人 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会，運動指導者が理解しておきたい身体の仕組みと機能，講師，メディアシップ，2023.6.25.
 25. 松浦由生子：2023年度水泳コーチ4 必修研修会，メディカルコンディショニング，講師，日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会，水泳コーチ，オンデマンド，2023.10.1-11.30.
 26. 松浦由生子：公益財団法人 日本理学療法士協会 分科学会 一般社団法人日本スポーツ理学療法学会主催 第2回 臨床研究推進セミナー，体幹の診かた，治しかた ～体幹治療の「コアな」話～，講師，オンライン，2023.6.11.
 27. 松浦由生子：日本スポーツ協会/日本水泳連盟 公認 水泳コーチ4 競泳 必修研修会，日本水泳連盟，競泳 トレーナーの知識，講師，オンライン，2023.11.26.
 28. 松浦由生子：日本水泳連盟 下部組織 日本水泳トレーナー会議 基礎講習会，水泳競技の肩関節障害におけるコンディショニング，講師，日本水泳トレーナー会議，2024.3.10.
 29. 松浦由生子：スポーツ指導者講習会兼県央スポーツサポーターバンク認定講習会，スポーツ医学Ⅱ スポーツ活動中に多い怪我と予防，県央スポーツネットワーク，燕市，2024.2.18.
 30. 松浦由生子：日本水泳連盟，Women's Health Project，教育用動画，講師，女性アスリートの身体特性とケガとの関係，講師，日本水泳連盟，オンデマンド，2024.3-現在.
 31. 松浦由生子：日本水泳連盟，Women's Health Project，教育用動画，講師，女性アスリートとスポーツ外傷・障害，講師，日本水泳連盟，オンデマンド，2024.3-現在.

32. 松浦由生子：日本水泳連盟, Women's Health Project, 教育用動画, 講師, 女性アスリートのパフォーマンス, 講師, 日本水泳連盟, 2024.3.
 33. 松浦由生子:NPO 法人 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会, 運動器障害予防のためのスクリーニングとエクササイズ, 講師, メディアシップ, 2023.6.25.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 大森豪, テレビ, NT21ニュース, 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフミーティング, 2023.12.23.
 2. 江玉陸明, 毎日新聞, 「女性アスリート支援へ」 2023.7.20.
 3. 江玉陸明, 毎日新聞 (Webサイト), 「月経不順や貧血は仕方ない? 女性アスリートの健康を守るには」 2023.7.20.
 4. 江玉陸明, 日刊スポーツ, 「アルビチア初受診, 女性アスリート検診」 2024.1.14.
 5. 江玉陸明, Yahoo!ニュース, 「アルビチア初受診, 女性アスリート検診」 2024.1.14.
 6. 江玉陸明, 読売新聞, 「トップ選手医科学で支える」 2023.12.24.
 7. 江玉陸明, 新潟日報, 「トップアスリート県内で育成するには」 2023.12.24.
 8. 江玉陸明, UX, 新潟スポーツ医科学コンソーシアム 2023.12.23.
 9. 三瀬貴生:一般雑誌, 月刊スイミングライフ (インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学, 2023.9.5.
 10. 松浦由生子:新聞, 新潟日報, 競泳世界選手権コーチに新潟医療福祉大選出, 2023.4.28.
 11. 松浦由生子:新聞, 新潟日報オンライン, 競泳世界選手権コーチに新潟医療福祉大に選出, 2023.4.28.
 12. 松浦由生子:新聞, 科学新聞, ジョギングで脳に刺激 高血圧改善, 2023.7.14.
 13. 松浦由生子:新聞, 読売新聞, 体を上下動させて脳に適度な衝撃, すると高血圧が改善, 2023.7.10.
 14. 松浦由生子:新聞, 新潟日報, 軽い運動で脳に適度な衝撃, 高血圧改善へ 新潟医療福祉大学などの研究チームが解明, 2023.7.10.
 15. 松浦由生子:新聞, 日本経済新聞, 国立障害者リハビリテーションセンターなど, 「適度な運動」が高血圧を改善するメカニズムをラットとヒトで解明, 2023.7.7.
 16. 松浦由生子:新聞, 共同通信, 高血圧改善の仕組み解明 軽い運動, 脳に適度な刺激, 2023.7.7.
 17. 松浦由生子:新聞, 産経新聞, 軽いジョギング, 脳への適度な衝撃で高血圧改善, 2023.7.7.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 大森豪, 新潟医療福祉大学, 新潟リハビリテーション病院, NSG, 3者連携プロジェクト, 新潟医療福祉大学の委員, 2023年度通年
 2. 大森豪, 日本スポーツ協会, 鹿児島国体ドクターズミーティング, 新潟県選手団医師として参加, オンライン開催, 2023.9.16.
 3. 大森豪, 新潟市陸上競技連盟, 新潟シティマラソン, 会場ドクター, 新潟市, 2023.10.8.
 4. 江玉陸明, 令和5年度第54回春季北信越大学女子バレーボール選手権大会, メディカルサポート 2023.5.19-5.20.
 5. 江玉陸明, 令和5年度第54回春季北信越大学男子バレーボール選手権大会, メディカルサポート 2023.5.19-5.20.
 6. 江玉陸明, 令和5年度第54回秋季北信越大学女子バレーボール選手権大会, メディカルサポート 2023.11.4-11.5.
 7. 江玉陸明, 令和5年度第54回秋季北信越大学男子バレーボール選手権大会, メディカルサポート 2023.11.4-11.5.
 8. 平林怜:北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市, 2023.9.17.

9. 平林怜：公益財団法人 日本サッカー協会，メディカルサポート，総理大臣杯全日本サッカートーナメント 北信越大会，新潟市，2022.7.3.
 10. 三瀬貴生：京都水泳協会，競泳・京都代表チームの国体合宿帯同，アスレティックトレーナー，京都アクアリーナ，2023.9.17-9.20.
 11. 三瀬貴生：第78回国民体育大会燃ゆる鹿児島国体，競泳・京都代表チームの本大会帯同，アスレティックトレーナー，鹿児島市，2023.9.20-9.24.
 12. 三瀬貴生：京都水泳協会，競泳・京都ジュニア合宿におけるトレーニング指導，アスレティックトレーナー，京都市，2023.4.30.
 13. 三瀬貴生：アクシーひがしスイミングスクール，ジュニア選手に対するフィットネスチェック，アスレティックトレーナー，新潟市，2023.9.9.
 14. 三瀬貴生：アクシーひがしスイミングスクール，ジュニア選手のパフォーマンス分析，アスレティックトレーナー，新潟市，2023.9.10.
 15. 三瀬貴生：新潟県フライングディスク協会，第5回新潟オープンアルティメット大会のトレーナーサポート，救護担当，新潟市・太夫浜運動公園球技場，2023.11.3.
 16. 松浦由生子：アジア大会代表・世界水泳日本代表強化合宿，メディカルチェック，東京都北区，2023.4.11-4.15.
 17. 松浦由生子：世界水泳日本代表強化合宿，コンディショニング，アスレティックトレーナー，東京都北区，2023.4.11-4.15.
 18. 松浦由生子：世界水泳・アジア大会代表 日本代表選手出場 強化レース 東京都選手権，日本代表トレーナー，Tokyo Aquatic Center，2023.6.2-6.4.
 19. 松浦由生子：世界水泳日本代表選手強化合宿，コンディショニング，日本代表トレーナー，東御市，2023.7.1-7.11.
 20. 松浦由生子：世界水泳日本代表直前合宿，コンディショニング，日本代表トレーナー，ナショナルトレーニングセンター，2023.7.12-7.19.
 21. 松浦由生子：第20回世界水泳選手権，日本代表トレーナー，福岡市，2023.7.20-7.30.
 22. 松浦由生子：World Aquatics Swimming Wolrd Cup 2023 ベルリン大会，日本代表トレーナー，ドイツ・ベルリン，2023.10.6-10.8.
 23. 松浦由生子：World Aquatics Swimming Wolrd Cup 2023 アテネ大会，日本代表トレーナー，ギリシャ・アテネ，2023.10.13-10.15.
 24. 松浦由生子：ジュニアナショナル合宿，コンディショニング指導，ナショナルトレーニングセンター，2023.11.25-11.26.
 25. 松浦由生子：パリ五輪代表 第一次合宿，メディカルチェック，日本代表トレーナー，2024.3.26-3.30.
7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 大森豪，2020年度，共同研究（YONEX），スポーツ用具機能の健康増進と競技パフォーマンス向上への有効性の研究，研究代表者，延長継続
 2. 大森豪，2022年度，スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト（女性アスリートの課題解決型実践プログラム）」，産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成，研究代表者・分担者，継続
 3. 江玉陸明，2023年度，スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト（女性アスリートの課題解決型実践プログラム）」，産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成，研究代表者.
 4. 江玉陸明，2023年度，スポーツ庁委託事業「地域のスポーツ医科学支援体制構築事業」，研究代表者.
 5. 江玉陸明，2023年度，科学研究費 挑戦的研究（萌芽），筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立

と新たな運動療法の開発，研究代表者。

6. 江玉睦明，2023年度，科学研究費，基盤研究B，アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発，研究代表者。
7. 江玉睦明，2023年度，科学研究費，国際共同研究加速基金（海外連携研究），腱障害の病態解明と病態別治療プログラムの確立，研究代表者。
8. 江玉睦明，2023年度，共同研究，株式会社ワコール，研究代表者。
9. 関根千恵：2023年度，科研費若手研究，仙腸関節障害の発生に関わる仙腸関節の挙動と形態の解明，関根千恵，研究代表者
10. 三瀬貴生：2023年度-2024年度，科学研究費助成事業 若手研究，「成長期競泳選手における肩甲骨周囲筋群の機能不全が発生する要因の解明」，三瀬貴生
11. 横田裕丈：2022年度，武田科学振興財団 医学系研究助成，「経頭蓋直流電流刺激（tDCS）と経皮的迷走神経刺激（tVNS）の同時適用による革新的な慢性疼痛治療法の開発」，横田裕丈。
12. 横田裕丈：2023年度，科研費若手研究，「脳刺激と迷走神経刺激の融合による効果的な筋発揮効率の改善手法の開発」，横田裕丈。
13. 松浦由生子：2023年度，基盤研究（B），月経随伴症状としての腰痛の発生メカニズム解明と対処法の開発，研究代表者
14. 石垣智恒：2023年，若手研究，腱の温度上昇に起因した腱エネルギー代謝機構の変化とその腱恒常性への影響，研究代表者

（7）身体教育研究センター（Physical Education Research Center）

①研究テーマ

1. ヒトを対象とした運動発達・身体能力向上，身体教育に関する研究

②センター名簿

センター長：西原康行
副センター長：佐近慎平
研究員：杉崎弘周
研究員：鵜瀬亮一
研究員：高田大輔

③主な活動内容

1. 著書

1. 西原康行，はじめて学ぶスポーツマネジメントの基礎と実践，岐阜：株式会社みらい；2023：83-100。

2. 論文

1. 鵜瀬亮一，内山渉，大矢真史，西原康行，アイトラッキングシステムを用いた熟達投手コーチの「みえ」の顕在化，日本教育工学会誌，2024；48（1）：89-97。（査読あり）
2. 鵜瀬亮一，大室康平，小林志郎，石川智雄，大学野球部所属学生の出身地および卒業後の定住動向調査，新潟医療福祉学会誌，2023；23（2）：36-40。（査読あり）
3. 大室康平，鵜瀬亮一，少年期の野球選手の入団および卒団時の意識，東北体育・スポーツ科学研究，2024；Vol.1：1-14。（査読あり）
4. 佐近慎平，中曽根裕（2023）保育者の運動遊びの取り組みに関する実態～新潟県の幼児期からの運動習慣アップ支援事業アンケート調査から～，子どもと発育発達，21（2）：125-135
5. 本多理紗，金子勝司，橋浦孝明，中曽根裕，佐近慎平，健康体操教室の参加者と行うニュースポーツのアレンジの研究～活動を通じたコミュニティの醸成～，自由時間研究，2023；49：（印刷中）
6. 佐近慎平，中曽根裕，本多理紗，橋浦孝明，金子勝司，幼児の四肢運動環境構成による協調運動能力の形成，自由時間研究，2023；49：（印刷中）

3. 報告書

1. 西原康行. 基盤研究 (B), VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 2019-2023, 研究代表者.
2. 鵜瀬亮一. 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究成果報告書, 令和2年度-令和4年度, 研究代表者
3. 佐近慎平, 西原康行, 杉崎弘周, 市川浩. 研究基盤 (C), 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者

4. 学会等研究発表

1. Nishihara Y. Children's sports environment in Japan. 22th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria < Webinar >). 2023.8.20-8.21.
2. Nishihara Y. Research on Immediate Responses of Physical Education Teachers. European Physical Education Congress in Leipzig University (Leipzig < Webiner >), 2023.9.12. 【教育講演】
3. Nishihara Y. CHARACTERISTICS AND DIFFERENCES IN THE VERBAL RESPONSES OF EXPERT AND NOVICE BASKETBALL COACHES ELICITED BY COGNITION OF FIXED VTR IMAGES AND VR IMAGES. European College of Sport Science (France < Online >), 2023.7.4-7.6.
4. 西原康行. 産学連携によるスポーツ科学支援・スポーツ庁スポーツ科学コンソーシアムシンポジウム. (新潟: 朱鷺メッセ), 2023.12.23. 【シンポジウム】
5. 西原康行. 保健・医療・福祉分野の産官学連携のあり方. 新潟医療福祉学会学術集会 (新潟: 新潟医療福祉大学), 2023.10.28. 【シンポジウム】
6. 大石直人, 荻原朋子, 福ヶ迫善彦, 村井梨沙子, 秋山和輝, 松本祐介, 高田大輔. 中学校体育授業におけるサッカーのゲームパフォーマンスの検討ーICTを活用した思考力を高める学習を通してー. 日本スポーツ教育学会第43回国際大会 (東京), 2023.9.23-9.24.
7. 高田大輔, 菅原智昭, 針谷美智子. 小学校体育授業における学習課題の違いが児童の学習に及ぼす影響ー特に児童の思考に関してー. 新潟県体育学会令和5年度大会 (新潟, オンライン), 2023.12.2.
8. 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 金子勝司. 幼児の四つ這い走を発達させる運動遊び環境の構成要素の研究 令和4年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 9.18.
9. 本多理紗, 金子勝司, 中曽根裕, 佐近慎平. 健康体操教室の参加者で行うニュースポーツのアレンジの研究 令和4年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 9.18.

5. 学会活動

1. 公益財団法人日本レクリエーション協会公認養成課程認定校会議関東・甲信越ブロック研修会, レクリエーション研究と質的研究, 実行委員, 東京, 2024.3.1.

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 長岡市, 2023.7.1.
2. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 燕市, 2023.7.23.
3. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 上越市, 2023.8.20.
4. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 湯沢町, 2023.9.10.
5. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2023.8.26.
6. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2023.9.1-9.3.
7. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市 (新潟県教育庁), 2023.5.31.
8. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市 (新潟県教育庁), 2023.6.22.
9. 新潟医療福祉大学野球教室, 小学生141名指導, 講師, 南魚沼市, 2023.7.1.

10. 新潟医療福祉大学野球教室，中学生85名指導，講師，南魚沼市，2023.7.1.
11. 新潟医療福祉大学野球教室，高校生20名 指導者3名，講師，本学グラウンド，2023.8.18.
12. 魚沼市野球教室，中学生39名，講師，魚沼市広神野球場，2023.8.20.
13. 新発田市野球教室，中学生30名，講師，本学硬式野球場，2023.9.23.
14. 医福大スポーツあそびの日，幼稚園・小学生130名，野球ブース担当，本学陸上競技場，2023.9.24.
15. 長岡市野球教室，野球未経験小学生40名，講師，長岡市ニュータウン運動場，2023.10.21.
16. 長岡市野球教室，小学生50名，講師，長岡市ニュータウン運動場ソフトボール場，2023.10.21.
17. 南魚沼市指導者講習会，南魚沼地区指導者20名，講師，大原総合運動公園会議場，2023.11.3.
18. 第10回野球審判技術向上講習会，新潟県審判員80名，演者，ハードオフエコスタジアム，2023.11.11.
19. 第10回野球審判技術向上講習会，新潟県審判員100名，演者，ハードオフエコスタジアム，2023.11.12.
20. 全日本軟式野球連盟 資格「コーチⅠ」養成講習会，受講者44名，講師，ハードオフエコスタジアム，2023.11.19.
21. 長岡地域定住自立圏「スポーツ振興事業野球教室」，中学生43名，講師，東小千谷体育センター，2023.12.2.
22. 長岡地域定住自立圏「スポーツ振興事業野球教室」，未経験者・小学生68名，講師，東小千谷体育センター，2023.12.3.
23. 東区スポーツ協会少年野球教室，小学生低学年49名，講師，ハードオフエコスタジアム，2023.12.16.
24. 東区スポーツ協会少年野球教室，小学生高学年76名，講師，ハードオフエコスタジアム，2023.12.16.
25. 新潟医療福祉大学野球教室，中学生10名，指導者2名，講師，本学室内練習場，2024.1.20.
26. 新発田市指導者講習会，指導者40名，講師，本学室内練習場，2024.1.27.
27. 新潟医療福祉大学野球教室，長岡市内中学生10名，指導者1名，講師，本学室内練習場，2024.2.3.
28. 新潟医療福祉大学野球教室，長野県内高校生11名，指導者2名，講師，本学室内練習場，2024.2.10.
29. 新潟医療福祉大学野球教室，長野県内高校生14名，指導者2名，講師，本学室内練習場，2024.2.10.
30. 新潟医療福祉大学野球教室，長野県内高校生14名，指導者2名，講師，本学室内練習場，2024.2.11.
31. 新潟医療福祉大学野球教室，十日町市内中学生19名，指導者2名，講師，本学室内練習場，2024.2.17.
32. 新潟医療福祉大学野球教室，長岡市内中学生10名，指導者1名，講師，本学室内練習場，2024.2.17.
33. 新潟医療福祉大学野球教室，糸魚川市内中学生15名，指導者2名，講師，本学グラウンド，2024.3.21.
34. 令和5年度指導者育成プログラム研修会（村上市地域スポーツクラブ活動体制整備事業），コーチ2中級編 スポーツ教育指導法Ⅱ「指導計画・内容・評価の立て方」，講師（講義・演習），NPO法人希楽々，融合型部活動指導者，スポ少指導者，体協会員，総合型クラブ職員，教員等，村上市，2023.5.30.
35. 沼垂小学校授業研究指導案検討会，小学校低学年における「マットを使った運動遊び」の授業づくり・教材づくりについて，講師（講義），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2023.9.20.

36. 弥彦村小中合同いじめ見逃し0スクール集会, 小中交流レクリエーション活動, 講師(指導), 弥彦村立弥彦中学校, 児童・生徒, 弥彦村, 2023.9.28.
 37. 沼垂小学校全国公開研究会 体育まつり 2023, 体育授業において対話しながら試し, よく考えて運動する児童の育成, 講師(講演), 新潟市立沼垂小学校, 小・中学校教員, 新潟市, 2023.10.20.
 38. 石川小学校授業研究指導案検討会, 小学校高学年における「表現運動」の授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 加茂市立石川小学校, 小学校教員, 加茂市, 2024.1.25.
 39. 福祉事業型専攻科キンゴカレッジ, フィットネス, 講師・監修, キンゴカレッジ利用者, キンゴカレッジ, 4.17-3.26. (全45回)
 40. 新潟県村上市幼児の体力向上事業, 幼児の体力向上事業報告会, 講師, 新潟県村上市, 村上市保育園保育士・総合型スポーツクラブコーチ, 村上市生涯学習推進センター, 4.20.
 41. 社会福祉法人どれみ会 どれみ保育園体育, 体育指導, 講師, 保育園園児及び保育士, 川通りどれみ保育園, 6.6, 7.18, 9.12, 10.24.
 42. 新潟県弥彦村体力向上事業, 体育指導, 講師, 新潟県弥彦村, 幼児及び保育士, 弥彦保育園, 6.20, 8.1. (全2回)
 43. 新潟県弥彦村体力向上事業, 体育指導, 講師, 新潟県弥彦村, 幼児及び保育士, 二松保育園, 7.1, 8.22. (全2回)
 44. 新潟県弥彦村体力向上事業, 体育指導, 講師, 新潟県弥彦村, 幼児及び保育士, ひかり保育園, 6.13, 7.11. (全2回)
 45. 新潟県長岡市幼児の体力向上事業, 体育指導, 講師, 幼児及び保育士, 白山保育園, 6.27, 7.27, 10.17, 10.31. (全4回)
 46. マンチェスター・シティサッカー教室, 健常者と障害児者のユニファイド・サッカー教室, コーチ, マンチェスター・シティ・スペシャルオリンピックス日本, 児童(障害児含む), 東京都, 7.20-7.21.
 47. 新潟県新発田市パラスポーツ出前講座, パラスポーツ・福祉教育, 講師, 新発田市小学校児童及び教員, 新発田市小中学校, 9.11, 9.19, 9.20, 9.22, 11.21. (全8回)
 48. 新潟子どものスポーツ応援プロジェクト, スポーツ体験キャラバン, 運営委員, 市民, デンカビッグスワンスタジアム, 9.30.
 49. 目の愛護デーin新潟医療福祉大学, 運動指導, 講師, 幼児, 新潟えきなかこども園・附属こども園・白根カトリックこども園, 10.10. (全2回)
 50. スペシャルオリンピックスナショナルゲームス, 全国大会, 競技委員, 日本国民, 長野市, 11.17-11.18.
 51. 令和6年能登半島地震における新潟市の災害復旧ボランティア, 災害復旧ボランティア, 統括, 新潟市民, 1.6, 1.7, 1.8.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 関甲新学生野球 春季リーグ戦 椿花咲かす, 2023.4.4.
 2. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大・大久保翔太がNPB入り目指す逆襲の春開幕へ, 2023.4.6.
 3. 新聞, 新潟日報, 新たな環境成長誓う 本県関係者の進路, 2023.4.6.
 4. 新聞, 新潟日報, 春季リーグ戦開幕前特集記事, 2023.4.8.
 5. 新聞, 新潟日報, 春季リーグ戦初戦松本大学戦惜敗記事, 2023.4.9.
 6. Web, 日刊スポーツ, 延長競り負け黒星スタート, 2023.4.8.
 7. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大・目黒 終盤戦もフル回転, 2023.5.11.
 8. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大 昨秋の雪辱, 2023.5.16.
 9. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大, 新大下す, 2023.5.16.
 10. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大・熊倉健太の打棒爆発で大勝「いい結果になった」関甲新学生野球, 2023.5.16.

11. Web&新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大144キロ左腕・目黒宏也「しっかりと力を発揮したい」
最多勝へ関東学園大戦, 2023.5.19.
12. 新聞, 新潟日報, 新潟医療福祉大出, 2年目阪神・桐敷プロ初勝利, 2023.5.27.
13. 新聞, 信濃毎日新聞, 2年目桐敷初勝利, 2023.5.27.
14. 新聞, 神戸新聞, 2年目力投7回1失点10K, 2023.5.27.
15. Web & 新聞, スポーツ報知全国版, プロ初勝利の桐敷拓馬, 新潟医療福祉大時代に言い訳をなく
してつかんだプロへの道, 2023.5.27.
16. Web & 新聞, デイリースポーツ全国版, プロ初星挙げた阪神・桐敷の成長秘話 恩師の新潟医療
福祉大・鵜瀬亮一監督が語る 秘訣は「自主性」, 2023.5.27.
17. Web & 新聞, スポーツニッポン全国版, 6連勝貯金15導いた桐敷初勝利, 2023.5.27.
18. Web & 新聞, サンケイスポーツ全国版, 最強タイガース投手陣に新星現る桐敷プロ初星,
2023.5.27.
19. Web & 新聞, 日刊スポーツ全国版, 今季初先発G倒! 桐敷プロ1勝, 2023.5.27.
20. Web & 新聞, 朝日新聞全国版, 魅了された甲子園でプロ初勝利 阪神・桐敷拓馬の「特別な一日」,
2023.5.27.
21. Web&新聞, 産経新聞全国版, 阪神・桐敷がプロ初勝利「特別な一日」 10奪三振と躍動,
2023.5.27.
22. Web & 新聞, 日本経済新聞全国版, 若トラ桐敷直球勝負, 2023.5.27.
23. テレビ, NST, Newsタッチ ジョイスポ! 新潟医療福祉大卒 阪神桐敷初勝利, 2023.5.29.
24. テレビ, UX, スーパーJにいがた ガッツリート 医福大卒 桐敷選手待望のプロ初勝利,
2023.5.29.
25. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 秋季Lデビューへ 医福大ルーキーはつらつ, 2023.5.30.
26. 新聞, 新潟日報, 桐敷きょう先発 「ストライク先行で」闘志, 2023.6.2.
27. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 今日から都市対抗野球北信越2次予選 県関連選手多数,
2023.6.2.
28. 雑誌, ベースボールマガジン社, 新潟大会2023展望号 大学野球企画, 2023.6.22.
29. テレビ, UX, 開局40周年特番「未来への一球」, 2023.6.24.
30. Web, 西日本スポーツ, 元F1レーサーと同姓同名のソフトバンク左腕が復活の三者凡退,
2023.7.3.
31. 新聞, 新潟日報, フレッシュオールスター 桐敷1回無失点, 2023.7.19.
32. Web, 朝日新聞×ABC放送, バーチャル高校野球 新潟県高等学校野球選手権大会 準々決勝解説,
2023.7.20.
33. Web, 朝日新聞×ABC放送, バーチャル高校野球 新潟県高等学校野球選手権大会 準々決勝解説,
2023.7.21.
34. テレビ, UX, 熱闘LIVE2023 新潟県高等学校野球選手権大会 準決勝解説, 2023.7.23.
35. 雑誌, ベースボールマガジン社, 週刊ベースボール7.31号 ドラフト逸材クローズアップ ダイ
ヤモンドを疾走する韋駄天, 2023.7.31.
36. 新聞, 新潟日報, 桐敷今季2勝目, 2023.7.27.
37. 雑誌, ベースボールマガジン社, 大学野球春季リーグ戦決算号 関甲新学生野球連盟, 2023.7.5.
38. Web&新聞, 日刊スポーツ全国版, 新潟医療福祉大の韋駄天大久保翔太がプロ志望届の提出を明言,
2023.8.24.
39. Web & 新聞, 日刊スポーツ全国版, 秋季リーグ戦開幕関連記事, 2023.8.31.
40. 新聞, 新潟日報, 秋季リーグ戦開幕関連記事, 2023.9.1.
41. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大・熊倉新主将2番でけん引, 2023.9.2.
42. 新聞, 新潟日報, 関甲新学生L 医福大と新大初戦を落とす, 2023.9.3.

43. 新聞, 新潟日報, 関甲新学生L 2季ぶり 新大白星, 2023.9.4.
44. 雑誌, ベースボールマガジン社, 大学野球秋季リーグ戦展望号 関甲新学生野球連盟, 2023.9.1.
45. Web & 新聞, サンケイスポーツ全国版, 最後の秋に懸ける男たち 同僚から受ける刺激&先輩の教えで進化中 今秋ドラフトへ, 2023.9.4.
46. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大が新潟対決制し勝率五分に 高岡蓮 8回無失点投球に 鶴瀬監督「変える隙なかった」, 2023.9.11.
47. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大, 新大を零封, 2023.9.12.
48. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 高岡「空気一変」8回零封初勝利, 2023.9.12.
49. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大学は途中出場の西潟晴斗が決勝打, 2023.9.16.
50. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大接戦を制す, 2023.9.17.
51. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大3敗目, 2023.9.18.
52. 新聞, 日刊スポーツ新潟版, 医福大ハードオフ新潟連勝ならず, 2023.9.18.
53. 新聞, 新潟日報, 進撃の阪神18年ぶりのV <5>盤石那リリーフ陣の柱, 2023.9.20.
54. 雑誌, ベースボールマガジン社, 2023ドラフト候補選手名鑑 復帰果たした快速左腕 目黒宏也, 2023.10.8.
55. 雑誌, ベースボールマガジン社, 2023ドラフト候補選手名鑑 スピードでチャンスメイク 大久保翔太, 2023.10.8.
56. Web, 東京スポーツ, 2年目左腕・桐敷拓馬が侍ジャパン候補入り, 2023.10.11.
57. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 秋季リーグ総括記事, 2023.10.17.
58. テレビ, UX新潟テレビ21, 阪神・新潟医福大卒 桐敷投手が3連続三振の快投 日本シリーズ進出まであと2勝, 2023.10.19.
59. 新聞, 新潟日報, トラ3連勝で突破 救援・桐敷 2回無失点, 2023.10.21.
60. 新聞, スポーツニッポン全国版, CS1勝 桐敷 仲間思い「喜んでくれる姿がエネルギー」, 2023.10.21.
61. 新聞, 新潟日報, 桐敷（新潟医福大出）代表に選出 井端ジャパン有望株集結, 2023.10.25.
62. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 今日ドラフト指名待つ 新潟医療福祉大学俊足・大久保&左腕・目黒, 2023.10.26.
63. 新聞, 新潟日報, 関西対決競り合いか 阪神の桐敷好調アピール, 2023.10.26.
64. 新聞, 新潟日報, 阪神・桐敷拓馬（新潟医療福祉大出身）が9回に「デビュー」好投, 2023.11.1.
65. テレビ, UX新潟テレビ21, 新潟医福大卒・阪神桐敷拓馬投手日本シリーズ第3戦で初登板し好投, 2023.11.1.
66. 新聞, 新潟日報, おもいきってやった 日本S桐敷投手登板 日本一, 2023.11.6.
67. テレビ, BSN新潟放送, 阪神タイガース, 38年ぶり悲願の日本一に 9回には桐敷拓馬（新潟医療福祉大出身）が登板, 2023.11.5.
68. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJ新潟, 【プロ野球・日本シリーズ】医療福祉大卒・桐敷拓馬投手 日本一に貢献した2年目を総括【新潟】, 2023.11.6.
69. テレビ, 日本テレビ, 岡田彰布監督が明かす 第7戦の9回に桐敷拓馬を起用したワケ 当初の計画から変更も「チームへの影響力が大きかった」, 2023.11.6.
70. テレビ, UX新潟テレビ21, 阪神・医療福祉大卒 桐敷拓馬投手 侍ジャパンに合流 アジア大会へ, 2023.11.10.
71. 新聞, 新潟日報, 野球日本代表・桐敷拓馬（新潟医療福祉大出身）が初ブルペン ボールにキレ, 調整順調, 2023.11.12.
72. 新聞, 新潟日報, 井端J初陣飾る 桐敷ら無失点継投, 2023.11.17.
73. テレビ, NST, 侍ジャパン初選出・桐敷拓馬投手（新潟医福大卒）台湾戦で三者凡退の好投！日本の勝利に貢献, 2023.11.17.

74. テレビ, BSN, 門脇が決めた!侍ジャパンがサヨナラで韓国下し連覇達成 桐敷拓馬(新潟医療福祉大出身)は1回無失点 アジアCS決勝, 2023.11.20.
75. テレビ, UX新潟テレビ21, ガッツリート 新潟医福大卒桐敷拓馬 アジアに貢献, 2023.11.20.
76. Web, Full-Count, 自責わずか3, 驚異的な後半戦…防御率5点台から飛躍 虎左腕が過ごした“覚醒”の2年目, 2023.11.21.
77. テレビ, NST, 来季NPBイースタンリーグ参加のオイシックス新潟アルビBC 11人の新入団選手を発表, 2023.11.27.
78. Web, スポーツ報知, イースタン参加のオイシックス新潟が新人11人の入団を発表, 2023.11.27.
79. Web, 日刊スポーツ, 来季イースタン新規参入の新潟が創価大・安城健汰ら新入団内定11選手を発表, 2023.11.27.
80. 新聞, スポーツニッポン新潟版, オイシックスに県勢から3名, 2023.11.28.
81. 新聞, 新潟日報, オイシックス新入団選手11名発表, 2023.11.28.
82. テレビ, UX新潟テレビ21, オイシックスアルビBC 2軍戦に向けて新戦力 新たに11人が入団, 2023.11.28.
83. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大 南来春からバイタルネット入り, 2023.12.1.
84. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大・南隼人が来春, 社会人チームのバイタルネットへ「目標は都市対抗で投げること」, 2023.12.1.
85. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大出身阪神・桐敷2200万円増, 2023.12.4.
86. 新聞, 新潟日報, 桐敷3300万円3倍増, 2023.12.4.
87. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大・目黒宏也投手「新潟に恩返ししたい」オイシックス新潟内定会見, 2023.12.4.
88. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJ新潟 ガッツリート, 目黒投手オイシックス新潟アルビレックスBC内定会見, 2023.12.4.
89. テレビ, NHK, ニュース610, 目黒投手オイシックス新潟アルビレックスBC内定会見, 2023.12.4.
90. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大目黒1年目から地元へ恩返し, 2023.12.5.
91. 新聞, 新潟日報, 新潟医福大・目黒「成長した姿見せていく」, 2023.12.5.
92. テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJ新潟, 元最多勝投手も オイシックスが新入団会見【新潟】, 2023.12.8.
93. テレビ, TeNY, 新潟一番, オイシックス新潟アルビBC “最高勝率”や“ドラフト1位”など 来シーズン新たに23人が入団《新潟》, 2023.12.8.
94. テレビ, BSN, ゆうなび, 「NPB経験の7人を含む過去最多の23人が入団」オイシックスアルビBC 新入団選手, 2023.12.8.
95. テレビ, NST, Newsタッチ 【オイシックス新潟】元阪神・高山など新たに23人が入団! 来季NPB2軍リーグへ「互角以上に戦える」, 2023.12.8.
96. テレビ, NHK, ニュース610, オイシックス新入団選手発表会, 2023.12.8.
97. Web & 新聞, 日刊スポーツ, 【現役ドラフト】阪神獲得の漆原大晟“名将”から“名将”のもとへ「1つでも多く吸収出来たら」, 2023.12.8.
98. Web, Ronspo, 現役ドラフトで今年も衝撃ドラマ…巨人が“日本一”阪神からドラ1右腕の馬場皐輔を獲得…中継ぎ版の成功となるか?, 2023.12.8.
99. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 決意新たにオイシックス首脳陣&新入団選手会見, 2023.12.9.
100. 新聞, 新潟日報, 元NPB含む23選手入団, 2023.12.9.
101. 新聞, 日刊スポーツ, 【現役ドラフト】阪神桐敷拓馬が大学の先輩・漆原大晟を歓迎「一緒にやれるのはうれしい」, 2023.12.9.
102. Web & 新聞, スポーツニッポン, 阪神・桐敷 現役ドラフトで新加入の漆原が大学の先輩でも遠

- 慮なし「競争は競争です」, 2023.12.9.
- 103.新聞, 小千谷新聞, 大学現役選手が野球指南「楽しむことが大事」, 2023.12.9.
- 104.テレビ, NST, Newsタッチ, オリックス漆原大晟が現役ドラフトで阪神へ移籍 大学後輩の桐敷が中継ぎのライバルに?, 2023.12.11.
- 105.テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJ新潟, プロ野球・現役ドラフト 新潟医療福祉大学出身・オリックス漆原大晟投手 阪神が指名【新潟】, 2023.12.11.
- 106.Web&新聞, デイリースポーツ, 阪神・桐敷 オリから移籍の漆原と“先輩後輩リレー”や「同じ日に投げたり」心待ち, 2023.12.22.
- 107.Web&新聞, サンケイスポーツ, 阪神・桐敷拓馬, 大学の先輩・漆原大晟と「同じ日に投げたりしてみたい」, 2023.12.22.
- 108.Web&新聞, 日刊スポーツ, 【阪神】桐敷拓馬が母校・新潟医療福祉大を訪問「来年は大事になってくる」来季フル回転誓う, 2023.12.22.
- 109.新聞, 新潟日報, 母校恩師に「アレ」報告, 2023.12.23.
- 110.新聞, スポーツニッポン新潟版, 桐敷50試合登板で1年間戦い抜く, 2024.1.3.
- 111.Web &新聞, 日刊スポーツ, 【阪神】桐敷拓馬が新年の誓い「1年間戦い抜くこと、1軍で生き残って、結果を出す」, 2024.1.6.
- 112.Web&新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大の“韋駄天”大久保翔太, エイジェックでレギュラー取って「2年後はプロに挑戦」, 2024.1.11.
- 113.新聞, スポーツニッポン新潟版, 大久保エイジェックで輝き再び, 2024.1.12.
- 114.テレビ, TeNY, 新潟一番ゴールデンプラス, 二十歳の集いにカメラが潜入 新潟医療福祉大学硬式野球部座主マネージャー, 2024.1.12.
- 115.新聞, 新潟日報, 夢を持ち続けて オイシックス入団の目黒投手 母校東谷小学校で講演, 2024.1.16.
- 116.新聞, スポーツニッポン新潟版, 医福大出桐敷 守護神岩崎に学ぶ脱力投法, 2024.1.17.
- 117.新聞, 新潟日報, プロ野球・新潟県関係選手2024 日本一の阪神・桐敷拓馬投手（新潟医療福祉大学出身）シーズンフル回転目指す, 2024.1.31.
- 118.Web &新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大硬式野球部が新入生オリエンテーション「勝ちと同じくらい大学でしっかり学んで」, 2024.2.4.
- 119.雑誌, 月刊タイガース 2月号, 桐敷拓馬「一年間、一軍で投げきる」, 2024.2.9.
- 120.新聞, スポーツニッポン新潟版, 阪神紅白戦 医福大出身桐敷, 漆原も登板予定, 2024.2.11.
- 121.新聞, 新潟日報, 桐敷 漆原 茨木「リレー」に意欲も, 2024.2.15.
- 122.テレビ, UX, スーパーJにいがた ガッツリート プロ野球春季キャンプリポート②阪神タイガース漆原投手・桐敷投手, 2024.2.19.
- 123.新聞, スポーツニッポン新潟版, 好投1回零封桐敷医福大出身, 2024.2.24.
- 124.新聞, 新潟日報, 再起 挑戦 オイシックス新戦力 長岡出身 目黒宏也投手, 2024.3.10.
- 125.新聞, スポーツニッポン新潟版, 南・大久保の卒業関連記事, 2024.3.20.
- 126.新聞, 新潟日報, 本日開幕 NPB本県関係者記事, 2024.3.29.
- 127.TV・WEBなど, BSN・TBS, 小学生が車いすバスケ体験で障がいやパラスポーツを学ぶ 新潟・新発田市, 2023.9.19.
- 128.新聞・TV・WEBなど, 新潟日報・TBS, トヨタソーシャルフェス, 2023.10.10.
- 129.新聞・TV・WEBなど, 新潟日報・NHK, 新潟市西区災害ボランティア, 2024.1.5-1.6.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員
1. 新潟県スポーツ推進審議会（会長）
 2. 新潟県スポーツ推進プラン実行会議（委員長）
 3. 新潟県部活動改革委員会（委員長）

4. 新潟県オリンピックアスリート支援検討委員会（委員）
5. 新潟県スポーツ協会（評議員）
6. 新潟文化・スポーツコミッション（委員長）
7. 新潟市スポーツ推進審議会（会長）
8. 関甲新学生野球連盟（理事）
9. 新潟県野球協議会（理事）
10. 新潟市立沼垂小学校・体育研究推進委員（研究サポート）
11. 長岡市幼児の体力向上事業（アドバイザー）
12. 村上市幼児の体力向上事業（アドバイザー）
13. 弥彦村幼児の体力向上事業（アドバイザー）
14. 新発田市パラスポーツ出前講座（アドバイザー）
- 4) 職能団体（協会、士会等）の委員
 1. 日本スポーツ協会（コーチデベロッパ）
 2. 日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議（特任幹事）
7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
 1. 2023年度，基盤研究（C），保育者としての成長過程に沿ったVR・Learning教材の開発，研究分担者
 2. 2023年度，基盤研究（C），VR技術とアイトラッキングシステムを用いた熟達野球投手コーチの「わざ」の顕在化，研究代表者・研究分担者
 3. 2021年度，基盤研究（C），幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発，研究代表者・研究分担者
 4. 2023年度，基盤研究（C），体育教師の自覚的な課題解決方略を高めるシステムの開発，研究代表者
 5. 2022年度，科学研究費基盤研究（C），体育科における子供の問題発見・解決能力，言語能力を育む指導方法の検討，研究代表者
 6. 2022年度，科学研究費基盤研究（C），個別最適な学びと協働的な学びの一体化による思考力を高める学習モデルの研究，研究分担者

（8）栄養科学研究センター

①研究テーマ

1. 全世代を対象とした栄養ケア・サポートに関する研究

②センター名簿

センター長：稲葉洋美，健康栄養学科，教授
 副センター長：岩森 大，健康栄養学科，講師
 研究員：永井 徹，健康栄養学科，教授
 研究員：澁谷顕一，健康栄養学科，教授
 研究員：田村典子，健康栄養学科，准教授
 研究員：増田紘之，健康栄養学科，助教
 客員研究員：海和美咲，相模女子大学，助手

③主な活動内容

1. 論文

1. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Kaiwa M, Kondou A, Ishikawa H, Liu L, Ishigami K. Impact of the coronavirus disease 2019 pandemic on leisure screen time and eating habits of Japanese high school students: A comparison between before and during the pandemic. Healthcare, 11, 1265, 2023. (査読あり)

2. Inaba H, Hoshino F, Edama M, Omori G. Snack and nutrient intake status of top-level female university athletes: A cross-sectional study. *Healthcare*, 12, 468, 2024. (査読あり)
3. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 菊元孝則, 熊崎昌, 平林怜, 大森豪. 大学女性アスリートの補食摂取頻度と月経状態および栄養素等摂取状況に関する報告. *新潟栄養・食生活学会誌*, 24, 13-19, 2024. (査読あり)
4. 永井徹, 増田紘之, 海和美咲, 岩森大, 田村典子, 稲葉洋美. 地域高齢女性における老年症候群予防チェックリストの有用性に関する検討. *新潟栄養・食生活学会誌*, 24, 51-56, 2024. (査読あり)
5. Sato N, Takano K, Konishi I, Kobayashi R, Ishigami K, Kinoshita N, Nomura T, Nagai T, Masuda H, Sato D, Uchiyama W, Kanda M. Classification and comparison of the physical characteristics and functions of various age groups of community-dwelling elderly individuals participating in the Kayoi-no-ba program. *The Journal of Physical Therapy Science*. 2024; Ther. Sci. 36: 313-318. (査読あり)
6. 山田智子, ハフマン ジェフリー, 田口円裕, 石上和男, 永井徹, 木下直彦, 瀧口徹. 日本と豪州国民の各種う蝕予防法に関する認識と実践の差. *日本健康教育学会誌*. 2023; 31(3): 117-125. (査読あり)
7. 寺尾幸子, 岩森大. 動画による包丁技術習得に関する教育効果の検証. *調理技術教育学会*, Vol.5(1), 21-25. (査読あり)
8. 岩森大, 稲葉洋美, 永井徹, 澁谷顕一. とろみ調整食品における摂取時の口腔内感覚と摂食嚥下の機能維持に向けた活用. *Precision Medicine* Vol.6 (9), 69-74. (査読あり)
9. 岩森大, 石井穂乃香, 澁谷顕一. 様々な呈味成分を活用したとろみ調味液の口腔内感覚. *Precision Medicine*, Vol.6 (13), 57-61. (査読あり)
10. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 田村典子, 増田紘之, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直之, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2023年度報告書, 2024年3月発行 (分担)
2. 報告書
 1. 岩森大, 宮岡洋三, 宮岡里美, 永井徹. 科研基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2023, 研究代表者
 2. 永井徹, 岩森大, 宮岡洋三, 伊藤加代子. 科研基盤研究 (C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2023, 研究分担者
3. 学会等研究発表
 1. 稲葉洋美, 星野美美, 渋谷怜花, 鶴巻優菜, 渡辺尚生, 高野晃輔, 石上和男. COVID-19流行前後における高校生のスクリーンタイムの変化とその要因. 第75回日本家政学会 (東京都北区), 2023.5.26-5.28.
 2. 鶴巻優菜, 渋谷怜花, 渡辺尚生, 星野美美, 稲葉洋美. 高校生のボディイメージとメディア利用状況. 第75回日本家政学会 (東京都北区), 2023.5.26-5.28.
 3. 渡辺尚生, 渋谷怜花, 鶴巻優菜, 稲葉洋美, 星野美美. 高校生における睡眠の実態と意欲との関係. 第75回日本家政学会 (東京都北区), 2023.5.26-5.28.
 4. 稲葉洋美, 渋谷怜花, 鶴巻優菜, 渡辺尚生, 星野美美. 女子高校生のダイエット行動と食習慣. 第70回日本栄養改善学会 (名古屋市), 2023.9.1-9.3.
 5. 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. 大学女性アスリートの補食摂取習慣. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.11-11.12.
 6. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠・栄養素等摂取状況に関する実態調査. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (横浜市), 2023.11.11-11.12.
 7. 塙晴雄, 江玉睦明, 稲葉洋美, 阿久澤弘, 小林志郎, 伊藤篤司, 小林真里奈, 濱野礼奈, 松浦由生子, 菊元孝則, 大島めぐみ, 大森豪. 本学強化クラブ女子部員の貧血, 鉄欠乏と鉄代謝調節ホルモンヘプ

シジンの検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会（横浜市），2023.11.11-11.12.

8. 清水瑳羅，佐藤万理亜，山下夢朗，小林茉莉，平井美由紀，田村典子. 血小板血栓の初期形成過程におよぼすポリフェノールの効果. 第46回日本バイオレオロジー学会総会（姫路市），2023.6.3.
 9. 佐藤万理亜，清水瑳羅，山下夢朗，田村典子. Flow chamberを用いた血小板機能評価によるヒト血漿由来フォンビルブランド因子の精製. 第23回新潟医療福祉学会学術集会シンポジウム（新潟市），2023.10.28.
 10. 田村典子，小林茉莉，平井美由紀. ケルセチン・ルテオリンによる血小板血栓形成の抑制効果. 第24回新潟栄養・食生活学会総会（新潟市），2023.12.9.
 11. 永井徹，竹内瑞希，井上達朗，坂井邦彦，齋藤泰晴. COVID-19流行下における地域高齢者サルコペニア摂食嚥下障害予防プログラムに関する検討. 第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会（横浜市），2023.5.9-5.10.
 12. 永井徹，石月公美子，堂井真里，齋藤泰晴. 回復期リハビリテーション患者における入棟時の嚥下機能と口腔状態の関連. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会（横浜市），2023.9.2-9.3.
 13. 永井徹，竹内瑞希，井上達朗，齋藤泰晴，石月公美子，堂井真理，坂井邦彦，遠藤沙保里，野崎彰子，山石理恵，笠原純子，北林紘，高橋洋平. 医療職と医療系学生の連携による地域高齢者サルコペニア予防啓発の有用性. 第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会（横浜市），2024.2.15-2.16.
 14. 板離子，岩森大，真柄仁，辻村恭憲，井上誠. とろみと炭酸がもたらす溶液嚥下の変調. 日本顎口腔機能学会（松戸市），2023.4.19.
 15. 岩森大，真柄仁，板離子，小貫和佳奈，辻村恭憲，井上誠. とろみ飲料における感覚刺激の変調が随意嚥下活動に及ぼす影響. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術集会（横浜市），2023.9.2-9.3.
4. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. とやの長寿学級，新潟市公民館事業，栄養と身体活動によりフレイルを予防しよう，新潟市鳥屋野地区公民館，高齢者，新潟市，2023.7.3.
 2. むらかみ長寿大学8月特別講座，嚥下障害とサルコペニア，村上市教育委員会長寿大学，高齢者，村上市，2023.8.3.
 3. むらかみ長寿大学3月特別講座，サルコペニア予防で健康長寿，村上市教育委員会長寿大学，高齢者，村上市，2024.3.12.
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 雑誌，生活協同組合研究（公益財団法人生協総合研究所），COVID-19がもたらした食事とデジタルの共生社会，2024年4月号 Vol.579
 2. 新聞，新潟日報，高齢者の飲み込む力維持に，2024.3.4.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会，事務局長（通年）
5. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2020年度，若手研究，疑似的他者の存在によるおいしさと脳活動の変化についての研究，海和美咲，研究代表者
 2. 2021年度，科研費基盤研究（C），サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究，永井徹，研究代表者
 3. 2021年度，科研費基盤研究（C），代謝物質としての乳酸から見えてきた，活動筋－交感神経フィードバック神経回路，増田紘之，研究代表者
 4. 2023年度，科研基盤研究（C），レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥下機能への刺激効果の解明，岩森大，研究代表者

(9) 脳卒中リハビリテーション研究センター (Stroke Rehabilitation Research Center)

①研究テーマ

1. 脳卒中患者の歩行障害に関わる因子の解明と有効な理学療法プログラムの開発

②センター名簿

センター長 : 犬飼康人, 理学療法学科, 准教授
副センター長: 小股 整, 新潟リハビリテーション病院, 医師
研究員 : 大西秀明, 理学療法学科, 教授
研究員 : 椿 淳裕, 理学療法学科, 教授
研究員 : 芝田純也, 理学療法学科, 教授
研究員 : 齊藤 慧, 理学療法学科, 講師
研究員 : 小島 翔, 理学療法学科, 講師
研究員 : 渡邊慎平, 新潟リハビリテーション病院, 理学療法学科
研究員 : 諏佐貴大, 新潟リハビリテーション病院, 理学療法学科
客員研究員 : 川上紗輝, 新潟医療福祉大学大学院 博士後期課程

③主な活動内容

1. 論文

1. Takahashi H, Inukai Y, Miyaguchi S, Otsuru N, Kawakami S, Onishi H. Effects of noisy galvanic vestibular stimulation on functional reach test. *Neurosci Lett*. 2023; 810: 137336.
2. Kitatani R, Honda K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Prism adaptation during balance standing enhances the transfer after-effect on standing postural displacement. *Neurosci Lett*. 2023; 814: 137470.
3. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial alternating current stimulation does not affect microscale learning. *Behav Brain Res*. 2024; 459: 114770.

2. 学会等研究発表

1. 犬飼康人. 運動を発現する神経メカニズム. 第21回日本神経理学療法学会学術大会 (横浜), 2023.9.28 【教育講演】

3. 学会活動

1. 第60回日本理学療法学術研修大会, 準備委員会 (財務部長), 東京, 2025.5.31-6.1・2024.7.
2. 第29回新潟県理学療法学術大会, 学術局, 新潟, 2024.2.24-2.25

4. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー, 脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の基礎と臨床応用, 主催・講師, 医療従事者, オンライン開催, 2023.7.29.
2. 新潟県理学療法士会主催オンラインセミナー, 運動麻痺・痙縮の改善を目的とした脳卒中患者に対する電気刺激療法 (基礎編), 講師, 医療従事者, オンライン開催, 2024.3.2.
3. 神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部地域連携講演会, 脳卒中患者のバランス障害に対する理学療法, 講師, 2024.2.19.
4. 大阪府理学療法士会生涯学習センター第5回生涯学習研修集会, 脳卒中のバランス障害, 講師, 医療従事者, オンライン開催, 2023.9.30.

5. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. 2023年度, 基盤研究 (C), 動的バランス機能を向上させるニューロモデュレーション技術の開発, 犬飼康人, 研究代表者
2. 2019年度, 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 大西秀明, 研究代表者
3. 2020年度, 挑戦的研究 (開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感

- 覚」の可視化, 大西秀明, 研究代表者
4. 2020年度, 基盤研究 (B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 椿淳裕, 研究代表者
 5. 2021年度, 若手研究, シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用, 芝田純也, 研究代表者
 6. 2023年度, 基盤研究 (C), 知覚学習効果を向上させる新たな介入戦略の創出, 齊藤慧, 研究代表者
 7. 2021年度, 基盤研究 (B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開, 小島翔, 研究代表者

(10) 次世代デジタルリハビリテーション研究センター (Frontier Research Center for Digital Rehabilitation)

①研究テーマ

1. VR・AR・MR技術を駆使した心身機能に関する研究
2. 非侵襲的脳刺激手法およびシミュレーション技術を用いた脳機能に関する研究
3. 慢性疼痛患者に対する遠隔サポートに関する効果判定

②センター名簿

センター長 : 大鶴直史, 理学療法学科, 教授
 副センター長 : 芝田純也, 理学療法学科, 教授
 研究員 : 大西秀明, 理学療法学科, 教授
 研究員 : 山代幸哉, 健康スポーツ学科, 准教授
 研究員 : 宮口翔太, 理学療法学科, 講師
 客員研究員 : 栗田雄一, 広島大学, 教授
 客員研究員 : 原 正之, 埼玉大学, 准教授
 客員研究員 : 金山範明, 産業技術総合研究所, 主任研究員

③主な活動内容

1. 論文

1. Yokota H, Edama M, Kawanabe Y, Hirabayashi R, Sekikne C, Akuzawa H, Ishigaki T, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of transcutaneous auricular vagus nerve stimulation at left cymba concha on experimental pain as assessed with the nociceptive withdrawal reflex, and correlation with parasympathetic activity. Eur J Neurosci (JCR). 2024, in press (査読あり)
2. Nishimoto H, Kodera S, Otsuru N, Hirata A. Individual and group-level optimization of electric field in deep brain region during multichannel transcranial electrical stimulation. Front Neurosci (JCR). 2024;18:1332135. (査読あり)
3. Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial alternating current stimulation does not affect microscale learning. Behav Brain Res (JCR). 2024; 459: 114770. (査読あり)
4. Ikarashi H, Otsuru N, Gomez-Tames J, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. Eur J Pain(JCR). 2024, in press (査読あり)
5. Saito K, Koike K, Takeuchi K, Otsuru N, Onishi H. The effects of transcranial electrical stimulation of the left dorsolateral prefrontal cortex on tactile spatial discrimination performance. Behav Brain Res (JCR). 2023; 452: 114600. (査読あり)
6. Takahashi H, Inukai Y, Miyaguchi S, Otsuru N, Kawakami S, Onishi H. Effects of noisy galvanic

vestibular stimulation on functional reach test. Neurosci Lett (JCR). 2023; 810: 137336. (査読あり)

2. 学会等研究発表

1. 北谷亮輔, 古山達郎, 大鶴直史, 大西秀明. 後頭頂葉と小脳への経頭蓋直流電気刺激が左プリズム適応による姿勢変位に与える領域特異的効果. 第21回日本神経理学療法学会学術大会, 2023.9.9-9.10.
2. 井上歩実, 長坂和明, 宮口翔太, 櫻井典子, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 小脳と前頭前野への経頭蓋交流電気刺激が後部島皮質の活動に与える影響: 機能的磁気共鳴画像法を用いた検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
3. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 右前頭-後頭葉への経頭蓋交流電流刺激が空間性注意に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
4. 山本峻平, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が運動学習に与える効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
5. 小野優翔, 犬飼康人, 高橋ひろな, 川上紗輝, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への陰極経頭蓋直流刺激が立位重心動揺に与える効果と前庭脊髄機能との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
6. 井上創太, 大鶴直史, 原正之, 五十嵐眸実, 飯室幸士, 大西秀明. バーチャルリアリティを用いた自己心拍情報の提示は健常者における触覚情報の優先度を高めるか?. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.

3. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 慢性疼痛患者に対する認知行動療法, 講師, 日本臨床神経生理学会, 医療従事者, 福岡, 2023.11.30-12.2.
2. 第11回日本運動器理学療法学会学術大会, 痛みと脳と情動と考え, 講師, 日本運動器理学療法学会, PT, 福岡, 2023.10.13-10.15.
3. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 痛みと心の変容 (慢性疼痛に対する認知行動療法), 講師, 日本基礎理学療法学会, PT, 広島, 2023.12.2-12.3.
4. Dynamics and Design Conference 2023, VRによる身体認知変容, 講師, 日本機械学会, 研究者, 愛知, 2023.8.27-8.29.
5. 厚生労働省慢性疼痛体制構築モデル事業 新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画, 医師, PT, 他コメディカルスタッフ, オンライン, 2022.7.31.

4. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. 2022年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 慢性疼痛における治療非反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略, 研究代表者
2. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 不安定状態の脳内ネットワーク操作による恐怖記憶消去への挑戦, 研究代表者
3. 2022年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (A), 内受容感覚を利用した身体感覚の自然な“脱着”, 研究分担者
4. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (開拓), 運動感覚変化による着身体・脱身体現象の誘発とリハビリ応用, 研究分担者
5. 2022年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 慢性疼痛に対する簡易型オンライン集団 CBT の開発ならびに治療同盟に関する検証, 研究分担者
6. 2021年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 情動触に影響する生理・神経科学的個人差の検討, 研究分担者

(11) 3D技術研究開発センター (3D Technology Prosthetics and Orthotics Research and Development Center)

①研究テーマ

1. 3D スキャナー・3D プリンターを活用した最先端義肢装具製作適合技術の実用化研究

②センター名簿

センター長 : 東江由起夫

副センター長: 須田裕紀

研究員 : 前田 雄

研究員 : 村山 稔

研究員 : 郷 貴博

研究員 : 佐藤未希

研究員 : 神田 賢

研究員 : 田中惣治

③主な活動内容

1. 報告書

1. 須田裕紀, 丸山貴之, 中村隆. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究, 3D 技術の導入と運用に関する実態調査, 令和5年度 総括・分担研究報告書, 研究分担者
2. 丸山貴之, 須田裕紀, 中村隆. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究, 基本工作法の運用に関する実態調査, 令和5年度 総括・分担研究報告書, 研究分担者

2. 学会等研究発表

1. 東江由起夫, 田山文子, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3D プリンタ製大腿義足ソケット内壁面における3軸方向の接触圧の分析 静止立位時・荷重時・非荷重時・筋収縮時. 日本義肢装具士協会学術会 (セ (仙台市)), 2023.7.15-7.16.
2. 田山文子, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 佐藤未希, 山本紳一郎, 花房昭彦. 3D プリンタ製大腿義足ソケットによるソケット内壁面圧の測定. 日本義肢装具士協会学術大会 (仙台市), 2023.7.15-7.16.
3. 須田裕紀, 中村隆, 東江由起夫, 飛松好子, 前田雄. 補装具製作における3D技術の運用に関する実態調査 (第1報) 3D技術の導入の実態. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山), 2023.10.28-10.29.
4. 中村隆, 須田裕紀, 東江由起夫, 飛松好子. 補装具製作における3D技術の運用に関する実態調査 (第2報) 3D技術の導入効果と課題. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山), 2023.10.28-10.29.
5. 花房昭彦, 大久保美里, 高木基樹, Shahrol Mohamaddan, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 東江由起夫, 前田雄. 動的有限要素法による人体モデルを用いた短下肢装具の評価. LIFE2023 (柏崎市), 2023.9.20.
6. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 3D-Scannerを用いたライナー式下腿義足ソケットと切断端の形状比較. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
7. 大久保美里, 花房昭彦, 高木基樹, Shahrol Mohamaddan, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 東江由起夫, 前田雄. トポロジー最適化を適用した短下肢装具のトルク計測とシミュレーション結果の比較. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.
8. 塚越雄大, 花房昭彦, 高木基樹, Shahrol Mohamaddan, 山本紳一郎, 大西謙吾, 大塚博, 東江由起夫. 陽性モデルの3Dスキャンによる下肢装具製作における修正量の定量化の試み. 第39回日本義肢装具学会学術大会 (岡山市), 2023.10.28-10.29.

3. 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. 東江由起夫. 第29回日本義肢装具士協会学術大会, 教育講演1「3D技術の義肢装具分野への応用」, 講師, 日本義肢装具士協会, 会員(医師, 理学療法士, 作業療法士, 義肢装具士, エンジニア等), 仙台市, 2023.7.15.
2. 東江由起夫. 第39回日本義肢装具学会学術大会, 教育講演3「義肢装具製作現場におけるDXの現状」, 講師, 日本義肢装具学会, 会員(義肢装具士)岡山市, 2023.10.28.
3. Suda H, Maeda Y, Kanda M. 3D Print, CAM/CAD, and SCAN technology for Prosthetics and Orthotics in Japan. Mahidol University Seminar, 2024.3.6. 【特別講演】
4. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況
 1. 2022年度, 若手・女性研究者奨励金, 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量の解明と要因分析, 佐藤未希, 研究代表者
 2. 2023年度, 科研費基盤研究(C), 3D・3Dプリンタを導入した脳卒中片麻痺者の短下肢装具の実用化研究, 東江由起夫, 研究代表者
 3. 2023年度, 科研費基盤研究(C), 下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立, 郷 貴博, 研究代表者
 4. 2023年度, 厚生労働行政推進調査事業(障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究, 須田裕紀, 研究分担者
 5. 2023年度, ニッポー株式会社共同研究費, 3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した義肢装具の実用化に向けた研究, 東江由起夫, 研究代表者
 6. 2023年度, ナブテスコ株式会社共同研究 大腿義足の電子制御膝継手における随意制御の違いが歩行に与える効果 前田 雄, 研究代表者

(12) 生物医科学分析研究センター (Research Center for BioMedical Analysis: RCBMA)

①研究テーマ

1. 質量分析学の医療への貢献
2. 質量分析法や, それに伴うデータ解析技術を駆使しながら, 生物試料やヒト検体中に含まれる生体分子に関する, 高感度・高精度な分析法を確立し, 医療への貢献を目指す

②センター名簿

センター長	: 中山憲司, 臨床技術学科, 准教授
副センター長	: 藤井 豊, 臨床技術学科, 准教授
研究員	: 木下直彦, 医療情報管理学科, 教授
研究員	: 田口 徹, 理学療法学科, 教授
研究員	: 花村健次, 診療放射線学科, 教授
研究員	: 久保亜抄子, 鍼灸健康学科, 教授
顧問	: 塙 晴雄, 臨床技術学科, 教授
顧問	: 石浦章一, 医療情報管理学科, 特任教授
客員研究員	: 佐藤根妃奈, 新潟食料農業大学, 講師
客員研究員	: 中西豊文, 修文大学, 教授
客員研究員	: 田中 聡, Trans-IT Co., Ltd., CEO
客員研究員	: 五十嵐一雄, 医薬分析協会, 代表
外国人客員研究員	: Kan-Jen TSAI, 中山医学大学, 教授
外国人客員研究員	: Yan-Zin CHANG, 中山医学大学病院, 教授
外国人客員研究員	: Xin LI, 北京大学医学部第3病院, 助教

③主な活動内容

1. 学会等研究発表
 1. 本間茂太郎, 太田大樹, 田口徹, 中山憲司, 遅発性筋痛時の脂質代謝変化 - 質量分析技術の理学療

法分野への活用ー。第23回新潟医療福祉学会2023（新潟），2023.10.28.

2. 杉野友亮，関戸翔，景山拓海，佐々木豪，舩井寛，西川晃平，田中利男，中山憲司，高野敬志，井上貴博. 膀胱癌ゼブラフィッシュ異種移植（zPDX）薬効判定モデルの妥当性の検証. 第33回泌尿器科分子・細胞研究会（博多），2024.2.17.

2. 学会活動

1. 日本医用マススペクトル学会，医用質量分析認定士講習会，委員，名古屋，2023.9.9・2023.5.1-9.9.
2. 第49回日本医用マススペクトル学会年会，実行委員，京都市，2024.9.13-9.14，2023.9.8-2024.3.31.
3. Japanese Society for Biomedical Mass Spectrometry (JSBMS) と Mass Spectrometry and Advances in the Clinical Lab (MSACL), The 3rd International Joint Symposium of JSBMS and MSACL, Organizer, Kyoto, 2024.9.13-9.14・2023.4.1-2024.3.31.
4. Heliyon, 2023.04, 高致死率COVID-19のバイオマーカー探索研究，査読
5. Heliyon, 2023.12, 膀胱がんに関するオミックス解析研究，査読
6. Heliyon, 2024.01, 肝臓がんに関するメタボロミクス解析研究，査読
7. Heliyon, 2024.01, 前立腺がんの尿中バイオマーカーに関する研究，査読

3. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第11回「医用質量分析認定士」講習会，医用質量分析認定士の未来医療への貢献，講師，日本医用マススペクトル学会，名古屋，2023.9.9・2023.5.1-9.9.

4. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

1. 2022年度，科研費・基盤研究（C），MALDI-TOF/MSを用いた毛髪脂質の高感度一斉解析法と長期精神疲労評価法への応用，中山憲司，研究代表者
2. 2022年度，科研費・基盤研究（B），ストレス誘発性疼痛の中枢機構解明と理学療法効果の実証，田口徹，研究代表者
3. 2023年度，科研費・基盤研究（C），酸素ウルトラファインバブル溶液による腹膜を介した革新的呼吸補助法の創出，藤井豊，研究代表者
4. 2023年度，科研費・基盤研究（C），成体海馬の神経新生の傷害を介した放射線による鎮痛作用を担うメカニズムの解明，花村健次，研究代表者
5. 2023年度，科研費・基盤研究（B），筋／筋膜の温受容をトリガーとする中枢性鎮痛機構の解明，久保亜抄子，研究代表者

5. その他の活動

1. 大学間共同研究 Sports & Health（S&H）先端科学研究プロジェクト（2024年度継続中）

- 1) キックオフ・ミーティング：新潟医療福祉大学RCBMA・新潟食料農業大学・同志社大学，2023.6.20.
- 2) 臨時 Zoom ミーティング：新潟医療福祉大学RCBMA・修文大学，2023.10.23.
- 3) 第2回 Zoom ミーティング：新潟医療福祉大学RCBMA・新潟食料農業大学・同志社大学・修文大学，2023.12.4.
- 4) 第3回 Zoom ミーティング：新潟医療福祉大学RCBMA・新潟食料農業大学・同志社大学・修文大学，2024.1.29.

2. 産学間共同研究 D⇒H プロジェクト（2024年度継続中）

- 1) キックオフ・ミーティング：新潟医療福祉大学RCBMA・新潟食料農業大学・修文大学（研究協力：島津製作所・大塚製薬），2023.12.18.
- 2) 第2回 ミーティング：新潟医療福祉大学RCBMA（研究協力：島津製作所・大塚製薬），京都，2024.2.5.
- 3) 臨時 Zoom ミーティング：新潟医療福祉大学RCBMA・新潟食料農業大学・修文大学，2024.2.13，2.26.

3. 国際共同研究（2024年度継続中）
 - 1) 中山医学大学病院 毒薬物質分析室, 研究打ち合わせ, 2023.8.28.
 - 2) 中山医学大学病院 毒薬物質分析室, 合同実験, 2023.8.29-9.1.
 - 3) 中山医学大学病院 毒薬物質分析室, 研究打ち合わせ, 2024.3.14.
4. 共同研究依頼
 - 1) 東京都医学総合研究所:AMED「慢性の痛み解明研究事業」への共同研究依頼, 2024.2.8.
 - 2) 東京都医学総合研究所:AMED「慢性の痛み解明研究事業」への共同研究課題の応募, 2024.3.5.
5. センター来訪
 - 1) 渡辺淳先生（島津製作所分析計測事業部）, 新潟食料農業大学・分析機器室, 2023.11.10, 12.11.
 - 2) 矢尾育子先生（関西学院大学・教授）・高雄啓三先生（富山大学大学院医学研究科・教授）, 2023.11.30.
6. 学会活動
 - 1) 第49回日本医用マススペクトル学会 実行委員会, 関西学院大学・新潟医療福祉大学RCBMA・京都大学・同志社大学・修文大学・中部大学, 2023.12.12, 2024.1.18.
 - 2) 米国 Mass Spectrometry & Advances in the Clinical Lab (MSACL) 学会の依頼を受けて, トロント大学医学部医用物理学講座のArash Zarrine-Afsar先生の来日調整を担当, 2023.10.23, 12.17, 12.27, 2024.2.5.
7. 特許出願
 - 1) 特願 2024-23456（京都大学・ジーエルサイエンス株式会社）

11) 運動機能医科学研究所

①研究テーマ

1. 感覚運動機能連関の神経基盤の解明
2. 運動制御および感覚運動学習過程に関する研究
3. 膜性疼痛の生理・病態・心理・治療に関する研究
4. 運動刺激による神経－筋－骨格系の機能的変化に関する研究
5. 運動と呼吸循環応答および脳循環応答に関する研究
6. 運動機能障害に対するリハビリテーションに関する研究と開発
7. 身体運動分析及び行動分析に関する研究
8. アスリート脳に関する研究
9. 健康増進のための運動プログラムの開発
10. サルコペニアやフレイルに対する栄養リハビリテーションに関する研究

②研究員

所長	：佐藤大輔	健康スポーツ学科／教授（運営委員・研究員）
副所長	：大鶴直史	理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	：大西秀明	理学療法学科／副学長（運営委員・研究員）
所員	：久保雅義	理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	：椿 淳裕	理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	：田口 徹	理学療法学科／教授（研究員）
所員	：相馬俊雄	理学療法学科／教授（研究員）
所員	：江玉睦明	理学療法学科／教授（研究員）
所員	：児玉直樹	診療放射線学科／教授（研究員）
所員	：能村友紀	作業療法学科／教授（研究員）
所員	：芝田純也	理学療法学科／教授（研究員）
所員	：八坂敏一	健康栄養学科／教授（研究員）
所員	：齋藤 憲	臨床技術学科／教授（研究員）
所員	：山本裕二	心理健康学科準備室／教授（研究員）
所員	：久保亜抄子	鍼灸健康学科／教授（研究員）
所員	：山代幸哉	健康スポーツ学科／准教授（研究員）
所員	：犬飼康人	理学療法学科／准教授（研究員）
所員	：圓純一郎	作業療法学科／准教授（研究員）
所員	：中山憲司	臨床技術学科／准教授（研究員）
所員	：菊元孝則	理学療法学科／講師（研究員）
所員	：高橋英明	理学療法学科／講師（研究員）
所員	：齊藤 慧	理学療法学科／講師（研究員）
所員	：玉越敬悟	理学療法学科／講師（研究員）
所員	：小島 翔	理学療法学科／講師（研究員）
所員	：井上達朗	理学療法学科／講師（研究員）
所員	：須田裕紀	義肢装具自立支援学科／講師（研究員）
所員	：藤井 豊	臨床技術学科／講師（研究員）
所員	：下門洋文	健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：熊崎 昌	健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：三瀬貴生	健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：藤本知臣	健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：宮口翔太	理学療法学科／講師（研究員）

所員 : 高林知也 理学療法学科／講師（研究員）
 所員 : 越智元太 健康スポーツ学科／講師（研究員）
 所員 : 横田裕丈 理学療法学科／講師（研究員）
 所員 : 平林 怜 理学療法学科／講師（研究員）
 所員 : 長坂和明 理学療法学科／講師（研究員）
 所員 : 森下義隆 健康スポーツ学科／講師（研究員）
 所員 : 太田大樹 理学療法学科／助教（研究員）
 所員 : 関根千恵 理学療法学科／助教（研究員）
 所員 : 大野 健 診療放射線学科／助教（研究員）
 所員 : 北谷亮輔 理学療法学科／助教（研究員）
 所員 : 田宮 創 理学療法学科／助教（研究員）
 所員 : 池上 諒 理学療法学科／助教（研究員）
 所員 : 櫻井典子 診療放射線学科／助教（研究員）
 所員 : 石垣智恒 理学療法学科／助教（研究員）
 所員 : 阿久澤弘 理学療法学科／助教（研究員）
 所員 : 五十嵐小雪 健康スポーツ学科／助教（研究員）
 所員 : 星 春輝 理学療法学科／助手／D1（大西秀明）
 所員 : 五十嵐眸実 理学療法学科／助手／D2（大鶴直史）
 大学院生 : 小島 将 医療福祉学専攻／D4（椿淳裕）
 大学院生 : 川上沙輝 医療福祉学専攻／D2（大西秀明）
 大学院生 : レコンダット 医療福祉学専攻／D2（佐藤大輔）
 大学院生 : 坂本航大 医療福祉学専攻／D1（江玉睦明）
 大学院生 : 井上創太 医療福祉学専攻／D1（大鶴直史）
 大学院生 : 大倉百合絵 理学療法学分野／M3（長坂和明）
 大学院生 : 志賀恭介 理学療法学分野／M2（宮口翔太）
 大学院生 : 高橋ひろな 理学療法学分野／M2（犬飼康人）
 大学院生 : 田邊かこ 理学療法学分野／M2（小島翔）
 大学院生 : 丸山雄基 理学療法学分野／M2（小島翔）
 大学院生 : 鈴木駿佑 理学療法学分野／M2（高林知也）
 大学院生 : 平塚 栞 理学療法学分野／M2（高林知也）
 大学院生 : 笠原一希 理学療法学分野／M2（久保雅義）
 大学院生 : 村上優太 理学療法学分野／M2（久保雅義）
 大学院生 : 巻渕泰輝 健康スポーツ分野／M2（山代幸哉）
 大学院生 : 佐々木啓 放射線情報学分野／M2（児玉直樹）
 大学院生 : 湯口志捺 放射線情報学分野／M2（児玉直樹）
 大学院生 : 近藤優樹 理学療法学分野／M1（小島翔）
 大学院生 : 明 博瑛 理学療法学分野／M1（田口徹）
 大学院生 : 小野優翔 医療福祉学専攻／M1（犬飼康人）
 大学院生 : 山本峻平 理学療法学分野／M1（宮口翔太）
 大学院生 : 平賀大河 理学療法学分野／M1（齊藤慧）
 大学院生 : 飯室幸士 理学療法学分野／M1（大鶴直史）
 大学院生 : 遠間悠貴 理学療法学分野／M1（久保雅義）
 大学院生 : 緒方嵩人 理学療法学分野／M1（高林知也）
 大学院生 : 大河内偉琉 理学療法学分野／M1（平林怜）
 大学院生 : 小川有生人 理学療法学分野／M1（長坂和明）

大学院生：長尾彩音 理学療法学分野／M1（長坂和明）
大学院生：大石美鈴 放射線情報学分野／M1（児玉直樹）
大学院生：高橋 壮 放射線情報学分野／M1（児玉直樹）
大学院生：川崎裕樹 放射線情報学分野／M1（児玉直樹）

③主な活動内容

1. 著書

1. 高林知也，関節間トレードオフ，理学療法ジャーナル，第57巻5号：医学書院；2023：542-547.
2. 井上達朗，堀田一樹，フレイルの早期検知を目的としたAIによるセンシングデータ解析・行動分析技術を用いた歩行速度のモニタリングについて，システム／制御／情報，第67巻5号：システム制御情報学会；2023：29-33.
3. 井上達朗，高齢入院患者に対する栄養サポートチームにおける理学療法士の役割，日本老年療学会誌，2巻：日本老年療学会；2023：44942.
4. 高林知也，ランニング障害－医科学から考える－ 長距離ランニングのバイオメカニクス，臨床スポーツ医学（特集），Vol40, No. 11：文光堂；2023：.
5. 田宮創，星合愛，糖尿病患者の身体活動量を増やす方法，教えます！，糖尿病ケア+，第20巻5号：メディカ出版；2023：64-70.
6. 藤本知臣，西保岳，低温下における体温調節反応と運動時の低体温症発症メカニズム，温度ストレスによる生体応答ダイナミクス，初版：NST；2023：245-256.
7. 井上達朗，疾患と栄養，Crosslink basic リハビリテーションテキスト 栄養学・生化学，2023：メジカルビュー社；2023：75-82.
8. 井上達朗，基本統計量・統計，感度・特異度，PTスタートガイド 基礎理学療法概論，改訂第2版：メジカルビュー社；2023：100-103, 106-107.
9. 井上達朗，フレイルに対する栄養介入の効果は？，日本医事新報，：日本医事新報社；2024：50.
10. 江玉睦明，大腿四頭筋の正常構造と機能，筋損傷へのエコー活用術，初版：日本医事新報社；2023：188-194.
11. 江玉睦明，腿三頭筋の正常構造と機能，筋損傷へのエコー活用術，初版：日本医事新報社；2023：227-234.
12. 江玉睦明，足部・足関節の解剖，整形外科医のための足のスポーツ診療のすべて，初版：日本医事新報社；2023：45341.
13. 江玉睦明，足部・足関節の解剖，あしのスポーツ診療のすべて，初版：日本医事新報社；2023：45341.
14. 江玉睦明，運動器の機能と構造，AT専門基礎科目テキスト，1巻：文光堂；2024：212-223.
15. 藤本知臣，寒冷下におけるヒトの体温調節と運動時低体温症の発症メカニズム，新潟医療福祉学会誌，23巻2号：新潟医療福祉学会；2023：45330.
16. 藤本知臣，オープンウォータースイミング中の体温変化と生理応答に基づいたハイパフォーマンス戦略，水泳水中運動科学，26巻1号：日本水泳・水中運動学会；2024：44-48.

2. 論文

1) 国際誌

- (1) Matsui T, Takahashi S, Ochi G, Yoshitake S, Funabashi D, Matsuoka H, Kagesawa J, Dobashi S, Yoshimoto H, Sakairi Y, Takagi H. Cognitive decline with pupil constriction independent of subjective fatigue during prolonged esports across player expertise levels. Comput Human Behav (JCR). 2024; 156: 108219.
- (2) Kikumoto T, Kobayashi M, Omori G, Kubo M. Single-legged landing behavior of high school basketball players with chronic ankle instability. J Bodyw Mov Ther (JCR). 2024; 39:4 54-462.
- (3) Amakasu K, Inoue T, Watanabe Y. Low phase angle: A predictor of functional status and

- discharge disposition in acute stroke older patients. *Clin Nutr ESPEN (JCR)*. 2024; 61: 197-202.
- (4) Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Murayama T, Narita I. Protein intake and its relationship with frailty in chronic kidney disease. *Clin Exp Nephro l(JCR)*. 2024; 28(5): 447-453.
 - (5) Nozoe M, Inoue T, Ogino T, Okuda K, Yamamoto K. The added value of frailty assessment as the premorbid stroke status on activities of daily living in patients with acute stroke, stratified by stroke severity. *J Nutr Health Aging (JCR)*. 2024; 28(5): 100201.
 - (6) Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Akuzawa H, Ishigaki T, Kikumoto T, Edama M. Comparison of trunk muscle thickness and brightness in collegiate female athletes with and without a history of low back pain. *Isokinet Exerc Sci (JCR)*. 2024, in press
 - (7) Fujii N, Igarashi Y, Ishii Y, Ito E, Lai YF, Tanabe Y, Fujimoto T, Ogawa K, Nabekura Y, Hiroyama T, Nishiyasu T. Menthol alleviates post-race elevations in muscle soreness and metabolic and respiratory stress during running. *Eur J Appl Physiol (JCR)*. 2024, in pres
 - (8) Ishigaki T, Akuzawa H, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Edama M. Elbow valgus stress during towel drills in college baseball players. *J Shoulder Elbow Surg (JCR)*. 2024; 33(4): 765-772.
 - (9) Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Effect of Wetsuit Use on Body Temperature and Swimming Performance During Training in the Pool: Recommendations for Open-Water Swimming Training With Wetsuits. *Int J Sports Physiol Perform (JCR)*. 2024; 19(4): 407-411.
 - (10) Ogino T, Nozoe M, Inoue T, Ishida M, Yamamoto K. Impact of possible sarcopenia on functional prognosis in patients with acute stroke with premorbid disability. *Geriatr Gerontol Int (JCR)*. 2024; 24(4): 359-363.
 - (11) Suzuki M, Nagano A, Ueshima J, Saino Y, Kawase F, Kobayashi H, Murotani K, Inoue T, Nagami S, Maeda K. Prevalence of dysphagia in patients after orthopedic surgery. *Arch Gerontol Geriatr (JCR)*. 2024; 119: 105312.
 - (12) Kakiuchi M, Inoue T, Kobayashi H, Ebina A, Nakano G, Takehi T, Tanaka T, Nishihara M. Sarcopenia assessed using a questionnaire can predict in-hospital mortality in older patients with pulmonary tuberculosis. *Clin Nutr ESPEN (JCR)*. 2024; 60: 217-222.
 - (13) Saito R, Shagawa M, Sugimoto Y, Hirai T, Kato K, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Ishigaki T, Akuzawa H, Togashi R, Yamada Y, Osanami H, Edama M. Changes in the mechanical properties of the thigh and lower leg muscle-tendon units during the early follicular and early luteal phases. *Front Sports Act Living (JCR)*. 2024; 6: 1323598.
 - (14) Tomita N, Katayama H, Kurihara Y, Takahashi T, Shibata S, Mima T, Osu R, Kumano H. Tackling social anxiety with targeted brain stimulation: investigating the effects of transcranial static magnetic field stimulation on self-focused attention. *Front Behav Neurosci (JCR)*. 2024; 18: 1373564.
 - (15) Tokunaga R, Shibata H, Kurosawa M. Alteration of serotonin release response in the central nucleus of the amygdala to noxious and non-noxious mechanical stimulation in a neuropathic pain model rat. *J Physiol Sci (JCR)*. 2024; 74(1): 17.
 - (16) Tsubaki A, Tamiya H, Baba H, Miyajima T, Morishita S. Repeated acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation changes. In: *Biophotonics in Exercise Science, Sports Medicine, Health Monitoring Technologies, and Wearables V*. Vol 12838. SPIE; 2024: 43-48.
 - (17) Nishimoto H, Kodera S, Otsuru N, Hirata A. Individual and group-level optimization of electric

- field in deep brain region during multichannel transcranial electrical stimulation. *Front Neurosci (JCR)*. 2024; 18: 1332135.
- (18) Osanami H, Akuzawa H, Sakamoto K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Ishigaki T, Edama M. Validation of anterior ankle soft tissue dynamics and shear modulus for anterior ankle impingement syndrome after ankle fracture surgery. *Sci Rep (JCR)*. 2024; 14(1): 5863.
 - (19) Maruyama Y, Kojima S, Onishi H. Discrimination of the moving direction is improved depending on the pattern of the mechanical tactile stimulation intervention. *BMC Neurosci (JCR)*. 2024; 25(1): 15.
 - (20) Ueshima J, Inoue T, Saino Y, Kobayashi H, Murotani K, Mori N, Maeda K. Diagnosis and prevalence of cachexia in Asians: A scoping review. *Nutrition (JCR)*. 2024; 119: 112301.
 - (21) Nakazono Y, Shimojo H, Sengoku Y, Takagi H, Tsunokawa T. Impact of variations in swimming velocity on wake flow dynamics in human underwater undulatory swimming. *J Biomech (JCR)*. 2024; 165: 112020.
 - (22) Kasahara K, Konrad A, Yoshida R, Murakami Y, Koizumi R, Thomas E, Behm DG, Nakamura M. Comparison of the effects of different foam rolling durations on knee extensors function. *Biol Sport (JCR)*. 2024; 41(2): 139-145.
 - (23) Kasahara K, Konrad A, Yoshida R, Murakami Y, Sato S, Koizumi R, Thomas E, Behm DG, Nakamura M. Comparison of acute and prolonged effects of short-term foam rolling and vibration foam rolling on the properties of knee extensors. *Biol Sport (JCR)*. 2024; 41(2): 19-26.
 - (24) Shiga K, Miyaguchi S, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. Transcranial alternating current stimulation does not affect microscale learning. *Behav Brain Res (JCR)*. 2024; 459: 114770.
 - (25) Murakami Y, Kasahara K, Yoshida R, Takeuchi K, Matsuo S, Mizuno T, Nakamura M. Time course of changes in passive properties and joint position sense after static stretching. *Sport Sci Health*. 2024 (JCR). in press
 - (26) Sinha AS, Shibata S, Takamatsu Y, Akita T, Fukuda A, Mima T. Static Magnetic Field Stimulation Enhances Shunting Inhibition via a SLC26 Family Cl⁻ Channel, Inducing Intrinsic Plasticity. *J Neurosci (JCR)*. 2024; 44(9): e1324222024
 - (27) Sasaki K, Sakurai N, Yuguchi Y, Kasai S, Kodama N. Identification of areas of the brain activated by active stimulation in hairless skin. *Behav Brain Res (JCR)*. 2024; 458: 114758.
 - (28) Fujii Y, Abe T. Establishment of a Novel Miniature Double-Lumen Catheter Single-Cannulation Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation Model in the Rat. *Membranes (JCR)*. 2024; 14(3): 55
 - (29) Inaba H, Hoshino F, Edama M, Omori G. Snack and Nutrient Intake Status of Top-Level Female University Athletes: A Cross-Sectional Study. *Healthcare (Basel)(JCR)*. 2024; 12(4): 468
 - (30) Inoue T, Momosaki R, Shimizu A, Maeda K. Hospitalization-associated disability prediction using Hospital Frailty Risk Score in older patients undergoing pancreatectomy. *Eur Geriatr Med*. 2024 (JCR). in press
 - (31) Ikarashi H, Otsuru N, Gomez-Tames J, Hirata A, Nagasaka K, Miyaguchi S, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Modulation of pain perception through transcranial alternating current stimulation and its nonlinear relationship with the simulated electric field magnitude. *Eur J Pain*. Published online February 6, 2024. doi:10.1002/ejp.2249
 - (32) Koshino Y, Takabayashi T, Akuzawa H, Mizota T, Numasawa S, Kobayashi T, Kudo S, Hikita Y, Akiyoshi N, Edama M. Differences and relationships between weightbearing and non-weightbearing dorsiflexion range of motion in foot and ankle injuries. *J Orthop Surg Res*

- (JCR). 2024; 19(1): 115.
- (33) Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Arch height flexibility is associated with plantar fascia tension during running. *Gait Posture (JCR)*. 2024; 108: 270-274.
 - (34) Watanabe T, Takabayashi T, Kikumoto T, Kikuchi Y, Suzuki S, Hiratsuka S, Kubo M. Differences in abductor hallucis activity during running in individuals with chronic ankle instability and copers. *Gait Posture (JCR)*. 2024; 108: 22-27.
 - (35) Tamiya H, Hoshiai M, Abe T, Watanabe H, Fujii Y, Tsubaki A. Prolonged Sitting Induces Elevated Blood Pressure in Healthy Young Men: A Randomized Crossover Trial. *Cureus (JCR)*. 2024; 16(2): e55224.
 - (36) Ogawa M, Okamura M, Inoue T, Sato Y, Momosaki R, Maeda K. Relationship between nutritional status and clinical outcomes among older individuals using long-term care services: A systematic review and meta-analysis. *Clin Nutr ESPEN (JCR)*. 2024; 59: 365-377.
 - (37) Kojima S, Usui N, Shigetake M, Uehata A, Inatsu A, Ando S, Matsuzawa R, Suzuki Y, Nakata J, Tsuchiya T, Hisadome H, Mawatari T, Tsubaki A. Intramuscular and abdominal fat measured by computed tomography and mortality of hemodialysis patients. *Nephrol Dial Transplant (JCR)*. 2024; 39(2): 286-296.
 - (38) Mizumura K, Taguchi T. Neurochemical mechanism of muscular pain: Insight from the study on delayed onset muscle soreness. *J Physiol Sci (JCR)*. 2024; 74(1): 4.
 - (39) Ota H, Oi R, Katanosaka K, Mizumura K, Taguchi T. Expression profiles of Tmem120A/TACAN in rat skeletal muscle subjected to exercise and inflammation. *PAIN RESEARCH (JCR)*. 2024; 39(1): 35-39.
 - (40) Nasu T, Kainuma R, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Increased nociceptive behaviors and spinal c-Fos expression in the formalin test in a rat repeated cold stress model. *Neurosci Res (JCR)*. 2024; 198: 30-38.
 - (41) Takahashi M, Tamura Y, Tsurumi T, Terashima M, Takahashi H, Tamiya H, Furuya T, Nakatani Y, Otani N, Yasu T. Skeletal Muscle Quality Assessment in Patients With Cardiac Disease Associated With Type 2 Diabetes Mellitus: A Pilot Study. *Cureus (JCR)*. 2024; 16(1): e51897.
 - (42) Hitosugi N, Hotta K, Taketa Y, Takamizawa R, Fujii Y, Ikegami R, Tamiya H, Inoue T, Tsubaki A. The effect of sepsis and reactive oxygen species on skeletal muscle interstitial oxygen pressure during contractions. *Microcirculation (JCR)*. 2024; 31(1): e12833.
 - (43) Murakami Y, Konrad A, Kasahara K, Yoshida R, Warneke K, Behm DG, Nakamura M. Acute effects of resistance training at different range of motions on plantar flexion mechanical properties and force. *J Sports Sci (JCR)*. 2024; 42(1): 38-45.
 - (44) Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Sugahara T, Narita I. Low muscle strength and physical function contribute to falls in hemodialysis patients, but not muscle mass. *Clin Exp Nephrol (JCR)*. 2024; 28(1): 67-74.
 - (45) Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Thermal Sensation After the 10-km Open-Water Swimming in Cool Water Depends on the Skin's Thermal Sensitivity Rather Than Core Temperature. *Int J Sports Physiol Perform (JCR)*. 2024; 19(1): 28-33.
 - (46) Yamamoto S, Okada Y, Yoshida N, Takeshita K, Sakurai N, Ichikawa A, Takimoto M. An Investigation Into the Effect of Different Static Magnetic Fields of 1.5-T and 3.0-T MRI on the Measurement of Tumor Diameters in Breast Cancer. *Cureus (JCR)*. 2024; 16(1): e52838.
 - (47) Sekine C, Yamamoto M, Hirabayashi R, Yokota H, Edama M. Comparison of trunk muscle activity during lumbar stabilization exercises on stable and unstable surfaces. *J Back*

- Musculoskelet Rehabil (JCR). 2023; 37: 801-809
- (48) [Murakami Y](#), [Nishida S](#), [Kasahara K](#), [Yoshida R](#), [Hayakawa R](#), [Nakamura M](#). Eccentric force and electromyogram comparison between the eccentric phase of the Nordic hamstring exercise and the razor hamstring curl. PLoS One (JCR). 2023; 18(12): e0293938.
 - (49) [Mochizuki T](#), [Ushiki T](#), [Suzuki K](#), [Sato M](#), [Ishiguro H](#), [Suwabe T](#), [Watanabe S](#), [Edama M](#), [Omori G](#), [Yamamoto N](#), [Kawase T](#). Elevated IL-18 and Comparable IL-1 Receptor Antagonist Levels Are Characteristic Features of L-PRP in Female College Athletes Compared to Male Professional Soccer Players. Int J Mol Sci (JCR). 2023; 24(24).
 - (50) [Sakurai N](#), [Nagasaka K](#), [Sasaki K](#), [Yuguchi Y](#), [Takahashi S](#), [Kasai S](#), [Onishi H](#), [Kodama N](#). The relaxation effect of autonomous sensory meridian response depends on personal preference. Front Hum Neurosci (JCR). 2023; 17: 1249176.
 - (51) [Matsumoto T](#), [Watanabe T](#), [Ito K](#), [Horinouchi T](#), [Shibata S](#), [Kurumadani H](#), [Sunagawa T](#), [Mima T](#), [Kirimoto H](#). Effect of transcranial static magnetic stimulation over unilateral or bilateral motor association cortex on performance of simple and choice reaction time tasks. Front Hum Neurosci (JCR). 2023; 17: 1298761.
 - (52) [Ishida Y](#), [Maeda K](#), [Murotani K](#), [Shimizu A](#), [Ueshima J](#), [Nagano A](#), [Sonoi N](#), [Inoue T](#), [Mori N](#). Body mass index and weight change are associated with mortality in chronic kidney disease: A retrospective cohort study using a Japanese medical claims database. Nutrition (JCR). 2023; 116: 112147.
 - (53) [Matsuura Y](#), [Fujimoto T](#), [Koizumi K](#), [Mise T](#), [Edama M](#), [Shimoyama Y](#). Posterior deltoid shoulder tightness and greater contralateral lower limb muscle strength are associated with swimmers' shoulder pain. J Sci Med Sport (JCR). 2023; 26(12): 694-699.
 - (54) [Kasahara K](#), [Konrad A](#), [Murakami Y](#), [Yoshida R](#), [Thomas E](#), [Nakamura M](#). Acute Effects of Different Foam Roller Intervention Techniques on Knee Extensors. J Sports Sci Med (JCR). 2023; 22(4): 681-687.
 - (55) [Takamido R](#), [Yokoyama K](#), [Nakamoto H](#), [Ota J](#), [Yamamoto Y](#). Interpersonal coordination analysis in bat-and-ball sports under a real game situation: Asymmetric interaction and delayed coupling. PLoS One (JCR). 2023; 18(11): e0290855.
 - (56) [Fukuie T](#), [Suwabe K](#), [Kawase S](#), [Shimizu T](#), [Ochi G](#), [Kuamizu R](#), [Sakairi Y](#), [Soya H](#). Groove Rhythm Enhances Exercise Impact on Prefrontal Cortex Function in Groove Enjoyers. Neuroscience (JCR). 2023; 531: 117-129.
 - (57) [Yamashiro K](#), [Shiia K](#), [Ikarashi K](#), [Anazawa S](#), [Makibuchi T](#), [Baba Y](#), [Fujimoto T](#), [Ochi G](#), [Omori G](#), [Sato D](#). Reduced somatosensory evoked potentials and paired-pulse inhibition in the primary somatosensory cortex of athletes with chronic pain. Eur J Appl Physiol (JCR). 2023; 123(11): 2537-2543.
 - (58) [Kojima S](#), [Usui N](#), [Uehata A](#), [Hisadome H](#), [Inatsu A](#), [Tsuchiya T](#), [Mawatari T](#), [Tsubaki A](#). Relationships between frailty and exercise capacity in patients undergoing hemodialysis: A cross-sectional study. Geriatr Gerontol Int (JCR). 2023; 23(11): 795-802.
 - (59) [Ishida Y](#), [Maeda K](#), [Murotani K](#), [Shimizu A](#), [Ueshima J](#), [Nagano A](#), [Sonoi N](#), [Inoue T](#), [Mori N](#). Association of body mass index and weight change with death in patients with advanced cancer. Nutrition (JCR). 2023; 115: 112152.
 - (60) [Hirabayashi R](#), [Edama M](#), [Takeda M](#), [Yamada Y](#), [Yokota H](#), [Sekine C](#), [Onishi H](#). Participant attention on the intervention target during repetitive passive movement improved spinal reciprocal inhibition enhancement and joint movement function. Eur J Med Res (JCR). 2023; 28(1): 428.

- (61) [Shibata S](#), Takahashi H, Miida Y, Mima T, [Onishi H](#). Priming effects of transcutaneous vagus nerve stimulation on the neuromodulation induced by transcranial static magnetic field stimulation in human motor cortex. *Clin Neurophysiol (JCR)*. 2023; 154: 194-197.
- (62) [Kitatani R](#), Honda K, [Inukai Y](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Prism adaptation during balance standing enhances the transfer after-effect on standing postural displacement. *Neurosci Lett (JCR)*. 2023; 814: 137470.
- (63) Inai T, [Takabayashi T](#). Lower-limb sagittal joint angles during gait can be predicted based on foot acceleration and angular velocity. *PeerJ (JCR)*. 2023; 11: e16131.
- (64) Mochizuki T, Ushiki T, Suzuki K, Sato M, Ishiguro H, Suwabe T, [Edama M](#), Omori G, Yamamoto N, Kawase T. Characterization of Leukocyte- and Platelet-Rich Plasma Derived from Female Collage Athletes: A Cross-Sectional Cohort Study Focusing on Growth Factor, Inflammatory Cytokines, and Anti-Inflammatory Cytokine Levels. *Int J Mol Sci (JCR)*. 2023; 24(17). doi:10.3390/ijms241713592
- (65) Saino Y, Kawase F, Nagano A, Ueshima J, Kobayashi H, Murotani K, [Inoue T](#), Nagami S, Suzuki M, Maeda K. Diagnosis and prevalence of sarcopenic obesity in patients with colorectal cancer: A scoping review. *Clin Nutr (JCR)*. 2023; 42(9): 1595-1601.
- (66) Kumazaki A, [Fujimoto T](#), Matsuura Y. Longitudinal Development of Physical Characteristics and Function in Japanese Junior Rugby Union Players. *Int J Sports Physiol Perform (JCR)*. 2023; 18(9): 1038-1046.
- (67) [Saito K](#), Koike K, Takeuchi K, [Otsuru N](#), [Onishi H](#). The effects of transcranial electrical stimulation of the left dorsolateral prefrontal cortex on tactile spatial discrimination performance. *Behav Brain Res (JCR)*. 2023; 452: 114600.
- (68) Nasu T, Hori A, Hotta N, Kihara C, [Kubo A](#), Katanosaka K, Suzuki M, Mizumura K. Vacuolar-ATPase-mediated muscle acidification caused muscular mechanical nociceptive hypersensitivity after chronic stress in rats, which involved extracellular matrix proteoglycan and ASIC3. *Sci Rep (JCR)*. 2023; 13(1): 13585.
- (69) Sasaki R, [Kojima S](#), [Otsuru N](#), [Yokota H](#), [Saito K](#), Shirozu H, [Onishi H](#). Beta resting-state functional connectivity predicts tactile spatial acuity. *Cereb Cortex (JCR)*. 2023; 33(16): 9514-9523.
- (70) Kudo S, Aoyagi T, Kobayashi T, Koshino Y, [Edama M](#). Ultrasound Imaging of Subtalar Joint Instability for Chronic Ankle Instability. *Healthcare (Basel)(JCR)*. 2023; 11(15). doi:10.3390/healthcare11152227
- (71) [Sekine C](#), Hayashi H, [Hirabayashi R](#), [Yokota H](#), Saisu K, [Takabayashi T](#), [Edama M](#). Trunk muscle activity while lifting objects of expected and unexpected weight in normal subjects and patients with low back pain. *Isokinet Exerc Sci (JCR)*. 2024, in press
- (72) Hirai T, [Edama M](#), Togashi R, Osanami H, Saito R, Kato K, Shagawa M, [Sekine C](#), [Yokota H](#), [Hirabayashi R](#), [Ishigaki T](#), [Akuzawa H](#), Yamada Y, Toriumi T, Kageyama I. Anatomical study of type classification and surface area of attachment sites for tibialis anterior tendon. *BMC Musculoskelet Disord (JCR)*. 2023; 24(1): 631.
- (73) [Akuzawa H](#), Morito T, Oshikawa T, Kumai T, Kaneoka K. Functional relationship between the foot intrinsic and extrinsic muscles in walking. *J Electromyogr Kinesiol (JCR)*. 2023; 71: 102781.
- (74) [Takahashi H](#), [Inukai Y](#), [Miyaguchi S](#), [Otsuru N](#), [Kawakami S](#), [Onishi H](#). Effects of noisy galvanic vestibular stimulation on functional reach test. *Neurosci Lett (JCR)*. 2023; 810: 137336.

- (75) Kasahara K, Konrad A, Yoshida R, Murakami Y, Sato S, Koizumi R, Behm DG, Nakamura M. Comparison of isolated or combined static stretching and foam rolling on knee extensors' function. J Sports Sci Med (JCR). 2023; 22: 388-395.
- (76) Makibuchi T, Yamashiro K, Anazawa S, Fujimoto T, Ochi G, Ikarashi K, Sato D. Assessing the Effects of the Topical Application of L-Menthol on Pain-Related Somatosensory-Evoked Potentials Using Intra-Epidermal Stimulation. Brain Sci (JCR). 2023; 13(6). doi:10.3390/brainsci13060918
- (77) Shimomura R, Shibata S, Koganemaru S, Minakuchi M, Ichimura S, Itoh A, Shimotake K, Mima T. Transcranial static magnetic field stimulation (tSMS) can induce functional recovery in patients with subacute stroke. Brain Stimul (JCR). 2023; 16(3): 933-935.
- (78) Shibata S, Koganemaru S, Mima T. Non-invasive Brain Stimulation in Post-stroke Dysphagia Rehabilitation: A Narrative Review of Meta-analyses in 2022. Prog Rehabil Med (JCR). 2023; 8: 20230015.
- (79) Anazawa S, Yamashiro K, Makibuchi T, Ikarashi K, Fujimoto T, Ochi G, Sato D. Sex Differences in Excitatory and Inhibitory Function in the Primary Somatosensory Cortex during the Early Follicular Phase: A Preliminary Study. Brain Sci (JCR). 2023; 13(5).
- (80) Abe T, Hanawa H, Fujii Y. Gene Expression of Inflammatory Cytokines in Major Organs by Extracorporeal Circulation. J Clin Med Res (JCR). 2023; 12(8).
- (81) Yukawa Y, Shibata S, Koganemaru S, Minakuchi M, Shimomura R, Nakamura K, Mima T. Low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation can alleviate spasticity and induce functional recovery in patients with severe chronic stroke: A prospective, non-controlled, pilot study. Heliyon (JCR). 2023; 9(4): e15564.
- (82) Hirata C, Kitahara S, Yamamoto Y, Gohara K, Richardson MJ. Initial phase and frequency modulations of pumping a playground swing. Phys Rev E (JCR). 2023; 107(4-1): 044203.
- (83) Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Effect of change in patellofemoral joint contact area by the decrease in vastus medialis muscle activation on joint stress. Acta Bioeng Biomech (JCR). 2023; 25(2): 41-47.

2) 国内誌

- (1) 櫻井典子, 甲斐千遥, 長和弘, 近藤敏志, 児玉直樹, 笠井聡. 乳房X線画像における乳房構成解析 (Breast Density Assessment) ソフトウェアの有用性. 日本診療放射線技師会誌. 2023 ; 70 : 20-27.
- (2) 緒方嵩人, 高林知也, 遠間悠貴, 菊元孝則, 久保雅義. 立位ストリームライン姿勢における上部・中部・下部胸椎角度と腰椎角度の関連性. 水泳水中運動科学. 2023.
- (3) 垣内優芳, 井上達朗. 高齢肺炎入院患者の自己排痰可否を判断する咳嗽力のカットオフ値の算出. 呼吸理学療法. 2023 ; 2 : 45249.
- (4) 奥村文浩, 横山慶子, 山本裕二. 自転車競技ポイントレース中の集団動態解析の試み. スポーツパフォーマンス研究. 2023 ; 15 : 295-306.

3. 学会等研究発表

1) 国際学会・筆頭

- (1) Kitatani R, Otsuru N, Inukai Y, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Nagasaka K, Shibata S, Onishi H. Influence of postural control difficulty on changes in visuospatial attention after leftward prism adaptation. The International Society of Posture and Gait Research World Congress 2023, 2023.7.9-7.13.
- (2) Fujimoto T, Matsuura Y, Baba Y, Hara R. Thermal sensation after open water swimming related to skin cool sensitivity rather than core temperature. 14th International Symposium of

Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig, Germany), 2023.9.4-9.9.

- (3) Hiratsuka S, Takabayashi T, Suzuki S, Watanabe T, Kikumoto T, Kubo M. Relationship between arch height flexibility and lower limb alignment in knee flexion position during standing in individuals with flatfoot. The 13th Asia Conference on Kinesiology, 2023.8.24-8.25.
- (4) Inoue T, Okamura M, Ogawa M, Sato Y, Momosaki R, Maeda K. Effects of nutritional issues on adverse outcomes in older adults with disabilities: A systematic review and meta-analysis. 45th ESPEN congress, 2023.9.11-9.14.
- (5) Tamiya H, Hoshiai M, Abe T, Watanabe H, Fujii Y, Tsubaki A. Prolonged sitting decreases oxygen extraction in the gastrocnemius muscle in healthy young men. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (6) Kojima H, Tokuda S, Baba H, Inoue T, Tamiya R, Ikegami R, Takamizawa R, Tsubaki A. The impact of acute blood pressure decreases and repetition on mean arterial pressure and cerebral oxygenated hemoglobin. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (7) Tsubaki A. Application of near-infrared spectroscopy in exercise rehabilitation. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (8) Inoue T, Ueshima J, Kawase F, Kobayashi H, Nagano A, Murotani K, Saino Y, Maeda K. A systematic review investigating the trajectories of sarcopenia prevalence and diagnostic criteria. 9th Asian Conference for Frailty and Sarcopenia, 2023.10.26-10.28.
- (9) Tsubaki A, Tamiya H, Baba H, Miyajima T, Morishita S. Repeated acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation changes. SPIE BiOS, 2024, 2024.1.27.
- (10) Tsubaki A, Qu D, Qin W, Tokunaga Y, Kojima S, Matsushashi H, Morishita S, Hotta K, Tamiya H, Inoue T, Ikegami R. Acute Hypotension Induced by Thigh Cuff Release and Cerebral Oxygenation Alterations. SPIE West 2023, 2023.1.28-2.2.

2) 国際学会・共同

- (1) Washizawa L, Iwata K, Takimoto R, Inagaki Y, Maekawa Y, Sato D, Ikuta T, Takahashi T, Sasaki Y, Kouhara N, Tsubaki A. Cerebral oxygenation changes in the prefrontal cortex during cardiopulmonary exercise testing in patients following cardiovascular surgery. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (2) Maekawa Y, Iwata K, Inagaki Y, Takahashi T, Yamada K, Kohara N, Tsubaki A. Effects of head elevation on cerebral oxygen dynamics in acute cerebral infarction. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (3) Takahashi T, Iwata K, Yamada K, Maekawa Y, Inagaki Y, Takahara N, Kohara N, Tsubaki A. Utilization of a Wearable Near-infrared Spectroscopy Imaging Device in the Rehabilitation of Patients with Acute Stroke. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (4) Imai R, Abe T, Yamaguchi S, Kimura S, Tsubaki A. Relationship between regional cerebral oxygen saturation and percutaneous oxygen saturation at initial mobilization in patients with acute heart failure. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (5) Kubota M, Konnai T, Takami Y, Tsubaki A, Nagamune K. Differences in brain activity during real and virtual reality motor tasks in normal healthy participants. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (6) Hashimoto N, Takada Y, Kubota M, Tsubaki A. Changes in Clinical Findings and Cerebral Oxygen Dynamics in Patients after a Subdural Hematoma Removal Surgery. International

Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.

- (7) Uchiyama I, Tsubaki A, Inoue T, Ozawa T, Ozawa Y, Arayama Y, Hirata M, Zenba Y, Sato R, Shimoda N, Suzuki R. Effects of type 2 diabetes mellitus on prefrontal hemodynamics during the postural alteration in patients with acute cerebral infarction. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (8) Takada Y, Hashimoto N, Kubota M, Tsubaki A. Cerebral hemodynamics measured by wearable near-infrared spectroscopy during bedside mobilization in a patient with chronic heart failure hospitalized for acute exacerbation: a case report. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (9) Sato D, Morishita S, Hotta K, Ito Y, Shirayama A, Kojima S, Tsubaki A. Supine cycling exercise causes hyperoxic changes in the prefrontal cortex in healthy male volunteers: Near-Infrared Spectroscopy Vector Analysis. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.
- (10) Qin W, Kojima S, Qu D, Tsubaki A. The relationship between left and right prefrontal cortex differences during 40-minute moderate-intensity exercise and cognitive function. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023, 2023.9.27-10.1.

3) 国内学会・筆頭

- (1) 田宮創, 星合愛, 岡田明寿美, 齋藤優花, 長澤朋枝, 阿部拓也, 渡邊博昭, 堀田一樹, 池上諒, 井上達朗, 椿淳裕. 長時間の座位が健康若年者の腓腹筋の微小血管機能に及ぼす影響. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.
- (2) 馬場啓貴, 松橋日和, 宮嶋大貴, 渡邊博昭, 阿部拓也, 田宮創, 井上達朗, 池上諒, 堀田一樹, 椿淳裕. 反復する急性の血圧低下がもたらす内頸動脈血流量の変化. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.
- (3) 松橋日和, 越智元太, 馬場啓貴, 宮嶋大貴, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 堀田一樹, 秦偉翔, 高見澤怜, 一杉直樹, 椿淳裕. 音楽テンポの同調による脳酸素化動態への影響. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.
- (4) 小島将, 臼井直人, 椿淳裕. 慢性腎臓病患者に対するリハビリテーション. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.
- (5) 椿淳裕. 循環器疾患の脳と運動療法で期待される効果. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.
- (6) 北谷亮輔, 古山達郎, 大鶴直史, 大西秀明. 後頭頂葉と小脳への経頭蓋直流電気刺激が左プリズム適応による姿勢変位に与える領域特異的効果. 第21回日本神経理学療法学会学術大会, 2023.9.9-9.10.
- (7) 越智元太. 女子サッカー選手における実行機能低下を招くストレス要因—認知心理学手法を用いた予備的検討—. 日本体育・スポーツ・健康学会 第73回大会, 2023.8.30-9.1.
- (8) 太田大樹, 坪島功幸, 横田育子, 岡田和恵, 花松久寿, 古川潤一, 金川基, 片野坂公明, 田口徹. 運動で増大するヒアルロン酸は筋痛に対し予防効果をもたらす. 第46回日本神経科学大会(仙台), 2023.8.1-8.4.
- (9) 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋におけるRNAシーケンス解析. 第7回基礎理学療法学若手研究者ネットワークシンポジウム(仙台), 2023.8.26-8.27.
- (10) 太田大樹. in vivo単一細径神経記録による骨格筋侵害受容線維の電気生理学的解析. 日本体力医学会特別大会—2023東京シンポジウム—(東京), 2023.9.17.
- (11) 藤本知臣. 温度感覚・快適性の改善に基づいた暑熱対策—感覚の生理的意義とTRPチャンネル—. 第31回日本運動生理学会大会(茨城・つくば), 2023.8.23.
- (12) 福山夏未, 巻渕泰輝, 五十嵐小雪, 越智元太, 山代幸哉, 佐藤大輔, 藤本知臣. TRPM8および

- TRPA1の活性化が寒冷刺激に伴う循環応答と痛み感覚に及ぼす影響. 第31回日本運動生理学会大会 (茨城・つくば), 2023.8.24.
- (13) 森下義隆, 中島大貴. 野球打撃におけるバットのスイング速度とボールインパクトの正確性との関係. 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会, 2023.8.30-9.1.
 - (14) 馬場啓貴, 松橋日和, 宮嶋大貴, 中田舞絢, 渡邊博昭, 阿部拓也, 田宮創, 井上達朗, 池上諒, 堀田一樹, 椿淳裕. 急峻に生じた血圧の低下幅と脳循環変動との関係: 内頸動脈と大脳皮質微小循環での検討. 日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会 2023, 2023.9.2-9.3.
 - (15) 高見澤怜, 田宮創, 藤井豊, 一杉直樹, 松橋日和, 椿淳裕. 遠赤外線素材 (CPV576) を含有数r繊維製衣類は安静座位による足背部皮膚温度の低下を抑制する. 日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会 2023, 2023.9.2-9.3.
 - (16) 井上達朗, 堀田一樹, 児玉直樹, 櫻井典子, 和泉徹, 神谷健太郎, 椿淳裕, 藤田卓仙, 宮田裕章. 母指球筋に着目した骨格筋量指標の開発 - 3T高解像度MRIによる妥当性検証と地域在住中高齢者への応用 -. 第2回日本老年療法学会学術大会, 2023.9.1-9.2.
 - (17) 井上達朗. フレイル・サルコペニア高齢者に対する運動介入のcurrent topics. 第12回日本認知症予防学会学術集会, 2023.9.15-9.17.
 - (18) 井上達朗. 栄養・嚥下理学療法確立への標準ステップ - 共存共栄へ向けて -. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (19) 井上達朗. 入院高齢者のサルコペニアは予防・改善し得るのか?. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (20) 井上達朗. 新潟で取り組むフレイル予防プロジェクト. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (21) 井上達朗. がん理学療法と栄養問題 - オーバービュー -. 第6回 日本がん・リンパ浮腫理学療法学会学術大会, 2023.10.14-10.15.
 - (22) 大館隼, 井上達朗, 飯塚裕介, 鈴木康史, 上中梨帆, 甘粕康太, 前川健一郎, 田村由馬, 渡邊由佳. パーキンソン病患者における運動療法が食後の血圧に及ぼす影響の検討ー予備的研究ー. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (23) 前川健一郎, 西脇寿弥, 八木拓磨, 甘粕康太, 大館隼, 沖山努, 井上達朗. 回復期リハ病棟における大腿骨近位部骨折患者の入院時身体活動量は退院時ADLを予測できる. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (24) 内山祈, 井上達朗, 小澤哲也, 大山由廉, 長田きらら, 中山滋, 佐藤隆一, 霜田直史, 轟木絢貴, 野寄浩司. 頸椎除圧固定術後の嚥下障害に対する2週間の嚥下リハビリテーションの効果について. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (25) 甘粕康太, 井上達朗, 宮村伸, 佐藤卓也, 大館隼, 前川健一郎, 渡部裕美子. 急性期脳卒中患者におけるPhase angleで定義したサルコペニアが退院時の機能的転帰および転帰先に与える影響. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (26) 甘粕康太, 井上達朗, 熊倉ひとみ, 朝妻えり子, 長谷川靖, 宮村伸, 渡部裕美子. 嚥下障害を呈す外来心不全患者に対し多職種介入が誤嚥性肺炎再発予防に有効であった一症例. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (27) 原卓也, 井上達朗, 堀田一樹, 和泉徹, 神谷健太郎, 椿淳裕, 藤田卓仙, 宮田裕章. 新たな骨格筋量指標の開発を目的とした母指球筋 index の提案とカットオフ値の算出. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (28) 田中希弥, 井上達朗, 堀田一樹, 和泉徹, 神谷健太郎, 椿淳裕, 藤田卓仙, 宮田裕章. 地域在住中高齢者の骨格筋量指標Sonographic Thigh Adjustment Ratio (STAR) のカットオフ値算出と妥当性の検討. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
 - (29) 酒井悠生, 井上達朗, 堀田一樹, 和泉徹, 神谷健太郎, 椿淳裕, 藤田卓仙, 宮田裕章. 母指球筋

- に着目した新たな骨格筋量指標の開発－地域在住中高齢者を対象とした横断研究－. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
- (30) 村上優太, 西田智, 吉田麗玖, 笠原一希, 中村雅俊. Nordic hamstring exerciseとRazor hamstring curlにおける筋活動・eccentric forceの比較. 第11回日本運動器理学療法学会学術大会, 2023.10.13-10.15.
- (31) 笠原一希, 吉田麗玖, 村上優太, 中村雅俊. Foam Rollerの介入速度の違いが膝関節伸展筋群への柔軟性および筋力に与える即時効果・持続効果の検討. 第11回日本運動器理学療法学会学術大会, 2023.10.13-10.15.
- (32) 高林知也, 江玉睦明. Foot posture indexの各項目スコアとランニング中の足部内モーメントの関連. 第48回日本足の外科学会, 2023.10.26-10.27.
- (33) 長坂和明, 松田圭司, 肥後範行. 低頻度および高頻度の反復経頭蓋磁気刺激が疼痛関連の脳活動に与える影響. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2023.10.21.
- (34) 長尾彩音, 長坂和明, 小川有生人, 大西秀明. 脳梁膨大後部皮質から前頭前野領域への神経回路に対する電気生理学的研究. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2023.10.21.
- (35) 小川有生人, 長坂和明, 鈴木孝昇, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 脳幹部出血が機械刺激および寒冷刺激に対する逃避行動へ与える影響－新規脳卒中後疼痛モデル動物の確立に向けて－. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2023.10.21.
- (36) 高林知也. ランニング中の足部内バイオメカニクス. 第34回臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (37) 関根千恵, 江玉睦明, 阿久澤弘, 横田裕丈, 平林愔, 石垣智恒, 菊元孝則, 松浦由生子, 大森豪. 女性アスリートにおける仙腸関節障害の頻度. 第34回臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (38) 井上達朗. リハビリテーションと栄養. 第10回日本サルコペニア・フレイル学会, 2023.11.4-11.5.
- (39) 鈴木駿佑, 菊元孝則, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 足関節の客観的構造評価と荷重時における最大背屈角度の関係性の検証. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (40) 横田裕丈, 江玉睦明, 高杉梨紗, 平林愔, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 大森豪. アスリートとノンアスリートにおける音楽聴取に対する運動パフォーマンスの変化と自律神経活動との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.13.
- (41) 椿淳裕, 岩田健太郎, 小澤哲也, 田村由馬, 井上達朗, 田宮創, 久保雅義, 大西秀明. レジデント制度を有する病院と連携した大学院教育での急性期における高度専門職業人の育成. 第6回日本理学療法管理学会学術大会, 2023.11.11-11.12.
- (42) 北谷亮輔. 効率的な歩行適応方法の開発に向けた筋内・筋間コヒーレンス解析による神経生理学的検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (43) 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. テクスチャーの異なるActive Touch介入が皮質脊髓路興奮性に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (44) 丸山雄基, 芝田純也, 小島翔, 美馬達哉, 大西秀明. 経頭蓋交流電気刺激のリズムに同期させた正中神経刺激介入が体性感覚機能に及ぼす影響. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 2023.11.30-12.2.
- (45) 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットを用いた網羅的遺伝子解析. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (46) 太田大樹. 遅発性筋痛のメカニズムとその予防. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (47) 太田大樹, 田口徹. 炎症性／非炎症性筋痛モデルラットの後根神経節におけるTmem120AおよびTmem120B. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.

- (48) 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の筋で発現増大する新規遺伝子の探索. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
- (49) 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の筋膜で発現変動した新規遺伝子および反応系. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
- (50) 長尾彩音, 長坂和明, 鈴木孝昇, 小川有生人, 大西秀明. 一次運動野への異なる周波数の電気刺激が一次体性感覚野の神経活動に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (51) 小川有生人, 長坂和明, 鈴木孝昇, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 脳幹部出血が機械刺激および寒冷刺激に対する逃避行動へ与える影響－新規脳卒中後疼痛モデル動物の確立に向けて－. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (52) 安達航希, 長坂和明, 長尾彩音, 鈴木孝昇, 大鶴直史, 大西秀明. 中脳腹側被蓋野の一過性の電気刺激が一次体性感覚野の活動に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (53) 渡辺佳音, 長坂和明, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体の事前損傷が脳卒中後疼痛の発症に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (54) 井上歩実, 長坂和明, 宮口翔太, 櫻井典子, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 小脳と前頭前野への経頭蓋交流電気刺激が後部島皮質の活動に与える影響：機能的磁気共鳴画像法を用いた検証. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (55) 長坂和明. 脳イメージング手法と組織学的手法を用いた脳卒中後の神経可塑性の理解－脳卒中サルモデルからの知見－. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 2023.11.30-12.2.
- (56) 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 右前頭－後頭葉への経頭蓋交流電流刺激が空間性注意に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (57) 山本峻平, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が運動学習に与える効果. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (58) 村上優太, 吉田麗玖, 笠原一希, 中村雅俊. 異なる運動範囲での伸張性レジスタンストレーニングが柔軟性に与える効果の比較. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (59) 高橋ひろな, 犬飼康人, 長坂和明, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. 立位安定性に関連する構造学的特徴を有する脳領域の検討－Voxel morphometry (VBM) を用いた研究－. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 2023.11.30-12.2.
- (60) 高橋ひろな, 犬飼康人, 長坂和明, 大鶴直史, 児玉直樹, 大西秀明. ロンベルグ比に関連する構造学的特徴を有する脳領域の検討. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (61) 小野優翔, 犬飼康人, 高橋ひろな, 川上紗輝, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への陰極経頭蓋直流刺激が立位重心動揺に与える効果と前庭脊髄機能との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (62) 平塚栞, 高林知也, 鈴木駿佑, 菊元孝則, 久保雅義. 扁平足者の足部アーチ柔軟性がランニング時の下肢関節運動に与える影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (63) 笠原一希, Andreas Konrad, 村上優太, 吉田麗玖, Ewan Thomas, 中村雅俊. 膝関節伸展筋群に対するFoam Roller介入の違いによる急性効果の検討. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (64) 五十嵐眸実, 大鶴直史, 飯室幸士, 井上創太, 大西秀明. 下行性疼痛抑制の性差と心理特性との関連. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (65) 井上創太, 大鶴直史, 原正之, 五十嵐眸実, 飯室幸士, 大西秀明. バーチャルリアリティを用いた自己心拍情報の提示は健常者における触覚情報の優先度を高めるか？. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (66) 飯室幸士, 大鶴直史, 五十嵐眸実, 井上創太, 大西秀明. 心拍変動に関連する脳内神経基盤の検

- 討－MEGを用いた解析－. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (67) 鈴木駿佑, 菊元孝則, 平塚栞, 遠間悠貴, 緒方嵩人, 高林知也, 久保雅義. 超音波画像診断装置による構造的評価に着目した慢性足関節不安定症の選定基準の再考. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (68) 平塚栞, 高林知也, 鈴木駿佑, 菊元孝則, 久保雅義. 荷重によって変化する足長は足部アーチ柔軟性の指標となるか?. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (69) 緒方嵩人, 高林知也, 遠間悠貴, 菊元孝則, 平塚栞, 久保雅義. 立位ストリームラインにおける上部・中部・下部胸椎角度と上部・下部腰椎角度の関連性. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (70) 西口ほのか, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ランニング時の足部接地パターンの違いが足底O膜張力に与える影響について. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (71) 長島萌, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ダンサーのアラベスクにおける上部・中部・下部胸椎と上部・下部腰椎の関連性. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (72) 島谷美海花, 菊元孝則, 鈴木駿佑, 高林知也, 久保雅義. 大腿部皮下脂肪厚の違いによる膝前十字靭帯用装具の効果検証. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (73) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 扁平足アライメントはランニング中の足関節・ショパール関節・リスフラン関節の内がえしモーメントと関連する. 第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (74) 齊藤慧, 平賀大河, 犬飼康人, 大西秀明. 足底への末梢電気刺激が脳律動活動に及ぼす影響. 日本物理療法合同学術大会2024, 2024.1.26-1.27.
- (75) 平賀大河, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 足底への末梢電気刺激が感覚機能にもたらす効果について. 日本物理療法合同学術大会2024, 2024.1.26-1.27.
- (76) 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. ヒト外耳への定量的圧刺激にともなう刺激検出閾値と自覚的感覚強度. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (77) 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. ヒト外耳への機械刺激により生じる感覚の精神物理学的測定. 第7回基礎理学療法学若手研究者ネットワークシンポジウム(仙台), 2023.8.26-8.27.
- (78) 太田大樹, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋膜で検出された発現変動遺伝子. 第8回若手による骨格筋細胞研究会, 2024.2.22-2.23.
- (79) Tamiya H, Hoshiai M, Tsubaki A. Lower extremity exercise during prolonged sitting prevents impaired oxygen extraction in the gastrocnemius muscle: A randomized cross-over trial. The 49th meeting of Japanese society for microcirculation, 2024.2.23-2.24.
- (80) 井上達朗. 英語論文執筆のTips -心は熱く, 頭はクールに-. 第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2024.2.15-2.16.
- (81) 井上達朗. 脳卒中関連サルコペニアの有病割合と診断基準: システマティックレビュー. 文部科学省科学研究費助成事業 学術変革領域研究【学術研究支援基盤形成】コホート・生体試料支援プラットフォーム若手支援研究成果発表会, 2024.2.20.
- (82) 村上優太, 西田智, 吉田麗玖, 笠原一希, 中村雅俊. Nordic hamstring exerciseとrazor hamstring curlにおける筋活動・forceの比較 -大学男子サッカー部員を対象として-. 第29回新潟県理学療法学会学術大会, 2024.2.25.
- (83) 高林知也. Arch height flexibilityとランニング中の足底腱膜張力は関連する. 第36回ランニング学会大会, 45374
- (84) 小島将, 臼井直人, 椿淳裕. 血液透析患者における透析中の脳酸素化動態変化. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会, 2024.3.2.
- (85) 小島将, 臼井直人, 椿淳裕, 稲津昭仁, 千葉康雄, 上畑昭美. 透析中運動療法が透析中の局所脳酸素飽和度に与える影響: ランダム化クロスオーバー試験. 第14回日本腎臓リハビリテーション

- 学会学術集会, 2024.3.16.
- (86) 小島将, 白井直人, 西山裕貴, 篠崎信人, 三上健太, 長島瑞希, 佐藤陽一, 白井信行, 阿部義文, 椿淳裕, 齊藤正和. 血液透析患者のフレイルと抑うつ症状で定義した精神的フレイルと生活範囲との関連: 多施設共同研究.
- (87) Ota H, Katanosaka K, Taguchi T. Different gene expression profile in the skeletal muscle and fascia. 第101回日本生理学会, 2024.3.28-3.30.
- (88) 江玉睦明, 高林知也, 長南晴樹, 坂本航大. 前脛骨筋腱の付着部と付着部表面積の検討. 第48回日本足の外科学会, 2023.10.26-10.27.
- (89) 江玉睦明. 理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する取り組みについて. 第34回日本整形外科超音波学会, 2023.7.8-7.9.
- (90) 江玉睦明. 理学療法士の適切なエコー活用に関して. 第50回日本肩関節学会学術集会・第20回日本肩の運動機能研究会, 45212.
- (91) 江玉睦明, 高野倖, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 高林知也, 大森豪. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (92) 江玉睦明, 大森豪. 地域における女性アスリート支援～新潟県における取り組み～. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (93) 江玉睦明. 機能解剖学的視点から見た腱障害の予防理学療法. 第10回日本予防理学療法／第6回日本産業理学療法学術大会, 45227.
- (94) 江玉睦明. 機能解剖学からひも解く運動器疾患の評価と治療. 第30回群馬県理学療法士学会, 45228.
- (95) 江玉睦明, 坂本航大, 長南晴樹, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 佐藤昇. 異なる股関節肢位における大腿直筋起始腱の伸長量の違いについて. 第129回日本解剖学会学術集会, 2024.3.21-3.23.
- (96) 長南晴樹, 阿久澤弘, 坂本航大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 江玉睦明. 足関節前方軟部組織の動態および組織弾性の検証. 第4回足の構造と機能研究会 学術集会, 2023.5.27-5.28.
- (97) 坂本航大, 長南晴樹, 江玉睦明. 第一足根中足関節関節面の形状と関節変性の関係. 第48回日本足の外科学会, 2023.10.26-10.27.
- (98) 坂本航大, 江玉睦明, 横田裕丈, 平林怜, 石垣智恒, 阿久澤弘, 関根千恵, 長南晴樹, 影山幾男. 第一足根中足靭帯の形態学的特徴. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (99) 高野倖, 白井竜来, 田中悠大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 月経周期における主観的な浮腫と体水分量との関係～アスリートと非アスリートの比較～. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (100) 白井竜来, 田中悠大, 高野倖, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 異なる股関節肢位における大腿直筋起始腱の伸長量の違いについて. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (101) 田口徹. 運動器疼痛の発生源としての「筋膜」の役割. 第60回日本リハビリテーション医学会, 2023.6.29-7.2.
- (102) 田口徹. 筋・筋膜性疼痛の生理と病態. 第57回日本ペインクリニック学会, 2023.7.13-7.15.
- (103) Taguchi T, Hoheisel U, Treede R-D, Mense S. Distinct spinal projection patterns of nociceptive input arising from low back and limb muscles in rats. 第46回日本神経科学学会, 2023.8.1-8.4.
- (104) 田口徹, 太田大樹. 高ナトリウム溶液投与による局所誘発筋電図の記録. 第23回新潟医療福祉学会, 45227.

- (105) 田口徹, Ulrich HOHEISEL, Siegfried MENSE. 多裂筋と腓腹筋から脊髄後角表層へ投射する侵害受容様式の差異. 第23回新潟医療福祉学会, 45227.
- (106) 田口徹, 藤谷駿介, 佐藤圭悟, 太田大樹. マッサージの揉み返しを生じる圧刺激条件の探索. 第23回新潟医療福祉学会, 45227.
- (107) 田口徹, 佐藤圭悟, 藤谷駿介, 明博瑛, 太田大樹. 外耳への圧刺激に伴う関連痛領域の変化. 第23回新潟医療福祉学会, 45227.
- (108) 田口徹. 理学療法士が知っておきたい運動器疼痛の基礎・臨床. 第28回日本基礎理学療法学会, 2023.12.2-12.3.
- (109) 田口徹, 太田大樹, 植田愛美, 赤木淳二. ラットにおける筋痙攣モデル作製の試み. 第28回日本基礎理学療法学会, 2023.12.2-12.3.
- (110) 田口徹, 歌大介. モデル動物を用いた痛覚変調性疼痛の脊髄機構の探索. 第45回日本疼痛学会, 2023.12.8-12.9.
- (111) Taguchi T, Ota H, Ueda M, Akagi J. Trial to develop a rat model of muscle cramps/spasms using infusion of hypertonic saline. 第101回日本生理学会, 2024.3.28-3.30.
- (112) 藤本知臣, 松浦由生子, 馬場康博, 原怜来. 低水温下で行われるオープンウォータースイミング時の全身の温度感覚における皮膚温度感受性の重要性. 2023年日本水泳・水中運動学会, 2023.10.7-10.8.
- (113) Fujimoto T, Kajiki M, Watanabe K, Nishiyasu T, Fujii N. Contribution of TRPM8 in increasing dialysate noradrenaline concentration to local cooling. ARIHHP Human High Performance Forum 2024, 45339.
- (114) 平林愔, 阿部明日香, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智信, 大森豪, 江玉睦明. 咬合強度と咬合バランスが着地動作に及ぼす影響. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (115) 平林愔, 山田勇輝, 須貝菜央, 吉川悠人, 森山華帆, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 左右均衡な咬合は跳躍パフォーマンスを向上させる. 第34回日本スポーツ歯科医学会, 2023.11.18-11.19.
- (116) 吉川悠人, 平林愔, 森山華帆, 須貝菜央, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 咬合強度の変化がヘディングパフォーマンスに及ぼす影響. 第34回日本スポーツ歯科医学会, 2023.11.18-11.20.
- (117) 森山華帆, 平林愔, 須貝菜央, 吉川悠人, 岡田芳幸, 江玉睦明. 咬合強度の変化がサッカーのシュートパフォーマンスに及ぼす影響. 第34回日本スポーツ歯科医学会, 2023.11.18-11.21.
- (118) 須貝菜央, 平林愔, 森山華帆, 吉川悠人, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明. 咬合強度が単純反応時間・選択反応時間に及ぼす影響. 第34回日本スポーツ歯科医学会, 2023.11.18-11.22.
- (119) 富樫菜央, 平林愔, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 坂本航大, 江玉睦明. 高頻度で反復したストレッチは柔軟性や筋力を向上させた. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (120) 山田開太, 平林愔, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 阿久澤弘, 石垣智恒, 坂本航大, 江玉睦明. 経皮的脊髄直流電気刺激が脊髄興奮性に及ぼす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.4.
- (121) 若松優希, 平林愔, 大河内偉琉, 横田裕丈, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 坂本航大, 江玉睦明. ハムストリングスの動的ストレッチが柔軟性と筋機能にもたらす影響. 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.5.

4) 国内学会・共同

- (1) 鶴見知己, 田村由馬, 高橋治憲, 寺島雅人, 田宮創, 下山正博, 上野明日香, 安隆則. 透析時運動療法における神経筋電気刺激の有用性. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.

- (2) 鷺澤玲央, 岩田健太郎, 滝本龍矢, 稻垣優太, 前川侑宏, 佐藤大地, 生田智也, 高橋朋弥, 佐々木勇人, 村井亮介, 北井豪, 古川裕, 幸原伸夫, 椿淳裕. 心大血管外科手術後患者の心肺運動負荷試験における前頭前野での酸素化ヘモグロビン変化. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.
- (3) 堀田一樹, 高見澤怜, 一杉直樹, 椿淳裕. 骨格筋の微小循環障害と理学療法. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.
- (4) 今井遼太, 阿部貴文, 山口征吾, 木村新平, 若杉崇幸, 田中和世, 椿淳裕. 急性期心不全患者における初回離床時の局所脳酸素飽和度と転帰の予備的検討. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023.7.15-7.16.
- (5) 垣内優芳, 井上達朗, 小林光, 海老名葵, 中野元, 寛哲也, 田中利明, 西原賢在. 高齢肺結核患者における入院中死亡を予測する因子. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
- (6) 小澤哲也, 出岡有希, 佐藤彩菜, 平田萌々花, 佐藤滉晴, 内山祈, 善波雄一郎, 匹野晴香, 佐藤隆一, 井上達朗, 霜田直史, 成毛崇, 弓削大. 高齢心不全患者においてbody mass index低値と運動習慣がないことは予後を悪化させる. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
- (7) 藤川孝, 近藤心, 斎藤貴, 井上達朗, 三栖翔吾, 大竹康平, 小野玲. 気管竜骨レベルで評価した骨格筋量によるサルコペニアが特発性肺疾患患者の長期予後へ与える影響. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
- (8) 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 岡村正嗣, 白土健吾, 白井信行, 平山昌男, 平郡康則, 谷宮尚樹, 岡田梨沙, 井上茂樹. 血液透析患者における悪液質の有症率およびQOLの関連. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
- (9) 清水昭雄, 井上達朗, 前田圭介. 回復期病棟入院高齢者のオステオサルコペニアは機能的転帰と関連しなかった. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
- (10) 近藤心, 井上達朗, 斎藤貴, 松田拓, 梅村公子, 佐藤紀, 兼松康久, 小野玲, 秋末敏宏, 高木康志, 松浦哲也. 急性期脳梗塞患者のサルコペニアが1年後の機能予後に及ぼす影響:前向きコホート研究. 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2023.9.17-9.18.
- (11) 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 長尾彩音, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核への持続的な電気刺激が一次体性感覚野における神経応答へ与える影響. 第29回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 45220.
- (12) 内山駿佑, 住倉博仁, 藤井豊, 本間章彦. ラット用円筒型外部灌流型人工肺の中空糸束形状に関する検討. 第62回日本生体医工学会大会, 2023.5.18-5.20.
- (13) 馬場亮佑, 藤井豊, 住倉博仁. ペルチェ素子を用いた小動物低体温体外循環回路の開発に関する研究. 第62回日本生体医工学会大会, 2023.5.18-5.21.
- (14) 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤の加圧後投与が主要臓器に及ぼす影響 -小動物を用いた検討-. 第72回日本医学検査学会, 2023.5.20-5.21.
- (15) 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 渡邊博昭. 加圧後の超音波診断用造影剤起因の生体への弊害. 第48回日本超音波検査学会, 2023.6.10-6.11.
- (16) 小形朔也, 藤井豊, 渡邊博昭, 阿部拓也. 加圧した造影剤投与は腎傷害を引き起こす. 第48回日本超音波検査学会, 2023.6.10-6.11.
- (17) 佐藤雄己, 元石恵理奈, 花田実夢, 半田(永塚)由佳, 阿部拓也, 藤井豊. In vivo 体外模型人工肺ラットにおけるdexmedetomidineの薬物動態特性. 日本集中治療医学会 第7回中国・四国支部学術集会, 45117.
- (18) 増子弘明, 高橋良光, 森田邦恵, 伊藤中堯, 前田順子, 江ヶ嵯梓, 金子京平, 藤井豊. 内視鏡スコープ洗浄時における送気工程追加の有用性の検討. 第3回関東甲信越臨床工学, 45213.

- (19) 森田邦恵, 藤井豊, 高橋良光, 江ヶ寄梓, 金子京平, 増子弘明, 塙晴雄. エクソソーム RNA 抽出試薬の CD9・CD63・CD81 リアルタイム PCR による評価. 第 10 回日本細胞外小胞学会学術集会, 2023.10.23-10.24.
- (20) 元石恵理奈, 佐藤雄己, 花田実夢, 半田(永塚)由佳, 阿部拓也, 藤井豊. In vivo 体外式膜型人工肺モデルラットにおける $\alpha 2$ 受容体作動薬 dexmedetomidine の薬物動態解析と変動要因の検討. 第 62 回日本薬学会中国四国支部学術大会, 2023.10.28-10.29.
- (21) 佐藤雄己, 元石恵理奈, 花田実夢, 半田(永塚)由佳, 阿部拓也, 藤井豊. In vivo 体外膜型人工肺モデルラットにおける $\alpha 2$ 受容体作動薬 dexmedetomidine の薬物動態特性. 第 33 回日本医療薬学会年会, 2023.11.3-11.5.
- (22) 裏澤光雪, 鳥谷周平, 藤井豊, 渡邊博昭, 阿部拓也. 糖尿病病態における超音波診断用造影剤の主要臓器に及ぼす影響. 第 11 回日臨技北日本支部医学検査学会, 2023.11.4-11.5.
- (23) 阿部拓也, 藤井豊, 塙晴雄, 渡邊博昭. NASH 疾患の新たな予防法・治療法の創出に向けた検討. 第 11 回日臨技北日本支部医学検査学会, 2023.11.4-11.5.
- (24) 佐藤隆一, 小澤哲也, 小澤祐治, 大山由廉, 霜田直史, 武井章哲, 井上達朗, 椿淳裕. 公的病院におけるレジデント制度の導入までの経緯について. 第 6 回日本理学療法管理学会学術大会, 2023.11.11-11.12.
- (25) 小澤哲也, 佐藤隆一, 大山由廉, 小澤祐治, 高島将, 井上達朗, 椿淳裕, 霜田直史. Multimorbidity に対応できる理学療法士育成を目的としたレジデント制度の効果と課題. 第 6 回日本理学療法管理学会学術大会, 2023.11.11-11.12.
- (26) 安川麻衣子, 北谷亮輔, 西下智, 早川万紀子, 松本憲二, 坂本知三郎. 生活期脳卒中後患者における使用装具の適合評価～回復期リハ病棟における取り組み～. 第 39 回日本義肢装具学会学術大会, 2023.10.28-10.29.
- (27) 望月慎吾, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が運動耐容能および心拍回復過程 (HRR) に及ぼす影響. 第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (28) 齊藤瑞貴, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 異なる刺激様式による経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響. 第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (29) 三浦里香, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が筋疲労後の筋発揮効率 (RFD) に与える影響. 第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (30) 山波克彰, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. 低強度の経皮的迷走神経刺激がワーキングメモリーに与える影響. 第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (31) 宮城良汰, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 石垣智恒, 阿久澤弘, 江玉睦明. tDCS と tVNS の同時適用による皮質脊髄路の興奮性への影響. 第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2023.12.2-12.3.
- (32) 瀧上真帆, 越智元太, 松元剛. 馬の被毛中におけるストレスマーカーの測定と長期モニタリングの可能性の検討, 45258.
- (33) 渡邊貴博, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ArchHeight Flexibility はランニング時の母趾外転筋筋活動と関連する. 第 10 回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (34) 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 溝田丈士, 沼澤俊, 小林匠, 工藤慎太郎, 疋田佳希, 秋吉直樹, 江玉睦明. 足部・足関節運動器疾患に対する足関節背屈可動域測定方法の検討—測定方法間の違いと相関性の検討. 第 10 回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2024.1.6-1.7.
- (35) 梨本智史, 藤木伸也, 椿淳裕, 猪又孝元. 近赤外線分光法を用いた立ち座り運動時の脳血流変化

－健常例での検討－. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会, 2024.3.2.

- (36) 前川侑宏, 岩田健太郎, 山田莞爾, 高橋朋弥, 稲垣優太, 幸原伸夫, 椿淳裕. 急性期脳梗塞患者を対象とした安静時における病巣半球の脳酸素飽和度に影響する因子の検討. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会, 2024.3.2.
- (37) 橋本直之, 高田勇, 久保田雅史, 椿淳裕. 脳卒中患者を対象とした初期離床時の組織酸素飽和度と機能予後について～パイロットスタディー～. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会, 2024.3.2.
- (38) 今井遼太, 椿淳裕, 阿部貴文, 山口征吾. 72時間以内の初回離床ができないICU入室患者は局所脳酸素飽和度が低い. 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会, 2024.3.2.
- (39) 玉置優貴, 畑山直之, 藤井豊, 内藤宗和. 小動物の肝臓を用いた生理学的環境を再現した機械灌流法の開発. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2024.3.21.
- (40) 工藤慎太郎, 片山将, 金子史弥, 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 小林匠, 江玉睦明. 荷重位背屈制限を有する慢性足関節不安定症の距舟関節可動性. 第48回日本足の外科学会, 2023.10.26-10.27.
- (41) 越野裕太, 高林知也, 阿久澤弘, 小林匠, 工藤慎太郎, 江玉睦明. 足部・足関節運動器疾患による足関節背屈可動域制限は非荷重位に比べ荷重位でより検出できる. 第48回日本足の外科学会, 2023.10.26-10.27.
- (42) 土方啓生, 山本智章, 望月友晴, 江玉睦明, 大森豪. 女性アスリートにおける血中ビタミンD充足状況. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (43) 稲葉洋美, 星野美美, 江玉睦明, 大森豪. 大学女性アスリートの補食摂取習慣. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (44) 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. ユース世代男子サッカー選手の睡眠・栄養素等摂取状況に関する実態調査. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (45) 埴晴雄, 江玉睦明, 稲葉洋美, 阿久澤弘, 小林志郎, 伊藤篤司, 小林真里奈, 濱野礼奈, 松浦由生子, 菊元孝則, 大島めぐみ, 大森豪. 本学強化クラブ女子部員の貧血, 鉄欠乏と鉄代謝調節ホルモンヘプシジンの検討. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (46) 本間茂太郎, 太田大樹, 田口徹, 中山憲司. 遅発性筋痛時の脂質の代謝変化—質量分析技術の理学療法分野への活用—. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
- (47) 野原菜々子, 野村成美, 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳への圧刺激により生じる自覚的感覚強度の性差. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
- (48) 野村成美, 野原菜々子, 明博瑛, 太田大樹, 田口徹. 外耳への圧刺激が重心動揺に及ぼす影響. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
- (49) 野村成美, 野原菜々子, 太田大樹, 高橋ひろな, 犬飼康人, 田口徹. 全身振動刺激が重心動揺に及ぼす急性効果. 第23回新潟医療福祉学会, 2023.10.28.
- (50) 松浦由生子, 藤本知臣, 三瀬貴生, 江玉睦明, 下山好充, 熊崎昌, 森清友亮, 大森豪. 剪断波エラストグラフィーを用いた肩関節周囲筋弾性率とスイマーズショルダー発生との関係. 第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023.11.11-11.12.
- (51) 原怜来, 石崎慶祐, 三木二郎, 上野広治, 藤本知臣. 血中乳酸濃度を用いたパフォーマンス規定因子の探求. 第35回日本コーチング学会, 45354.
- (52) 吉田結梨子, 山口久穂, 西野領, 平林愔, 岡田芳幸. 胸腔内圧の持続的負荷時間がヒラメ筋H反射の遠隔促進に与える影響. 第34回日本スポーツ歯科医学会, 2023.11.18-11.22.

4. 学会活動

- (1) 日本スポーツ理学療法学会, 学術誌編集委員
- (2) 日本スポーツ理学療法学会, 国際認定資格検討委員
- (3) 足の構造と機能研究会, 理事

- (4) 新潟県理学療法士会, 新潟県士会東ブロック事務委員
- (5) 全国大学理学療法学会, 理事選挙管理委員長
- (6) 第4回 足の構造と機能研究会 学術集会, 大会実行委員長
- (7) Journal of Clinical Medicine, 査読
- (8) Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読
- (9) 日本基礎理学療法学会, 超音波画像診断装置使用に関する検討委員
- (10) SAGE Open Medicine, 査読
- (11) Gait & Posture, 査読
- (12) 日本神経理学療法学会, 学術誌編集委員会総務
- (13) 日本医用マスペクトル学会 (JSBMS), 評議員・国際化委員会
- (14) The Association for Mass Spectrometry & Advances in the Clinical Lab (MSACL), Asia Outreach Committee
- (15) The 3rd International Joint Symposium of JSBMS and MSACL, 発起人
- (16) 京都生体質量分析研究会, 世話人
- (17) 第11回「医用質量分析認定士」認定試験講習会, 講師: 医用質量分析認定士の未来
- (18) Heliyon, 査読
- (19) Heliyon, 査読
- (20) Journal of Athletic Training, 査読
- (21) 日本糖尿病理学療法学会, 評議員
- (22) 日本糖尿病理学療法に関するガイドライン, ガイドライン作成委員
- (23) 日本老年療法学会, 評議員, 広報委員
- (24) 新潟県心臓リハビリテーション研究会, 世話人
- (25) 腎臓病運動療法・身体活動ネットワーク研究会, 研修会企画委員
- (26) 日本呼吸理学療法学会, 第10回日本呼吸理学療法学会学術大会, 準備委員 (プログラム抄録集作成)
- (27) 日本スポーツ理学療法学会, 学術庶務
- (28) Brain and Cognition, 査読
- (29) Scientific Reports, 査読
- (30) 基礎理学療法学, 査読
- (31) 第21回日本神経理学療法学会学術大会, 演題査読
- (32) 日本基礎理学療法学会, 査読
- (33) 第9回日本糖尿病理学療法学会学術大会, 演題査読
- (34) Journal of Sports Sciences, 査読
- (35) 日本糖尿病理学療法学雑誌, 査読
- (36) 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
- (37) Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読
- (38) 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
- (39) Journal of Biomechanics, 査読
- (40) 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
- (41) Journal of Rehabilitation Neurosciences, 査読
- (42) Journal of Pain Research, 査読
- (43) 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
- (44) 第21回日本神経理学療法学会学術大会, 座長
- (45) Brain and Behavior, 査読
- (46) 日本野球学会, 選挙管理委員長

- (47) サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン, ガイドライン作成委員, 事務局
- (48) 生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドラインおよびマニュアルの整備に資する研究, ガイドライン作成委員, 事務局
- (49) サルコペニア・フレイル栄養管理ガイドライン, ガイドライン作成委員
- (50) リハビリテーション栄養ガイドライン, ガイドライン作成委員
- (51) 日本栄養・嚥下理学療法学会, 理事
- (52) 第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 大会長
- (53) 日本老年療法学会, 理事
- (54) 日本リハビリテーション栄養学会, 代議員
- (55) 第13回日本リハビリテーション栄養学会, 実行委員
- (56) 日本転倒予防学会, 学術委員
- (57) 日本骨粗鬆症学会, 骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員
- (58) 日本臨床栄養代謝学会, 学術評議員
- (59) 新潟県フレイル克服プロジェクト, 委員
- (60) 魚沼市におけるデータを活用したフレイル予防モデル事業, ワーキンググループ委員
- (61) 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会, 世話人
- (62) スポーツ理学療法学, 査読
- (63) Scientific Reports, 査読
- (64) 日本コーチング学会, 査読
- (65) Journal of Biomechanics, 査読
- (66) Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読
- (67) Scientific Reports, 査読
- (68) Scientific Reports, 査読
- (69) Sensor, 査読
- (70) Journal of Rehabilitation Neurosciences, Editor
- (71) 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 座長
- (72) PLOS ONE, 査読
- (73) Applied Sciences, 査読
- (74) Medical Engineering & Physics, 査読
- (75) Clinical Biomechanics, 査読
- (76) Physical Therapy in Sports, 査読
- (77) Journal of Biomechanics, 査読
- (78) International Journal of Sport and Health Science, 査読
- (79) Sports Biomechanics, 査読
- (80) 日本基礎理学療法学会News (～バイオメカニクス研究を理学療法へ還元する～), 依頼執筆
- (81) Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation, 査読
- (82) 日本光脳機能イメージング学会, 評議員
- (83) 呼吸理学療法学, 査読
- (84) Advanced in Experimental Medicine and Biology, 査読4編
- (85) 第52回日本集中治療医学会学術集会, プログラム委員
- (86) Frontiers in Neurology, 査読
- (87) Journal of Biomechanics, 査読
- (88) 第61回日本人工臓器学会大会, 演題査読委員
- (89) 第28回日本難病看護学会学術集会, 企画委員

- (90) Artificial Organs, 査読
- (91) Brain Behavior and Immunity, 査読
- (92) 日本臨床工学技士会学術論文, 査読
- (93) Journal of Clinical Medicine, Guest Editor
- (94) 日本人工臓器学会大会, 評議員
- (95) 日本体外循環医学会, 学術委員会 (研究推進部会・副部会長)
- (96) 第27回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (97) 第15回日本運動器疼痛学会, 演題査読
- (98) 第27回日本基礎理学療法学会, プログラム編集委員 (理工学)
- (99) 日本生体磁気学会, 理事
- (100) 日本運動器疼痛学会, 代議員
- (101) 日本ペインリハビリテーション学会, 代議員
- (102) 第27回日本ペインリハビリテーション学会, 演題査読
- (103) Frontiers in human neuroscience, review editor
- (104) Frontiers in physiology, review editor
- (105) Frontiers in pain research, review editor
- (106) Neurobiology of pain, 査読
- (107) Brain stimulation, 査読
- (108) Frontiers in human neuroscience, 査読
- (109) Journal of Pain, 査読
- (110) Journal of Affected Disorders, 査読
- (111) Journal of Affected Disorders, 査読
- (112) 第4回足の構造と機能研究会 学術集会, 大会長
- (113) 第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会, プログラム委員
- (114) 第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 実行委員
- (115) スポーツ庁委託事業「令和5年度 Sports in Life推進プロジェクト総合事業における調査研究事業」, 連携協力団体 (担当)
- (116) Scandinavian Journal of Medicine & Science in Sports, 査読
- (117) Clinical anatomy, 査読
- (118) 第10回日本スポーツ理学療法学会, 一般演題 査読
- (119) 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 一般演題 査読
- (120) JJournal of foot and ankle research, 査読
- (121) Journal of Physical Therapy Science, 査読
- (122) JJournal of anatomy, 査読
- (123) 日本理学療法学会連合 2023年度研究助成, 審査
- (124) 日本理学療法士協会専門理学療法士, 口頭試問試験官
- (125) Journal of clinical medicine, Topic Editor
- (126) スポーツ庁健康スポーツ課技術審査委員会, 技術審査専門員
- (127) 日本スポーツ振興センター 女性アスリート支援ネットワーク有識者委員会, 委員
- (128) (公社) 日本理学療法士協会 運動器分野問題作成部会, 部員
- (129) (公社) 日本理学療法士協会 専門理学療法士口頭試問, 審査委員
- (130) (公社) 日本理学療法士協会「理学療法学」, 査読委員
- (131) (一社) 日本理学療法学会連合 理学療法にかかわる研究助成, 審査委員
- (132) (一社) 日本スポーツ理学療法学会, 評議員
- (133) (一社) 日本スポーツ理学療法学会 情報戦略・IR委員会, 委員

- (134) (一社) 日本基礎理学療法学会, 評議員
- (135) (一社) 日本基礎理学療法学会 理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する検討委員会, 委員長
- (136) (一社) 日本基礎理学療法学会・(一社) 日本スポーツ理学療法学会・(一社) 日本運動器理学療法学会・(一社) 日本物理療法学会「理学療法士の超音波画像診断装置の使用についての合同委員会」, 委員
- (137) (一社) 日本基礎理学療法学会 人体解剖学実習検討委員会, 委員
- (138) (一社) 日本基礎理学療法学会学術誌「基礎理学療法学」, 査読委員
- (139) (一社) 体表解剖学研究会, 講師
- (140) (一社) 新潟県サッカー協会, 医学委員
- (141) 足の構造と機能研究会, 会長
- (142) 新潟スポーツ理学療法研究会, 副会長
- (143) 新潟スポーツ障害フォーラム, 理事
- (144) 新潟リハビリテーション病院スポーツ医学総合診療センター拡大運営委員会, 委員
- (145) 新潟スポーツ医・科学コンソーシアム, 副会長
- (146) 新潟スポーツ医・科学コンソーシアム, チーフアドミニストレーター
- (147) Antioxidants, 査読
- (148) Frontiers in Pain Research, 査読
- (149) Molecular Pain, 査読
- (150) European Journal of Pain, 査読
- (151) Mini-Reviews in Medicinal Chemistry, 査読
- (152) Annals of Musculoskeletal Medicine, 査読
- (153) Reviews on Recent Clinical Trials, 査読
- (154) Entropy, 査読
- (155) European Journal of Pharmacology, 査読
- (156) Journal of Pain Research, 査読
- (157) Pharmaceuticals, 査読
- (158) Scientific Reports, 査読
- (159) Biology, 査読
- (160) Biomedicines, 査読
- (161) International Medical Case Reports Journal, 査読
- (162) Pharmaceutics, 査読
- (163) Brain Sciences, 査読
- (164) Muscles, 査読
- (165) Reviews on Recent Clinical Trials, 査読
- (166) Journal of Pain Research, 査読
- (167) Bioengineering, 査読
- (168) European Journal of Pharmacology, 査読
- (169) PLoS One, 査読
- (170) International Journal of Molecular Sciences, 査読
- (171) Journal of Pain Research, 査読
- (172) Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology, 査読
- (173) Journal of Pain Research, 査読
- (174) Medicina, 査読
- (175) Recent Advances in Inflammation & Allergy Drug Discovery, 査読

- (176) Journal of Pain Research, 査読
- (177) Journal of Inflammation Research, 査読
- (178) Sports, 査読
- (179) Eur J Neurosci, 査読
- (180) Current Diabetes Reviews, 査読
- (181) Journal of Pain Research, 査読
- (182) Biomedicines, 査読
- (183) Frontiers in Pain Research, Review Editor
- (184) 第60回日本リハビリテーション医学会, 座長
- (185) 第28回日本基礎理学療法学会, 査読
- (186) 第45回日本疼痛学会, 査読
- (187) 日本基礎理学療法学会, 評議員
- (188) 日本疼痛学会, 代議員
- (189) 日本生理学会, 評議員
- (190) International Journal of Sports Physiology and Performance, 査読
- (191) 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
- (192) 第10回日本スポーツ理学療法学会, 演題査読

5. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

- (1) リハテックリンクスWebセミナー：病態理解に基づく脳卒中者の歩行障害とリハビリテーション戦略, 脳卒中患者における歩行の神経生理学的障害, 講師, リハテックリンクス, PT, OT, オンライン, 2023.4.6.
- (2) リハテックリンクスWebセミナー：病態理解に基づく脳卒中者の歩行障害とリハビリテーション戦略, 脳卒中患者の歩行障害と評価戦略, 司会, リハテックリンクス, PT, OT, オンライン, 2023.4.25.
- (3) 運動器リハ部 第27回ナイトセミナー, 伸張性収縮運動が腱特性に与える影響, 講師, Shin's lab 運動器リハ部, PT, 柔道整復師, オンライン, 2023.4.1.
- (4) 2022年度新潟県心リハクラウドファンディング事業 第9回オンライン講義, 心臓リハビリテーション各論2, 講師, 新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学, 医療従事者, オンライン, 2023.6.12.
- (5) 第44回脳機能とリハビリテーション研究会 Web勉強会, 空間性注意機能と姿勢制御ープリズム適応を用いた基礎的検討ー, 講師, 脳機能とリハビリテーション研究会, PT, OT, オンライン, 2023.6.14.
- (6) 新潟県理学療法士会 第114回研修会, 「理学療法に必要な栄養問題の知識とリハビリテーション栄養の基礎」, 講師, 新潟県理学療法士会, PT, ハイブリッド, 2023.6.25.
- (7) 第1回 新潟県理学療法士協会 新潟市東ブロック研修会, 新潟県での理学療法士の学び方～理学療法士協会と生涯学習の話～, 事務局, 新潟県理学療法士会, PT, 新潟医療福祉大学, 2023.6.1-7.15.
- (8) 第1回 新潟県理学療法士協会 新潟市東ブロック研修会, 新潟県での理学療法士の学び方～理学療法士協会と生涯学習の話～, ファシリテーター, 新潟県理学療法士会, PT, 新潟医療福祉大学, 2023.7.15.
- (9) 第24回足の病気の専門家webセミナー, 足部構造・機能の性差～リハビリテーションへの応用～, 講師, 日本足の外科学会, 医師・PT, オンライン, 2023.7.19.
- (10) 腎臓・運動療法研究会：+ a ウェビナー, 座りすぎがもたらす身体への悪影響, 講師, 腎臓・運動療法研究会, PT, OT, ST, オンライン, 2023.7.25.

- (11) 八千代コースター，3次元動作解析装置Viconとは，講師，NST新潟総合テレビ，一般の方，オンライン，2023.7.15.
- (12) 同窓会第10回オンラインミーティング，足部評価方法と足部バイオメカニクス，講師，新潟医療福祉大学理学療法学科同窓会，PT，オンライン，2023.8.4.
- (13) 新潟脳外科病院院内セミナー，脳卒中後の感覚機能障がい，講師，新潟脳外科病院リハビリテーション科，PT，OT，新潟市，2023.9.19.
- (14) 第2回 新潟県理学療法士協会 新潟市東ブロック研修会，『はじめてみよう！「症例・事例共有」座談会』，事務局，新潟県理学療法士会，PT，新潟医療福祉大学，2023.9.10-11.19.
- (15) VRスポーツ体験会，VRスポーツ体験会，講師，静岡県立新居高等学校，小学生，中学生，浜松市，2023.11.4.
- (16) 同窓会第11回オンラインミーティング，座りすぎが与える悪影響と臨床で身体活動量を上げるポイント，講師，新潟医療福祉大学理学療法学科同窓会，PT，オンライン，2023.11.24.
- (17) 県央スポーツネットワーク・スポーツ指導者講習会兼県央スポーツサポーターバンク認定講習会，体力トレーニング1 体力とは？，講師，新潟県県央スポーツネットワーク，地域スポーツ指導者，燕市，2023.11.26.
- (18) 日本糖尿病理学療法学会第4回サテライトカンファレンス，腎症の評価から糖尿病を捉える，講師，日本糖尿病理学療法学会，PT，オンライン，2024.1.7.
- (19) 日本理学療法士教員協議会，日本理学療法士教員協議会，事務局，一般社団法人 全国大学理学療法学会，PT，オンライン，2024.1.27.
- (20) VICON User Conference Webinar，モーションキャプチャによる野球のバッティング動作の計測とその評価，講師，インターリハ株式会社，研究者，学生，医療従事者，オンライン，2024.1.20.
- (21) 日本糖尿病理学療法学会 イブニングセミナー 研究支援セミナー「基礎編」，概念枠組み（仮説，新規性，独創性，研究意義），講師，日本糖尿病理学療法学会，PT，オンライン，2024.2.5.
- (22) 栄養からみた循環器理学療法，新潟県理学療法士会 第7回領域別研修会（心血管理学療法），講師，新潟県理学療法士会，PT，対面（新潟市）+オンライン，2024.2.18.
- (23) 第7回領域別 研修会（心血管理学療法），循環器理学療法の意義，講師，新潟県理学療法士会，PT，対面（新潟市）+オンライン，2024.2.18.
- (24) 第7回領域別 研修会（心血管理学療法），運動処方の基本，講師，新潟県理学療法士会，PT，対面（新潟市）+オンライン，2024.2.18.
- (25) 第25回日本光脳機能イメージング学会学術集会，リハビリテーションにおける脳循環モニタリングとしての利用に向けた取り組み，講師，日本光脳機能イメージング学会，研究者，医療従事者，東京都千代田区，2024.3.2.
- (26) 第33回新潟呼吸ケアセミナー，呼吸ケアを学びたくなるきっかけの作り方，講師，新潟呼吸ケアフォーラム，医療従事者，対面（新潟市）+オンライン，2024.3.2.
- (27) 神戸市立医療センター中央市民病院地域医療連携講演会，リハビリテーション領域での光技術の応用，講師，神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部，cc，対面（神戸市）+オンライン，2024.3.11.
- (28) 第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，近赤外線分光法（NIRS）のリハビリテーション分野における研究および臨床応用の可能性，講師，日本腎臓リハビリテーション学会，研究者，医療従事者，新潟市，2024.3.17.
- (29) 第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，血液透析中の脳循環に対する透析中運動療法の影響，講師，日本腎臓リハビリテーション学会，研究者，医療従事者，新潟市，2024.3.17.
- (30) 第53回日本臨床神経生理学会学術大会，慢性疼痛患者に対する認知行動療法，講師，日本臨床神経生理学会，医療従事者，福岡，2023.11.30-12.2.
- (31) 第11回日本運動器理学療法学会学術大会，痛みと脳と情動と考え，講師，日本運動器理学療法学会

- 会, PT, 福岡, 2023.10.13-10.15.
- (32) 第28回日本基礎理学療法学会学術大会, 痛みと心の変容(慢性疼痛に対する認知行動療法), 講師, 日本基礎理学療法学会, PT, 広島, 2023.12.2-12.3.
- (33) Dynamics and Design Conference 2023, VRによる身体認知変容, 講師, 日本機械学会, 研究者, 愛知, 2023.8.27-8.29.
- (34) セラピストフォーライフ研修会, 膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学①, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 研究者, 医療従事者, オンライン, 2023.5.17.
- (35) アレックスメディカルグループ研修会, 新潟における女性アスリート支援, 講師, AR・Ex Medical Group, PT, アスレティックトレーナー, オンライン, 2023.5.21.
- (36) セラピストフォーライフ研修会, 膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学②, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 研究者, 医療従事者, オンライン, 2023.6.17.
- (37) 山梨県士会学術研修会, 足部・足関節の機能解剖と理学療法, 講師, 山梨県理学療法士協会, PT, オンライン, 2023.6.18.
- (38) 第34回神丹栗研究会オンライン, 足部・足関節・下腿の機能解剖学的視点からひも解く関節可動域制限と筋力低下の原因とアプローチ方法について, 講師, 神丹栗研究会, 医師, PT, オンライン, 2023.6.24.
- (39) セラピストフォーライフ研修会, 肘関節の屈曲制限に対する機能解剖学, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 研究者, 医療従事者, オンライン, 2023.7.22.
- (40) The 4th NeuroMusculoskeletal Ultrasound Online Meeting of SMAP, 膝外側部痛の治療戦略(解剖), 講師, 先進整形外科エコー研究会, 医師, PT, オンライン, 2023.8.11.
- (41) セラピストフォーライフ研修会, 肉眼解剖・機能解剖学的視点から紐解く足関節可動域制限の評価と運動療法～拘縮要因の理解を中心に～, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 研究者, 医療従事者, オンライン, 2023.8.19.
- (42) 広島国際大学大学院授業, アキレス腱障害について, 講師, 広島大学, 研究者, 医療従事者, オンライン, 2023.9.3.
- (43) スポラボ, 肉眼解剖学的視点から紐解く足関節可動域制限, 講師, CYBER BASEBALL, 研究者, 医療従事者, オンライン, 2023.9.8.
- (44) PHI Pilates Japan FESTA 2023, 機能解剖学的視点からひも解く膝関節可動域制限, 講師, PHI Pilates Japan, ピラティス講師, 医療従事者, オンライン, 2023.10.1.
- (45) 第13回中之島運動器セミナー, 筋損傷と解剖-下肢, 講師, 中之島運動器研究会, 医師, PT, オンライン, 2023.10.8.
- (46) 第3回 CLAI研究会, 足部・足関節の不安定を探る～解剖学的視点から～, 講師, CLAI研究会, 医師, PT, オンライン, 2023.11.12.
- (47) JA相模原協同病院 院内勉強会, アキレス腱障害のシン解剖学, 肘内側側副靱帯のシン解剖学, 講師, JA相模原協同病院, 医師, PT, 千葉県, 2023.11.22.
- (48) スポーツ医・科学サポート研究会 第2回研究会, 地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業の取り組み及び事例紹介, 講師, スポーツ医・科学サポート研究会, 医師, 医療関係者, 行政, オンライン, 2023.12.9.
- (49) 第11回青少年野球フェスタ2023, 第11回青少年野球フェスタ2023, 事務局, 新潟スポーツ医・科学コンソーシアム, 選手, 保護者, 監督, エコスタ, 2023.12.10.
- (50) 新潟スポーツ医・科学コンソーシアムキックオフシンポジウム, 新潟県のスポーツ医科学支援を考える, 事務局, 新潟スポーツ医・科学コンソーシアム, 医師, 医療関係者, 選手, 行政, 保護者, 学生, 朱鷺メッセ, 2023.12.23.
- (51) スポラボ, アキレス腱障害の発生メカニズムについて～解剖学的・生体力学的知見から～, 講師, CYBER BASEBALL, 研究者, 医療従事者, オンライン, 2024.1.19.

- (52) スポーツ庁委託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」受託3団体によるシンポジウム，すべての女性アスリートに－先端的支援の取り組み－，講師，立命館大学，医師，理学療法士，スポーツ関係者，選手，監督，オンライン，2024.3.1.
 - (53) にいがた健活フェス，親子で学ぶケガをしない体づくり，講師，新潟日報社，親子，新潟日報メディアシップ，2024.3.24.
 - (54) 東京都藤村女子高等学校出張講義，痛みに打ち克つ！，講師，東京都藤村女子高等学校，高校生，オンライン，2024.1.24.
 - (55) 島根トップコーチ育成事業，ハイパフォーマンスのための暑熱対策～体温調節の基礎と対策法～，講師，島根県競技力向上委員会（スポーツ振興課），島根県教員，スポーツチームコーチ，オンライン，2023.6.29.
 - (56) 2023年度公認水泳コーチ3 更新研修，生理学（U15&U17），講師，日本水泳連盟，日本水泳連盟所属水泳コーチ，オンライン，2023.9.30.
 - (57) 世界水泳2023OWS日本代表合宿，暑熱対策合宿のメニュー作成と実施，フィードバック，科学スタッフ，日本水泳連盟OWS委員会，OWS日本代表，日本代表コーチ，東京都，2023.6.1-7.8.
 - (58) 世界水泳2023，レースの科学分析，暑熱対策，科学スタッフ，日本水泳連盟OWS委員会，OWS日本代表，日本代表コーチ，福岡県，2023.7.13-7.19.
 - (59) 第99回OWS日本選手権，レースの科学分析，科学スタッフ，日本水泳連盟OWS委員会，OWS日本代表，日本代表コーチ，千葉県，2023.11.3-11.5.
 - (60) 指導者スキルアップ講座，膝痛改善に向けた介入方法，講師，三条市体育文化会館，健康運動実践指導者，健康運動指導，三条市，2024.2.3.
6. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
- (1) 2023年度，科研費 国際共同研究加速基金（海外連携研究），腱障害の病態解明と病態別治療プログラムの確立，江玉睦明，研究代表者
 - (2) 2020年度，科研費基盤研究（A），対人運動技能の制御・学習則の解明，山本裕二，研究代表者
 - (3) 2019年度，科研費基盤研究（A），知覚学習イノベーション－次世代感覚運動学習法の創出を目指して－，大西秀明，研究代表者
 - (4) 2023年度，科研費基盤研究（B），脳卒中後疼痛の発症を予測する神経活動バイオマーカーの確立と新たな治療戦略の創出，長坂和明，研究代表者
 - (5) 2023年度，科研費基盤研究（B），アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発，江玉睦明，研究代表者
 - (6) 2022年度，科研費基盤研究（B），慢性疼痛における非治療反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略，大鶴直史，研究代表者
 - (7) 2021年度，科研費基盤研究（B），皮質－基底核ループの抑制機能を高め，技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発，佐藤大輔，研究代表者
 - (8) 2022年度，科研費基盤研究（B），ストレス誘発性疼痛の中核機構解明と理学療法効果の実証，田口徹，研究代表者
 - (9) 2020年度，科研費基盤研究（B），酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証，椿淳裕，研究代表者
 - (10) 2021年度，科研費基盤研究（B），触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開，小島翔，研究代表者
 - (11) 2022年度，科研費基盤研究（B），脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出，山代幸哉，研究代表者
 - (12) 2023年度，科研費基盤研究（C），MRI情報を用いた筋骨格有限要素モデルによる扁平足のタイプ別での骨・軟部組織負荷，高林知也，研究代表者

- (13) 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 子どもの打撃動作の定量化と運動発達を考慮した質的評価テストの開発, 森下義隆, 研究代表者
- (14) 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 遅発性筋痛の筋膜における発現変動因子の同定と機械痛覚過敏への関与解明, 太田大樹, 研究代表者
- (15) 2023年度, 科研費基盤研究 (C), MALDI-TOF/MSを用いた毛髪脂質の高感度一斉解析法と長期精神疲労評価法への応用, 中山憲司, 研究代表者
- (16) 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 知覚学習効果を向上させる新たな介入戦略の創出, 齊藤慧, 研究代表者
- (17) 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 脳卒中超早期リハビリテーションの運動開始時点を決める生理学的パラメータの開発, 玉越敬悟, 研究代表者
- (18) 2021年度, 科研費基盤研究 (C), マイクロフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案, 宮口翔太, 研究代表者
- (19) 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 脳卒中片麻痺者における歩行支援ロボットの立脚支持と遊脚誘導機構の解明, 相馬俊雄, 研究代表者
- (20) 2022年度, 科研費基盤研究 (C), SPring-8を利用したアキレス腱付着部の3次元構造変化とその力学的特性の解明, 高橋英明, 研究代表者
- (21) 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄モジュールの同定, 八坂敏一, 研究代表者
- (22) 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 動的バランス機能を向上させるニューロモデュレーション技術の開発, 犬飼康人, 研究代表者
- (23) 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 義足ソケットの力学的・解剖学的特徴の解明, 須田裕紀, 研究代表者
- (24) 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 久保雅義, 研究代表者
- (25) 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 神経障害後の細胞環境依存的な衛星細胞の機能変化と三叉神経の興奮性変調機構の解明, 久保亜抄子, 研究代表者
- (26) 2022年度, 科研費基盤研究 (C), 脳刺激と末梢刺激の融合による相反性抑制増強法の開発, 平林 怜, 研究代表者
- (27) 2023年度, 科研費基盤研究 (C), 慢性腰痛による下行性疼痛制御系の変調機構と運動療法の効果, 徳永亮太, 研究代表者
- (28) 2023年度, 科研費若手研究, 運動時低体温症の解決を目指した体温調節メカニズムの解明ー皮膚血管収縮に着目してー, 藤本知臣, 研究代表者
- (29) 2023年度, 科研費若手研究, 仙腸関節障害の発生に関わる仙腸関節の挙動と形態の解明, 関根千恵, 研究代表者
- (30) 2023年度, 科研費若手研究, 病理遺伝子診断時代の神経膠腫のためのMR画像バイオマーカーの開発と検証, 大野健, 研究代表者
- (31) 2023年度, 科研費若手研究, 腱の温度上昇に起因した腱エネルギー代謝機構の変化とその腱恒常性への影響, 石垣智恒, 研究代表者
- (32) 2021年度, 科研費若手研究, 運動による認知疲労の発生機序: キヌレニン代謝仮説の検証, 越智元太, 研究代表者
- (33) 2021年度, 科研費若手研究, 視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案, 北谷亮輔, 研究代表者
- (34) 2022年度, 科研費若手研究, 長時間座位がもたらす腎動脈の血流変動とその機序の解明, 田宮創, 研究代表者
- (35) 2023年度, 科研費若手研究, 脳刺激と迷走神経刺激の融合による効果的な筋発揮効率の改善手法

- の開発, 横田裕丈, 研究代表者
- (36) 2021年度, 科研費若手研究, シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用, 芝田純也, 研究代表者
 - (37) 2022年度, 科研費若手研究, 母指球筋を用いた新たな筋量指標の開発と疾患予後を予測する指標への応用, 井上達朗, 研究代表者
 - (38) 2020年度, 科研費挑戦的研究(開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化, 大西秀明, 研究代表者
 - (39) 2022年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 江玉睦明, 研究代表者
 - (40) 2022年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), 不安定状態の脳内ネットワーク操作による恐怖記憶消去への挑戦, 大鶴直史, 研究代表者
 - (41) 2022年度, スポーツ庁, 令和5年度 女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」, 産官学連携による女性アスリートの医科学支援拠点の形成, 江玉睦明, 研究代表者
 - (42) 2023年度, 日本老年医学会, 高齢者栄養研究助成, 筋と骨の同時測定によるオステオサルコペニアの革新的評価法の開発と栄養学的バイオマーカーの解明による予防・介入戦略の検討, 井上達朗, 研究代表者
 - (43) 2023年度, スポーツ庁, 令和5年度 スポーツ庁委託事業「地域のスポーツ医・科学支援体制構築事業」, 新潟県のスポーツ医・科学支援体制の構築, 江玉睦明, 研究代表者
 - (44) 2023年度, 一般社団法人 日本理学療法学会連合, 理学療法に関わる研究助成, 遅発性筋痛の発症強度と予後予測を可能にするバイオマーカー脂質の同定, 田口徹, 研究代表者
 - (45) 2022年度, 小林製薬株式会社, 共同研究費, 電気生理学的手法を用いた筋痙攣モデルの作製と漢方薬の評価, 田口徹, 研究代表者

12) 自然人類学研究所 (Institute of Physical Anthropology)

①研究テーマ

1.

②センター名簿

奈良貴史, 新潟医療福祉大学理学療法学科, 教授 (所長)

澤田純明, 新潟医療福祉大学理学療法学科, 教授

萩原康雄, 新潟医療福祉大学理学療法学科, 講師

佐伯史子, 新潟医療福祉大学理学療法学科, 助教

佐宗亜衣子, 新潟医療福祉大学理学療法学科, 助教

辰巳晃司, 新潟医療福祉大学大学院, 院生

古澤妥史, 新潟医療福祉大学大学院, 院生

田口哲也, 新潟医療福祉大学大学院, 院生

平 慶子, 新潟医療福祉大学大学院, 院生

③主な活動内容

1. 著書

1. 奈良貴史, 佐伯史子, 古澤妥史. 【附編】焼人骨について. 土橋遺跡. 阿賀野市教育委員会; 2023: 1-37.
2. 澤田純明. 福井洞窟ミュージアム・東南アジア考古学会編. MUSEUM BOOKLET 東南アジアの洞窟遺跡. 1版. 東京: 雄山閣; 2023: 1-128.
3. 澤田純明, 佐伯史子. 中村慎一監修. 東アジア考古科学の新展開. 1版. 東京: 雄山閣; 2024: 1-200.
4. 佐伯史子, 澤田純明. 下里見天神前遺跡: 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団; 2023: 211-214.
5. 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史. 植栗山根A遺跡: 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団; 2023: 153-160.
6. 澤田純明. 大和田カミ遺跡群 発掘調査報告書 1: 新座市教育委員会; 2023: 829-830.
7. 筑前滉太, 矢吹周平, 澤田純明, 佐伯史子, 奈良貴史. 道正遺跡第2・3・4次調査 岡崎遺跡第4・5次調査: 新潟市文化財センター; 2024: 146-151.
8. 澤田純明, 佐伯史子. 松前町 福山城下町遺跡 (2): 北海道埋蔵文化財センター; 2024: 1-6.
9. 近藤修, 佐宗亜衣子. 縄文晩期の人類学—晩期縄文人の形質的特徴—. 設楽博己・根岸洋編. 季刊考古学別冊40 縄文時代の終焉: 雄山閣出版; 2023.
10. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 中野遺跡第122地点: 埼玉県志木市教育委員会; 2023: 76-79.
11. 辰巳晃司, 澤田純明. 富山市中富居遺跡発掘調査報告書: 富山市教育委員会埋蔵文化財センター; 2023: 50-53.
12. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 南蛇井北原田遺跡 蚊沼大神分遺跡: 群馬県埋蔵文化財調査事業団; 2023: 423-426.
13. 古澤妥史. 2023年度企画展石船戸遺跡展展示解説リーフレット: 阿賀野市生涯学習課; 2023: 1-4.
14. 古澤妥史, 村上章久, 松田隆二, 金原美奈子, 金原由美子. 土橋北遺跡Ⅱ (D区北側): 阿賀野市教育委員会; 2023: 本文1-96・図版1-39.
15. 古澤妥史, 村上章久, 真壁鈴子, 佐藤直美, 奈良貴史, 佐伯史子, 松田隆二, 金原美奈子, 竹原弘展. 土橋遺跡: 阿賀野市教育委員会; 2023: 本文1-227・図版1-93.
16. 古澤妥史. 石船戸遺跡出土品 824点. 埋文にいがた第122号. 新潟県埋蔵文化財センター; 2023: 7.
17. 平慶子, 佐伯史子, 奈良貴史. 神奈川県逗子市 埋蔵文化財緊急調査報告書18—令和2年度—: 逗子市教育委員会; 2024: 111-126.
18. 平慶子, 奈良貴史, 加藤学, 石川智紀. 季刊考古学 164: 雄山閣出版; 2023: 97-98.

2. 論文

1. Sawada J, Sun G, Huang W, Kubota S, Saeki F, Okazaki K, Yoneda M, Nakamura S. Paleopathological characteristics of Neolithic early rice farmers in the lower reaches of the Yangtze river. *Frontiers in Earth Science (JCR)*. 2023; 11: 1-9.
2. 鹿又喜隆, 青木飛楠子, 永瀬史人, 澤田純明, 佐伯史子, 児玉大成. 青森県山野峠遺跡出土の土器棺等の再検討. *Bulletin of the Tohoku University Museum*. 2024; 23: 35-52.
3. Hagihara Y. Fibular diaphyseal curvature of the Jomon population. *Anatomical Science International*, 2023; 98 (4): 548-557.
4. 米田穰, 阿部芳郎, 樋泉岳二, 佐宗亜衣子. 神奈川県夏島貝塚における土器付着炭化物と人骨の同位体分析からみた縄文時代早期の生業の地域性. *駿台史學*. 2023, 180 : 23-46.
5. 古澤妥史. 石船戸遺跡出土植物に含まれる毒の利用. *三面川流域の考古学*. 2023 ; 第20号 : 63-79

3. 報告書

1. 萩原康雄. 若手研究, 再考: 海と山の縄文人 - 四肢骨骨幹部から縄文人の生活様式を復元する -, 2019-2023, 研究代表者

4. 学会等研究発表

1. 澤田純明. 後期更新世における人類の動物資源利用: ホアビニアンと日本列島. 第21回日本旧石器学会 (東京・日本), 2023.6.24-6.25.
2. 澤田純明, 米田穰, 長井謙治. 山形県北町遺跡から出土した縄文草創期焼骨片の組織学的種同定. 日本動物考古学会第10回大会 (札幌・日本), 2023.7.1-7.2.
3. Sawada J, Uzawa K, Toizumi T, Saeki F, Yanagita Y, Yoneda M. Nondestructive histomorphological species identification of burned bone fragments from the Late Pleistocene using high-resolution X-ray CT at SPring-8 in Japan. ICAZ 2023 (14th International Council for Archaeozoology Conference) (Cairns, Queensland, Australia), 2023.8.7-8.12.
4. Sato T, Sawaura R, Sawada J, Yoneda M, Masuda R. Multidisciplinary Research on the Japanese Lynx. ICAZ 2023 (14th International Council for Archaeozoology Conference) (Cairns, Queensland, Australia), 2023.8.7-8.12.
5. 澤田純明. ベトナム北部Phung Quyen岩陰遺跡の発掘調査 (予報). 第77回日本人類学会大会 (仙台・日本), 2023.10.7-10.9.
6. 澤田純明, グエン アイン トゥアン. ホアビニアンの動物利用: フンクウェン岩陰の調査成果より. 東南アジア考古学会2023年度研究大会 (東京・日本), 2023.12.16-12.17.
7. 上村優和, 澤田純明. 古人骨の緻密骨を用いた骨粗鬆症の判定. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇・日本), 2024.3.21-3.23.
8. 谷川真由, 佐伯史子, 澤田純明. 江戸時代遺跡から出土した骨製サイコロの組織学的種同定. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇・日本), 2024.3.21-3.23.
9. 萩原康雄. 海の縄文人・山の縄文人. 第77回日本人類学会大会 (仙台・日本), 2023.10.7-10.9.
10. 萩原康雄. 相同モデルを用いた江戸時代の社会階層と下顎形態の関連性の検討. 第77回日本人類学会大会 (仙台・日本), 2023.10.7-10.9.
11. 萩原康雄, 奈良貴史. 同一家系の江戸時代人骨群に認めた脊柱・胸郭の骨形態異常. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇・日本), 2024.3.21-3.23.
12. 松田和也, 萩原康雄, 奈良貴史. 江戸時代集団のシュモール結節. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会 (那覇・日本), 2024.3.21-3.23.
13. 佐伯史子, 萩原康雄, 澤田純明, 佐宗亜衣子, 奈良貴史, 米田穰, 遠部慎, 西本志保子, 小林謙一. 愛媛県上黒岩第2岩陰遺跡から出土した2体の中・近世人骨. 第77回日本人類学会大会 (仙台・日本), 2023.10.7-10.9.
14. 佐宗亜衣子, 水野文月, 植田信太郎. 長岡藩牧野家の歯と顎骨にみられる病理痕と歯石について. 日

本考古学協会第88回総会（平塚・日本），2023.5.27-5.28.

15. 佐宗亜衣子，水嶋崇一郎．姥山貝塚B9号住居址出土人骨の古病理所見について．第77回日本人類学会大会（仙台・日本），2023.10.7-10.9.
16. 水嶋崇一郎，佐宗亜衣子．姥山貝塚B9号住居址出土人骨の形態特徴について．第77回日本人類学会大会（仙台・日本），2023.10.7-10.9.
17. 栗山佑基，水野文月，中伊津美，佐宗亜衣子，奈良貴史，舟橋京子，米元史織，松下真実，松下孝幸，山田孝，林美千子，黒崎久仁彦，植田信太郎，大橋順．江戸時代におけるヒト口腔内細菌叢の解析．第77回日本人類学会大会（仙台・日本），2023.10.7-10.9.
18. 佐宗亜衣子，安達登，平慶子，奈良貴史．神奈川県称名寺貝塚2号土壙墓人骨の性別判定：骨形態とDNA分析．第129回日本解剖学会総会・全国学術集会（那覇・日本），2024.3.21-3.23.
19. 川口颯斗，佐宗亜衣子，奈良貴史．江戸時代人骨にみられる筋骨格ストレスマーカーと口腔状態の関係性．第129回日本解剖学会総会・全国学術集会（那覇・日本），2024.3.21-3.23.
20. 米田穰，吉永淳，辰巳晃司，奈良貴史．遺骨の化学分析からみる長岡藩牧野家の食生活．日本考古学協会第89回総会（平塚・東京），2023.5.27-5.28.
21. 辰巳晃司，奈良貴史．近世武家階級にみられる貴族的形質の階層性について．第77回日本人類学会大会（仙台・東京），2023.10.7-10.9.
22. 岩浪雛子，畑中乃咲佳，山口舞桜，中村謙伸，鈴木伸太郎，佐藤巧庸，間直一郎，平澤悠，深澤真楠，辰巳晃司，高田学，渡辺丈彦，鈴木敏彦，安達登，佐藤孝雄，奈良貴史．「尻労安部洞窟（安部遺跡）－北の石灰岩洞窟に旧石器人骨を追う－」．令和4年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会（青森市），2023.12.9-12.10.

5. 学会活動

1. 日本人類学会，第77回日本人類学会大会，大会顧問（奈良貴史）・実行副委員長（澤田純明）・実行委員（萩原康雄・佐伯史子・佐宗亜衣子），仙台，2023.10.7-10.9.

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

- (1) 研修会・第9回新潟医療福祉大学夏期骨学セミナー，講師 奈良貴史・澤田純明・萩原康雄・佐宗亜衣子 事務局 澤田純明・萩原康雄・佐伯史子・佐宗亜衣子，自然人類学研究所，医療関係者・考古学関係者・警察関係者・他，新潟医療福祉大学，2023.8.18-8.22.
- (2) 一般公開シンポジウム・第18回人類学関連学会協議会 合同公開シンポジウム，ストレスマーカーから探る古代の人々の健康状態，講演 澤田純明，人類学関連学会協議会，一般市民，福岡市，2023.6.18.
- (3) 講演会・東南アジアの洞窟遺跡－海外の視点から佐世保の洞窟を探る－，ベトナムの洞窟遺跡－ハンチョー洞窟とフンクウェン岩陰－，講師 澤田純明，佐世保市教育委員会・東南アジア考古学会，一般市民，福井洞窟ミュージアム，2023.11.11.
- (4) 公開講座・2023年度岩宿大学，動物骨から見る岩宿時代の環境適応，講師 澤田純明，岩宿博物館，一般市民，群馬県みどり市岩宿博物館，2023.11.24.
- (5) 講演会・「旧石器時代の人類」展 文化講座1 骨学セミナー沖縄版，遺跡出土骨片のミクロ解剖学からわかること／ネアンデルタール人類の消滅と現生人類（ホモ・サピエンス）の拡散，講師 澤田純明・奈良貴史，沖縄県立博物館・美術館，一般市民，沖縄県立博物館・美術館，2023.12.16.
- (6) 講演会・豊栄中高年教養大学，骨は語る～出土人骨から読み解く日本列島集団の形態・行動・病～，講師 萩原康雄，一般市民，新潟，2023.5.26.
- (7) 一般公開シンポジウム・長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討，主催・事務局・趣旨説明 奈良貴史，自然人類学研究所・長岡市立科学博物館，一般市民，長岡市，2024.3.9-3.10.
- (8) 一般公開シンポジウム・長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討，長岡藩牧野家の遺骨に認めた骨病変，講演 萩原康雄，自然人類学研究所・長岡市立科学博物館，一般市民，2024.3.9-

3.10.

- (9) 一般公開シンポジウム、長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討、長岡藩牧野家と岩槻藩大岡家の頭骨における貴族的特徴について、辰巳晃司、自然人類学研究所・長岡市立科学博物館、一般市民、萩原康雄、2024.3.9-3.10.
- (10) 一般公開シンポジウム、長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討、長岡藩牧野家と岩槻藩大岡家の頭骨における貴族的特徴について、講演 辰巳晃司、自然人類学研究所・長岡市立科学博物館、一般、長岡市、2024.3.9-3.10.
- (11) 一般公開シンポジウム、長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討、長岡藩牧野家の歯と顎骨にみられる病理と生活習慣の痕跡について、講演 佐宗亜衣子、自然人類学研究所・長岡市立科学博物館、一般、長岡市、2024.3.9-3.10.
- (12) 講演会・考古科学セミナー、Measurements and analysis of the human skeletal morphology、講演 萩原康雄、米田穰、研究者・学生、アルマトイ、2023.9.13.
- (13) 一般公開シンポジウム、姥山貝塚の5体の人骨の謎に迫る、姥山B9号住居址人骨の埋葬状況、講演 佐宗亜衣子、主催 自然人類学研究所・市川考古博物館、市川市、2023.3.10.
- (14) Youtubeチャンネル、骨が語る「生と死」展：研究者インタビュー、研究紹介・展示解説 佐宗亜衣子、東京大学総合研究博物館、一般、Web、2023.12.11.
- (15) 現地説明会・上野遺跡現地説明会、運営・事務局 奈良貴史・平慶子、奈良貴史、一般市民・研究者、新潟医療福祉大学、2023.11.26
- (16) 研修会・令和5年度三市北蒲原郡教育委員会連合協議会研修会、地域との結びつきを重視した新しい教育・普及活動、講師 古澤妥史、三市北蒲原郡教育委員会連合協議会、教育委員・事務局担当職員、阿賀野市、2023.5.22.
- (17) 研修会・令和5年度阿賀野市立吉田東伍記念博物館・歴史民俗資料館連続講座、第1回「郷土の歴史に興味・関心を持つ」、講師 古澤妥史、阿賀野市立吉田東伍記念博物館、一般市民、阿賀野市、2023.7.11.
- (18) 研修会・令和5年度阿賀野市立吉田東伍記念博物館・歴史民俗資料館連続講座、第2回「資料を観察し、読み解く」、講師 古澤妥史、阿賀野市立吉田東伍記念博物館、一般市民、阿賀野市、2023.9.2.
- (19) 研修会・令和5年度阿賀野市立吉田東伍記念博物館・歴史民俗資料館連続講座、第3回「自然環境を知る－災害と資源の利用－」、講師 古澤妥史、阿賀野市立吉田東伍記念博物館、一般市民、阿賀野市、2023.11.11.

2) TV出演、ラジオ出演、新聞掲載、一般雑誌掲載等

- (1) 新聞、市川浦安よみうり、謎の縄文人骨 DNA分析の結果は？、2024.3.2.
- (2) 新聞、朝日新聞（千葉版）、5体の人骨 家族じゃなかった？ 姥山貝塚 最新の研究結果、シンポで、2024.3.7.
- (3) 新聞、毎日新聞（千葉版）、縄文住居跡の人骨 家族でない？、2024.3.8.
- (4) 新聞、市川浦安よみうり、姥山貝塚5体の人骨 母子関係は否定、2024.3.16.
- (5) 新聞、千葉日報、人骨5体「母子関係はなし」、2024.3.17.
- (6) 新聞、東京新聞（千葉版）、人骨5体 謎解明へ前進、2024.3.21.
- (7) Web、毎日新聞、「異なる家族の形」？ 5体の人骨巡る姥山貝塚の謎、一部判明、2024.3.8.
- (8) Web、朝日新聞DIGITAL、縄文のあの5人、家族ではなかった？ 市川・姥山貝塚10日シンポ、2024.3.7.
- (9) Web、朝日新聞DIGITAL、DNA解析で家族説揺らぐ 姥山貝塚で発掘された縄文の人骨5体、2024.3.11.
- (10) Web、東京新聞デジタル、人骨5体 謎解明へ前進、2024.3.21.
- (11) 新聞、毎日新聞、人骨焼き、並べて埋葬 上野遺跡で判明 縄文人は「骨格を理解」、2023.11.26.

- (12) 新聞, 新潟日報デジタルプラス, 葬送の縄文人...焼いた人骨を規則的に並べた珍しい墓, 新潟医療福祉大学で11月26日一般公開 村上市・上野遺跡で発掘, 2023.11.24.
- (13) テレビ, NHK, 新潟ニュース, 縄文後期に焼いた人骨をまとめて意図的に埋葬 新潟 村上, 2023.11.
- (14) 新聞, 読売新聞, 長岡藩主らの復顔ずらり 新潟医福大研究チーム 6, 7日に一般公開, 2023.5.3.
- (15) 新聞, 新潟日報, 殿様一行お出ましじゃ 牧野家の歴々顔復元完了 長岡できょう, あす一般公開 藩主や正室ら骨格基に模型, 2023.5.6.
- (16) 新聞, 新潟経済新聞, 歴代牧野家トノ 尊顔が復元される 6日から長岡まちなかキャンパスで展示, 2023.5.6.
- (17) 新聞, 毎日新聞, 長岡藩主の殿様 高い鼻に細い顎 牧野家ら11人 頭蓋骨から復元, 2023.5.7.
- (18) 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その1, 2023.5.23.
- (19) 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その2, 2023.5.25.
- (20) 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その3, 2023.5.27.
- (21) 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その4, 2023.6.1.
- (22) 新聞, 長岡新聞, 長岡藩主・正室「復顔模型」展示(全5回シリーズ) 遺骨から復元「殿様全員集合!」その5, 2023.6.6.
- (23) 新聞, 新潟日報, 長岡・牧野家「養子関係」5代と8代 実の父子の確率高く 新潟医福大など研究グループ 遺骨の遺伝子, 配列が類似, 2024.3.7.
- (24) 新聞, 読売新聞, 8代長岡藩主 5代の実子か 新潟医福大 復顔模型 一般公開へ, 2024.3.8.
- (25) テレビ, NST新潟総合テレビ, 新潟ニュース, 殿様大集合! 最新技術で“歴代長岡藩主”の顔を復元! 「縦長で鼻筋が通っている」, 2023.5.2.
- (26) テレビ, BSN新潟放送, TBS NEWS DIG, 殿様 全員集合!! 長岡藩主『牧野家』歴代の“御尊顔”を復元, 2023.5.2.
- (27) テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJにいがた, 牧野の殿様はみんな面長? 遺骨をもとに歴代長岡藩主と正室の顔を復元, 2023.5.2.
- (28) テレビ, フジテレビ, イット!, <気になるギモン>殿様の顔を3Dで再現・子孫が対面“共通点”は, 2023.5.3.
- (29) テレビ, UX新潟テレビ21, スーパーJにいがた, 国内では初めて 牧野家歴代藩主に新たな血縁関係判明, 2024.3.6.
- (30) テレビ, NST新潟総合テレビ, 新潟ニュース, 江戸時代に“ほっそり顔”が急増! 遺骨分析プロジェクトで判明 長岡藩・牧野家の殿様は“魚好き”!?, 2024.3.6.
- (31) 新聞, 新潟日報, 縄文の「二口コンロ」復元, 昔の生活想像して 新潟阿賀野市歴史民俗資料館で展示, 2023.9.27

3) 社会活動への参加協力

- (1) 佐世保市教育委員会・東南アジア考古学会, 企画展「東南アジアの洞窟遺跡 洞窟から探る人類史」の展示協力, 長崎県佐世保市福井洞窟ミュージアム, 2023.10.27-2024.1.28.
- (2) 沖縄県立博物館・美術館, 特別展「旧石器時代の人類ー海を越えた最初の人々ー」の展示協力, 沖縄県那覇市沖縄県立博物館・美術館, 2023.12.12-2024.2.12.
- (3) 山梨県警察本部, 捜査協力・法医鑑定業務に対する感謝状(澤田純明), 2024.2.20.
- (4) 新潟県阿賀野市土橋遺跡出土人骨の整理作業, 2023.4-7.
- (5) 新潟県村上市上野遺跡出土人骨の整理作業, 2023.4(継続中)

- (6) 群馬県西上之宮遺跡出土骨の整理作業・鑑定業務, 2023.4-2024.3.
 - (7) 群馬県南蛇井北原田遺跡出土人骨の整理作業, 2023.4-12.
 - (8) 群馬県立歴史博物館, 破損した人骨製品(文化財登録資料)の修復, 事前指導および修復作業, 群馬県立歴史博物館, 2023.4.22-5.8.
 - (9) 北海道福山城下町遺跡出土骨の整理作業・鑑定業務, 2023.5.1-8.31.
 - (10) 公益法人福島県文化振興財団, 川俣町前田遺跡人骨の整理作業に関する指導・助言, 福島県, 2023.4.1-2024.3.31.
 - (11) 国立大学法人総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター・三浦半島における先史時代人類の「生業活動と古環境」プロジェクト, 毘沙門洞穴人骨の調査, 三浦市, 2023.7-2024.3.
7. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況
- (1) 2020年度, 科研費基盤研究(B), 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 奈良貴史, 研究代表者
 - (2) 2023年度, 挑戦的研究(萌芽), 縄文時代人は何歳まで生きたのか? 高分解能CTを用いた骨組織学的年齢推定法の開拓, 澤田純明, 研究代表者
 - (3) 2020年度, 科研費基盤研究(B), 日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する, 澤田純明, 研究代表者
 - (4) 2020年度, 国際共同研究加速基金, 東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明, 澤田純明, 研究代表者
 - (5) 2022年度, 科研費基盤研究(B), 受傷人骨の骨科学分析による縄文終末期の埋葬原理と社会変容の解明, 澤田純明, 研究分担者
 - (6) 2021年度, 科研費基盤研究(B), 日本列島に棲息したオオヤマネコに関する学際的調査・研究, 澤田純明, 研究分担者
 - (7) 2020年度, 科研費学術変革領域研究(A), 同位体比分析から見たヒトとモノの動態復元, 澤田純明, 研究分担者
 - (8) 2022年度, 科研費若手研究, 骨形態から読み解く狩猟採集から農耕への生業転換に伴う日本列島集団の行動様式の変化, 萩原康雄, 研究代表者
 - (9) 2020年度, 学術変革領域研究(A), 同位体比分析から見たヒトとモノの動態復元, 萩原康雄, 研究分担者
 - (10) 2022年度, 科研費基盤研究(C), 解剖学的方法に基づく日本列島の各時代人類集団の正確な身長推定, 佐伯史子, 研究代表者
 - (11) 2020年度, 科研費基盤研究(B), 縄文家族論の新展開: 廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明, 佐宗亜衣子, 研究代表者
 - (12) 2020年度, 科研費基盤研究(B), 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 佐宗亜衣子, 研究分担者

13) 学内における研究助成金の採択状況

(1) 研究奨励金 採択一覧表

①スタート支援研究費

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
1	田中惣治	義肢装具自立支援	脳卒中者に対する短下肢装具の選定基準の構築－麻痺側立脚期の膝関節の動きによる歩行パターン別の検討－	¥400,000
2	平井克之	医療情報管理	和文の引用文献文字列の書誌同定に関する新規手法の開発	¥400,000
3	五十嵐眸実	理学療法	慢性疼痛リスクファクターの神経基盤解明－COMT遺伝子多型に着目して－	¥400,000
4	吉田皓文	診療放射線	胸部X線画像を用いた肺機能推定AIによるCOPD早期検出法の開発	¥400,000
4	桶谷涼子	看護	特定分野の資格を有す看護師による妊孕性温存療法中のがんサバイバーへの妊孕性支援に関する全国実態調査	¥400,000
6	五十嵐小雪	健康スポーツ	女性の生体リズムによって生じる摂食行動異常の原因究明と対処法の開発	¥400,000
7	渡邊博昭	臨床技術	慢性肝疾患における造影超音波検査の安全性の確立	¥400,000
8	佐々木沙織	看護	定年前後の行政保健師が考えている定年後活動とその背景	¥400,000
8	荒木恵子	看護	小児の心肺蘇生法の技術習得に向けたシミュレーション教育用教材の開発	¥400,000
10	櫻井典子	診療放射線	機能的MRIを用いた個人に合ったASMRが誘発するリラクゼーション効果の検討	¥400,000
11	竹内瑞希	健康栄養	グアテマラ共和国における母子の栄養改善へ向けた基礎的調査－母親の栄養関連因子が子どもの栄養状態へ与える影響－	¥400,000
12	真保加奈子	看護	インドネシアのプレコンセプション世代におけるセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスの現状と教育ニーズ	¥400,000
13	吉田宜清	診療放射線	人工知能を用いた認知症診断MRI画像が脳機能解析に与える影響	¥400,000
13	伊関浩克	作業療法	表面麻酔下での知覚教育訓練が中枢神経可塑性へ与える影響	¥400,000
13	田山文子	義肢装具自立支援	大腿義足の歩行解析および有限要素法を用いたソケット内シミュレーション	¥400,000
16	築取 萌	医療情報管理	健康スポーツの普及過程の研究：フィットネスのグローバル化	¥400,000

②基盤形成研究費

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
1	藤井 豊	臨床技術	酸素ウルトラファインバブル溶液腹膜注入による革新的呼吸補助法の創出	¥800,000
2	星 春輝	理学療法	筋力トレーニングに伴う発揮筋力の変化および皮質と筋間の神経伝達効率との関係	¥800,000
3	大山峰生	作業療法	筋再教育効果の持続性を獲得するための発展的手法の開発	¥800,000
4	阿部拓也	臨床技術	耐糖能異常から糖尿病発症後の重症度を考慮した造影超音波検査の安全性確立	¥720,000
5	長谷川晃	診療放射線	深層学習を用いた超音波画像からの脾体積自動計測システムの開発	¥720,000
5	生方北斗	視機能科学	スマートフォンを用いた眼表面撮影デバイスによる前眼部検査の教育法の開発	¥360,000
7	森清友亮	健康スポーツ	超音波断層画像再構成による三次元モデル作成法開発と検証	¥720,000

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
7	阿久澤弘	理学療法	Jones 骨折に関わる足部各分節挙動の検証	¥720,000
9	神田 賢	義肢装具自立支援	高齢者雇用・就業促進のための包括的ケアプログラムの構築	¥720,000
10	笠井 聡	診療放射線	超音波撮影手技を支援する AI ナビゲーションシステムの開発	¥720,000
11	熊崎 昌	健康スポーツ	サッカー競技における頭部外傷リスクに対する認知度と受傷機転となるプレー動作の解明	¥720,000
12	下門洋文	健康スポーツ	ヒトが水の力を捉える仕組みの解明	¥720,000

③ステップアップ研究費

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
1	田口 徹	理学療法	侵害受容器の特異的活動操作による疼痛制御法の開発	¥1,000,000
2	児玉直樹	診療放射線	機能的 MRI を用いた軽度認知障害からの回復及び進行に伴う脳機能メカニズムの解明	¥1,000,000
3	大西秀明	理学療法	一次体性感覚野と後頭頂葉との機能的結合を強化すると体性感覚機能は良くなるのか？	¥1,000,000
4	田宮 創	理学療法	長時間座位がもたらす腎動脈の血流変動の予防法の開発	¥1,000,000
5	齊藤 慧	理学療法	末梢電気刺激の刺激効果を向上させる新たな介入戦略の創出	¥1,000,000
5	相馬俊雄	理学療法	脳卒中重度片麻痺者における歩行支援ロボット介入時の麻痺側下肢に与える筋活動促進効果	¥1,000,000
7	椿 淳裕	理学療法	マルチモビディティ時代の大脳皮質の微小循環調節の解明－低酸素環境下での血圧変動に伴う微小循環変動－	¥1,000,000
7	藤本知臣	健康スポーツ	低体温の予防を目指したヒトの皮膚血管収縮の新規メカニズム解明－ヒトの冷感受容器 TRPA1 に着目して－	¥1,000,000
7	長坂和明	理学療法	脳内意欲中枢から体性感覚野へのドーパミン伝達が運動学習に与える影響の解明	¥1,000,000
10	松浦由生子	健康スポーツ	クロール泳における MR 拡散強調画像を用いた体幹深部筋活動評価	¥1,000,000
10	井上達朗	理学療法	筋と骨の同時測定によるオステオサルコペニアの革新的評価法の開発	¥1,000,000
10	高林知也	理学療法	センシング技術と深層学習を用いた実環境における骨・軟部組織負荷予測システムの開発	¥1,000,000
13	横田裕丈	理学療法	経皮的迷走神経刺激 (tVNS) を用いたワーキングメモリーの改善とその神経基盤の解明	¥950,000
14	大鶴直史	理学療法	脳深部 (島皮質) の刺激を可能とする時間的干渉刺激の開発	¥950,000
15	澤田純明	理学療法	考古遺跡から出土した骨製品の非破壊的組織形態分析に基づく素材同定	¥950,000
15	高橋良光	臨床技術	透析用カテーテルのコーティング剤の違いによる血栓形成評価～ブタ血液を用いて～	¥950,000
15	中山憲司	臨床技術	生体試料中のステロイドホルモン一斉定量解析系の構築	¥950,000
15	越智元太	健康スポーツ	末梢血乳酸濃度が運動性認知疲労発現のバイオマーカーとなり得るか？	¥950,000
15	佐藤大輔	健康スポーツ	不要な動きの忘却に関わる神経活動と運動学習法への応用	¥950,000
15	宮口翔太	理学療法	反応抑制機能を向上させる効果的な脳刺激法の考案－小脳に対する刺激効果メカニズムの検証－	¥950,000
21	小島 翔	理学療法	快情動または不快情動を惹起する触覚刺激を用いた新たなストレス対処法の開発	¥950,000
21	関根千恵	理学療法	スポーツ動作に内在する「協調構造」の解明	¥950,000

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
21	菊元孝則	理学療法	運動連鎖の遮断による慢性足関節不安定症の新たな評価手法の検証	¥950,000
21	佐々木一真	臨床技術	3Dプリンタを用いた透析患者血管モデルの作製とその評価に関する研究	¥902,500
25	江玉睦明	理学療法	腱障害の病態解明と病態別治療プログラムの確立	¥950,000
26	玉越敬悟	理学療法	脳梗塞後超早期運動介入による梗塞巣拡大機構の解明－CXCR1の関与について－	¥950,000
26	芝田純也	理学療法	末梢中枢ハーモニー刺激による新規感覚リハビリテーションの開発－脳のリズムとタイミングは可塑性誘導にどのような影響を与えるか－	¥950,000
26	村山 稔	義肢装具自立支援	膝屈曲歩行を呈する脳卒中患者に使用する膝関節伸展補助装具の開発と効果検証	¥950,000
26	久保亜抄子	鍼灸健康	痛みの不快情動回路に直接投射する一次求心性神経の侵害受容特性の解明	¥950,000
26	越中敬一	健康スポーツ	胎生期における身体温度の上昇が子の出生後におけるエネルギー代謝に及ぼす影響	¥950,000

③復帰支援研究費

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
1	岩野千尋	看護	医療的ケア児の在宅移行支援を行う訪問看護師の対象者支援におけるコンピテンシー（行動特性）の解明	¥400,000

（2）学長裁量研究費 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
1	児玉直樹	診療放射線	親しみや安心感を感じさせる「話しかけ」ができるAIエージェントの開発研究	¥1,000,000

（3）研究科長裁量研究費 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
1	大鶴直史 (井上創太)	理学療法	幼少期の社会的敗北ストレス体験による成人期の脳機能変化の解明	¥200,000
2	大鶴直史 (五十嵐眸実)	理学療法	恐怖記憶の「形成されやすさ」を規定する脳内ネットワークの同定	¥200,000
3	佐藤大輔 (Le Cong Dat)	健康スポーツ	水流刺激は神経可塑性を高め、運動学習を促進するか？	¥200,000
3	椿 淳裕 (高橋朋弥)	理学療法	急性期脳卒中患者における歩行中の前頭前野の活動とそれに対する歩行機能や認知機能の影響の解明	¥200,000
5	江玉睦明 (坂本航大)	理学療法	Kager's fat padの解剖学的・組織学的構造の解明～アキレス腱障害の病態解明と予防法の確立に向けて～	¥200,000
5	高林知也 (平塚 栞)	理学療法	ランニング障害を好発する扁平足の「タイプ」の解明－運動連鎖パターンに着目して－	¥200,000
7	久保雅義 (笠原一希)	理学療法	Foam Rollerにおける従来の介入方法と圧迫および関節運動法の長期介入効果の比較	¥200,000
7	大西秀明 (星 春輝)	理学療法	経頭蓋交流電気刺激と低強度筋力トレーニングとの併用効果の解明	¥200,000
9	小島 翔 (田邊かこ)	理学療法	拡大した視覚情報と能動的触覚刺激を組み合わせた介入手法の確立と神経基盤の解明	¥200,000
9	藤井 豊 (三木航太)	臨床技術	V-V ECMOによる非生理的高濃度酸素が及ぼす肺傷害のメカニズム解明	¥200,000
9	山代幸哉 (巻渕泰輝)	健康スポーツ	L-menthol溶液の塗布によるTRPM8の活性化が、痛み関連体性感覚誘発電位に与える影響	¥200,000

	研究者	所属学科	研究課題	配分金額
12	宮口翔太 (志賀恭介)	理学療法	前頭葉－後頭葉の神経活動の同期が空間性注意に与える影響の解明	¥200,000
12	小島 翔 (丸山雄基)	理学療法	個人の脳活動周波数に合わせた機械的触圧覚刺激介入が体性感覚機能に及ぼす影響	¥200,000

(4) 外部資金獲得奨励金 採択一覧表

	研究者	所属学科	対象外部資金	資金獲得先
1	東江由起夫	義肢装具自立支援	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
2	安達哲浩	救急救命	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
3	石垣智恒	理学療法	科研費若手研究代表	日本学術振興会
4	伊藤さゆり	言語聴覚	科研費若手研究代表	日本学術振興会
5	岩崎 隆	救急救命	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
6	岩森 大	健康栄養	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
7	鶴瀬亮一	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
8	宇田優子	看護	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
9	圓純一郎	作業療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
10	大石如香	言語聴覚	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
11	太田大樹	理学療法	科研費若手研究代表	日本学術振興会
12	大野 健	診療放射線	科研費若手研究代表	日本学術振興会
13	大松健太郎	救急救命	科研費若手研究代表	日本学術振興会
14	大湊 麗	言語聴覚	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
15	大森 豪	健康スポーツ	共同研究契約	ヨネックス(株)
16	越智元太	健康スポーツ	科研費若手研究代表	日本学術振興会
17	川上心也	健康栄養	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
18	菊元孝則	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
19	北谷亮輔	理学療法	科研費若手研究代表	日本学術振興会
20	杵渕洋美	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
21	久保亜抄子	鍼灸健康	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
22	栞原 桂	言語聴覚	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
23	郷 貴博	義肢装具自立支援	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
24	越中敬一	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
25	小島 翔	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
26	齊藤 慧	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
27	佐伯史子	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
28	佐々木一真	臨床技術	科研費若手研究代表	日本学術振興会
29	佐宗亜衣子	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
30	佐藤晶子	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
31	佐藤成登志	理学療法	受託事業契約	新潟県
32	柴田篤志	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
33	鈴木一恵	健康栄養	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
34	鈴木健司	医療情報管理	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
35	関根千恵	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
36	相馬俊雄	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
37	高橋英明	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
38	高林知也	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
39	多々良俊哉	視機能科学	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
40	田宮 創	理学療法	科研費若手研究代表	日本学術振興会
41	玉田千歳	看護	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
42	寺田貴美代	社会福祉	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
43	徳永亮太	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
44	永井 徹	健康栄養	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
45	長坂和明	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
46	中島郁子	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
47	能村友紀	作業療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
48	塙 晴雄	臨床技術	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
49	針谷美智子	健康スポーツ	科研費若手研究代表	日本学術振興会

	研究者	所属学科	対象外部資金	資金獲得先
50	平林 怜	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
51	藤本知臣	健康スポーツ	科研費若手研究代表	日本学術振興会
52	星野美美	医療情報管理	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
53	前田 雄	義肢装具自立支援	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
54	増田 修	視機能科学	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
55	増田紘之	健康栄養	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
56	松浦由生子	健康スポーツ	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
57	三瀬貴生	健康スポーツ	科研費若手研究代表	日本学術振興会
58	宮口翔太	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
59	村山 稔	義肢装具自立支援	科研費若手研究代表	日本学術振興会
60	森下義隆	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
61	山崎貴子	健康栄養	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
62	山代幸哉	健康スポーツ	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
63	山本悦史	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
64	吉田重和	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
65	和田直子	看護	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
66	渡辺洋子	社会福祉	科研費若手研究代表	日本学術振興会
67	阿部 薫	義肢装具自立支援	科研費基盤研究 (C) 代表 共同研究契約	日本学術振興会 株式会社ワコール
68	荒川大靖	社会福祉	科研費基盤研究 (C) 代表 民間研究助成金	日本学術振興会 公益財団法人 古泉財団
69	石井雅子	社会連携機構	科研費基盤研究 (C) 代表 科研費基盤研究 (C) 分担 受託事業契約 受託事業契約 受託事業契約	日本学術振興会 日本学術振興会 福井県鯖江市 新潟県五泉市 新潟県五泉市
70	井上達朗	理学療法	科研費若手研究代表 受託研究契約 受託研究契約	日本学術振興会 AMED AMED
71	江玉睦明	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表 科研挑戦的研究 (萌芽) 代表 科研挑戦的研究 (萌芽) 代表 女性アスリートの育成・支援プロジェクト受託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクト受託事業 共同研究契約	日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会 スポーツ庁 スポーツ庁 (株)GSIクレオス
72	大鶴直史	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表 科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表 科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表 科研費基盤研究 (A) 分担 科研費基盤研究 (B) 分担 科研費基盤研究 (B) 分担 科研費挑戦的研究 (開拓) 分担 科研費挑戦的研究 (開拓) 分担 科研費挑戦的研究 (萌芽) 分担 科研費挑戦的研究 (萌芽) 分担	日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会
73	大西秀明	理学療法	科研費基盤研究 (A) 代表 科研挑戦的研究 (開拓) 代表 厚生科研費	日本学術振興会 日本学術振興会 厚生労働省
74	甲斐千遥	診療放射線	科研費研究活動スタート支援代表 科研費研究活動スタート支援代表 科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会 日本学術振興会 日本学術振興会
75	笠井 聡	診療放射線	共同研究契約 共同研究契約	コニカミノルタ(株) トーイツ(株)

	研究者	所属学科	対象外部資金	資金獲得先
76	児玉直樹	診療放射線	国際共同研究加速基金代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
			共同研究契約	東和薬品(株)
77	佐近慎平	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			受託事業契約	弥彦村
78	佐藤郁美	看護	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
79	佐藤大輔	健康スポーツ	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 分担	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 分担	日本学術振興会
			寄附金	(株)新潟放送
			受託研究契約	一般社団法人海と日本プロジェクト in 実行委員会
80	佐藤裕紀	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
81	澤田純明	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費国際共同研究加速基金代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
			科研費学術変革領域研究 (A) 分担	日本学術振興会
82	芝田純也	理学療法	科研費若手研究代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A) 分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 分担	日本学術振興会
83	杉崎弘周	健康スポーツ	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 代表	日本学術振興会
84	須田裕紀	義肢装具自立支援	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			厚労科研費	厚生労働省
85	高田大輔	健康スポーツ	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
86	田口 徹	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			共同研究契約	小林製薬(株)
87	玉越敬悟	理学療法	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			民間研究助成金	日本理学療法学会連合
			民間研究助成金	公益財団法人 臨床研究奨励基金
88	椿 淳裕	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会
			共同研究契約	(株)ベネクス
89	中山憲司	臨床技術	科研費基盤研究 (C) 代表	日本学術振興会
			共同研究契約	(株)ジーエルサイエンス・京都大学
90	奈良貴史	理学療法	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			受託研究契約	新潟県埋蔵文化財調査団
			受託研究契約	新潟県埋蔵文化財調査団
			受託研究契約	群馬県埋蔵文化財調査事業団
			受託研究契約	群馬県埋蔵文化財調査事業団
			受託研究契約	群馬県埋蔵文化財調査事業団
			受託研究契約	逗子市教育委員会
			受託研究契約	東松山市教育委員会
91	西原康行	健康スポーツ	科研費基盤研究 (B) 代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 分担	日本学術振興会

	研究者	所属学科	対象外部資金	資金獲得先
92	能登真一	作業療法	科研費基盤研究（B）代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究（萌芽）代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究（A）分担	日本学術振興会
			科研費基盤研究（C）分担	日本学術振興会
			寄附金	クレコンメディカルアセスメント(株)
93	萩原康雄	理学療法	科研費若手研究代表	日本学術振興会
			科研費学術変革領域研究（A）分担	日本学術振興会
94	原口彩子	社会福祉	科研費基盤研究（C）代表	日本学術振興会
			民間研究助成金	公益財団法人古泉財団
95	八坂敏一	理学療法	科研費基盤研究（C）代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究（A）分担	日本学術振興会
96	山本裕二	心理準備室	科研費基盤研究（A）代表	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究（萌芽）代表	日本学術振興会
			科研費基盤研究（B）分担	日本学術振興会
97	横田裕丈	理学療法	科研費若手研究代表	日本学術振興会
			民間助成金	公益財団法人武田科学財団
98	渡邊敏文	社会福祉	受託事業契約	新潟市
			受託事業契約	新潟市北区
			受託事業契約	新潟市
			受託事業契約	新潟県
			受託事業契約	新潟県

14) 外部資金の獲得状況

(1) 文部科学省及び日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表

(円)

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
1	2019	2023	基盤研究 (A)	大西秀明	知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー	44,200,000
2	2020	2023	基盤研究 (A)	山本裕二	対人運動技能の制御・学習則の解明	45,370,000
3	2020	2023	基盤研究 (B)	澤田純明	日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する	17,550,000
4	2020	2023	基盤研究 (B)	奈良貴史	長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討	17,550,000
5	2020	2023	基盤研究 (B)	佐宗亜衣子	縄文家族論の新展開：廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明	17,810,000
6	2020	2023	基盤研究 (B)	椿 淳裕	酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証	17,940,000
7	2020	2023	基盤研究 (C)	宇田優子	外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発ー神経難病患者対象ー	3,770,000
8	2020	2023	基盤研究 (C)	内山 信	難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討	3,900,000
9	2020	2023	基盤研究 (C)	佐藤敏郎	運動競技選手の浮き趾を含む足裏形態、履物、関節痛との関係	4,160,000
10	2020	2023	挑戦的 研究 (開拓)	大西秀明	小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化	25,740,000
11	2020	2024	国際共同 研究加速 基金（国 際共同研 究強化 (B)）	澤田純明	東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明	18,850,000
12	2020	2023	若手研究	田村俊暁	時間的・空間的音響解析法を用いた日本語話者に適した発話評価課題の開発	4,030,000
13	2020	2023	若手研究	松浦由生子	競泳選手の肩関節障害の発生要因の解明	4,160,000
14	2020	2024	国際共同 研究加速 基金（国 際共同研 究強化 (B)）	澤田純明	東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明	18,850,000
15	2021	2023	基盤研究 (B)	村田憲章	弱視発見率の向上に関する研究：視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生	13,520,000
16	2021	2024	基盤研究 (B)	能登真一	健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究	16,640,000
17	2021	2024	基盤研究 (B)	小島 翔	触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開	17,030,000
18	2021	2024	基盤研究 (B)	佐藤大輔	皮質ー基底核ループの抑制機能を高め、技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発	17,680,000
19	2021	2023	基盤研究 (C)	丸田秋男	地域福祉計画は福祉分野の上位計画として機能するかー政令指定都市の検証からー	1,430,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
20	2021	2025	基盤研究 (C)	山崎貴子	給食施設での栄養評価のためのデータ構築：調理による成分変化と成分表計算値との比較	4,290,000
21	2021	2023	基盤研究 (C)	杵渕洋美	子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用	4,160,000
22	2021	2025	基盤研究 (C)	荒川大靖	地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究	3,900,000
23	2021	2023	基盤研究 (C)	石井雅子	子どもの視力低下のメカニズムを解明－近視抑制法の探索－研究課題	4,030,000
24	2021	2023	基盤研究 (C)	佐近慎平	幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発	3,900,000
25	2021	2023	基盤研究 (C)	安達哲浩	VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の製作研究課題	4,160,000
26	2021	2023	基盤研究 (C)	原口彩子	「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討	2,990,000
27	2021	2023	基盤研究 (C)	川村宏樹	多発性骨髄腫患者にて分子標的薬ダラツムマブによる輸血検査偽陽性の新規回避法の確立	4,160,000
28	2021	2023	基盤研究 (C)	八坂敏一	痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄後角モジュールの同定	4,160,000
29	2021	2023	基盤研究 (C)	鈴木健司	COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明	4,160,000
30	2021	2023	基盤研究 (C)	佐藤郁美	出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証	4,030,000
31	2021	2024	基盤研究 (C)	大石如香	認知症早期診断のための質感認知障害と物体認知障害の関係性および神経基盤の解明	4,160,000
32	2021	2023	基盤研究 (C)	宮口翔太	マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案	4,160,000
33	2021	2023	基盤研究 (C)	久保雅義	扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明	4,160,000
34	2021	2023	基盤研究 (C)	増田紘之	代謝伝達物質としての乳酸から見えてきた、活動筋－交感神経フィードバック神経回路	4,160,000
35	2021	2024	基盤研究 (C)	永井 徹	サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究	4,160,000
36	2021	2024	基盤研究 (C)	前田 雄	3Dプリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究	4,030,000
37	2021	2024	基盤研究 (C)	郷 貴博	下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立	3,640,000
38	2021	2023	基盤研究 (C)	今西里佳	地域在住高齢者の排泄改善プログラムの効果検証－介護予防・転倒予防を目指して－	4,160,000
39	2021	2023	基盤研究 (C)	斎藤 憲	PLOD2-インテグリン水酸化反応に基づく癌転移抑制デコイペプチドの開発	4,030,000
40	2021	2023	基盤研究 (C)	久保亜抄子	神経障害後の細胞環境依存的な衛星細胞の機能変化と三叉神経の興奮性変調機構の解明	4,160,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
41	2021	2023	挑戦的研究 (萌芽)	杉崎弘周	ストレス対処の技能に関する教育プログラムの開発と評価	6,370,000
42	2021	2023	挑戦的研究 (萌芽)	能登真一	AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発	6,370,000
43	2021	2024	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））	児玉直樹	感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価	19,110,000
44	2021	2024	若手研究	伊藤さゆり	本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の開発	4,680,000
45	2021	2024	若手研究	谷賢太郎	六点入力方式を利用したモバイル端末向け新型入力装置の開発	4,550,000
46	2021	2023	若手研究	佐々木一真	透析患者のシャント音を用いたバスキュラーアクセス機能評価に関する研究	4,680,000
47	2021	2024	若手研究	渡邊洋子	特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究	2,730,000
48	2021	2023	若手研究	北谷亮輔	視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案	4,680,000
49	2021	2024	若手研究	芝田純也	シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用	4,680,000
50	2021	2023	若手研究	高橋里奈	肘関節術後患者の関節可動域を早期に改善する筋電図バイオフィードバック療法の開発	4,420,000
51	2021	2024	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））	児玉直樹	感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価	19,110,000
52	2022	2024	基盤研究（B）	杉崎弘周	がん教育の発展に関する実証的研究	16,510,000
53	2022	2024	基盤研究（B）	田口 徹	ストレス誘発性疼痛の中枢機構解明と理学療法効果の実証	17,420,000
54	2022	2025	基盤研究（B）	大鶴直史	慢性疼痛における治療非反応性の神経基盤解明による治療効果向上戦略	17,160,000
55	2022	2025	基盤研究（B）	山代幸哉	脳内情報を基にした慢性疼痛アスリートの評価法と対処法の創出	15,600,000
56	2022	2026	基盤研究（B）	山崎由美子	腸内細菌叢を介した社会行動調整技術の開発	16,770,000
57	2022	2024	基盤研究（C）	今井理恵	英語授業を改善する4技能5領域でのジャンル正対課題と教授・学習サイクルの開発	4,160,000
58	2022	2025	基盤研究（C）	佐伯史子	解剖学的方法に基づく日本列島の各時代人類集団の正確な身長推定	3,770,000
59	2022	2024	基盤研究（C）	寺田貴美代	外国人DV被害者とその子どもへの支援における国際連携プラットフォームの構築	4,290,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
60	2022	2024	基盤研究 (C)	鈴木一恵	地域在住の自立高齢者の低栄養の実態 と関連要因～食意識・食行動に着目し て～	4,160,000
61	2022	2025	基盤研究 (C)	多々良俊哉	視線解析法を用いた客観的眼位検査の 開発および小児を対象とした健康診査 への応用	4,160,000
62	2022	2025	基盤研究 (C)	高田大輔	体育科における子供の問題発見・解決 能力、言語能力を育む指導方法の検討	4,160,000
63	2022	2024	基盤研究 (C)	石本 豪	自閉スペクトラム症の大学生に対する 就労支援に関する仮説理論モデルの生 成	1,040,000
64	2022	2024	基盤研究 (C)	栞原 桂	両側人工内耳装用乳幼児の言語発達を 伸ばす取り組み—LENA システムの活 用	3,900,000
65	2022	2024	基盤研究 (C)	塚本康子	高齢がんサバイバーがより安全に安心 して生活するためのリソース・モデル の開発	2,080,000
66	2022	2024	基盤研究 (C)	瀧口 徹	公衆衛生施策（ワクチン、水道水フッ 素化等）に関するヘルスリテラシーの 国家間の違い	4,160,000
67	2022	2024	基盤研究 (C)	岩崎 隆	Apple Watch用胸骨圧迫フィードバック アプリの開発とその効果の検証	3,900,000
68	2022	2024	基盤研究 (C)	渡邊千春	外来薬物療法を受けるがん患者のニー ズに即した電話相談アルゴリズムの開 発	2,860,000
69	2022	2024	基盤研究 (C)	和田直子	子育て期の女性の就業意欲低下を防ぐ 支援方策の開発—子育てと仕事の両立 実現のために	1,950,000
70	2022	2024	基盤研究 (C)	高橋英明	SPring-8を利用したアキレス腱付着部 の3次元構造変化とその力学的特性の 解明	4,160,000
71	2022	2024	基盤研究 (C)	平林 怜	脳刺激と末梢刺激の融合による相反性 抑制増強法の開発	4,290,000
72	2022	2024	基盤研究 (C)	菊元孝則	大規模調査による慢性足関節不安定症 のタイプ分類と再発リスク因子の解明	4,160,000
73	2022	2024	基盤研究 (C)	山本智章	触圧覚刺激による一次運動野興奮性変 動の神経基盤の解明	4,160,000
74	2022	2024	基盤研究 (C)	佐藤晶子	体内チアミン量の短期的な減少がグリ コーゲンローディングに及ぼす影響	2,470,000
75	2022	2025	基盤研究 (C)	山本悦史	プロスポーツにおけるCSV経営の普及 に向けた包括的研究	4,160,000
76	2022	2024	基盤研究 (C)	越中敬一	一過性の身体運動による骨格筋インス リン作用の亢進における水分子動態の 関与	3,900,000
77	2022	2024	基盤研究 (C)	森下義隆	子どもの打撃動作の定量化と運動発達 を考慮した質的評価テストの開発	3,900,000
78	2022	2024	基盤研究 (C)	柴田篤志	児童期での助走を用いた片脚跳躍にお ける踏切能力の発達過程の解明	4,160,000
79	2022	2026	基盤研究 (C)	川上心也	個体のエネルギー摂取不足は卵子の発 育に影響するのか？	4,030,000
80	2022	2024	基盤研究 (C)	東江由起夫	3Dスキャナ・3Dプリンタを導入した 脳卒中片麻痺者の短下肢装具の実用化 研究	4,160,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
81	2022	2024	挑戦的 研究 (萌芽)	大鶴直史	不安定状態の脳内ネットワーク操作による恐怖記憶消去への挑戦	6,240,000
82	2022	2024	挑戦的 研究 (萌芽)	江玉睦明	筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発	6,370,000
83	2022	2024	挑戦的 研究 (萌芽)	山本裕二	行動解析と数理モデルによる城門防御機能の定量的評価：スポーツ科学からの挑戦	6,370,000
84	2022	2025	若手研究	萩原康雄	骨形態から読み解く狩猟採集から農耕への生業転換に伴う日本列島集団の行動様式の変化	4,550,000
85	2022	2025	若手研究	井上達朗	母指球筋を用いた新たな筋量指標の開発と疾患予後を予測する指標への応用	4,680,000
86	2022	2024	若手研究	池上 諒	温熱刺激が骨格筋の糖取り込みを促進する新規機構の解明と高血糖治療への応用	4,680,000
87	2022	2023	若手研究	田宮 創	長時間座位がもたらす腎動脈の血流変動とその機序の解明	4,550,000
88	2022	2024	若手研究	越智元太	運動による認知疲労の発生機序：キヌレニン代謝仮説の検証	4,680,000
89	2022	2024	若手研究	針谷美智子	ICT機器を活用した鉄棒運動の学習指導プログラムの構築：逆上がりに着目して	4,680,000
90	2022	2023	研究活動 スタート 支援	甲斐千遥	マンモグラムを用いた乳がんの成長予測による検診の受診勧奨および早期発見の実現	2,860,000
91	2023	2026	基盤研究 (B)	松浦由生子	月経随伴症状としての腰痛の発生メカニズム解明と対処法の開発	18,590,000
92	2023	2026	基盤研究 (B)	江玉睦明	アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発	18,980,000
93	2023	2026	基盤研究 (B)	長坂和明	脳卒中後疼痛の発症を予測する神経活動バイオマーカーの確立と新たな治療戦略の創出	18,720,000
94	2023	2025	基盤研究 (C)	仙波妙子	高濃度粒子分散ペーストのレオロジー特性予測のための粒子一分散媒親和性の影響の調査	4,680,000
95	2023	2025	基盤研究 (C)	中山憲司	MALDI-TOF/MSを用いた毛髪脂質の高感度一斉解析法と長期精神疲労評価法への応用	4,680,000
96	2023	2025	基盤研究 (C)	大松健太郎	AR技術による子どもの心停止への対応のための緊急通報・救急対応訓練プログラムの開発	4,550,000
97	2023	2025	基盤研究 (C)	鷺見和幸	脳機能画像解析を用いたゲーム障害の特異的な病態解明	4,420,000
98	2023	2025	基盤研究 (C)	増田 修	変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚への能動性の寄与の脳神経機序の解明	4,680,000
99	2023	2025	基盤研究 (C)	甲斐千遥	繰り返し受診マンモグラムを用いたがんの予兆予測AIの開発	4,680,000
100	2023	2025	基盤研究 (C)	鶴瀬亮一	VR技術とアイトラッキングシステムを用いた熟達野球投手コーチの「わざ」の顕在化	4,810,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
101	2023	2026	基盤研究 (C)	吉田重和	教員の職能成長を支えるメンタリング の国際比較－指導者（メンター）に着 目して	4,680,000
102	2023	2026	基盤研究 (C)	中島郁子	競技特性によるアスリートの行動抑制 機能の違いと育成過程の変化	4,810,000
103	2023	2025	基盤研究 (C)	塙 晴雄	女子アスリートの鉄欠乏、貧血に対す る新たな診断法の検証とメカニズムの 究明	4,420,000
104	2023	2025	基盤研究 (C)	西原康行	体育教師の自覚的な課題解決方略を高 めるシステムの開発	4,680,000
105	2023	2027	基盤研究 (C)	星野美美	小学生のやせ願望・やせ行動の要因解 明と教育プログラムの構築	4,550,000
106	2023	2025	基盤研究 (C)	馬場康博	内受容感覚を効果的に高める浸水条件 の確立とメカニズムの解明	4,550,000
107	2023	2026	基盤研究 (C)	佐藤裕紀	フォルケホイスコーレの受容と生涯学 習政策の実証的考察：日韓比較を通じ て	4,680,000
108	2023	2026	基盤研究 (C)	岩森 大	レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥 下機能への刺激効果の解明	4,810,000
109	2023	2025	基盤研究 (C)	高林知也	MRI情報を用いた筋骨格有限要素モデ ルによる扁平足のタイプ別での骨・軟 部組織負荷	4,680,000
110	2023	2025	基盤研究 (C)	太田大樹	遅発性筋痛の筋膜における発現変動因 子の同定と機械痛覚過敏への関与解明	4,810,000
111	2023	2026	基盤研究 (C)	阿部 薫	足のねじれ変形の法則性を考慮したハ イヒール靴の基本設計に関する生活支 援技術の確立	4,550,000
112	2023	2025	基盤研究 (C)	須田裕紀	義足ソケットの力学的・解剖学的特徴 の解明	4,810,000
113	2023	2025	基盤研究 (C)	犬飼康人	動的バランス機能を向上させるニュー ロモデュレーション技術の開発	4,810,000
114	2023	2025	基盤研究 (C)	園純一郎	ハンセン病末梢神経障害の診断と神経 筋再生治療法の開発に関する研究	4,680,000
115	2023	2025	基盤研究 (C)	玉越敬悟	脳卒中超早期リハビリテーションの運 動開始時点を決める生理学的パラメー タの開発	4,680,000
116	2023	2026	基盤研究 (C)	相馬俊雄	脳卒中片麻痺者における歩行支援ロ ボットの立脚支持と遊脚誘導機構の解 明	4,680,000
117	2023	2025	基盤研究 (C)	能村友紀	経頭蓋交流電気刺激による大脳皮質活 動の変調が宣言的記憶学習の促進に及 ぼす影響	4,680,000
118	2023	2025	基盤研究 (C)	佐藤未希	女性大腿切断者の月経周期における断 端周径変化量の解明と要因分析	4,550,000
119	2023	2025	基盤研究 (C)	齊藤 慧	知覚学習効果を向上させる新たな介入 戦略の創出	4,810,000
120	2023	2025	基盤研究 (C)	徳永亮太	慢性腰痛による下行性疼痛制御系の変 調機構と運動療法の効果	4,680,000
121	2023	2027	基盤研究 (C)	大湊 麗	二段階口蓋形成手術法における硬口蓋 閉鎖時期の検討：鼻腔共鳴の定量評価 の確立	4,550,000
122	2023	2026	基盤研究 (C)	土田千歳	意図しない妊娠を避けるためのポジ ティブ・デビアンسを用いた教育プロ グラムの開発	4,810,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
123	2023	2026	基盤研究 (C)	金子聡一郎	市中施術所および医療機関における COVID-19後遺症の特徴の抽出と鍼灸 治療の効果の検討	3,640,000
124	2023	2025	挑戦的 研究 (萌芽)	澤田純明	縄文時代人は何歳まで生きたのか？高 分解能CTを用いた骨組織学的年齢推定 法の開拓	6,240,000
125	2023	2025	挑戦的 研究 (萌芽)	村田憲章	我が国における乳幼児保有視力分布の 現代的再構築：パイロットスタディ	6,240,000
126	2023	2024	若手研究	涌井杏奈	使用済みマスクおよびスマートフォン 画面に付着・生息する微生物のプロ ファイリング	4,680,000
127	2023	2026	若手研究	大野 健	病理遺伝子診断時代の神経膠腫のため のMR画像バイオマーカーの開発と検 証	4,550,000
128	2023	2024	若手研究	三瀬貴生	成長期競技選手における肩甲骨周囲筋 群の機能不全が発生する要因の解明	4,680,000
129	2023	2026	若手研究	藤本知臣	運動時低体温症の解決を目指した体温 調節メカニズムの解明－皮膚血管収縮 に着目して－	4,680,000
130	2023	2024	若手研究	関根千恵	仙腸関節障害の発生に関わる仙腸関節 の挙動と形態の解明	4,680,000
131	2023	2025	若手研究	村山 稔	脳卒中片麻痺患者の歩行練習に使用す る膝関節伸展補助具の効果－多施設研 究－	4,680,000
132	2023	2024	若手研究	横田裕丈	脳刺激と迷走神経刺激の融合による効 果的な筋発揮効率の改善手法の開発	4,680,000
133	2023	2024	若手研究	石垣智恒	腱の温度上昇に起因した腱エネルギー 代謝機構の変化とその腱恒常性への影 響	4,680,000
134	2023	2024	研究活動 スタート 支援	菅原大志	農山村におけるスポーツ受容の機制に 関する社会学的研究	2,860,000
135	2023	2024	研究活動 スタート 支援	岩野千尋	在宅移行支援における訪問看護師のコ ンピテンシーの解明	1,170,000
136	2023	2024	研究活動 スタート 支援	五十嵐小雪	月経周期による摂食行動異常の原因解 明と記憶の想起抑制を用いた新たな対 処法の開発	2,860,000
137	2023	2024	研究活動 スタート 支援	五十嵐眸実	脳磁場計測を用いたtACSによる鎮痛 効果の事前予測技術の開発	2,860,000
138	2023	2026	国際共同 研究加速 基金（海 外連携研 究）	江玉睦明	腱障害の病態解明と病態別治療プログ ラムの確立	21,060,000

(2) 厚生労働省科学研究費補助金 採択一覧表
該当なし

(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧

令和5年度

(金額単位：千円)

	大 学 名	件数	直接費	間接費	合計
1	新潟大学	755	1,272,100	381,630	1,653,730
2	新潟医療福祉大学	137	215,000	64,500	279,500
3	長岡技術科学大学	127	309,400	92,820	402,220
4	上越教育大学	55	57,000	17,100	74,100
5	新潟県立大学	21	19,500	5,850	25,350
6	新潟薬科大学	17	21,900	6,570	28,470
7	新潟工科大学	16	19,200	5,760	24,960
8	新潟県立看護大学	16	15,700	4,710	20,410
9	新潟国際情報大学	10	8,600	2,580	11,180
10	新潟青陵大学	10	8,100	2,430	10,530
11	国際大学	8	8,000	2,400	10,400
12	新潟食料農業大学	6	14,900	4,470	19,370
13	開志専門職大学	4	4,200	1,260	5,460
14	新潟リハビリテーション大学	4	3,300	990	4,290
15	敬和学園大学	3	1,900	570	2,470
16	長岡造形大学	3	1,700	510	2,210
17	日本歯科大学新潟短期大学	2	2,100	630	2,730
18	新潟産業大学	2	1,500	450	1,950
19	長岡崇徳大学	2	1,100	330	1,430
20	事業創造大学院大学	1	1,800	540	2,340
21	長岡大学	1	1,300	390	1,690
22	新潟経営大学	1	500	150	650
23	明倫短期大学	1	500	150	650

15) 新潟医療福祉学会

・会員数と構成（2024年3月31日現在）

会員数 362名

・学会誌の発行（和文誌・英文誌）

2023年10月 新潟医療福祉学会誌・和文誌第23巻第1号（第23回新潟医療福祉学会学術集会特集）

2023年11月 新潟医療福祉学会誌（和文誌）第23巻第2号

Niigata Journal of Health and Welfare（英文誌）第23巻第1号

2024年3月 新潟医療福祉学会誌（和文誌）第23巻第3号

Niigata Journal of Health and Welfare（英文誌）第23巻第2号

・学術集会の開催

第23回新潟医療福祉学会学術集会

開催日：2023年10月28日（土）

開催方式：対面

大会長：新潟医療福祉大学 医療技術学部 放射線学科・学科長 児玉 直樹教授

概要：主要テーマ「多職種協働による産学連携と地域連携」として、特別講演およびシンポジウム等の研究発表が行われた。

・評議委員会、総会の開催

評議委員会 開催日：2023年6月28日（水）

会場：Teamsによるオンライン会議

総会 開催日：2023年10月28日（土）

会場：Q棟201講義室にて対面開催

8. 図書館

- 1) 蔵書数※1 148,553点
- 2) 年間受入数※1 4,775点
- 3) 利用状況
 - (1) 開館日数 304日
 - (2) 開館時間 3,237時間
 - (3) 入館者数 108,603人
 - (4) 貸出冊数 17,115冊
- 4) データ推移
 - (1) 蔵書データ

	図書			電子 ブック ※2	視聴覚 資料	雑誌			電子 ジャーナル※3	
	蔵書数	和 書	洋 書			種 数	和雑誌	洋雑誌	種数	うち 国外
2017年度	117,595	104,803	10,251	—	2,541	1,422	1,157	265	7,191	5,883
2018年度	121,749	111,132	10,617	—	2,593	1,435	1,168	267	8,518	7,068
2019年度	129,137	118,292	10,845	—	2,753	1,448	1,181	267	8,536	7,086
2020年度	131,610	120,557	11,053	690	2,879	1,459	1,192	267	8,732	7,163
2021年度	136,802	125,622	11,180	923	2,972	1,472	1,205	267	7,397	6,122
2022年度	141,234	129,509	11,725	1,136	3,295	1,499	1,231	268	7,759	6,138
2023年度	145,209	133,254	11,955	1,320	3,344	1,520	1,250	270	7,578	5,869

(2) 利用データ

	開館日数	入館者数	貸出冊数	複写依頼	複写受付	学外者 ※4
	日	人	冊	件	件	人
2017年度	310	255,396	39,006	1,099	1,343	756
2018年度	306	268,078	42,879	1,088	1,207	1,124
2019年度	305	247,326	41,330	922	974	1,054
2020年度	234	47,357	13,950	671	613	60
2021年度	295	81,302	19,344	764	841	132
2022年度	299	90,422	19,949	609	658	359
2023年度	304	108,603	17,115	460	557	527

※1 視聴覚資料数含む

※2 法人契約買い切り電子ブック点数
(2020年度より集計)

※3 購読契約電子ジャーナル種数

※4 一般学外者の入館者数

9. 学生関係

1) 収容定員

(1) 学部

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	—	480名
	作業療法学科	50名	—	200名
	言語聴覚学科	40名	—	160名
	義肢装具自立支援学科	40名	—	160名
	鍼灸健康学科	40名	—	80名
医療技術学部	臨床技術学科	100名	—	400名
	視機能科学科	50名	—	200名
	救急救命学科	55名	—	220名
	診療放射線学科	90名	—	360名
健康科学部	健康栄養学科	40名	—	160名
	健康スポーツ学科	250名	5名	960名
看護学部	看護学科	107名	3名	434名
心理・福祉学部	社会福祉学科	120名	5名	490名
	心理健康学科	80名	—	80名
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	5名	330名
合 計		1,262名	18名	4,714名

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	収容定員
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	30名	51名
			作業療法学分野		
			言語聴覚学分野		
			義肢装具自立支援学分野		
			医療技術安全管理学分野		
			視覚科学分野		
			救急救命学分野		
		健康科学専攻	健康栄養学分野	16名	26名
			健康スポーツ学分野		
			看護学分野		
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	10名
			保健医療福祉マネジメント学分野		
		医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	8名
	博士後期課程	医療福祉学専攻	—	20名	40名
合 計				75名	135名

2023年度収容定員

2) 入試広報活動

(1) 学部

オープンキャンパスの開催

期日	内容	
4月29日(土)～5月7日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 412名参加
6月3日(土)～11日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 587名参加
6月4日(日)	来場型オープンキャンパス	高校生・受験生 770名参加
6月23日(金)	高校教諭対象来場型説明会	高等学校教諭 27校29名参加
6月12日(月)～7月31日(月)	高校教諭対象WEB説明会	高等学校教諭 55校64名参加
7月8日(土)～17日(月)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 567名参加
7月9日(日)	来場型オープンキャンパス	高校生・受験生 917名参加
8月5日(土)～13日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 830名参加
8月5日(土)・6日(日)	来場型オープンキャンパス	高校生・受験生 1,936名参加
9月1日(金)～18日(月)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 677名参加
10月7日(土)～15日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 406名参加
10月8日(日)	来場型オープンキャンパス	高校生・受験生 402名参加
10月28日(土)～11月12日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 540名参加
11月25日(土)～12月10日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 373名参加
1月1日(月)～21日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 525名参加
2月24日(土)～3月3日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 173名参加
3月16日(土)～4月7日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・受験生 236名参加
3月24日(日)	来場型オープンキャンパス	高校生・受験生 433名参加

(2) 大学院

①大学院説明会等の開催

期日	内容	
4月24日(月)	大学院説明会「教えて！大学院①」	学部生，大学院生 84名参加
5月22日(月)	大学院説明会「教えて！大学院②」	在学生，社会人等 127名参加
6月26日(月)	大学院説明会「教えて！大学院③」	学部生，大学院生 75名参加
7月24日(月)	大学院説明会「教えて！大学院④」	学部生，大学院生 27名参加
7月30日(日)	大学院夏のオープン・キャンパス	在学生，社会人等 36名参加
8月18日(金)	大学院説明会「教えて！大学院⑤」	在学生，社会人等 18名参加
8月29日(火)	大学院説明会「教えて！大学院⑥」	在学生，社会人等 5名参加
9月9日(土)	大学院秋のオープン・キャンパス	在学生，社会人等 11名参加
9月25日(月)	大学院説明会「教えて！大学院⑦」	学部生 18名参加
10月23日(月)	大学院説明会「教えて！大学院⑧」	学部生，大学院生 9名参加
11月11日(土)	大学院冬のオープン・キャンパス	在学生，社会人等 6名参加
11月27日(月)	大学院説明会「教えて！大学院⑨」	在学生，社会人等 24名参加
12月25日(月)	大学院説明会「教えて！大学院⑩」	学部生 2名参加
1月22日(月)	大学院説明会「教えて！大学院⑪」	在学生，社会人等 10名参加
2月26日(月)	大学院説明会「教えて！大学院⑫」	在学生，社会人等 17名参加
3月30日(日)	大学院春のオープン・キャンパス	在学生，社会人等 7名参加

②大学院説明会 在学生向け大学院説明（教えて！大学院）や一般向け大学院説明会（オープン・キャンパス）をオンラインで開催（3月30日のみ対面）し，大学院進学の魅力や修士課程学費減免特待生制度等について紹介を行った。その他，学科からの要望に応じ，随時個別に大学院概要の説明等を行った。

③学会誌等への広告掲載，ホームページ・SNS等の活用，各種学会誌，各種団体等の会報誌・ホームページへの大学院広告ならびにバナー広告の掲載を行った。また，新潟医療福祉大学大学院ホームページ，X（Twitter）で，大学院イベント情報，入試情報等の周知を行った。

3) 入学者選抜方法

(1) 学部

学部	学科	入学定員	選抜区分別募集人員															
			総合型選抜							学校推薦型選抜				社会人等特別選抜	大学入学共通テスト利用選抜		一般選抜	
			A方式 [主体性重視型]	B方式 [基礎教養重視型]	C方式 [スポーツ重視型]		D方式 [基礎学力重視型]	[面接試験重視型]		公募制		指定校制	前期日程		後期日程	前期日程	後期日程	
					前期日程	後期日程		前期日程	後期日程	前期日程	後期日程							前期日程
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	12名	6名	若干名	—	18名	—	—	10名	—	14名	若干名	9名	3名	37名	8名	
	作業療法学科	50名	5名	3名	若干名	—	6名	—	—	4名	—	9名	若干名	4名	—	15名	2名	
	言語聴覚学科	40名	7名	2名	—	—	2名	—	—	2名	—	10名	若干名	2名	2名	10名	2名	
	義肢装具自立支援学科	40名	8名	2名	若干名	—	2名	—	—	4名	2名	4名	若干名	3名	2名	9名	2名	
	鍼灸健康学科	40名	8名	2名	若干名	—	2名	—	—	3名	2名	7名	若干名	2名	2名	8名	2名	
医療技術学部	臨床技術学科	100名	10名	3名	—	—	9名	—	—	6名	—	11名	若干名	8名	2名	45名	4名	
	視機能科学科	50名	10名	2名	若干名	—	4名	—	—	5名	2名	9名	若干名	2名	2名	10名	2名	
	救急救命学科	55名	9名	2名	若干名	—	7名	—	—	5名	—	8名	若干名	3名	2名	15名	2名	
	診療放射線学科	90名	10名	2名	—	—	9名	—	—	6名	—	10名	若干名	6名	2名	41名	2名	
健康科学部	健康栄養学科	40名	5名	3名	—	—	5名	—	—	6名	—	6名	若干名	2名	—	10名	2名	
	健康スポーツ学科	250名	40名	15名	75名	10名	5名	—	—	10名	—	25名	若干名	20名	3名	40名	5名	
看護学部	看護学科	107名	14名	8名	—	—	8名	—	—	13名	—	12名	若干名	4名	2名	41名	3名	
心理・福祉学部	社会福祉学科	120名	22名	7名	若干名	—	3名	—	—	8名	2名	30名	若干名	7名	2名	33名	3名	
	心理健康学科	80名	—	—	若干名	—	12名	2名	2名	12名	2名	15名	若干名	8名	2名	20名	2名	
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	12名	4名	若干名	—	2名	—	—	5名	2名	20名	若干名	8名	2名	20名	2名	
合 計		1,262名	172名	61名	75名	10名	94名	2名	2名	99名	12名	190名	若干名	88名	28名	354名	43名	

健康スポーツ学科・看護学科・社会福祉学科・医療情報管理学科では、上記に加え3年次編入学選抜を実施。

3年次編入学定員／健康スポーツ学科；5名 看護学科；3名 社会福祉学科；5名 医療情報管理学科；5名

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	試験区分別募集人員			
					一般	国際貢献活動経験者等	外国人留学生	学内推薦*
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	30名	30名			
			作業療法学分野					
			言語聴覚学分野					
			義肢装具自立支援学分野					
			医療技術安全管理学分野					
			視覚科学分野					
			救急救命学分野					
			放射線情報学分野					
		健康科学専攻	健康栄養学分野	16名	16名			
			健康スポーツ学分野					
			看護学分野					
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	5名			
			保健医療福祉マネジメント学分野					
		医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	4名			
	博士後期課程	医療福祉学専攻	—	20名	20名			
合 計				75名	75名			

*学内推薦は修士課程のみ

4) 入学者選抜試験結果

(1) 学部

① 1年次入学者選抜試験結果

学部	学科	入学 定員	志願 者数	志願 倍率	受験 者数	合格者数 (第1志願)	合格者数 (第2志願)	実質 倍率	入学 者数
リハビリテーション学部	理学療法学科	120	443	3.7	407	295	—	1.4	137
	作業療法学科	50	73	1.5	67	67	25	0.7	29
	言語聴覚学科	40	90	2.3	81	75	2	1.1	43
	義肢装具 自立支援学科	40	50	1.3	48	48	3	0.9	27
	鍼灸健康学科	40	70	1.8	67	66	4	1.0	45
医療技術学部	臨床技術学科	100	342	3.4	296	280	—	1.1	94
	視機能科学科	50	68	1.4	61	60	10	0.9	39
	救急救命学科	55	150	2.7	136	96	2	1.4	63
	診療放射線学科	90	533	5.9	475	209	—	2.3	100
健康科学部	健康栄養学科	40	187	4.7	157	71	0	2.2	44
	健康スポーツ学科	250	476	1.9	444	361	9	1.2	266
看護学部	看護学科	107	499	4.7	424	378	—	1.1	125
心理・福祉学部	社会福祉学科	120	184	1.5	162	162	8	1.0	71
	心理健康学科	80	200	2.5	175	171	5	1.0	80
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80	150	1.9	136	133	18	0.9	73
合 計		1,262	3,515	3.0	3,136	2,472	86	1.2	1,236

(注1) 合格者数は、正規合格者数を表記(繰上合格者は含まない)。

(注2) 実質倍率は、受験者数÷合格者数(第1志願)で算出。

② 3年次編入学者選抜試験結果

学部	学科	入学 定員	志願 者数	志願 倍率	受験 者数	合格 者数	実質 倍率	入学 者数
健康科学部	健康スポーツ学科	5	0	0.0	0	0	0.0	0
看護学部	看護学科	3	0	0.0	0	0	0.0	0
心理・福祉学部	社会福祉学科	5	1	0.2	1	1	1.0	1
医療経営管理学部	医療情報管理学科	5	0	0.0	0	0	0.0	0
合 計		18	1	0.1	1	1	1.0	1

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学 定員	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	30	25	25	25	25
			作業療法学分野		3	3	3	3
			言語聴覚学分野		3	3	3	2
			義肢装具自立支援学分野		0	0	0	0
			医療技術安全管理学分野		1	1	1	1
			視覚科学分野		1	1	1	1
			救急救命学分野		0	0	0	0
			放射線情報学分野		7	7	7	7
			自然人類学分野		1	1	1	1
		健康科学専攻	健康栄養学分野	16	2	2	2	2
			健康スポーツ学分野		14	14	14	14
			看護学分野		2	2	2	2
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5	2	2	2	2
			保健医療福祉マネジメント学分野		1	1	1	1
		医療情報・ 経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4	3	3	3	3
		修士課程小計		55	65	65	65	65
	博士後期 課程	医療福祉学専攻	—	20	22	22	22	22
合 計				75	87	87	87	86

5) 在籍学生数 (2024年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
リハビリテーション学部	理学療法学科	141	128	128	124	521
	作業療法学科	43	49	43	46	181
	言語聴覚学科	26	40	38	41	145
	義肢装具自立支援学科	33	43	37	44	157
	鍼灸健康学科	22				22
医療技術学部	臨床技術学科	105	100	99	97	401
	視機能科学科	34	50	47	47	178
	救急救命学科	59	58	52	50	219
	診療放射線学科	100	88	91	96	375
健康科学部	健康栄養学科	43	43	38	41	165
	健康スポーツ学科	286	251	248	210	995
看護学部	看護学科	98	125	108	101	432
社会福祉学部	社会福祉学科	88	123	112	124	447
医療経営管理学部	医療情報管理学科	92	96	89	88	365
合計		1,170	1,194	1,130	1,109	4,603

(2) 大学院

①修士課程

(人)

専攻	分野	1年生	2年生	合計
保健学専攻	理学療法学分野	21	16	37
	作業療法学分野	1	3	4
	言語聴覚学分野	1	0	1
	義肢装具自立支援学分野	5	3	8
	医療技術安全管理学分野	2	1	3
	視覚科学分野	1	3	4
	救急救命学分野	0	2	2
	放射線情報学分野	8	4	12
	自然人類学分野	1	0	1
健康科学専攻	健康栄養学分野	5	5	10
	健康スポーツ学分野	6	11	17
	看護学分野	1	4	5
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	2	0	2
	保健医療福祉マネジメント学分野	1	1	2
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4	3	7
合計		59	56	115

②博士後期課程

専攻	1年生	2年生	3年生	合計
医療福祉学専攻	29	15	15	59

6) 異動学生数 (2024年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	学年	休学者	退学者	転学科 (転入)	転学科 (転出)	除籍者	復学者
リハビリテー ション学部	理学療法学科	1年生	1	1		0	0	0
		2年生	1	2		0	0	0
		3年生	4	4		0	0	2
		4年生	2	3		0	0	7
	作業療法学科	1年生	0	3		0	0	0
		2年生	0	1		0	1	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	1
	言語聴覚学科	1年生	0	2		0	0	0
		2年生	0	1		2	0	0
		3年生	0	0		1	0	1
		4年生	1	2		1	0	1
	義肢装具自立支援 学科	1年生	0	3		0	0	0
		2年生	1	2		0	1	0
		3年生	0	3		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	鍼灸健康学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生						
		3年生						
		4年生						
医療技術学部	臨床技術学科	1年生	0	4		0	0	0
		2年生	2	1		0	0	1
		3年生	0	2		0	0	2
		4年生	0	0		1	0	2
	視機能科学科	1年生	0	2		0	0	0
		2年生	1	0		1	0	2
		3年生	0	1		1	0	0
		4年生	0	1		0	0	0
	救急救命学科	1年生	0	0		0	0	0
		2年生	0	2		0	0	0
		3年生	0	1		0	0	0
		4年生	0	1		0	0	1
	診療放射線学科	1年生	1	0		0	0	0
		2年生	1	2		1	0	0
		3年生	0	2		0	0	1
		4年生	1	2		1	0	6
健康科学部	健康栄養学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	0	0		1	0	0
		3年生	0	1		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	健康スポーツ学科	1年生	0	6	0	0	0	0
		2年生	0	3	0	0	0	0
		3年生	1	4	1	0	1	0
		4年生	0	8	0	0	0	2
看護学部	看護学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	0	1		0	0	0
		3年生	1	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
社会福祉学部	社会福祉学科	1年生	0	2	0	0	1	0
		2年生	0	0	0	0	0	0
		3年生	2	0	2	0	0	0
		4年生	0	0	0	0	0	0
医療経営管理 学部	医療情報管理学科	1年生	1	0	0	0	0	0
		2年生	0	1	1	0	0	0
		3年生	0	2	6	0	0	0
		4年生	0	1	0	0	0	0
合計			21	80	10	10	4	29

(2) 大学院

①修士課程

(人)

専攻	分野	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
保健学専攻	理学療法学分野	1年生	0	1	0	0
		2年生	1	3	0	0
	作業療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	言語聴覚学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	義肢装具自立支援学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	1	0	0	0
	医療技術安全管理分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	視覚科学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	救急救命学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	放射線情報学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	自然人類学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生				
健康科学専攻	健康栄養学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	健康スポーツ学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	1	0	2
	看護学分野	1年生	0	1	0	0
		2年生	1	0	0	0
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	保健医療福祉マネジメント学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
合計			3	5	0	0

②博士後期課程

(人)

専攻	学年	休学者	退学者	満期退学者	除籍者	復学者
医療福祉学専攻	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	0	1	0	0	0
	3年生	0	3	0	1	0
合計		0	4	0	1	0

7) 学生生活

(1) 学生生活に関する指導

学生委員会、交通安全委員会を中心に学内および居住地域での生活マナー・駐車マナー、学内挨拶向上を目的とした標語の募集と表彰、学生の被害防止、危険薬物使用防止等、長期休暇の過ごし方に関する注意喚起を実施。

- ① 駐車場使用指導・・・学内駐車場の安全管理、違反者に対するマナー指導。
- ② 生活指導・・・・・・学内外におけるマナー・生活指導、アパート居住者に対し騒音等に関する注意喚起等。
- ③ 犯罪被害防止・・・・学内個人ロッカー施錠管理指導、警察へ近隣パトロールの依頼、不審者情報の発信。
- ④ 危険薬物使用防止・・・警察との連携による薬物乱用防止講演会の開催。
- ⑤ 長期休暇の過ごし方・ゴールデンウィーク、夏季休暇、冬季休暇における過ごし方の注意喚起。

(2) オリエンテーション

各学年に対し就職活動や履修手続等について、WEB形式による全体オリエンテーション、対面による学科別オリエンテーションを実施した。また、新入生に対しては対面にて学生生活の注意事項や奨学金に関する説明を行った。

(3) 健康診断

学部生全員と大学院生・研究生の希望者を対象として健康診断を実施した。

(4) 心理相談

精神科医師（男性）と臨床心理士（男性、女性）による心理相談をWEB形式および管理棟1階の応接室を相談室として週4回行った。

- ① 相談日：月曜日 午前11時10分～午後3時30分
水曜日 午前11時10分～午後3時30分／第1、第3水曜日 午後4時00分～午後5時00分
木曜日 午後2時00分～午後5時00分
金曜日 午後12時10分～午後4時30分

② 相談員：精神科医師／臨床心理士

③ 相談件数：271件（前期161件、後期110件）

(5) 奨学金制度（2024年3月31日現在）

① 本学独自の奨学金制度（給付型）

名 称	新潟医療福祉大学奨学金	新潟医療福祉大学学資融資奨学金
内 容	対象者に奨学金を給付	対象者に教育ローンの利子相当額を給付
出願資格	経済的理由により修学が困難であり、且つ成績が優秀な学生	経済的な理由により修学が困難である学生
給付金額	25万円（年額）	融資元本300万円を上限とする教育ローンの当該年度の利子相当額
採用人数	30名（2年～4年次）	50名を上限
選考方法	書類審査および面接	書類審査および面接
募集時期	10月	10月
採用者数実績	30名	10名

② 日本学生支援機構奨学金

貸与型

学年	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子※）	合計
1年生	265件	399件	664件
2年生	273件	401件	674件
3年生	255件	368件	623件
4年生	206件	389件	595件
合 計	999件	1,557件	2,556件

※年利率3%を上限とする変動制

給付型

学年	給付奨学金
1年生	130件
2年生	146件
3年生	123件
4年生	124件
合 計	523件

(6) 学生寮

学生寮「N-Village 伍桃」は、2023年4月に6期生265名が入寮し、全体で633名が生活をしている。

本寮では、寮生活の満足度向上を達成するため、寮生による学生寮組織「寮友会」が「催事・広報委員会」「衛生委員会」の2つの委員会を運営しながら、寮生自らがイベントを企画・運営している。

寮生は寮内の生活およびイベントを通して、QOLサポーターとして働くための基礎を養っている。

① 顧問

相馬俊雄 理学療法学科 教授
長谷川陽一 事務局学務部 学生課
中山あかね 事務局学務部 学生課

② 役員

会長 加賀谷響 社会福祉学科
副会長 大竹史織 言語聴覚学科、渡邊侑里 診療放射線学科
全体会計 野村成美 理学療法学科、高橋美早妃 健康栄養学科
催事・広報委員長 歌川愛唯 臨床技術学科
催事・広報副委員長 木幡真理子 義肢装具自立支援学科
衛生委員長 赤羽さくら 言語聴覚学科
衛生副委員長 石田優衣 臨床技術学科

2023年度 学生寮の主なイベント

4月	入寮式、寮生オリエンテーション（オンライン）
6月	鳥見浜ごみ拾い／前期定期テスト攻略会①
7月	七夕イベント／前期定期テスト攻略会②
9月	ポテト祭り
10月	寮周辺清掃活動／ハロウィン仮装大賞
11月	防災訓練
12月	クリスマス・卒寮イベント／年末大掃除キャンペーン
3月	第5期生卒寮式（オンライン）

(7) 学友会

文化活動およびスポーツ活動ならびに地域活動を通じ、会員相互の親睦、資質の向上および健康の増進を図り、大学生活の充実に貢献することを目的として組織している。定期総会を開催し、予算、決算、その他重要事項を審議した。大学側とともに定例協議会を実施し、学友会のあり方や活動方針などを確認した。学友会が中心となり、桃迎会（クラブ・サークル勧誘会）や伍桃祭（大学祭）の企画・運営、学生生活の充実度を向上させるための定期イベントを行った。

① 顧問

岩崎 隆 救急救命学科 助教
阿部拓也 臨床技術学科 助教
田山文子 義肢装具自立支援学科 助教
倉部崇史 事務局学務部 学生課

② 役員

会長 針生美海 臨床技術学科

副会長 五十嵐光希 健康スポーツ学科
 会計 谷田部春音 言語聴覚学科
 会計 菊地朱璃 臨床技術学科

(8) 大学祭

第23回大学祭「伍桃祭」を10月8日(日)・9日(月)で開催した。昨年より学生出店やステージ団体発表の数を増やした。一般の方や地域の方を招致し、クラブ・サークル団体発表やカラオケコンテストなど創意工夫したイベントを行い、学生生活の充実や学生満足度向上に貢献した。

(9) クラブ活動

強化指定クラブ12団体

	強化指定クラブ名	代表学生名	GM・部長・監督名
1	男子バスケットボール部	押金紘輔	山崎史恵(部長)・若月弘久(監督)
2	女子バスケットボール部	深瀬海波	西原康行(部長)・小林真里奈(監督)
3	水泳部	熊澤将大 武中香奈枝	佐藤大輔(部長)・下山好充(監督)
4	陸上競技部	中町真澄 木村玲奈	杉崎弘周(部長)・小林志郎(監督)
5	男子サッカー部	沼田航征	秋山隆之(部長)・佐熊裕和(監督)
6	女子サッカー部	豊村文香	秋山隆之(部長)・前田信弘(監督)
7	ダンス部	守隨琴乃	脇野哲郎(部長)・池田恵子(監督)
8	女子バレーボール部	高橋胡晴	吉田重和(部長)・濱野礼奈(監督)
9	硬式野球部	大久保翔太	佐藤敏郎(部長)・佐藤和也・ 鵜瀬亮一(監督)
10	卓球部	建石 匠	杵渕洋美(部長)・品田穂雄(監督)
11	男子バレーボール部	宗航太郎	相馬俊雄(部長)・久保晃(監督)
12	テニス部	岩間太陽 大籠楓夏	越中敬一(部長)・西海幸頼(監督)

体育系クラブ16団体、文化系クラブ22団体

	クラブ名	代表学生名	顧問名
13	ソフトボール部	森 愛海	山崎史恵
14	軟式野球部	永井太陽	高田大輔
15	アルティメット Scarlet 部	大和田勇斗	佐藤敏郎
16	学友会卓球部	岩崎康介	—
17	バトミントン部	管井隆志	佐藤裕紀
18	剣道部	高橋陸斗	中島郁子
19	フットサル部	御所窪陸大	山本悦史
20	ハンドボール部	笠井明良	岩森 大
21	ダンスサークル RIZE	高橋怜来	平林 怜
22	NEXUS	大久保陸	渡邊恵司
23	よさこい部 舞桃会	青木花帆	田中耕一
24	園芸部	角英里香	阿部 薫
25	茶道部	曾我うらら	五十嵐紀子
26	和太鼓部 彩龍会	小林 央	高野晃輔
27	吹奏楽部	小野沢愛美	高野晃輔
28	手話部	星 優妃	伊藤さゆり
29	写真部	山岸優心	山崎貴子
30	レクア、コム部	竹島阿美	丸田秋男・荒川大靖

31	軽音楽部	伊藤丈流	木下直彦
32	VICON 部	菊池晋之祐	江原義弘
33	栄養サポート部	大地希佳	澁谷顕一
34	Spring Board	芦原きずな	久保雅義
35	ピアエデュケーション部	浅野泉瑠	山口典子
36	音楽サークルMusic Studio	坂井 杏	石本 豪
37	躰道部	杉山優二郎	相馬俊雄
38	NUHW カーリングサークル	佐久美貴江	木原 亨
39	パラスポーツファンクラブ チーム PRISM	岩尾奏来	郷 貴博
40	カバディ部	下地翔宝	前田 雄
41	NUHW ビジョンサポート研究会	田中実和	石井雅子
42	プログラミングサークル	長谷川海翔	谷賢太郎
43	メディカルサポート部	三浦里香	江玉睦明
44	学生ねこ部	太田菜々美	五十嵐紀子
45	アスレティックトレーナー部	田野口文	熊崎 昌
46	ものづくりサークル	齋藤ひより	圓純一郎
47	アウトドア部	藤澤 凌	亀岡雅紀
48	アーチェリー部	坪井風花	森清友亮
49	男女混合バレーボールサークルLEAP	花岡健太郎	－
50	METサークル	高橋隼人	江部克也 桶谷涼子
51	ウィンタースポーツサークル	宮地優多	－
52	空飛ぶ車いすサークル	豊田雅文	－
53	フィギュアスケートサークル	関川苺花	森下義隆

合計 53 団体

(10) 学生表彰

① 2023年度卒業式において、下記の表彰が行われた

学部：116名 4団体 大学院：5名

賞	所属	氏名	受賞理由
学長賞 (学業成績優秀)	理学療法学科	神戸 美柚	各学科で最も優秀な成績を修めた
	作業療法学科	前川 小春	
	言語聴覚学科	萩原 彩絵	
	義肢装具自立支援学科	中島 涼香	
	臨床技術学科	渡邊 真白	
	視機能科学科	中山 綾佳	
	救急救命学科	五十嵐 佑	
	診療放射線学科	山田 幸代	
	健康栄養学科	本間 日和	
	健康スポーツ学科	鈴木 豪	
	看護学科	小出 陽子	
	社会福祉学科	古俣 萌	
	医療情報管理学科	宮下 野野花	
学長賞 (学業成績優秀)	医療福祉学専攻	小島 将	博士後期課程で最も優秀な成績を修めた
	保健学専攻	宮下 祐美子	修士課程で最も優秀な成績を修めた
学長賞 (課外活動個人)	医療情報管理学科 (新潟WBC所属)	知野 光希	IWBF 男子U23車いすバスケットボール世界選手権大会 優勝
	陸上競技部	中町 真澄	第37回U20日本陸上競技選手権男子円盤投 優勝
	陸上競技部	木村 玲奈	第91回日本学生陸上競技対校選手権女子やり投 優勝
学長賞 (社会活動団体)	社会福祉学科 原口彩子ゼミ	代表 吉澤 美紅	第34回緑の環境プラン大賞 ポケット・ガーデン部門 国土交通大臣賞
優秀賞 (学業成績優秀)	理学療法学科	西口 ほのか	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	理学療法学科	齋藤 大河	
	理学療法学科	山波 克彰	
	理学療法学科	手塚 悠人	
	理学療法学科	若林 拓実	
	理学療法学科	池田 彩華	
	理学療法学科	小島 日向	
	理学療法学科	池田 紗里奈	
	作業療法学科	羽鳥 茉耶	
	作業療法学科	塚本 匠	
	作業療法学科	橘 初音	
	言語聴覚学科	山口 あかり	
	言語聴覚学科	披田野 夏綺	

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (学業成績 優秀)	義肢装具自立支援学科	近藤 由典	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	義肢装具自立支援学科	安松 美咲	
	臨床技術学科	治田 実紗	
	臨床技術学科	佐藤 まりな	
	臨床技術学科	山口 桃子	
	臨床技術学科	安藤 悠希	
	臨床技術学科	薄田 麗奈	
	臨床技術学科	高橋 凜	
	臨床技術学科	小形 朔也	
	視機能科学科	遠山 愛花	
	視機能科学科	小木 ひなた	
	視機能科学科	安達 玲衣	
	救急救命学科	山倉 春奈	
	救急救命学科	田中 廉治郎	
	救急救命学科	小林 陽太	
	診療放射線学科	平塚 徹大	
	診療放射線学科	横田 侑香	
	診療放射線学科	丸山 結衣	
	診療放射線学科	山口 生葵	
	診療放射線学科	菅野 宰	
	診療放射線学科	五十嵐 爽	
	健康栄養学科	鶴巻 優菜	
	健康栄養学科	松澤 愛美	
	健康スポーツ学科	本多 瞬	
	健康スポーツ学科	高橋 胡晴	
	健康スポーツ学科	吉田 俊介	
	健康スポーツ学科	熊倉 悠人	
	健康スポーツ学科	田尻 和之	
	健康スポーツ学科	深瀬 海波	
	健康スポーツ学科	金内 海紘	
	健康スポーツ学科	熊澤 将大	
	健康スポーツ学科	佐藤 茉由	
	健康スポーツ学科	馬場 大夢	
	健康スポーツ学科	尾内 勇輝	
	健康スポーツ学科	貝瀬 五月	
	健康スポーツ学科	山崎 碧月	
	健康スポーツ学科	加藤 和尊	

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (学業成績優秀)	看護学科	デシルバ コリーン真衣	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	看護学科	小野 莉央	
	看護学科	佐藤 優奈	
	看護学科	磯野 未侑	
	看護学科	笠原 信穂	
	看護学科	熊倉 恵樺	
	看護学科	篠田 朱里	
	社会福祉学科	早川 裕人	
	社会福祉学科	大湊 麻央	
	社会福祉学科	毛利 美遊	
	社会福祉学科	田村 愛優菜	
	社会福祉学科	大久保 紅音	
	社会福祉学科	本田 真里奈	
	社会福祉学科	山本 華歩	
	社会福祉学科	五十嵐 香名	
	医療情報管理学科	羽田 好花	
	医療情報管理学科	我妻 唯	
	医療情報管理学科	大平 和弥	
	医療情報管理学科	鎌田 晴菜	
	医療情報管理学科	宮澤 七海	
	医療福祉学専攻	宮本 真菜	
	保健学専攻	佐々木 啓	
	健康科学専攻	巻渕 泰輝	
優秀賞 (課外活動個人)	硬式野球部	目黒 宏也	オイシックス新潟アルビレックスBC 入団
	男子サッカー部	坂岸 寛大	J2 いわきFC 入団
	男子サッカー部	田中 翔太	J3 ガイナーレ鳥取 入団
	男子サッカー部	沼田 航征	J3 アスルクラロ沼津 入団
	女子サッカー部	佐々木 美悠	なでしこリーグ1部スペランツァ大阪 入団
	女子サッカー部	谷口 愛奈	なでしこリーグ1部スペランツァ大阪 入団
	女子サッカー部	豊村 文香	なでしこリーグ1部スペランツァ大阪 入団
	女子サッカー部	中尾 奈摘	なでしこリーグ1部ヴィアマテラス宮崎 入団
	水泳部	早坂 亮	第65回日本選手権(25m)水泳競技大会 男子100m背泳ぎ 3位入賞
	水泳部	筒井 大介	第99回日本学生選手権水泳競技大会OWS 競技男子10km 3位入賞

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (課外活動個人)	水泳部	武中 香奈枝	第98回日本学生選手権水泳競技大会 女子4×100mフリーリレー 5位入賞
	水泳部	熊澤 将大	第99回日本学生選手権水泳競技大会 男子4×100mフリーリレー 8位入賞
	水泳部	川嶋 虎太郎	第99回日本学生選手権水泳競技大会 男子4×100mフリーリレー 8位入賞
	陸上競技部	田中 廉治郎	第92回日本学生陸上競技対校選手権 男子十種競技 3位入賞
	陸上競技部	蓑輪 夢未	第89回日本学生陸上競技対校選手権 女子走高跳 3位入賞
	陸上競技部	風山 瑠希亜	yogiboアスレチックチャレンジカップ 2023 男子走高跳 8位入賞
	陸上競技部	山村 紋叶	第89回日本学生陸上競技対校選手権 女子4×400mR 7位入賞
	陸上競技部	小川 ひかり	第90回日本学生陸上競技対校選手権 女子4×100mR 8位入賞
優秀賞 (課外活動団体)	ダンス部	代表 古山 夏帆	第35回全日本高校・大学ダンスフェスティバル 創作コンクール部門大学の部 審査員賞受賞
	健康栄養学科 (スズキスムージー)	代表 谷川 まゆ	「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2023 準グランプリ
優秀賞 (社会活動個人)	義肢装具自立支援学科	鹿俣 空洋	新発田市スポーツ推進課、新発田市教育委員会と本学社会連携・同窓会推進機構ボランティアセンター長が協働で新発田市小学校においてパラリンピック教育(総合科福祉)を実施し、新発田市より高く評価された
	健康スポーツ学科	鈴木 豪	
	健康スポーツ学科	清田 海愛	
	健康スポーツ学科	馬場 大夢	
	健康スポーツ学科	畠山 帆乃花	
	健康スポーツ学科	山本 光希	
	健康スポーツ学科	渡辺 勝誠	
	レクア.コム部	山本 華歩	新潟日報社主催で開催された「未来のチカラ・提言フォーラム」においては大学生の立場から「ボランティア活動をとおして地域とつながること」について訴え、学生がより社会と関わりを持つことができるよう提言
	看護学科	篠田 朱里	新潟市内小・中学校にて学習支援ボランティア、保健室ボランティアを継続して活動し、子どもへの支援の貢献度についてとても高い評価を受けた
	看護学科	岡部 きずな	
	看護学科	関川 望和	
優秀賞 (社会活動団体)	男子サッカー部	代表 沼田 航征	県北豪雨災害で被害が発生した、村上市を支援するためにボランティア活動や学内で実施した献血ボランティア活動において、延べ100人が献血ボランティアとして社会貢献した
優秀賞 (学術活動個人)	義肢装具自立支援学科	安松 美咲	日本整形靴技術協会 最優秀論文賞受賞

②学部在学生表彰：28名 3団体

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (課外活動個人)	硬式野球部	熊倉 健太	2023年度関甲新学生野球連盟春季リーグ戦 最多打点打者賞受賞
	水泳部	本山 空	第99回日本学生選手権水泳競技大会 OWS男子10km優勝 男子5km 優勝
	水泳部	永尾 美友	第99回日本学生選手権水泳競技大会 OWS女子5km 2位入賞
	水泳部	松原 光佑	第99回日本学生選手権水泳競技大会 男子50m自由形 3位入賞
	水泳部	八木 紀香	第99回日本学生選手権水泳競技大会 OWS女子10km 4位入賞
	水泳部	篠塚 聖妃	第99回日本学生選手権水泳競技大会 女子50m自由形 6位入賞
	水泳部	坂本 樹	第99回日本学生選手権水泳競技大会 男子4×100mフリーリレー 8位入賞
	水泳部	忍田 尊	第99回日本学生選手権水泳競技大会 男子4×100mフリーリレー 8位入賞
	陸上競技部	北原 博企	2023年度日本学生個人陸上競技選手権 男子円盤投 優勝
	陸上競技部	渡辺 豹牙	第39回U20日本陸上競技選手権 男子砲丸投 優勝
	陸上競技部	根本 穂波	第39回U20日本陸上競技選手権 女子やり投 4位入賞
	軟式野球部	田中 琉久	2023年度全日本大学軟式野球連盟日本代表 選出 全日本大学軟式野球国際親善大会出 場(TAIWAN)
	軟式野球部	杉山 蒼空	
	軟式野球部	佐藤 稜馬	
優秀賞 (課外活動団体)	医療情報管理学科 市川ゼミ	代表 樋口 真城	にいがたデジコングランプリ2023 優秀賞受賞
	健康栄養学科	代表 寺西 沙莉奈	「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコン テスト2023(公財)食の新潟国際賞特別 賞受賞
優秀賞 (社会活動個人)	社会福祉学科	池田 隼斗	新発田市スポーツ推進課、新発田市教育員 会と本学社会連携・同窓会推進機構ボラン ティアセンター長が協働で新発田市小学校 においてパラリンピック教育(総合科福祉) を実施し、新発田市より高く評価された
	社会福祉学科	加藤 徹大	
	社会福祉学科	船浪 帆夏	
	医療情報管理学科	風間 柊耶	「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大 会」において、陸上競技、介助に関する新 潟県選手団役員として派遣された
	社会福祉学科	山崎 慎	
	社会福祉学科	梅川 隼弥	
	社会福祉学科	川谷 拓未	
	社会福祉学科	小野塚 胡晴	
	社会福祉学科	小川 雄大	
	健康スポーツ学科	戸田 圭郁	
	健康スポーツ学科	戸田 圭郁	新潟市内小・中学校にて学習支援ボラン ティア、保健室ボランティアを継続して活 動し、子どもへの支援の貢献度についてと ても高い評価を受けた

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (学術活動 個人)	健康栄養学科	宮田 陽菜子	第11回日本腎栄養代謝研究会学術集会・総 会レシピコンテスト学生賞受賞
	健康栄養学科	中村 美乃里	
	義肢装具自立支援学科	谷 承子	第39回日本義肢装具学会学術大会学生優秀 演題 Best Investigator Award ファイナリ スト賞受賞
	義肢装具自立支援学科	永渕 豊人	
優秀賞 (学術活動 団体)	健康スポーツ学科 山本ゼミ	代表 宇野 帆人	スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コ ンペティション2023 優秀賞受賞

(11) 海外研修

①理学療法学科 フィリピン研修

研修先 サント・トーマス大学
研修目的 医療英語を用いた臨床現場体験と理学療法を通じた国際交流
引率者 菊元孝則（理学療法学科講師）、横田裕丈（理学療法学科講師）
参加者 7名
1年 小原優芽，大橋愛来，本間大翔，吉川泰蔵，大倉康太郎
2年 渡辺乙羽，中谷文香

研修日程 2023年8月27日（日）～9月13日（水）

8月	27日	日	新潟駅発
	28日	月	成田空港→マニラ国際空港
	29日	火	オリエンテーション
	30日	水	現地にて研修
	～		
9月	11日	月	マニラ国際空港→成田空港
	12日	火	
	13日	水	新潟駅着

研修概要 i) サント・トーマス大学での授業，施設見学
ii) 小児施設での臨床実習
iii) 異文化体験・交流

②全学共通 マレーシア研修

研修先 国立脳卒中協会（NASAM）
研修目的 海外で実践的な英語を使用することで，語学力の向上を目指す。また，臨床現場を見学し，海外の理学療法を学ぶ。
引率者 久保雅義（理学療法学科教授），阿久澤弘（理学療法学科助教）
参加者 6名
1年 芦原さずな，宮地優多，鶴谷すず，飯沼珠由（理学療法学科）
小田切絢花（鍼灸健康学科）
2年 北村亮輔（理学療法学科）

研修日程 2023年8月31日（木）～9月15日（金）

8月	31日	木	成田空港発
9月	1日	金	クアラルンプール着，オリエンテーション
	2日	土	現地にて研修
	～		
9月	14日	木	クアラルンプール→羽田空港
	15日	金	

研修概要 i) 脳卒中患者に対する個別理学療法の見学
ii) 脳卒中患者に対する集団エクササイズの補助
iii) 異文化体験・観光

③救急救命学科 アメリカ研修

研修先 ロサンゼルス郡の消防機関
研修目的 ロサンゼルス郡に位置する各地の消防機関の視察および英語研修
引率者 竹井 豊（救急救命学科教授），高橋 司（救急救命学科講師）
参加者 14名
2年 田邊裕登，齋藤大輝，三浦裕生，唐崎剛瑠，室元次郎

3年 栗山勇翔, 佐久間颯大, 櫻井 暁, 佐藤進太郎, 古川隼伍, 星野敬汰, 本間寛大, 本山大雅, 渡部央都

研修日程 2023年9月2日(土)～9月6日(水)

9月	2日	土	成田空港→ロサンゼルス
	3日	日	現地にて研修
	4日	月	
	5日	火	ロサンゼルス発
	6日	水	成田空港着

研修概要 i) 各地の消防署での, アメリカにおける消防・救急体制の理解
ii) 救急指令センターでの, 米国における救急要請体制の理解
iii) 異文化体験

④臨床技術学科 アメリカ研修

研修先 ハワイ大学マノア校

研修目的 ハワイ大学との国際交流および英語研修

引率者 高橋良光(臨床技術学科准教授), 佐々木一真(臨床技術学科助教)

参加者 10名

1年 手塚至恭, 桑野心緒, 高橋りい菜

2年 佐々木美祐, 太田菜々美, 林 寿音, 佐々木萌華, 牧野朱莉, 西内悠太

3年 中野優衣

研修日程 2023年9月12日(火)～9月22日(金)

9月	12日	火	成田空港→ホノルル着
	13日	水	現地にて研修
	～		
	20日	水	
	21日	木	ホノルル発
	22日	火	成田空港

研修概要 i) ハワイ大学での現地学生との交流, 臨床検査分野の実習体験
ii) 現地の医療施設や大学の見学
iii) 異文化体験

⑤救急救命学科 オーストラリア研修

研修先 オーストラリアの救急機関

研修目的 オーストラリアでの救急車同乗研修

引率者 竹井 豊(救急救命学科教授), 尾崎あかね(救急救命学科助教)

参加者 1名

3年 東 紗英

研修日程 2023年11月16日(木)～11月21日(火)

11月	16日	木	成田空港→ブリスベン
	17日	金	現地にて研修
	～		
	19日	日	
	20日	月	ブリスベン発
	21日	火	成田空港

研修概要 i) オーストラリアの救急医療システムの見学
ii) 現地で救急車に同乗し, 実際の救急現場活動を見学する
iii) 異文化体験

⑥全学共通 韓国研修

研修先 仁済大学校
 研修目的 協定校が開催する韓国語と韓国文化のプログラムに参加する
 引率者 なし
 参加者 5名
 1年 相田愛琉（健康スポーツ学科），大谷優実（社会福祉学科），
 中村祐希（医療情報管理学科）
 2年 大山 碧（健康スポーツ学科），平島尚子（医療情報管理学科）
 研修日程 2024年2月15日（木）～2月29日（木）

2月	15日	木	成田空港→釜山
	16日	金	仁済大学校スプリングプログラム
	～		
	28日	水	
	29日	木	釜山→成田空港

研修概要 i) 韓国語研修
 ii) 韓国文化体験
 iii) 現地の大学生との交流

⑦全学共通 台湾研修

研修先 国立陽明交通大学
 研修目的 国立陽明交通大学の大学院を舞台とする海外研修
 引率者 久保雅義（理学療法学科教授）
 参加者 3名
 2年 荒木香帆，高野夏来（健康栄科），伊藤楓花（医療情報管理学科）
 研修日程 2024年2月24日（土）～3月2日（土）

2月	24日	土	新潟駅→成田空港→台北
	25日	日	現地にて研修
	～		
3月	1日	金	
	2日	土	台北→成田空港

研修概要 i) 自分の専門分野に近い大学院での英語による授業見学
 ii) 現地の学生との交流
 iii) 異文化体験

⑧看護学科 インドネシア研修

研修先 ハサヌディン大学
 研修目的 国際看護論演習
 引率者 小林房代（看護学科准教授），早川貴紀（看護学科助教）
 参加者 8名
 2年 國分百衣，渡辺 聖，山本萌乃，佐藤日菜多，石田春菜，栗田 凜，武藤百香，
 鍋谷真菜子
 研修日程 2024年2月25日（日）～3月5日（火）

2月	25日	日	羽田空港発
	26日	月	シンガポール経由マカッサル着，歓迎食社会
	27日	火	ハサヌディン大学での研修，医療施設の見学
	～		
3月	3日	日	

研修概要	4日	月	マカッサル発, シンガポール経由	
	5日	火	羽田空港着	
	i) ハサスディン大学での授業出席, グループワーク, 学生間交流			
	ii) 現地の医療施設の見学			
iii) 異文化体験				
⑨全学共通 マレーシア研修				
研修先	国立脳卒中協会 (NASAM)			
研修目的	脳卒中サバイバーのための施設でのボランティア研修			
引率者	久保雅義 (理学療法学科教授), 阿久澤弘 (理学療法学科助教)			
参加者	9名			
	2年	瀬尾 歩 (理学療法学科), 星野杏樹 (看護学科), 小池悠太, 堀井佑亮, 西川虎徹 (健康スポーツ学科)		
	3年	角田志桜里, 金田 重 (理学療法学科), 小柳未来, 星野葵衣 (看護学科)		
研修日程	2024年2月25日 (日) ~ 3月24日 (日)			
	2月	25日	日	新潟空港発, 関西空港経由
		26日	月	香港経由
		27日	火	クアラルンプール着, 研修開始
		28日	水	現地にて研修
		~		
	3月	23日	土	
		24日	日	クアラルンプール→羽田空港
研修概要	i) 脳卒中サバイバー施設でのボランティア研修			
	ii) 実戦での英語トレーニング			
	iii) 異文化体験			
⑩義肢装具自立支援学科 タイ研修				
研修先	マヒドン大学			
研修目的	MOUに基づいた学生交流プログラムへの参加			
引率者	神田 賢 (義肢装具自立支援学科講師), 須田裕紀 (義肢装具自立支援学科講師)			
参加者	5名			
	1年	坂井空羅, 菊池晋之祐, 大林真士		
	3年	丸山紗世		
	4年	中島涼香		
研修日程	2024年3月2日 (土) ~ 3月9日 (土)			
	3月	2日	土	羽田空港発
		3日	日	バンコク着
		4日	月	現地にて研修
		~		
		8日	金	
		9日	土	バンコク→羽田空港
研修概要	i) 交流プログラムへの参加			
	ii) 研修および施設見学			
	iii) 異文化体験			
⑪診療放射線学科 タイ研修				
研修先	マヒドン大学			
研修目的	学術提携校であるマヒドン大学での研修プログラムへの参加			

引率者 笠井 聡（診療放射線学科教授），甲斐千遥（診療放射線学科助教）

参加者 4名

1年 小西太陽

2年 松崎広菜

3年 黒崎 凜

4年 本間嶺太

研修日程 2024年3月3日（日）～3月17日（日）

3月	3日	日	羽田空港発
	4日	月	バンコク着
	5日	火	オリエンテーション
	6日	水	現地にて研修
	～		
	15日	金	
	16日	土	バンコク発
	17日	日	羽田空港着

研修概要 i) マヒドン大学での講義受講および関連病院などの見学

ii) 学生間の交流

iii) 異文化体験

⑫臨床技術学科 台湾研修

研修先 中山医学大学

研修目的 言語や文化が異なる学生及び教員との交流を通じて国際感覚を磨き，他国の医療システムを見学することで，我が国の医療に対する深い洞察を得る

引率者 深澤友雄（臨床技術学科教授），中山憲司（臨床技術学科准教授）

参加者 2名

2年 上野綾華，赤羽陽里

研修日程 2024年3月8日（金）～3月15日（金）

3月	8日	金	羽田空港→台北
	9日	土	台北見学
	10日	日	台中市へ移動
	11日	月	現地にて研修
	～		
	14日	木	
	15日	金	台北→成田空港

研修概要 i) 中山医学大学での講義や実習を通して，他国の医療教育を学ぶ

ii) 現地の病院施設の見学を通して，他国の医療現場を学ぶ

iii) 異文化体験を通して，他国の歴史を学ぶ

⑬作業療法学科 韓国研修

研修先 仁済大学校

研修目的 提携校との交流活動

引率者 圓 純一郎（作業療法学科准教授），高橋里奈（作業療法学科講師）

参加者 14名

2年 木下和奏，山本妃麻里，小山和花，丸山桃香

3年 石井花奈，長部菜々，齋藤悠菜，納谷晴香

4年 大竹樹香，小林瑞穂，橘 初音，羽鳥茉耶，平泉和奏，吉田真央

研修日程 2024年3月10日（日）～3月16日（土）

3月	10日	日	新潟空港→福岡
	11日	月	福岡空港→釜山
	12日	火	仁済大学校での作業療法学講義聴講，医療福祉施設見学 韓国文化体験
	～		
	15日	金	
	16日	土	釜山→福岡→新潟空港

- 研修概要
- i) 提携校である仁済大学校での講義聴講，現地学生との交流
 - ii) 病院や福祉施設などの見学
 - iii) 文化体験，観光

⑭看護学科 アメリカ研修

研修先 ロサンゼルス病院等

研修目的 国際看護学演習

引率者 小林房代（看護学科准教授），外間直樹（看護学科講師）

参加者 4名

2年 長谷川紫蘭，三田桃子，横山優衣菜，久保かのん

研修日程 2024年3月26日（火）～4月4日（木）

3月	26日	火	新潟空港→仁川空港→ロサンゼルス
	27日	水	ミレニア・エデュケーション社による看護学生研修プログラム
	～		
4月	1日	月	
	2日	火	ロサンゼルス発
	4日	木	仁川空港→成田空港

- 研修概要
- i) 米国の医療・保健制度・看護制度に関する講義と医療施設の見学
 - ii) 現地の看護学生との交流
 - iii) 文化体験および観光

⑮理学療法学科 アメリカ研修

研修先 カリフォルニア州立大学フレズノ校等

研修目的 アメリカの理学療法プログラムに参加し，世界基準の医療を体験する．また，本研修を通じて医療英語の向上も図る．

引率者 菊元孝則（理学療法学科講師），横田裕丈（理学療法学科講師）

参加者 6名

2年 北村亮輔，平井翔太，牧野郁美

3年 阿部花映，落合優花，加藤太渉

研修日程 2024年4月1日（月）～4月9日（火）

4月	1日	月	成田空港→ロサンゼルス
	2日	火	現地にて研修
	～		
	6日	土	
	7日	日	自由行動
	8日	月	ロサンゼルス発
	9日	火	羽田空港

- 研修概要
- i) カリフォルニア州立大学フレズノ校理学療法プログラム
 - ii) 南カリフォルニア大学理学療法プログラム
 - iii) カリフォルニア州立大学ロングビーチ校アスレティックトレーナープログラム

(12) 学習支援センター

数学、解剖学・生理学、物理、化学、英語、日本語表現を指導する講師および専属の事務兼コーディネーターを配置し、学習支援業務を行っている。2023年度には新たに留学生講師3名による英会話教育を実施し、年間延べ400件の受講があったほか、英語学習イベント「英会話テラス」や中央教育センターと連携した「Chit Chat Club」を開催した。基礎セミナーは、従来の専門科目や“誰でも・気軽に・受講できる”をコンセプトにした短時間の「プチセミナー」に加え、全4回臓器別シリーズの「解剖学・生理学基礎セミナー」を開催し、12学科から延べ203名が参加した。また、幅広い学力層を対象に、学生の知的好奇心に応える学習コンテンツとして2021年度末に開設した「デジタルライブラリー」には、新たなコンテンツを24本追加し学修支援環境の充実化を図った。

従来の外部講師と大学院生による個別指導とは別に、14学科97名の学部生を“学習支援ピアサポーター”に任命し、テスト対策を中心とした学修支援活動を実施した。2024年度入学者を対象とした「スタートダッシュセミナー」では、Remedial Coursesでの学習動画の公開と、学習支援ピアサポーターによるオンライン相談会を行った。履修登録サポートデスクは、在学生83名がボランティアとして参加し、新入生362名が利用した。

- ① 個別指導のべ利用件数・・・2,794件
- ② セミナー受講者数・・・1,655名
- ③ e-Campusの専門科目基礎に関する動画公開数・・・26種44本
- ④ デジタルライブラリー 動画公開数・・・63本
- ⑤ 動画配信による入学前セミナー総視聴回数・・・2,562回

8) 強化指定クラブ成績

【水泳部】

・第20回FINA世界水泳選手権2023

※水沼尚輝（職員）が日本代表として出場。下山好充監督（HS教授）も代表コーチとして日本代表に選出。

男子	50m バタフライ	出場
男子	100m バタフライ	出場
男子	4 × 100m メドレーリレー	6 位

・第99回日本学生選手権水泳競技大会 OWS 競技

男子	5km	優勝（本山 空 HS3）
男子	10km	優勝（本山 空 HS3）
男子	10km	2 位（筒井大介 HS4）
女子	10km	2 位（永尾美友 HS3）
女子	10km	3 位（八木紀香 SW2）

・第99回日本学生選手権水泳競技大会 競泳競技

男子	50m 自由形	3 位（松原光佑 HS1）
女子	50m 自由形	6 位（篠塚聖妃 HS2）

・第65回日本選手権（25m）水泳競技大会

男子	100m 背泳ぎ	3 位（早坂 亮 HS4）
女子	50m バタフライ	4 位（津田萌咲 医福大SC）
女子	100m バタフライ	4 位（津田萌咲 医福大SC）
女子	50m 背泳ぎ	4 位（山崎 光 職員）
女子	50m 自由形	6 位（篠塚聖妃 HS2）

・第33回オリンピック競技大会代表選手選考会

男子	50m バタフライ	優勝（水沼尚輝 職員）
男子	100m バタフライ	2 位（水沼尚輝 職員）

※五輪派遣標準を突破しパリオリンピック日本代表に内定

女子	50m 背泳ぎ	6 位（山崎 光 職員）

【陸上競技部】

・第97回北信越学生陸上競技対校選手権大会

男子総合優勝 13 連覇 / 女子総合 12 連覇

・2023 日本学生個人陸上競技選手権大会

男子	円盤投	優勝（北原博企 HS3）

・第92回日本学生陸上競技対校選手権大会

男子	十種競技	3 位（田中廉治郎 EM4）
男子	円盤投	5 位（北原博企 HS3）
男子	円盤投	6 位（中町真澄 HS4）
男子	砲丸投	6 位（渡辺豹牙 HS1）
女子	やり投	3 位（木村玲奈 PT4）

・第107回日本陸上競技選手権大会

女子	ハンマー投	6 位（エパサカテレサ M1）

・第39回U20 日本陸上競技選手権大会

男子	砲丸投	優勝（渡辺豹牙 HS1）
女子	やり投	4 位（根本穂波 HS1）

・第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 24 位（清水, 福原, 藤田, 吉原, 佐藤, 二村）

【男子サッカー部】

・新潟日報杯・共同通信杯 第28回新潟県サッカー選手権大会	優勝（天皇杯新潟県代表）
・天皇杯JFA第103回全日本サッカー選手権大会	出場
・第51回北信越大学サッカーリーグ（1部）	優勝
・第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会	優勝
・第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会	ベスト8
・第72回全日本大学サッカー選手権大会	出場
・第49回北信越フットボールリーグ（1部）	3位
・第59回全国社会人サッカー選手権大会新潟県大会	優勝
・インディペンデンスリーグ北信越大会	優勝
・第21回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル	ベスト4

【女子サッカー部】

・第32回全日本大学女子サッカー選手権大会北信越大会	優勝
・第32回全日本大学女子サッカー選手権大会	出場
・2023北信越女子サッカーリーグ（1部）	2位

【男子バスケットボール部】

・笹本杯争奪北信越大学バスケットボール 春季リーグ戦	2位
・第1回全日本大学バスケットボール新人戦	出場
・第57回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選会	優勝
・第75回全日本大学バスケットボール選手権大会	出場

【女子バスケットボール部】

・笹本杯争奪北信越大学バスケットボール 春季リーグ戦	3位
・第1回全日本大学バスケットボール新人戦	出場
・第57回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選会	優勝
・第75回全日本大学バスケットボール選手権大会	出場

【男子バレーボール部】

・第60回信越大学バレーボール大会	2位
・第71回秋季北信越大学バレーボール選手権大会	決勝トーナメント進出

【女子バレーボール部】

・第53回春季北信越大学バレーボール選手権大会	2位
・第71回秋季北信越大学バレーボール選手権大会	2位
・第70回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	出場

【硬式野球部】

・関甲新学生野球連盟 春季1部リーグ	4位
・関甲新学生野球連盟 秋季1部リーグ	6位

【ダンス部】

・第35回全日本大学ダンスフェスティバル（神戸）	審査員賞 受賞
・第42回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール	優秀群舞賞
	Duoなまはげ賞

【卓球部】

・第70回夏季北信越学生卓球選手権大会（男子シングルス）	ベスト16
・全日本大学総合卓球選手権大会（男子シングルス）	出場

【テニス部】

・北信越学生テニストーナメント大会（男子シングルス）	優勝
・全日本学生テニス選手権大会（男女シングルス，男女ダブルス）	出場

- ・北信越大学テニス王座決定試合（団体戦）
- ・全日本大学対抗テニス王座決定試合（男子）
- ・第60回全日本学生室内テニス選手権大会

男子1部 優勝
女子1部 2位
出場
出場

9) 国家試験・資格試験結果（2024年6月14日現在）

国家試験等	本 学				全 国
	受験者数	合格者数	合格率	前年実績	合格率
理 学 療 法 士	118	118	100%	99.1%	89.2
作 業 療 法 士	43	42	97.7%	94.6%	84.1
言 語 聴 覚 士	34	22	64.7%	80.6%	72.4
義 肢 装 具 士	38	34	89.5%	96.9%	79.4
臨床工学技士	84	66	78.6%	86.0%	79.5
臨床検査技師	74	55	74.3%	71.6%	76.8
視 能 訓 練 士	44	44	100%	84.6%	95.2
救 急 救 命 士	47	47	100%	100%	94.7
診療放射線技師	89	68	76.4%	86.1%	79.5
管 理 栄 養 士	40	35	87.5%	92.7%	49.3
健康運動指導士	8	7	87.5%	63.6%	—
アスレティックトレーナー（実技）※	1		%	100%	—
看 護 師	103	96	93.2%	100%	87.8
保 健 師	33	32	97.0%	95.8%	95.7
助 産 師	3	3	100%	100%	98.8
社 会 福 祉 士	109	86	78.9%	62.1%	58.1
精神保健福祉士	6	6	100%	100%	70.4
介 護 福 祉 士	27	27	100%	100%	82.8
診療情報管理士	29	26	89.7%	80.0%	72.8
情報セキュリティマネジメント	12	11	91.7%	—	—

10) 就職状況

（1）就職相談室等の利用状況

名称	スタッフ数	開室日数		開室時間	年間相談件数
		週当たり	年間		
就職センター	7	5	246	8：45～17：00	5,347

（2）求人状況

学科	件数	人数
理学療法学科	1,139	3,744
作業療法学科	1,182	3,542
言語聴覚学科	1,035	2,302
義肢装具自立支援学科	195	347
臨床技術学科	812	1,534
視機能科学科	217	308
救急救命学科	53	101
診療放射線学科	314	597

学科	件数	人数
健康栄養学科	286	814
健康スポーツ学科	84	251
看護学科	973	4,665
社会福祉学科	1,633	4,984
医療情報管理学科	539	1,763
その他	1,089	5,011
計	9,551	29,963

(3) 学科別就職状況

学科	卒業者数	就職希望者数	進学者数	就職者数	内定率(%)
理学療法学科	119	98	20	98	100.0%
作業療法学科	44	40	2	40	100.0%
言語聴覚学科	37	25	1	25	100.0%
義肢装具自立支援学科	39	37	0	37	100.0%
臨床技術学科	88	72	0	69	95.8%
視機能科学科	44	43	1	43	97.3%
救急救命学科	47	43	1	43	100.0%
診療放射線学科	92	68	6	63	92.6%
健康栄養学科	40	39	1	39	100.0%
健康スポーツ学科	198	172	13	171	99.4%
看護学科	103	95	1	95	100.0%
社会福祉学科	124	115	3	115	100.0%
医療情報管理学科	83	81	0	80	98.8%
計	1,058	928	49	918	98.9%

※進学者の進学先は大学院，大学，専門学校を含む。

(4) 都道府県別就職状況

都道府県	就職者数	都道府県	就職者数
青森県	1	長野県	40
岩手県	6	岐阜県	3
宮城県	27	静岡県	9
秋田県	12	愛知県	12
山形県	26	三重県	3
福島県	42	大阪府	8
茨城県	7	兵庫県	4
栃木県	6	京都府	7
群馬県	18	奈良県	1
埼玉県	54	和歌山県	1
千葉県	30	岡山県	1
東京都	115	鳥取県	1
神奈川県	47	島根県	1
新潟県	387	徳島県	1
富山県	24	福岡県	3
石川県	13	宮崎県	1
福井県	1	鹿児島県	1
山梨県	3	沖縄県	2

10. その他

1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園

(1) 定員

19名（0歳児2名 1歳児4名 2歳児5名 3歳児3名 4歳児5名 5歳児0名）

(2) 園児数

2023年度園児数：19名（従業員・共同利用枠 12名 地域枠7名）

内訳：0歳児2名（地域枠0名） 1歳児4名（地域枠1名） 2歳児5名（地域枠1名）

3歳児3名（地域枠1名） 4歳児5名（地域枠4名） 5歳児0名（地域枠0名）

(3) 2023年度の主な行事

7月 七夕、水遊び開き

8月 夏祭り

9月 敬老の日（お手紙を届けよう）

10月 芋ほり、ハロウィンパレード、ハロウィン運動会

11月 サンクスギビング

12月 クリスマス会

2月 まめまき集会

3月 ひなまつり

(4) 大学との連携事業

- ・救急救命学科 小児コミュニケーション論実習，園児向け救急救命講習
- ・看護学科 小児看護学実習，小児ボランティア体験，こども園感染予防対策実地調査・指導
- ・健康栄養学科 調理実習，こども園おやつ部によるおやつ提供
- ・健康スポーツ学科 インターンシップ，運動あそび，運動会運営連携
- ・社会福祉学科 社会連携ゼミ，ボランティア体験活動
- ・視機能科学科 視力検査，目の健康増進劇鑑賞
- ・ダンス部 幼児キッズダンス教室
- ・茶道部 茶道体験

2) 新潟医療福祉大学附属PCR検査センター

(1) 2023年度検査実績

検査数	陰性数	陽性数
146名	138名	8名

3) 新潟医療福祉大学附属鍼灸センター

(1) 診療時間

月曜日～金曜日（祝日は除く，月・水・金は午前中のみ）

午前 9:30～12:00 午後 13:30～16:00

(2) 受診人数

①プレオープン期間（2023年4月12日から2023年4月28日）

学生	121名
教職員	26名
NSG関係	3名
一般	
計	150名

②オープン期間（2023年5月10日から2024年3月29日）

学生	220名
教職員	316名
NSG関係	113名
一般	333名
計	982名

学校法人 新潟総合学園
新潟医療福祉大学年報

2023（令和 5）年度

発行日 2024 年 9 月 1 日

編集・発行 新潟医療福祉大学
〒950-3198 新潟市北区島見町1398 番地
TEL : 025-257-4455
FAX : 025-257-4456
URL : <https://www.nuhw.ac.jp/>

印刷 株式会社ウィザップ